
東松山市

山王裏／上川入／西浦
野本氏館跡

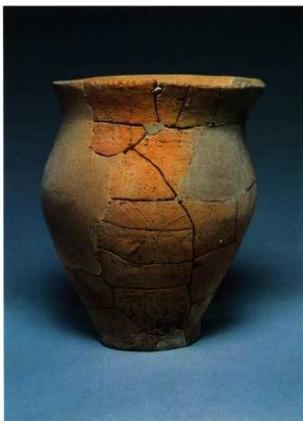
一般国道407号線埋蔵文化財発掘調査報告

1997

財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団



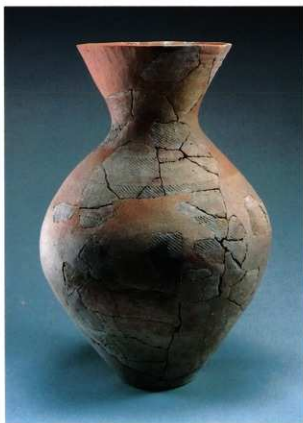
西浦遺跡第7号住居跡出土土器



西浦遺跡第16号住居跡出土土器



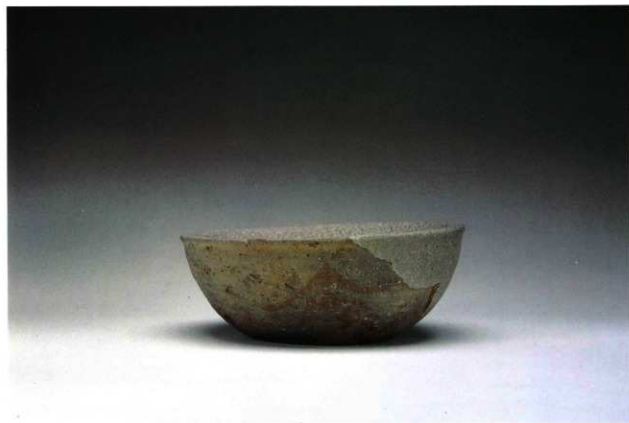
西浦遺跡第2号方形周溝墓出土土器



西浦遺跡CF-6グリッド出土土器



西浦遺跡第56号溝出土円面硯



西浦遺跡第57号溝出土土器

序

埼玉県内における道路網は、東西交通の活発化と交通量の増大とともに、一般国道・県道の拡充・整備が急務となっております。

県の5か年計画の中にも、県内一時間道路網構想を目指した道路網の整備を推進するための施策として国道の整備が盛り込まれ、国道のバイパス整備などによる4車線化が進められております。この計画の一つとして、一般国道407号の改良工事も進められており、東松山市高坂地区内ではすでに一部が開通しております。

埼玉県の中央に位置する比企地方は、比企丘陵の豊かな自然に恵まれ、森林公園や自然遊歩道が建設され、スリーデーマーチ等の各種イベントが広く県民に親しまれている地域です。また、豊かな自然だけでなく、原始・古代から人々の生活が営まれており、県指定史跡「野本將軍塚古墳」や古墳時代前期の重要遺跡である五領遺跡など、数多くの遺跡が残されています。

一般国道407号線改良工事予定地内にも多くの埋蔵文化財が存在しており、これら埋蔵文化財の取り扱いについては、関係機関が慎重に協議を重ねてまいりましたが、やむを得ず記録保存の措置が講じられることとなり、当事業団が埼玉県の委託を受け、山王裏遺跡・上川入遺跡・西浦遺跡・野本氏館跡の発掘調査を平成3年度から平成6年度にかけて実施いたしました。

これらのうち、上川入遺跡の調査では、この地域では発見例の少ない旧石器や、さらに弥生時代から中世にかけての貴重な資料を得ることができました。また、以前調査された山王裏遺跡の奈良時代の寺院に関連する地刺り溝の一部が確認されました。

とりわけ西浦遺跡では、「比」の黒書土器、「企」の朱崖書土器をはじめ、奈良時代の官衙関係遺跡及び寺院跡から出土する例の多い川面碗が10点も発見され、大変注目されました。

これらの成果をまとめた本書が、今後、埋蔵文化財の保護、教育普及さらに学術研究の資料として広く活用していただければ幸いです。

最後になりましたが、本書の刊行にあたり、発掘調査から本書の刊行に至るまで多大な御指導・御協力をいただきました、埼玉県教育庁生涯学習部文化財保護課をはじめ、埼玉県土木部道路建設課、同東松山土木事務所、さらに東松山市教育委員会、並びに地元関係各位に対しまして厚くお礼申し上げます。

平成9年3月

財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団
理事長 荒井 桂

例言

1. 本書は、埼玉県東松山市に所在する4遺跡の発掘調査報告書である。
2. 各遺跡の略号と代表地番及び発掘調査に対する指示通知は以下のとおりである。

山王裏遺跡 (No34-160 SNNR)
東松山市大字下野本字久保原2,183
平成5年3月16日付け 委保第5の1650号
平成6年1月24日付け 教文第2-182号
東松山市大字下野本字久保原2,183
平成6年6月20日付け 教文第2-46号

上川入遺跡 (No34-338 KMKWIR)
東松山市大字下野本字久保原2,231-2
平成4年4月13日付け 委保第5の191号
平成4年6月10日付け 委保第5の641号

西浦遺跡 (No34-168 NSUR)
東松山市大字下野本字清水堂708
平成5年1月14日付け 委保第5の1346号
東松山市大字下野本663
平成5年10月4日付け 委保第5の1119号
東松山市大字下野本字後掛1717
平成6年6月20日付け 教文第2-45号
東松山市大字下野本字後掛1716-1
平成7年4月11日付け 教文第2-202号

野本氏館跡 (No34-163 NMTS)
東松山市同市大字下野本字下野本663-2
平成5年10月4日付け 委保第5の1119号
3. 発掘調査は、一般国道407号線建設に伴うもので、埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課が調整し、埼玉県土木部道路建設課の委託を受け、財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団が実施した。
4. 本事業は、I-3の組織により実施した。本事業のうちの発掘調査については、濱野美代子、山本禎、高崎光司(現 越谷高等学校)、三浦佳代が担当し、平成3年12月1日から平成6年3月31日まで実施した。整理・報告書作成事業は山本が担当し、桜井元子の協力を得て、平成7年10月1日から平成9年3月31日まで実施した。
5. 遺跡の基準点測量、空中写真撮影・測量は、株式会社パスコに委託した。また、土器の胎土分析は、パリオサレーベイ株式会社に、遺物の巻頭カラー写真撮影は小川忠博氏に委託した。
6. 発掘調査時の遺構写真撮影は、濱野・山本・高崎・三浦が行い、遺物写真の撮影は山本が行った。
本書の執筆は、I-1を埼玉県教育局生涯学習部文化財保護課が、IV-2(1)を西井が、付編を三辻利一が行い、そのほかを山本が行った。
8. 本書の編集は、山本があたった。
9. 本書に掲載した資料は、平成9年度以降、埼玉県立埋蔵文化財センターが管理・保管し、情報提供する。
10. 本書の作成にあたり、下記の方々から御教示・御協力を賜った。記して謝意を表します。(敬称略)
浅田員由・江原昌俊・菊地伸之・柴田勇夫
西口正純・宮島秀夫・山路直充・渡辺博人
東松山市教育委員会・愛知県陶磁資料館
各務原市埋蔵文化財調査センター

凡例





- 1 遺跡全体におけるX・Yの数値は、国土標準平面直交座標系第IX系（原点：北緯36度00分00秒、東経139度50分00秒）に基づく各座標値を示す。また、各挿図における方位指示は、すべて座標北を表す。
- 2 グリッドは10m×10m方眼で設定し、グリッドの呼称は、北西隅の杭番号(A-1…)で代表させた。
- 3 本書の挿図における遺構の略号は、下記のとおりである。

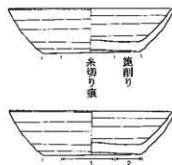
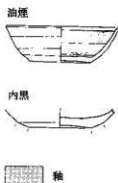
SB…掘立柱建物跡	SD…溝
SE…井戸跡	SJ…住居跡
SX…その他の遺構	SK…土坑

- 4 各遺構の番号については、整理の都合で変更している。従って、調査時の遺構番号及び遺物注記と対照する際には、第VI章末の一覧表を参照されたい。
- 5 遺構挿図の縮尺は、遺跡全測図1/400、住居跡・上坑・井戸跡1/60、コマド1/30、溝平面1/200、溝断面1/60を原則とした。例外的なものは、スケールで示した。
- 6 土層の断面図のレベル数値は、海拔標高(m)を示す。
- 7 遺物挿図の縮尺は、原則として次のとおりである。例外的なものについてはスケールで示している。

縄文土器・弥生土器拓影図…1/3
 土器実測図・石器実測図・鉄器実測図…1/4
 須恵器・瓦拓影図…1/4

羽目

- | | |
|---|------------|
|  | ガラス質範囲 |
|  | 還元焼成範囲(灰色) |
|  | 酸化焼成範囲(橙色) |
|  | 鉄分 |



- 8 土器観察表は次のとおりである。口径・器高・底径は、cmを単位とする。推定数値は()内に記した。

- ・ 胎土は、肉眼観察による混入物を記した。Aは白色針状物質、Bは白色粒子、Cは石英、Dは長石、Eは角閃石、Fは雲母、Gは赤色粒子、Hは黒色粒子、Jは輝石、Kは橙色土粒子、Rは小礫、Sは砂粒を示す。

- ・ 焼成は、相対的な3段階で記す。Iは良好、IIは普通、IIIは不良を示す。

- ・ 色調は、農林省農林水産技術会議事務局監修『新版標準十色帖』1976年版による。

- 9 瓦観察表は次のとおりである。
 - ・ 横骨幅・厚さは、cmを単位とする。
 - ・ 胎土・焼成・色調は、土器観察表に準ずる。
 - ・ 布目の本数は、3×3cm方眼内での本数を記す。

- 10 須恵器の観察の略号
 ロクロ回転方向 R=右 L=左
 底部切り離しと調整の分類

全面削り A
 周辺削り B 1<2→a
 1≥2→b
 糸切り離し C

- 11 挿図中のスクリントーンは下図のとおりである。

目次

序

例言

凡例

I 調査の概要	1	(3)土坑	197
1 発掘調査に至るまでの経過	1	(4)井戸跡	251
2 発掘調査・整理・報告書作成の経過	2	4 その他の遺構と遺物	256
3 発掘調査・整理・報告書刊行の組織	3	(1)溝	256
II 遺跡の立地と環境	4	(2)竪穴状遺構	292
1 遺跡の立地	4	(3)地下式塚	296
2 歴史的環境	5	(4)火葬墓	298
III 山十裏遺跡の調査	9	(5)ピット	298
1 遺跡の概要	9	(6)グリッド出土の遺物	299
2 検出された遺構と遺物	14	VI 野木氏館跡の調査	334
(1)古墳	14	1 遺跡の概要	334
(2)土坑	16	2 検出された遺構と遺物	334
(3)溝	26	(1)土坑	334
(4)その他の遺構	39	(2)井戸跡	342
IV 上川入遺跡の調査	40	(3)堀跡・溝	343
1 遺跡の概要	40	(4)竪穴状遺構	352
2 検出された遺構と遺物	43	(5)グリッド出土の遺物	353
(1)先土器時代	43	VII 結語	360
(2)住居跡	46	付編	365
(3)土坑	62		
(4)井戸跡	82		
(5)溝	87		
V 西浦遺跡の調査	102		
1 遺跡の概要	102		
2 弥生～古墳時代の遺構と遺物	109		
(1)住居跡	109		
(2)方形周溝墓	127		
(3)土坑	130		
3 奈良・平安時代以降の遺構と遺物	137		
(1)住居跡	137		
(2)掘立柱建物跡	193		

挿 図 目 次

第1図 埼玉県の地形図……………4	第31図 上川入遺跡全測図2)……………42
第2図 弥生・古墳時代の周辺遺跡分布図……………6	第32図 先上器時代調査区・遺物分布図……………44
第3図 奈良・平安時代の周辺遺跡分布図……………7	第33図 出土石器……………45
第4図 遺跡周辺の地形図……………8	第34図 第1号住居跡遺物分布図……………46
【山王裏遺跡】	第35図 第1号住居跡……………47
第5図 山王裏遺跡全測図1)……………10	第36図 第1号住居跡北カマド・東カマド……………48
第6図 山王裏遺跡全測図2)……………11	第37図 第1号住居跡出土遺物1)……………49
第7図 山王裏遺跡全測図3)……………12	第38図 第1号住居跡出土遺物2)……………50
第8図 山王裏遺跡全測図4)……………13	第39図 第2号住居跡……………51
第9図 久保原古墳出土遺物……………14	第40図 第2号住居跡遺物分布図……………52
第10図 久保原古墳……………15	第41図 第2号住居跡カマド……………53
第11図 土坑1)……………17	第42図 第2号住居跡出土遺物……………54
第12図 土坑2)……………19	第43図 第3号住居跡……………55
第13図 土坑3)……………20	第44図 第4号住居跡……………56
第14図 土坑4)……………21	第45図 第4号住居跡出土遺物……………57
第15図 土坑5)……………23	第46図 第5号住居跡……………58
第16図 土坑6)……………24	第47図 第6号住居跡……………59
第17図 土坑7)……………25	第48図 第7号住居跡……………61
第18図 第1号・第2号溝……………27	第49図 土坑1)……………63
第19図 第3号～第5号溝……………27	第50図 土坑2)……………64
第20図 第6号～第19号溝1)……………29	第51図 土坑3)……………66
第21図 第6号～第19号溝2)……………30	第52図 土坑4)……………68
第22図 第20号・第21号溝1)……………31	第53図 土坑出土遺物……………69
第23図 第20号・第21号溝2)……………32	第54図 土坑5)……………70
第24図 第20号溝出土遺物……………34	第55図 土坑6)……………72
第25図 第20号・第21号出土遺物……………35	第56図 第68号土坑出土瓦1)……………73
第26図 第22号～第24号溝……………36	第57図 第68号土坑出土瓦2)……………74
第27図 第25号～第30号溝……………37	第58図 第68号土坑出土瓦3)……………75
第28図 第25号溝出土・表探遺物……………38	第59図 第68号土坑出土瓦4)……………76
第29図 第1号竪穴状遺構……………39	第60図 第68号土坑出土瓦5)……………77
	第61図 第68号土坑出土瓦6)……………78
	第62図 土坑7)……………81
【上川入遺跡】	第63図 井戸跡……………83
第30図 上川入遺跡全測図1)……………41	第64図 第3号井戸跡出土遺物……………84

第65图	第1・3・10号井戸跡出土遺物	85
第66图	第3号井戸跡出土瓦	86
第67图	第1・2号溝	88
第68图	第1号溝出土遺物(1)	89
第69图	第1号溝出土遺物(2)	90
第70图	第3号～第5号溝	90
第71图	第6号～第9号溝	91
第72图	第10号～第12号溝	92
第73图	第13号～第15号溝	93
第74图	第13号溝出土遺物(1)	94
第75图	第13号溝出土遺物(2)	95
第76图	第16号～第19号・第22号溝	97
第77图	第20号・第21号溝	98
第78图	第23号～第28号溝	99
第79图	溝出土遺物	100

【西浦遺跡】

第80图	西浦遺跡A区全測図(1)	103
第81图	西浦遺跡A区全測図(2)	104
第82图	西浦遺跡B区全測図(1)	105
第83图	西浦遺跡B区全測図(2)	106
第84图	西浦遺跡C区全測図(1)	107
第85图	西浦遺跡C区全測図(2)	108
第86图	第7号住居跡	110
第87图	第7号住居跡出土遺物	111
第88图	第9・10号住居跡炉跡	112
第89图	第11号住居跡	112
第90图	第12号住居跡	113
第91图	第12号住居跡出土遺物	113
第92图	第16号住居跡	114
第93图	第16号住居跡遺物分布図	115
第94图	第16号住居跡炉跡	115
第95图	第16号住居跡出土遺物(1)	116
第96图	第16号住居跡出土遺物(2)	117
第97图	第16号住居跡出土遺物(3)	118
第98图	第16号住居跡出土遺物(4)	119
第99图	第17号住居跡	120

第100图	第17号住居跡出土遺物	120
第101图	第18号住居跡	121
第102图	第18号住居跡出土遺物	121
第103图	第19号住居跡	122
第104图	第19号住居跡出土遺物	122
第105图	第26号住居跡	123
第106图	第26号住居跡遺物分布図	124
第107图	第26号住居跡出土遺物	125
第108图	第1号方形周溝墓	126
第109图	第2号方形周溝墓	127
第110图	第3号方形周溝墓	128
第111图	第1・2・3号方形周溝墓出土遺物	129
第112图	土坑(1)	131
第113图	第197号土坑出土遺物(1)	132
第114图	第197号土坑出土遺物(2)	133
第115图	第198号土坑出土遺物	133
第116图	土坑出土遺物(1)	134
第117图	土坑(2)	135
第118图	土坑出土遺物(2)	136
第119图	第1号住居跡	138
第120图	第2号住居跡	139
第121图	第3号住居跡	139
第122图	第4号住居跡	140
第123图	第1・4号住居跡出土遺物	140
第124图	第5号住居跡	141
第125图	第6号住居跡カマド	141
第126图	第6号住居跡	142
第127图	第6号住居跡出土遺物	143
第128图	第13号住居跡	144
第129图	第13号住居跡カマド	145
第130图	第13号住居跡出土遺物	145
第131图	第14号住居跡	146
第132图	第14号住居跡出土遺物	147
第133图	第15号住居跡	148
第134图	第15号住居跡出土遺物	149
第135图	第20号住居跡	150
第136图	第20号住居跡出土遺物	151

第137回	第21号住居跡	152	第174回	第42号住居跡	183
第138回	第21号住居跡出土遺物	153	第175回	第42号住居跡出土遺物	183
第139回	第22号住居跡カマド	154	第176回	第43号住居跡	184
第140回	第22号住居跡	155	第177回	第43号住居跡出土遺物	185
第141回	第22号住居跡出土遺物(1)	156	第178回	第44号住居跡カマド	185
第142回	第22号住居跡出土遺物(2)	157	第179回	第44号住居跡出土遺物	186
第143回	第23号住居跡	158	第180回	第45号住居跡	187
第144回	第23号住居跡出土遺物	159	第181回	第45号住居跡カマド	188
第145回	第24号住居跡	160	第182回	第45号住居跡出土遺物	188
第146回	第24号住居跡出土遺物	161	第183回	第46号住居跡	189
第147回	第25号住居跡	161	第184回	第46号住居跡出土遺物(1)	190
第148回	第27号住居跡	162	第185回	第46号住居跡出土遺物(2)	191
第149回	第27号住居跡出土遺物	162	第186回	第46号住居跡出土遺物(3)	192
第150回	第28号住居跡	163	第187回	第1号孤立柱建物跡	194
第151回	第29号住居跡	165	第188回	第1号孤立柱建物跡出土遺物	195
第152回	第29号住居跡出土遺物	166	第189回	第2号孤立柱建物跡	196
第153回	第30号住居跡	167	第190回	A区土壇(1)	198
第154回	第30号住居跡	168	第191回	A区土壇(2)	200
第155回	第30号住居跡出土遺物	168	第192回	A区土壇(3)	201
第156回	第30・31号住居跡	169	第193回	A区土壇(4)	202
第157回	第31号住居跡出土遺物	169	第194回	A区土壇出土遺物	203
第158回	第33号住居跡	170	第195回	B区土壇(1)	205
第159回	第34号住居跡	171	第196回	B区土壇(2)	206
第160回	第35号住居跡	172	第197回	B区土壇(3)	208
第161回	第35号住居跡出土遺物	172	第198回	B区土壇(4)	211
第162回	第36号住居跡	173	第199回	B区土壇(5)	212
第163回	第36号住居跡カマド	174	第200回	B区土壇(6)	213
第164回	第36号住居跡出土遺物	175	第201回	B区土壇出土遺物(1)	214
第165回	第37号住居跡	176	第202回	B区土壇(7)	216
第166回	第37号住居跡カマド	177	第203回	B区土壇(8)	217
第167回	第37号住居跡出土遺物	177	第204回	B区土壇(9)	219
第168回	第38号住居跡	178	第205回	B区土壇(10)	221
第169回	第39号住居跡	179	第206回	B区土壇(11)	223
第170回	第39号住居跡出土遺物	179	第207回	B区土壇(12)	226
第171回	第40号住居跡	180	第208回	B区土壇(13)	227
第172回	第40号住居跡出土遺物	181	第209回	B区土壇出土遺物(2)	228
第173回	第41号住居跡	182	第210回	C区土壇(1)	230

第211回	C区土坑2)	233	第248回	第56・57号溝出土遺物4)	282
第212回	C区土坑3)	234	第249回	第56・57号溝出土遺物5)	283
第213回	C区土坑4)	237	第250回	第56・57号溝出土遺物6)	284
第214回	C区土坑5)	240	第251回	第56・57号溝出土遺物7)	285
第215回	C区土坑6)	241	第252回	第56・57号溝出土遺物8)	287
第216回	C区土坑7)	242	第253回	第56・57号溝出土遺物9)	289
第217回	C区土坑8)	244	第254回	第56・57号溝出土遺物10)	290
第218回	C区土坑9)	245	第255回	C区溝5)	291
第219回	C区土坑出土遺物1)	247	第256回	第1・2号竪穴状遺構	292
第220回	C区土坑出土遺物2)	248	第257回	第1・2号竪穴状遺構出土遺物	293
第221回	C区土坑出土遺物3)	249	第258回	第3・4・5号竪穴状遺構	294
第222回	井戸跡1)	252	第259回	第3・4・5号竪穴状遺構出土遺物	295
第223回	井戸跡2)	253	第260回	第1号地下式塙出土遺物	297
第224回	井戸跡3)	254	第261回	第1号地下式塙	298
第225回	井戸跡出土遺物	255	第262回	火葬墓	298
第226回	A区溝1)	257	第263回	ピット	299
第227回	A区溝2)	258	第264回	グリッド出土遺物	300
第228回	A区溝3)	260	第265回	CDグリッド出土遺物	301
第229回	A区溝4)	261	第266回	CE-5グリッド出土遺物	302
第230回	A区溝5)	262	第267回	CE-6グリッド出土遺物	303
第231回	B区溝1)	263	第268回	CE-7グリッド出土遺物	304
第232回	B区溝2)	264	第269回	CE-8グリッド出土遺物	305
第233回	B区溝3)	265	第270回	CF-5グリッド出土遺物1)	306
第234回	B区溝4)	266	第271回	CF-5グリッド出土遺物2)	307
第235回	第28号溝出土石板	267	第272回	CF-6グリッド出土遺物1)	308
第236回	B区溝5)	268	第273回	CF-6グリッド出土遺物2)	310
第237回	B区溝6)	269	第274回	CF-6グリッド出土遺物3)	311
第238回	C区溝1)	270	第275回	CF-7グリッド出土遺物1)	311
第239回	C区溝2)	271	第276回	CF-7グリッド出土遺物2)	313
第240回	C区溝3)	272	第277回	CF-8グリッド出土遺物	314
第241回	C区溝4)	273	第278回	CG-6グリッド出土遺物1)	315
第242回	溝出土遺物	274	第279回	CG-6グリッド出土遺物2)	316
第243回	第53・54号溝出土遺物	275	第280回	CG-6グリッド出土遺物3)	317
第244回	第56・57号溝	278	第281回	CG-6グリッド出土遺物4)	318
第245回	第56・57号溝出土遺物1)	279	第282回	CG-7グリッド出土遺物1)	321
第246回	第56・57号溝出土遺物2)	280	第283回	CG-7グリッド出土遺物2)	322
第247回	第56・57号溝出土遺物3)	281	第284回	CG-7グリッド出土遺物3)	323

第285図	CH-5・6グリッド出土遺物1)	324
第286図	CH-6グリッド出土遺物2)	325
第287図	CH-6グリッド出土遺物3)	326
第288図	CH-7グリッド出土遺物1)	327
第289図	CH-7グリッド出土遺物2)	328
第290図	CH-7グリッド出土遺物3)	329
第291図	CH-7グリッド出土遺物4)	331
第292図	CH-7グリッド出土遺物5)	332
第293図	C-Ⅲ区出土遺物	333

【野本氏館跡】

第294図	野本氏館跡全測図	335
第295図	土坑1)	336
第296図	土坑2)	339
第297図	土坑3)	340
第298図	土坑4)	341
第299図	第1号井戸跡	342
第300図	溝(1)・堀跡	344

第301図	溝(2)・堀跡	345
第302図	溝(3)	346
第303図	堀跡・溝出土遺物	347
第304図	溝出土遺物	348
第305図	溝(4)	349
第306図	溝(5)	350
第307図	第18号溝出土遺物	351
第308図	第1号竪穴状遺構	352
第309図	グリッド出土遺物1)	353
第310図	グリッド出土遺物2)	354
第311図	寺院跡関連遺構分布図	360
第312図	円面硯分類図	364

【付編】

第1図	Rb-Sr分布図	366
第2図	K-Ca分布図	366
第3図	Rb-Sr分布図	366
第4図	K-Ca分布図	366

表目次

第1表	山王表遺跡遺構番号新旧対照表	355
第2表	上川入遺跡遺構番号新旧対照表	355
第3表	西浦遺跡遺構番号新旧対照表	356

第4表	野本氏館跡遺構番号新旧対照表	359
第5表	円面硯出土遺跡一覧	362

図版目次

【山王裏遺跡】

- 図版1 B区全景 第8・9・10号溝
図版2 C-I区全景 第20号溝
図版3 C-III区全景 C-IV区全景
図版4 第20号溝出土土器
第20号溝出土瓦
図版5 第25号溝出土瓦

【上川人遺跡】

- 図版6 遺跡全景
図版7 先土器時代遺物出土状況
第1号住居跡
図版8 第2号住居跡 第2号住居跡床下土坑
図版9 第3号住居跡 第4号住居跡
図版10 第6号住居跡
第68号土坑遺物出土状況
図版11 第1号溝 第13・15号溝
図版12 第1号住居跡出土遺物
図版13 第1号住居跡出土遺物
第2号住居跡出土遺物
図版14 第4号住居跡出土遺物
第6号住居跡出土遺物
第7号住居跡出土遺物
第33号土坑出土遺物

【西浦遺跡】

- 図版15 A区全景 第4号住居跡
図版16 第32号土坑遺物出土状況・第33号土坑
第14・15・21・22号溝
図版17 B区北部 B区南部
図版18 第6号住居跡遺物出土状況 第6号住居跡
図版19 B区土坑群
図版20 C-I区全景 C-II区全景
図版21 第7号住居跡ピット9遺物出土状況

第16号住居跡

- 図版22 第16号住居跡炉跡 第16～19号住居跡
図版23 第20号住居跡 第26号住居跡
図版24 C-III区全景 第1号方形周溝墓
図版25 第2号方形周溝墓 第3号方形周溝墓
図版26 第197号土坑遺物出土状況
第198号土坑遺物出土状況
図版27 第198号土坑 第315号土坑遺物出土状況
図版28 第196号土坑遺物出土状況 第196号土坑
図版29 第235号土坑 第235号土坑遺物出土状況
図版30 第239・240号土坑
第249号土坑遺物出土状況
図版31 第13号住居跡 第14・15号住居跡
図版32 第21号住居跡 第22号住居跡
図版33 第23号住居跡 第24号住居跡
図版34 第27号住居跡
第28号住居跡カマド遺物出土状況
図版35 第28号住居跡 第29号住居跡
図版36 第30号住居跡 第31～33号住居跡
図版37 第34号住居跡 第35号住居跡
図版38 第37号住居跡 第39号住居跡
図版39 第41・42号住居跡 第44号住居跡カマド
図版40 第45号住居跡 第46号住居跡遺物出土状況
図版41 第1号掘立柱建物跡 第2号掘立柱建物跡
図版42 第237号土坑遺物出土状況 第238号土坑
図版43 第244号土坑 第252号土坑
図版44 第273号土坑 第287号土坑
図版45 第302号土坑 第303号土坑遺物出土状況
図版46 第316号土坑遺物出土状況 第39・40号溝
図版47 第28号溝板碑出土状況 火葬墓
図版48 第7号住居跡出土遺物
第16号住居跡出土遺物
図版49 第16号住居跡出土土器
図版50 第16号住居跡出土土器

- | | | | |
|------|--------------|------|-----------------|
| | 第17号住居跡出土遺物 | | 第244号土坑出土遺物 |
| | 第18号住居跡出土遺物 | | 第265号土坑出土遺物 |
| 図版51 | 第18号住居跡出土遺物 | | 第270号土坑出土遺物 |
| | 第26号住居跡出土土器 | | 第4号井戸跡出土遺物 |
| 図版52 | 第2号方形形溝跡出土遺物 | 図版64 | 第4号井戸跡出土遺物 |
| | 第196号土坑出土遺物 | | 第7号井戸跡出土遺物 |
| | 第197号土坑出土土器 | | 第9号井戸跡出土遺物 |
| 図版53 | 第197号土坑出土土器 | | 第56・57号溝出土遺物 |
| 図版54 | 第211号土坑出土遺物 | 図版65 | 第28号溝出土板碑 |
| | 第249号土坑出土遺物 | | 第56・57号溝出土遺物 |
| | 第6号住居跡出土遺物 | 図版66 | 第56・57号溝出土遺物 |
| 図版55 | 第6号住居跡出土遺物 | 図版67 | 第56・57号溝出土遺物 |
| 図版56 | 第13号住居跡出土遺物 | | 第3号竪穴状遺構出土遺物 |
| | 第14号住居跡出土遺物 | 図版68 | 第4号竪穴状遺構出土遺物 |
| | 第15号住居跡出土遺物 | | CA-9グリッド出土遺物 |
| | 第20号住居跡出土遺物 | | CE-7グリッド出土土器 |
| 図版57 | 第21号住居跡出土遺物 | 図版69 | CE-8グリッド出土遺物 |
| | 第22号住居跡出土遺物 | | CF-5グリッド出土遺物 |
| 図版58 | 第23号住居跡出土遺物 | 図版70 | CE-8グリッド出土遺物 |
| | 第25号住居跡出土遺物 | | CF-6・7グリッド出土遺物 |
| | 第27号住居跡出土遺物 | | CG-6グリッド出土遺物 |
| | 第28号住居跡出土遺物 | 図版71 | CF-6グリッド出土土器 |
| | 第29号住居跡出土遺物 | 図版72 | CG-6・7グリッド出土遺物 |
| 図版59 | 第29号住居跡出土遺物 | 図版73 | CG-7グリッド出土遺物 |
| | 第30号住居跡出土遺物 | | CH-6・7グリッド出土遺物 |
| | 第36号住居跡出土遺物 | 図版74 | CH-7グリッド出土土器 |
| 図版60 | 第37号住居跡出土遺物 | 図版75 | C-Ⅲ区出土土器 鉄製品 |
| | 第39号住居跡出土遺物 | | |
| | 第40号住居跡出土遺物 | | |
| 図版61 | 第43号住居跡出土遺物 | | |
| | 第44号住居跡出土遺物 | 図版76 | 全景 土坑群 |
| | 第46号住居跡出土遺物 | 図版77 | 堀跡・第1～6号溝 第18号溝 |
| 図版62 | 第46号住居跡出土遺物 | 図版78 | 第1号井戸跡 第1号竪穴状遺構 |
| 図版63 | 第32号土坑出土遺物 | 図版79 | 第18号溝出土土器 |
| | 第70号土坑出土遺物 | | BD-15グリッド出土瓦 |
| | 第157号土坑出土遺物 | | |
| | 第237号土坑出土遺物 | | |

【野本氏館跡】

- | | |
|------|-----------------|
| 図版76 | 全景 土坑群 |
| 図版77 | 堀跡・第1～6号溝 第18号溝 |
| 図版78 | 第1号井戸跡 第1号竪穴状遺構 |
| 図版79 | 第18号溝出土土器 |
| | BD-15グリッド出土瓦 |

I 調査の概要

1 発掘調査に至るまでの経過

埼玉県では、増大する交通量に対処するため、各地で道路建設事業が進められている。一般国道407号線については、交通量の増加に伴う慢性的な交通渋滞の打開と、埼玉県中央部における幹線交通網の整備を目的として、埼玉県土木部により建設事業が計画された。

県教育局生涯学習部文化財保護課では、こうした開発事業地に所在する埋蔵文化財の保護について、日頃関係各部署と協議を重ね、また定期的な調整会議をもって調整を図っている。

平成2年度に、県土木部道路建設課長から東松山市下野本地内に計画された一般国道407号線の建設予定地における埋蔵文化財の所在及び取り扱いについて照会があった。

工事予定地内には、周知の埋蔵文化財包蔵地である山王裏遺跡(34-160)、野本氏館跡(34-163)、上川入遺跡(34-338)が所在するため、文化財保護課では、東松山市教育委員会の協力を得て、平成3年2月26・27日にかけて現地で遺跡確認調査を実施した。その結果、上記の3遺跡のほか、上川入遺跡の南側で新たに奈良～平安時代の竪穴住居跡等の遺構が確認された。これを「西浦遺跡」(34-168)として新規登録した。

以上の結果に基づき、道路建設課長あて以下の旨回答した。

- 1 工事予定地内には、周知の埋蔵文化財包蔵地「山王裏遺跡」、「野本氏館跡」、「上川入遺跡」、「西浦遺跡」が所在する。
- 2 この埋蔵文化財包蔵地の取り扱いは、できるだけ現状保存することか望ましい。
- 3 工事計画上やむを得ず現状変更する場合は、文化財保護法の規定による手続きをとり、事前に記録保存のための発掘調査を実施すること。

その後、事業の計画変更は不可能と判断されたため、平成3年度から発掘調査を実施することとなった。

発掘調査については、実施機関である財団法人埼玉

県埋蔵文化財調査事業団と道路建設課、文化財保護課の三者で調整した。その結果、平成4年1月から上川入遺跡の調査に着手することとし、道路建設課において調査に要する経費が予算措置された。

各遺跡の発掘調査の実施に先立ち、埼玉県知事から文化財保護法第57条の3第1項の規定に基づく埋蔵文化財発掘通知が、また財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団から、同法第57条第1項による埋蔵文化財発掘調査届けが提出された。

発掘調査は、上川入遺跡を最初に、平成4年1月4日から開始された。

なお、発掘調査届けに対する文化庁及び埼玉県教育委員会からの指示通知は以下のとおりである。

上川入遺跡	平成4年4月13日付け	委保第5の191号
	平成4年6月10日付け	委保第5の641号
西浦遺跡	平成5年1月14日付け	委保第5の1346号
	平成5年10月4日付け	委保第5の1119号
	平成6年6月20日付け	教文第2-45号
	平成7年4月11日付け	教文第2-202号
山王裏遺跡	平成5年3月16日付け	委保第5の1650号
	平成6年1月24日付け	教文第2-182号
	平成6年6月20日付け	教文第2-46号
野本氏館跡	平成5年10月4日付け	委保第5の1119号

(文化財保護課)

2 発掘調査・整理・報告書作成の経過

(1) 発掘調査

一般国道407号線建設に伴う東松山市山王裏遺跡・上川入遺跡・西浦遺跡・野本氏館跡の発掘調査は、平成3年度～6年度に実施した。各遺跡の調査経過は以下のとおりであるが、調査が複次にわたっているのは用地取得及び上物物件の撤去の完了を待って区画ごとに調査を進めたためである。

山王裏遺跡

第1次：平成4年9月20日から平成5年2月20日
遺跡の北端寄りの地区で谷状地形の範囲では時期不詳の土坑11基・溝17条を検出した。南に隣接する地区は台地上平州部で、奈良時代の南北に延びる溝1条と時期不詳の土坑33基を検出した。

第2次：平成5年12月1日から平成6年3月31日
前年度の南側の調査で、北から連続する奈良時代の溝1条と時期不詳の溝1条・土坑3基を検出した。

第3次：平成6年6月1日から6月30日
遺跡北端の地区で第1次の北側に隣接し、L字型に並走する時期不詳の溝2条を検出した。

第4次：平成6年12月1日から平成7年1月31日
遺跡南端の一般国道254号線用地を挟んでの北と南の2地区の調査を行った。北側地区では第1次・第2次で検出した奈良時代の溝がさらに南に続き検出できたほか、国道254号用地の調査の際に検出した久保原古墳の周溝北側が検出された。ほかに、時期不詳の土坑8基・溝3条も検出された。南側の地区では、前述の連なる溝とは異なる奈良時代の溝1条、平安時代の溝2条の他、時期不詳の土坑3基・溝3条を検出した。

上川入遺跡

平成4年1月4日から平成4年8月31日
台地西部からは先土器時代の遺物と奈良時代の住居跡1軒と溝1条を検出した。ほかに奈良時代の住居跡2軒、平安時代の住居跡3軒と時期不詳の土坑82基・井戸跡10基・溝27条を検出した。

西浦遺跡

第1次：平成4年9月1日から9月19日

平成5年2月21日から3月31日

平成4年1月に遺跡北端A区の表土除去と遺構確認を行ったが、湧水が激しく調査を中断し、2度にわたる調査となった。A区北半では平安時代の住居跡1軒、中世の溝2条、時期不詳の土坑22基・井戸跡1基・溝18条を検出した。

第2次：平成5年12月1日から平成6年3月31日

B区の調査を行い、平安時代の住居跡2軒・中世の土坑53基、溝2条と時期不詳の土坑100基・溝13条・井戸跡4基が検出された。さらに、C区北端の調査を行い、弥生時代の住居跡2軒・炉跡3基・土坑2基、古墳時代の住居跡1軒・土坑7基、平安時代の住居跡3軒の他、時期不詳の土坑16基・井戸跡1基・溝5条を検出した。さらにA区の南半の調査に着手し、平安時代の住居跡3軒・土坑1基、その他土坑19基・溝4条を検出した。

第3次：平成6年6月1日から平成7年3月31日

前年度調査を行ったC区の南側の調査を行った。弥生時代の土坑5基、古墳時代の住居跡4軒・土坑6基、平安時代の住居跡27軒・土坑21基、中世の地下式墳1基の他土坑71基・溝20条を検出した。

野本氏館跡

平成5年6月1日から平成6年3月31日

弥生時代の溝1条と中世の土坑40基・溝22条・堀跡1条と時期不詳の竪穴式遺構1基を検出した。

(2) 整理・報告書作成

整理・報告書作成作業は、平成7年10月1日から平成9年3月31日まで実施した。

遺物の接合と図面整理は、10月から翌7月にかけて並行して行った。遺物の実測は翌年8月までに終了し、遺物及び遺構のトレースは平成8年6月から9月にかけて行った。図版作成は8月から11月まで行った。12月に遺物撮影を行い、平成9年1月にかけて原稿を執筆しながら本文の割付を行った。報告書印刷に入り3月末を持って発掘調査報告書を刊行した。

3 発掘調査・整理・報告書刊行の組織

主体者 財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団

(1)発掘調査(平成3～6年度)

理事長	荒井 修 二 (H3・4)
	荒井 桂 (H5・6)
副理事長	早川 智 明 (H3・4)
	富田 真 也 (H5・6)
専務理事	横川 好 富 (H5)
	栃原 嗣 雄 (H6)
常務理事兼 管理部長	倉持 悦 大 (H3・4)
	柴崎 光 生 (H5)
	加藤 敏 昭 (H6)
理事兼調査部長	栗原文 藏 (H3・4)
	中島 利 治 (H5)
	小川 良 祐 (H6)
管理部	
庶務課長	高田 弘 義 (H3)
	萩原 和 夫 (H4・5)
	及川 孝 之 (H6)
主 査	松本 晋 (H3)
	賛田 清 (H4・5)
	市川 有 三 (H6)
主 事	長滝 美智子 (H3・6)
	菊池 久 (H4～6)
経理課長	関野 栄 一 (H3～6)
主 任	江田 和 美 (H3～6)
主 事	長滝 美智子 (H4・5)
	福田 昭 美 (H3～6)
	腰塚 雄 二 (H3～6)
	菊池 久 (H3)
調査部	
副 部 長	梅 沢 太 久 夫 (H3・4)
	高橋 一 夫 (H5・6)
調査第三課長	宮崎 朝 雄 (H3)
調査第一課長	宮崎 朝 雄 (H4)
調査第二課長	大 和 修 (H5・6)

主 査	濱 野 美 代 子 (H6)
主任調査員	利根川 彰 彦 (H3)
	山 本 禎
	高 崎 光 司 (H5)
調 査 員	三 浦 佳 代 (H4)

(2)整理・報告書作成(平成7・8年度)

理事長	荒井 桂
副理事長	富田 真也
専務理事	吉川 國男
常務理事兼 管理部長	新井 秀直 (H7)
	秋葉 文夫 (H8)
理事兼調査部長	小川 良祐
管理部	
庶務課長	及川 孝之 (H7)
	依田 透 (H8)
主 査	市川 有三 (H7)
	西沢 信行 (H8)
主 任	長滝 美智子
主 事	菊池 久
専門調査員兼 経理課長	関野 栄一
主 任	江田 和美
	福田 昭美
	腰塚 雄二
資料部	
資料部長	塩野 博 (H7)
	梅沢 太久夫 (H8)
主 幹 兼 資料部副部長	谷井 彪
専門調査員兼 資料整理第二課長	宮崎 朝雄 (H7)
	鈴木 敏昭 (H8)
主任調査員	山本 禎

II 遺跡の立地と環境

1. 遺跡の立地

山王裏遺跡・上川入遺跡・西浦遺跡・野本氏館跡は、埼玉県東松山市下野本に所在し、東武東上線「東松山駅」から南東約2kmに位置する。4遺跡とも北から南へ約1kmにわたり連なっている。

遺跡が所在する東松山台地は北は市野川、南は都幾川に挟まれ、菅谷台地から東へ延び更に南東へ細長く延びる台地である。北側は市野川に向かって緩やかに傾斜し、南側は一段台地が降り、その先に沖積地とほとんど比高差がない低台地が広がり、都幾川の沖積地に面している。東松山台地は、北は比企丘陵、南は岩殿丘陵・高坂台地に挟まれ、西は秩父山地、東は荒川低地に面している。

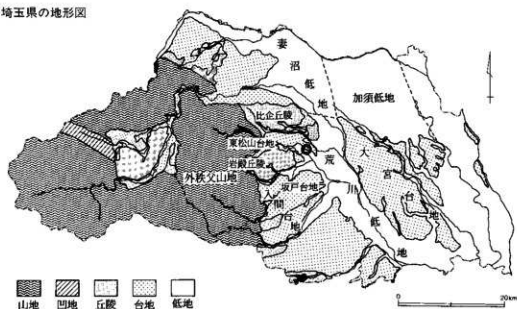
台地上は比較的平坦であるが、遺跡の立地する付近の台地上の平坦部の幅は南北約300mと狭く、すぐ北側は市野川に向かい緩やかに傾斜している。山王裏遺跡はほぼ台地上の平坦部に位置するが、南東部は斜面部を含む。調査区は平坦部のみで南側は急傾斜台地が下っている。標高は、一部を除き平均30.5m前後である。

上川入遺跡は、山王裏遺跡の南に隣接し、主体は低台地の平坦部をしめる。調査区は台地の肩部から斜面、そして台地裾部の低台地にあり、台地肩部は標高30.5m、裾部は23.5mで、以南は平坦ではなく南へ僅かに傾斜し、もっとも低い南端で標高21.5mである。

西浦遺跡は上川入遺跡の南に隣接し、南端は都幾川の沖積地に面する低台地上の遺跡である。遺跡の北半はほぼ平坦であるが、南側は沖積地に向かい徐々に傾斜し、南東方向から入ってきている谷状のもっとも低いところで標高18.0m、また南端ではローム台地が残っており標高18.4mである。

野本氏館跡は都幾川の沖積地に向かう平坦な低台地縁辺にあり、標高は22.0m前後である。南東隅には低台地縁辺に沖積地を望むようにして、前方後円墳の將軍塚古墳が位置している。

第1図 埼玉県の地形図



2. 歴史的環境

今回の発掘調査では、上川入遺跡で先土器時代の遺物、山王裏遺跡・野本氏館跡で縄文時代中期・後期の遺物、西浦遺跡・野本氏館跡では弥生時代、西浦遺跡では古墳時代、山王裏遺跡・上川入遺跡・西浦遺跡では奈良・平安時代、西浦遺跡・野本氏館跡では中世の遺構・遺物が検出された。ここでは、遺構・遺物のほとんどを占める奈良・平安時代の他に弥生時代を中心に周辺の状況を概観する。

弥生時代

弥生時代中期後半の遺跡は、坂戸台地の越辺川右岸の附島遺跡のほか入間川左岸台地上の霞ヶ関遺跡、小畦川流域の台地上の登戸遺跡・猪田遺跡などが宮の台式土器の分布圏の北限とされてきた。しかし、霞ヶ関遺跡は宮の台期ではあるが、櫛歯文系土器が主体となっている。

比企丘陵では岩鼻遺跡出土の櫛歯文系土器を標識とした岩鼻式土器があり、雄山遺跡・附川遺跡と坂戸台地では相築場遺跡で出土している。東松山台地と都幾川の沖積地を挟んで対峙する高坂台地では代正寺・大西遺跡では、宮の台式土器が主体となっている。

後期としては、比企丘陵では吉ヶ谷遺跡出土の縄文系土器を標識とした吉ヶ谷式土器があり、ほかに大谷遺跡・墨田遺跡などがある。岩殿丘陵には駒堀遺跡・根平遺跡・桜山遺跡、高坂台地には杉の木遺跡がある。桜山遺跡では細縄文とS字状結節文を施した大型壺が出土しており、土器は吉ヶ谷式土器と前野町式が出土している。坂戸台地の高脚川右岸の花影遺跡では、宮の台期に特徴的な四隅が切れた方形周溝墓から吉ヶ谷式土器が出土している。霞ヶ関遺跡では、吉ヶ谷式土器と岩鼻式土器をそれぞれ出土する集落が近接して存在している。

奈良・平安時代

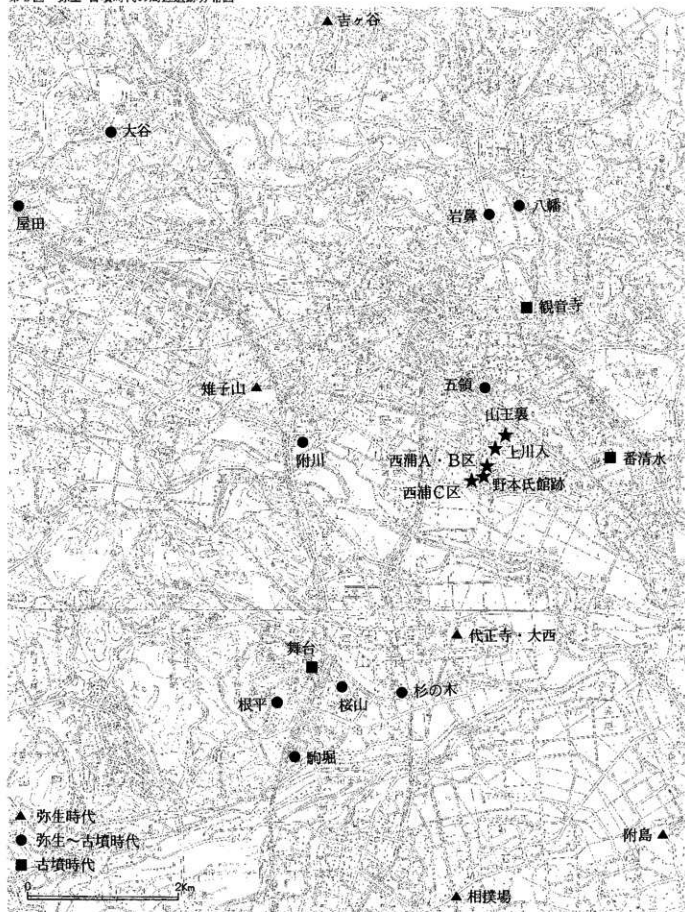
奈良時代の集落は岩殿丘陵、物見山から派生する支丘上に大塚原遺跡・立野遺跡・緑川遺跡などがあり、立野遺跡からは埴・円面硯・須恵質陶棺形土製品が出土している。奈良時代から平安時代にかけての集落は、

比企丘陵東端の沢口遺跡、東松山台地には清滑水遺跡・下山遺跡があり、下山遺跡では古墳の周溝出土であるが佐波理を忠実に模した9世紀前半の在地産の須恵器浄瓶や鉄鉢・鉄釜、文字が線刻された清石製紡錘車等が出土している。平安時代の集落は、東松山台地には岩の上遺跡・岩鼻遺跡があり、岩の上遺跡からは鎌・斧・鉾等製の鉄製品が出土している。比企丘陵東端の沢口遺跡では、底面に「佐太人」と刻まれている滑石製の紡錘車が出土した。

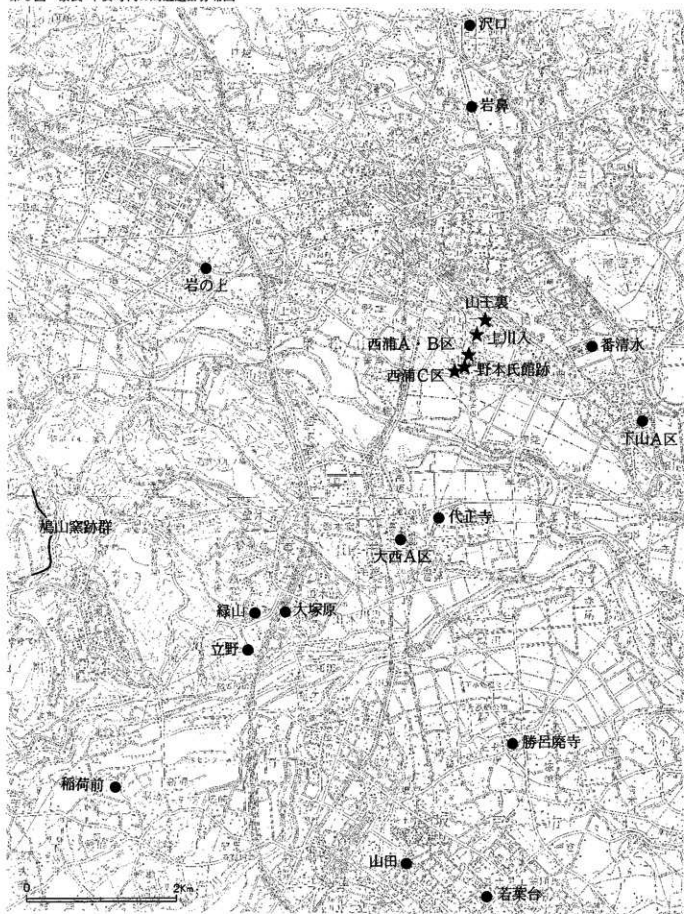
坂戸台地には奈良時代から平安時代の集落として、若葉台遺跡・山田遺跡・脚折遺跡群がある。若葉台遺跡では、竪穴住居跡だけでなく掘立柱建物跡も多数検出され、墨書土器・朱墨書土器の他に円面硯・奈良三彩・帯金具・銅鈴等が出土している。若葉台遺跡の周辺遺跡である山田遺跡では、奈良三彩の獸脚付香炉が出土している。また、脚折遺跡群からは竪穴住居跡のほか掘立柱建物跡が検出され、墨書土器が多数出土した。毛呂台地の北東部先端に稲荷前遺跡があり、古墳時代から平安時代にかけての集落である。奈良時代の住居跡から円面硯が出土している。

南比企丘陵（岩殿丘陵）には奈良時代から平安時代の東国における一大窯跡群であった南比企窯跡群があり、この窯跡群の製品の分布範囲は比企郡・入間郡にとどまらず、広範囲に広がっている。この窯跡群の一支群である鳩山窯跡群に含まれる県指定史跡の「赤沼国分寺窯跡」からは勝呂庵寺の創建期の瓦が出土しているだけでなく、山王裏遺跡・上川入遺跡からも赤沼国分寺窯跡の斜面下から採集した瓦と同様の瓦が出土している。

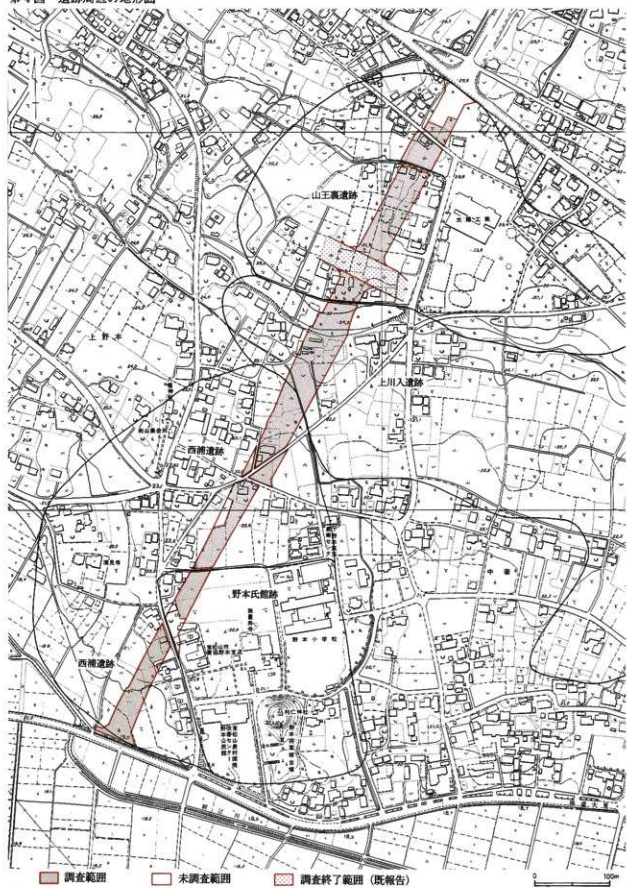
第2図 弥生・古墳時代の周辺遺跡分布図



第3図 奈良・平安時代の周辺遺跡分布図



第4図 遺跡周辺の地形図



III 山王裏遺跡の調査

1 遺跡の概要

山王裏遺跡は、東松山台地南縁、都幾川の沖積地を挟み高坂台地・岩殿丘陵を望むところに位置する。遺跡は台地上の平坦部にあり、南東部の一部が斜面にかかっている。台地と沖積地の間には低台地が広がり、沖積地に面して野本將軍塚古墳が古地している。

遺跡はこれまでの調査で、古墳時代後期の円墳2基、奈良時代の基壇と地割り溝、ローム探掘坑、奈良・平安時代の集落が発出されている。

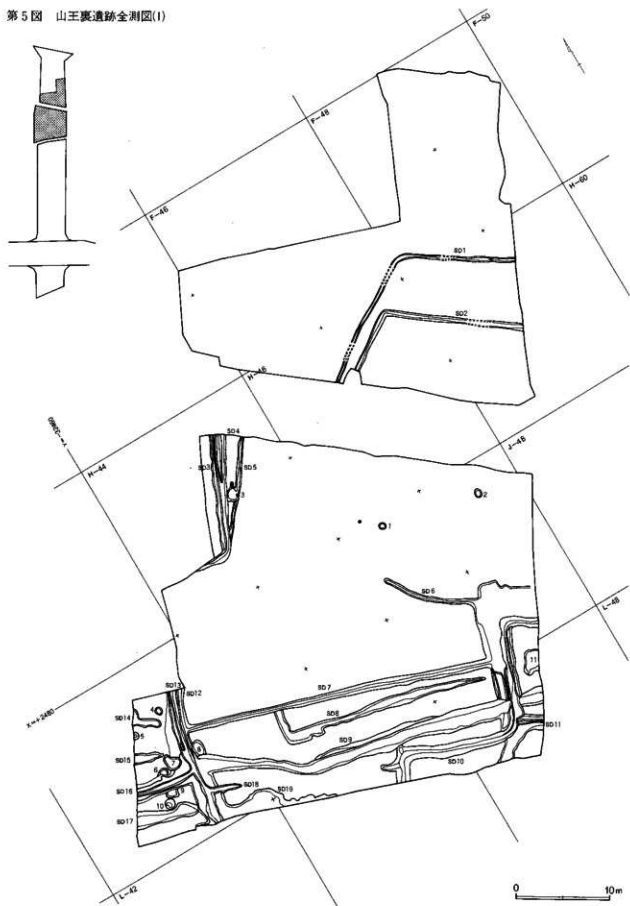
古墳は径32mの円墳で、立地としては低台地の野本將軍塚古墳と異なり台地上の南縁で、まさに沖積地を見下ろし、対岸の高坂台地・岩殿丘陵を望む位置を占めている。墳丘は確認されなかったが今回の調査でも北側の周溝の一部が調査され、周溝は全周せず数カ所がブリッジ状に残る。内部構造は凝灰岩の切石を用いた横穴式石室である。削平されており詳細は不明であるが、周溝から石室まで墓道が掘り込まれていた。玄室より大小の耳環各1個、墓道からは祭祀に関すると考えられる須恵器片が発出された。もう1基の古墳も円墳で斜面部に位置し、山寄せ式の古墳である。径は22mで墳丘は確認されず、周溝は数カ所だけブリッジ状に残る。内部構造は凝灰岩切石切り組み積みの胴張りの横穴式石室で玄門部より前は崖状となり確認されなかった。副葬品は耳環2個・土製の玉類・刀子が発出された。石室構築材として凝灰岩を用いる点は、当地域の特色である。2基の古墳の間は約230m離れており占地や規模からして、若干の時期差をもって、単独墳として存在していたものであろう。

奈良時代にはいと、古墳とは異なる場所の台地上に、掘り込み地業による基壇が築かれ、今回の調査で東辺の地割りとみられる溝が確認された。溝の断面は箱薬研堀で南北方向に延びているのが確認された。西辺の地割りと考えられる溝は、やや西に偏するかやはや箱薬研堀で、基壇を中心とした寺域を向する東西の堀と考えられる。しかし、基壇上にも周辺にも礎石及

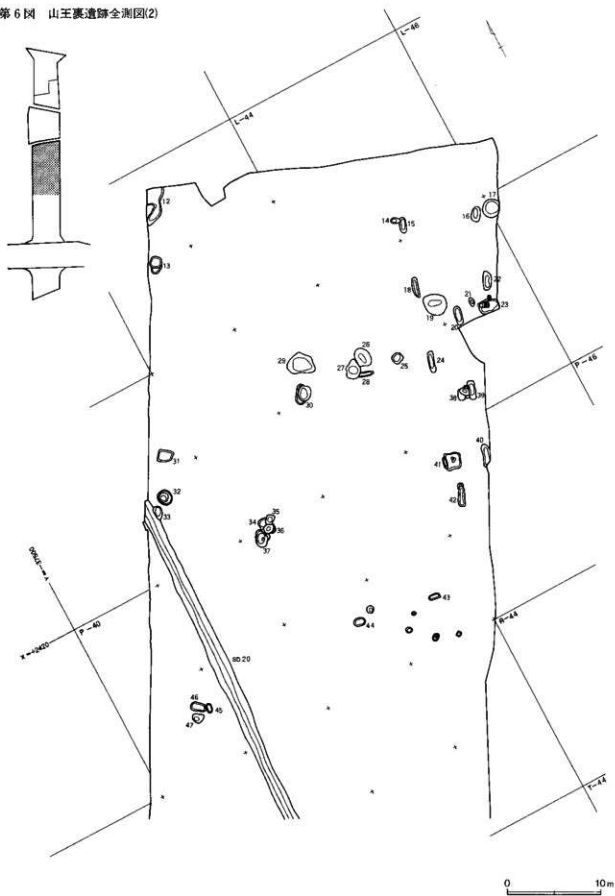
び柱穴などの建物跡は調査区では確認されていない。更に、基壇のすぐ西に隣接して竪穴状の遺構が確認され、覆土層で瓦が発出された。瓦の投棄は建物の廃絶によって行われると考えられることから、基壇の建物と竪穴状遺構が同時に存在したと推定される。竪穴状遺構の瓦を出した覆土層の締まった黒色土は、基壇の周辺にもあり、基壇は黒色土を掘り込んで構築しており、基壇構築の整地面の様相を呈している。また、東辺の溝の覆土層にも同様の土が確認されている。これらのことから判断して、基壇は構築したものの何らかの原因で寺院築造を中止したとも考えられる。

集落は奈良時代から平安時代にかけて続き、奈良時代の中頃、つまり武蔵国分寺創建期前後を中心とし、古墳と古墳の間に限られ、斜面から北の台地の平坦部にかけて広がるが、東及び西には広がっていない。

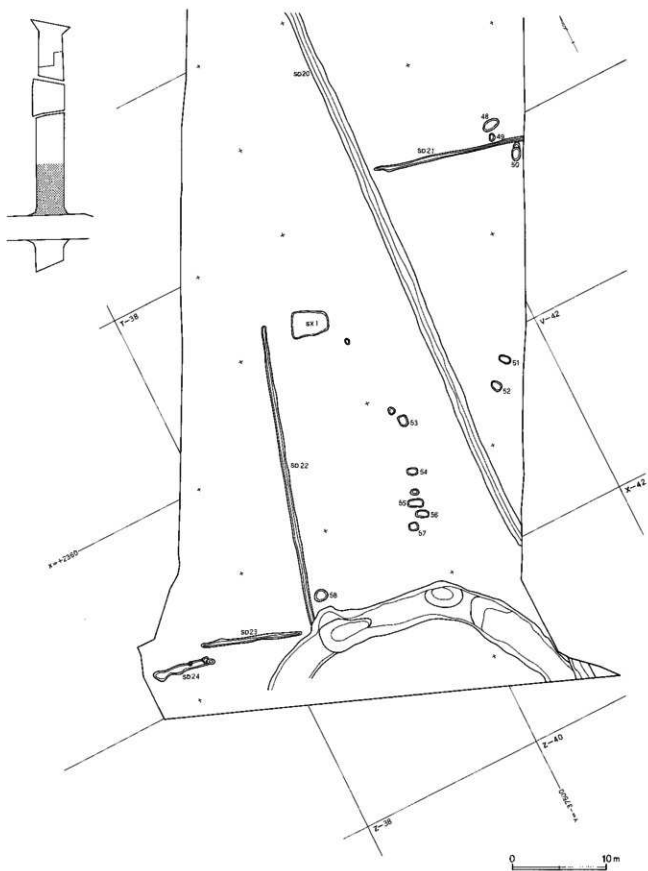
第5図 山王裏遺跡全測図(1)



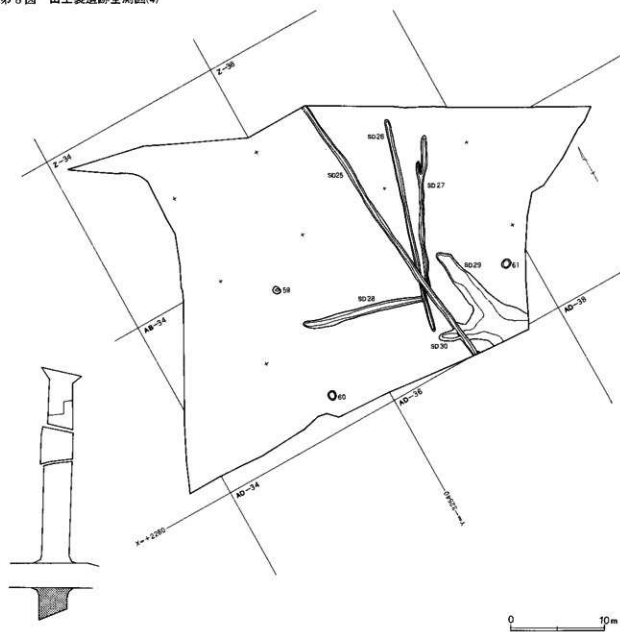
第6図 山王墓遺跡全測図(2)



第7図 山王裏遺跡全測図(3)



第 8 圖 山王墓遺跡全測図(4)



2 検出された遺構と遺物

(1) 古墳

久保原古墳(第9・10図)

W-38・39、X-37~40、Y-40グリッドに位置し、円墳の周溝の一部である。

古墳の主要部は既に調査・報告(山本 1991)されている。

概要は、墳丘及び主体部の石室の棺床面まで削平されており、墳形は円墳で周溝内径は32mを測る。周溝は全周せず東側と西側、北北西側にブリッジ状を呈し、石室前でもやや浅くなっている。周溝幅は4~5m、深さは0.95~1.3mで、外周は立ち上がりが急であるが内周は比較的緩やかである。また、西側の周溝外周側に焼土を含む層が堆積していた。

石室は凝灰岩切石を用いた横穴式石室である。石室規模は、玄室左壁と礎床残存範囲より推定し、全長4.5~5.5m、玄室長3.8m、玄室最大幅2.2mと推定され、胴張りと考えられる。また、石室前庭部より周溝まで墓道が付設されており、地山を掘り込んだもので、規模は長さ8.5m、幅2.1~3.0m、深さ0.4mを測る。

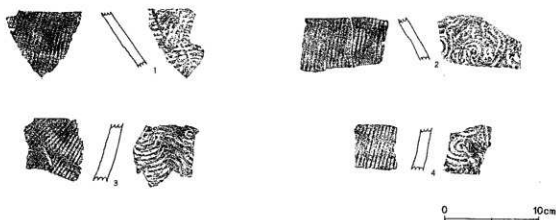
出土遺物は、副葬品が玄室より大小の耳環が1点ずつ、鉄製品が2点のみである。その他、墓道より小型

壺や甕、墓道前の周溝より横板が出土した。

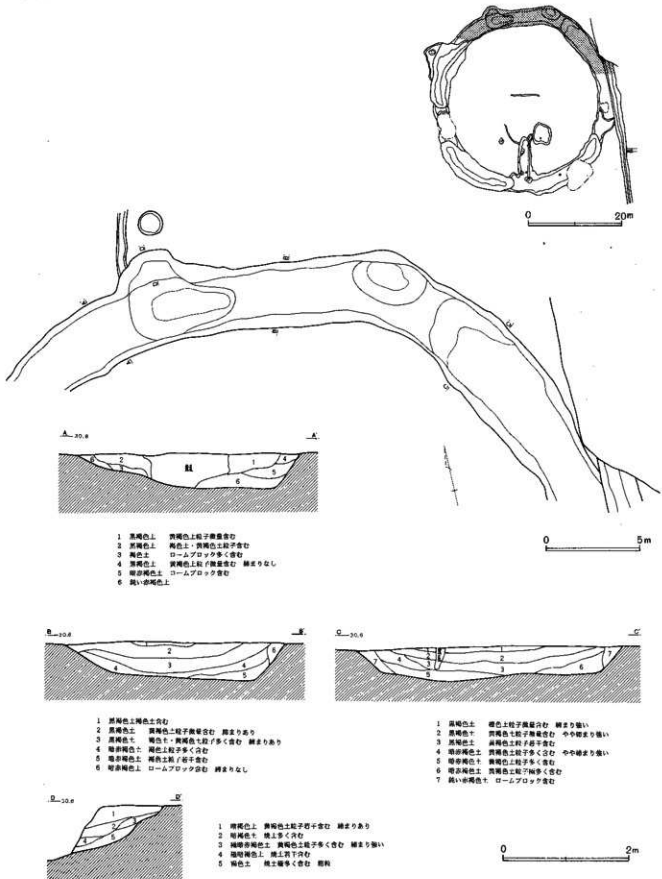
今回調査の古墳北側の周溝の幅は3.5~4.3m、深さは40~60cmで、断面形は内側は比較的緩やかであるが外側は立ち上がりが急な台形状である。また外周沿いの一部に焼土を多く含む層がみられ、以前調査した西側周溝と同じ状況が見られた。

出土遺物は、周溝覆土より須恵器甕胴部の破片が検出され、外面は平行叩き、内面は同心円文当て具痕がみられる。

第9図 久保原古墳出土遺物



第10図 久保原古墳



(2) 土坑

第1号土坑(第11図)

J-46グリッドに位置する。平面形は川形を呈し、規模は直径0.72m、深さ7cmを測る。

第2号土坑(第11図)

J-47グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.87m、短径0.85m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-22°-Wを指す。覆土中より土師器環の他、須恵器片が出土した。環は体部下半は指押さえによる整形で、口唇部には油煙が付着している。

第3号土坑

H・I-45グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.30m以上、短軸1.25m以上、深さ11cmを測る。主軸方位はN-29°-Eを指す。第4・5号溝と重複している。

第4号土坑(第11図)

J-43グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.86m、短径0.76m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-17°-Wを指す。

第5号土坑

J-43グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸0.68m、短軸0.49m以上、深さ14cmを測る。主軸方位はN-78°-Wを指す。

第6号土坑(第11図)

K-43グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈すると推定され、規模は長軸1.40m、短軸0.90m、深さ31cmを測る。主軸方位はN-45°-Eを指す。第9号土坑・第16号溝を切っている。

第7号土坑

K-43グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.62m以上、短軸1.38m以上、深さ15cmを測る。主軸方位はN-20°-Wを指す。第16号溝に切られている。

第8号土坑

K-43グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.62m以上、短軸1.03m以上、深さ20cmを測る。主軸方位はN-3°-Wを指す。第9・12号溝

と重複し、第12号溝に切られている。

第9号土坑(第11図)

K-43グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.22m、短軸0.81m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-73°-Wを指す。第16号溝を切り、第6号土坑には切られている。

第10号土坑(第11図)

K-42・43グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.15m、短軸1.03m、深さ38cmを測る。主軸方位はN-61°-Eを指す。

第11号土坑

L-46・47グリッドに位置する。東半は調査区外であるが、平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.65m、短軸1.60m以上、深さ12cmを測る。主軸方位はN-25°-Eを指す。

第12号土坑(第11図)

L-42・43グリッドに位置する。北側と西側は調査区外で、平面形は不整形を呈し、規模は長軸3.65m、短軸1.47m、深さ98cmを測る。主軸方位はN-27°-Eを指す。

第13号土坑(第11図)

L・M-42グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.79m、短軸1.18m、深さ50cmを測る。主軸方位はN-31°-Eを指す。

第14号土坑(第11図)

M-45グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸0.90m、短軸0.54m、深さ49cmを測る。主軸方位はN-72°-Wを指す。第15号土坑と重複している。

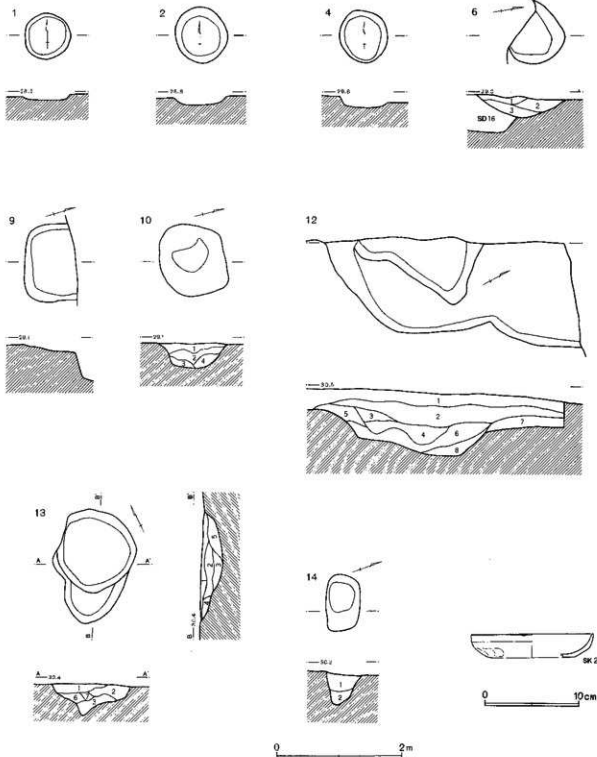
第15号土坑(第12図)

M-45グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.63m、短軸0.61m、深さ52cmを測る。主軸方位はN-21°-Eを指す。第14号土坑と重複している。

第16号土坑(第12図)

N-45グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を

第11図 土坑(1)



SK 6

- 1 褐色土 コーム粒 / 若干含む
- 2 灰・黄褐色 コーム粒 / 若干含む
- 3 褐色土 コームブロック含む

SK 10

- 1 暗褐色土 コームアブコク少し含む
- 2 褐色土 コーム粒子多く含む
- 3 褐色土 中不揃える
- 4 黄褐色土 粒粒

SK 12

- 1 暗褐色土 コーム粒 / 若干含む
- 2 暗褐色土 コームブロック・褐色土多く含む
- 3 褐色土 コームブロック・ローム粒子・褐色土含む
- 4 暗褐色土 コームブロック多量、陶片 / 褐色土含む 中不揃える
- 5 暗褐色土 コーム粒 / 若干含む
- 6 褐色土 コーム粒子・ブロック・褐色土多量含む
- 7 暗褐色土 コームブロック含む
- 8 黄褐色土 コームブロック少量含む

SK 13

- 1 暗褐色土 縁取りや中盛り
- 2 褐色土 黄褐色土含む
- 3 黄褐色土
- 4 黄褐色土
- 5 黄褐色土
- 6 褐色土 底面 縁取りなし
- 7 コームブロック

SK 14

- 1 暗褐色土 コームブロック含む
- 2 暗褐色土 コーム粒子若干含む

呈し、規模は長軸1.57m、短軸0.85m、深さ32cmを測る。主軸方位はN-39°-Eを指す。

第17号土坑(第12図)

N-45・46グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は直径1.83m、深さ27cmを測る。

第18号土坑(第12図)

N-44グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.19m、短軸0.59m、深さ46cmを測る。主軸方位はN-17°-Eを指す。

第19号土坑(第12図)

N-44・45グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.59m、短軸2.10m、深さ41cmを測る。主軸方位はN-36°-Wを指す。

第20号土坑(第12図)

N・O-45グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.00m、短軸0.67m、深さ65cmを測る。主軸方位はN-16°-Eを指す。

第21号土坑(第13図)

N-45グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長径0.89m、短径0.63m、深さ35cmを測る。主軸方位はN-5°-Eを指す。

第22号土坑(第13図)

N-45グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.98m、短軸0.83m、深さ65cmを測る。主軸方位はN-23°-Eを指す。

第23号土坑(第13図)

N・O-45グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸2.13m、短軸1.43m、深さ37cmを測る。主軸方位はN-73°-Wを指す。

第24号土坑(第13図)

O-44グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.18m、短軸0.63m、深さ73cmを測る。主軸方位はN-18°-Eを指す。覆土中より須恵器片が出土している。

第25号土坑(第13図)

O-44グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈し、規模は長径1.21m、短径0.98m、深さ9cmを測る。

主軸方位はN-66°-Eを指す。

第26号土坑(第13図)

N-43・44グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸2.12m、短軸1.66m、深さ49cmを測る。主軸方位はN-5°-Wを指す。第27号と重複している。覆土中より須恵器片が出土した。

第27号土坑(第13図)

N・O-43グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈し、規模は長軸1.98m、短軸1.54m、深さ52cmを測る。主軸方位はN-31°-Eを指す。第26号・第28号土坑と重複し、第28号土坑を切っている。

第28号土坑(第13図)

O-43・44グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.62m以上、短軸0.39m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-73°-Wを指す。第27号土坑に切られている。

第29号土坑(第14図)

N-43グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸3.06m、短軸1.97m、深さ49cmを測る。主軸方位はN-52°-Wを指す。

第30号土坑(第14図)

N・O-43グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.00m、短軸1.45m、深さ27cmを測る。主軸方位はN-49°-Eを指す。

第31号土坑(第14図)

N-41グリッドに位置する。平面形は不整形隅丸方形を呈し、規模は長軸1.56m、短軸1.12m、深さ17cmを測る。主軸方位はN-58°-Wを指す。

第32号土坑(第14図)

O-41グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は径1.55m、深さ42cmを測る。

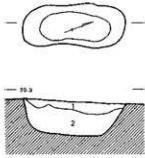
第33号土坑(第14図)

O-41グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.36m、短軸0.82m以上、深さ22cmを測る。主軸方位はN-23°-Eを指す。第20号溝と重複し、溝を切っている。

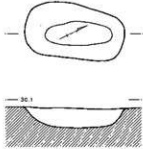
第34号土坑(第15図)

第12図 土坑(2)

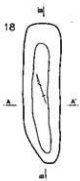
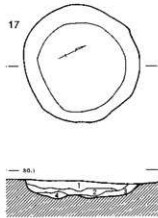
15



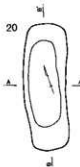
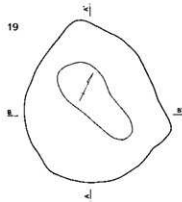
16



17



19



0 2m

SK 15

- 1 暗褐色土 ローム粒子若干含む
- 2 暗褐色土 ローム粒子・ブロック含む

SK 16

- 1 褐色土 ロームブロック若干含む 跡まり強い

SK 17

- 1 褐色土 ローム粒子多く含む
- 2 褐色土 ローム粒子少し含む
- 3 褐色土 ロームブロック含む
- 4 褐色土 ローム含む

SK 18

- 1 暗褐色土 ローム粒子含む
- 2 暗褐色土 ロームブロック含む

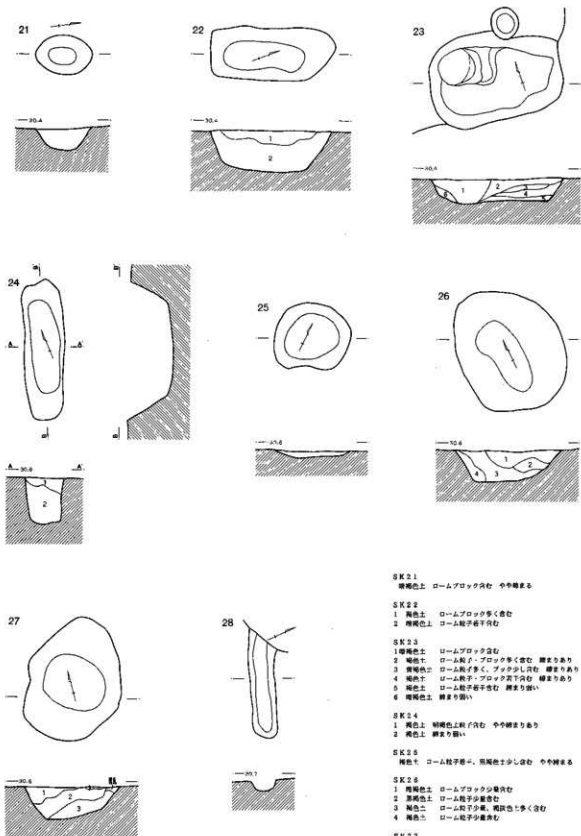
SK 19

- 1 暗褐色土 ローム粒子含む
- 2 暗褐色土
- 3 暗褐色土 ロームブロック含む
- 4 暗褐色土 ロームブロック・褐色土含む
- 5 褐色土 ロームブロック含む よく跡まる
- 6 暗褐色土 ロームブロック多く含む
- 7 暗褐色土 ローム粒子含む
- 8 褐色土

SK 20

- 1 暗褐色土 ロームブロック多く、炭化材・腐土粒子を含む
- 2 暗褐色土 跡まり強い
- 3 暗褐色土 ロームブロック多く含む

第13図 土坑(3)



SK 21
暗褐色土 ロームブロック含む やや締まる

SK 22
1 褐色土 ロームブロック多く含む
2 暗褐色土 ローム粒子若干含む

SK 23
1 暗褐色土 ロームブロック含む
2 暗褐色土 ローム粒子・ブロック多く含む 締まりあり
3 暗褐色土 ローム粒子多く、ブロック少し含む 締まりあり
4 暗褐色土 ローム粒子・ブロック若干含む 締まりあり
5 褐色土 ローム粒子若干含む 締まり弱い
6 暗褐色土 締まり弱い

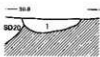
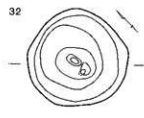
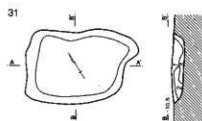
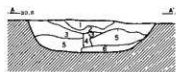
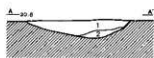
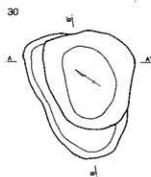
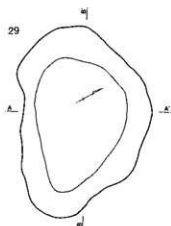
SK 24
1 褐色土 暗褐色土粒子含む やや締まりあり
2 褐色土 締まり弱い

SK 25
褐色土 ローム粒子若干、暗褐色土少し含む やや締まる

SK 26
1 暗褐色土 ロームブロック少量含む
2 暗褐色土 ローム粒子少量含む
3 褐色土 ローム粒子少量、暗褐色土多く含む
4 褐色土 ローム粒子少量含む

SK 27
1 強い暗褐色土 ロームブロック少し含む
2 強い暗褐色土 ロームブロック・粒子・褐色土多く含む
3 暗褐色土 ロームブロック多く含む

第14図 土坑(4)



0 2m

SK 29

- 1 黄褐色土 ローム粒子多量、ブロック少し含む
- 2 黄い黄褐色土 ロームブロック含む 藍斑
- 3 黄褐色土 ローム粒子少し含む
- 4 褐色土
- 5 黄褐色土 ローム粒子多量含む
- 6 黄い黄褐色土
- 7 明黄褐色土 黄い黄褐色土少量含む

SK 30

- 1 黄い黄褐色土 ロームブロック少し含む
- 2 灰黄褐色土 ロームブロック・藍色土多く含む

SK 31

- 1 褐色土 黄い黄褐色土粒下を含む
- 2 明黄褐色土 褐色土少量含む
- 3 黄い黄褐色土 褐色土少量含む

SK 32

- 1 黄い黄褐色土
- 2 暗褐色土 ロームブロック少し含む 藍斑
- 3 褐色土 ロームブロック多く含む 藍斑
- 4 褐色土 ローム粒子含む 藍斑

SK 33

- 1 黄褐色土

O-42グリッドに位置する。平面形は不明であるが、規模は長軸1.19m、短軸0.94m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-50°-Eを指す。第35・36号土坑に切られている。

第35号土坑(第15図)

O-42グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸0.97m以上、短軸0.84m以上、深さ33cmを測る。主軸方位はN-54°-Eを指す。第34号・第36号土坑と重複し、第34号土坑を切っている。

第36号土坑(第15図)

O・P-42グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.26m、短軸0.92m、深さ59cmを測る。主軸方位はN-84°-Eを指す。第34・35・37号土坑と重複し、第34号土坑を切っている。

第37号土坑(第15図)

O・P-42グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.73m、短軸1.59m、深さ49cmを測る。主軸方位はN-12°-Eを指す。第36号土坑と重複している。

第38号土坑(第15図)

O-44グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.40m以上、短軸1.28m以上、深さ27cmを測る。主軸方位はN-83°-Eを指す。第39号土坑に切られている。

第39号土坑(第15図)

O-44グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.90m、短軸0.63m、深さ63cmを測る。主軸方位はN-20°-Eを指す。第38号土坑を切っている。

第40号土坑(第15図)

P-44グリッドに位置する。南東端が調査区外であるが、平面形は長楕円形を呈し、規模は長軸2.50m以上、短軸0.67m、深さ65cmを測る。主軸方位はN-18°-Eを指す。

第41号土坑(第15図)

P-44グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.79m、短軸1.62m、深さ45cmを測る。

主軸方位はN-22°-Eを指す。

第42号土坑(第16図)

P-44グリッドに位置する。平面形は長楕円形を呈し、規模は長軸2.53m、短軸0.69m、深さ65cmを測る。主軸方位はN-23°-Eを指す。

第43号土坑(第16図)

Q-43グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.25m、短軸0.55m、深さ8cmを測る。主軸方位はN-80°-Wを指す。

第44号土坑(第16図)

Q-42グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.25m、短軸0.85m、深さ7cmを測る。主軸方位はN-82°-Wを指す。

第45号土坑(第16図)

Q-40グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.87m、短軸0.52m、深さ6cmを測る。主軸方位はN-10°-Eを指す。

第46号土坑(第16図)

Q-40グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.52m、短軸0.81m、深さ5cmを測る。主軸方位はN-55°-Wを指す。

第47号土坑(第16図)

Q-40グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.24m、短軸0.99m、深さ29cmを測る。主軸方位はN-84°-Wを指す。

第48号土坑(第16図)

S・T-42グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸2.02m、短軸1.18m、深さ41cmを測る。主軸方位はN-85°-Eを指す。

第49号土坑(第16図)

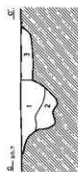
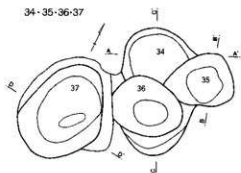
T-42グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸0.86m、短軸0.64m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-12°-Eを指す。

第50号土坑(第16図)

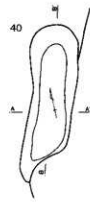
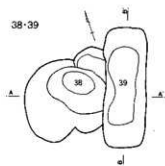
T-42グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸2.02m、短軸1.09m、深さ21cmを測る。主軸方位はN-18°-Eを指す。

第15図 土坑(5)

34-35-36-37



38-39



0 2m

SK 34-37

A-A'

黒褐色土 灰質褐色土・ローム多く含む

B-B'

1 黄い黄褐色土 ローム粒子・褐色土上・ロームブロック含む 腐植
2 褐色土 ローム・ロームブロック多く含む 腐植

C-C'

1 黄い黄褐色土 ローム粒子・ブロック、灰色多く含む
2 褐色土 ローム・ブロック多く含む 腐植
3 黒褐色土 灰質褐色土・ローム多く含む

D-D'

1 黄い黄褐色土 ローム粒子若干含む
2 黄い黄褐色土 ロームブロック・ロームブロック・黒色土穴含む
3 黄い黄褐色土 ロームブロック多く含む腐植層(腐) 腐植

SK 39・SK 38

1 褐色土上 明褐色ブロック含む 中々雑りあり
2 暗褐色土 雑りあり
3 黄褐色土
4 褐色土
5 褐色土 明褐色土穴含む
6 暗褐色土

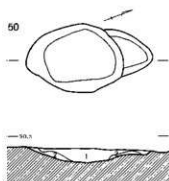
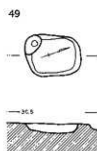
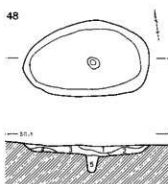
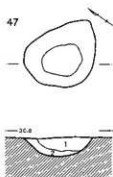
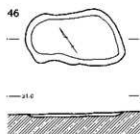
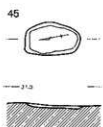
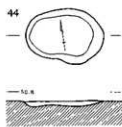
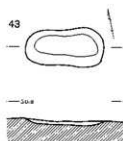
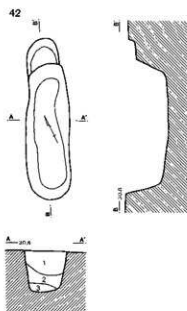
SK 40

1 褐色土上 ロームブロック含む 中々雑りあり
2 ロームブロック

SK 41

1 褐色土上 明褐色ブロック多く含む
2 明褐色土

第16図 土坑(6)



- NK 42
 1 暗褐色土 ローム散りを含む
 2 暗褐色土 ロームブロック状を含む
 3 黄褐色土 ロームブロック多量を含む

NK 43
 ①黄褐色土 ソフトローム含む 腐乱 締まり弱い

SK 44
 暗褐色土 ローム塊状多量を含む 腐乱 締まり弱い

SK 45
 ①②黄褐色土 ローム散りを含む 腐乱 締まり弱い 腐乱

SK 46
 暗褐色土 ソフトローム含む 腐乱 締まり弱い 腐乱

SK 47
 1 暗褐色土
 2 暗褐色土 中々締まりあり

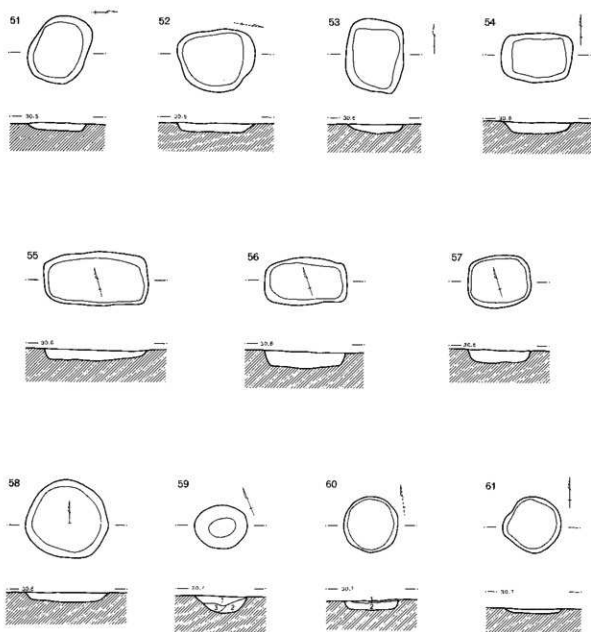
- SK 48
 1 暗褐色土 腐乱 腐乱
 2 暗褐色土 ローム散り多量を含む やや締まる
 3 暗褐色土 腐乱 腐乱
 4 黄褐色土 ローム多量を含む やや締まっている
 5 黄褐色土 ロームブロック・暗褐色土ブロック多量を含む 中々締まる 腐乱

SK 49
 暗褐色土 ロームブロック含む 腐乱 腐乱

SK 50
 1 暗褐色土 ロームブロック・黄褐色土散りを含む やや締まる
 2 黄褐色土 ロームブロック含む

0 2m

第17図 土坑(7)



0 2m

SK 5 1 褐色土 黄褐色土多く含む 締まり強い

SK 5 2 赤褐色土 ロームブロック状 締まり強い

SK 5 3 褐色土 締まりなし

SK 5 4 赤褐色土 黄褐色土状 / 黄褐色土

SK 5 5 褐色土 黄褐色土粒子散見含む

SK 5 6 褐色土 黄褐色土粒子若干含む

SK 5 7 褐色土

SK 5 8 褐色土 黄褐色土粒子 / 黄褐色土 / 褐色土層 / 含む

SK 5 9

1 赤褐色土 ローム粒子層中に含む 黄褐色物粒子多い

2 赤褐色土 黄褐色物層中に含む 締まり強い

3 褐色土 ローム粒子多く、黄褐色物層中に含む

SK 6 0

1 黄褐色土 ローム粒子多く、黄褐色物層中に含む

2 黄褐色土 ローム粒子 / 黄褐色物層中に含む

SK 6 1

1 黄褐色土 ローム粒子多量、黄褐色物層中に含む

第51号土坑(第17図)

V-41グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.08m、短軸0.87m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-71°-Wを指す。

第52号土坑(第17図)

V-41グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈し、規模は長径1.24m、短径0.99m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-9°-Wを指す。

第53号土坑(第17図)

V-40グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.13m、短軸0.91m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-3°-Eを指す。

第54号土坑(第17図)

V-40グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.13m、短軸0.77m、深さ17cmを測る。主軸方位はN-88°-Wを指す。

第55号土坑(第17図)

W-39・40グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.64m、短軸0.85m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-75°-Wを指す。

第56号土坑(第17図)

W-39・40グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.30m、短軸0.74m、深さ27cmを測る。主軸方位はN-70°-Wを指す。

第57号土坑(第17図)

W-39グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.01m、短軸0.82m、深さ19cmを測る。主軸方位はN-74°-Wを指す。

第58号土坑(第17図)

W-38グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.30m、短径1.22m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-83°-Eを指す。

第59号土坑(第17図)

AB-35グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.82m、短径0.70m、深さ26cmを測る。主軸方位はN-89°-Wを指す。

第60号土坑(第17図)

AC-35グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.88m、短径0.84m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

第61号土坑(第17図)

AC-37グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.92m、短径0.88m、深さ7cmを測る。主軸方位はN-81°-Eを指す。

(3) 溝

第1号溝(第18図)

G-47・48、H-46~49グリッドに位置する。東西方向から南北方向に鈍角に屈曲し、第2号溝とはほぼ平行している。確認できた長さは約27m、幅約0.3m、深さ約10cmを測る。断面形は皿状である。

第2号溝(第18図)

H-47・48、I-48グリッドに位置する。第1号溝と同様に東西方向から南北方向に鈍角に屈曲し、第1号溝とはほぼ平行している。確認できた長さは約22m、幅約0.5~0.7m、深さ約30~60cmを測る。断面形は逆台形である。

覆土中より近世陶器が出土した。

第3号溝(第19図)

H-45、I-44・45グリッドに位置する。確認できた長さは約12.5m、幅約0.3~0.4m、深さ約15cmを測る。溝はN-25°-Eの方向に延び、北端は調査区域外に延びている。第4号溝と重複し、第4号溝に切られている。

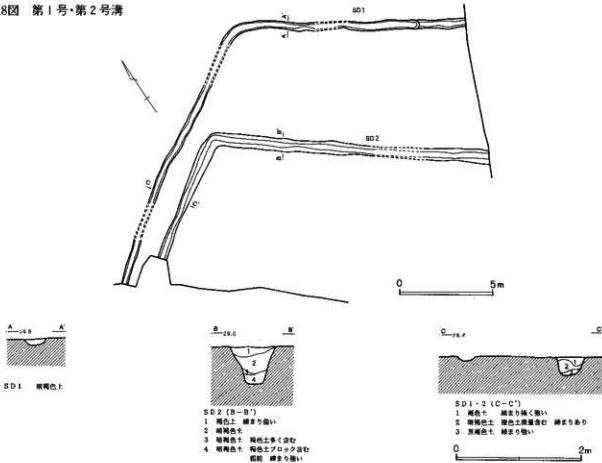
第4号溝(第19図)

H-45・I-45・46グリッドに位置し、第3・5号溝、第3号土坑と重複している。確認できた長さは約16m、幅約0.5~0.8m、深さ約30cmを測る。南端で西に屈曲し、北端と西端は調査区域外に延びている。断面形は逆台形である。第3号溝と南北方向では並行し、第3・5号溝を切っている。

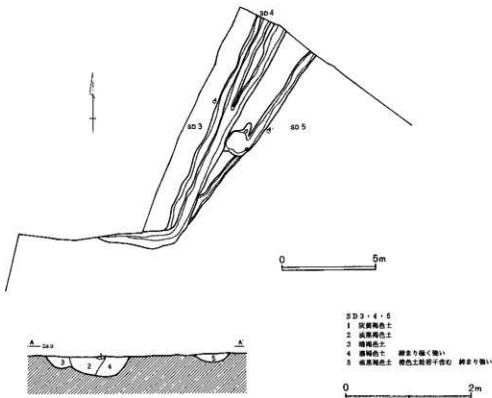
第5号溝(第19図)

H・I-45グリッドに位置し、第4号溝・第3号土

第18図 第1号・第2号溝



第19図 第3号～第5号溝



坑と重複している。溝北端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約10.5m、幅約0.4～0.5m、深さ約14cmを測る。断面形は皿状である。溝はN-38°-Eの方向に延びる。第4号溝に切られている。

第6号溝(第20図)

J・K-46グリッドに位置している。第10号溝の北端から、N-40°-Wの方向にやや湾曲しながら延びている。確認できた長さは約9.5m、幅約0.4m、深さ約6～10cmを測る。断面形は逆台形である。

第7号溝(第20・21図)

J-43、K-43-46グリッドに位置している。溝西端は第12号溝と、東端は第10号溝とつながっている。溝中央付近で第8号溝と合流する。確認できた長さは約33m、幅約0.7～0.9m、深さ約30cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-70°-Wの方向に延びる。

第8号溝(第20・21図)

K-44-46、L-46グリッドに位置している。第7号溝と平行に約22m延び、ほぼ直角に北へ屈曲し第7号溝に合流している。幅約0.8～1.4m、深さ約16cmを測る。断面形は皿状である。溝はN-75°-Wの方向に延びる。

第9号溝(第20・21図)

K-43-45、L-44-46グリッドに位置している。溝西端は第12号溝とつながり、東端寄り第10号溝と重複している。第8号溝と平行して延び、第8号溝が北へ直角に曲がる位置付近で鈍角に北へ曲がっている。確認できた長さは約38m、幅約0.9～2.0m、深さ約20～60cmである。断面形は逆台形である。溝西半でN-53°-W、東半でN-75°-Wの方向に延びる。

第10号溝(第20図)

K-46・47、L-45・46グリッドに位置している。第6号・7号溝と合流し、第9号・第11号溝と重複し、第9号溝を切っている。溝南端及び東端は調査区域外に延びている。クランク状に3カ所でそれぞれほぼ直角に屈曲している。幅は約1.3～4m、深さ約20～60cmである。

第11号溝(第20図)

L-46グリッドに位置する。溝中央付近で鈍角に屈曲し、そこで第10号溝に重複している。溝南端及び東端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約6m、幅約1.2～1.6m、深さ約45～60cmである。断面形は逆台形である。

第12号溝(第20・21図)

J・K-43グリッドに位置する。溝北端は調査区域外に延びている。第13号溝・第8号土坑と重複し、第7号溝と合流している。確認できた長さは約7m、幅約0.5m、深さ約12cmである。断面形は逆台形である。溝はN-12°-Eの方向に延びる。

第13号溝(第20・21図)

J・K-43グリッドに位置する。溝北端及び南端は調査区域外に延びている。第12号溝と重複している。確認できた長さは約14m、幅約2.8m、深さ約48cmである。断面形は逆台形である。溝はN-12°-Eの方向に延びる。

第14号溝(第20図)

J-43グリッドに位置する。溝西端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約3m、幅約0.6～1.7m、深さ約17～25cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-60°-Wの方向に延びる。

第15号溝(第20図)

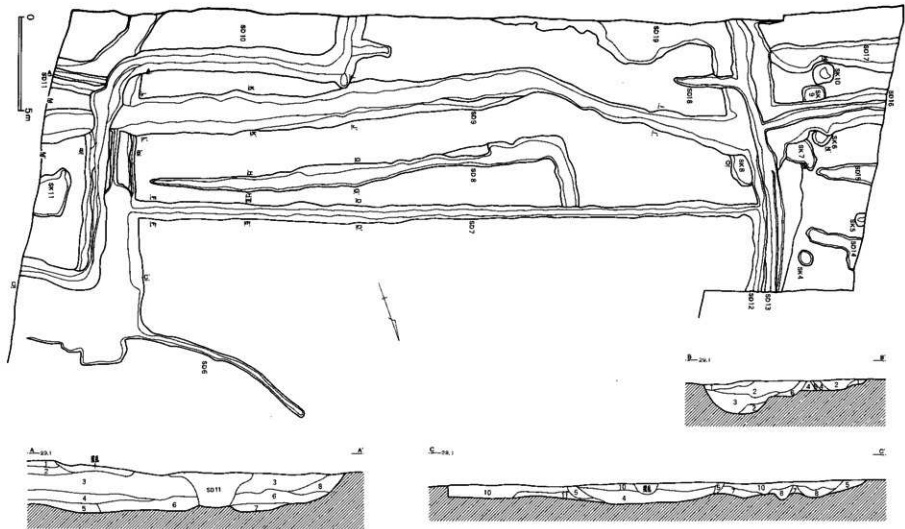
J-42・43グリッドに位置する。溝西端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約3m、幅約1.1m、深さ約10cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-60°-Wの方向に延びる。

第16号溝(第20・21図)

K-42・43グリッドに位置する。溝西端は調査区域外に延び、東端は第13号溝と直交し合流している。また第6号・第9号土坑と重複し、両土坑に切られている。確認できた長さは約6m、幅約1.8m、深さ約52cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-80°-Wの方向に延びる。

第17号溝(第20図)

K-42・43グリッドに位置する。溝西端は調査区域



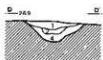
SD10 (A-A')

- 1 凝灰褐色土
- 2 暗褐色土 ロームブロック含む
- 3 暗褐色土
- 4 暗褐色土 黄褐色土層より黒子含む
- 5 凝灰褐色土 黄褐色土層より黒子含む 締まり悪い
- 6 凝灰褐色土 黄褐色土層より黒子多く、カーボン粒子若干含む
- 7 以黄褐色土 黄褐色土層より黒子多く含む 締まり悪い
- 8 暗褐色土

SD10 (B-B'・C-C')

- | | |
|-----------------------|-------------------------|
| 1 凝灰褐色土 | 7 凝灰褐色土 |
| 2 暗褐色土 黄褐色土層含む | 8 褐色土 褐色土層下含む 締まりややあり |
| 3 ローム凝灰土 暗褐色土含む | 9 凝灰褐色土 褐色土層含む |
| 4 凝灰褐色土 褐色土層下含む 締まり悪い | 10 凝灰褐色土 褐色土層含む 締まりややあり |
| 5 暗褐色土 黄褐色土層より黒子含む | 11 暗褐色土 |
| 6 暗褐色土 黄褐色土層より黒子含む | |

第21図 第6号～第19号溝(2)



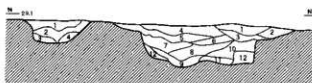
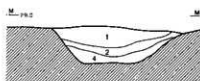
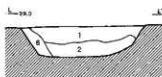
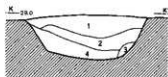
- SD7 (D-O'・E-B'・F-F')
- 1 黄褐色土 段々状褐色土と混成土
 - 2 黄褐色土 黄褐色土毛混成土
 - 3 黄褐色土 黄褐色土毛少し含む 中々締まりあり
 - 4 黄褐色土 粘質



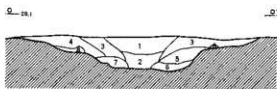
- SD8 (G-O'・H-H')
- 1 黄褐色土 黄褐色土毛混成土含む 粘質
 - 2 灰褐色土 褐色土少し含む
 - 3 褐色土 ローム含む 中々締まりあり



- SD9 (I-I'・J-J'・K-K'・L-L'・M-M')
- 1 黄褐色土 ローム混り含む 粘質 砂質
 - 2 暗褐色土 ローム混り含む 粘質
 - 3 暗褐色土 粘まり強い
 - 4 暗褐色土 ローム混り多く含む 粘質
 - 5 暗褐色土 粘まり強い
 - 6 黄褐色土



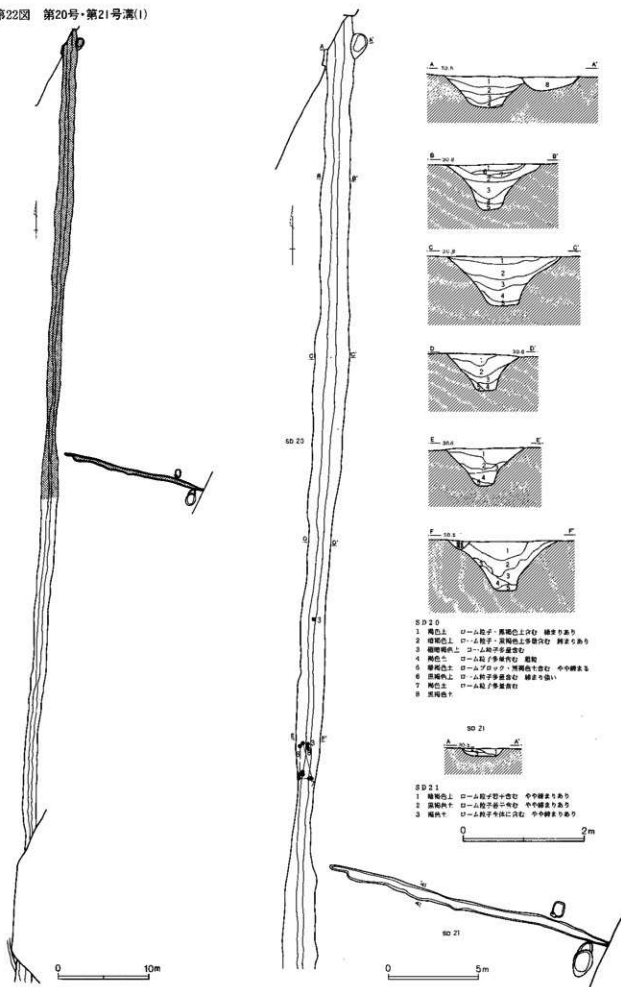
- SD9・16・28K9・10・6 (N-N')
- 1 褐色土 ローム混り多量含む
 - 2 黄褐色土 ローム混り多量含む
 - 3 褐色土 ロームブロック含む
 - 4 黄褐色土 ロームブロック含む
 - 5 褐色土 ローム混り多量含む
 - 6 黄褐色土 ローム混り多量含む
 - 7 黄褐色土 ローム混り多量含む 粘質
 - 8 褐色土 ロームブロック含む
 - 9 黄褐色土 ロームブロック含む
 - 10 褐色土 ロームブロック含む
 - 11 暗褐色土 中々粘質 粘まりあり
 - 12 褐色土 中々粘質 粘まりあり

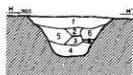
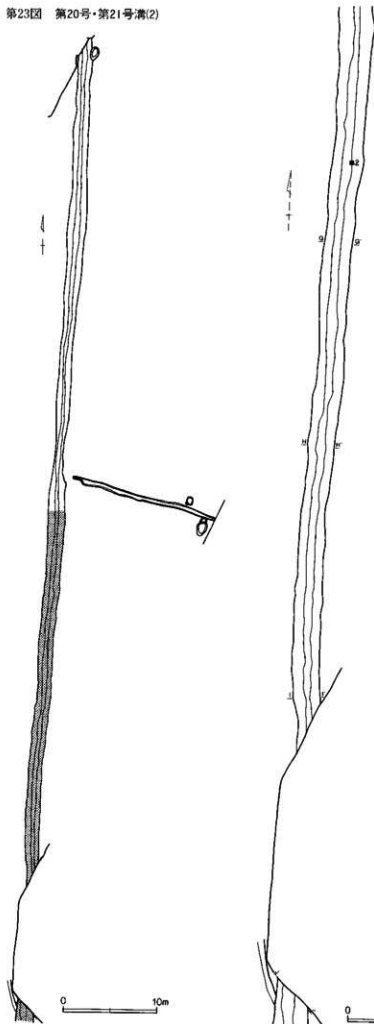


- SD12・13・28K8 (O-O')
- 1 黄褐色土 粘まり強い
 - 2 暗褐色土 ローム混り多量含む 粘まり若干あり
 - 3 暗褐色土 ローム混り多量含む 粘質
 - 4 暗褐色土 ローム混り、ローム多量含む 粘まり中々強い
 - 5 暗褐色土 黄褐色土、ロームブロック含む
 - 6 褐色土 粘り粘まり強い
 - 7 褐色土 ローム混り多量含む
 - 8 褐色土



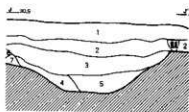
第22図 第20号・第21号溝(1)





S-D 20 (O-O'・H-H'・I-I')

- 1 暗褐色土 黄褐色土粒子散在含む
- 2 暗褐色土 黄褐色土粒子多量含む やや締まりあり
- 3 暗褐色土 黄褐色土粒子多量含む 腐敗
- 4 暗褐色土 黄褐色土粒子散在含む
- 5 暗赤褐色土 締まりなし
- 6 褐色土
- 7 暗褐色土
- 8 暗褐色土 締まりなし
- 9 暗褐色土 黄褐色土多量含む 締まり強い
- 10 暗褐色土 締まりなし
- 11 黄褐色土 締まり強い



S-D 20 (J-J')

- 1 褐色土
- 2 暗褐色土 黄褐色土粒子多く含む
- 3 暗褐色土 黄褐色土粒子多量含む 締まり強い
- 4 褐色土 黄褐色土粒子多量含む、ロームブロック多く含む
- 5 褐色土 黄褐色土ブロック多量含む 締まり強い
- 6 褐色土 黄褐色土粒子多量含む 締まり強い
- 7 褐色土 ロームブロック多く含む



外に及び、東端は13号溝と接している。確認できた長さは約6.5m、幅約1.0~1.8m、深さ約6cmを測る。断面形は逆台形である。

第18号溝(第20図)

K-43グリッドに位置する。溝東端は第13号溝と合流している。確認できた長さは約3m、幅約0.6m、深さ約26cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-70°-Wの方向に延びる。

第19号溝(第20図)

K・L-43・44グリッドに位置する。溝南半分が調査区域外にかかり、西端は第13溝と重複している。確認できた長さは約12m、幅約2.2m以上、深さ約15cmを測る。

第20号溝(第22・23図)

O-U-41、S-X-40グリッドにわたって位置する。溝北端は調査区域外に及び、南は国道254号線建設用地内で検出された溝に続いている。確認できた長さは約89m、幅約1.3m、深さ約60cmを測る。断面形は箱築研堀である。溝はN-3°-Eの方向に延びる。

出土遺物(第24・25図)

覆土中より平瓦3点の他、縄文土器片、黒曜石が出土している。瓦は覆土中層付近からの出土である。縄文土器はS-41グリッド北西隅に多い。またT-41グリッド北東隅の2カ所に集中し、溝覆土の上層から中層にかけて出土した。

縄文土器(第24図)

1~3は、緩やかな波状口縁で、地文に縄文を施文し、微隆起線文により口縁部との無文帯を区画する。

3は細く浅い沈線が斜めに垂下し、区画内には縄文を施文する。

4は口縁に平行する沈線文が口縁部の無文帯を区画する。垂下する沈線文と逆U字状沈線文を描出し、区画内に縄文を施文する。

5~8は胴部の破片で細い沈線文が垂下し、縄文LRを施文する。6・8は胴部文様に磨り消し部を持つ。

9は底部の破片で木葉痕がみられる。

第21号溝(第22・25図)

S-41、T-41・42グリッドに位置する。溝東端は調査区域外に及びている。確認できた長さは約16m、幅約0.6m、深さ約12cmを測る。断面形は皿状である。溝はN-78°-Wの方向に延びる。

覆土中より瓦1点が出土した。

第22号溝(第26図)

T-39、U・V-38・39、W-38グリッドに位置する。溝南端は久保原古墳を切る。確認できた長さは約32m、幅約0.5m、深さ約20cmを測る。溝はN-17°-Eの方向に延びる。

覆土中より須恵器甕の破片が出土した。

第23号溝(第26図)

W-37・38グリッドに位置する。規模は長さ約10.5m、幅約0.4m、深さ約14cmを測る。断面形は皿状である。溝はN-70°-Wの方向に延びる。

第24号溝(第26図)

W-36・37グリッドに位置する。規模は長さ約6m、幅約0.6m、深さ約14cmを測る。断面形は皿状である。溝はN-85°-Wの方向に延びる。

第25号溝(第27図)

Z・AA・AB-36、AC-36・37グリッドにわたって位置する。溝北端及び南端は調査区域外に及びている。第26号・第27号・第30号溝と重複している。確認できた長さは約31.5m、幅約0.5m、深さ約24cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-5°-Wの方向に延びる。

出土遺物(第28図)

覆土中より瓦7点の他、須恵器甕の破片が出土した。

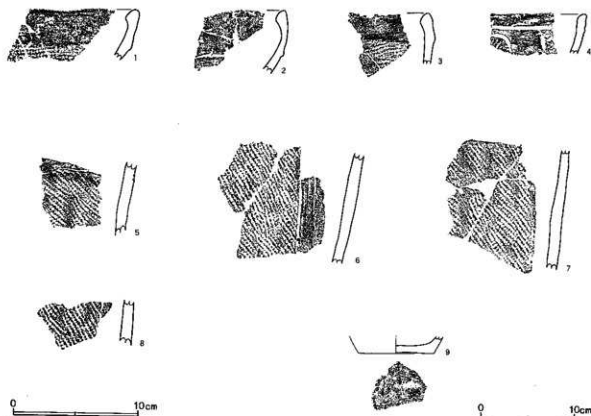
第26号溝(第27図)

AA・AB-37、AB・AC-36グリッドにわたって位置する。第25号・第28号溝重複している。規模は長さ約23m、幅約0.4m、深さ約14cmを測る。断面形は皿状である。溝はN-18°-Eの方向に延びる。

第27号溝(第27図)

AA-37、AB-36・37、AC-36グリッドにわたって位置する。第25号溝に合流している。規模は長さ約

第24図 第20号溝出土遺物



16m、幅約0.4m、深さ約5cmを測る。溝北端が二方向に分かれている。断面形は皿状である。溝はN-26'-Eの方向に延びる。

第28号溝(第27図)

AB-35・36、AC-35・36グリッドに位置する。第26号溝にはほぼ直角に合流している。規模は長さ約13m、幅約0.9m、深さ約20cmを測る。断面形は皿状である。溝はN-75'-Wの方向に延びている。

第29号溝(第27図)

AB・AC-37グリッドに位置する。溝南端は調査区域外に延びている。第30号溝と重複している。確認できた長さは約12m、幅約2m、第30号溝と重複しているところは幅約4m、深さ約24cmを測る。溝はN-8'-Wの方向に延びている。

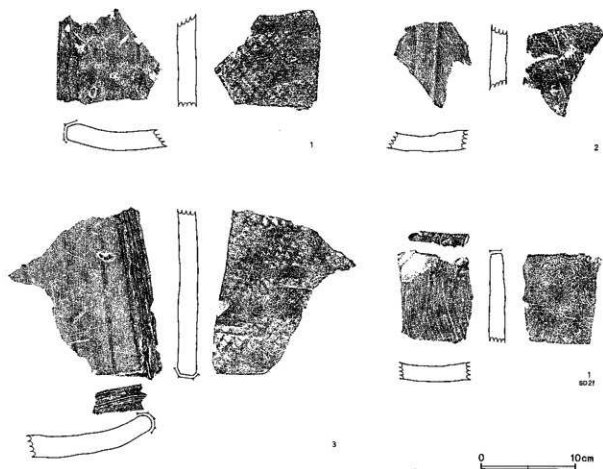
覆土中より須恵器環・高台付鉢・甕、土師器甕の破片が出土した。

第30号溝(第27図)

AC-36・37グリッドに位置する。溝南端は調査区域外に延びている。第25号・第29号溝と重複している。確認できた長さは約5m、幅約1m、深さ約32cmを測る。溝はN-75'-Wの方向に延びている。

覆土中より須恵器環の破片が出土した。

第25図 第20号・第21号出土遺物



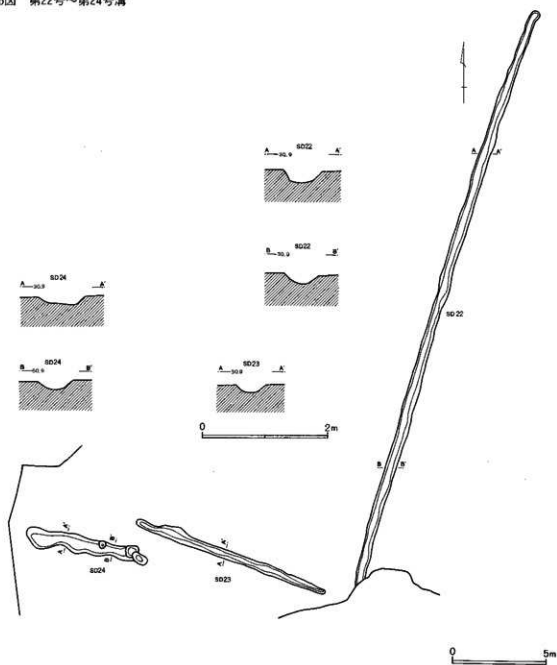
第20号溝出土瓦観察表(第25図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	横骨直幅	特徴	叩き	特徴					
1	23×25	4.0	布目痕	格子叩き	格子叩き後横方向ナゾ	へら整形 両面面取り	1.9	S	I	鈍い黄橙
2	28×33	2.4	布目痕	平行叩き	平行叩き後斜方向ナゾ		1.9	S	I	黄橙
3	23×28	3.7	布目痕 側端際へら整形	格子叩き	格子叩き後横方向ナゾ	へら整形 両面面取り	2.3	S	I	黄灰

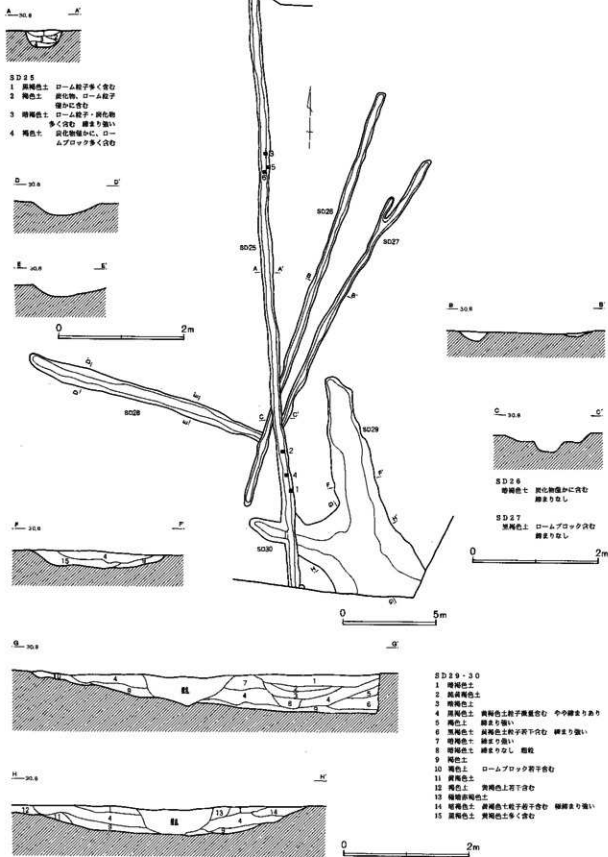
第21号溝出土瓦観察表(第25図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	横骨直幅	特徴	叩き	特徴					
1	24×29	2.5	布目痕 糸切り痕		横方向ナゾ	へら整形	1.7	AS	I	鈍い黄橙

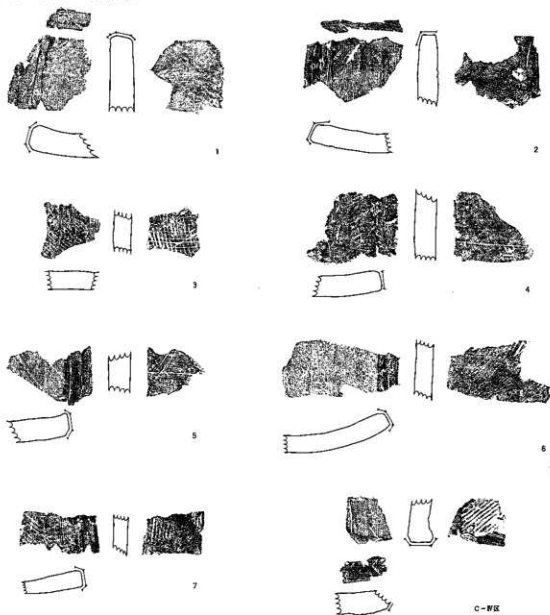
第26图 第22号~第24号溝



第27図 第25号～第30号溝



第28図 第25号溝出土・表採遺物



C-17E

0 10cm

第25号溝出土土瓦観察表(第28図)

番号	門面		凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	横骨縦幅	特徴	叩き特徴					
1	26×28	3.5	布目痕 一部糸切り痕	格子叩き	格子叩き後横方向ナデ	2.6	S	I	灰黄褐
2	29×31	4.0	布目痕 側端隠横・縦方向ナデ 縦位指ナデ		横方向隠ナデ	2.1	AS	I	鈍い黄橙
3			糸切り痕・布目痕	平行叩き 1.6/5本	平行叩き後横方向ナデ	1.9	ABS	I	橙
4			布目痕・糸切り痕	平行叩き	平行叩き後横方向ナデ	2.2	ABS	II	鈍い黄橙
5	28×35	2.5	布目痕・糸切り痕		横方向隠ナデ	2.3	ABS	I	橙
6	25×30	2.8	布目痕	平行叩き	平行叩き後横・斜方向ナデ	2.0	BS	I	鈍い黄橙
7		2.8	布目痕	平行叩き 1.6/5本	平行叩き後横方向ナデ	1.8	AS	II	浅黄

C-IV区出土瓦観察表(第28図)

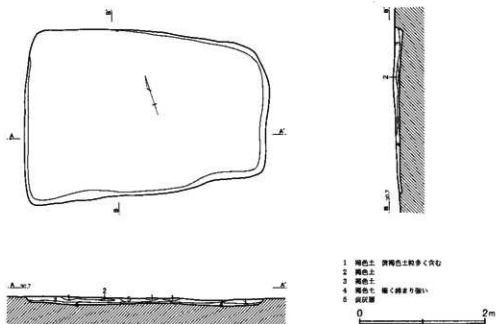
番号	凹面		凸面		短面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	横骨幅	特徴	叩き特徴					
1	27×35		布目痕 縦方向ナデ	平行叩き 平行叩き後ナデ 1.8/5本	ヘラ整形 両面取	2.2	AS	I	浅黄粉

(4) その他の遺構

第1号竪穴状遺構(第29図)

T-39・40、U-39・40グリッドに位置する。長軸3.88m、西壁辺2.80m、東壁辺2.1mの台形をしてい
る。深さは4~13cmを測る。主軸はN-73-Wを指す。

第29図 第1号竪穴状遺構



IV 上川入遺跡の調査

1 遺跡の概要

上川入遺跡は、東松山台地が東に延び更に細くなり南東方向へ延びる南縁、都幾川の沖積地を挟み高坂台地・岩殿丘陵を望むところに位置する。台地は北側を吉見丘陵との間を市野川によって開析され、南側は蛇行して流れる都幾川の沖積地が広がっている。

台地は直接沖積地に面するのではなく、台地と沖積地との間に低台地が広がっている。

遺跡は台地の肩部から、低台地に下りる斜面部と低台地部に広がり、南端は台地から沖積地に注ぐ雨水の流路となっている。標高は台地肩部が30.5m、肩部から南50mほどで斜面の裾となり標高23.5m、南端で標高21.5mとなり、西浦遺跡との境となっている流路が最も低くなっており平坦ではなく徐々に南に向かって下っている。

遺跡は低台地のほぼ平坦な部分を東西に延びて広がっており、今回の調査は遺跡の西端を南北に横断するような調査区である。北には山王裏遺跡、南には西浦遺跡が接しており、両遺跡に挟まれている。

調査では、先土器時代、奈良・平安時代、そして中世以降の遺構・遺物が検出された。

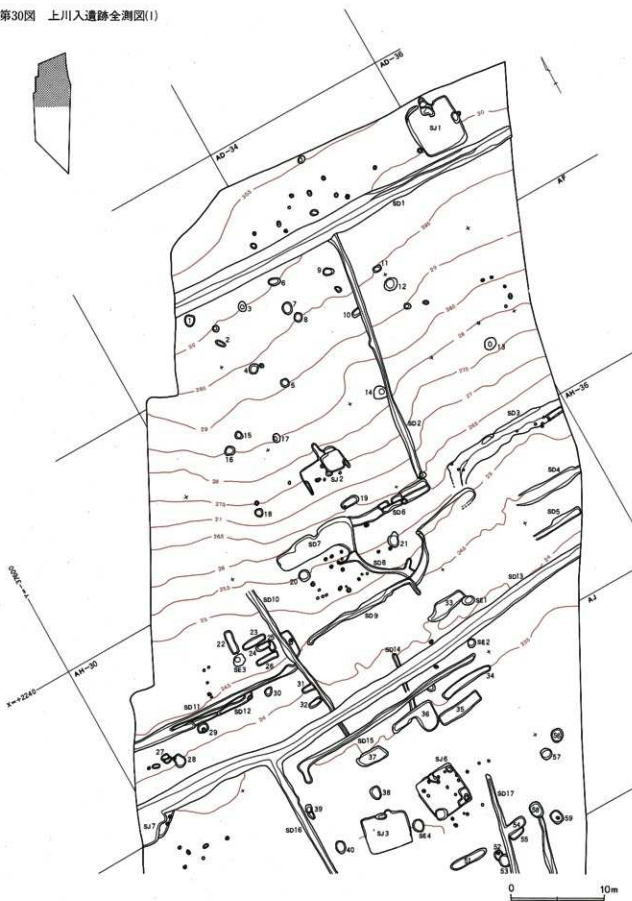
先土器時代は、台地の肩部で確認され、石器の集中区という状況ではなく非常に疎らではあるが、ナイフ形石器・石錐・剥片・磨石・礫器が出土した。

奈良時代は住居跡3軒、奈良時代の瓦が多数出土している土坑1基の他に、同種の瓦を出土する台地の肩部をほぼ東西に延びる溝が検出されている。奈良時代の住居跡は、北と東にカマドをもつ第1号住居跡が台地の肩部にあるほかは低台地に位置する。第68号土坑は低台地部の南部に位置し、山王裏遺跡で以前調査された寺院跡から出土した瓦と同種類の奈良時代の平瓦片多数と丸瓦片1点を出土した。また、台地肩部の溝は、山王裏遺跡で検出された南北に延びる溝と直交するように延びており、基壇を囲む南辺の地割り溝と推定される。

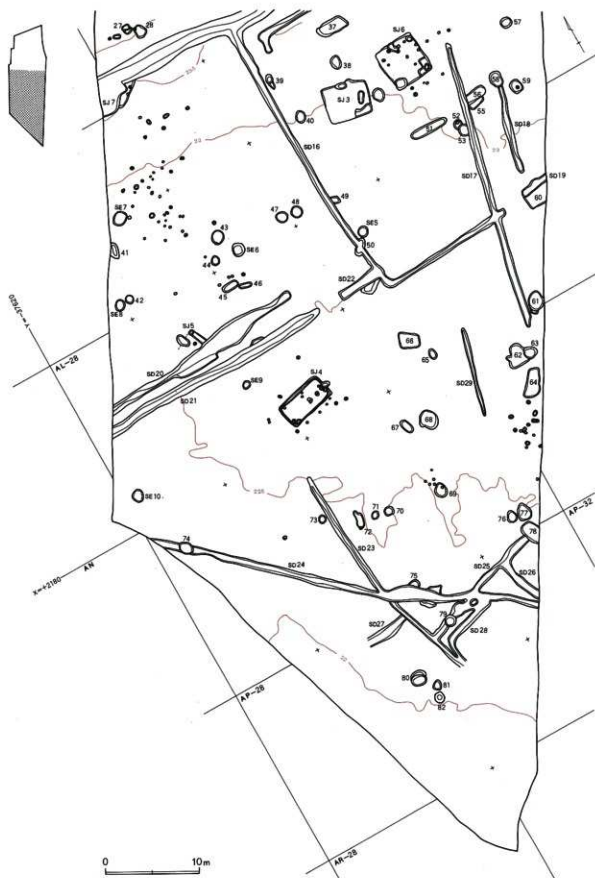
平安時代の住居跡は4軒で、1軒は斜面に位置し南壁が確認できなかったが、住居跡北東隅に床下土坑が検出された。第3号住居跡は唯一平面形は長方形で、東壁にカマドを持ち、住居跡の中で最も新しい時期のものである。第13号溝西端の第7号住居跡は貼り床の一部の検出であるが、出土した土師器甕は、胎土に雲母を多量に含むものと、白色小礫を多く含むものがあり、他の甕との違いは顕著で異質のものである。

溝は各時代の遺物が混入しており時期が確定できるものは少なく、台地上の東西に延びる溝が奈良時代、第7号住居跡と重複している第13号溝は東西方向からやや偏して延びており、瓦片も出土し奈良時代から中世の土器を出土しており、台地上の溝との関連は不明である。

第30図 上川入遺跡全測図(1)



第31図 上川入遺跡全測図(2)



2 検出された遺構と遺物

(1) 先土器時代

先土器時代の遺物は、調査区北端の台地の肩部から斜面にかかる範囲で出土した。

各グリッドに5×5mの深掘部を市松模様状に設定し、遺物が出土した深掘部は周囲を拡張して調査を行った。石器は集中して検出されたものではなく、ある程度まとまってはいるが、散布しているような出土状況であった。

比較的まとまっているのは、AD-33グリッドの南東隅から、AD-35グリッド南西隅である。

地形的には、東松山台地上で、台地の南縁の南斜面の肩部にあたる。標高は29.5～30.3mの間で南側に大きく傾斜している。

基本土層は、表土は30cm程度、1層は部分的なハードロームで、2層から3層は厚さ60cm前後でソフトローム層が堆積する。4層はハードロームが30cmの厚さで堆積する。5層もハードローム層である。

石器は3層のソフトローム層下部の層位から出土し、4層以下のハードローム層中からは出土しなかった。石器類は、ナイフ形石器・石錐・剥片・礫器・磨石が出土した。

石器(第33図)

ナイフ形石器(1)

外形は砲弾状に近く、左右対象である。最大幅が基部中程にあり、基端部までそれほど幅を減じない。素

材剥片は、基端面に単剥離の打面を残す縦長剥片で、主要剥離と正面の剥離面の剥離方向はほぼ同じである。調整加工は、左側下半部に微細な剥離が施されている。

石錐(2)

石材はあまり良質でないチャートが用いられており、縄文時代の石器かとも思われるが、出土地点が礫器・磨石・剥片類と近接しており、先土器時代の蓋然性が高い。

左側縁の一部を欠損する。外形は基端が尖り尖頭器状をしている。素材剥片は、横長剥片の打面側を裏面から折断している。調整加工は右側縁に比較的平坦な剥離が規則的に施され、先端付近に細かい剥離加工が見られる。また、先端付近の裏面に細かい平坦剥離が観察できる。

剥片(3～6)

4の黒曜石製を除くと、他はガラス質黒色安山岩製である。いずれも縦長剥片で、打面は残存している3と4は原石面を直接用いている。

礫器(7)

厚手の扁平礫を二つに分割するように、裏面から剥離が施されている。石核の可能性もあるが、ここでは片刃礫器としておく。

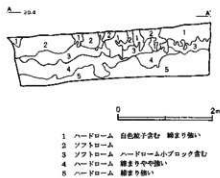
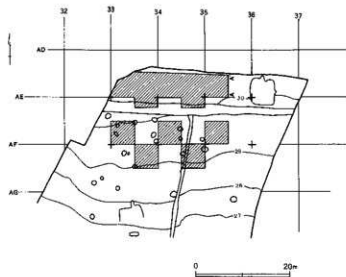
磨石(8)

拳大の礫の正面に摩擦痕が観察できる。

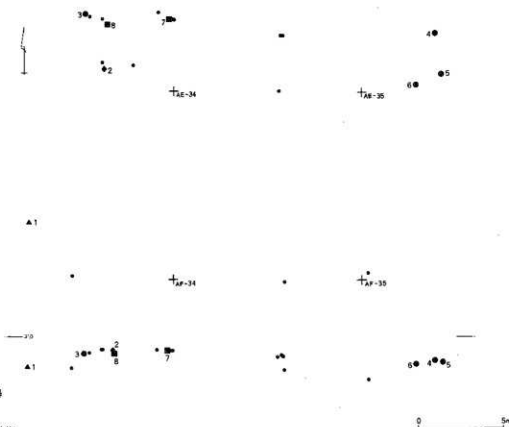
先土器時代出土石器観察表(第33図)

番号/グリッド	北-南(cm)	西-東(cm)	標高(m)	器 種	長さ(cm)	幅(cm)	厚さ(cm)	重量(g)	石材・母岩
1 AE-33	703	238	29.420	ナイフ形石器	3.05	1.63	1.79	2.23	チャート
2 AD-33	880	634	30.279	石錐	4.33	1.76	0.65	3.24	チャート
3 AD-33	594	529	30.128	剥片	5.26	2.08	0.95	7.78	ガラス質黒色安山岩
4 AD-35	687	391	29.810	剥片	4.21	1.29	0.68	2.55	黒曜石
5 AD-35	898	425	29.712	剥片	4.28	2.47	1.44	13.33	ガラス質黒色安山岩
6 AD-35	960	290	29.596	剥片	4.40	2.24	1.03	8.96	ガラス質黒色安山岩
7 AD-33	623	980	30.285	礫器	6.42	8.43	4.40	321.84	ホルンフェルス
8 AD-33	645	642	30.133	磨石	8.46	4.89	4.30	218.11	安山岩

第32図 先土器時代調査区・遺物分布図

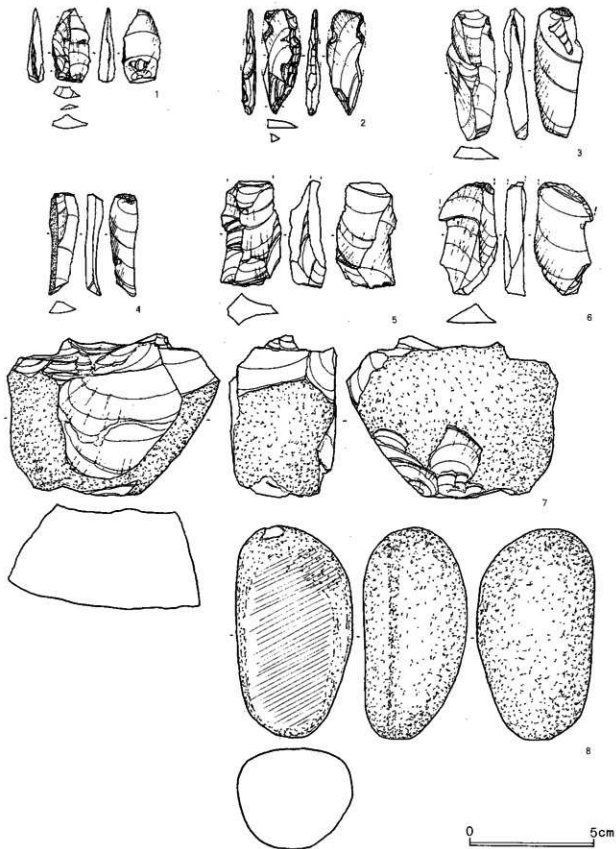


- 1 ハードローム 白色粘土含む 跡残り強い
- 2 ソフトローム
- 3 ソフトローム ハードローム小ブロック含む
- 4 ハードローム 跡残りやや強い
- 5 ハードローム 跡残り強い



- ▲ ナイフ形石器
- 石 錐
- 石 片
- 礫石・磨石
- その他(礫・砕片)

第33圖 出土石器



(2) 住居跡

第1号住居跡(第34~36図)

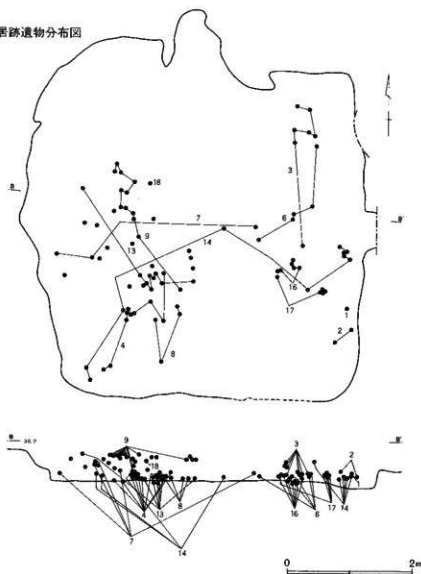
AD・AE-35・36グリッドに位置する。平面形は正方形を呈する。規模は東西5.18m、南北5.20m、深さ45cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

カマドは北壁と東壁のそれぞれ中央に付設されている。北壁のカマドは全長120cm、焚き口幅80cmで焚き口前面は上坑状になっている。袖部は地山の掘り残して、西側だけ確認できた。東壁のカマドは大半が攪乱されており、焚き口幅は65cmで焚き口付近は上坑状になっている。袖部相当部分には両側とも竈がおかれていた。

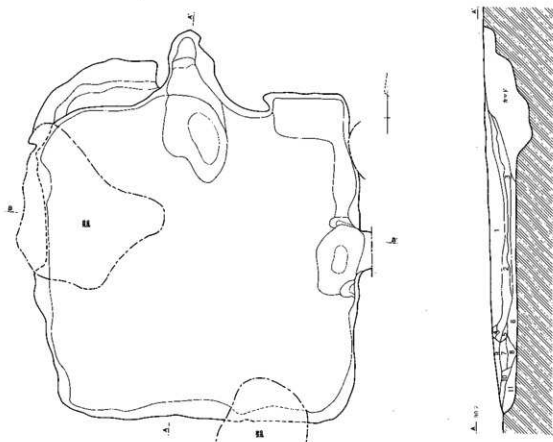
出土遺物(第37・38図)

須恵器環・壺、土師器環・小型壺・壺・甕の他、平瓦が出土した。北カマドの焚き口部寄りの燃焼部中央付近では小型壺が倒立した状態で出土した。東カマドには比較的遺物が集中していた。

第34図 第1号住居跡遺物分布図



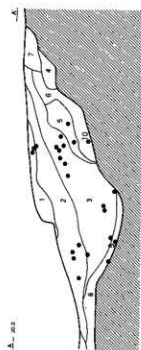
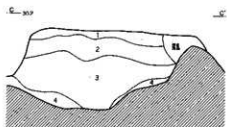
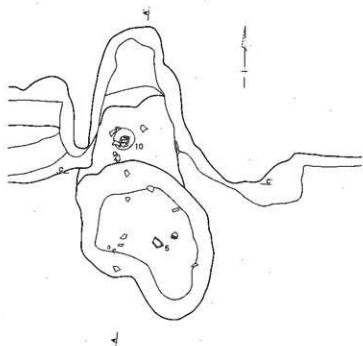
第35図 第1号住居跡



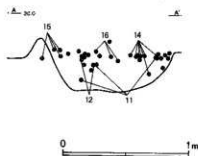
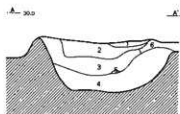
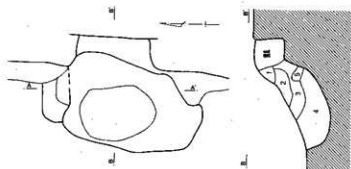
- 1 瓦片土 黄褐色土粒多量含む 継ぎ目僅い
- 2 紫色土 赤褐色土粒 / 含む
- 3 赤褐色土 黄褐色土多量含む
- 4 灰褐色土 黄褐色土粒多量含む 継ぎ目僅い
- 5 黄褐色土
- 6 灰褐色土 黄褐色土多量含む
- 7 灰褐色土 黄褐色土多量含む
- 8 黄褐色土 黄褐色土多量含む
- 9 黄褐色土 黄褐色土多量含む 継ぎ目僅い
- 10 黄褐色土
- 11 黄褐色土 ロームブロック状
- 12 黄褐色土 黄褐色土多量含む
- 13 黄褐色土
- 14 黄褐色土 黄褐色土多量含む
- 15 黄褐色土
- 16 黄褐色土
- 17 黄褐色土

0 2m

第36図 第1号住居跡北カマド・東カマド



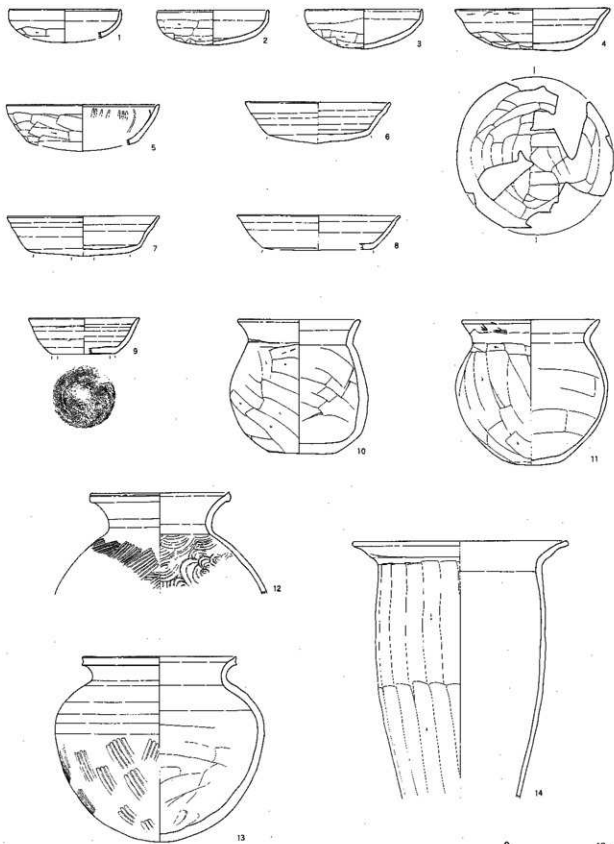
- 5J1北カマド
- 1 赤黄褐色土
 - 2 褐色土
 - 3 暗褐色土 焼土塊多く含む
 - 4 暗褐色土 灰黄褐色ブロック・焼土粒多く含む
 - 5 暗褐色土 焼土・焼土塊多く含む
 - 6 暗褐色土 焼土層若干含む
 - 7 灰褐色土 焼土小塊・黄褐色土ブロック若干含む
 - 8 灰黄褐色土



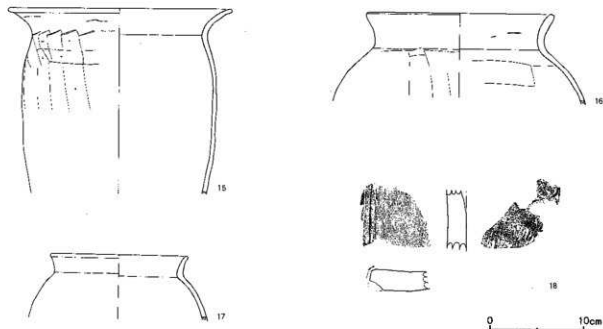
- 5J1東カマド
- 1 赤黄褐色土
 - 2 暗黄褐色土 焼土若干含む
 - 3 暗褐色土 焼土層・焼土多く含む
 - 4 暗褐色土
 - 5 焼土
 - 6 暗褐色土

0 1m

第37図 第1号住居跡出土遺物(1)



第38図 第1号住居跡出土遺物(2)



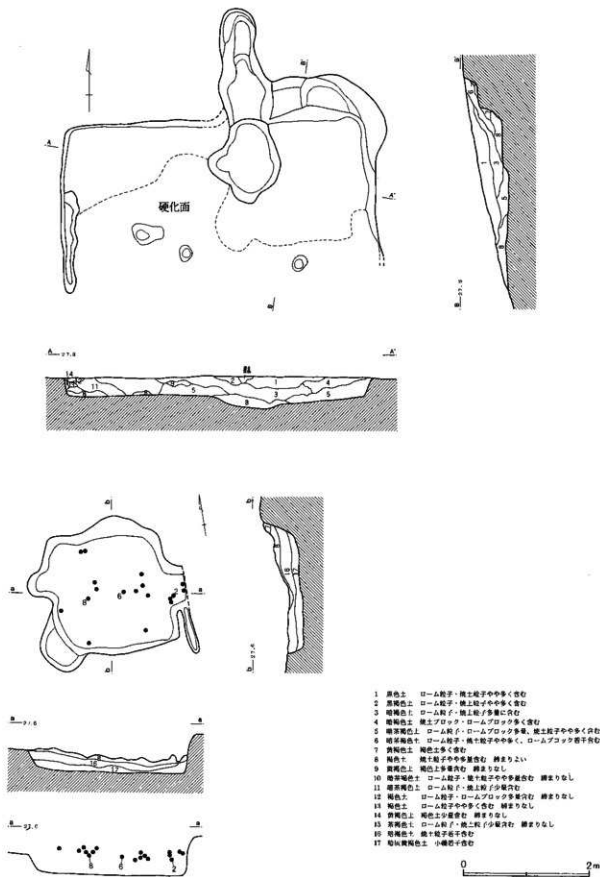
第1号住居跡出土遺物観察表(第37・38図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	土師器 坏	(12.0)			BES	II	橙	15	口唇内面に残あり 器壁内面荒れる
2	坏	12.0	3.7		BCEJ	II	橙	90	内面に油漣付着痕
3	坏	12.5	4.3		BEJ	II	鈍い橙	80	体部外面下半から底部手持ち荒削り 口唇内面に残あり
4	坏	16.5	4.5		ABJ	II	鈍い黄橙	75	体部口縁整形 底部手持ち荒削り
5	坏	(16.4)			BJ	I	橙	15	北カマド 体部外面手持ち荒削り 内面磨き 口縁外面荒ナデ
6	須恵器 坏	15.5	4.4	10.3	BS	II	灰白	70	LA 底部中央突出
7	坏	16.3	4.3	10.2	BS	II	淡黄	80	LA 底部中央突起こし痕
8	坏	(17.3)	3.7	(11.7)	HS	I	灰白	15	
9	坏	11.9	3.8	6.7	ABS	I	灰白	70	RBb
10	土師器 小型壺	13.2	14.3	7.3	BCEJS	II	橙	95	北カマド 外面斜位荒削り 内面荒ナデ 底部一方向荒削り
11	小型壺	14.6	15.4	6.1	EJS	II	橙	90	東カマド 外面荒削り 内面荒ナデ ややぶらみあり
12	須恵器 壺	(14.6)			AB	I	灰	20	東カマド 外面平行叩き 内面同心円当具痕
13	壺	(16.2)	19.8		A	II	灰白	35	外面斜位 下半平行叩き 内面荒ナデ
14	土師器 壺	22.9			S	II	橙	60	東カマド 外面縦方向荒削り 内面不明瞭
15	壺	(23.8)			BS	III	鈍い橙	30	東カマド 内外面調整不明瞭
16	壺	20.0			JKS	II	鈍い黄橙	35	東カマド 外面縦方向荒削り 内面横方向ナデ
17	壺	(14.6)			FS	II	鈍い橙	25	内外面器壁荒れる

第1号住居跡出土瓦観察表(第38図)

番号	凹面			凸面		端面的特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	模弁枚数	特徴	叩き	特徴					
18	24×30	2.6	布目底	平行叩き 1.8cm/5本	叩き後横方向ナデ消し	へう変形 面取り	2.0	ABS	II	橙

第39図 第2号住居跡



第2号住居跡(第39~41図)

AG-33グリッドに位置する。斜面部に位置し、南半は確認できなかった。平面形は方形になると思われる。規模は東西4.94m、南北2.70m以上、深さ28cmを測る。カマド前面から南側に堅緻な床面が確認できた。主軸方位はN-4°-Wを指す。

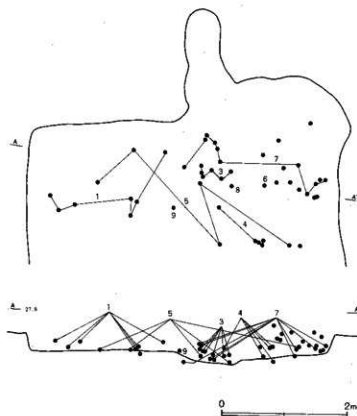
カマドは北壁のやや東寄りに付設されている。全長173cm、焚き口幅90cmで、焚き口前面は土坑状になっている。焼溝は西辺で一部確認でき、幅20cm、深さ11cmを測る。

土坑は、住居北東隅に検出され、規模は2.0×2.0mの方形で、深さ25~35cmを測る。

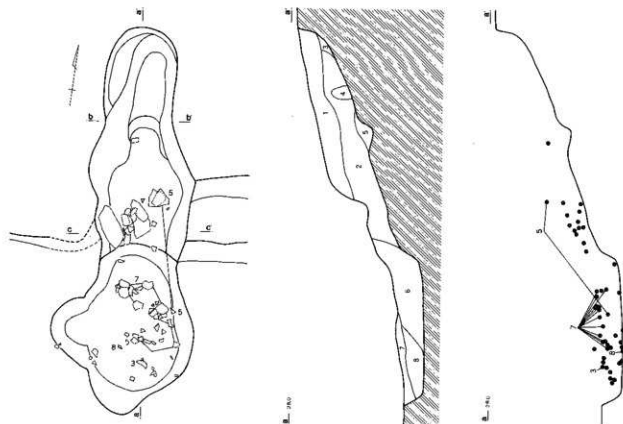
出土遺物(第42図)

須恵器環・高台付環・鉢、土師器甕・台付甕の他、土製紡錘車が出土した。須恵器環・鉢、土師器甕・台付甕台部はカマドから出土した。土坑からは須恵器環2点と土師器環1点が出土した。

第40図 第2号住居跡遺物分布図



第41図 第2号住居跡カマド

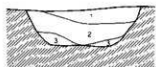


b-2a, b



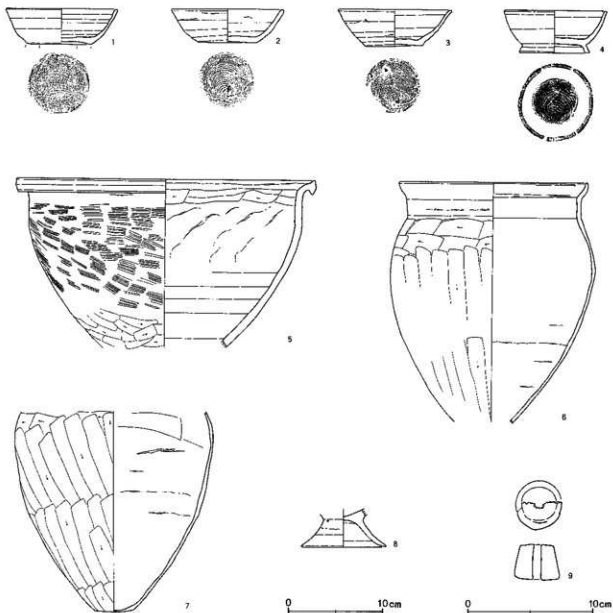
- 1 灰褐色土 焼土層・武西焼赤土粒子混在
- 2 灰赤褐色土 焼土層・焼土和了混在 中々砂混
- 3 灰赤褐色土
- 4 黄褐色土
- 5 母赤褐色土 焼土層混在 中々砂混
- 6 灰紅褐色土 焼土和了混在
- 7 黄褐色土
- 8 黄褐色土

c-2a, c



0 1 m

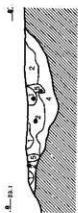
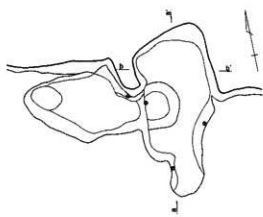
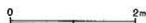
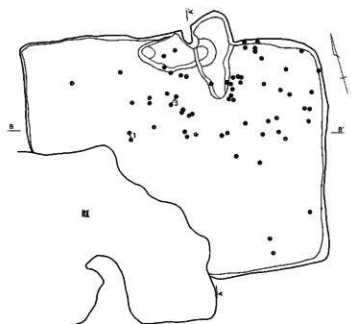
第42図 第2号住居跡出土遺物



第2号住居跡出土遺物観察表(第42図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	出土位置・その他
1	須恵器環	11.9	3.7	6.5	AB	I	灰	95	RBb 底部内面宛先調整痕
2	環	12.0	3.5	6.1	AS	I	淡黄	100	土坑 RC 底部挽き上げ痕 底部糸引き抜き痕
3	環	12.0	3.9	6.0	AB	I	灰	80	カマド RC 底部糸引き抜き痕
4	高古付環	11.0	4.5	7.5	ABS	I	灰	55	RC 底部宛記号「×」
5	鉢	(31.8)			AB	I	灰	35	カマド 外面上半横方向平行印き 下端宛削り 内面頸部宛ナゲ 下半クロ痕
6	上脚器腹	20.0			BEJS	II	橙	75	土坑 外面器壁控れる 調整不明痕
7	甕			4.0	EJKS	II	橙	85	カマド 外面宛削り 暗褐色付着物あり 底部不定方向宛削り
8	台付甕			9.0	BE	II	橙	60	土坑・カマド 内外面クロクロナゲ
9	土製紡錘車	(2.4)	2.7	(3.5)	BS	II	橙	50	外面宛整形後1家ナゲ

第43図 第3号住居跡



- 1 黒褐色土 ローム粒子・焼土粒子埋めに含む
- 2 暗赤褐色土 ローム粒子・焼土ブロック含む
- 3 黒色土 焼土多く含む 跡まじりなし
- 4 黒い黄褐色土 ローム粒子・焼土ブロック多く含む
- 5 暗黄褐色土ブロック
- 6 暗黄褐色土 ローム多く含む



第3号住居跡(第43図)

AJ・AK-31・32グリッドに位置する。南西隅が擾乱されているが、平面形は長方形を呈する。規模は東西4.75m、南北3.60m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-13°-Eを指す。

カマドは北壁のやや東寄りに付設されており、全長

45cm、焚き口幅55cmを測り、壁外への突出は少ない。

袖部は地山の掘り残して、西側だけ確認された。

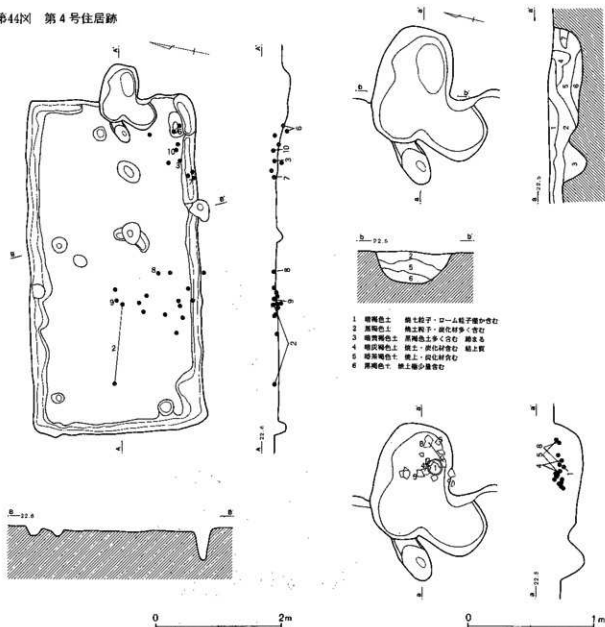
出土遺物(第43図)

住居跡確認面から非常に浅いため遺物は少なく、須恵器環・蓋が出土した。2は住居跡一括遺物であるが底部内面に墨書「女」が記されている。

第3号住居跡出土遺物観察表(第43図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存量	その他
1	須恵器環	(12.2)	3.8	7.1	ABC	I	灰白	55	Rfb 底面施記号「XXX」
2	環			(7.4)	AB	I	オリブ灰	35	RBb 底部内面墨書「女」
3	蓋	(14.4)			AB	I	灰	30	天井部石回転鏡削り

第44図 第4号住居跡



第4号住居跡(第44図)

AM-29・30グリッドに位置する。平面形は長方形を呈する。規模は東西5.25m、南北2.74m、深さ4cmを測る。主軸方位はN-76°-Eを指す。

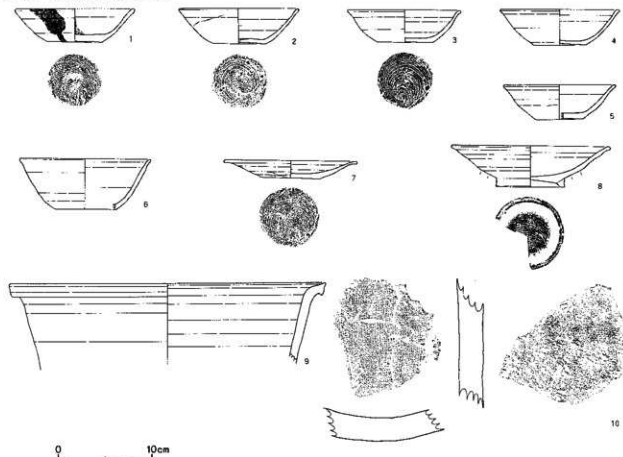
カマドは東壁中央に付設され、全長60cm、焚き口幅60cmを測る。袖部は、地山の掘り残して南側だけ僅か

に確認された。壁溝は幅15~25cm、深さ15cmを測り、カマドを除き、全周する。

出土遺物(第45図)

須恵器環・椀・皿・鉢の他、平瓦が出土した。カマドから須恵器環・皿が出土している。

第45図 第4号住居跡出土遺物



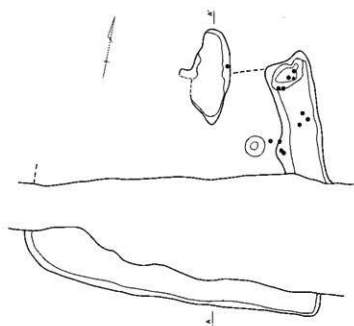
第4号住居跡出土遺物観察表(第45図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	出土位置・その他
1	須恵器環	12.8 (12.8)	3.5	5.8	ABCJS	II	灰白	100	カマド RC 内外面に油煙付着
2	環	12.8	3.8	5.5	ABS	I	褐灰	50	RC 底部内面付着物
3	環	12.1	3.4	5.9	AB	I	灰	80	RC
4	環	12.8	3.8	(5.6)	ABS	I	灰	20	カマド RC 糸引き抜き痕あり
5	環	12.0	3.6	(5.0)	ABS	I	ネリープ灰	20	カマド RC
6	椀	14.0	5.3	(6.4)	ABCS	I	灰	25	C 口縁部内外面が深む
7	皿	14.2	2.0	6.4	AB	I	灰白	100	RC 口縁部外反
8	高台付皿	(17.0)	4.4	7.4	BS	I	灰	45	カマド RC 貼り付け高台 底部施記号「一」 体部外面下半の一部右回転削り 体部に影みがない
9	鉢	(33.4)			ABS	II	灰白	10	

第4号住居跡出土瓦観察表(第45図)

番号	凹面			凸面		断面の特徴	厚さ	胎土	番号	色調
	布目本数	横骨痕幅	特徴	叩き	特徴					
10	19×27		布目痕・糸織目痕	平行叩き	叩き後ナデ消し		2.5	B	II	褐灰

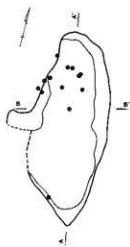
第46図 第5号住居跡



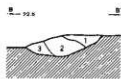
- 1 暗灰褐色土 白色粘土・棕色上粘土含む 跡残り多い
- 2 暗灰褐色土 黄褐色上粘土含む 跡残り多い
- 3 暗黄褐色土 黄褐色上粘土多く含む 跡残り多い



0 2m



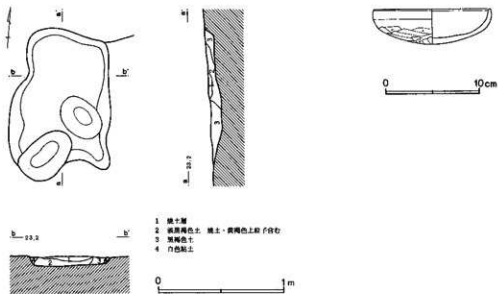
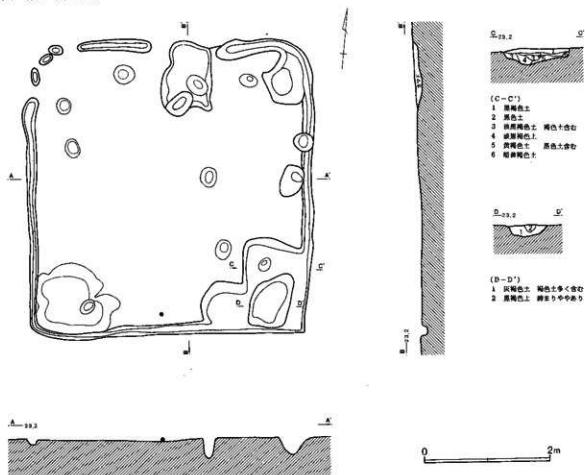
0 10cm



- 1 暗灰褐色土 焼土粘土・灰化物含む 跡残りなし
- 2 黄褐色土 焼土のブロック含む
- 3 暗褐色土 焼土少し、暗黄褐色土多く含む

0 1m

第47図 第6号住居跡



第5号住居跡(第46図)

AI-29グリッドに位置する。北東部は掘乱れであり、カマドと東辺・南辺の確認のみで、更に南半を第20号溝に切られている。平面形はややいびつな台形である。規模は南北3.60m、東西4.80m、深さ7cmを測る。主軸方位はN-10°-Wを指す。

カマドは北壁に付設され、全長63cm、焚き口幅60cmを測る。

出土遺物(第46図)

土師器台付甕が住居跡北東隅から出土した。

第6号住居跡(第47図)

AJ・AK-32・33グリッドに位置する。カマドと周溝のみの検出で、平面形は正方形を呈する。規模は南北4.59m、東西4.50m、深さ4cmを測る。主軸方位

はN-7°-Wを指す。

カマドは北壁中央に付設され、全長106cm、焚き口幅64cmで、両側の壁では白色粘土が確認された。北東隅・南東隅・南西隅で土坑が確認された。壁溝は幅12~20cm、深さ10~22cmで、ほぼ全周する。

出土遺物(第47図)

南壁寄り中央付近で土師器環が出土した。

第7号住居跡(第48図)

AI-29・30、AJ-29グリッドに位置する。第13号溝と重複し、一部貼り床が残存していたが、他は調査区域外にかかっており、平面形・規模は不明である。

出土遺物(第48図)

須恵器環、土師器甕・台付甕が出土した。甕は倒立した状態で出土し、台付甕台部とまとまって出土した。

第5号住居跡出土遺物観察表(第46図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	その他
	土師器 台付甕			(11.4)	BEJ	II	鈍い橙	10	台部のみ残存

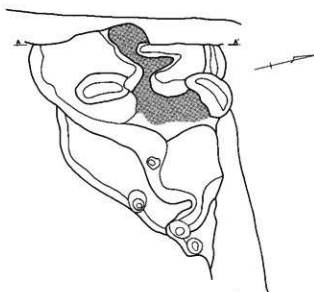
第6号住居跡出土遺物観察表(第47図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	その他
	土師器環	(12.4)	3.7		BCF	II	橙	45	外面を持ち割り

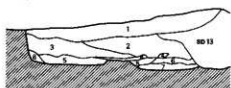
第7号住居跡出土遺物観察表(第48図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	出位置・その他
1	須恵器環	(16.8)	3.5	(11.2)	B	III	浅黄橙	25	RA
2	土師器 台付甕			(11.0)	BEJS	II	明褐灰	85	台部のみ
3	甕	(23.0)			JS	II	橙	30	貼り床直上出土 内外面風化顯著 歪み大きい
4	甕	(21.0)	28.5	(11.2)	BFS	II	橙	80	貼り床直上出土 器壁剝離顯著、調整不明瞭 素母含有多い

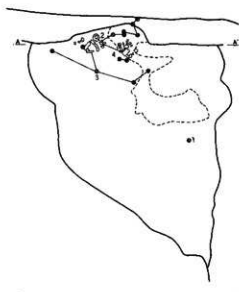
第48図 第7号住居跡



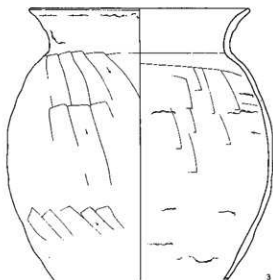
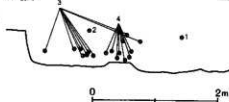
A-23.4



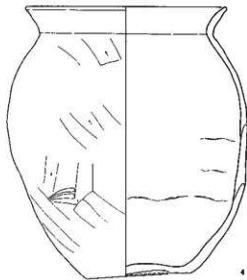
- 1 黒色土 黄褐色土粒子・黄褐色土粒子若干含む 跡残り多い
- 2 黄褐色土 ローム小ブロック・黄褐色土粒子多く含む
- 3 黒色土 黄褐色土粒子含む 跡残り多い
- 4 灰黄褐色土 粘土粒子・ローム粒子含む 跡残り極薄い
- 5 黄褐色土 黄褐色土含む
- 6 黄褐色土
- 7 灰黄褐色土



A-22.4



3



4

0 10cm

(3) 土坑

第1号土坑(第49図)

AE-32グリッドに位置する。平面形は不整形を呈する。規模は長径1.42m、短径1.24m、深さ22cmを測る。主軸方位はN-46°-Eを指す。

第2号土坑(第49図)

AE-33グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.15m、短軸0.48m、深さ26cmを測る。主軸方位はN-40°-Wを指す。

第3号土坑(第49図)

AE-33グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径0.98m、短径0.88m、深さ46cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

覆土中より土師器片・須恵器片などが出土した。

第4号土坑(第49図)

AF-33グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.10m、短径0.96m、深さ26cmを測る。主軸方位はN-75°-Eを指す。

第5号土坑(第49図)

AF-33グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径0.96m、短径0.90m、深さ18cmを測る。

第6号土坑(第49図)

AE-33グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.26m、短軸0.80m、深さ26cmを測る。主軸方位はN-69°-Wを指す。

覆土中より縄文土器片が出土した。

第7号土坑(第49図)

AE-33グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.32m、短軸1.08m、深さ32cmを測る。主軸方位はN-30°-Eを指す。

第8号土坑(第49図)

AE-33・34グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.00m、短径0.88m、深さ28cmを測る。主軸方位はN-36°-Eを指す。

第9号土坑(第49図)

AE-34グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.15m、短軸0.82m、深さ19cmを測る。

主軸方位はN-55°-Wを指す。

第10号土坑(第49図)

AF-34グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈するものと思われる。規模は長軸1.04m以上、短軸0.58m、深さ22cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。第2号溝と重複している。

第11号土坑(第49図)

AE-34グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径0.84m、短径0.68m、深さ24cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

第12号土坑(第49図)

AF-34・35グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈する。規模は長径1.54m、短径1.38m、深さ43cmを測る。主軸方位はN-13°-Eを指す。

第13号土坑(第49図)

AG-35グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.50m、短軸1.20m、深さ66cmを測る。主軸方位はN-51°-Eを指す。

第14号土坑

AF・AG-34グリッドに位置する。第2号溝と重複している。平面形は不整形を呈する。規模は長軸1.40m、短軸1.36m、深さ23cmを測る。

第15号土坑

AF-32グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径0.80m、短径0.72m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-21°-Wを指す。

覆土中より土師器片・須恵器片が出土した。

第16号土坑(第50図)

AF-32グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈する。規模は長径1.04m、短径0.88m、深さ36cmを測る。主軸方位はN-86°-Wを指す。

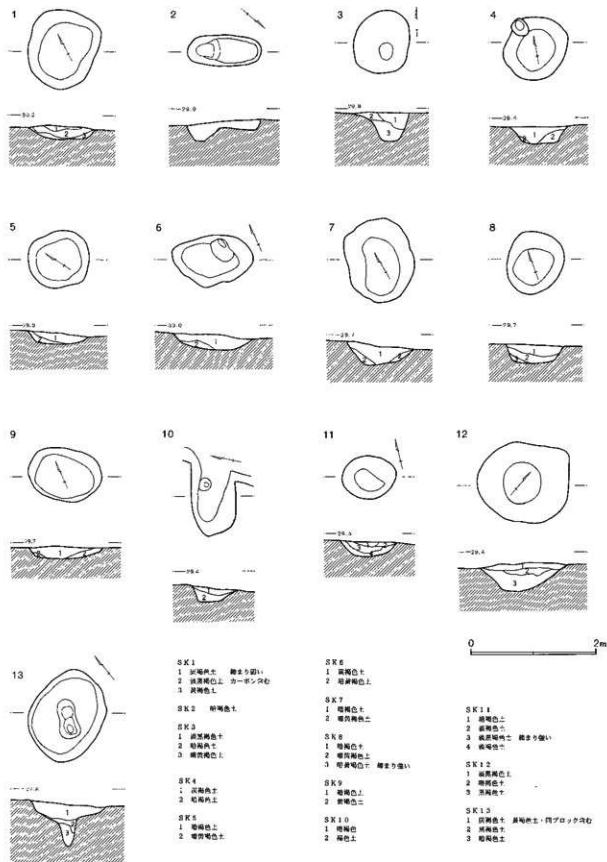
第17号土坑(第50図)

AF-33グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.14m、短径1.08m、深さ48cmを測る。主軸方位はN-62°-Eを指す。

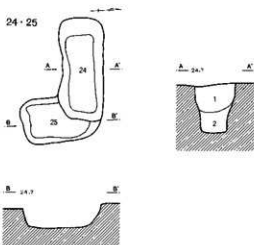
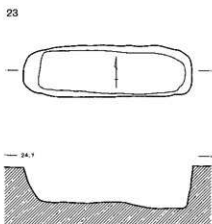
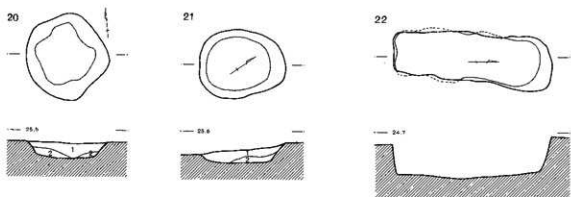
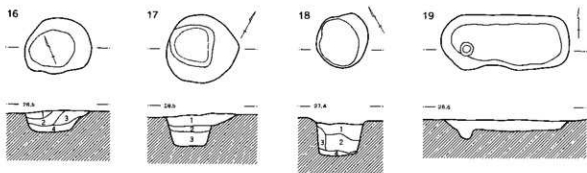
第18号土坑(第50図)

AG-32グリッドに位置する。平面形は円形を呈す

第49図 土坑(1)



第50図 土坑(2)



- SK16
 1 灰褐色土
 2 暗褐色土
 3 赤褐色土
 4 暗褐色土 小礫含む
- SK17
 1 赤褐色土
 2 暗褐色土
 3 赤褐色土

- SK18
 1 暗褐色土
 2 赤褐色土
 3 暗褐色土 赤褐色土夾む
 4 灰褐色土

- SK19
 灰褐色土 赤褐色土粘土砂子含む

- SK20
 1 赤褐色土 赤褐色土夾む
 2 赤褐色土

- SK21
 1 暗褐色土 ロームブロック含む
 2 赤褐色土 ロームブロック多く含む

- SK24
 1 赤褐色土 ロームブロック多く含む
 2 暗褐色土 砂まじりなし



る。規模は長径0.88m、短径0.80m、深さ58cmを測る。主軸方位はN-69°-Eを指す。

第19号土坑(第50図)

AG-33グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸2.02m、短軸0.88m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

第20号土坑(第50図)

AH-32グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈する。規模は長径1.36m、短径1.28m、深さ23cmを測る。主軸方位はN-4°-Eを指す。

覆土中より土師器・須恵器片が出土した。

第21号土坑(第50図)

AH-33グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.34m、短軸1.08m、深さ22cmを測る。主軸方位はN-35°-Eを指す。

第22号土坑(第50図)

AH-31グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸2.55m、短軸0.76m、深さ56cmを測る。主軸方位はN-5°-Eを指す。

第23号土坑(第50図)

AH-31・32グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸2.68m、短軸0.80m、深さ56cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

第24号土坑(第50図)

AH-31・32グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸1.64m、短軸0.72m、深さ74cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。第25号土坑を切っている。

第25号土坑(第50図)

AH-31・32グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸1.22m、短軸0.68m、深さ34cmを測る。主軸方位はN-5°-Wを指す。第24号土坑に切られている。

第26号土坑(第51図)

AH-31・32グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸2.52m、短軸0.64m、深さ54cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

第27号土坑(第51図)

AI-30グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈する。規模は長径1.12m、短径0.98m、深さ54cmを測る。主軸方位はN-5°-Eを指す。

第28号土坑(第51図)

AI-30グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈する。規模は長径1.45m、短径1.20m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-5°-Eを指す。

第29号土坑

AI-30グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.16m、短径0.96m、深さ8cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

第30号土坑(第51図)

AI-31グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸0.94m、短軸0.74m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

第31号土坑

AI-32グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.20m以上、短軸0.70m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-83°-Wを指す。第10号溝に切られている。

第32号土坑

AI-32グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.66m、短軸0.60m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-89°-Eを指す。第10号溝と接している。

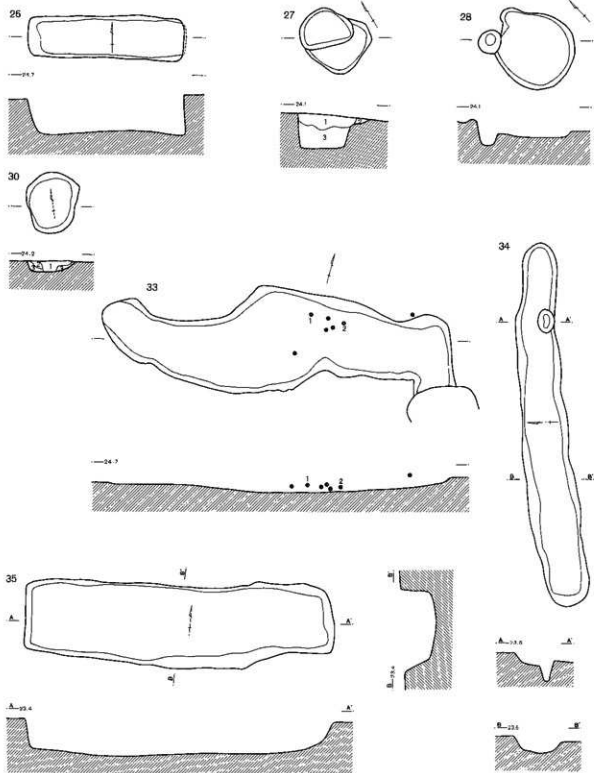
第33号土坑(第51図)

AI-33・34グリッドに位置する。平面形は不整形形を呈し、東端で南へ屈曲している。規模は長軸5.48m、短軸1.14m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-78°-Eを指す。

出土遺物(第53図1・2)

1は陶器皿で、推定口径11.2cm、器高2.0cm、推定底径5.4cmである。口唇外面に沈線が巡り、体部は回転篋ナデ、底部は筥割りである。底部外面を除いて鉄釉が施されている。口唇に油煙が付着しており灯明皿として使用されたものである。

第51図 土坑(3)



SK27

- 1 暗茶褐色土 ローム質が混り 粘りなし
- 2 暗茶褐色土 暗茶褐色土多く含む 粘りなし
- 3 暗茶褐色土 ロームブロック多く含む

SK30

- 1 暗茶褐色土 ロームブロック含む
- 2 暗茶褐色土
- 3 黄褐色土

2は灰鉄輪掛分碗で高台径4.8cmである。上半には青色の文様が施されている。

第34号土坑(第51図)

AJ-33グリッドに位置する。平面形は長楕円形を呈する。規模は長軸5.88m、短軸0.72m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-83°-Eを指す。

覆土中より土師器片が出土した。

第35号土坑(第51図)

AJ-33グリッドに位置する。平面形は長方形を呈する。規模は長軸4.87m、短軸1.09m、深さ54cmを測る。主軸方位はN-84°-Eを指す。

第36号土坑(第52図)

AJ-32・33グリッドに位置する。平面形は不整隅丸方形を呈する。規模は長軸2.96m、短軸1.36m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-4°-Eを指す。

出土遺物(第53図3)

かわらけとその破片が出土した。かわらけは、推定口径12.0cm、器高3.7cm、底径6.4cmである。体部は水挽き痕が顕著で、底部は右回転糸切り轆しをしている。

第37号土坑(第52図)

AJ-32グリッドに位置する。平面形は不整隅丸長方形を呈する。規模は長軸2.96m、短軸1.36m、深さ25cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

覆土中より中世の瓦等が出土した。

第38号土坑

AJ-32グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.68m、短軸0.96m、深さ8cmを測る。主軸方位はN-6°-Eを指す。

第39号土坑(第52図)

AJ-31グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.65m、短軸0.72m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-9°-Eを指す。

第40号土坑(第52図)

AJ・AK-31グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.12m、短径0.96m、深さ42cmを測る。主軸方位はN-5°-Eを指す。

第41号土坑(第52図)

AK-29グリッドに位置する。平面形は不整楕円形を呈する。西側が調査区域外になる。規模は長軸1.94m、短軸0.98m以上、深さ42cmを測る。主軸方位はN-16°-Eを指す。

覆土中より土師器・須恵器片が出土した。

第42号土坑

AK-29グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径0.96m、短径0.84m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-3°-Eを指す。

覆土中より土師器・須恵器片が出土した。

第43号土坑

AK-30グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は直径1.39m、深さ7cmを測る。主軸方位はN-41°-Eを指す。

第44号土坑

AK-30グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径0.96m、短径0.86m、深さ6cmを測る。主軸方位はN-10°-Wを指す。

第45号土坑(第52図)

AL-29・30グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.88m、短軸0.70m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

第46号土坑(第54図)

AL-30グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸1.36m、短軸0.52m、深さ8cmを測る。主軸方位はN-81°-Wを指す。

第47号土坑

AK-30グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.14m、短径1.12m、深さ12cmを測る。

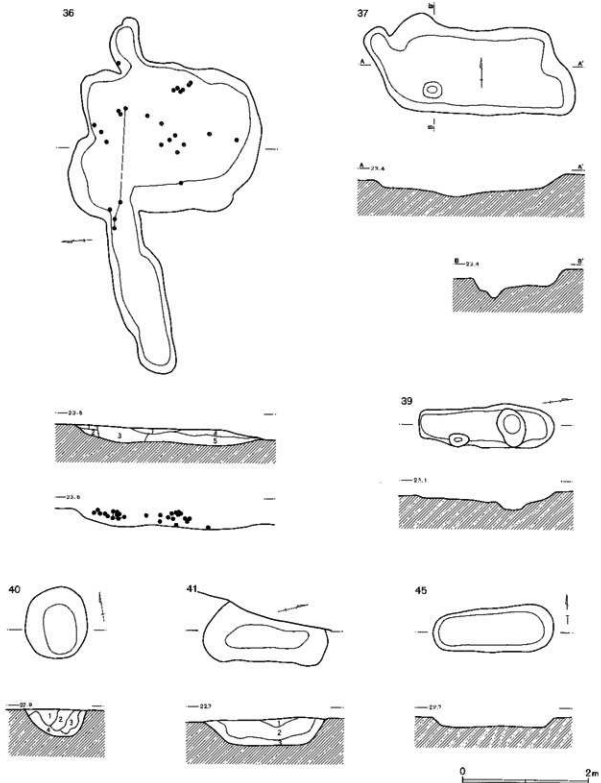
第48号土坑

AK-31グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.16m、短径1.14m、深さ10cmを測る。覆土中より土師器・須恵器片が出土した。

第49号土坑

AK・AL-31グリッドに位置する。平面形は楕円

第52図 土坑(4)



SK 36

- 1 灰褐色土 黄褐色土含む 埴まり強い
- 2 黄褐色土 黄褐色土含む
- 3 黄褐色土 黄褐色土粒子多く含む
- 4 黄褐色土 灰土・黄褐色土粒子含む 埴まり強い
- 5 黄褐色土 灰土・黄褐色土粒子含む

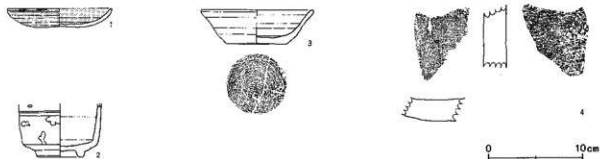
SK 40

- 1 黄褐色土 白色粒子少量含む
- 2 黄褐色土 白色粒子多量含む
- 3 黄褐色土 ローム粒子含む
- 4 黄褐色土 黄褐色土多く含む

SK 41

- 1 黄褐色土 埴粒 埴まり強い
- 2 黄褐色土 白色粒子含む よく埴まる
- 3 黄褐色土 ローム小アローム多量含む 粘性

第53図 土坑出土遺物



土坑出土遺物(第53図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	色調	残存率	出土位置・その他
1	鉄輪皿	(11.2)	2.0	(5.4)	S	鈍い橙	40	SK33 内面・体部外面に釉 口唇部に油煙
2	灰鉄輪皿分蓋 かわらけ	(12.0)	3.7	4.8	H	鈍い黄橙	40	SK33 灰種と鉄輪を上下に掛け分け、青色釉と文様
3			6.4		S	橙	50	SK36 RC 水浅き飯盛器

形を呈し、規模は長軸1.00m、短軸0.65m以上、深さ12cmを測る。主軸方位はN-2°-Wを指す。西側を第16号溝に切られる。

覆土中より中世土器が出土した。

第50号土坑

AL-31グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈するものと思われる。規模は長軸1.70m、短軸0.90m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-50°-Eを指す。第16号溝と重複する。

第51号土坑(第54図)

AK-32グリッドに位置する。平面形は長楕円形を呈する。規模は長軸4.10m、短軸0.99m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-87°-Eを指す。

覆土中より土師器・須恵器が出土した。

第52号土坑(第54図)

AK-32・33グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈する。規模は長軸1.00m以上、短軸0.90m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-8°-Wを指す。第53号土坑と重複し、第53号土坑を切っている。

覆土中より平安時代の土器が出土した。

第53号土坑(第54図)

AK・AL-33グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.59m、短軸1.17m、深さ38cmを測る。主軸方位はN-9°-Eを指す。第52号土坑・第17号溝と重複し、第52号土坑に切られ、第17号

溝を切っている。

覆土中より土師器片・須恵器片が出土した。

第54号土坑(第54図)

AK-33グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸2.26m以上、短軸0.94m、深さ31cmを測る。主軸方位はN-81°-Eを指す。第55号土坑・第17号溝と重複し、第55号土坑を切っている。

覆土中より中世の土器が出土した。

第55号土坑(第54図)

AK-33グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸1.74m、短軸0.62m以上、深さ14cmを測る。主軸方位はN-81°-Eを指す。北側を第54号土坑に切られている。

覆土中より平安時代の土器が出土した。

第56号土坑

AK-34グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.30m、短径1.28m、深さ8cmを測る。主軸方位はN-37°-Eを指す。

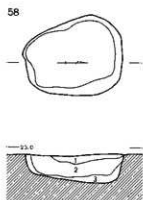
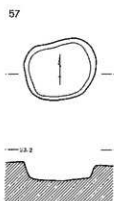
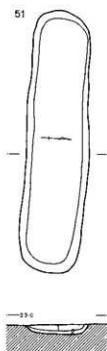
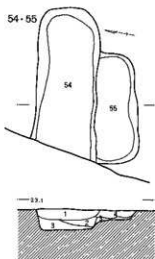
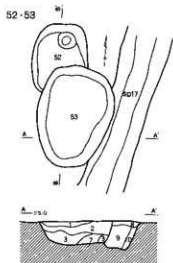
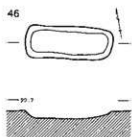
第57号土坑(第54図)

AK-33・34グリッドに位置する。平面形は不整楕円形を呈する。規模は長径1.09m、短径0.96m、深さ26cmを測る。主軸方位はN-72°-Eを指す。

第58号土坑(第54図)

AK-33グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長径1.56m、短径1.18m、深さ47cmを測

第54図 土坑(5)



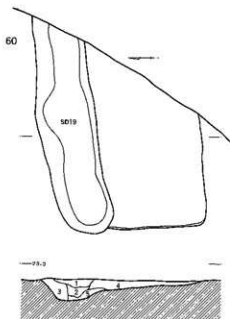
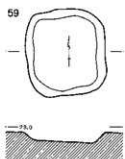
- S K 5 1
 1 黄褐色土 ローム粒子多く含む
 2 黄褐色土 ローム粒子少し含む

- S K 5 2・53・5 D 1 7
 1 黄褐色土 黄褐色土多く含む
 2 黄褐色土・黄褐色土混合土
 3 灰黒褐色土 黄褐色土砂子多く含む
 4 暗灰褐色土
 5 黄褐色土
 6 黄褐色土
 7 黄褐色土 黄褐色土多く含む
 8 灰黒褐色土 締まり強い
 9 黄褐色土
 10 灰黒褐色土 ローム粒子多く含む

- S K 5 4・S K 5 5
 1 黄褐色土 黄褐色土多く含む 締まり強い
 2 黄褐色土・黄褐色土混合土
 3 灰黒褐色土 黄褐色土粒子多く含む
 4 暗灰褐色土 黄褐色土下層含む

- S K 5 8
 1 黄褐色土 ロームブロック含む
 2 黄褐色土 ローム粒子・ブロック多く含む 概ね
 3 黄褐色土 ローム塊を含む 締まり強い

- S K 6 0・S D 1 8
 1 黄褐色土 締まり強い
 2 黄褐色土 ローム結晶内包 締まり強い
 3 黄褐色土 ロームブロック含む 締まり強い
 4 黄褐色土 ローム粒子少し含む
 5 黄褐色土 黄褐色土多く含む



る。主軸方位はN-13°-Wを指す。第18号溝の北端を切っている。

第59号土坑(第54図)

AK-33グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈する。規模は長軸1.36m、短軸1.28m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

覆土中より土師器・須恵器片が出土した。

第60号土坑(第54図)

AL・AM-33グリッドに位置し、東端は調査区域外にかかっている。平面形は長方形を呈するものと思われる。規模は長軸1.72m以上、短軸1.60m、深さ9cmを測る。主軸方位はN-82°-Eを指す。北側で第19号溝と重複している。

第61号土坑(第55図)

AM・AN-32グリッドに位置する。平面形は不整形を呈する。規模は長軸2.32m、短軸1.61m、深さ52cmを測る。主軸方位はN-30°-Eを指す。

第62号土坑(第55図)

AN-32グリッドに位置する。第63号土坑と重複している。平面形はT字形を呈する。規模は長軸3.00m、短軸2.25m以上、深さ30cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

覆土中より平安時代の土器が出土した。

第63号土坑(第55図)

AN-32グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.17m、短径1.08m、深さ38cmを測る。主軸方位はN-78°-Eを指す。第62号土坑と重複している。

覆土中より平安時代の土器が出土した。

第64号土坑(第55図)

AN-32グリッドに位置する。平面形は不整隅丸長方形を呈する。規模は長軸3.00m、短軸1.50m、深さ34cmを測る。主軸方位はN-33°-Eを指す。

第65号土坑

AM-31グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.03m、短軸0.71m、深さ6cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

第66号土坑(第55図)

AM-31グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸2.18m、短軸1.56m、深さ22cmを測る。主軸方位はN-65°-Wを指す。

第67号土坑

AN-30・31グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.54m、短軸0.90m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-15°-Wを指す。

第68号土坑(第55図)

AN-31グリッドに位置する。平面形は不整形を呈する。規模は長径2.04m、短径1.88m、深さ63cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

出土遺物(第56~61図)

奈良時代の平瓦・丸瓦が出土した。

第69号土坑

AO-30・31グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.49m、短径1.23m、深さ34cmを測る。主軸方位はN-5°-Wを指す。

第70号土坑

AO-30グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径0.98m、短径0.94m、深さ8cmを測る。主軸方位はN-14°-Eを指す。

第71号土坑

AO-30グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.02m、短径0.80m、深さ4cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

第72号土坑

AN・AO-30グリッドに位置する。平面形は不整形を呈する。規模は長軸2.00m、短軸0.80m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-15°-Eを指す。

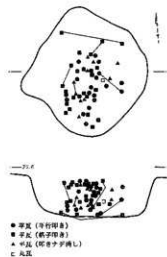
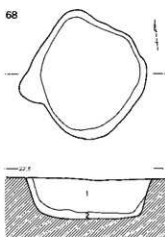
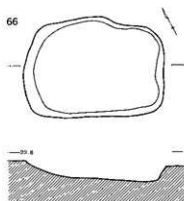
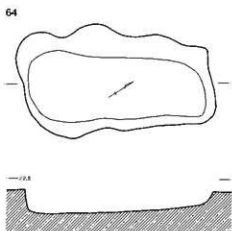
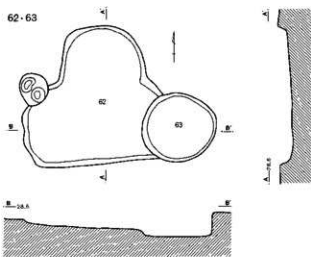
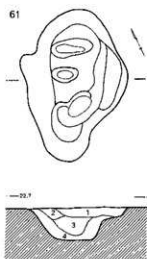
第73号土坑

AN-29グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径0.85m、短径0.80m、深さ6cmを測る。

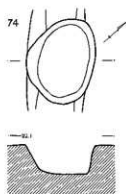
第74号土坑(第55図)

AN-28グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.34m、短軸1.08m、深さ46cmを測る。主軸方位はN-39°-Wを指す。第24号溝と重複

第55図 土坑(6)



● 甲冑 (平行印象)
■ 矛先 (数字印象)
▲ 甲冑 (不平行印象)
○ 瓦片



0 2m

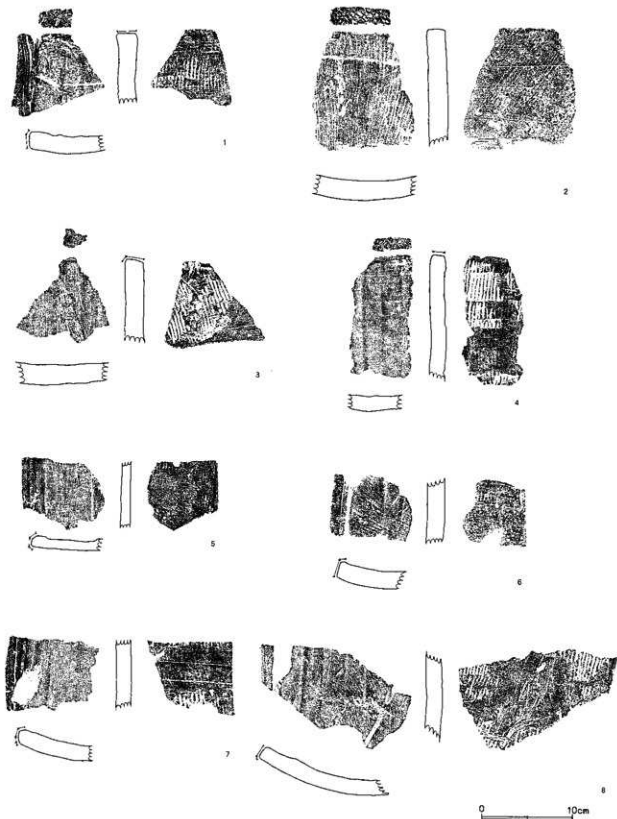
図説 61

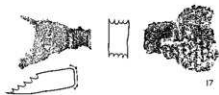
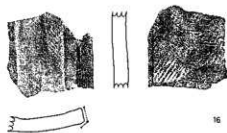
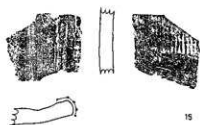
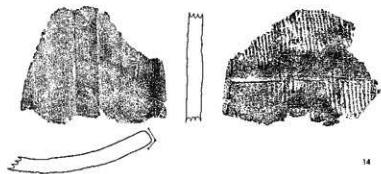
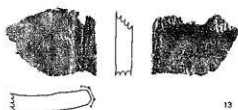
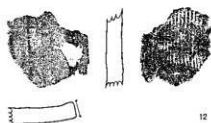
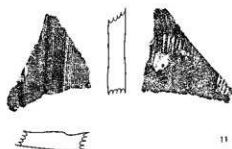
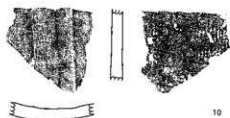
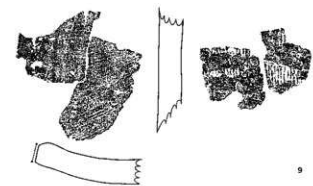
- 1 瓦片出土 ロームブロック多く含む
- 2 黄褐色土 白色粘土層中に含む 跡ありあり
- 3 黄褐色土 ローム塊子、自然崩下層を含む
- 4 地味褐色で 黄褐色土を含む

図説 68

- 1 瓦片出土 黄褐色土塊子、赤褐色粘土層を含む 跡ありあり
- 2 地味褐色 黄褐色土塊子多く含む

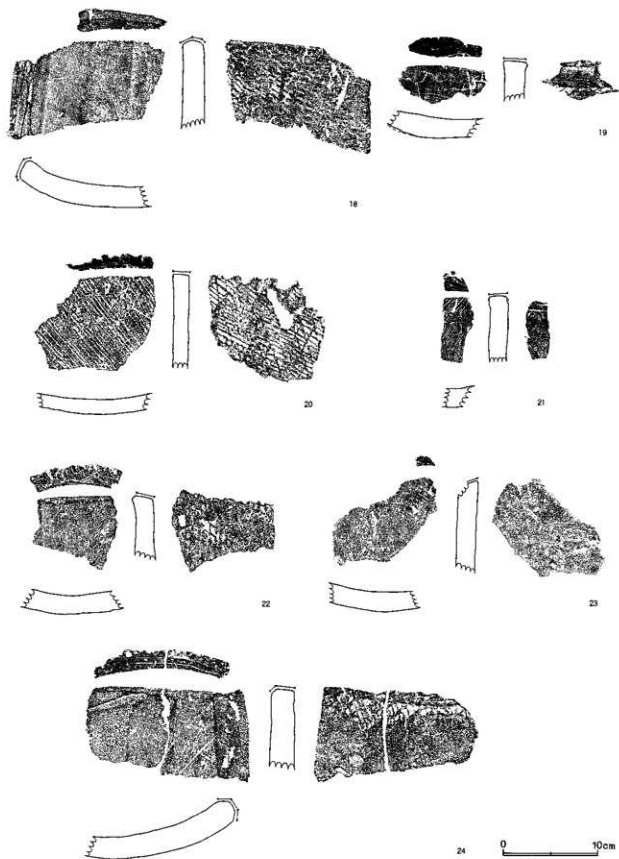
第56図 第68号土坑出土瓦(1)



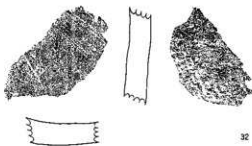
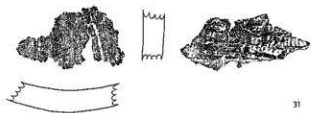
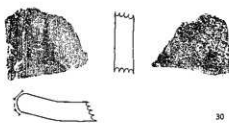
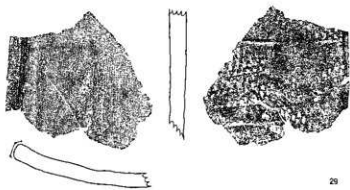
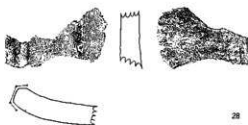
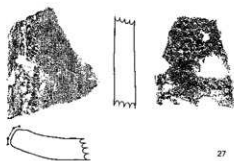
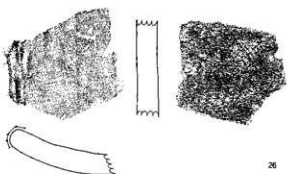


0 10cm

第58図 第68号土坑出土瓦(3)

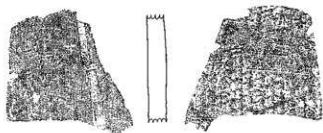


第59图 第68号土坑出土瓦(4)

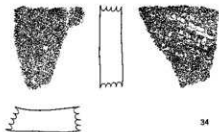


0 10cm

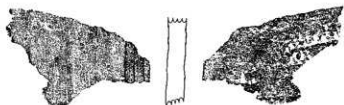
第60図 第68号土坑出土瓦(5)



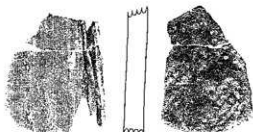
33



34



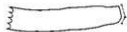
35



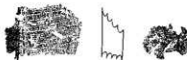
36



37



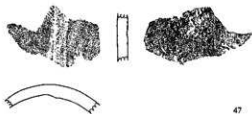
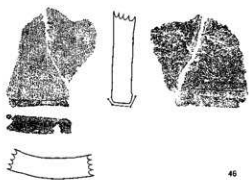
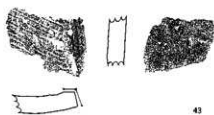
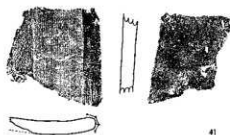
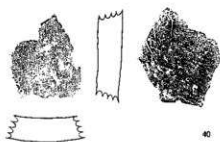
38



39



第61图 第68号土坑出土瓦(6)



0 10cm

第68号土坑出土瓦観察表(第56~61図)

番号	凹面		凸面		溝面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調		
	模弁痕	特徴	叩き	特徴							
1	24×28	2.0	布目痕	平行叩き 1.9cm/5本	叩き後横ナゲ	凹面側面取り ヘラ整形	2.3	S	I	灰黄褐	
2	不明	不明	布目痕・布織じ痕 糸切り痕	平行叩き	叩き後横ナゲ 1.1根数枚条	格子叩き	2.2	AS	II	鈍い橙	
3	24×24	2.8	布目痕	一部縦ナゲ	平行叩き 1.8cm/5本	凹面側面取り ヘラ整形	2.2	BS	I	灰白	
4	25×30	2.0	布目痕		平行叩き 2.0cm/5本	叩き後横ナゲ	1.8	BS	I	灰黄	
5	25×23	2.5	布目痕		平行叩き	叩き後横ナゲ	1.2	ABS	II	鈍い黄橙	
6	24×28	2.0	布目痕	糸切り痕	平行叩き	叩き後横ナゲ	2.0	AS	II	明褐灰	
7	26×31	2.0	布目痕	一部糸切り痕	平行叩き 2.2cm/5本	叩き後横ナゲ	1.8	BS	I	橙	
8	28×30	2.3	布目痕	一部ヘラナゲ 指紋	平行叩き 1.8cm/5本	叩き後横ナゲ 一部縦ナゲ	2.0	ABS	I	灰	
9	30×31	2.5	布目痕	一部糸切り痕	平行叩き 1.7cm/5本	叩き後横ナゲ	2.6	AS	II	橙	
10	24×26	2.0~2.5	布目痕		平行叩き	叩き後横ナゲ	1.3	ABS	II	鈍い黄橙	
11	26×32	2.3	布目痕		平行叩き 2.0cm/5本	叩き後横ナゲ	1.9	AS	I	灰	
12	32×29	2.0	布目痕		平行叩き 2.0cm/5本	叩き後横ナゲ	1.8	ABCS	I	黄灰	
13	28×30	2.7	布目痕	側面際ヘラ整形	平行叩き 2.0cm/5本	叩き後横ナゲ	2.0	AS	I	灰白	
14	28×34	2.3	布目痕		平行叩き 2.0cm/5本	叩き後横ナゲ	1.7	S	II	鈍い橙	
15	25×29	2.0	布目痕	側面際ヘラ整形	平行叩き 1.9cm/5本	平行叩き後やや斜位の横 ナゲ	凹面側面取り ヘラ整形	1.7	AS	I	鈍い黄橙
16	25×22	2.5	布目痕		平行叩き 1.7cm/5本	叩き後横ナゲ	ヘラ整形	1.7	ABS	I	灰
17	20×27	不明	布目痕		平行叩き	叩き後横ナゲ	凹面側面取り ヘラ整形	2.1	S	II	灰白
18	25×29	4.0	布目痕	一部ナゲ	斜格子叩き	叩き後横ナゲ	(狭)ヘラ整形 凸面側面取り (広)ヘラ整形	2.3	BS	I	灰
19	23×30	不明	布目痕		斜格子叩き	叩き後横ナゲ	凹面側面取り ヘラ整形 隅切りあり	2.3	BS	I	灰
20	不明	不明	糸切り痕		斜格子叩き	右下がりの叩き 横方向ナゲ	ヘラ整形	1.6	AS	II	鈍い橙
21	27×24	2.0	布目痕	糸切り痕		横方向ナゲ	ヘラ整形	2.0	ABHS	II	橙
22	22×27	2.1	布目痕	快進線縦ナゲ	斜格子叩き	叩き後横ナゲ	ヘラ整形	2.1	BS	I	褐灰
23	21×25	2.0	布目痕	一部縦・斜ナゲ	斜格子叩き	叩き後横ナゲ	ヘラ整形	2.0	BS	II	鈍い橙
24	22×25	2.4	布目痕	一部糸切り痕	斜格子叩き	叩き後横ナゲ	(狭)ヘラ整形 凸面側面取り (広)ヘラ整形	2.7	S	II	鈍い黄橙
25	23×25	3.0	布目痕	一部縦ナゲ	斜格子叩き	叩き後横ナゲ	凹面側面取り 凹面側面取り ヘラ整形	1.5	AS	II	橙
26	22×30	2.2	布目痕	側面際ヘラ整形	格子叩き	叩き後横ナゲ	面取り ヘラ整形	2.4	BS	II	灰黄
27	23×30	4.0	布目痕	縦方向のナゲ	格子叩き	横方向ナゲ	面取り ヘラ整形	2.1	BS	I	鈍い黄褐
28	23×28	2.2~2.3	布目痕	一部縦ナゲ	格子叩き	横方向ナゲ 一部縦ナゲ	凹面側面取り ヘラ整形	2.3	BS	I	褐灰
29	24×28	3.0	布目痕	一部縦ナゲ・ナゲ	斜格子叩き	叩き後横ナゲ	凹面側面取り ヘラ整形	1.8	BS	I	灰
30	23×30	2.2	布目痕	一部縦ナゲ	格子叩き	叩き後横ナゲ	ヘラ整形	2.1	BS	I	鈍い黄褐
31	26×29	不明	布目痕		格子叩き	叩き後横ナゲ		2.3	BS	II	灰褐
32	24×27	2.0	布目痕	一部糸切り痕	斜格子叩き	叩き後横ナゲ		2.3	S	II	灰黄褐
33	21×25	2.2	布目痕	一部縦ナゲ	格子叩き	叩き後横ナゲ		2.1	BS	I	灰白
34	21×25	不明	布目痕		格子叩き	叩き後ナゲ		2.6	S	II	褐灰
35	21×27	不明	布目痕	一部縦ナゲ	格子叩き	叩き後横ナゲ	凹面側面取り ヘラ整形	2.1	ABS	I	灰
36	22×27	4.2	布目痕		格子叩き	叩き後横ナゲ	面取り ヘラ整形	2.2	S	II	鈍い黄橙

番号	凹面		凸面		端部の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調	
	布目本数	図番	特徴	特徴						
37	23×24	4.0	布目旗 ナデ	格子叩き	叩き後横ナデ	面取り ヘラ整形	2.8	BS	II	鈍い黄橙
38	不明	3.5	布目旗	格子叩き	叩き後横ナデ 横方向ナデ	ヘラ整形 凹面側横ナデ	2.5	BS	I	鈍い黄
39	19×24	3.5	布目旗 一部糸切り痕			ヘラ整形 両面面取り ヘラ整形	2.4	BS	II	灰青
40	22×28	不明	布目旗 一部指ナデ	格子叩き	斜方向ナデ 平行叩き後横ナデ	面取り ヘラ整形	2.6	BS	II	黄灰
41	27×25	2.2	布目旗 一部糸切り痕			面取り ヘラ整形	1.5	AS	I	灰白
42	23×28	3.2	布目旗・布縦じ痕	格子叩き	横方向ナデ	面取り ヘラ整形	2.2	BS	I	灰
43	不明	不明	糸切り痕 側端縁ヘラ整形			斜方向ナデ	ヘラ整形	1.9	BS	I
44	28×33	2.8	布目旗・ヘラ痕 広端縁ヘラナデ	格子叩き	横方向ナデ	面取り ヘラ整形	2.6	ARS	II	橙
45	21×22	不明	布目旗 一部ヘラ横ナデ			斜方向ナデ	ヘラ整形	1.9	BS	I
46	21×20	3.8	布目旗 一部指ナデ	格子叩き	横方向ナデ	両面面取り ヘラ整形	2.1	BS	I	灰
47	25×31	2.1	布目旗			叩き後縦方向ナデ	両面面取り ヘラ整形	2.3	BS	I
丸瓦										
47	25×31	2.1	布目旗	格子叩き	叩き後縦方向ナデ	面取り ヘラ整形	1.4	ABS	I	鈍い橙

している。

第75号土坑(第62図)

AO-30グリッドに位置する。平面形は円形になると思われる。規模は長径1.20m、短径0.80m以上、深さ18cmを測る。主軸方位はN-52°-Eを指す。第24号溝と重複し、溝を切っている。

覆土中より平安時代から中世にかけての土器が出土した。

第76号土坑

AO-31グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈する。規模は長径1.08m、短径1.06m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-6°-Eを指す。

第77号土坑

AO-31グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈する。規模は長径1.42m以上、短径1.32m、深さ22cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

第78号土坑(第62図)

AO・AP-31グリッドに位置する。土坑南東側は調査区域外にかかっている。平面形は不明である。規模は長軸2.50m、短軸1.90m以上、深さ48cmを測る。主軸方位はN-8°-Wを指す。第25号溝の北端を切っている。

出土遺物(第53図4)

遺物は瓦の他、中世斐破片が出土した。瓦は平瓦で

凹面は布目で、糸の本数は3cmあたり縦23本、横28本である。凸面格子叩き後の横ナデがされている。厚さは2.3cmを計る。胎土は砂粒を含み焼成は良好で灰白色を呈する。

第79号土坑(第53図)

AP-30グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.08m、短径1.03m、深さ52cmを測る。主軸方位はN-66°-Wを指す。第25号溝と重複し、溝に切られている。

覆土中より、平安時代から中世にかけての土器が出土した。

第80号土坑(第62図)

AP-29グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈する。規模は長軸2.02m、短軸1.52m、深さ26cmを測る。主軸方位はN-50°-Eを指す。

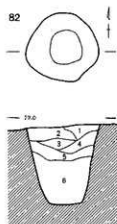
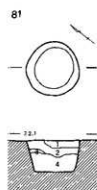
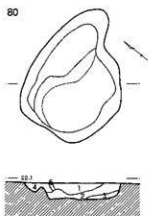
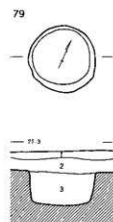
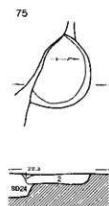
第81号土坑(第62図)

AP・AQ-29グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は直径0.84m、深さ48cmを測る。

第82号土坑(第62図)

AQ-29グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径1.16m、短径1.10m、深さ1.22mを測る。覆土中から中世の土器が出土した。

第62図 土坑(7)



SK75

- 1 赤褐色土
- 2 黒褐色土 黄褐色土粒子多く、炭化物粒了若干含む
跡残り多い

SK78

- 1 黒褐色土 黄褐色土粒子多く含む
- 2 赤褐色土 黄褐色土粒子、黄褐色土多く含む 跡残り多い

SK79

- 1 赤褐色土 白色粒子、炭化物粒子、褐色土粒子含む
跡残り多い

SK79

- 1 黒褐色土 炭化物粒子、黄褐色土粒子含む
跡残り少ない

SK79

- 3 赤褐色土 黄褐色土若干含む

SK80

- 1 赤褐色土
- 2 赤褐色土 黄褐色土粒子多く含む
- 3 赤褐色土
- 4 赤褐色土 黄褐色土含む
- 5 赤褐色土

SK81

- 1 赤褐色土 黄褐色土粒子多く含む
- 2 赤褐色土
- 3 赤褐色土 黄褐色土含む
- 4 赤褐色土 黄褐色土多く含む



SK82

- 1 赤褐色土 ローム粒子多く含む 跡残り多い
- 2 赤褐色土 黄褐色土
- 3 赤褐色土 ローム粒子多少含む
- 4 赤褐色土 ローム粒了、黄褐色土多く含む
- 5 赤褐色土 黄褐色土を細粒に含む
- 6 赤褐色土

(4) 井戸跡

第1号井戸跡(第63図)

AI-34グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈し、規模は長径1.34m、短径1.14mを測る。断面形は筒状を呈する。主軸方位はN-79°-Wを指す。

出土遺物(第65図)

覆土中より寛永通寶が出土した。径2.54cm、厚さ0.12cmを計る。「寶」の字の足が「ス」竇である特徴より、明暦2年(1656)以前に鑄造された古寛永である。

第2号井戸跡(第63図)

AI-33グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.00m、短径0.89mを測る。断面形は筒状を呈する。主軸方位はN-31°-Wを指す。

覆土中より須恵器杯・甕の破片、土師器壺片、底部に糸切り痕の残るかわらけ片、土師質土器片、鉄滓などが出土した。

第3号井戸跡(第63図)

AH-31グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.34m、短径1.17mを測る。断面形は筒状を呈する。主軸方位はN-0°-Eを指す。

出土遺物(第64~66図)

近世の陶器・焙烙・石臼・砥石・石硯と奈良時代の平瓦が出土している。19が石臼、20~22が砥石、23が片岩系の石材の石硯である。

第4号井戸跡(第63図)

AK-32グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.30m、短径1.22mを測る。断面形は筒状を呈する。主軸方位はN-10°-Eを指す。

覆土中より須恵器杯、土師器片が出土した。

第5号井戸跡(第63図)

AL-31グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.10m、短径1.05mを測る。断面形は筒状を呈する。主軸方位はN-15°-Eを指す。

第6号井戸跡(第63図)

AK-30グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.40m、短径1.36mを測る。断面形はロート状を呈する。主軸方位はN-0°-Eを指す。

第7号井戸跡(第63図)

AJ・AK-29グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈し、規模は長径1.61m、短径1.58mを測る。断面形はロート状を呈する。主軸方位はN-90°-Eを指す。

第8号井戸跡(第63図)

AK-28・29グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.26m、短軸0.98mを測る。断面形は筒状を呈する。主軸方位はN-39°-Eを指す。

第9号井戸跡(第63図)

AM-29グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.92m、短軸0.68mを測る。断面形は筒状を呈する。主軸方位はN-86°-Eを指す。

覆土中より須恵器杯片が出土した。

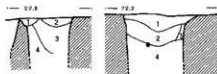
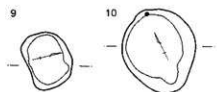
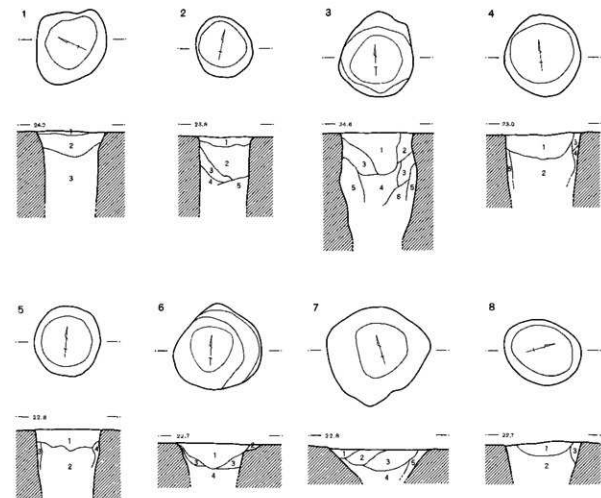
第10号井戸跡(第63図)

AM-28グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈し、規模は長径1.16m、短径1.38mを測る。断面形は筒状を呈する。主軸方位はN-0°-Eを指す。

出土遺物(第65図)

覆土中より土鍬と土師器壺破片が出土した。土鍬は長さ7.1cm、最大径3.1cm、重量58.88gを計る。

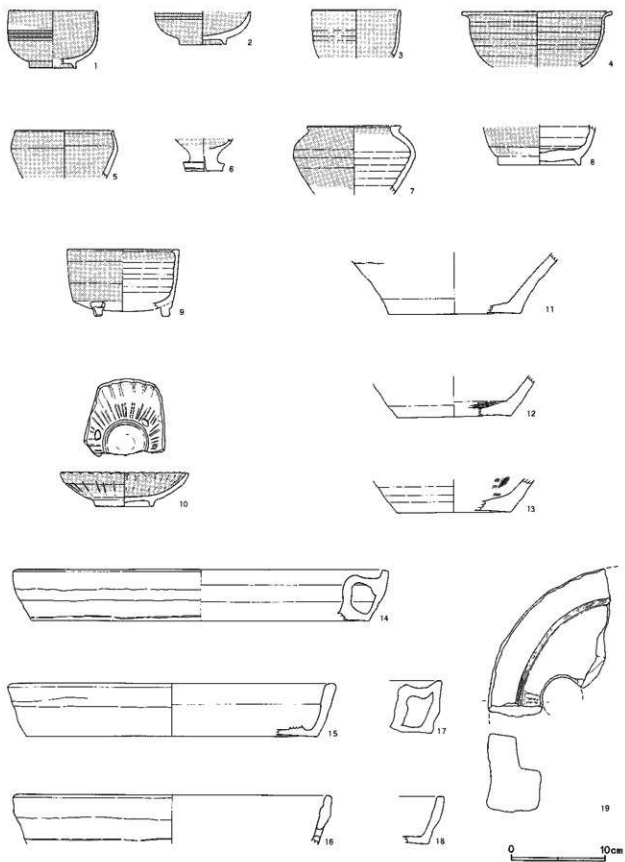
第63図 井戸跡



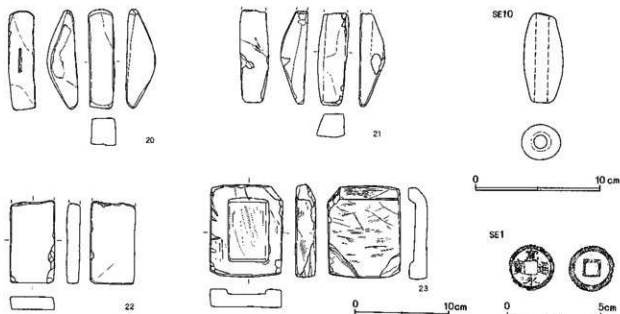
- S 井 1**
 1 灰褐色土 黄褐色土粒子多く含む
 2 暗褐色土
 3 灰黄褐色土 締まりなし
- S 井 2**
 1 灰黄褐色土
 2 黄褐色土
 3 灰黄褐色土 灰黄褐色土粒子多く含む
 4 灰黄褐色土 灰黄褐色土粒子多し含む 締まりなし
 5 黄褐色土 締まりなし
- S 井 3**
 1 灰褐色土
 2 灰褐色土 締まり強い
 3 暗黄褐色土 締まり強い
 4 暗褐色土 灰褐色土含む
 5 暗褐色土 凝結
 6 暗褐色土 締まり強い
- S 井 4**
 1 黄褐色土 ローム粒子・砂色粒子少し含む
 2 灰黄褐色土 締まり強い
 3 暗褐色土 ロームブロック多く含む 締まり強い
 4 暗褐色土 ローム粒子多く含む 締まり強い
 5 黄褐色土 締まり強い
- S 井 5**
 1 暗褐色土 ローム粒子少量含む
 2 黄褐色土 ロームブロック含む 締まりやや強い
 3 黄褐色土 締まり強い
 4 暗褐色土 ローム粒子多く含む 締まり強い

- S 井 6**
 1 黄褐色土 ロームブロック多量含む
 2 暗褐色土 中や締まる
 3 黄褐色土
 4 暗褐色土 粘性
- S 井 7**
 1 灰黄褐色土 ローム粒子含む
 2 黄褐色土 ロームブロック多く含む
 3 暗褐色土 ローム塊を含む
 4 黄褐色土 ローム塊を含む 粘性
 5 暗褐色土 ローム粒子多く含む
- S 井 8**
 1 黄褐色土 ローム粒何か 中や締まる
 2 暗褐色土
 3 暗黄褐色土 黄褐色土混ざり
- S 井 9**
 1 灰黄褐色土 黄褐色土粒子含む
 2 灰黄褐色土 黄褐色土粒子・灰褐色土ブロック含む
 3 黄褐色土 黄褐色土粒子含む
 4 灰黄褐色土 黄褐色土・黄褐色土含む
- S 井 10**
 1 暗褐色土 黄褐色土粒子含む
 2 灰黄褐色土 黄褐色土粒子含む
 3 灰黄褐色土 灰褐色土粒子多量含む
 4 灰黄褐色土・暗黄褐色土混ざり

第64图 第3号井戸跡出土遺物

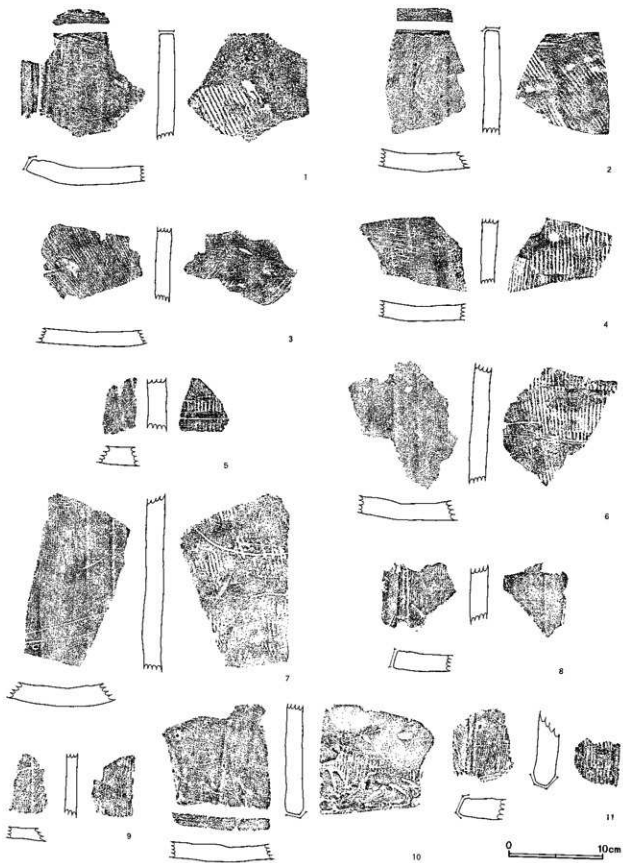


第65図 第1・3・10号井戸跡出土遺物



第3号井戸跡出土遺物観察表(第64図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎上	色調	残存(%)	その他
1	灰鉄軸半分	(9.4)	6.1	(5.0)		鈍い黄褐色	35	灰軸と鉄軸を上下に掛け分け、胴部に3本の沈線
2	灰鉄軸半分	(9.4)		(5.0)	S	暗灰黄	45	灰軸と鉄軸を上下に掛け分け、胴部に3本の沈線
3	灰鉄軸半分	(9.4)				鈍い褐	25	灰軸と鉄軸を上下に掛け分け、胴部に2本の沈線
4	灰鉄軸半分	(16.0)				灰褐	20	口縁下より鉄軸
5	鉄軸鉢	(10.6)				黒褐	15	内外面黒褐色軸
6	鉄軸環			4.0		黒褐	80	RC 底部中央に差込孔
7	鉄軸鉢	(10.0)				灰褐	35	外面上半・内面口縁部褐色軸
8	灰軸鉢			8.8	BS	明黄褐	50	外面一部・底部外面中央部に黄褐色軸 黄褐色軸
9	灰軸香炉	(12.0)	7.1	(10.4)	S	灰白	20	体部外面・口縁部内面に灰白色軸 底部右回転彫り
10	灰軸煎釜	(13.6)	3.6	6.3		灰白	60	外面上半・内面黒軸
11	無軸環鉢			(14.0)	BS	灰黄褐	15	外面下半右回転彫り 上半ロクロナデ
12	鉄軸環鉢			(12.0)	II	鈍い赤褐	20	RC 体部外面工具によるロクロ横ナデ
13	鉄軸活鉢			(12.0)	HS	灰赤	10	RC 体部外面工具によるロクロ横ナデ
14	焙烙	(40.0)	5.4	(36.0)	S	黒褐	75	体部ロクロナデ 内耳指ナデ
15	焙烙	(35.0)	5.6	(31.0)	S	黒褐	25	内耳欠損
16	焙烙	(34.0)			S	黒褐	15	体部焼成後穿孔あり 体部下端彫り
17	焙烙				S	灰褐	破片	体部ロクロナデ 内耳指ナデ 底部割離
18	焙烙		5.0		S	黒褐	破片	体部外面黒多量付着



第3号井戸跡出土瓦観察表(第66図)

番号	間 隔		特 徴	凸 面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目数	横骨枚数		叩き	特 徴					
1	30×不明	2.4	布目痕	平行叩き 2.0cm/5本	叩き後斜方向ナゲ	ヘラ整形	1.7	ABS	Ⅲ	黄灰
2	21×24	3.5	布目痕 一部糸切り痕	平行叩き 1.7cm/5本	叩き後横方向ナゲ消し	ヘラ整形 凹内側面取り	1.8	ABS	Ⅰ	黄灰
3	19×29	2.5	布目痕・糸切り痕	平行叩き 1.3cm/5本	叩き後横方向ナゲ消し		1.6	ABS	Ⅰ	灰黄
4	20×26	2.5	布目痕・糸切り痕	平行叩き 1.8cm/5本	叩き後横方向ナゲ消し		1.6	ABS	Ⅰ	灰白
5	21×24		布目痕	平行叩き 1.8cm/5本	叩き後横方向ナゲ消し		1.9	BS	Ⅱ	鈍い橙
6	24×27	2.1	布目痕	平行叩き 2.0cm/5本	叩き後横方向ナゲ消し		1.8	ABS	Ⅱ	赤褐
7	20×23	2.5	布目痕	平行叩き 1.8cm/5本	叩き後ナゲ消し		2.0	ABS	Ⅱ	明黄褐
8	20×不明		布目痕		横方向ナゲ	ヘラ整形	1.8	ABS	Ⅱ	浅黄
9	20×不明		布目痕	平行叩き 1.8cm/5本	叩き後横方向ナゲ消し		1.2	ABS	Ⅱ	灰白
10	20×23	2.5	布目痕	平行叩き 1.5cm/5本	叩き後横方向ナゲ消し	ヘラ整形 凸面側面取り	1.9	ABS	Ⅱ	鈍い橙
11	24×21	2.3	布目痕	平行叩き	叩き後横方向ナゲ消し	ヘラ整形 凹内側面取り	2.2	BS	Ⅱ	鈍い黄緑

(5) 溝

第1号溝(第67図)

AE-32-36グリッドに位置する。溝東端及び西端は調査区域外に延びている。また溝中央付近で第2号溝と直交している。確認できた長さは約40m、幅約1.2-2.5m、深さ約50-76cmを測る。断面形は菜研もしくは箱菜研である。

出土遺物(第68・69図)

奈良時代の平瓦の他、須恵器環・蓋・甕片、土師器片、砥石が出土した。

第2号溝(第67図)

AE・AF・AG・AH-34グリッドに位置する。長さは約27m、幅約0.4-1.0m、深さ約20-30cmを測る。断面形は逆台形である。

溝北端が第1号溝と重複している。また、第10号・第14号土坑を切っている。

覆土中より須恵器環・甕片、土師器片が出土した。

第3号溝(第70図)

AH-34・35グリッドに位置する。斜面に位置し等高線と平行して延びているため南壁は明確ではない。溝東端は調査区域外に延びている。確認できた長さは

約13.5m、幅約1.4-2.0mを、斜面上側で深さ40cmを測る。溝はN-90°-Eの方向に延びる。

覆土中より遺物は中世の土器が出土した。

第4号溝(第70図)

AH-35グリッドに位置する。確認できた長さは約8m、幅約1.2m、深さ約20cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-90°-Eの方向へ延びる。

須恵器環底部片が出土した。

第5号溝(第70図)

AI-35グリッドに位置する。確認できた長さは約5m、幅約0.6-0.8m、深さ約20cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-88°-Eの方向へ延びる。

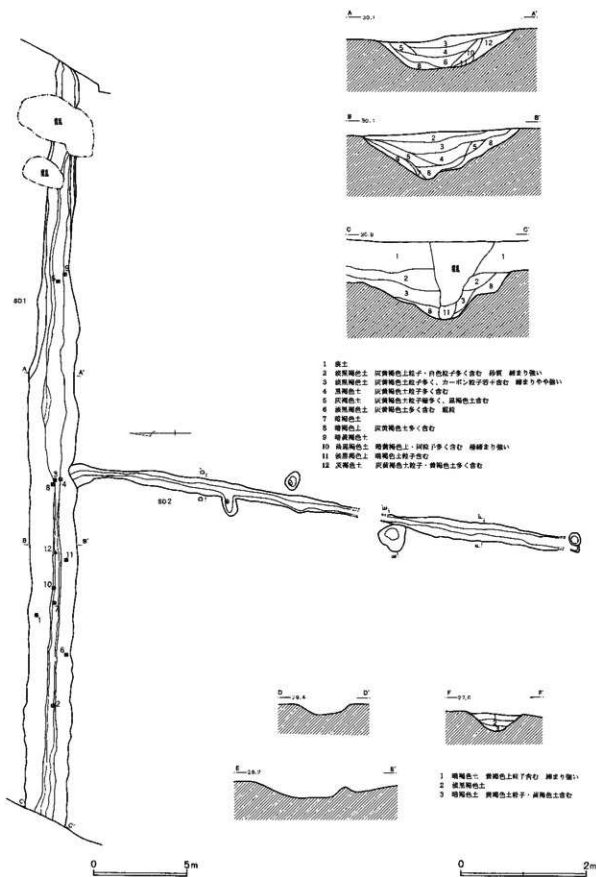
覆土中より須恵器環底部片が出土した。

第6号溝(第71図)

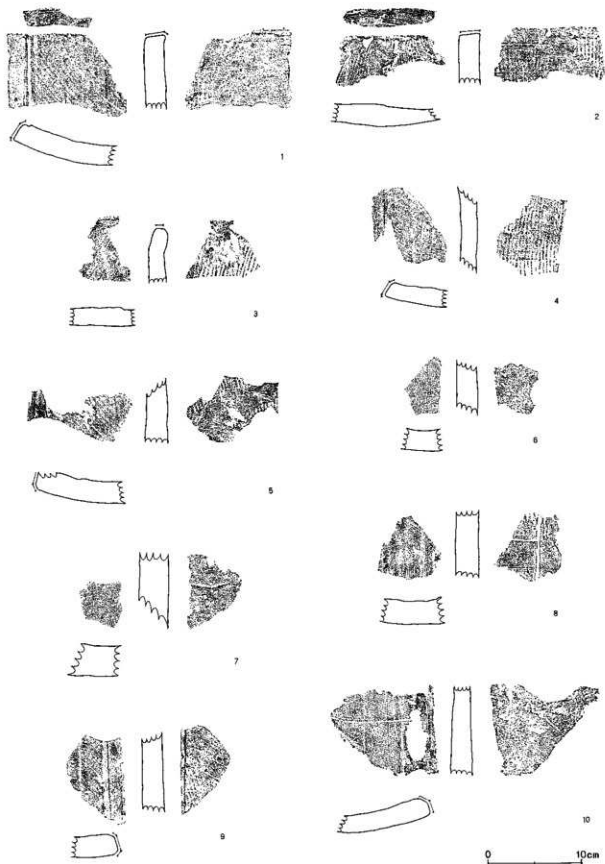
AH-33・34グリッドに位置する。確認できた長さは約9m、幅約1.0-1.4m、深さ約40cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-85°-Wの方向へ延びる。溝西端で第7号溝と重複している。

第7号溝(第71図)

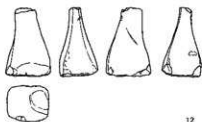
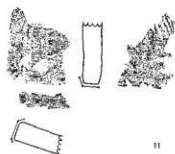
AH-32・33グリッドに位置する。規模は長さ約10



第68図 第1号溝出土遺物(1)



第69図 第1号溝出土遺物(2)

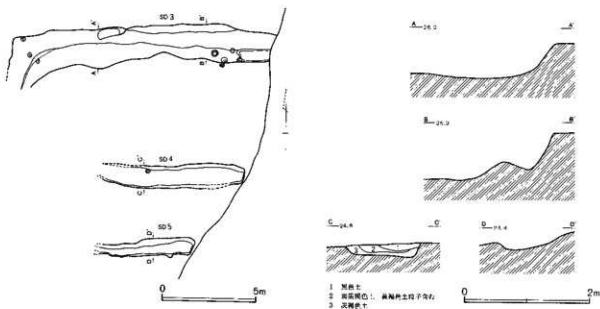


0 10cm

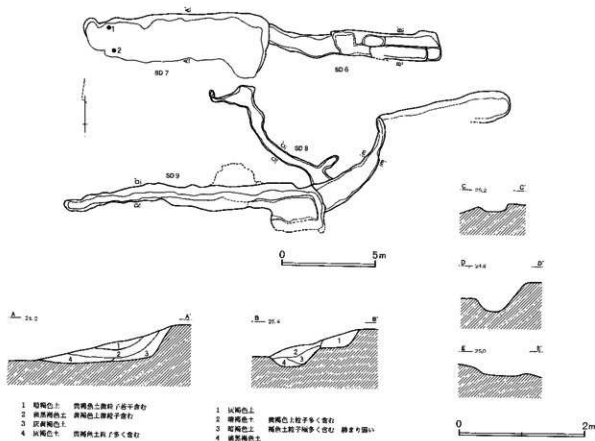
第1号溝出土瓦観察表(第68・69図)

番号	凹 面		凸 面		端部の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	横径縦径	特 徴	特 徴					
1	27×26	2.0	布目横・糸切り痕	横方向工具ナデ	へら整形 面取り	2.2	AS	I	鈍い黄橙
2			布目横・糸切り痕	平行叩き 叩き後横方向ナデ	へら整形	2.2	BS	I	鈍い橙
3			布目横・糸切り痕	平行叩き 2.3cm/6本 ナデ・窠ナデ	へら整形 面取り	1.9	ABS	I	黄灰
4	26×25	1.8	布目横	平行叩き 2.3cm/6本 平行叩き後横方向工具 ナデ	へら整形 面取り	1.8	ABS	I	鈍い橙
5	27×22	2.2	布目横 工具ナデ	平行叩き	へら整形	2.4	ACDS	I	鈍い橙
6	22×22		布目横	横方向ナデ	2.3	S	I	鈍い橙	
7	21×17		布目横	横方向ナデ	3.2	S	I	浅黄橙	
8	22×21	2.2	布目横	平行叩き 叩き後横方向ナデ 横ナデ後縦位の沈痂	2.5	AS	I	灰白	
9	26×25	2.1	布目横	平行叩き 叩き後横・斜方向ナデ	へら整形 面取り	2.3	AS	I	灰黄褐
10	21×19	3.5	布目横	平行叩き 叩き後横方向ナデ	2.3	AS	I	鈍い黄橙	
11	22×20	2.2	布目横 窠ナデ痕あり	平行叩き 叩き後横方向ナデ	へら整形 両面面取り	2.0	S	I	灰白

第70図 第3号～第5号溝



第71図 第6号～第9号溝



m、幅約2.5m、深さ約50cmを測る。断面形は逆台形になるものと思われる。溝はN-90°-Eの方向へ延びる。溝東端で第6号溝と重複している。

出土遺物(第79図1・2)

覆土上層より灰釉陶器高台付皿が2点出土した。

第8号溝(第71図)

AH-33グリッドに位置する。溝南端を第9号溝に切られている。確認できた長さは約7m、幅約0.4m、深さ約15cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-50°-Wの方向に延びる。

第9号溝(第71図)

AH・AI-32・33、AH-34グリッドに位置する。クランク状に延び約23m、幅約0.5~1.4m、深さ約10~40cmを測る。

覆土より中近世の土器が出七した。

第10号溝(第72図)

AH・AI・AJ-32グリッドに位置する。溝北端は確認できなかった。確認できた長さは約19m、幅約0.4~0.9m、深さ約20~40cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-6°-Wの方向へ延びる。

第11号溝が合流し、南端寄りて第13号溝と交差し、第15号溝と合流している。

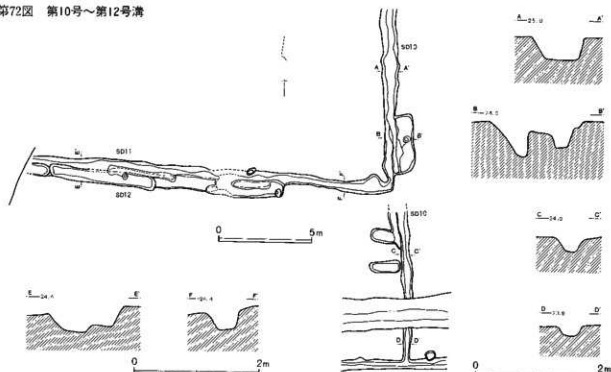
覆土より中世の土器が出土した。

第11号溝(第72図)

AI-30~32グリッドに位置する。溝西端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約19.5m、幅約0.5m、深さ約30cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-86°-Wの方向へ延びる。

東端は第10号溝と合流し、第12号溝と並行して延びており、一部重複している。

第72図 第10号～第12号溝



第12号溝(第72図)

AI-30・31グリッドに位置する。溝西端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約14m、幅約0.5m、深さ約40cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-86-Wの方向へ延びる。

第11号溝と並行しており、一部重複している。

覆土より瓦、須恵器蓋片、中世の土器が出土した。

第13号溝(第73図)

AI-29～35グリッドに位置する。溝東端・西端とも調査区域外に延びている。確認できた長さは約55m、幅約1.5～2.5m、深さ約60～90cmを測る。断面形は菜研及び箱菜研である。溝東半でN-85-E、西半でN-88-Wの方向へ延びる。

第10・14号溝と交差し、第16号溝が合流している。

西端は第7号住居跡と重複している。

出土遺物(第74・75図)

覆土上位より奈良時代の瓦、須恵器環、土師器甕、中世上器の他、石器、羽口が出土した。

第14号溝(第73図)

AI・AJ-32・33グリッドに位置する。第13・15号

溝に切られている。確認できた長さは約4.5m、幅約0.5m、深さ約10cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-10-Eの方向へ延びる。

第15号溝(第73図)

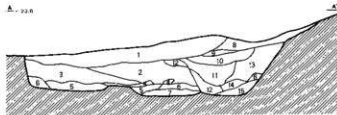
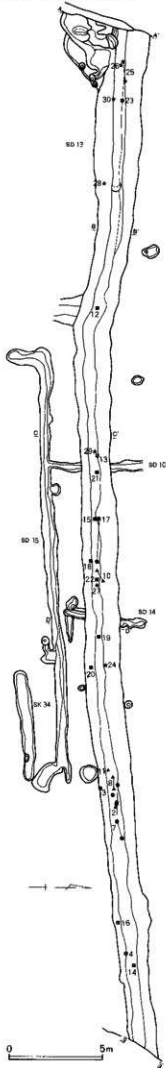
AI-33、AJ-31～33グリッドに位置する。第13号溝の南側に平行して延びており、西端はほぼ直角に南へ屈曲している。規模は長さ約24m、幅約0.5～0.8m、深さ約20cmを測る。溝はN-85-Eの方向へ延びる。

覆土中より須恵器片、近世陶器が出土した。

第16号溝(第76図)

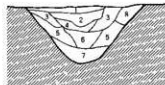
AI・AJ・AK-31、AL・AM-31・32グリッドに位置する。北端で第13号溝と合流しており、南へ約31m延び、屈曲して東方へ約15m延びている。幅約0.8m、深さ約10～30cmを測る。断面形は逆台形である。溝は南北方向ではN-3-W、東西方向ではN-88-Eの方向へ延びる。南西端付近では第22号溝、東端で第17号溝と重複している。

覆土中より、須恵器環、高台付環、土師質上器、若干の中世の上器が出土した。



- 1 黒色土 黄褐色土粒子・黒色土粒子多く含む 締まり強い
- 2 黄褐色土 ロームのブロック、黄褐色土粒子多く含む
- 3 黒色土 黄褐色土粒子含む 締まり強い
- 4 灰黄褐色土 粘土粒子・ローム粒子含む 締まり強い
- 5 黄褐色土 黄褐色土を含む
- 6 黄褐色土
- 7 黄褐色土
- 8 黄褐色土 黄褐色土を含む
- 9 黒色土 黄褐色土粒子を含む
- 10 黄褐色土 黄褐色土粒子・ローム粒子を含む 締まり強い
- 11 黄褐色土 黄褐色土粒子多く含む 締まり強い
- 12 黄褐色土 黄褐色土粒子・黄褐色土 締まり強い
- 13 黄褐色土 黄褐色土多く含む 締まり強い
- 14 黄褐色土 黄褐色土粒子を含む 中々粘質
- 15 黄褐色土 砂質

B-A

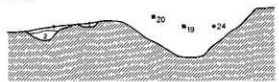


- 1 黄褐色土 黄褐色土粒子・黄褐色土 中々締まりあり
- 2 黄褐色土 黄褐色土粒子多く含む 締まり強い
- 3 黄褐色土 黄褐色土粒子・粘土を含む 締まり強い 粘質
- 4 黄褐色土 黄褐色土粒子を含む
- 5 黄褐色土 黄褐色土粒子・黄褐色土 粘質
- 6 黄褐色土 ローム粒子・黄褐色土 粘質
- 7 黄褐色土 ローム粒子・黄褐色土 中々粘質
- 8 黄褐色土 黄褐色土

C-231

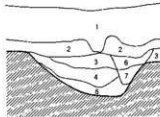


D-24.C



- 1 黄褐色土 黄褐色土粒子多く含む
- 2 黄褐色土 黄褐色土粒子多く含む

E-24.B

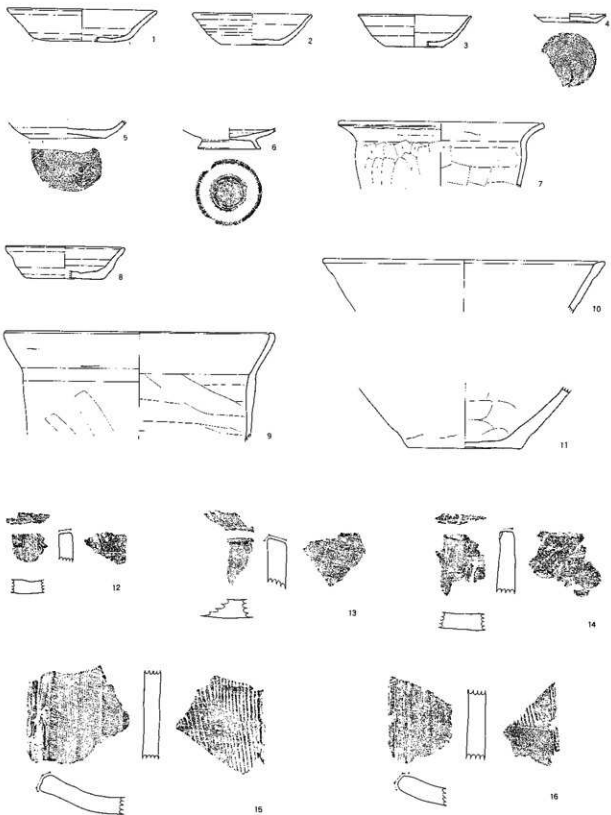


- 1 黄褐色土
- 2 黄褐色土 締まり強い
- 3 黄褐色土 黄褐色土粒子・黄褐色土 締まり強い
- 4 黒色土
- 5 黒色土 黄褐色土粒子多く含む
- 6 黄褐色土
- 7 黄褐色土

0 5m

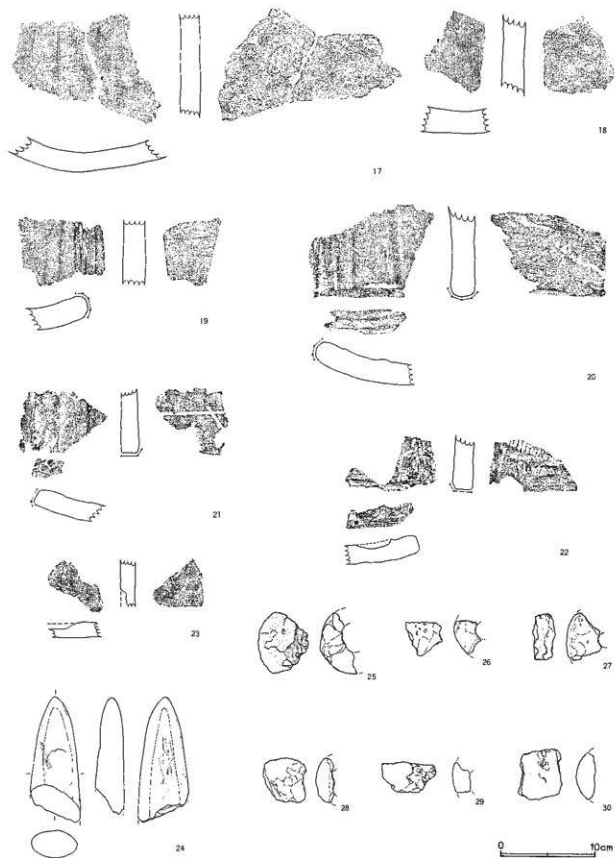
0 2m

第74図 第13号溝出土遺物(1)



0 10cm

第75図 第13号溝出土遺物(2)



第13号溝出土遺物観察表(第74図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存%	その他	
									ABC	RA
1	環	(16.0)	3.4	(10.0)	ABCS	I	灰白	15	RA	体部は大きく開く
2	環	(12.8)	3.3	(6.5)	AB	II	浅黄橙	40	RC	口唇内面一部に塗泥付着
3	環	(12.2)	3.4	(6.1)	ABS	I	灰白	15	RC	
4	環			5.5	AB	I	灰	70	RC	
5	碗			(8.0)	AB	I	ネリブ灰	45	Rbb	
6	高台付皿			6.5	ABS	I	灰	70		底部外面露整形
7	土師器鬘	(21.8)			BJ	I	鈍い橙	10		頸部外面下方向へ露削り後上方へヘラ削り
8	かわらけ	(12.6)	3.4	(8.0)	A	III	橙	20	KC	
9	甕	(28.2)			BJ	II	黒褐	20		黒色土器 外面露削り後1寧な横方向ナゲ
10	鉢	(30.0)			BS	III	橙	10		土師質土器 器面剥落不明瞭
11	鉢			(12.0)	S	II	鈍い黄橙	10		土師質土器 内面ナゲ 外面剝離顕著 底部外面不定方向露削り

第13号溝出土瓦観察表(第74・75図)

番号	凹面		凸面		特徴	端面的特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	横骨痕幅	特徴	叩き						
12	24×26	1.8	布目痕		横方向ナゲ	ヘラ整形	1.6	S	I	鈍い橙
13	20×22		布目痕		横方向ナゲ	ヘラ整形	2.0	S	I	鈍い黄橙
14	20×20	2.1	布目痕		横方向ナゲ	ヘラ整形	2.0	S	I	灰白
15	22×24	2.4	布目痕	平行叩き 2.0cm/5本	平行叩き後横方向ナゲ	ヘラ整形 両面面取り	1.8	AS	I	鈍い黄橙
16		2.3	布目痕	平行叩き 1.8cm/5本	平行叩き後横方向ナゲ	ヘラ整形 両面面取り	2.9	S	I	浅黄橙
17	21×25	2.7	布目痕	格子叩き	叩き後横方向ナゲ	ヘラ整形	2.1	S	I	黄灰
18	20×21	3.0	布目痕		横方向ナゲ・ヘラ痕	両面面取り	2.4	S	I	灰
19	21×24	1.6	布目痕		横方向ナゲ	ヘラ整形 両面面取り 凹面側二段	2.4	S	I	暗灰黄
20	21×22	4.4	布目痕		横方向ナゲ	ヘラ整形 両面面取り	2.6	S	I	鈍い橙
21		3.2	布目痕		横方向ナゲ	ヘラ整形	2.0	S	I	灰白
22			布目痕	平行叩き 2.1cm/5本	平行叩き後横方向ナゲ 一部縦方向ナゲ	鈍なヘラナゲ 凹面面取り	2.1	BS	I	黄灰
23	27×30		布目痕		叩きナゲ消し		1.7	BS	I	鈍い橙

第17号溝(第76図)

AK-33, AL-32・33, AM・AN-32グリッドに位置する。規模は長さ約33m、幅約0.4~0.8m、深さ約20~50cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-12°-Eの方向へ延びる。第16号溝、第53・54号土坑と重複している。

覆土より、須恵器環、蓋、高台付坏片、土師器鬘片が出土した。

第18号溝(第76図)

AK・AL-33グリッドに位置する。確認できた長さは約10m、幅約0.4~0.8m、深さ約30cmを測る。断面は逆台形である。溝はN-12°-Eの方向へ延びる。北端は第58号土坑と重複している。

覆土中より土師器片、中世上器片が出土した。

第19号溝(第76図)

AL-33グリッドに位置する。東端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約3m、幅約1m、深さ約30cmを測る。溝はN-80°-Eの方向へ延びる。南壁側は第60号土坑と重複している。

覆土中より須恵器坏片が出土した。

第20号溝(第77図)

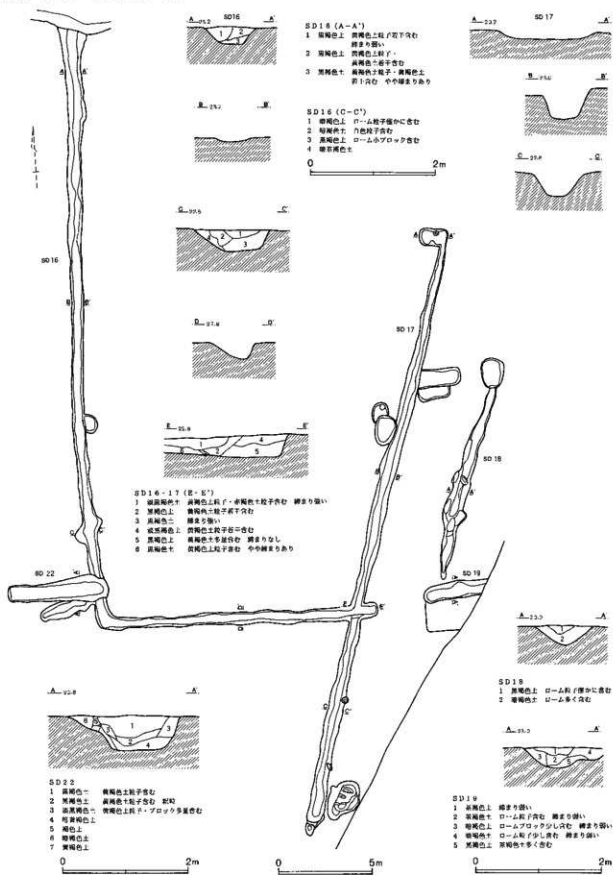
AL-28~30グリッドに位置する。第5号住居跡を切っている。溝西端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約22m、幅約0.7~2.2m、深さ約20~60cmを測る。溝はN-83°-Eの方向へ延びる。

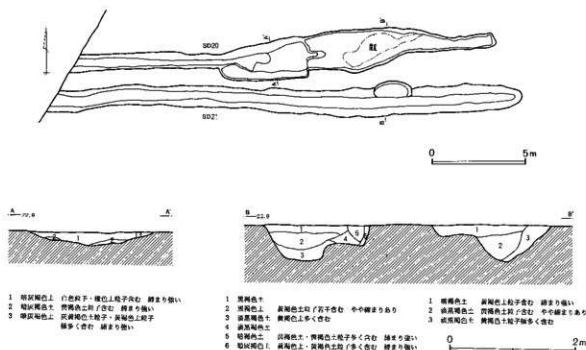
覆土中より中近世の土器を出土した。

第21号溝(第77図)

AL-28~30グリッドに位置する。第20号溝の南側に並行しており、溝西端は調査区域外に延びている。

第76図 第16号～第19号・第22号溝





cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-90°-Eの方向へ延びる。

覆土より、須恵器環、甕破片、土師器甕破片の他、中世の土器も若干出土した。

第22号溝(第76図)

AL-31グリッドに位置する。溝東端は第16号溝と重複している。確認できた長さは約4.5m、幅約0.9~1.2m、深さ約60cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-85°-Eの方向へ延びる。

第23号溝(第78図)

AN・AO-29、AP-29・30グリッドに位置する。確認できた長さは約26m、幅約0.5m、深さ約30cmを測る。溝はN-5°-Wの方向へ延びる。第24号溝と交差し、第25・27・28号溝と合流している。

覆土より中世の土器が出土した。

第24号溝(第78図)

AN-28・29、AO-28~30、AP-30・31グリッドに位置する。溝北端及び南端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約41.5m、幅約0.7~1.6m、深さ約40cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-

50°-Wの方向へ延びる。第74・75号土坑と重複し、第75号土坑に切られている。第23・24号溝と交差し、第25・28号溝と合流している。

覆土より須恵器環・甕片が出土した。

第25号溝(第78図)

AP-30・31グリッドに位置する。確認できた長さは約14.5m、幅約0.6~1.1m、深さ約30cmを測る。断面形は逆台形である。溝はN-72°-Eの方向へ延びる。第78・79号土坑と重複し、第79号溝を切っている。第23・24・26号溝と合流している。

覆土より須恵器甕の破片が出土した。

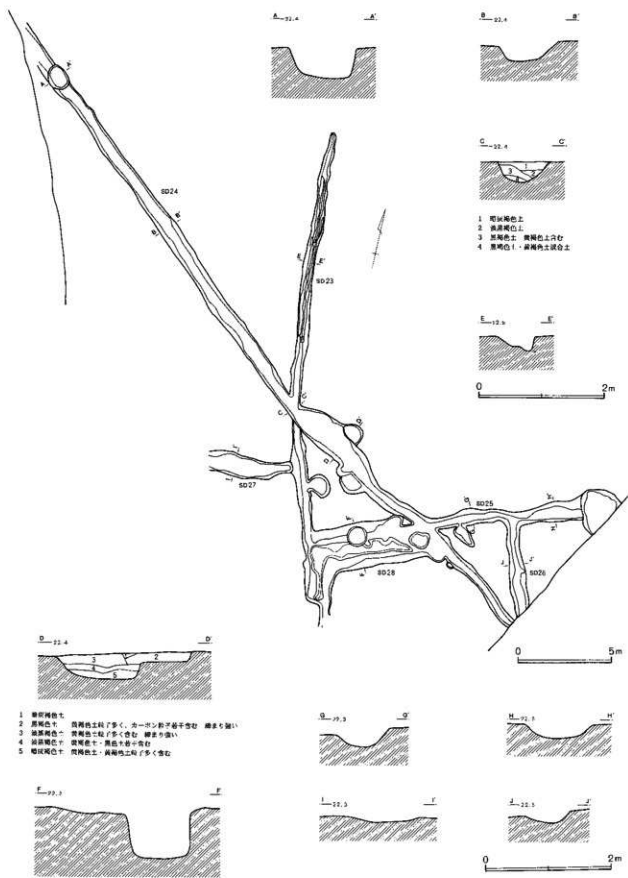
第26号溝(第78図)

AP-31グリッドに位置する。南端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約5m、幅約0.6m、深さ約20cmを測る。溝はN-20°-Wの方向へ延びる。溝北端は第25号溝に合流している。

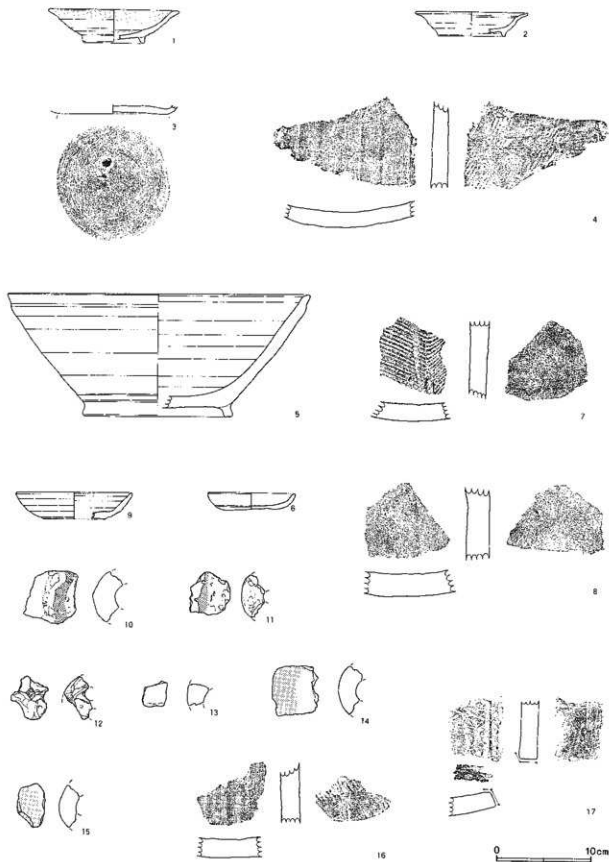
第27号溝(第78図)

AP-29グリッドに位置する。西端は確認できなかった。確認できた長さは約4.5m、幅約0.6~1.3m、深さ約40cmを測る。断面形は皿状である。溝はN-88°

第78図 第23号～第28号溝



第79图 湾出土遗物



清出土遺物観察表(第79図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土遺構・その他
1	灰輪陶器 高台付皿	(14.0)	3.5	(6.6)	S	I	灰白	40	SD7 覆土上層 底部右回転痕ナデ 体部外面 右回転ヘラナデ 口縁部内外面緑色釉
2	灰輪陶器 高台付皿	(12.0)	2.5	(3.6)		I	淡黄	20	SD7 覆土上層 底部糸切り痕 口縁部内外面黄褐色釉
3	須恵器碗			11.8	BS	I	灰白	95	SD16 LA
5	鉢	(32.2)	12.9	(16.0)	BII	I	灰	20	SD17 体部下端回転痕削り 高台貼付
6	かわらけ	9.2	1.9		J	II	橙	75	SD17 底部指ナデ 水洗ひ痕顯著
9	須恵器杯	(12.4)	2.8	(6.6)	S	II	灰黄	15	SD19 RC

清出土互観察表(第79図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	横脊幅	特徴	叩き	特徴					
4	21×19	2.2	布目痕	平行叩き 2.1cm/5本	平行叩き 後ナデ消し		1.6	ABS	I	鈍い橙
7			糸切り痕		ナデ	ヘラ整形 凹面側面取り	2.0	S	I	灰
8	21×24	2.3	布目痕		横方向ナデ		2.4	S	I	鈍い橙
16	22×24	1.7	布目痕 一部縦位ナデ	平行叩き	平行叩き 後横方向ナデ		2.2	S	I	鈍い黄橙
17	24×26	1.6	布目痕	平行叩き	平行叩き 後横方向ナデ		1.9	S	I	鈍い黄橙

4(SD16) 7-8(SD17) 16-17(SD22)

一Eの方向へ延びる。東端は第23号溝に合流している。

第28号溝(第78図)

AP-30グリッドに位置する。確認できた長さは約7m、幅約1.1~1.7m、深さ約10cmを測る。断面形は皿状である。溝はN-75-Eの方向へ延びる。東端は第24号溝と、西端は第23号溝と合流している。

第29号溝

AM-31・32、AN-31グリッドに位置する。規模は長さ約9.5m、幅約0.6~1.2m、深さ約10cmを測る。主軸方位はN-15-Eを指す。

V 西浦遺跡の調査

1 遺跡の概要

西浦遺跡は、東松山台地南縁の台地が一段低くなった都幾川の沖積地に面する低台地上に位置する。

北に隣接する上川入遺跡とは、台地上から雨水が流れる流路があり、地形的にもやや低くなるこの流路によって分けられている。南端は新江川に沿った県道大黒・久保田・下青島線によって南限とされている。また、市指定史跡である野本氏館跡と接し、野本氏館跡を北側と西側から抱え込むような範囲となっている。野本氏館跡の東に隣接して県指定史跡である前方後円墳の野本将軍塚古墳があり、3遺跡とも同じように都幾川の沖積地に面する低台地上に位置する。

調査区は国道線幅の調査で、西浦遺跡は間に野本氏館跡を挟んで、南北に離れて大きく二分されている。調査の過程で、北の範囲を既存道路により分け、北からA区・B区と呼称し、南の範囲をC区と呼称した。

A区の流路寄りの北側は、標高が最も低く21.5m前後で、他は22.0～22.3m程度で平坦である。調査時当初は湧水が激しく調査区が水没し調査不能であったが、渇水期によりよく調査ができるような地区であった。

検出された遺構は、平安時代の住居跡4軒、土坑1基、中世の井戸跡1基のほか、時期は不詳であるが土坑41基、井戸跡2基、溝23条のうち2条は近代で非常に新しいが、他は中世以降のものと考えられる。

調査区平坦部の南西側で平安時代の住居跡が4軒検出され、集落としては路線外の西側に広がると考えられる。

溝はほぼ南北方向や東西方向に延びるものがほとんどで、北端部は溝が集中していた。時期は不明であるが、調査区を縦断するようにほぼ南北に延びる溝の断面形は箱薬研で深い溝であり、計画的に開削されたと考えられる。

B区はほぼ平坦で、標高は21.6～22.0mで南側が僅かに高い。

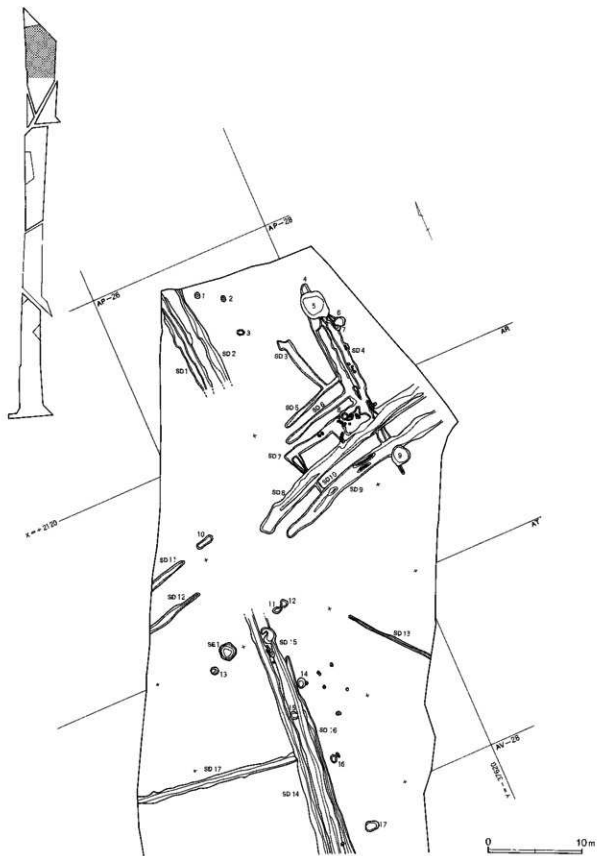
検出された遺構は平安時代の住居跡2軒、中世の土坑8基・井戸跡1基でその他の土坑・溝は中世以降のものと考えられる。南端には土坑の集中区があり、中世のかわらけや銭が検出された土坑もあり、中世の土城群と考えられる。

溝はほぼ東西方向及び南北方向に延びているものが主体で、遺物はほとんど検出されなかったが、第28号溝より板碑が出土した。

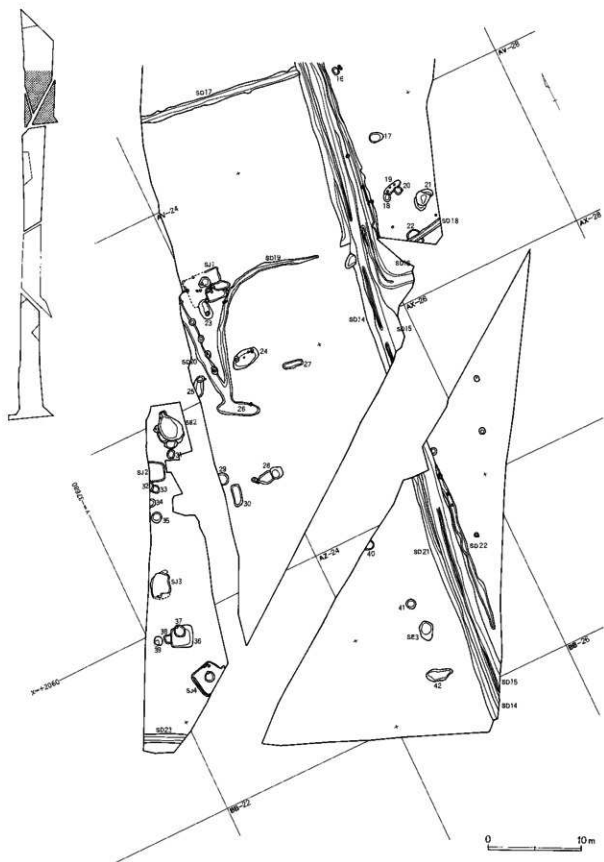
C区は北部は平坦であるが、南へ向かって緩やかに傾斜し、南部で南東から入り込む埋没谷の範囲が最も低く、再び南端でローム台地が見られる。

検出された遺構は、弥生時代の住居跡8軒・方形周溝墓3基、土坑6基・溝1条・竪穴状遺構1基がある。住居跡を初め土坑・溝・竪穴状遺構は平坦な北部、つまり台地上にあり、方形周溝墓は埋没谷を隔てた南端の台地上にある。古墳時代の住居跡3軒も平坦部にあり土坑7基は平坦部と斜面部にあるものがある。奈良・平安時代の住居跡は35軒で、平坦部のものより斜面部のものが多く、埋没谷の範囲内にも住居跡が検出されている。その他に土坑76基・溝2条・竪穴状遺構4基が検出された。埋没谷の範囲からは、円面硯10点や「比」の黒書土器、「企」の朱墨書土器が出土し、竪穴状遺構からは「厨」の黒書土器が出土した。

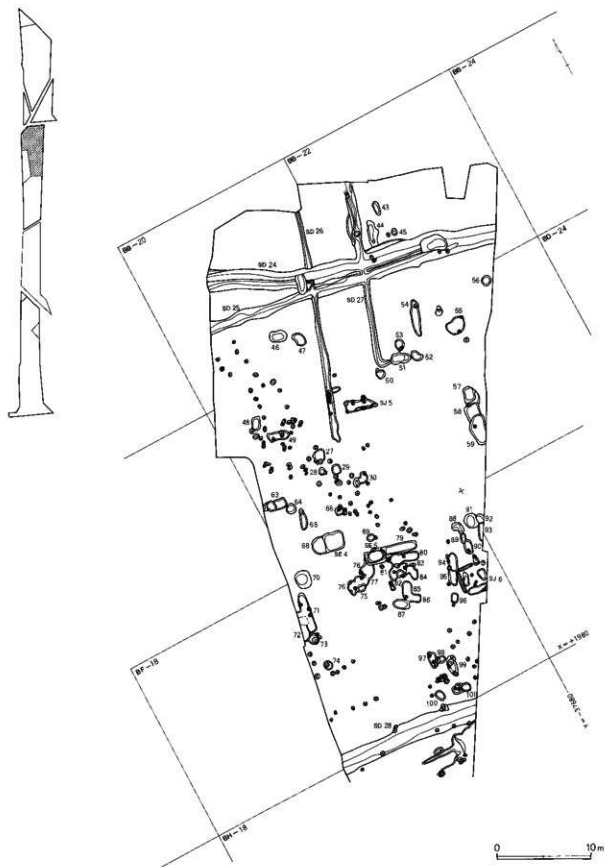
第80図 西浦遺跡A区全測図(1)



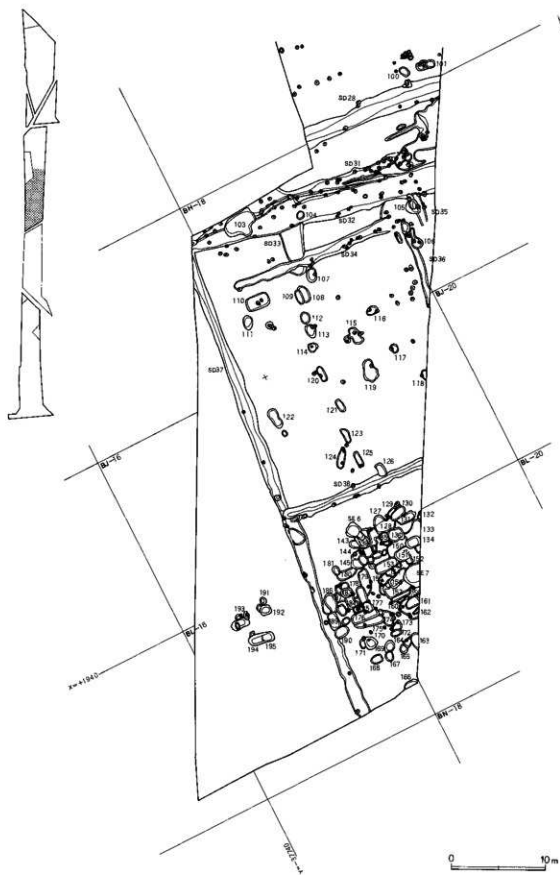
第81图 西浦遗址A区全测图(2)



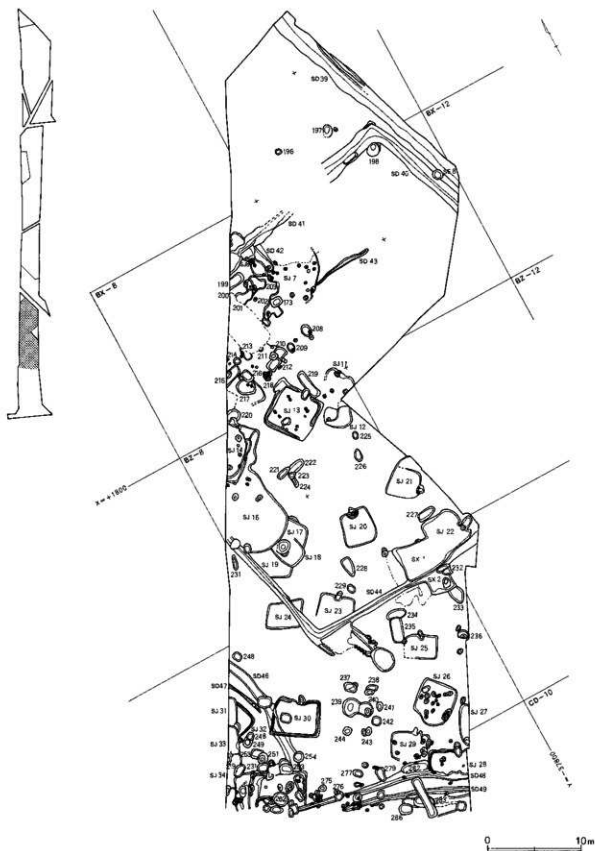
第82図 西浦遺跡B区全測図(1)



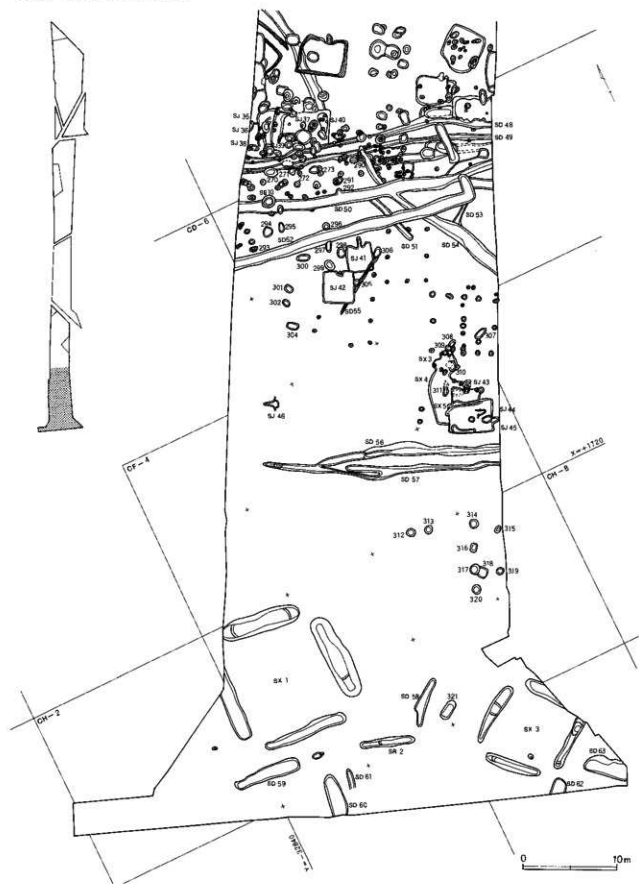
第83图 西浦遺跡B区全測図(2)



第84図 西浦遺跡C区全測図(1)



第85图 西浦遺跡C区全測図(2)



2 弥生～古墳時代の遺構と遺物

(1) 住居跡

第7号住居跡(第86図)

BX・BY-9・10グリッドに位置する。住居跡北側が攪乱を受けている。第42号溝及び第204号土坑と重複している。床面の確認のみで、南東壁が僅かに確認できた状況であった。平面形は不明であるが、規模は南北5.5m以上を測る。主軸方位はN-46°-Eを指す。

炉跡は南東壁寄りから検出された。平面形は楕円形で、規模は長軸40cm、短軸25cmを測る。底面のみの確認で、赤変し硬化している。ピットは住居内に12基検出されている。

出土遺物(第87図)

出土遺物は南東壁寄りから検出された。弥生時代の柳葉文系土器で壺・甕・台付甕が出土した。

8は長さ11.9cm、幅4.1～6.3cm、厚さ1.8cmである。各面とも平滑で擦痕が認められる。また、裏面と側面には油煙状のもの付着が認められる。

9～12は甕形土器で、9は頸部上段に柳葉文状文、下段には柳葉波状文を施す。10は波状文を施す。11・12は胴部の破片で楕円工具による乱れた格子目文を施す。

第8号住居跡

BX-9グリッドに位置する。炉跡が検出されているが、住居跡の平面形は不明である。炉跡は楕円形で、長軸50cm、短軸25cmを測る。底部のみ検出で、赤変し硬化している。

第9号住居跡(第88図)

BY-8グリッドに位置する。炉跡が検出されているが、住居跡平面形は不明である。炉跡は西半部が調査範囲外で、楕円形と推定され長軸25cm以上、短軸30cm、深さ6～28cmを測る。一部がピット状になっている。

第10号住居跡(第88図)

BY-9グリッドに位置する。炉跡は検出されているが、住居跡平面形は不明である。炉跡は北半部が攪乱されており、楕円形と推定され長軸36cm以上、短軸50cm、深さ3～11cmを測る。

第11号住居跡(第89図)

BY-9、BZ-9・10グリッドに位置する。南壁は調査区外にあり、東壁と北壁の一部しか検出されなかった。規模は、東壁確認部分で3.10m、深さ15cmを測る。ピットは4基確認された。

出土遺物(第89図)

土師器高杯の坏部が床面直上から出土した。推定口径は15.6cmを計り、外面上半は楕円工具ナゲ及び刷毛目、下半はヘラ磨き、内面は縦位のヘラ磨きが施されている。脚部には3つの円孔が見られる。胎上には白色針状物質が含まれている。

第12号住居跡(第90図)

BZ-9グリッドに位置する。北側は攪乱を受けており、平面形は不明である。規模は南壁で2.55m、深さ20cmを測る。

出土遺物(第91図)

甕・壺・小型甕・高杯・器台が床面から出土した。

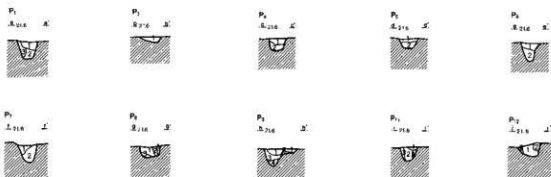
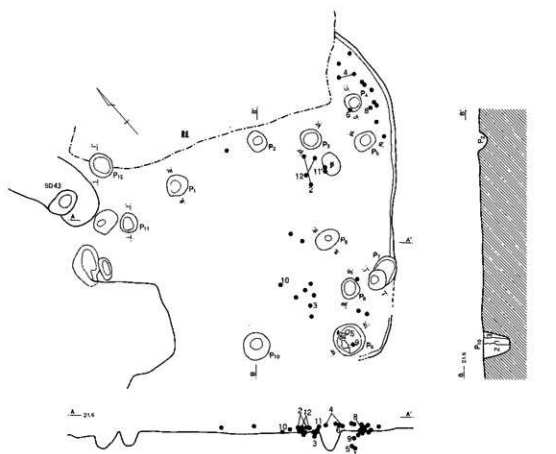
1は甕の口縁部で指頭による相互押捺。外面は横ナゲ後縦ナゲ。内面は横ナゲ。

第16号住居跡(第92～94図)

BZ・CA-8グリッドに位置する。住居跡北側を第14号住居跡に切れ、北西部は調査区域外に位置している。また住居跡西側は第44号溝・第230号土坑に切れ、南側は第17・18・19号住居跡と重複している。平面形は楕円形気味の長方形を呈し、規模は東西6.35m以上、南北8.20m以上、深さ25cmを測る。主軸方位はN-14°-Wを指す。

炉は住居内中央やや北寄りから検出され、ほぼ円形で、規模は長径75cm、短径60cm、深さ15cmを測る。西側壁際に礎2個が置かれていた。また、炉の北と北東に硬化した焼上範囲が見られた。東壁よりの中央に粘土が置かれていた。ピットは炉の北側に3基検出されている。

第86図 第7号住居跡



- ピット 1
 1 黒褐色土 跡残りややあり
 2 黒褐色土 黒褐色土含む
 3 褐色土 跡残り強い

- ピット 3
 1 暗褐色土 ローム粒子若干含む

- ピット 4・5
 1 黒褐色土 ローム粒子若干含む
 2 暗褐色土 粘質

- ピット 6
 1 黒褐色土 ローム粒子若干含む
 2 黒褐色土 中々跡残りあり

- ピット 7
 1 黒褐色土 ローム粒子若干含む
 2 黒褐色土 中々跡残りあり

- ピット 8
 1 黒褐色土 ローム粒子若干含む
 2 黒褐色土 中々跡残りあり
 3 暗褐色土 粘質

- ピット 9
 1 暗褐色褐色土 褐色土層厚含む
 2 暗褐色土
 3 暗褐色土
 4 黒褐色土

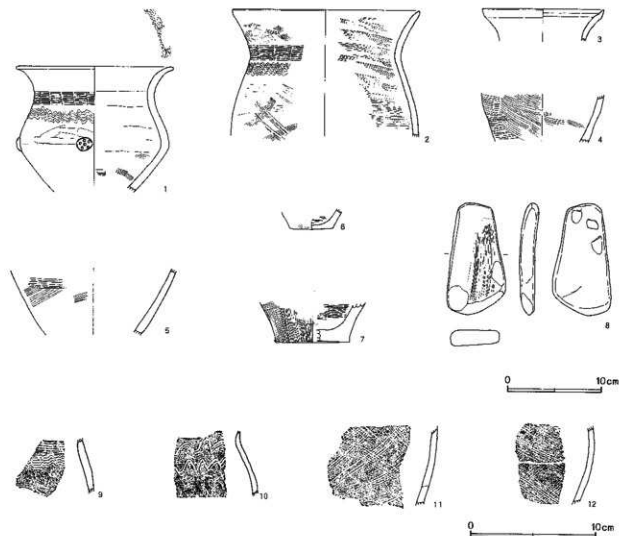
- ピット 10
 1 黒褐色土 跡残り強い
 2 黒褐色土 黒褐色土粒子多く含む 跡残り粘強い
 3 褐色土 跡残り強い

- ピット 11
 1 黒褐色土 跡残りあり
 2 黒褐色土 中々跡残りあり
 3 暗褐色土 ローム粒子含む 跡残り強い

- ピット 12
 1 黒褐色土 跡残りあり
 2 黒褐色土 中々跡残りあり
 3 黒褐色土 跡残り強い

0 2m

第87図 第7号住居跡出土遺物

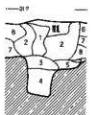


第7号住居跡出土遺物観察表(第87図)

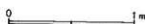
番号	器種	口径	器高	口径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	台付鉢	(16.8)			ABJS	II	橙	30	ピット9 頸部外面波状文・波状文 胴部円形浮文 口唇部内面に波状文
2	甕	(20.0)			BES	II	浅黄橙	10	頸部外面波状文・波状文 胴部縦楕円目状文内面縦方向刷毛目
3	壺	(13.0)			BS	II	浅黄橙	10	外面斜方向刷毛目
4	甕				BCS	III	橙	20	外面斜方向刷毛目
5	甕				B	III	黄橙	60	ピット9 外面斜方向刷毛目 磨滅顯著
6	甕				BCES	II	黄橙	65	底部内面刷毛調整
7	甕			(8.0)	AB	II	鈍い黄橙	25	外面縦方向刷毛目 内面横方向刷毛目

第88図 第9・10号住居跡炉跡

SJ 9



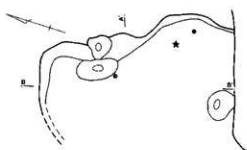
SJ 10



- SJ 9 炉
 1 褐色褐色土
 2 灰赤褐色土 焼土塊多く含む
 3 褐色土 焼土塊少量含む
 4 褐色土 焼土塊少量含む
 5 灰赤褐色土
 6 灰赤褐色土 灰褐色土粒子塊状物含む
 7 灰赤褐色土 焼土塊少量含む
 8 暗赤褐色土 褐色土多く含む

- SJ 10 炉
 1 灰褐色土 焼土粒下含む
 2 褐色土

第89図 第11号住居跡



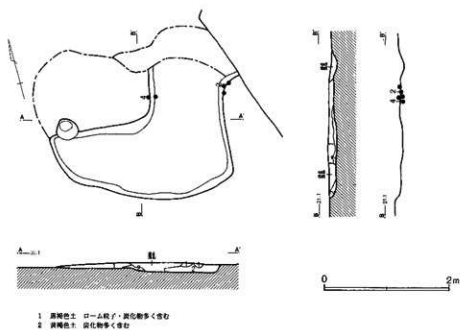
- 1 褐色土 ローム粒子・ブロック多量を含む 焼土塊少量含む
 2 暗褐色土 焼土塊少量含む



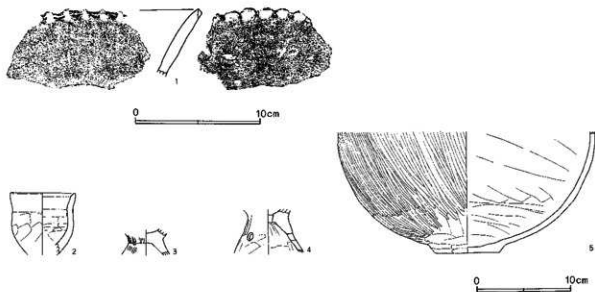
ピット

- 1 灰褐色土 炭化物粒子・ローム粒子・焼土粒子少し含む 焼土塊少量含む
 2 灰褐色土 焼土塊少量含む
 3 暗褐色土 ロームブロック多く含む

第90図 第12号住居跡

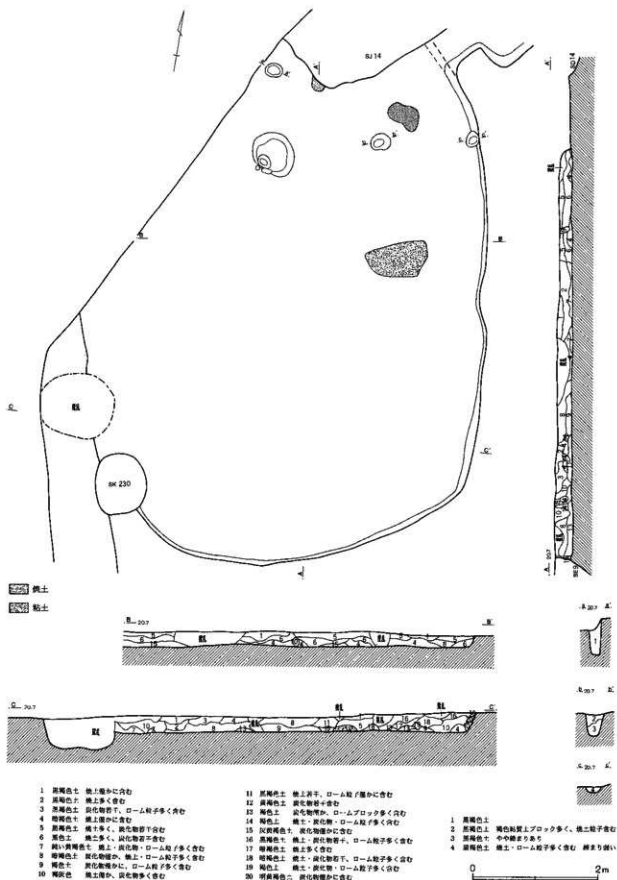


第91図 第12号住居跡出土遺物

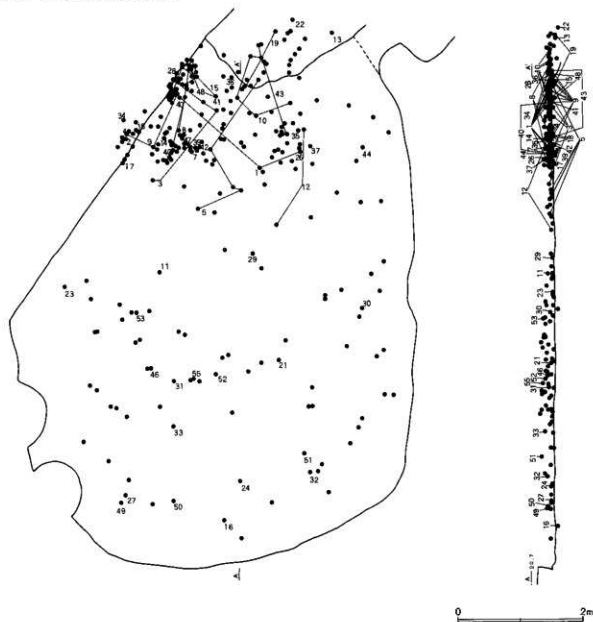


第12号住居跡出土遺物観察表(第91図)

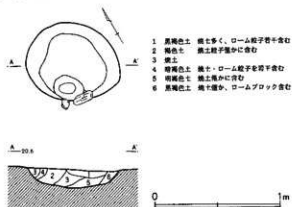
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
2	小型甕	(7.0)			AB	II	明赤褐	30	床直 口縁部破ナデ 内面鑑ナデ 外面上部←方向、下部斜め下方向のへら削り
3	台付甕				ABS	II	赤黒	60	刷毛目
4	器台				RS	II	鈍い黄橙	70	床直 内面鑑ナデ 外向鑑ナデと一部磨き
5	甕			7.0	JKS	I	明赤褐	30	内面鑑ナデ 外面縦方向磨き 下壘横方向の磨 削り 底面鑑ナデ



第93図 第16号住居跡遺物分布図



第94図 第16号住居跡炉跡

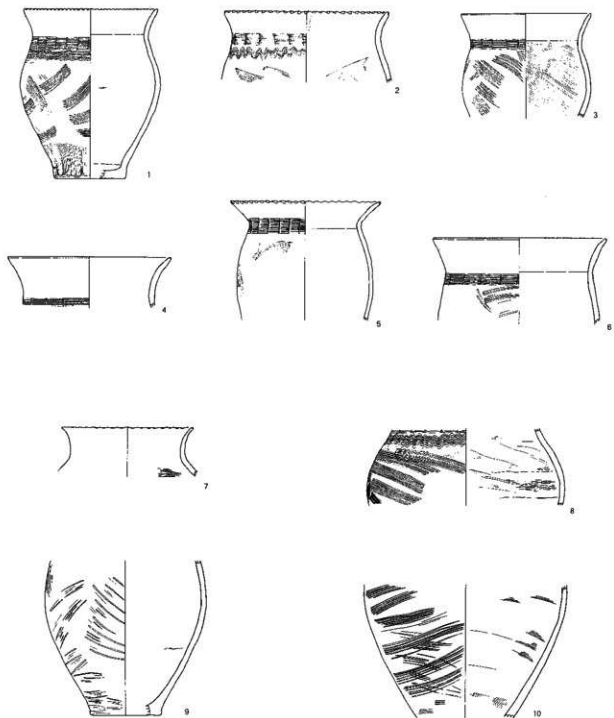


出土遺物(第95~98図)

遺物は北側に集中して出土し、櫛描文系土器系の土器が主体に検出され、縄文施文土器も若干検出された。器形は甕・壺・高環である。

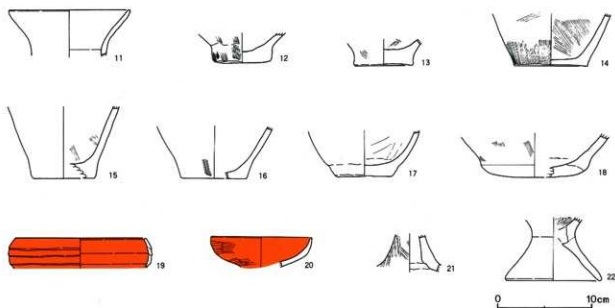
23は口縁部で口唇に刻み目が施され、外面は斜めの刷毛ナデ、頸部に簾状文が施されている。24は口縁部に指頭押圧と頸部の簾状文の上段に波状文が施されている。25は口唇部に刻み目が施され、外面は縦刷毛ナデ。26は口縁部指頭押圧と頸部の簾状文と下段に波状

第95圖 第16号住居跡出土遺物(1)



0 10cm

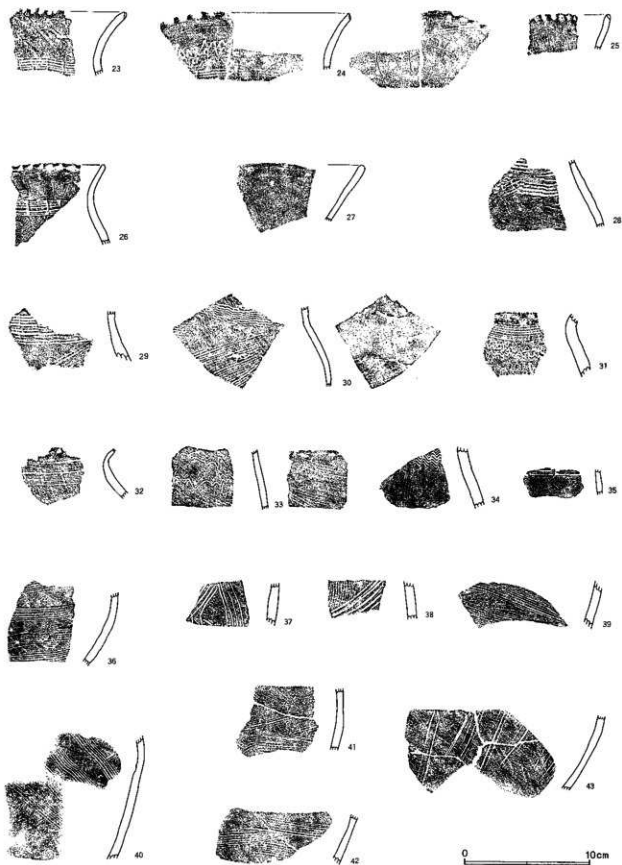
第96図 第16号住居跡出土遺物(2)



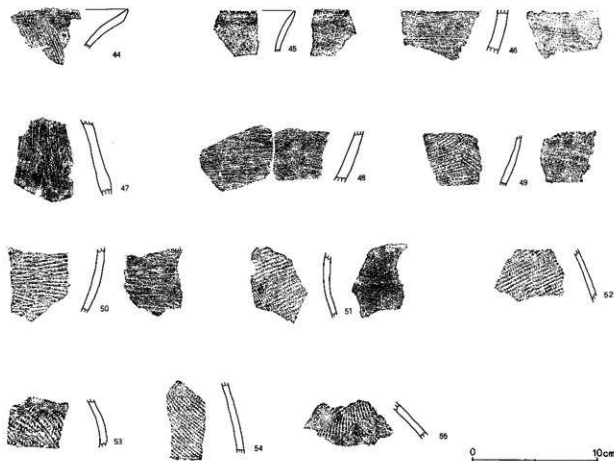
第16号住居跡出土遺物観察表(第95・96図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	甕	(14.2)	18.0	(7.6)	BRS	Ⅲ	橙	40	口縁端部押捺により波状を呈す 頸部6本単位櫛縵状文・波状文 胴部櫛縵格子目状文 胴部下半縦方向刷毛目 内面調整不明瞭
2	甕	(17.6)			BS	Ⅱ	灰黄褐	15	口縁端部指頭押捺により波状を呈す 頸部櫛縵状文・波状文 胴部櫛縵文 内面横方向刷毛目後ナゲ
3	甕	(13.8)			S	Ⅲ	橙	40	頸部櫛縵状文 胴部櫛縵文 内面斜方向刷毛目
4	甕	(17.4)			ABRS	Ⅱ	浅黄	10	頸部櫛縵状文
5	甕	(16.0)			BS	Ⅲ	淡黄	40	口縁端部指頭押捺により波状を呈す頸部櫛縵状文 胴部櫛縵文
6	甕	(18.6)			BS	Ⅲ	鈍い橙	20	頸部櫛縵状文 胴部櫛縵文 内面不明瞭
7	甕	(14.0)			BS	Ⅲ	灰黄	20	口縁端部指頭押捺により波状を呈す 内面刷毛目
8	甕				BS	Ⅱ	鈍い黄橙	20	頸部櫛縵状文・波状文 胴部櫛縵文 内面刷毛目後一部荒磨き
9	甕			(7.4)	BRS	Ⅲ	鈍い橙	25	胴部櫛縵文
10	甕				BS	Ⅲ	鈍い黄橙	25	胴部櫛縵文
11	壺	13.0			S	Ⅲ	赤橙	60	器面調整不明瞭
12	壺			6.3	BRS	Ⅲ	橙	75	外面縦方向刷毛目 内面全面剝離痕
13	壺			6.3	S	Ⅲ	橙	100	器面調整不明瞭
14	甕			7.8	BS	Ⅲ	橙	60	胴部上半櫛縵文 下半縦方向刷毛目 内面刷毛目
15	甕			(7.0)	ABS	Ⅲ	橙	10	内面一部に刷毛目
16	甕			(7.0)	RS	Ⅱ	橙	15	外面縦方向刷毛目 磨耗して不明瞭
17	甕			5.8	BS	Ⅱ	橙	35	内面指ナゲ
18	甕			(11.5)	BCS	Ⅱ	鈍い橙	20	外面一部に刷毛目
19	高坏	(14.0)			BRS	Ⅱ	明赤褐	15	内外面赤彩
20	高坏	(10.8)			BS	Ⅱ	赤	25	内外面赤彩 外面荒磨き
21	高坏				ES	Ⅱ	鈍い橙	20	外面櫛状工具による調整後一部ナゲ消し
22	高坏			(10.2)	BS	Ⅲ	鈍橙	20	坏部内面荒磨き

第97图 第16号住居跡出土遺物(3)



第98図 第16号住居跡出土遺物(4)



文が施されている。27は口縁部であるが無文で、口唇部内面のみ横刷毛が見られ、胎土は黒雲母が顕著である。

28～35は頸部付近の土器で、28・31は簾状文の下に波状文。29は簾状文と斜めの櫛描文。30は簾状文と斜め刷毛の上に櫛描による山形文を施し、内面は横刷毛目。32・35は簾状文。33・34は波状文で、33は内面横刷毛目。

36～43は頸部で36は数段の櫛描文。37・38・43は太めの櫛描文で38の地文は縄文である。39～42は斜めの櫛描文である。41は内面横刷毛目。

44～50は刷毛目が見られる土器である。49は刷毛目が密である。

51～55は地文に縄文が施されているものである。

第17号住居跡(第99図)

CA-8グリッドに位置する。住居跡北側で第16号住居跡、西側で第18号住居跡重複している。平面形は方形を呈するものと思われる。規模は東西1.63m以上、南北2.75m以上、深さ28cmを測る。主軸方位はN-31°-Wを指す。

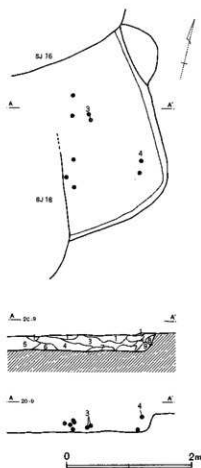
出土遺物(第100図)

土師器のみの出上で、坏・小型壺・鉢・甕が出土した。坏は第16号住居跡と重複している範囲からの出土である。

第18号住居跡(第101図)

CA-8グリッドに位置する。第16・17・19号住居跡及び第9号井戸跡と重複し、第9号井戸跡によって住居跡の北半部が埋り込まれている。平面形は壁がや

第99図 第17号住居跡



- 1 黒褐色土 ローム粒子若干、炭化物層中に含む
- 2 黒褐色土 ローム粒子・焼土粒子含む
- 3 黒褐色土 ローム粒子多、炭化物層中に含む
- 4 黒褐色土 ローム粒子若干、炭化物層中に含む
- 5 褐色土 焼土・炭化物層中に含む
- 6 黒褐色土 ローム粒子多層中に含む
- 7 褐色土 炭化物若干・ローム粒子多層中に含む
- 8 黒褐色土 炭化物層中に含む
- 9 黒褐色土 ローム粒子・炭化物若干含む

や張り出した方形を呈すると推定され、規模は東西2.85m、南北3.30m以上、深さ20cmを測る。主軸方位はN-17°-Wを指す。

出土遺物(第102図)

遺物は土師器環と高坏で、環3点と高坏が赤彩されている。1以外は覆土中出土である。

第19号住居跡(第103図)

CA-8グリッドに位置する。住居跡北部で第16号住居跡と重複し、東部を第18号住居跡、西側を第44号溝に切られている。平面形は方形を呈するものと推定される。規模は東西4m以上、南北3.2m以上、深さ15cmを測る。主軸方位はN-26°-Eを指す。

出土遺物(第104図)

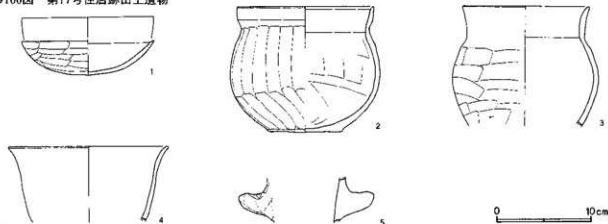
土師器環・高坏・壺・甌を出土した。

第26号住居跡(第105・106図)

CC-8・9グリッドに位置する。平面形は方形を呈し、規模は長軸3.80m、短軸3.53m、深さ5~12cmを測る。主軸方位はN-51°-Eを指す。

炉跡は住居中央付近で2基検出され、炉跡1は楕円形で長軸32cm、短軸24cm、深さ4cm、炉跡2は1字形で長径36cm、短径33cm、深さ4cmで炉底が残存しているだけである。ピットは10基、土坑は3基検出されている。

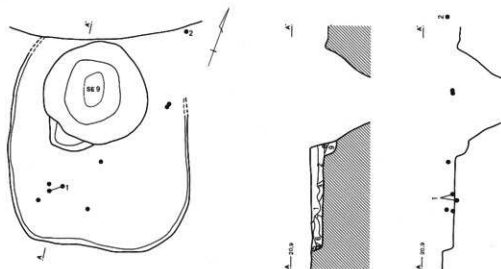
第100図 第17号住居跡出土遺物



第17号住居跡出土遺物観察表(第100図)

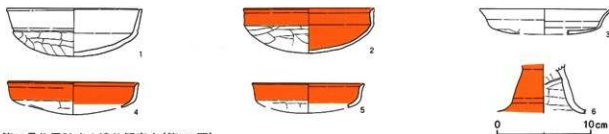
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	土師器 環			14.2	BRS	II	橙	80	外面荒削り・内面ロクロ痕
2	小型壺	14.6	13.3	7.7	RS	II	鈍い橙	70	外面↑方向荒削り
3	小型壺	(13.6)			BCS	III	橙	35	外面←方向荒削り
4	鉢	(17.2)			BFRS	II	橙	20	整形不明
5	瓶				BHS	II	橙	把手	へう整形

第101図 第18号住居跡



- 1 黒褐色土 焼土・炭化物多く含む
- 2 黒褐色土 焼土多量含む
- 3 黒褐色土 焼土多量、ローム粒子多く含む
- 4 黒褐色土 炭化物若干含む
- 5 黒褐色土 炭化物若干含む
- 6 黒褐色土 焼土多く、ローム粒子若干含む
- 7 黒褐色土 焼土多く含む
- 8 黒褐色土 焼土多く含む
- 9 焼土

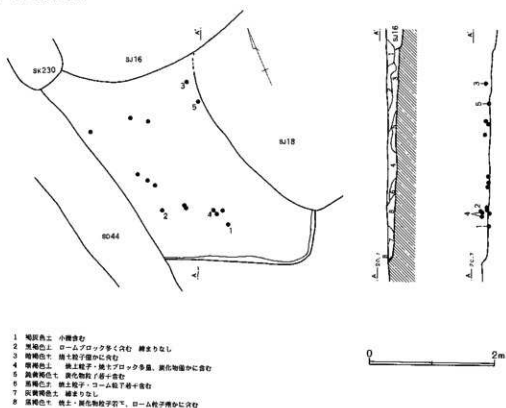
第102図 第18号住居跡出土遺物



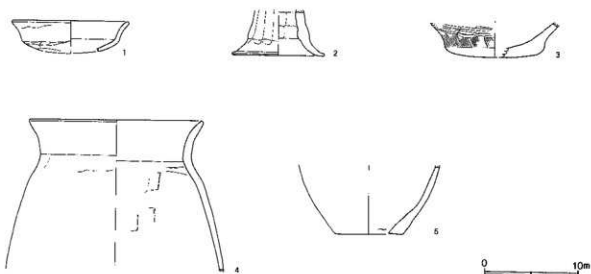
第18号住居跡出土遺物観察表(第102図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	土師器 環	14.5	5.1	13.3	BJS	II	橙	95	床直 口縁部横ナゲ 体部外面荒削り
2	環	(14.0)	4.7	(13.8)	S	I	鈍い橙	45	口縁部横ナゲ 体部外面荒削り 口縁部外面・内面赤彩
3	環	(14.0)	2.7	(11.8)	CE	III	鈍い橙	10	体部外面荒削り
4	環	(14.0)		(13.0)	BS	I	鈍い橙	10	口縁部横ナゲ 体部外面荒削り 口縁部外面・内面赤彩
5	環	(12.0)		(11.2)	BS	I	鈍い橙	10	口縁部横ナゲ 体部外面荒削り 口縁部外面・内面赤彩
6	高環				BS	I	明赤褐	10	内面荒ナゲ 外面赤彩

第103図 第19号住居跡



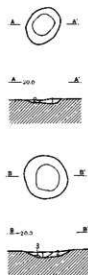
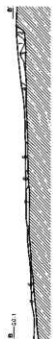
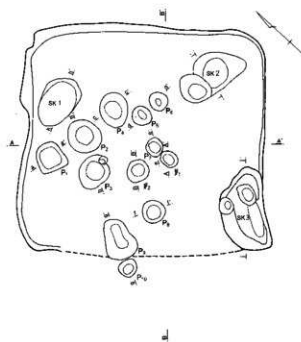
第104図 第19号住居跡出土遺物



第19号住居跡出土遺物観察表(第104図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎上	焼成	色調	残存率	出土位置・その他
1	土師器環	(12.5)			BKS	II	橙	10	床直 体部内面范削り
2	高坏			(10.0)	ABS	II	橙	10	脚部縦方向・内面横方向鋭削り 脚部横ナデ
3	壺			(10.6)	BS	III	鈍い橙	15	外面縦方向刷毛目の後横方向鋭削り
4	甕	(18.5)			BCS	II	橙	25	胴部内面工具による横ナデ
5	瓶			(7.0)	BJKS	II	橙	15	床直 整形不明

第105図 第26号住居跡



P1

- 1 埴土
- 2 埴砂赤褐色土

P2

- 1 埴褐色土
- 2 埴土 埴褐色土・褐色土混じり
- 3 埴土 灰黄褐色土混じり

0 1m



0 2m

D J 26

- 1 埴砂褐色土 埴褐色土粒子多く含む 埴まりあり
- 2 埴褐色土
- 3 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 4 埴褐色土
- 5 埴褐色土 埴土含む 埴まり強い
- 6 埴褐色土 白色微砂子含む 埴まり強い
- 7 埴砂褐色土 埴土混じり
- 8 埴褐色土

S K 1 埴褐色土

- 1 埴褐色土 埴褐色土粒子多く含む 埴まりあり
- 2 埴砂褐色土 埴褐色土粒子含む 埴まり強い
- 3 埴砂赤褐色土 埴褐色土混じり

S K 2

- 1 埴褐色土 埴褐色土粒子多く含む
- 2 埴砂褐色土 埴まり強い
- 3 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 4 埴砂褐色土

S K 3

- 1 埴褐色土 埴褐色土粒子多く含む
- 2 埴砂褐色土 埴まり強い
- 3 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 4 埴砂褐色土

P1

- 1 埴砂褐色土
- 2 埴褐色土 埴褐色土粒子混じり
- 3 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 4 埴褐色土 埴褐色土粒子混じり
- 5 埴褐色土 埴褐色土混じり

P2

- 1 埴褐色土
- 2 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 3 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 4 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 5 埴褐色土 埴褐色土混じり

P3

- 1 埴褐色土
- 2 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 3 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 4 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 5 埴褐色土 埴褐色土混じり

P4

- 1 埴褐色土
- 2 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 3 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 4 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 5 埴褐色土 埴褐色土混じり

P5

- 1 埴褐色土
- 2 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 3 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 4 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 5 埴褐色土 埴褐色土混じり

P6

- 1 埴褐色土 埴まり強い
- 2 埴褐色土
- 3 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 4 埴褐色土 埴褐色土混じり

P7

- 1 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 2 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 3 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 4 埴褐色土 埴褐色土混じり

P8

- 1 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 2 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 3 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 4 埴褐色土 埴褐色土混じり

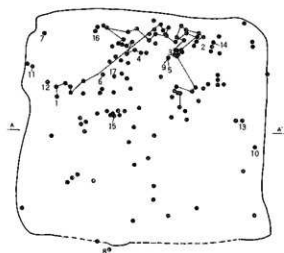
P9

- 1 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 2 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 3 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 4 埴褐色土 埴褐色土混じり

P10

- 1 埴褐色土 白色微砂子含む 埴まり強い
- 2 埴褐色土 埴褐色土混じり
- 3 埴褐色土 埴褐色土混じり

第106図 第26号住居跡遺物分布図



出土遺物(第107図)

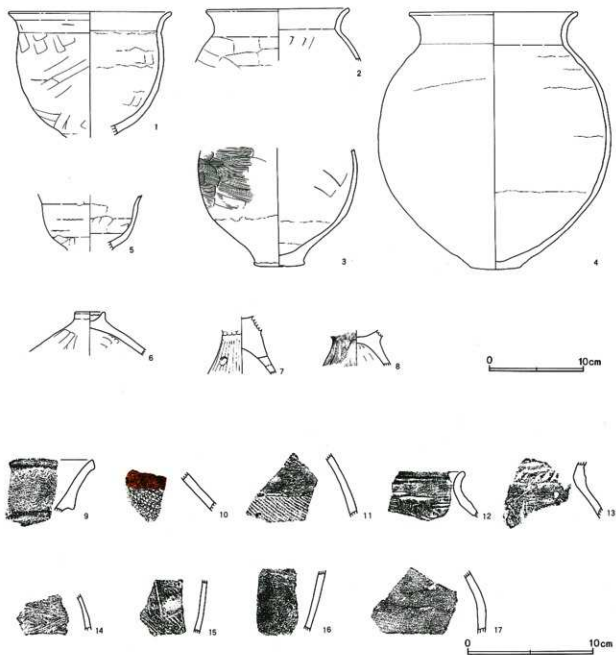
弥生時代の壺・甕・蓋・高環の他に破片が出土した。住居跡直上も浅く、7の高環以外は床面からの出土である。

9は壺の口縁部で2段の波状文が施され、屈曲している。10・11は縄文施文の土器で、無文帯は丁寧ナデが施され、10は赤彩されている。12は甕口縁部で体部は小口状のナデが施されている。13は胴部で刻みが施されている。14～17は刷毛目で14・15はやや粗い刷毛目である。

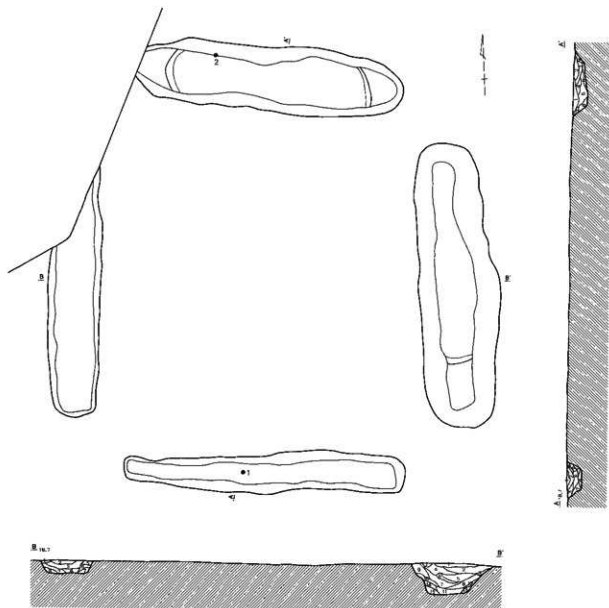
第26号住居跡出土遺物観察表(第107図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存部	その他
1	钵	17.4			BRS	II	橙	75	外面篋ナデ 内面粘土接合痕明瞭
2	甕	(15.2)			ABS	II	橙	10	外面木口状工具ナデ、一部刷毛目状
3	壺			5.4	RS	II	橙	60	外面縦方向刷毛目
4	壺	(18.0)	27.2	5.4	BS	II	鈍い橙	45	器面調整不明瞭
5	小型甕				AJS	I	褐	10	外面ナデ 内面横方向ナデ
6	蓋				CJS	II	橙	15	外面縦、内面横位篋ナデ 縁内面折り返しあり 縁径3.3cm
7	高環				BEJK	II	橙	75	外面篋磨き 円形透孔3カ所
8	高環				RS	III	鈍い橙	75	外面縦方向刷毛目

第107図 第26号住居跡出土遺物



第108図 第1号方形周溝墓



〔A-A〕断面

- 1 黒褐色土
- 2 黒褐色土 ローム粒子層かに含む
- 3 黒褐色土 ローム粒子多く含む
- 4 黒褐色土 ローム粒子層かに含む
- 5 黒褐色土 ローム粒子多く含む
- 6 黒色土 ローム粒子多く、炭化物層を含む
- 7 灰黄褐色土 ローム粒子多く、炭化物層を含む
- 8 黒い黄褐色土 ローム粒子多く含む 砂質土

〔A-A〕花壇

- 1 黒褐色土
- 2 黒褐色土 炭化物層を含む
- 3 黒褐色土 ローム粒子多く、炭化物層を含む
- 4 黒褐色土 ローム粒子層か、炭化物層を含む
- 5 黒色土 ローム粒子層か、ロームブロック層を含む
- 6 黒褐色土 ローム粒子多く含む やや粘性あり
- 7 黒い黄褐色土 ローム粒子多く含む
- 8 黒褐色土 ロームブロック多く含む
- 9 灰黄褐色土 ローム粒子・ロームブロックを含む

〔B-B〕断面

- 1 黒褐色土
- 2 黒い黄褐色土 炭褐色土多く含む 粘土層
- 3 黒褐色土 炭褐色土層を含む 粘性あり
- 4 黒褐色土 ローム粒子・炭化物層を含む
- 5 黒褐色土 ローム粒子層かに含む
- 6 灰黄褐色土 ローム粒子層か、炭褐色土層を含む
- 7 黒褐色土 ローム粒子・炭化物層ブロック層、炭化物層を含む
- 8 黒褐色土 ローム粒子層か、炭化物・塊土層を含む
- 9 黒褐色土 ローム粒子・ロームブロック層、炭化物層を含む
- 10 黒い黄褐色土 ローム粒子多く含む
- 11 黒褐色土 ローム粒子・ロームブロック層を含む
- 12 黒褐色土 ローム粒子層かに含む
- 13 黒褐色土 ローム粒子・炭化物層を含む 粘性あり
- 14 黒い黄褐色土 ローム粒子・炭化物層を含む 粘性あり
- 15 黒褐色土 ローム粒子多く、炭化物層を含む 粘性あり

〔B-B〕花壇

- 1 黒褐色土
- 2 黒褐色土 ローム粒子を含む
- 3 黒褐色土 ローム粒子多く、塊土層・炭化物層を含む
- 4 灰黄褐色土 ロームブロック層を含む
- 5 黒褐色土 ローム粒子層を含む
- 6 黒褐色土 ローム粒子・炭化物層を含む
- 7 黒い黄褐色土 ローム粒子多く含む 粘性あり
- 8 黒い黄褐色土 ローム粒子多く、炭化物層を含む 粘性あり

0 5m

(2) 方形周溝墓

第1号方形周溝墓(第108図)

CH・CI-3～5グリッドに位置する。平面形態は四隅切れ型で、方台部の形態は南北にやや長く、規模は南北軸(長軸)長11.0m、東西軸(短軸)長10.1m。主軸方位はN-3°-Eを指す。

各溝の規模は、東溝が長さ9.06m、最大幅2.6m、深さ1.0m、西溝が長さ8.0m以上、最大幅1.66m、深さ0.4m、南溝が長さ9.0m、最大幅1.2m、深さ0.5m、北溝の長さ8.5m以上、最大幅2.0m、深さ0.5mを測る。東溝は主軸方位よりやや西に偏し、北溝はやや南に偏する。

東溝は最も規模が大きく、中央が最も深く南側で段差を持ち深くなっている。北溝は東西に段差を持ちその間が深くなっている。各溝とも方台部傾斜が外側の傾斜より急になっている。

出土遺物(第111図)

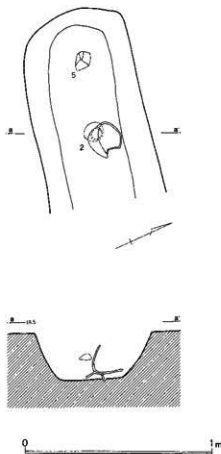
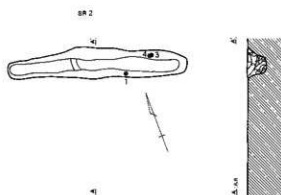
出土遺物は極めて少なく、甕の底部と台付甕の台部が南溝の中央付近と北溝の西部の溝底から出土した。

第2号方形周溝墓(第109図)

CI-5グリッドに位置する。北溝のみの検出である。溝の規模は、長さ5.7m、最大幅1.0m、深さ0.6mを測る。溝の走行方位はN-69°-Wを指す。

溝は西から緩やかに傾斜し、途中で段差を持ち、段差から東はほぼ一定の深さである。溝の南側壁の傾斜は北側壁より大きくなっていることより、方台部にあたる場所は、溝の南側と推定される。

第109図 第2号方形周溝墓



- | | |
|---------|------------------|
| 1 黒褐色土 | 〇→人糞が多量に含まむ |
| 2 黒褐色土 | 〇→人糞が多量、炭化物も多量含む |
| 3 黒褐色土 | 〇→人糞が多量含む |
| 4 黒褐色土 | 〇→人糞が多量含む |
| 5 褐色土 | 〇→人糞が多量、炭化物も多量含む |
| 6 褐色土 | 〇→人糞が多量、炭化物も多量含む |
| 7 褐色土 | 〇→人糞が多量、炭化物も多量含む |
| 8 黄褐色土 | 〇→人糞が多量、炭化物も多量含む |
| 9 灰黄褐色土 | 炭化物が多量、砂質土 |

出土遺物(第111図)

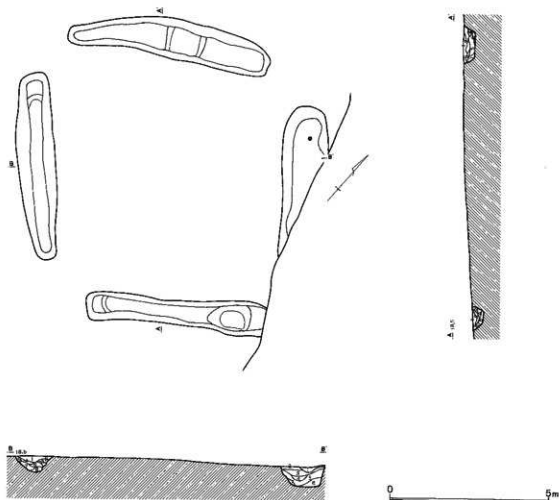
小型壺・高環・瓠胴部破片・被熱した礫が出土した。

4は壺の頸部で縦方向の刷毛目で、5は瓠胴部で斜めと横方向の刷毛目が施されている。いずれも清北西部覆土中位からの出土である。

第3号方形周溝墓(第110図)

CI・CJ・6・7グリッドに位置する。平面形態は四隅切れ型で、方台部に形態は南北にやや長く、規模は南北軸(長軸)長7.70m、東西軸(短軸)長7.25mを測る。主軸方位はN-42°-Wを指す。

第110図 第3号方形周溝墓



(A-A') 南東辺

- 1 黒褐色土 ローム粒子少く含む
- 2 黒褐色土 ローム粒子・炭化物粒子多く含む
- 3 黒褐色土 ローム粒子多量、炭化物粒子に含む
- 4 暗褐色土 ローム粒子多量、炭化物・粘土粒子多量を含む
- 5 暗褐色土 ローム粒子多く含む
- 6 黒褐色土 ローム粒子多く含む

(A-A') 北西辺

- 1 黒褐色土 ローム粒子多量含む 粘土層
- 2 暗褐色土 ローム粒子・粘土層に含む
- 3 黒褐色土 ローム粒子多量、炭化物を含む
- 4 暗褐色土 ローム粒子多量、炭化物層に含む
- 5 黒褐色土 炭化物粒子多量含む
- 6 黒褐色土 ローム粒子多量含む
- 7 暗褐色土 ローム粒子・炭化物粒子多く含む

(B-B') 南西辺

- 1 黒褐色土
- 2 黒褐色土 ロームブロックを含む
- 3 黒褐色土
- 4 灰黒褐色土 ローム粒子多量、炭化物多量を含む
- 5 暗褐色土 ローム粒子多量、炭化物多量を含む
- 6 暗褐色土 ローム粒子・ロームブロックを含む
- 7 黒褐色土 ローム粒子多量、炭化物多量を含む
- 8 黒褐色土 ローム粒子多量、炭化物層に含む

(B-B') 北東辺

- 1 黒褐色土 灰黒褐色土層部分的に含む
- 2 黒褐色土
- 3 黒褐色土 ローム粒子・炭化物粒子多量を含む
- 4 黒褐色土 ローム粒子多量を含む
- 5 暗褐色土 ローム粒子多量を含む
- 6 黒褐色土 ローム粒子多量を含む
- 7 暗褐色土 ロームブロックを含む

各溝の規模は、東溝が長さ4.5m以上、幅1.5m、深さ0.6m、西溝が長さ6.0m、最大幅1.2m、深さ0.5m、南溝が長さ5.8m以上、最大幅1.15m、深さ0.35m、北溝が長さ6.5m、最大幅1.3m、深さ0.35mを測る。周溝の断面形はいずれも逆台形を呈する。南北溝・東西溝ともに平行でなく僅かに偏してあり、方台部は歪

んだ長方形となっている。

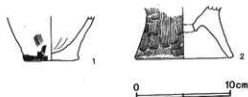
西溝は北端で、南溝は西端で段差を持っている。南溝では東側で一部が深くなっている。北溝は中央付近で二つの段差があり、段差の間が最も深くなっている。

出土遺物(第111図)

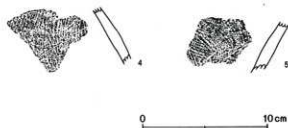
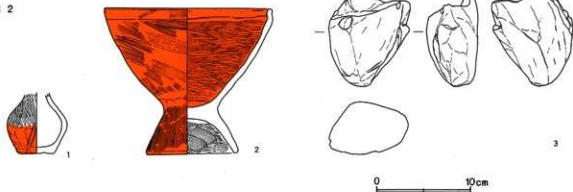
壺の口縁部1点のみが東溝北部より出土した。

第111図 第1・2・3号方形周溝墓出土遺物

SR 1



SR 2



SR 3



第1号方形周溝墓出土遺物観察表(第111図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	壺			5.8	BS	II	明赤褐	90	南溝溝底 外面刷毛目・工具ナゲ 内面工具ナゲ 底部踏整形
2	台付壺			(10.4)	RS	II	鈍い黄橙	45	北溝溝底 底部中央に焼成前穿孔 外面粗い刷毛目

第2号方形周溝墓出土遺物観察表(第111回)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存色	出土位置・その他
1	小型壺			3.7	ABS	I	鈍い赤褐	90	確認面 口縁部欠損 全面赤彩? 外面上半荒磨き外面下半横方向磨ナデ 底部窪凹形
2	高坏	17.5	15.6	9.8	S	II	鈍い赤褐	90	清底 外面・坏部内面赤彩 外面横・斜方向刷毛 口縁部縦方向刷毛目 坏部内面横方向磨磨き脚部内面斜方向刷毛目

第3号方形周溝墓出土遺物観察表(第111回)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存色	出土位置・その他
	壺	7.6			AS	III	橙	90	東溝覆土中位出土 口唇端部に縄文施文

(3) 土 坑

第197号土坑(第112回)

BW-10・11グリッドに位置する。西側が擾乱を受けているが、平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.44m、短軸0.90m、深さ52cmを測る。主軸方位はN-23°-Eを指す。

出土遺物(第113・114回)

- 1は壺の口縁で口唇部に刻み目が施されている。
- 2・3は壺の頸部で、2は縦の刷毛目と縄文が施文され、3は外面に一部に縦の刷毛目が施される。
- 4～6は壺の底部で、4は横方向のナデ、5は縦の刷毛目で内面は木口状工具のナデが施されている。6は縦に木口状工具によりナデが施されている。
- 7～9は壺の底部で、7・9は木口状1具によるナデで、8は下端に縦の刷毛目が施されている。
- 10は付壺の首部で、外面縦方向の工具ナデ。
- 11は口縁部で、口唇に刻み目が施され、斜めの刷毛目が施される。12～18は、刷毛目が施されている。
- 19は内外面とも刷毛目が見られ、外面は刷毛の後に波状文が施されている。20・21は櫛歯波状文と平行線が施され、22・24は櫛歯波状文、23は櫛歯平行線と山形文である。
- 25～28は沈線て区画し、縄文を施文した「ハ」の字状文を施文。9～31は縄文が施文されたもの。
- 32は内外面斜め刷毛で、12～18の土器群とは胎土に違いが見られた。

第198号土坑(第112回)

BX-11グリッドに位置する。第40号溝と重複し、平面形は不整形円形を呈し、規模は長径1.52m、短径1.24m、深さ44cmを測る。主軸方位はN-52°-Eを指す。

出土遺物(第115回)

壺・甕及び破片が出土した。7は口縁部で口唇部に刻み目を施し、頸部に簾状文が施される。8は折り返し口縁で口唇端部に縄文が施文される。9は櫛歯平行文と縄文を施文。10・11は窪描沈線文が施文。

第228号土坑(第112回)

CA-8・9グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸2.10m、短軸0.98m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-4°-Wを指す。

出土遺物(第116回①)

壺の底部が出土した。復元底径6.0cmを測る。体部下端横ナデ。底部凹削り、外周に木葉痕。体部外面赤彩。

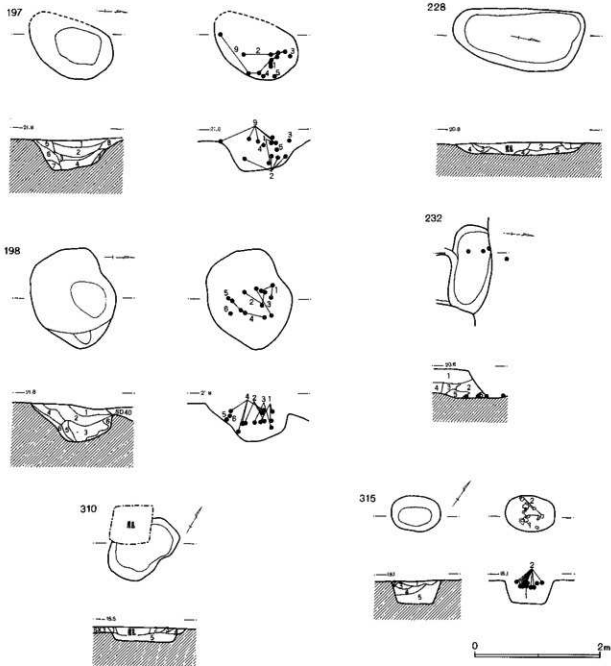
第232号土坑(第112回)

CB-9グリッドに位置する。第2号竅穴状遺構と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.36m以上、短軸0.63m、深さ43cmを測る。主軸方位はN-84°-Wを指す。

出土遺物(第116回②)

壺の口縁部で、復元口径14.6cmを測る。器面磨滅し整形不明である。

第112図 土坑(1)



SK 197

- 1 黒褐色土 炭化物多く含む 締まり強い
- 2 黒褐色土
- 3 黒褐色土
- 4 黒褐色土 小礫石平含む
- 5 黒褐色土 炭十砂平含む
- 6 黒色土
- 7 褐色土 小礫石含む
- 8 褐色土 締く締まり強い

SK 198

- 1 黒褐色土 炭十砂子多含む
- 2 黒褐色土 炭十砂子・ローム砂子多く含む 小礫石含む 締まりあり
- 3 黒褐色土 小礫石含む ローム砂子層中に含む 中々締まりあり
- 4 黒褐色土 炭十砂子・小礫石十含む 締まり強い
- 5 黒褐色土 中々締まりあり
- 6 黒褐色土 ローム砂子・小礫石下含む

SK 228

- 1 褐色土 黒褐色土粒子多く含む
- 2 褐色土 炭十砂十含む
- 3 黒褐色土 炭上・炭化物多含む
- 4 灰褐色土 炭上ブロック多く含む
- 5 褐色土 黒褐色土粒子若干、炭化物層少含む

SK 229

- 1 褐色土 黒褐色土・黒土粒子若干含む 締まり強い
- 2 褐色土 白色層砂子下含む
- 3 褐色土 炭十砂子層含む 粘性有り 締まり強い
- 4 褐色土 黒褐色土粒子多く含む 締まりあり
- 5 褐色土 炭上・炭土層多く含む 粘性有り 締まり強い

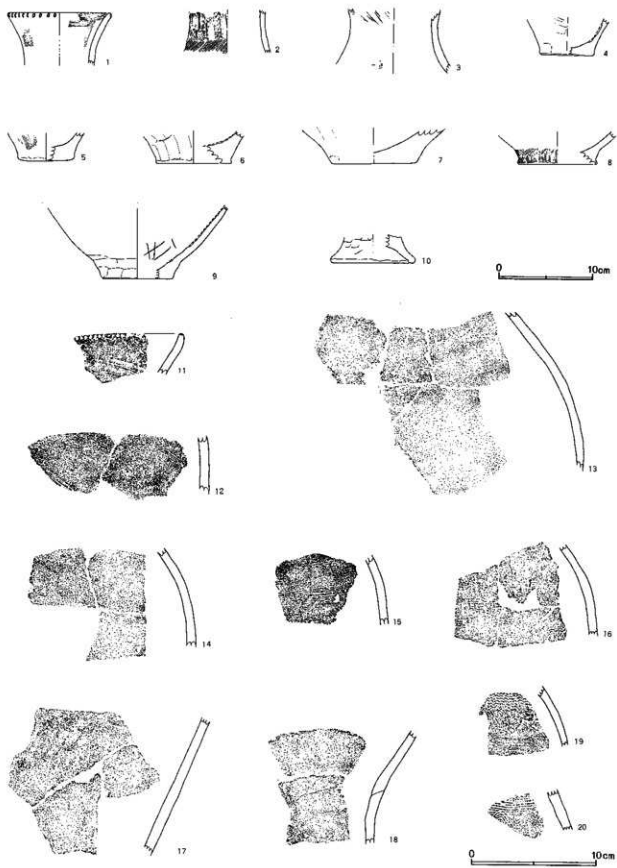
SK 310

- 1 黒褐色土
- 2 黒褐色土 炭褐色土粒子多く含む 締まり強い
- 3 黒褐色土 炭化物多含む
- 4 黒色土
- 5 黒色土 褐色土粒子層含む

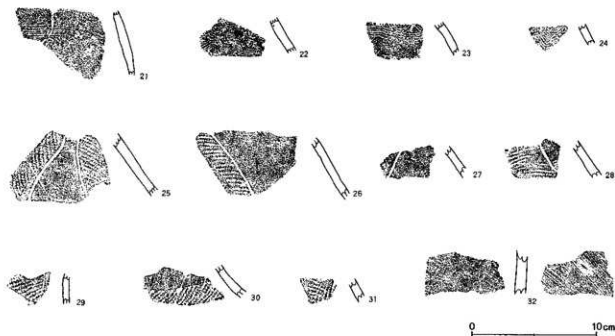
SK 315

- 1 褐色土 炭化物多・炭土層中に含む
- 2 黒褐色土 炭化物多含む
- 3 黒褐色土 粘性有り
- 4 黒色土 炭十・炭化物層中に含む
- 5 黒褐色土 炭化物多含む

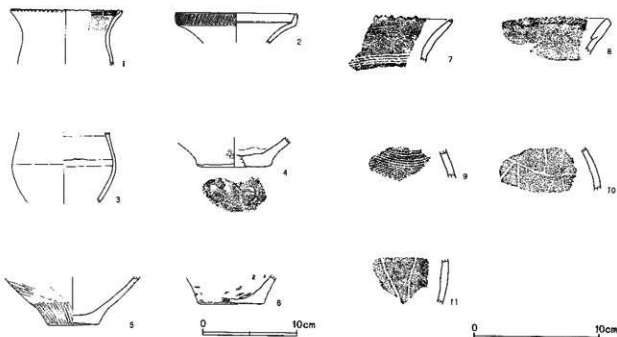
第113图 第197号土坑出土文物(1)



第114図 第197号土坑出土遺物(2)



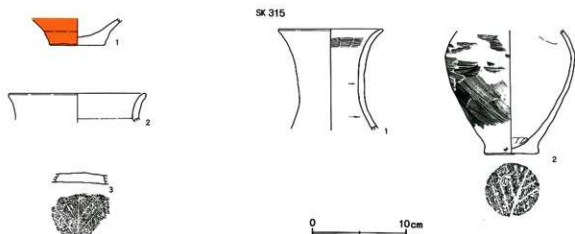
第115図 第198号土坑出土遺物



第198号土坑出土遺物観察表(第115図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎上	焼成	色調	残存率 ¹⁾	その他
1	甕	(12.0)			S	III	橙	75	口縁端部指頭押捺により波状を呈す 口縁部内面横方向刷毛目 頸部縦方向刷毛目
2	壺				S	III	橙	35	器壁磨滅 胴部最大径(11.1)cm
3	甕	(13.0)			S	III	浅黄	25	口縁部外面縄文施文
4	壺			5.5	S	II	鈍い橙	100	外面上方斜方向磨き 下端縦方向磨き
5	壺			(8.0)	BS	III	鈍い橙	30	外面刷毛目 底部本葉痕
6	甕			(7.0)	A	II	鈍い黄橙	25	内外面刷毛目

第116図 土坑出土遺物(1)



第315号土坑出土遺物観察表(第116図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	その他
1	壺	11.2			AS	I	橙	80	外面ナデ 内面口縁部横方向刷毛目
2	甕			5.8	S	I	橙	70	外面上半横方向刷毛目 下半斜方向刷毛目 底部木葉痕

第310号土坑(第112図)

CF-7グリッドに位置する。第3号竪穴状遺構と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.18m、短軸0.49m以上、深さ15cmを測る。主軸方位はN-23°-Eを指す。

出土遺物(第116図3)

壺の底部で、胎土に白色針状物質を含む。底部に木葉痕。

第315号土坑(第112図)

CH-7グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.78m、短軸径0.56m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-60°-Eを指す。

出土遺物(第116図)

壺口縁部と甕が出土した。両者とも覆土上半部からの検出である。

第196号土坑(第117・118図)

BW-10グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.72m、短径0.60m、深さ64cmを測る。主軸方位はN-84°-Eを指す。覆土上層から中層にかけて土師器甕が出土した。

第211号土坑(第117・118図)

BY-9グリッドに位置する。第210・212号土坑と重複する。平面形は方形を呈し、規模は長軸0.78m、短軸0.72m、深さ53cmを測る。主軸方位はN-34°-Wを指す。

土師器甕が覆土上層から出土した。

第235号土坑(第117図)

CB-9グリッドに位置する。第25号住居跡及び第234号土坑と重複する。平面形は長方形を呈し、規模は長軸2.73m、短軸1.23m、深さ31cmを測る。主軸方位はN-15°-Eを指す。

出土遺物(第118図1~3)

土師器環・高環脚部・甕の他に、土師器台付甕、須恵器高台付環・鉢の破片も覆土中より出土した。

第240号土坑(第117図)

CC-8グリッドに位置する。第239号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.48m、短径1.37m、深さ44cmを測る。主軸方位はN-7°-Wを指す。

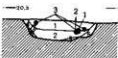
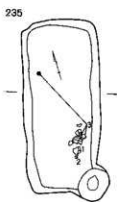
出土遺物(第118図1~5)

高環脚部・器台上部・甕の破片が出土した。

第117図 土坑(2)



239-240



0 2m

SK 196

- 1 埴輪色土 炭化物粒子・褐色土粒多数を含む 今や跡残りあり
- 2 埴輪色土 炭化材・褐色粒子を含む 跡残りなし
- 3 埴輪色土 炭化材・褐色土を含む 痕跡

SK 211

- 1 埴輪色土 炭土粒子多く、炭化物粒子含む 跡残り強い
- 2 埴輪色土 炭化物粒子多く、炭土粒子含む 跡残り強い

SK 239-240

- 1 埴輪色土 白色顔料を含む 跡残り強い
- 2 埴輪色土 炭化物粒子を含む 跡残り強い
- 3 埴輪色土
- 4 埴輪色土
- 5 黒い炭褐色土
- 6 黒い炭褐色土 褐色土粒子を含む
- 7 埴輪色土 褐色土粒子・炭褐色土粒(若干含む)

SK 235

- 1 埴輪色土
- 2 埴輪色土
- 3 埴輪色土 炭褐色土粒子多く含む 跡残り強い
- 4 埴輪色土
- 5 埴輪色土 褐色土地上粒子多く含む 粒子粗く、跡7割
- 6 埴輪色土
- 7 埴輪色土

SK 248-249

- 1 埴輪色土 炭化物塊を含む
- 2 埴輪色土 ローム粒子・炭化物塊を含む
- 3 埴輪色土 炭化物塊を含む 風評出土
- 4 埴輪色土 ロームブロックを含む
- 5 埴輪色土 ローム粒子を含む
- 6 埴輪色土 ローム粒子多く含む
- 7 埴輪色土 ローム粒子多く含む
- 8 埴輪色土 ローム粒子・炭化物塊を含む
- 9 埴輪色土 炭化物塊を含む

SK 266

- 1 黒い炭褐色土 炭土粒子・ローム粒子を含む 今や跡残り
- 2 埴輪色土
- 3 次層埴輪色土 炭土塊か、ローム粒子多く含む
- 4 埴輪色土 炭土・炭化物・ローム粒子若干を含む 跡残り
- 5 埴輪色土 塊土を含む 痕跡

3は肩部で横刷毛、4はやや粗い斜め刷毛目、5は縦刷毛目。

第248号土坑(第117図)

CB-7グリッドに位置する。第249号上坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.98m、短軸0.65m、深さ10cmを測る。

第249号土坑(第117・118図)

CB・CC-7グリッドに位置する。第248号上坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.05m、

短軸1.00m以上、深さ40cmを測る。主軸方位はN-31°-Eを指す。

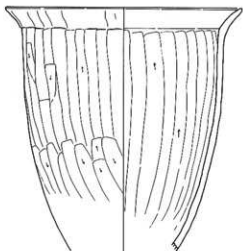
高坏が覆土上層より出土した。

第266号土坑(第117図)

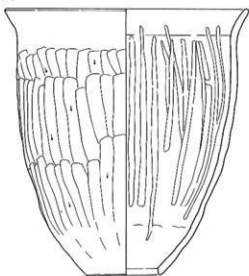
CC-7グリッドに位置する。第37・39号住居跡、第48号溝及び第267号上坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.83m以上、短軸0.61m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-16°-Eを指す。

第118図 土坑出土遺物(2)

SK 196



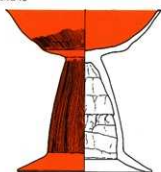
SK 211



SK 235



SK 249



0 10cm

SK 240



0 10cm

0 10cm

土坑出土遺物観察表(第118図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	出土位置・その他
SK196	土師器 甕	25.2			S	II	鈍い黄橙	70	内外面縦方向篋割り 内面やや器面荒れる
SK211	甕	26.0	28.4	8.0	RS	II	鈍い橙	95	外面縦方向ナゲ 内面横方向工具ナゲ後 縦方向磨き状ナゲ
1	土師器 高坏	12.7	3.3		BES	II	橙	85	SK235 内面斑点状の油煙付着
2	高坏				S	II	赤褐	80	SK235 外面・坏部内面赤彩 外面縦方向磨き
3	甕	(16.2)			BJS	II	橙	50	SK235 内面斑点状の油煙付着
SK249	高坏			14.4	HRS	II	鈍い赤褐	80	外面・坏部内面赤彩 脚部外面縦方向刷毛目
1	高坏				S	II	鈍い褐	70	SK240 外面刷毛目後、斜方向磨き 凹形透孔
2	器台				BS	II	橙	30	SK240 外面縦方向磨き 凹形透孔

3 奈良・平安時代以降の遺構と遺物

(1) 住居跡

第1号住居跡(第119図)

AV-23・24、AW-23・24グリッドに位置する。住居跡確認面ではカマドと壁溝の痕跡が確認できたのみで西壁側は不明である。平面形は長方形を呈し、規模は東西4.15m、南北3.20m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-87°-Wを指す。第23号土坑と重複し、切られている。

カマドは東壁中央のやや南寄りに付設され、全長136cm、焚き口幅78cmを測り、カマド前は土坑状になっている。壁溝は西壁の一部で検出されている。規模は幅14~36cm、深さ約10cmを測る。

出土遺物(第123図)

須恵器杯・瓶がカマドから出土した。

第2号住居跡(第120図)

AX-22グリッドに位置する。西半が調査区域外になっている。平面形は方形を呈するものと推定され、規模は、南北2.07m、深さ32cmを測る。主軸方位はN-24°-Eを指す。第32号土坑と重複し、切っている。覆土より須恵器杯・甕片が出土した。

第3号住居跡(第121図)

AY-22グリッドに位置する。平面形は長方形を呈し、規模は南北2.70m、東西2.05m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-20°-Wを指す。

カマドは南壁に付設され全長47cm、焚き口幅56cmを測る。

覆土より、須恵器杯・甕片が出土した。須恵器杯は、底部が回転糸切り離し未調整のものである。

第4号住居跡(第122図)

AZ-22グリッドに位置する。南東部は調査区域外になる。平面形は方形を呈するものと思われる。規模は東西2.90m、南北2.85m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-76°-Eを指す。

カマドは東壁に付設され、全長60cm、焚き口幅56cm以上を測る。壁溝は西壁と北壁の一部で検出されている。規模は幅約15cm、深さ約5cmを測る。土坑が住居

中央付近に1基検出されている。平面形は円形を呈し、長径1.0m、短径0.88m、深さ8cmを測り、主軸方位はN-85°-Wを指す。

出土遺物(第123図)

須恵器蓋・土師器甕がカマドから出土した。その他に須恵器蓋片の他、鉄滓が多く出土した。

第5号住居跡(第124図)

BD-21グリッドに位置する。カマドと北壁以外は攪乱を受けている。平面形は方形を呈するものと推定され、規模は東西3.45m、深さ13cmを測る。主軸方位はN-20°-Eを指す。

カマドは北壁に付設され、全長70cm、焚き口幅60cmを測る。

覆土より、須恵器杯片などが出土している。

第6号住居跡(第125・126図)

BF・BG-21グリッドに位置する。住居跡東側が調査区域外にあり、南壁付近は攪乱を受けている。北西隅で第94・95号土坑と重複している。平面形は長方形を呈し、規模は南北2.85m、東西3.50m以上、深さ12cmを測る。主軸方位はN-8°-Eを指す。

カマドは北壁に付設され、全長120cm、焚き口幅50cmを測る。壁溝は北壁と西壁、南壁の一部が検出されている。規模は幅18~30cm、深さ約5cmを測る。

出土遺物(第127図)

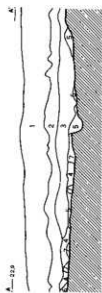
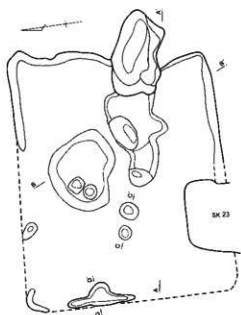
須恵器杯・蓋・椀、土師器甕が出土している。1~8の杯すべてと蓋は床面から出土し、2と6は重ねられた状態で出土した。

第13号住居跡(第128・129図)

BY-9、BZ-8・9グリッドに位置する。北東隅で第218号土坑と、カマド北側で第219号土坑と重複している。南東隅は攪乱されている。平面形は方形を呈し、規模は東西4.80m、南北5.00m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-55°-Eを指す。

カマドは東壁中央に付設され、全長126cm、焚き口幅72cmを測り、両側に粘土が置かれている。壁溝はカ

第119図 第1号住居跡

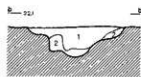
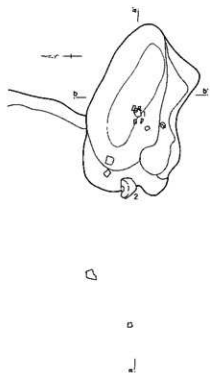


- A-A'
- 1 黄褐色土 (黄土)
 - 2 黒褐色土 中や細砂多き層
 - 3 黒褐色土 西側土塊砂子多き層
 - 4 暗褐色土
 - 5 暗褐色土: ロム・ロム財多き層
 - 6 暗褐色土: ロム財層 砂多し
 - 7 黒褐色土

- B-B'
- 1 黒色土
 - 2 灰褐色土
 - 3 赤色土 灰褐色土・黒褐色土層
 - 4 暗褐色土: ロムブロック層

- C-C'
- 1 黒色土
 - 2 暗褐色土 赤色土多き層
 - 3 黒色土・黄褐色土層

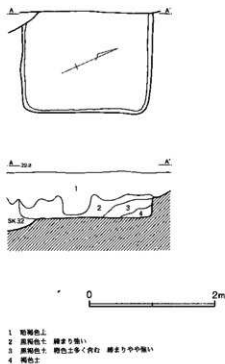
- D-D'
- 1 黒色土
 - 2 灰褐色土
 - 3 黒褐色土 黒色土層多き層



- B-B'
- 1 黄褐色土 砂多し・炭化物・ロム財多き層
 - 2 暗褐色土: ロム財多き層
 - 3 暗褐色土 黄褐色土多き層 中や細砂
 - 4 暗褐色土 黄褐色土多き層
 - 5 暗褐色土: ロム財多き層



第120図 第2号住居跡



マドを除いて全周している。規模は幅約20～40cm、深さ約10cmを測る。ピットは11基確認され、ピット2・4・6・10が主柱穴である。土坑は住居内の西壁寄り中央に1基検出されている。

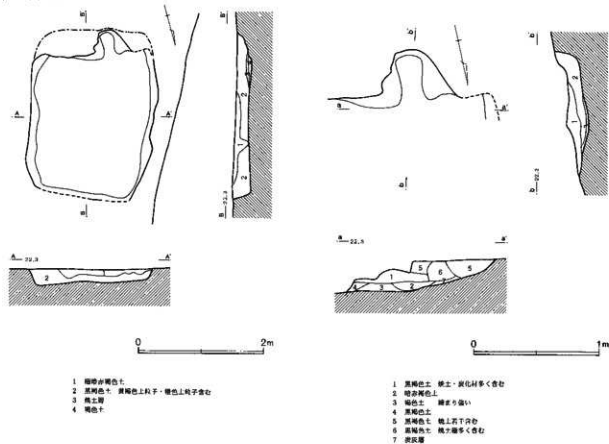
出土遺物(第130図)

須恵器環・高台付椀・鉢、土師器環・甕などが出土した。1・2・3・4は床面直上から出土した。3は内黒土器である。

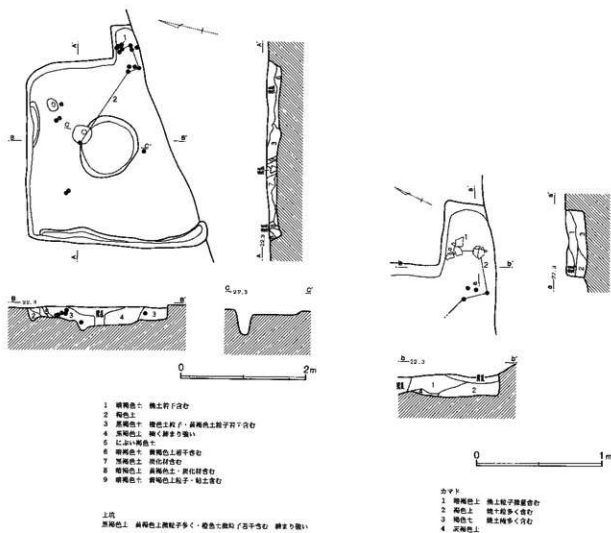
第14号住居跡(第131図)

BZ-8グリッドに位置する。住居北西部は調査区域外にあり、北隅で第16号住居跡を切り、第15号住居跡を壊すように造られている南東壁と南西壁が依存しているだけで、平面形は方形を呈するものと推定される。規模は南東壁4.93m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-38°-Eを指す。

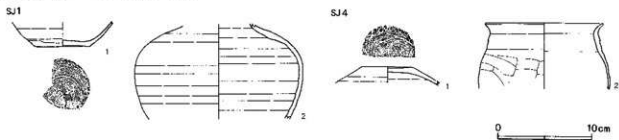
第121図 第3号住居跡



第122図 第4号住居跡



第123図 第1・4号住居跡出土遺物



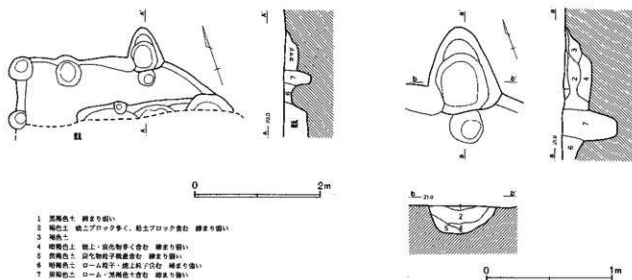
第1号住居跡出土遺物観察表(第122図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	縄文器環			(5.8)	ABS	I	灰	45	カマド RC
2	瓶				ABRS	J	灰	25	カマド 内面口タロ状割著

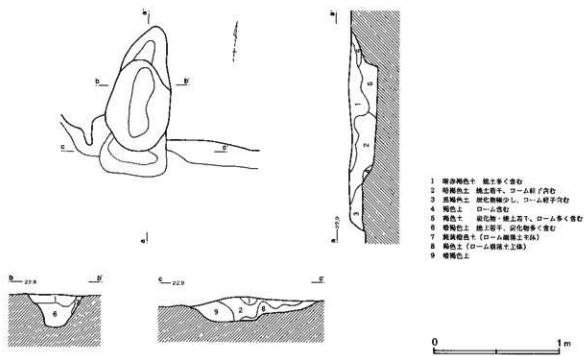
第4号住居跡出土遺物観察表(第122図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	須恵器蓋				ABS	II	鈍い黄緑	20	カマド 天井部回転糸切り 天井部径5.5cm
2	土師器壺	12.6			BHS	III	暗赤褐	70	カマド 側部縦方向彫割り

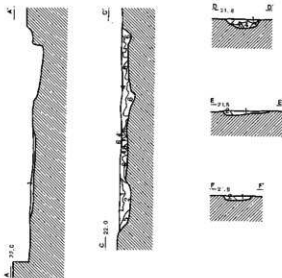
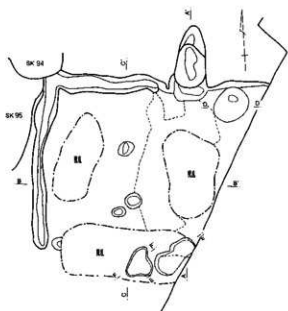
第124図 第5号住居跡



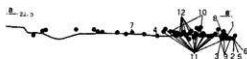
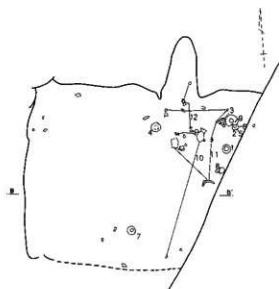
第125図 第6号住居跡カマド



第126図 第6号住居跡



- 1 黄褐色土 炭化物散り・赤色土層 / ローム粒 / 若干含む
- 2 黄褐色土 ローム粒子多く含む
- 3 黄褐色土 ローム粒子少し含む
- 4 黄褐色土 炭化物散り・ローム粒子含む
- 5 黄褐色土 炭化物散り多量含む
- 6 黄褐色土 ロームブロック多く含む
- 7 黄褐色土 ローム粒子多く含む



D-D'

- 1 黄褐色土 黄褐色土含む
- 2 黄褐色土 粘土粒子多量含む
- 3 褐色土 層まろしい
- 4 褐色土 粘土粒子多量含む
- 5 褐色土 黄褐色土若干含む

E-E'

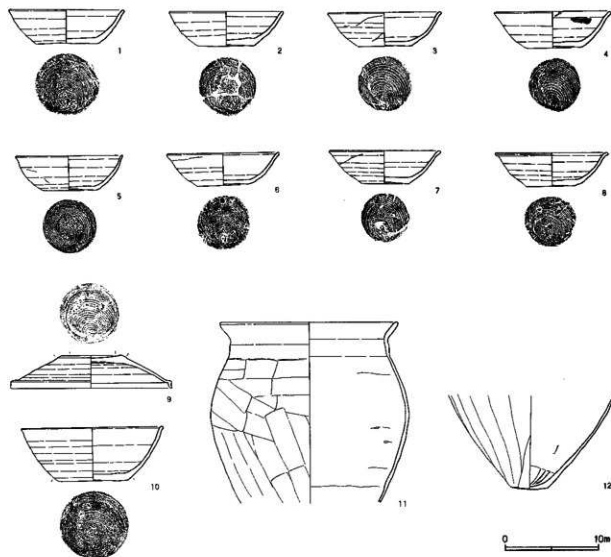
- 1 黄褐色土 黄褐色土含む
- 2 黄褐色土 黄褐色土若干含む 層まろしい

F-F'

- 1 黄褐色土 黄褐色土含む
- 2 黄褐色土 黄褐色土若干含む

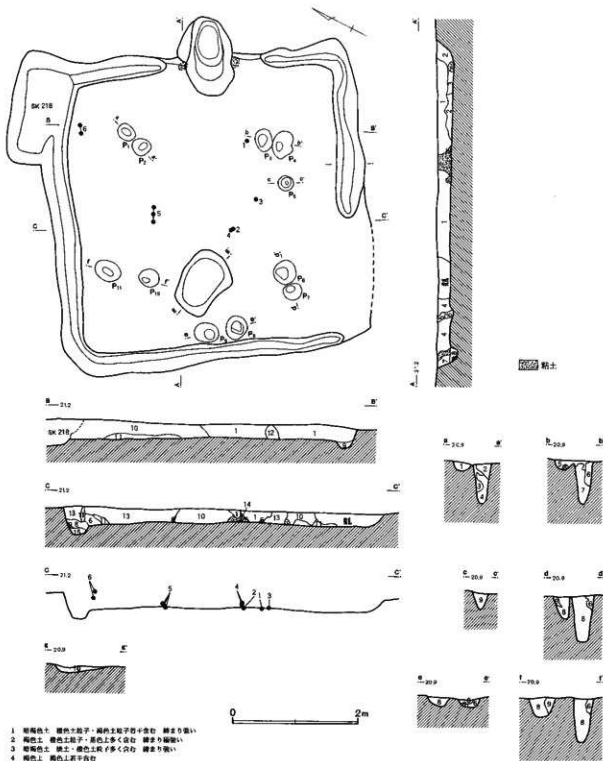


第127図 第6号住居跡出土遺物



第6号住居跡出土遺物観察表(第127図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存%	出土位置・その他
1	須恵器 坏	12.3	3.6	6.4	ACRS	I	淡黄橙	100	床直 RC
2	坏	12.2	3.7	5.9	ABS	I	灰黄	95	床直 RC 器壁刺痕顕著
3	坏	12.1	3.6	5.6	ABS	I	鈍い黄橙	100	床直 RC 挽き上げ痕
4	坏	12.5	3.9	5.6	ACRS	I	鈍い橙	100	口縁部内外面油漣付着 灯明皿
5	坏	11.5	3.6	5.7	ABCRS	I	灰	100	床直 RC 挽き上げ痕
6	坏	12.0	3.4	5.5	ABS	I	鈍い橙	100	床直 RC 底部周縁に隆起こし痕 挽き上げ痕
7	坏	11.9	3.5	5.1	ABRS	I	灰黄褐	100	床直 RC 挽き上げ痕
8	坏	12.1	3.5	5.3	ABS	I	黄灰	95	床直 RC 体部に糸引き抜き痕あり
9	蓋	17.1	3.5		ABCRS	I	灰白	100	床直 天井部回転糸切り後外周右回転蹴削り
10	椀	(15.2)	5.7	7.2	ABCRS	I	灰白	60	RA 体部下端に回転蹴削り及ぶ
11	土師器 甕	(19.0)			BES	II	橙	60	胴部外面上部一方向・下半一方向蹴削り
12	甕			4.0	BES	II	鈍い褐	45	胴部外面一方向蹴削り 底部一方向蹴削り

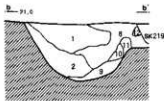
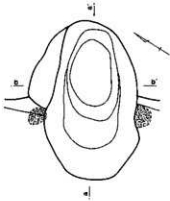


- 1 暗褐色土 黒色土粒子・褐色土粒子を含む 締まり強い
- 2 褐色土 褐色土粒子・黒色土多く含む 締まり弱い
- 3 暗褐色土 粘土・褐色土粒子多く含む 締まり強い
- 4 褐色土 褐色土粒子含む
- 5 暗褐色土
- 6 褐色土
- 7 暗褐色土 褐色土粒子黄褐色土 締まり弱い
- 8 暗褐色土 ローム粒子多く含む 締まり弱い
- 9 暗褐色土
- 10 褐色土 締まり弱い
- 11 褐色土 褐色土多く含む
- 12 暗褐色土 褐色土粒子・黄褐色土粒子含む 締まり弱い
- 13 褐色土 中々締まり強い
- 14 褐色土 締まり強い
- 15 褐色土 暗褐色土多く含む 締まり弱い

ゾット1-11-上段

- 1 暗褐色土 粘土中々多く、ロームブロック含む 中々締まっている
- 2 暗褐色土 炭化物粒子若干・灰色粘土ブロック含む 中々締まりあり
- 3 暗褐色土 ローム塊上多く含む 締まり弱い
- 4 暗褐色土 締まり弱い
- 5 暗褐色土 粘土粒子多く含む 締まりあり
- 6 暗褐色土
- 7 暗褐色土 粘土下層・ローム塊粒子多く含む 中々締まりあり
- 8 暗褐色土 中々に粘土・炭化物粒子、ローム粒子若干含む 締まり弱い
- 9 褐色土 ローム含む
- 10 暗褐色土 ロームブロック含む

第129図 第13号住居跡カマド



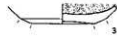
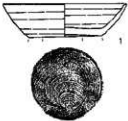
- 1 鈍い赤褐色土 焼土若干含む 跡残り強い
- 2 黒赤褐色土 焼土少し含む
- 3 暗褐色土 焼土多く含む
- 4 鈍い褐色土 焼土若干含む 粘質
- 5 黒褐色土 中々跡残りなし
- 6 暗褐色土 程中に焼土含む

粘土

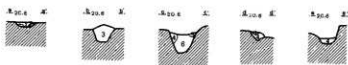
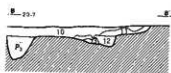
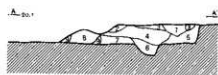
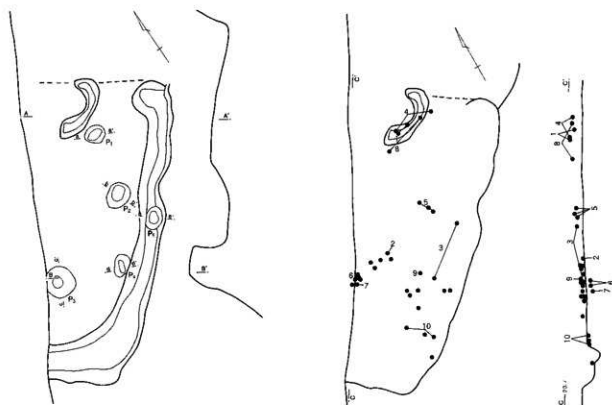


- 7 褐色土ロームブロック
- 8 暗褐色土 焼土 炭化物質を含む 中々跡まる
- 9 褐色土 焼土 炭化物質を含む跡残り強い 粘土質
- 10 暗赤褐色土 焼土若干含む 跡残りあり
- 11 鈍い赤褐色土 焼土若干 跡残りあり 粘質土
- 12 暗褐色土ロームブロック

第130図 第13号住居跡出土遺物



第131図 第14号住居跡

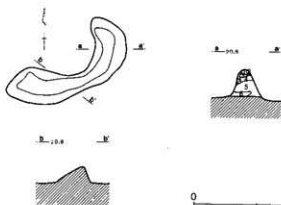


(A-A'・B-B')

- 1 褐色土
- 2 黄褐色土
- 3 褐色土 黄褐色土粒子含む
- 4 褐色土 中の跡まりあり
- 5 褐色土 黄褐色土粒子含む 跡まり強い
- 6 褐色土 黄褐色土粒子含む
- 7 褐色土 褐色土粒子、黄褐色土粒子散在含む 跡まりあり
- 8 褐色土 黄褐色土・粘土含む
- 9 褐色土 粘土質 跡まり強い
- 10 黄褐色土 粘土・炭化物含む 跡まりあり
- 11 黄褐色土
- 12 黄褐色土 ローム粒子多く含む
- 13 黄褐色土 ローム粒子多く、炭化物含む

ピット

- 1 黄褐色土 ローム粒子含む 跡まり強い
- 2 黄褐色土
- 3 黄褐色土 ロームブロック含む 跡まり強い
- 4 褐色土 ローム質 跡まり強い
- 5 黄褐色土 炭化物・黄土粒子含む 跡まり強い
- 6 黄褐色土 ローム粒子含む 跡まり強い

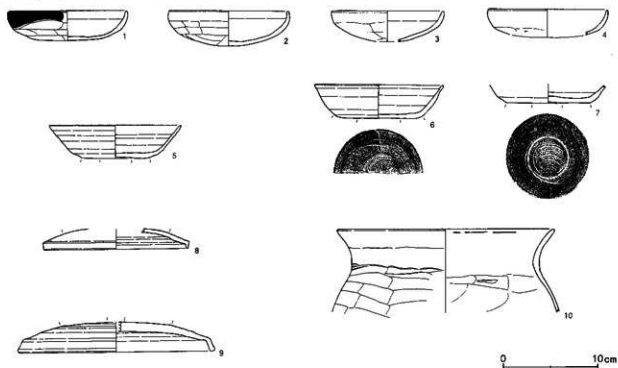


- 1 黄褐色土 粘土ブロック含む 粘り強い灰色粘土
- 2 黄褐色土 粘土・粘土含む 跡まり強い
- 3 黄褐色土
- 4 黄褐色土 炭化物粒子含む 中の跡まりあり
- 5 褐色土 褐色土粒子、黄褐色土粒子含む 若干跡まりあり
- 6 黄褐色土 黄褐色土多く含む 中の跡まりあり

第13号住居跡出土遺物観察表(第130図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	須恵器 坏	13.2	3.6	7.8	AS	I	灰	90	床直 RBb
2	高台付 椀			5.9	ARS	II	灰白	40	床直 貼り付け高台 ロケロ痕顯著
3	土師器 坏			6.6	BS	I	橙	75	床直 内黒土器 底部内外面一部剝離
4	須恵器 鉢	(28.8)			AS	II	灰白	10	
5	土師器 甕	20.8			BEJ	II	橙	80	体部上位一方向、以下はJ方向のヘラ削り
6	甕	(23.0)			JS	II	橙	15	口縁部接合痕 胴部一方向剝離

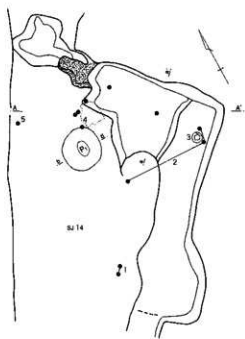
第132図 第14号住居跡出土遺物



第14号住居跡出土遺物観察表(第132図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	土師器 坏	(12.6)	3.1		BJS	II	鈍い黄橙	45	体部剝離り 口縁部外面煤付着
2	坏	(12.8)	3.7		JS	II	橙	40	口縁部横ナゲ 直立 体部剝離り
3	坏	(12.6)			EJS	II	橙	20	体部剝離り
4	坏	(12.8)			J	II	鈍い橙	25	口縁部横ナゲ 底部剝離り
5	須恵器 坏	(14.0)	3.4	(7.3)	AB	I	灰	25	RBb
6	坏	(13.8)	3.6	(8.0)	ABS	I	灰	45	ビット3 RBb体部下端に回転剝離り及ぶ
7	椀			(9.0)	ABS	I	灰	80	RBb
8	甕	(15.4)			ABS	I	灰	20	ビット3 天弁部右回転剝離り
9	蓋	(21.0)			ABS	I	灰白	15	天弁部右回転剝離り 糸切り痕残る
10	土師器 甕	(23.2)			BEHJS	II	橙	10	胴部一方向剝離り

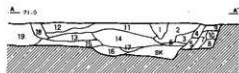
第133図 第15号住居跡



- 土坑
- 1 黄色土
 - 2 褐色土
 - 3 赤褐色土 跡まり強い
 - 4 黄褐色土



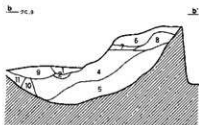
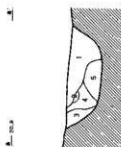
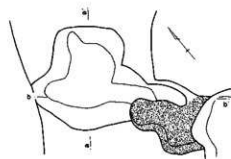
- ピット
- 1 黄褐色土 焼土跡や、炭化物含む 今中跡まりあり
 - 2 褐色土 ロームブロック、右下炭化物含む 跡まり強い
 - 3 褐色土 炭化物ロームブロック右下穴付 跡まり強い
 - 4 黄褐色土 ローム状土含む 跡まり強い
 - 5 褐色土 ロームブロック含む



- 1 黄褐色土 跡まり強い
- 2 褐色土 褐色土多く含む 跡まり強い
- 3 褐色土 跡まり強い
- 4 暗赤褐色土 褐色土若干含む
- 5 褐色土 粘土質 跡まり強い
- 6 褐色土 黄褐色土若干含む 跡まり強い
- 7 褐色土 褐色土粘土・カーボン質下穴付
- 8 黄褐色土上 灰色粘土含む 粘土質
- 9 褐色土 褐色土炭化物含む

- 10 黄褐色土 褐色土粘土多く含む 跡まり強い
- 11 褐色土 跡まりない
- 12 褐色土 黄褐色土多く含む
- 13 黄褐色土
- 14 黄褐色土 褐色土粘土・黄褐色土粘土多く含む 今中跡まりあり
- 15 黄褐色土
- 16 褐色土 褐色土・黄褐色土多く含む 跡まり強い
- 17 褐色土
- 18 黄褐色土上
- 19 黄褐色土 褐色土若干含む 今中跡まりあり

522 粘土



- カマド
- 1 黄土
 - 2 暗赤褐色土 炭化物多く含む
 - 3 暗赤褐色土 黄土ブロック含む
 - 4 褐色土 炭化物、粘土、粘土少し含む
 - 5 暗赤褐色土 黄土ブロック含む
 - 6 黄褐色土 粘土・炭化物粘土若干含む
 - 7 黄褐色土上
 - 8 褐色土 跡まりあり
 - 9 暗赤褐色土 黄土粘土・炭化物含む
 - 10 褐色土 粘土 跡まり強い
 - 11 黄褐色土 黄土若干含む 跡まりあり



カマドは北東壁に付設され、全長140cmを測る。壁溝は南東壁と南西壁で検出され、規模は幅約34~70cm、深さ約15cmを測る。ピットは5基検出されている。

出土遺物(第132図)

土師器環・壺、須恵器環・碗・蓋が出土した。6・7の2点はピット3から出土した。須恵器環・碗の底部はいずれも回転糸切り後の周辺ヘラ削りである。

第15号住居跡(第133図)

BY・BZ-8グリッドに位置する。住居跡西側の大半を第14号住居跡に切られている。南東壁と北東壁しか遺存していない。平面形は長方形を呈するものと推定され、南東壁3.65m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-40°-Eを指す。

カマドは北東壁に付設され、全長83cm、焚き口幅約80cmを測る。東側袖部相当部分に粘土か検出された。ピットが1基検出された。

出土遺物(第134図)

須恵器環、土師器甕、鉄鏝が出土した。3は住居跡東隅の床面から出土し、4はピットの東にまとまって出土した。5は平造三角形形式の鉄鏝で僅かな逆刺を持つ、重さは13.528である。

第20号住居跡(第135図)

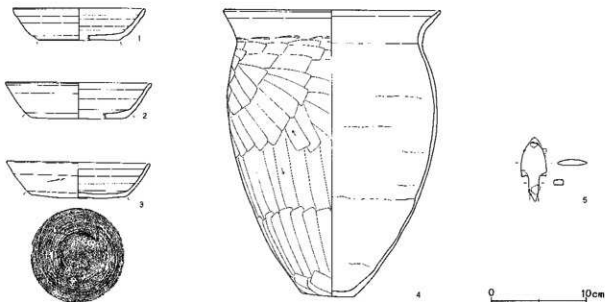
CA-9グリッドに位置する。平面形は方形を呈し、規模は南北3.68m、東西3.47m、深さ25cmを測る。主軸方位はN-10°-Eを指す。

カマドは北壁中央に付設され、全長128cm、焚き口幅72cmを測る。

出土遺物(第136図)

須恵器環・碗・甕、土師器甕・台付甕が出土した。6の甕はカマド出土、5の甕は床面直上から出土した。環2点の底部には墨書があり、文字か記号か不明である。

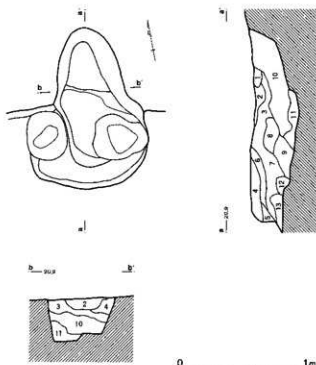
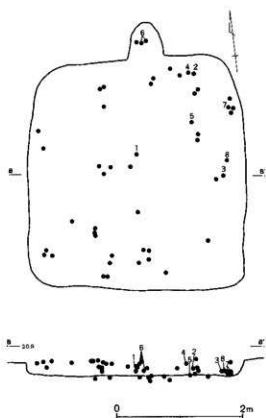
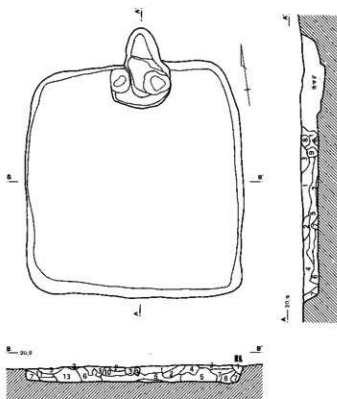
第134図 第15号住居跡出土遺物



第15号住居跡出土遺物観察表(第134図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	その他
1	須恵器環	(14.2)	3.4	9.0	AB	I	灰	35	RA 底部中央凹み 糸切り痕僅かに残る
2	環	(15.6)	3.8	(10.4)	ABS	II	灰	25	RA 体部下端回転削り
3	環	15.4	3.8	10.0	ABS	I	灰白	40	RA 体部下端回転削り 底部のみ酸化焙焼成底部内面クワロ痕顕著
4	土師器甕	23.2	30.1	5.6	BEJS	II	橙	80	胴部上半へ・↑方向、下半↓方向削り

第135図 第20号住居跡

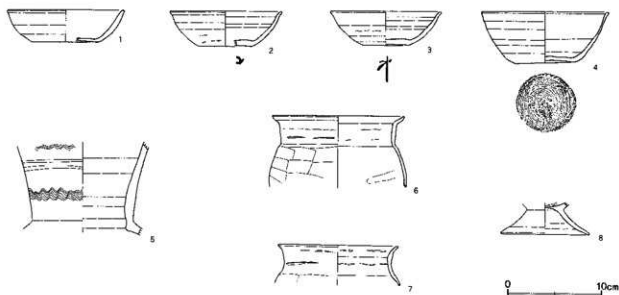


- 1 黄褐色土 黄土・炭化物層かに含む
- 2 黄褐色土 黄土層かに含む
- 3 黄褐色土 黄土・炭化物層、ローム粒子多く含む
- 4 黄褐色土 黄土・炭化物層かに含む
- 5 黄褐色土 黄土層、ローム粒子層かに含む
- 6 褐色土 炭化物層かに含む
- 7 黄褐色土 炭化物層かに含む
- 8 黄褐色土ブロック 黄土・炭化物層かに含む
- 9 黄褐色土ブロック ローム粒子層かに含む
- 10 黄褐色土 炭化物層、ローム粒子層かに含む
- 11 黄褐色土 ローム粒子層かに含む
- 12 黄褐色土 炭化物層・ローム粒子層かに含む
- 13 黄褐色土 ローム粒子層かに含む

コップ

- 1 黄褐色土ブロック 黄土層に含む
- 2 黄褐色土 黄土・炭化物層かに含む
- 3 黄褐色土 黄土層、炭化物層に含む
- 4 黄褐色土 黄土層に含む
- 5 黄褐色土 炭化物層に含む
- 6 褐色土 ローム粒子層に含む
- 7 黄褐色土 ローム粒子層、炭化物層に含む
- 8 黄褐色土 ローム粒子層、黄土層に含む
- 9 黄褐色土 ローム粒子層、黄土層に含む
- 10 黄褐色土 ローム粒子層、黄土層に含む
- 11 褐色土 黄土・炭化物層に含む
- 12 黄褐色土 炭化物層に含む
- 13 褐色土 ローム粒子層に含む
- 14 褐色土ブロック ローム粒子層に含む

第136図 第20号住居跡出土遺物



第20号住居跡出土遺物観察表(第136図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存%	出土位置・その他
1	須恵器杯	(12.4)	3.4	(7.2)	AB	II	灰黄	20	底部施ナデ整形
2	杯	(12.0)	3.7	(5.6)	ABRS	I	灰白	15	RC 墨吉(底部)
3	杯	(11.8)	3.6	4.8	ABRS	I	灰白	40	RC 墨吉(底部)
4	碗	13.6	5.4	6.3	ARS	II	灰	80	RC
5	甕				ARS	I	オリーブ灰	20	床直 胴部外面2条の平行沈線を挟み、上下に櫛描波状文
6	土師器甕	(14.0)			BEJS	II	鈍い赤褐	15	カマド 頸部施ナデ整形
7	甕	(12.8)			BEJ	II	鈍い赤褐	30	頸部施ナデ整形
8	台付甕			(9.4)	BEJ	II	明赤褐	70	胴上部ロクロ横ナデ

第21号住居跡(第137図)

CA-9・10グリッドに位置する。平面形は方形を呈し、規模は主軸3.48m、東西3.10m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-136°Eを指す。

カマドは南東壁中央に付設され、全長100cm、焚き口幅75cmを測る。

出土遺物(第138図)

須恵器杯・蓋・碗・小型短頸甕、土師器台付甕・甕、土師、鉄製紡錘車が出土した。13の台付甕はカマド、紡錘車は床面からの出土である。

19は土師で、長さ4.4cm、最大径2.2cm、重さ18.01gで、両端面ともへら整形されている。

20は鉄製紡錘車で21~24の棒状の鉄製品は紡錘車の一部である。

第22号住居跡(第139・140図)

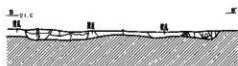
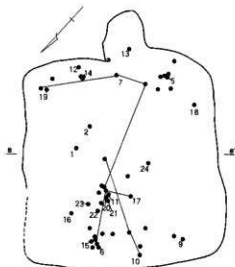
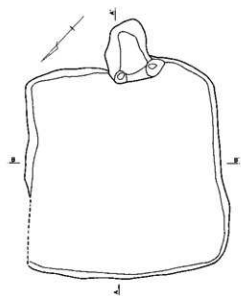
CB・CC-9・10グリッドに位置する。西壁の一部が第1号壁穴状遺構と重複している。平面形は方形を呈し、規模は東西2.95m、南北3.70m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-78°Eを指す。

カマドは東壁のやや南寄りに付設され全長174cm、焚き口幅57cmを測る。焚き口前面は土坑状になっている。袖部は両側とも地山掘り残してあるが、上面に粘土が貼ってある。

出土遺物(第141・142図)

須恵器杯・蓋・碗・瓶・鉢・甕、土師器杯・台付甕・甕などの他土師が出土した。2の灯明皿の須恵器杯、6の蓋・15の甕、21の土師器台付甕・18の甕がカマドから出土し、1・7・11・12・23は床面からの出土で

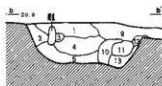
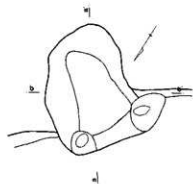
第137図 第21号住居跡



0 2m

- 1 暗褐色土 黄褐色土粒若干、橙土土粒子散在含む
- 2 暗褐色土 黄褐色土粒多量含む 跡まわり中有り
- 3 暗褐色土 黄褐色土粒多量含む 跡まわり中有り
- 4 黄褐色土
- 5 暗褐色土
- 6 暗褐色土 黄褐色土多量含む
- 7 暗褐色土 黄褐色土多量含む 跡まわりなし

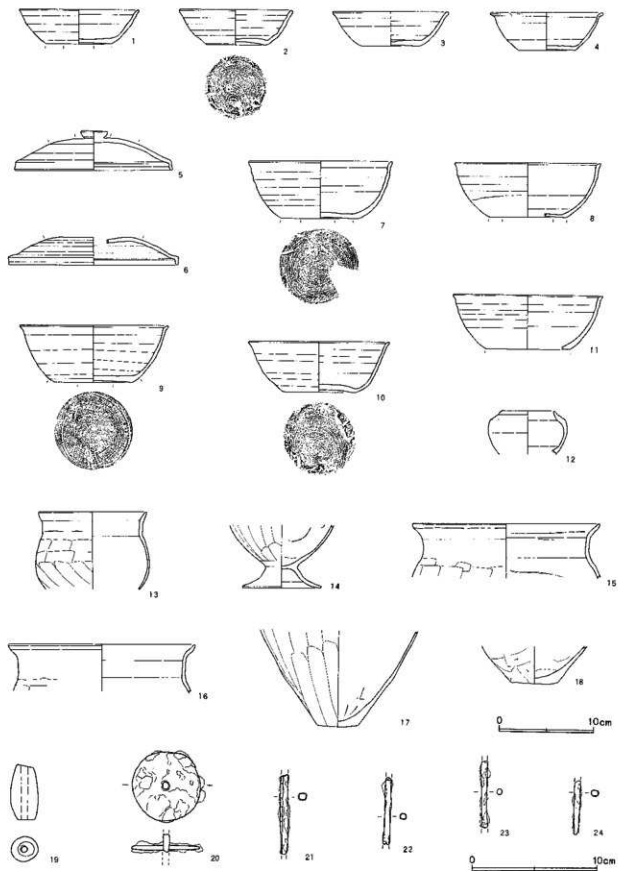
- 8 暗褐色土 黄褐色土粒若干含む 跡まわり中有り
- 9 暗褐色土 黄褐色土粒多量含む 跡まわりなし
- 10 暗褐色土
- 11 黄褐色土 跡まわりなし
- 12 暗褐色土
- 13 暗褐色土 黄褐色土若干含む



0 1m

- 1 黄褐色土 焼土多量、ローム粒子多量含む
- 2 暗褐色土 焼土多量含む
- 3 暗褐色土 焼土若干含む 跡まわりなし
- 4 黄褐色土 ローム粒子、焼土、炭化物多量含む
- 5 暗褐色土 ローム粒子、炭化物多量含む
- 6 暗褐色土 炭化物多量含む 跡まわりなし
- 7 暗褐色土 炭化物多量含む
- 8 暗褐色土 跡まわりなし
- 9 黄褐色土 ローム粒子、焼土層かに含む
- 10 暗褐色土 ロームブロック多量、炭化物層かに含む 跡まわりなし
- 11 黄褐色土 ローム粒子、炭化物、炭化層若干含む
- 12 暗褐色土 ローム粒子多量含む 跡まわりなし
- 13 黄褐色土

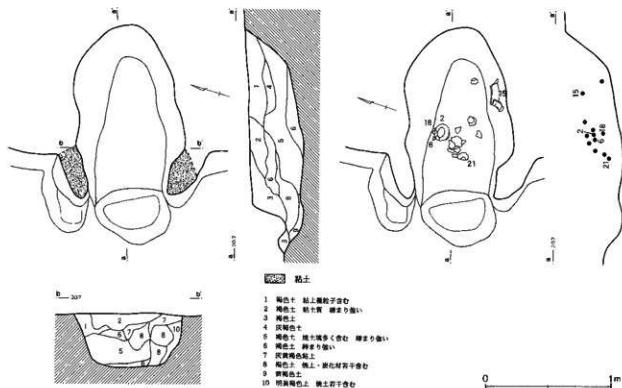
第138図 第21号住居跡出土遺物



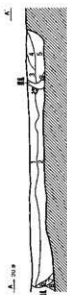
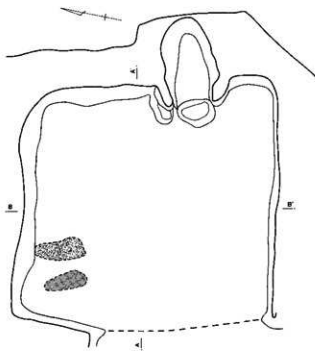
第21号住居跡出土遺物観察表(第138図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	須恵器環	(12.8)	3.6	7.0	ABS	I	灰	40	RBb
2	環	(12.1)	3.7	6.1	ABS	I	灰	20	RC 体部内面口クロ痕顯著
3	環	(12.4)	3.6	(6.0)	ABS	I	灰	20	RC
4	環	(12.0)	4.0	(6.0)	AB	I	灰	15	RC 口縁外反
5	蓋	(17.0)	4.2		ABS	II	橙	45	天井部右回転施削り 紐周辺糸切り痕あり
6	蓋	(18.0)			ABS	I	灰	20	天井部右回転施削り
7	椀	15.4	6.0	8.3	AS	I	灰	75	RBb 外面口クロ痕顯著
8	椀	(15.6)	5.7	8.2	ABS	I	灰	25	RBb 口唇内側に面をもつ
9	椀	15.9	6.0	8.2	ABS	I	灰黄褐	80	RBb 体部下端回転施削り体部内面水後き痕顯著
10	椀	15.1	5.3	8.0	ABS	I	灰	60	RC 口唇内側に面をもつ
11	椀	(16.0)	5.7	(9.0)	ABS	I	灰	25	RA 口唇内側に面をもつ
12	小型短頸壺	(5.6)			ABS	I	灰	30	
13	土師器 台付淺	(11.6)			BS	II	鈍い橙	20	カマド 口縁部・頸部内面横ナデ 胴部外面上下 →方向、下半↓方向施削り
14	台付壺			(8.4)	BES	II	鈍い橙	25	体部外面縦施削り、下端横ナデ 脚部横ナデ
15	壺	(20.0)		(8.5)	BHS	II	橙	15	頸部外面下端指ナデ 胴部外面→方向施削り
16	壺	(20.0)		(8.6)	BES	II	橙	10	口縁部横ナデ 口唇部外面施ナデ 頸部下端外面横 ナデ 胴部外面施削り
17	壺			4.4	EKS	II	鈍い橙	35	外面下方への施削り 底部→方向への施削り
18	壺			5.0	BJS	I	鈍い橙	65	内面縦方向のナデ 外面→方向、↓方向の施削り

第139図 第22号住居跡カマド

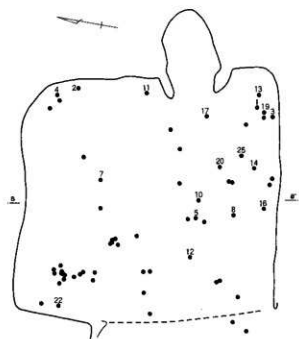


第140図 第22号住居跡



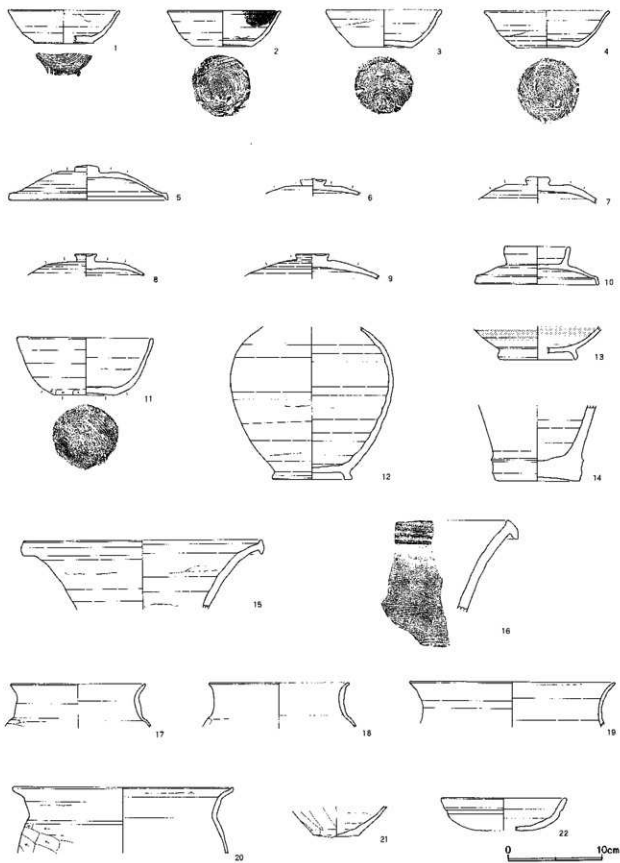
50 54
鉄土

- 1 褐色土 黄褐色土粒子多く含む 中々締まり有り
- 2 褐色土 黄褐色土粒子中、炭化片層を含む
- 3 褐色土 黄褐色土粒子含む 締まり強い
- 4 褐色土 黄褐色土粒子豊富含む 締まり強い
- 5 褐色土 黄褐色土粒子多く含む 締まりなし
- 6 褐色土 黄褐色土粒子多く含む 中々締まり有り
- 7 褐色土 黄褐色土粒子含む
- 8 褐色土 黄褐色土粒子多く含む 中々締まり有り
- 9 褐色土 黄褐色土粒子多く含む
- 10 褐色土 黄褐色土粒子多く含む
- 11 黄褐色土 黄褐色土粒子含む 締まり強い

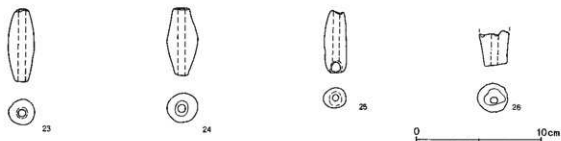


0 2m

第141图 第22号住居跡出土遺物(1)



第142図 第22号住居跡出土遺物(2)



第22号住居跡出土遺物観察表(第141図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	出土位置・その他
1	須恵器環	(12.0)	3.5	(6.4)	AS	I	灰	35	床直 RC 糸切りや直しの痕跡あり
2	環	12.2	3.8	6.6	ACS	I	灰黄	95	カマド RC 底部外周隆起こし痕 内面油塗一部付着
3	環	12.4	4.0	6.2	ABS	I	灰	100	RC 底部外周隆起こし痕 口縁外周歪み挽き痕 自然物
4	環	13.4	3.9	6.6	AS	I	灰	80	RC 底部外周隆起こし痕
5	蓋	(17.4)	3.7		ABRS	I	灰	25	大井部右回転蓋削り 一部糸切り痕 径径2.4cm 口縁著
6	蓋				ABS	I	灰	10	カマド 大井部右回転蓋削り 紐周囲糸切り痕 径径2.8cm
7	蓋				ABS	I	灰	15	床直 大井部右回転蓋削り 一部糸切り痕 径径2.6cm
8	蓋				ABS	I	灰	15	大井部右回転蓋削り
9	蓋				AS	I	灰	10	大井部右回転蓋削り 一部糸切り痕 径径3.5cm
10	蓋	13.2	4.0		AHRS	I	灰	70	環状紐内大井部中央糸切り痕径径7.0cm 歪みあり
11	柄	14.6	6.1	6.8	A	I	灰白	80	床直 回転糸切り後周辺静止痕削り床直 削削り 体部下層に及ぶ
12	瓶			8.4	ARS	I	灰	55	底部内面中央のみ窪ナデ 内面口縁著
13	灰釉陶器 高台付柄			(8.2)	BS	I	灰白	20	体部外面下層・底部中央窪ナデ 高台部横ナデ
14	須恵器鉢			9.1	AHS	I	灰	70	RC 周縁隆起こし痕
15	壺	25.4			ARS	I	灰	65	カマド
16	壺				BS	I	黒	—	頸部に3段の波状文
17	土師器鉢	(14.4)			J	II	鈍い橙	10	←方向の窪削り
18	壺	(15.0)			JS	II	鈍い橙	10	カマド ←方向の窪削り
19	壺	(22.0)			BEJS	II	橙	10	←方向の窪削り
20	壺	(24.0)			BS	II	鈍い橙	10	←方向の窪削り
21	高付壺				BEJK	II	鈍い橙	75	カマド 体部下半縦窪削り 下端横ナデ
22	環	(13.4)	3.4		J	III	橙	15	体部内面水挽き痕顯著 底部内面窪ナデ

第22号住居跡出土土器計測表(第142図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
23	5.8	2.1	5.5	21.72
24	5.3	2.4	5-6	26.47

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
25	4.9	1.7	5.5	13.46
26	(2.7)	2.3	6	(11.84)

ある。

土鉢24・26は端面がへら整形されている。

第23号住居跡(第143図)

CA・CB-8グリッドに位置する。南東壁から南西壁を第50号溝が通り、南西壁は擾乱されており不明である。平面形は方形を呈すると推定され、規模は主軸2.70m以上、北東壁3.80m、深さ20cmを測る。主軸

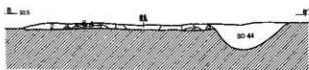
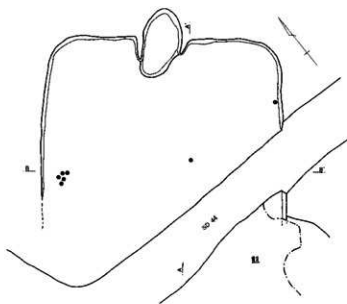
方位はN-42°Eを指す。

カマドは北東壁中央に付設され、全長110cm、焚き口幅60cmを測る。袖部は両側とも地山掘り残してある。

出土遺物(第144図)

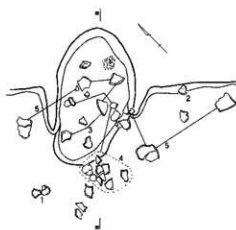
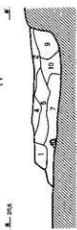
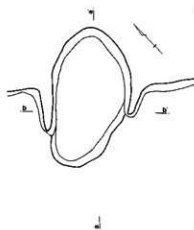
土師器環・壺・蓋・壺が出土した。遺物はカマド及びカマド周辺に集中していた。内面に暗文を持つ壺はカマドから出土し、壺はカマドの前から出土した。

第143図 第23号住居跡



- 1 黄褐色土 焼土・炭化物若干含む
- 2 暗褐色土 炭化物多く含む
- 3 暗褐色土 炭化物若干含む
- 4 黄褐色土 フロップ 炭化物若干含む

0 2m

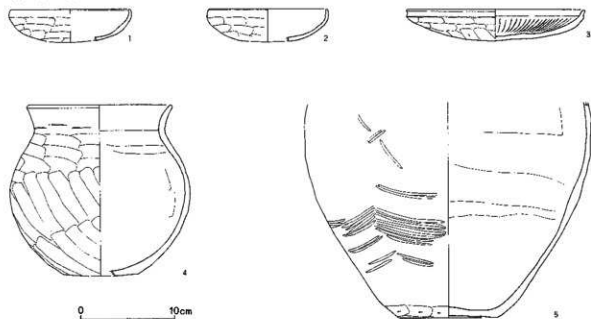


- 1 黄褐色土 焼土層のみ含む
- 2 暗褐色土 焼土多く含む
- 3 暗褐色土 焼土・炭化物多く含む
- 4 黄褐色土 ローム層に多く、焼土・炭化物若干含む
- 5 黄褐色土 焼土・炭化物層の上に含む
- 6 褐色土 炭化物層の上に含む
- 7 暗褐色土 焼土多く、炭化物層の上に含む
- 8 褐色土 焼土層の上に含む
- 9 暗褐色土 焼土層多く、炭化物層の上に含む
- 10 暗褐色土 焼土・炭化物層の上に含む

100 焼土

0 1m

第144図 第23号住居跡出土遺物



第23号住居跡出土遺物観察表(第144図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	土師器 坏	(12.8)			JS	II	鈍い橙	20	口唇横ナデ 内屈 体部外面←方向施削り
2	坏	(12.8)			HS	II	鈍い橙	10	口唇内面横ナデ 体部外面←方向施削り
3	盤	18.9	3.3		BHS	II	橙	75	カマド 口縁部屈曲し外反 体部外面←方向施削り 内面放射状暗文
4	小型 壺	(15.6)	17.9	(8.0)	ERS	II	橙	60	カマド前 体部外面上部←方向、下半↘向施削り
5	壺			10.6	RS	III	鈍い橙	40	外面一部の斜方向施削り 小破多く器壁荒れる

第24号住居跡(第145図)

CA・CB-7・8グリッドに位置する。東部を第44号溝によって切られている。平面形は長方形を呈し、規模は南北2.95m、東西3.70m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-23°Eを指す。

カマドは北壁のやや東寄りに付設され、西側は第44号溝に切られているため詳細は不明であるが、全長は55cm以上を測る。

出土遺物(第146図)

土師器環、須恵器環・碗が出土した。土師器環は床面より出土した。2は内面に油煙が付着した灯明皿である。

第25号住居跡(第147図)

CB・CC-9グリッドに位置する。住居跡北西隅が

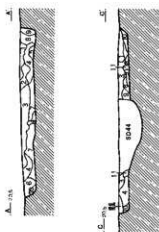
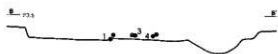
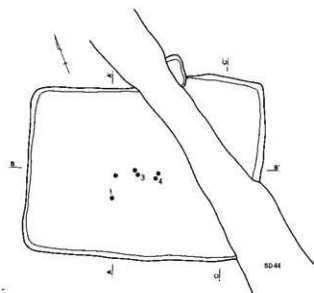
第235号土坑に切られており、南西部は攪乱を受けている。平面形は長方形を呈し、規模は南北2.35m、東西3.50m以上、深さ10cmを測る。主軸方位はN-25°Eを指す。

カマドは北壁中央付近に付設され、全長106cm、焚き口幅74cmを測る。西壁焚き口付近に片岩が置かれ、更に両側にピットがある。

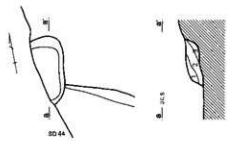
出土遺物(第147図)

遺物はカマド及び住居跡北東部から出土した。須恵器環が東壁寄り中央で床面より出土した。口径13.3cm、器高3.9cm、底径5.6cmを測り、鈍い黄橙色をした酸化焙焼成で、内外面底部から体部下半にかけて煤が付着している。底部は右回転糸切り離し未調整のものである。胎土には白色針状物質と砂粒を含む。

第145図 第24号住居跡



- 1 黄褐色土 焼土多く、ロームブロック含む
- 2 黄褐色土 ローム粒子多量含む
- 3 黄褐色土 ローム粒子多く、焼土塊を含む
- 4 黄褐色土 ローム粒子・焼土・炭化物等を含む
- 5 黄褐色土 ローム粒子多く、炭化物質を含む
- 6 黄褐色土 ロームブロック多量含む
- 7 黄褐色土 ローム粒子多量含む
- 8 褐色土 ローム粒子多量含む
- 9 黄褐色土 ローム粒子・焼土層下を含む
- 10 黄褐色土 ローム粒子多く、焼土層下を含む
- 11 褐色土ブロック・ローム粒子層上



- 1 黄褐色土 焼土多量、ローム粒子層が含む
- 2 黄褐色土 焼土・焼土ブロック多量含む
- 3 褐色土 焼土層下を含む

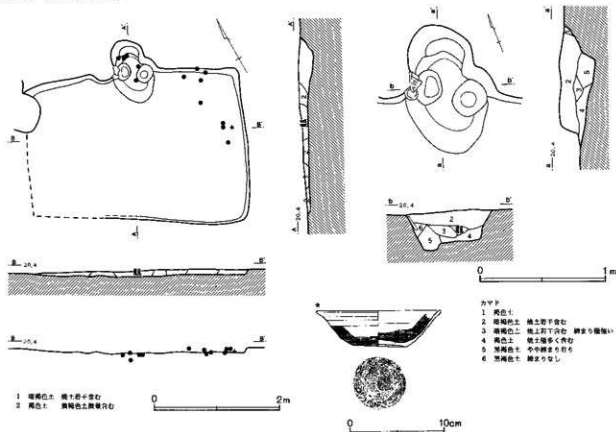
第146図 第24号住居跡出土遺物



第24号住居跡出土遺物観察表(第146図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	出土位置・その他
1	土師器環	(15.0)	3.2		BEJ	II	橙	50	床直 内面放射状暗文 口縁部直立 体部外面・方向箇所削り
2	須恵器環	(13.2)	3.2	6.8 (7.8)	AB	I	灰	30	RA 内面油埴付着
3	椀			(9.6)	ABS	I	灰	55	RBb 底部周辺静止箇所削り
4	椀				AB	I	灰	40	RA 体部下端に箇所削り及び

第147図 第25号住居跡



- 1 褐色土 粘土砂子を含む
2 褐色土 黄褐色土塊を含む

- カマド
1 褐色土
2 凝縮した 粘土質下層付
3 凝縮した 粘土質下層付 跡あり層付
4 黄褐色土 粘土質多く含む
5 凝縮した 粘土質多量付
6 凝縮した 跡ありなし

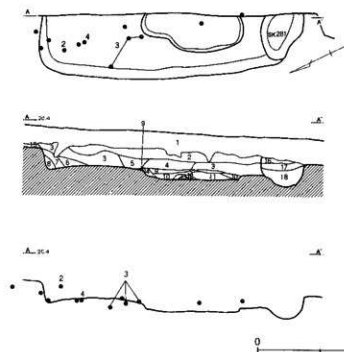
第27号住居跡(第148図)

CC・CD-9グリッドに位置する。住居跡東側の大半が調査区域外に位置しており、南西隅は第281号土坑と重複している。平面形は方形を呈すると推定され、規模は百壁3.90m、深さ30cmを測る。

出土遺物(第149図)

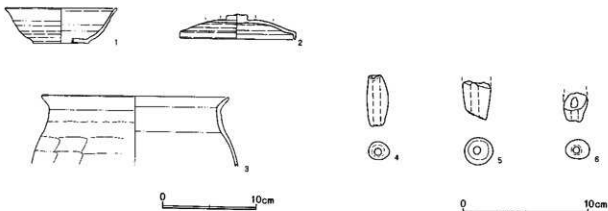
須恵器環・蓋、土師器甕、土錘が出土した。他に須恵器環の底部破片が出土しており、底部調整は、回転糸切り後周辺回転箇所削りするものが主体である。

第148図 第27号住居跡



- 1 赤褐色土
- 2 暗褐色土 褐色土層下層
- 3 暗褐色土 粘土・黄褐色土層粘土層
- 4 暗褐色土 黄褐色土層粘土層
- 5 暗褐色土 黄褐色土層多く、炭化灰土層
- 6 暗褐色土
- 7 暗褐色土 砂質
- 8 暗褐色土 黄褐色土層多く含む 締まり悪い
- 9 褐色土 暗褐色土層多く含む 締まり悪い
- 10 暗褐色土 粘土・黄褐色土層粘土層
- 11 暗褐色土 粘土・黄褐色土層粘土層多く含む 締まりあり
- 12 褐色土 粘土層多く含む
- 13 褐色土
- 14 褐色土 締まり悪い
- 15 褐色土 白色陶器層を含む 締まり悪い
- 16 灰褐色土 炭化灰土層
- 17 暗褐色土
- 18 黄褐色土 黄褐色土層粘土層多く含む 砂質土

第149図 第27号住居跡出土遺物



第27号住居跡出土遺物観察表(第149図)

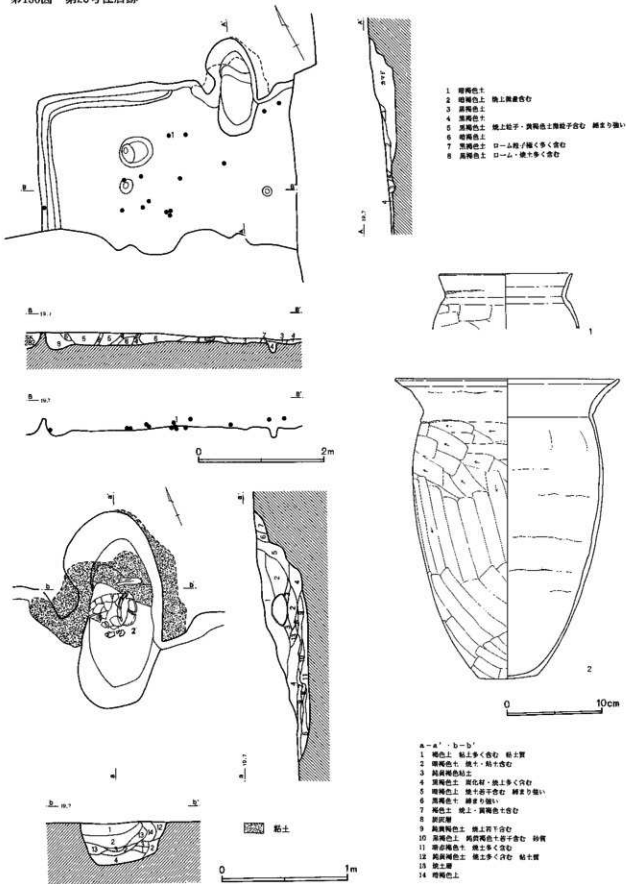
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	その他
1	須恵器平	(12.0)	3.7	(6.0)	AS	I	灰	25	RC
2	壺	12.2	2.6		ABS	I	灰	60	大井部右面転蹠刷り 口径2.2cm
3	上鉢器底	(20.0)			BJKS	III	橙	15	胴部外面←方向足刷り

第27号住居跡出土土錘計測表(第149図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
4	4.1	1.7	6	8.64
5	(3.0)	2.2	5-6	(12.62)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
6	(2.3)	1.9	5	(4.24)

第150図 第28号住居跡



第28号住居跡(第150図)

CC-8、CD-8・9グリッドに位置する。住居跡南半を第48・49号溝に切られ、東側は調査区域外にある。平面形は方形を呈すると推定される。規模は南北2.72m以上、東西4.10m以上、深さ10cmを測る。主軸方位はN-25°-Eを指す。

カマドは北壁に付設され、全長156cm、焚き口幅86

cmを測る。壁溝はカマドを除く北壁及び南壁で検出され、規模は幅約22~30cm、深さ約10cmを測る。ピットは住居内に3基検出されている。

出土遺物(第150図)

遺物は少なく、土師器壺2点が出土しており、2はカマド中央の覆土中層で、横転して潰れた状態で出土した。

第28号住居跡出土遺物観察表(第150図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存部	出土位置・その他
1	土師器壺	(14.1)			BCJS	II	鈍い褐	10	胴部外面←方向の鋭削り
2	壺	23.8	31.7	6.2	BJS	II	橙	95	カマド 内面木は状工具によるナデ 底部←方向の鋭削り

第29号住居跡(第151図)

CC・CD-8グリッドに位置する。住居跡東壁を第279・280号土坑に切られている。平面形は方形を呈し、規模は東西3.30m、南北3.20m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-32°-Eを指す。

カマドは北壁の東寄りに付設されている。ピットは住居跡内に4基検出されている。

出土遺物(第152図)

須恵器環・高台付椀・土師器台付壺・甕が出土した。その他に須恵器環・蓋・高台付環・椀・甕の破片が出土した。

第30号住居跡(第153・154図)

CB・CC-7・8グリッドに位置する。住居西隅を第46号溝が切っている。また、住居内中央やや西寄りに第245号土坑が検出されている。住居の平面形は長方形を呈し、規模は南北3.80m、東西4.90m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-32°-Eを指す。

カマドは北壁やや東寄りに付設され、全長110cm、焚き口幅60cmを測る。第46号溝は浅いため壁溝まで及んでおらず、壁溝はカマドを除いてほぼ全周している。規模は幅18~26cm、深さ5~8cmを測る。

出土遺物(第155図)

須恵器環・蓋・椀・鉢、土師器壺の他にガラス玉が覆土中より出土した。

6のガラス玉は最大径1cm、高さ9mm、孔径2mmで穿孔方向はやや斜めである。重さは1.61gで、色調はコバルトブルーであるが、外面は一部白色化している。

第31号住居跡(第156図)

CB-7グリッドに位置する。第32号住居跡を切り、第33号住居跡及び第247号土坑に切られている。住居跡西側の大半が調査区域外に位置している。平面形は方形を呈するものと推定され、規模は南北3.10m以上、深さ25cmを測る。主軸方位はN-27°-Eを指す。

出土遺物(第157図)

須恵器蓋・椀、土師器環の他に、須恵器破片、土師器壺片などが出土した。いずれも床面から出土した。

第32号住居跡(第156図)

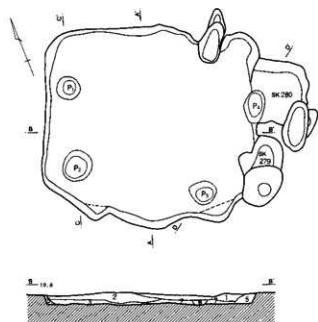
CB-7グリッドに位置する。第31・33号住居跡及び第247号土坑に切られている。壁溝のみの検出で、平面形は方形を呈すると推定され、規模は東西2.60m以上、南北2.75m以上、深さ5cmを測る。主軸方位はN-23°-Wを指す。

壁溝は確認範囲では南壁から東壁で確認され、規模は幅約18cm、深さ約5cmを測る。ピットが東壁寄りて1基検出し深さは、25cmを測る。

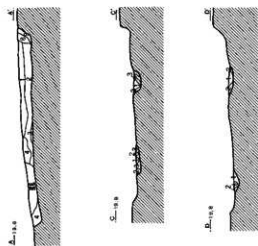
第33号住居跡(第158図)

CB・CC-6・7グリッドに位置する。第31・32号住居跡及び第247号土坑を切り、第34号住居跡に切ら

第151図 第29号住居跡



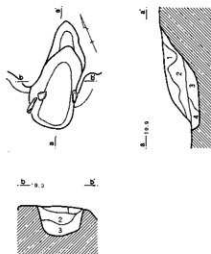
- 1 黄褐色土 焼土粒子含む 跡残り強い
- 2 黄褐色土 焼土多く含む
- 3 黒が褐色土 焼土・黄褐色土多く含む
- 4 褐色土 焼土粒子層を含む
- 5 黄褐色土 焼土多く含む
- 6 黄褐色土
- 7 黄褐色土 跡残り強い
- 8 黄褐色土 跡残り強い
- 9 黄褐色土 焼土含む



- C-C'
- 1 黄褐色土 灰化粒子・褐色土粒子若干含む
 - 2 黄褐色土 黄褐色土層を含む
 - 3 褐色土 砂質

- D-D'
- 1 黄褐色土 黄褐色土若干含む
 - 2 褐色土

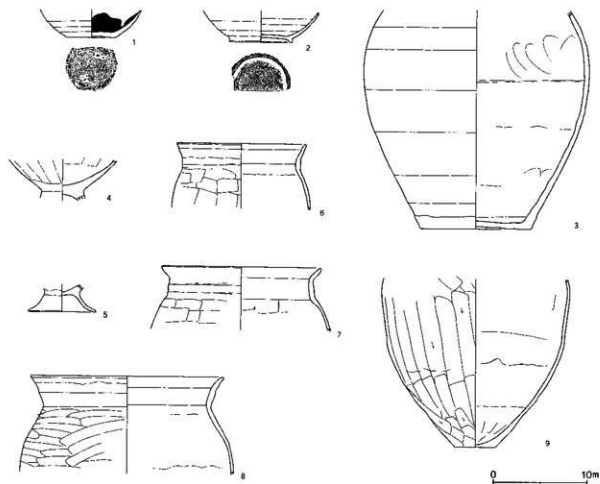
0 2m



- 1 褐色土 焼土粒子含む 跡残り強い
- 2 黄褐色土 焼土多く含む
- 3 黄褐色土 焼土多く含む
- 4 褐色土

0 1m

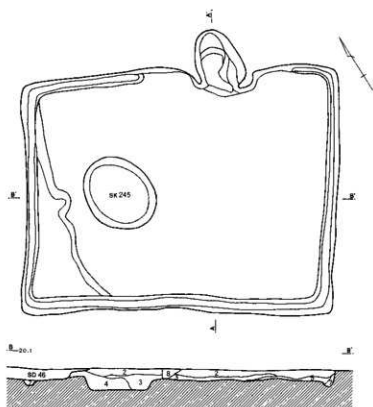
第152図 第29号住居跡出土遺物



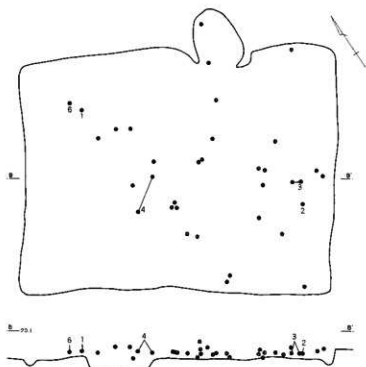
第29号住居跡出土遺物観察表(第152図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存色	その他
1	須恵器 坏			5.2	AS	II	浅黄橙	40	RC 底部外面宛記号「一」 体部内面油膜付着
2	高古付环			(6.8)	ABS	I	灰白	35	右回転糸切り後高台貼付鑑ナゲ
3	甕			11.8	ABS	I	灰	40	胴部←方向鑑削り
4	台付甕				BJJ	II	鈍い橙	15	胴部↓方向鑑削り
5	台付甕			7.2	BHJ	II	鈍い橙	95	台部クロ横ナゲ
6	土師器 甕	(13.8)			BCJS	II	鈍い褐	30	胴部上位←方向のヘラ削り
7	甕	(17.0)			BS	II	橙	15	胴部内面・口縁部横ナゲ 胴部外面←方向鑑削り 内面鑑ナゲ・指ナゲ
8	甕	20.6			BCJ	II	鈍い橙	80	胴部上半外面→方向鑑削り
9	甕			4.2	CHJ	II	鈍い橙	35	胴部下半↓方向鑑削り

第153図 第30号住居跡

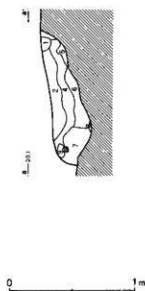
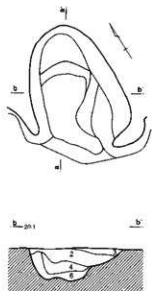


- 1 暗赤褐色土 炭土灰子多く含む
- 2 暗褐色土 砂・土粒子・炭化物粒子含む
- 3 暗褐色土 焼土・炭化物粒子多く含む
- 4 褐色土 炭化物粒子多く含む
- 5 暗褐色土 ローム粒子・炭化物微粒を含む
- 6 赤褐色土 焼土ブロック
- 7 褐色土 炭化物粒子厚かに含む
- 8 暗褐色土 焼土・ローム粒子多く含む



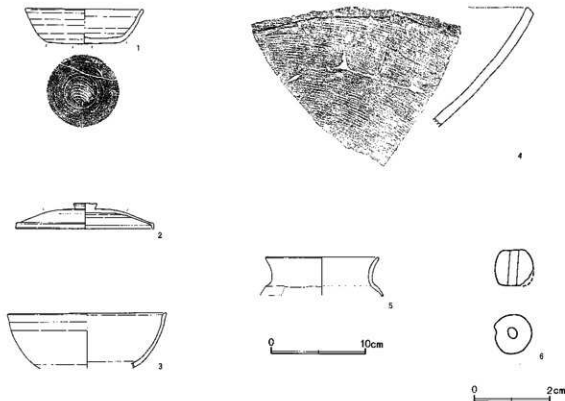
0 2m

第154図 第30号住居跡



- ホマド
- 1 赤褐色焼土ブロック 黒色土含む
 - 2 暗赤褐色土 焼土・焼土ブロック多く含む
 - 3 褐色土 焼土粒子僅かに含む
 - 4 暗赤褐色土 焼土粒子多く含む
 - 5 褐色土 ローム粒子・焼土粒子僅かに含む
 - 6 褐色土 焼土粒子僅かに含む
 - 7 暗褐色土 ローム粒子・焼土粒子僅かに含む
 - 8 黒褐色粘土
 - 9 黒褐色粘土
 - 10 赤褐色粘土

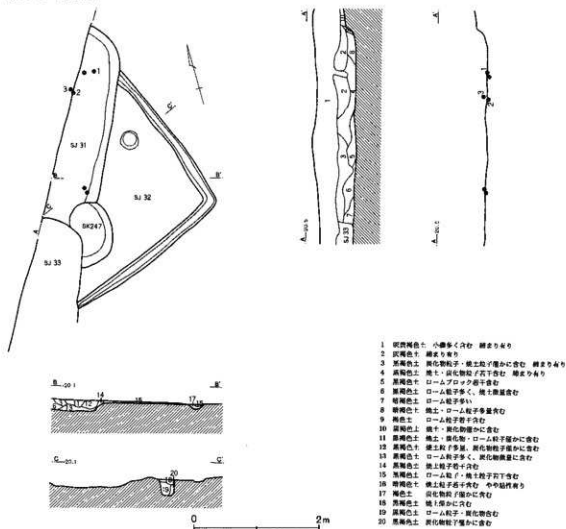
第155図 第30号住居跡出土遺物



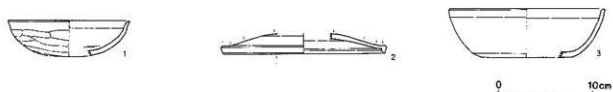
第30号住居跡出土遺物観察表(第155図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	その他
1	須恵器杯	12.6	3.7	7.6	AS	Ⅲ	淡黄	70	RBa
2	蓋	(14.8)	2.7		ABS	I	灰	25	天井部右回転彫り 径径2.5cm
3	碗	(17.0)			AB	I	灰	20	口唇内側に面をもつ
4	鉢				ABRS	I	灰	—	外面平行削き 口縁端部に及ぶ
5	土師器甕	(12.1)			BES	Ⅲ	鈍い褐	15	胴部一方向彫り

第156図 第30・31号住居跡



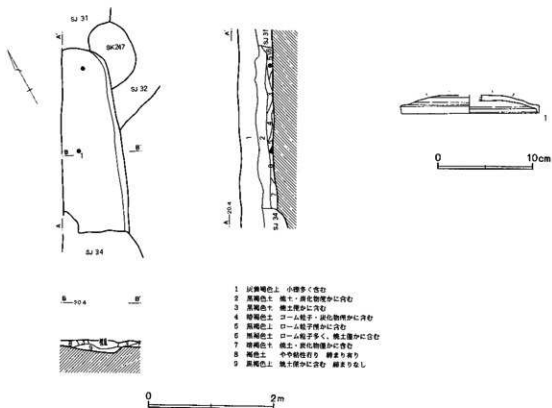
第157図 第31号住居跡出土遺物



第31号住居跡出土遺物観察表(第157図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	上脚器環	(13.0)	(3.8)		BS	II	橙	10	体部外側一方向掘削り
2	須恵器蓋	(17.2)			AS	I	灰	10	天井部右回転掘削り 糸切り痕あり
3	椀	(16.6)	5.1	(9.6)	AS	I	灰	20	RA 体部下端回転掘削り

第158図 第33号住居跡



第33号住居跡出土遺物観察表(第158図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土・焼成	色調	残存率	その他
1	須恵器蓋	(14.6)			ABS : I	灰白	15	天井部右回転蓋前部 糸切り痕あり

れている。平面形は隅丸方形を呈するものと推定される。規模は南北2.90m以上、深さ30cmを測る。主軸方位はN-20°-Eを指す。

出土遺物(第158図)

遺物は須恵器蓋の他、須恵器環・甕の破片、土師器破片が出土した。

第34号住居跡(第159図)

CB-6、CC-6・7グリッドに位置する。第33号住居跡を切り、第35・38号住居跡及び第255号土坑に切られている。住居跡西側は調査区域外に位置している。平面形は方形になるものと推定される。規模は南北3.56m以上、深さ40cmを測る。主軸方位はN-27°-Eを指す。

カマドは北壁に付設され、西側は調査区外になるが、全長139cmを測る。

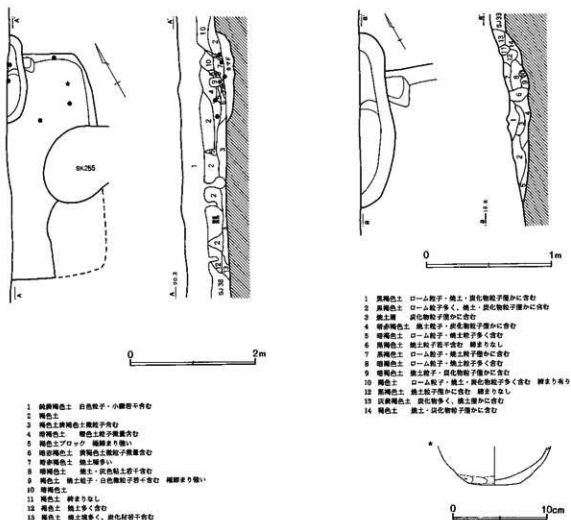
出土遺物(第159図)

土師器甕の他に須恵器甕破片、土師器環・台付甕破片が出土した。

第35号住居跡(第160図)

CC-6・7グリッドに位置する。第34号住居跡を切り、第37号住居跡及び第255・257号土坑に切られている。南壁・東壁は検出されていないが、平面形は方形になるものと推定される。規模は南北3.20m以上、東西3.30m以上、深さ9cmを測る。主軸方位はN-19°-Eを指す。

第159図 第34号住居跡



第34号住居跡出土遺物観察表(第159図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存%	その他
★	土師器鉢			5.6	S	II	橙	70	底部・方向の荒削り 体部下端荒削り 内面ナデ

出土遺物(第161図)

須恵器杯・椀・蓋の他に、双耳環の耳部分・長頸瓶・甕破片、土師器杯・甕・台付甕破片などが出土した。

第36号住居跡(第162・163図)

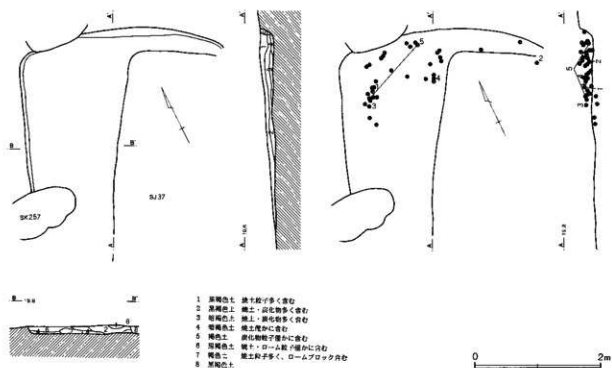
CC-6・7グリッドに位置する。第35・37・39・40号住居跡を切り、第252・253号土坑に切られている。平面形は隅丸方形になるものと思われる。規模は南北4.0m以上、東西3.8m以上、深さ13cmを測る。主軸方位はN-24°-Eを指す。

カマドは北壁に付設され、カマドの一部と焚き口部は擾乱を受けている。全長は70cm以上を測る。

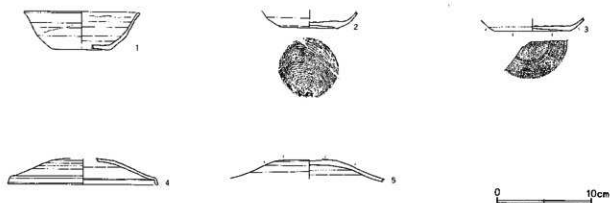
出土遺物(第164図)

須恵器杯・高台付杯・椀・蓋、土師器杯・鉢・甕の他、須恵器鉢破片などが出土した。須恵器杯は底部回転糸切り難し未調整のものか主体である。

第160図 第35号住居跡



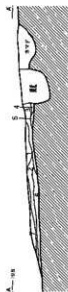
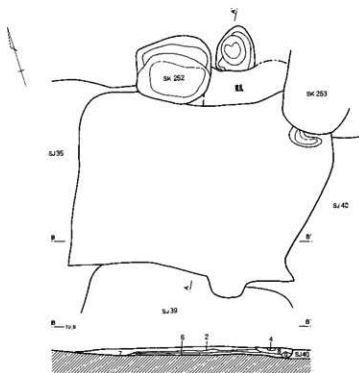
第161図 第35号住居跡出土遺物



第35号住居跡出土遺物観察表(第161図)

番号	器種	口径	器高	底径	粘土	焼成	色調	残存%	その他
1	須恵器 坏	(12.4)	4.6	(5.8)	ABS	I	灰白	20	RC
2	坏			6.1	ABS	I	灰	80	RC 底部内面外周鈍調整
3	梅			(8.0)	ABS	I	灰	30	RBb 体部下端回転彫り
4	蓋	(16.0)			ABS	I	灰	10	天井部心回転彫り
5	蓋				ABS	II	鈍い橙	30	天井部回転糸切り後周辺右回転彫り 鋸欠損

第162図 第36号住居跡

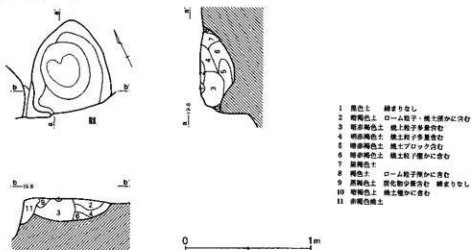


- 1 褐色土 焼土・灰化物多く含む
- 2 黒褐色土 焼土灰子多く、炭化物層かに含む
- 3 黒褐色土 焼土灰子層かに含む
- 4 黒褐色土 焼土多く含む
- 5 黒褐色土
- 6 赤褐色土 焼土多く、黒褐色土含む
- 7 黒褐色土 焼土多く含む
- 8 黒褐色土 焼土層かに含む
- 9 暗褐色土 焼土・粘土ブロック含む



0 2m

第163図 第36号住居跡カマド



第36号住居跡出土遺物観察表(第164図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎上	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	土師器環	(13.2)	3.7	(6.9)	BCEJS	II	橙	15	カマド 体部←方向掘削り
2	須恵器環	13.1	3.5	6.9	ABS	I	灰白	60	RC
3	環	12.5	3.5	6.5	ARS	I	灰	70	RC
4	環	(12.2)	3.5	(6.0)	AS	I	灰	20	RC
5	環	(12.0)	3.9	6.5	ABS	I	灰黄	50	RC 底部・体部下半に糸引き抜き痕
6	環	(13.0)	3.9	6.4	ABS	I	灰	60	RC
7	環	(12.5)	3.5	(6.1)	ABS	I	灰白	30	RC 口縁部油漙付着 底部掘削記号『/』 灯明皿
8	環	12.4	3.8	6.0	ABS	II	褐灰	70	RC 火傷痕あり
9	環	(11.6)	3.6	6.0	ABS	I	灰	50	RC 糸引き抜き痕あり
10	高台付環	11.2	5.0	7.0	AS	II	灰	95	底部回転糸切り周縁掘ナデ 高台結付ナデ
11	柄	(15.6)			ABRS	I	灰	20	口縁端部内面面取り状
12	柄			6.9	AS	I	灰	10	RA 体部下端に露削り及ぶ
13	蓋	(17.2)	4.8		ABS	I	鈍い橙	40	天井部右回転掘削り 径径3.3cm
14	蓋	(17.2)	3.9		ABFRS	II	鈍い橙	40	天井部右回転掘削り 径径2.7cm
15	蓋	(16.0)			ABS	I	灰	15	天井部右回転掘削り
16	土師器鉢	(20.0)			BES	II	橙	20	胴部外面←方向掘削り
17	壺	(18.2)			ES	II	橙	30	胴部上半←方向掘削り

第37号住居跡(第165・166図)

CC-6・7グリッドに位置する。第36号住居跡が上に構築され、第39号住居跡に切られている。平面形は方形になるものと推定される。規模は南北3.40m以上、東西4.00m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-27-Eを指す。

カマドは北壁中央に付設され、カマド燃道部寄りには攪乱を受けて全長は86cm以上、焚き口幅60cmを測る。壁溝はカマド付近を除いて全開する。規模は幅約10~20cm、深さ約4~6cmを測る。

出土遺物(第167図)

須恵器環・高台付環・蓋・短頸壺が出土し、出土範

囲は北東隅に集中していた。

第38号住居跡(第168図)

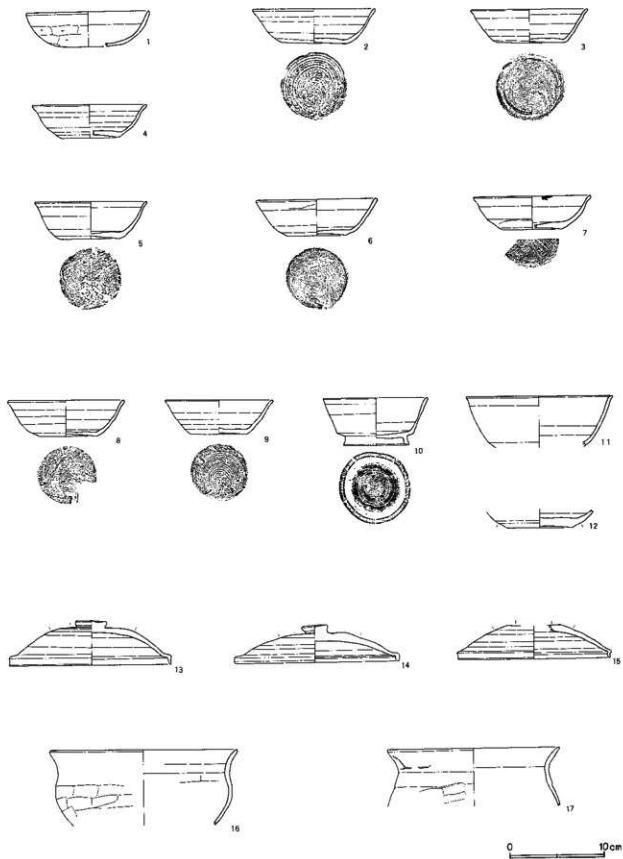
CC-6グリッドに位置する。第34号住居跡を切り、第257・258号土坑に切られている。平面形は方形になるものと推定される。規模は南北2.45m以上、深さ30cmを測る。主軸方位はN-30-Eを指す。

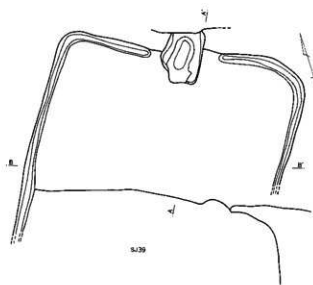
カマドは北壁に付設され、西半部は調査区外にある。全長は108cmを測る。

出土遺物(第168図)

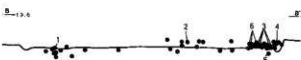
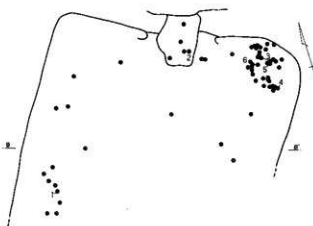
遺物は須恵器蓋の他、土師器破片などが出土している。

第164図 第36号住居跡出土遺物

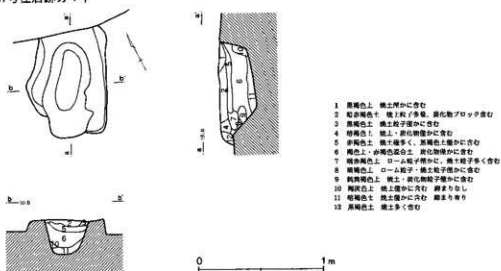




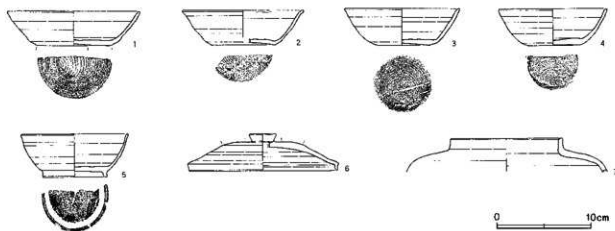
- 1 焼灰土 コーム殻子・焼土殻子層かに含む 跡まりあり
- 2 灰層土 焼土殻子層かに含む 跡まりなし
- 3 灰層土 焼土プロック・焼土殻子層かに含む
- 4 灰層土 焼土殻子層かに含む 跡まりなし
- 5 灰層土 焼土殻子層かに含む 跡まりあり
- 6 焼灰土 焼土・灰化物層かに含む 跡上質 跡まりあり
- 7 焼灰層土 焼土・灰化物土層かに含む
- 8 焼土 焼土・灰化物殻子含む
- 9 焼土 コーム殻子・地上層かに含む
- 10 灰層土 コーム殻子・焼土多く含む
- 11 焼土 焼土層か、灰層土プロック含む
- 12 灰層土 焼土殻子多量含む 跡まり良い
- 13 灰層土
- 14 灰層土 焼土・灰化物層かに含む
- 15 灰層土 焼土・灰化物多量含む
- 16 灰層土 焼土・灰化物層かに含む 跡まり良い



第166図 第37号住居跡カマド



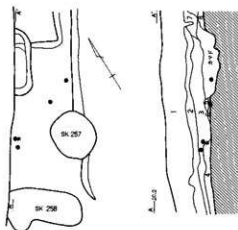
第167図 第37号住居跡出土遺物



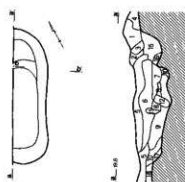
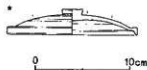
第37号住居跡出土遺物観察表(第167図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	出土位置・その他
1	須臾器環	(14.2)	3.6	(8.0)	ABS	I	灰白	35	RBb
2	坏	(13.0)	3.6	(6.8)	ABRS	I	灰	25	カマド RC 糸切り2回
3	坏	12.3	3.9	5.7	ABS	III	灰白	85	RC
4	坏	(11.6)	3.8	5.5	ABS	I	灰	40	RC 筋記号「一」
5	高台付坏	(11.5)	4.5	6.9	ABS	I	灰	40	同筋糸切り後高台貼付ナゾ
6	蓋	15.7	3.9		ABS	I	灰	50	天井部右回転蓋削り 紐係2.9cm
7	短頸壺	(12.0)			ABS	I	灰	10	外面自然釉

第168図 第38号住居跡



- 1 黄褐色土 白色粘土・小硬砂子を含む
- 2 暗褐色土 緑色土粒子が少なく含む
- 3 褐色土 緑色土粒子・黄褐色土質粒が多く含む 締まり強い
- 4 褐色土 緑色土質が若干、黄褐色土粒子が多く含む 締まり強い
- 5 暗褐色土 黄土・黄褐色土質粒が少なく含む 締まり強い
- 6 暗褐色土 黄褐色土質粒が多く含む
- 7 褐色土 黄土が多く含む
- 8 褐色土 黄褐色土質粒が多く含む



- 1 黄褐色土 黄土・黄褐色土質粒が多く含む 締まり有り
- 2 灰黄褐色土 黄土・黄褐色土質粒を含む 粘質 締まり有り
- 3 暗褐色土 黄土が若干 締まり有り
- 4 暗褐色土 ローム粒子・黄土質が若干含む
- 5 暗褐色土 黄土が若干・ローム粒子が若干含む
- 6 黄土層 ローム粒子・黄褐色土質粒が多く含む
- 7 灰黄褐色土 黄土が若干含む 粘質有り
- 8 黄褐色土 黄土が若干含む
- 9 黄褐色土 ローム土質が多く含む 黄土層が若干含む
- 10 黄褐色土 黄土が若干含む
- 11 褐色土 黄土・黄褐色土質粒が多く含む
- 12 暗褐色土 黄土が若干含む
- 13 暗褐色土 ロームブロック・黄土層が若干含む
- 14 黄褐色土 黄土が若干含む
- 15 暗褐色土 黄土が若干含む 黄土層が若干含む
- 16 暗褐色土 ロームブロック・黄土層が若干含む
- 17 暗褐色土 黄土・黄褐色土質粒が多く含む
- 18 暗褐色土 黄褐色土質粒が多く含む

第38号住居跡出土遺物観察表(第168図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
★	須恵器蓋	(14.0)	2.7		ABS	I	灰	45	天井部右回転窓削り 径径2.2cm

第39号住居跡(第169図)

CC-6・7グリッドに位置する。第37号住居跡を切り、第268号土坑と第48号溝に切られている。南壁と東西の一部の壁は検出されていないが、平面形は方形になるものと推定される。規模は東西3.40m、深さ17cmを測る。主軸方位はN-34°-Eを指す。

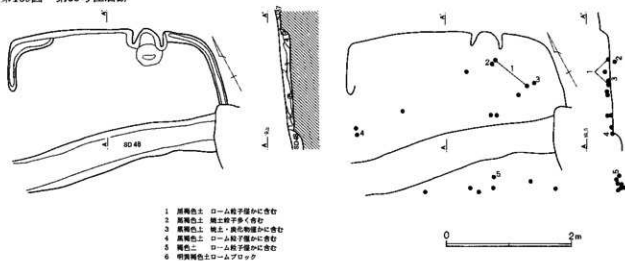
カマドは北壁のやや東寄りにつ設され、壁外に突出せず、全長58cm、焚き口幅40cmを測り前面は土坑状になっている。袖部は地山掘り残してある。壁溝はカマド東側から東壁で、また北西壁隅付近でも検出されている。規模は幅約12-15cm、深さ約5cmを測る。

出土遺物(第170図)

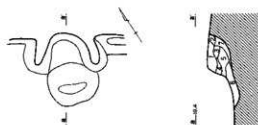
須恵器環・甕、紡錘車、土師器高台付椀の他、須恵器椀・蓋の破片、土師器甕破片などが出土した。

5は須恵器環底部を転用した紡錘車で、底部調整は右回転糸切り未調整で、胎土は白色針状物質を含んだものである。径は6.4-6.5cm、厚さ8mmを計る。紡錘車として特に整形須はなく、中央に穿孔しただけのもので孔径は8-9mmを測る。

第169図 第39号住居跡

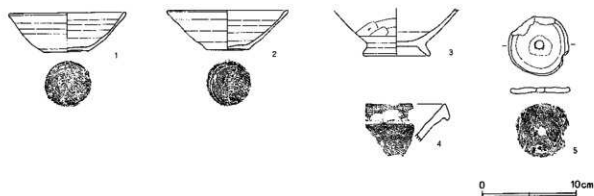


- 1 黄褐色土 ローム粒子層かに含む
- 2 黄褐色土 焼土粒子多く含む
- 3 黄褐色土 焼土・黄化物層かに含む
- 4 黄褐色土 ローム粒子層かに含む
- 5 黄褐色土 ローム粒子層かに含む
- 6 黄褐色土 ロームブロック



- 1 黄褐色土 焼土・黄化物粒子・ローム粒子層かに含む
- 2 黄褐色土 焼土ブロック・黄褐色土層かに含む
- 3 黄褐色土 焼土・黄化物粒子層かに含む
- 4 黄褐色土 黄褐色土層かに含む
- 5 黄褐色土 焼土粒子多く含む
- 6 黄褐色土 黄褐色土・焼土多く含む
- 7 黄褐色土 焼土粒子多く含む

第170図 第39号住居跡出土遺物



第39号住居跡出土遺物観察表(第170図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎上	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器環	12.5	4.2	4.8	ABES	II	鈍い橙	70	RC
2	環	(13.0)	4.1	4.7	AS	II	鈍い褐	45	RC
3	土師器 高台付碗			7.2	BRS	II	褐	40	酸化焙焼成底部窪ナゲ 体部下半部削り 高台部 横ナゲ
4	須恵器壺				ABS	I	暗灰	—	梅福波状文

第40号住居跡(第171図)

CC-7グリッドに位置する。第37・39号住居跡及び第253・267・268号土坑と重複して切られている。平面形は長方形を呈するものと考えられる。規模は南北3.80m以上、東西3.65m、深さ25cmを測る。主軸方位はN-32°-Eを指す。

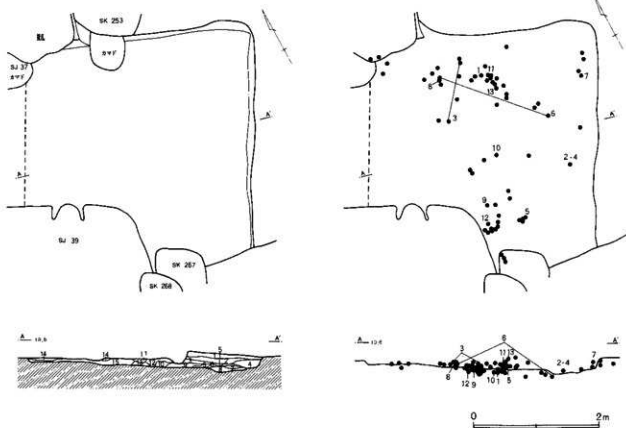
カマドは北壁に付設されているが、殆ど第235号土坑に切られ不明である。

出土遺物(第172図)

須恵器環・高台付坏、土師器小型壺、土師の他、須恵器蓋・椀・甕・鉢の破片、土師器甕の破片などが出土した。

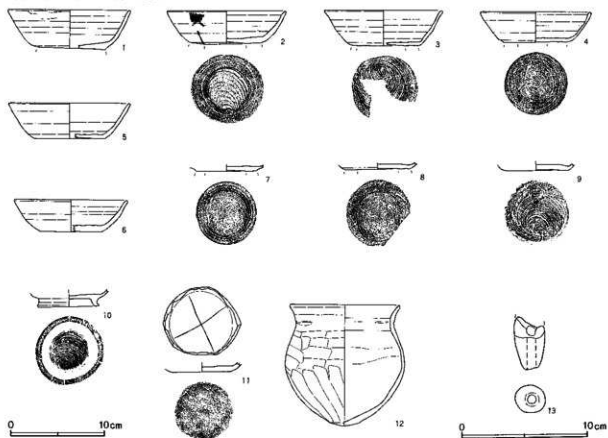
13の土師は、遺存長4.1cm、最大径2.4cm、孔径8mm、重さ14.54gである。

第171図 第40号住居跡



- | | |
|----------------------------|-----------------------------|
| 1 灰褐色土 焼土粒子多量に含む | 9 灰褐色土 焼土多量を含む |
| 2 暗褐色土 焼土粒子・炭化物多量を含む | 10 暗褐色土 焼土多量、炭化物多量を含む |
| 3 黒褐色土 ロームブロック・焼土・炭化物多量を含む | 11 黒褐色土 焼土多量、炭化物多量に含む 継ぎ目あり |
| 4 灰黒褐色土 ローム粒子・炭化物多量を含む | 12 黒褐色土 焼土・炭化物多量に含む |
| 5 暗褐色土 焼土多量、炭化物多量を含む | 13 褐色土 焼土・炭化物多量に含む |
| 6 黒褐色土 焼土・炭化物多量に含む | 14 褐色土 焼土・灰色粒上粒子を含む 継ぎ目あり |
| 7 暗褐色土 焼土・ローム粒子多量を含む | 15 褐色土 焼土・炭化物多量に含む 継ぎ目あり |
| 8 褐色土 ローム粒子を含む 継ぎ目なし | |

第172図 第40号住居跡出土遺物



第40号住居跡出土遺物観察表(第172図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存%	その他
1	須恵器環	13.1	4.2	7.3	ABRS	Ⅱ	鈍い橙	80	RA 筒削り複数回
2	環	12.7	3.5	7.6	ACRS	I	灰白	100	RBb 口縁部内外面一部に油煙付着 底部にも着下及ぶ 灯明皿
3	環	12.6	3.7	7.0	ABCS	Ⅱ	鈍い橙	65	RBb
4	環	11.8	3.2	6.6	ARS	I	灰	100	RBb
5	環	(13.0)	3.7	(7.5)	AB	I	灰	25	RC
6	環	(12.2)	3.4	(6.4)	AB	I	灰白	40	RC
7	環			6.5	ABS	I	灰	100	RBb
8	環			7.0	ABCS	I	鈍い褐	85	RBb 内面に火煙痕
9	環			6.4	ABS	I	浅黄	100	RC 底部内面一部に油煙付着
10	高台付環			6.5	ABCH	I	灰白	100	同転糸切り 高台部ナデ
11	環			6.4	ABS	I	灰黄	100	A 底部停止箇所 内外面「×」沈線 内面は平滑で黒味を帯びる 転用碗?
12	土師器 小型壺	(11.8)	12.8	(3.2)	BIIS	Ⅱ	鈍い黄橙	25	胴部上半・方向、下半・方向筒削り

第41号住居跡(第173図)

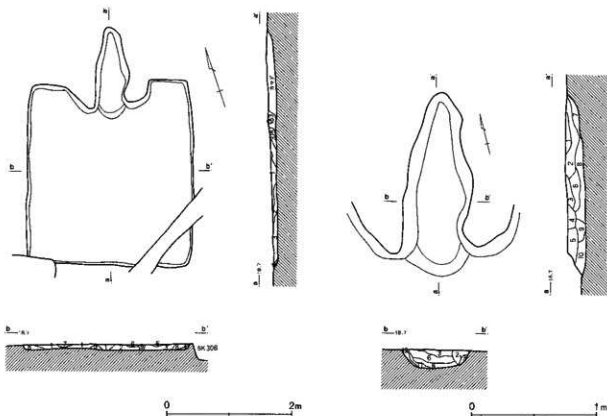
CD・CE-7グリッドに位置する。住居跡南東隅を第55号溝に、南西隅を第42号住居跡に切られている。平面形は方形を呈し、規模は南北2.84m、東西2.63m、深さ8cmを測る。主軸方位はN-19°-Eを指す。

カマドは北壁中央に付設され、全長146cm、焚き口

幅62cmを測る。袖部は地山掘り残してある。

覆土中より須恵器環・蓋、土師器壺などの破片が出土した。須恵器環は底部全面回転筒削りのもて、さらに椀では体部下端に筒削りが及ぶものが見られる。

第173図 第41号住居跡



- | | | |
|--|---|--|
| <p>1 黒褐色土 焼土粒多量、灰色陶器片層かに含む</p> <p>2 黒褐色土 灰色粘土多量、焼土・灰色陶器片層かに含む</p> <p>3 黒褐色土 焼土粒多量、灰色陶器片層かに含む</p> <p>4 黒褐色土</p> <p>5 灰黄褐色土 灰色粘土多量、焼土粒多量含む</p> <p>6 黒褐色土 焼土粒多量含む</p> <p>7 黒褐色土 灰色粘土・焼土粒多量かに含む</p> <p>8 黒褐色土 灰色粘土層中に、黄化物粒多量含む</p> <p>9 灰黄褐色土 灰色粘土含む</p> | <p>カマド</p> <p>1 黒褐色土 焼土粒多量・焼土ブロック多量含む</p> <p>2 灰黄褐色土 焼土ブロック含む</p> <p>3 黒褐色土 焼土粒多量・灰色粘土多量含む</p> <p>4 黒褐色土 焼土・焼土粒多量・焼土多量含む</p> <p>5 黒褐色土 焼土粒多量・灰色粘土多量含む</p> <p>6 黒褐色土 焼土・焼土粒多量・焼土多量含む</p> <p>7 黒褐色土 焼土多量含む</p> <p>8 黒褐色土 焼土・灰色陶器片層含む</p> <p>9 焼土ブロック 灰色粘土ブロック含む</p> | <p>10 黒褐色土 焼土層かに含む</p> <p>11 明赤褐色土</p> <p>12 黒褐色土 焼土粒多量・灰色粘土ブロック含む</p> <p>13 黒褐色土 灰色粘土多量含む</p> |
|--|---|--|

第42号住居跡(第174図)

CE-6・7グリッドに位置する。住居跡北東隅が第41号住居跡と重複し、また南東隅で第55号溝を切っている。平面形は正方形を呈し、規模は東西3.28m、南北3.33m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-25°-Eを指す。

カマドは北壁中央に付設され、全長50cm、焚き口幅35cmを測る。カマドは壁外への突出はほとんどない。袖部は地山掘り残しのものである。

出土遺物(第175図)

須恵器環・高台付環・土師器壺の他に、土師器環・甕などの破片が出土している。須恵器環は底部を全面回転斲削りしたものと、周辺部を回転斲削りしたもの

が見られる。数量は周辺回転斲削りのものが多い。

第43号住居跡(第176図)

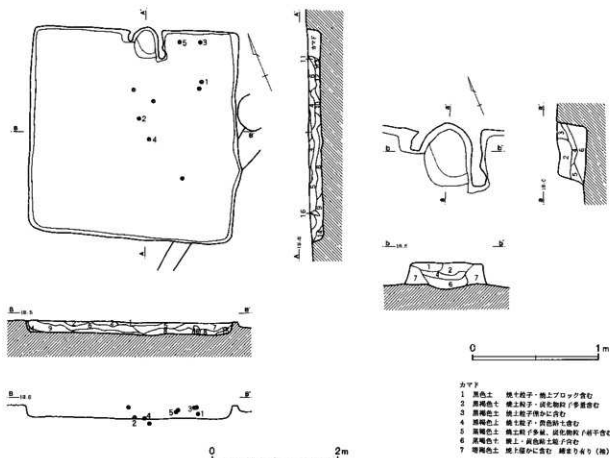
CF・CG-7グリッドに位置する。南側は第45号住居跡に切られている。平面形は方形を呈するものと推定される。規模は東西2.90m、深さ13cmを測る。主軸方位はN-32°-Eを指す。

カマドは北壁に付設され、全長約80cm、焚き口幅42cmを測る。焚き口前面はビットによって切られている。ビット1・2とも住居跡には伴わないものであろう。

出土遺物(第177図)

須恵器環・蓋・甕、土師器環・甕が出土した。土師器環は放射状暗文と螺旋状暗文が施されている。

第174図 第42号住居跡



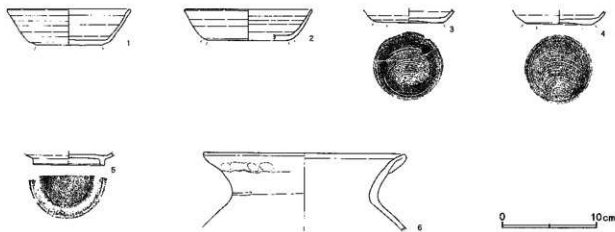
カマド

- 1 黒褐色土 焼土粒子・粘土ブロック含む
- 2 黒褐色土 焼土粒子・炭化物粒(多量)含む
- 3 黒褐色土 焼土粒子僅かに含む
- 4 黒褐色土 焼土粒子・炭化物粒含む
- 5 黒褐色土 焼土粒子多量、炭化物粒(若干)含む
- 6 黒褐色土 焼土粒子・炭化物粒子多量含む
- 7 黒褐色土 焼土・炭化物粒子含む
- 8 黒褐色土 焼土粒子多量、炭化物粒(若干)含む
- 9 黒褐色土 焼土粒子多量、炭化物粒(若干)含む
- 10 黒褐色土 焼土・炭化物粒子多量含む
- 11 黒褐色土 焼土・炭化物粒子多量含む
- 12 黒褐色土 焼土多量、炭化物粒(若干)含む
- 13 黒褐色土 焼土・炭化物粒子多量含む
- 14 黒褐色土 焼土・炭化物粒子多量含む
- 15 黒褐色土 炭化物粒子多量含む
- 16 灰褐色土 焼土粒子多量含む

- 1 黒褐色土 焼土粒子・炭化物粒(若干)含む
- 2 黒褐色土 焼土粒子多量含む
- 3 黒褐色土 焼土粒子多量、炭化物土層中に含む
- 4 黒褐色土 焼土・炭化物粒子多量含む
- 5 黒褐色土 焼土粒子多量、炭化物粒(若干)含む
- 6 黒褐色土 焼土粒子多量、炭化物粒(若干)含む
- 7 黒褐色土 焼土粒子・炭化物粒子多量含む
- 8 黒褐色土 焼土粒子・炭化物粒子多量含む
- 9 黒褐色土 焼土粒子多量含む

- 9 黒褐色土 炭化物粒子多量含む
- 10 黒褐色土 焼土・炭化物粒子多量含む
- 11 黒褐色土 焼土・炭化物粒子多量含む
- 12 黒褐色土 焼土多量、炭化物粒(若干)含む
- 13 黒褐色土 焼土・炭化物粒子多量含む
- 14 黒褐色土 焼土・炭化物粒子多量含む
- 15 黒褐色土 炭化物粒子多量含む
- 16 灰褐色土 焼土粒子多量含む

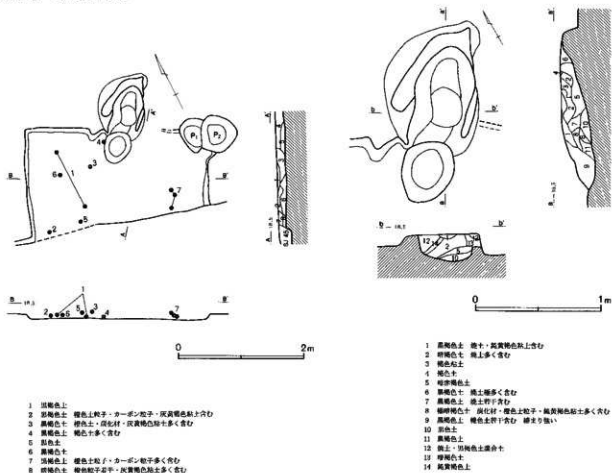
第175図 第42号住居跡出土遺物



第42号住居跡出土遺物観察表(第175図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	須恵器環	(13.2)	3.8	(7.0)	ABS	I	灰白	30	RA
2	坏	(13.6)	3.3	(8.6)	ABS	I	灰	10	床直 RA 体部下端に篋削り及び
3	坏			7.4	ABS	I	灰白	95	RBb 内面クロコ痕顯著
4	坏			6.8	ABS	I	灰白	100	床直 RBb 体部下端に篋削り及び
5	高台付坏			(7.7)	ABJS	I	灰	50	底部篋記号「×」
6	土師器甕	(21.7)			RS	II	鈍い黄橙	15	折り返し口縁 口縁線指頭押さえ

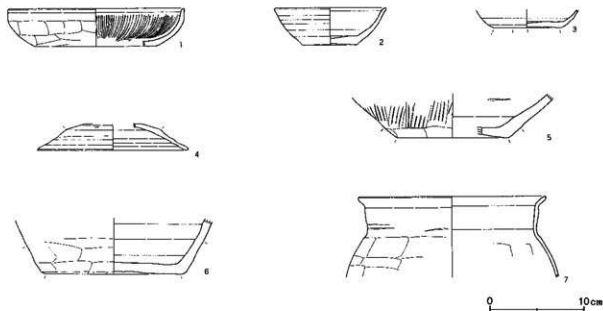
第176図 第43号住居跡



第43号住居跡出土遺物観察表(第177図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	土師器環	(18.8)	4.0	(12.8)	BHS	II	橙	25	内面放射状暗文 底部内面螺旋状暗文
2	須恵器環	11.9	3.9	6.0	ABKRS	II	鈍い橙	60	RC
3	坏			7.0	AS	I	灰	100	RBa 火燂痕あり
4	甕	(16.0)			ABRS	II	鈍い橙	15	酸化焙焼成 天井部右回転篋削り
5	甕			11.8	AS	II	灰白	60	外面平行叩き 下端・方向篋削り
6	甕			17.4	ABS	I	灰	35	外面体部下端篋削り 底部篋記号「×」
7	土師器甕	(20.0)			BS	II	橙	70	胴部へ方向篋削り

第177図 第43号住居跡出土遺物



第44号住居跡(第178図)

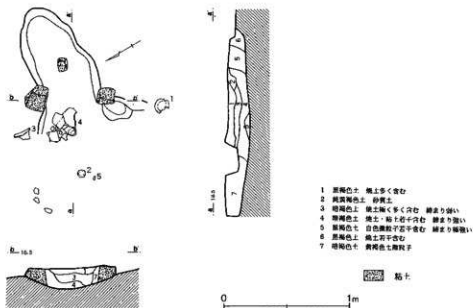
CG-7グリッドに位置する。第45号住居跡と重複して、第45号住居跡の上に建てられている。カマドのみ検出で、平面形は不明である。カマドは東壁に付設されたものと思われる。主軸方位はN-90°-Eを指す。カマドは全長90cm、焚き口幅42cmを測り、袖部には砂を多く含んだ粘土柱が両側に置かれている。また

カマド中央に軸と同じ砂を多く含んだ粘土の支脚を検出した。

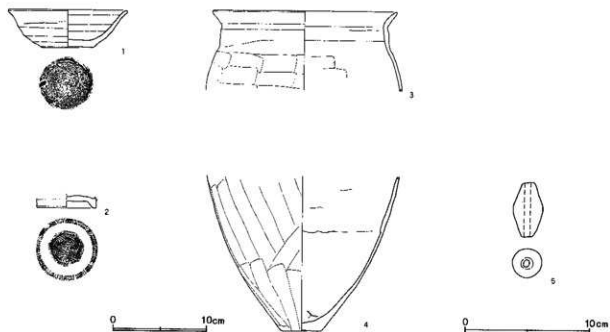
出土遺物(第179図)

須恵器環・高台付環、土師器甕、土鍾を出した。4の甕はカマド内の出土で、他はカマド周辺出土である。5の土鍾は完存しており、長さ4.3cm、最大径2.4cm、孔径5~6mm、重さ17.22gである。

第178図 第44号住居跡カマド



第179図 第44号住居跡出土遺物



第44号住居跡出土遺物観察表(第179図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	出土位置・その他
1	須恵器環	12.7	4.1	5.5	AS	II	灰黄褐	75	RC
2	高台付環			6.3	ABS	I	灰	100	回転糸切り後高台貼付ナデ
3	土師器壺	(19.6)			JS	II	橙	65	胴部上半←方向篋削り
4	甕			4.2	S	II	橙	30	カマド 胴部下半↓方向篋削り

第45号住居跡(第180・181図)

CF・CG-7グリッドに位置する。第43号住居跡を切り、第44号住居跡が切っている。更に第5号竪穴状遺構と重複している。平面形は長方形を呈し、規模は東西4.66m、南北3.48m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-111°-Eを指す。

カマドは東壁のやや南寄りに付設され、煙道部寄りは攪乱されているが、全長140cm以上、焚き口幅72cmを測る。焚き口前面は土坑状を呈する。

出土遺物(第182図)

須恵器環・碗・瓶、土製紡錘車、土師の他に、須恵器蓋などが出土した。須恵器環底部破片は、底部回転糸切り難し未調整のものが主体で、全面回転篋削り、周辺回転篋削りのものも見られた。

8の土製紡錘車は、径4.5×4.7cm、厚さ1.9cm、孔

径8mmを測る。

12の土鉢は両端面がへう整形されている。

第46号住居跡(第183図)

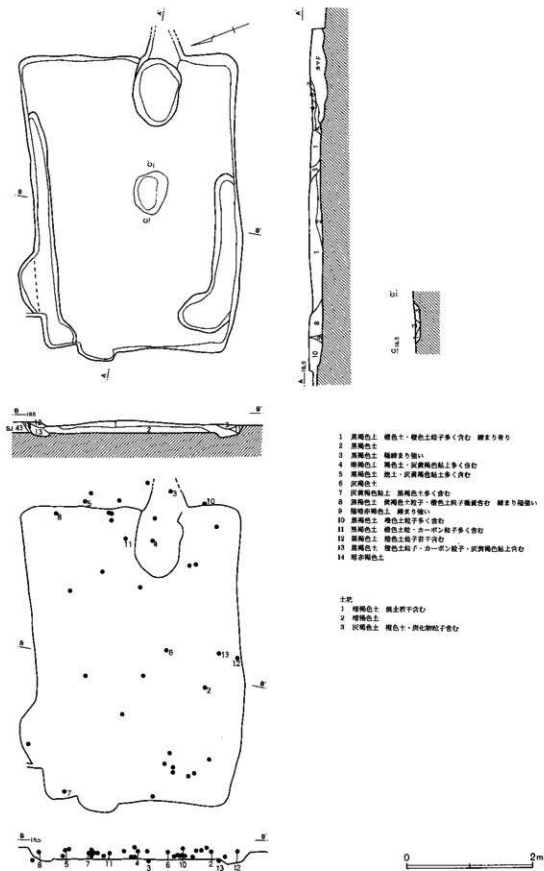
CF-5グリッドに位置する。カマドのみ検出し、平面形は不明である。カマドは西壁に付設されたものと推定される。主軸方位はN-69°-Wを指す。重複関係がなく他の住居跡とも離れており、カマドの東一定の範囲で遺物が出土しており、当カマドを持つ住居跡の遺物として扱った。

出土遺物(第184~186図)

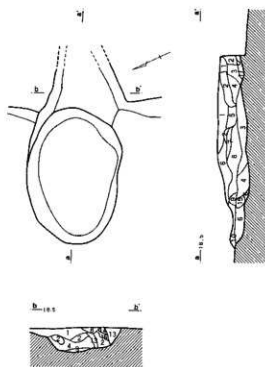
須恵器環・高台付環・蓋・碗・鉢・壺・瓶、土師器環・台付壺・甕、土師の他に、須恵器環底部破片が出土し、底部回転糸切り難し未調整のものが主体で、全面回転篋削り、周辺回転篋削りのものも見られた。

48・49の土鉢は、両端面がへう整形されている。

第180図 第45号住居跡



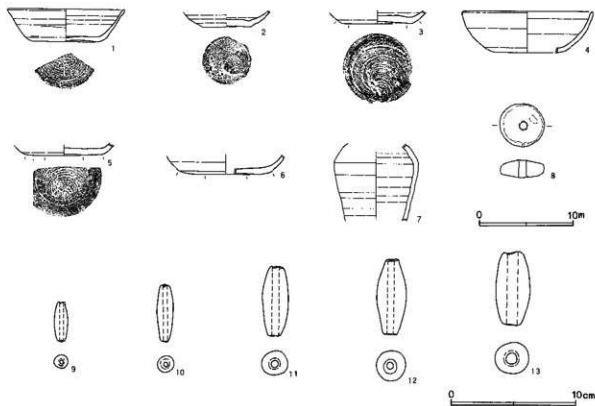
第181図 第45号住居跡カマド



- 1 黄褐色土、焼土多く含む
- 2 黄褐色土
- 3 黄褐色土、焼土層厚く含む
- 4 褐色土、黄褐色焼土多く含む
- 5 褐色土、黄褐色土層下、薄い黄褐色焼土層多く含む
- 6 黄褐色土、褐色土黄褐色土、焼土層厚く含む
- 7 黄褐色土
- 8 黄褐色土、黄褐色土、黄褐色土層厚く含む
- 9 黄褐色土
- 10 黄褐色土、焼土層厚く含む
- 11 黄褐色土、焼土層厚く含む
- 12 黄褐色土プロック
- 13 黄褐色土
- 14 黄褐色土、黄褐色土層下、黄褐色土
- 15 黄褐色土、黄褐色土層厚く含む



第182図 第45号住居跡出土遺物



第45号住居跡出土遺物観察表(第182図)

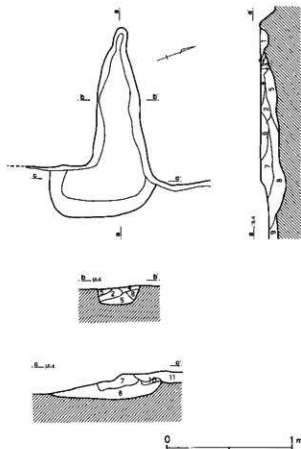
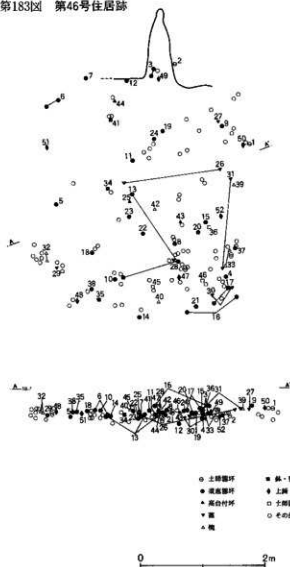
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存%	出土位置・その他
1	須恵器環	(12.6)	3.4	(6.9)	ABS	I	灰	25	RC 底部に亀裂
2	環			5.2	AS	I	灰	95	RC
3	環			7.6	AS	I	灰	95	カマド RBb体部下端に鋭削り及ぶ
4	環	(14.0)	4.3	(6.8)	ABS	I	灰	10	カマド 底部測線不明瞭
5	碗			(8.2)	ABS	I	灰	45	RBb
6	碗			(10.0)	ABS	I	灰	20	RBb
7	長頸瓶				BHS	I	灰	30	内面口クロ板蓋著

第45号住居跡出土土鏝計測表(第182図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
9	3.1	1.1	8-9	3.69
10	4.6	1.3	5	6.57
11	5.5	2.1	6	19.94

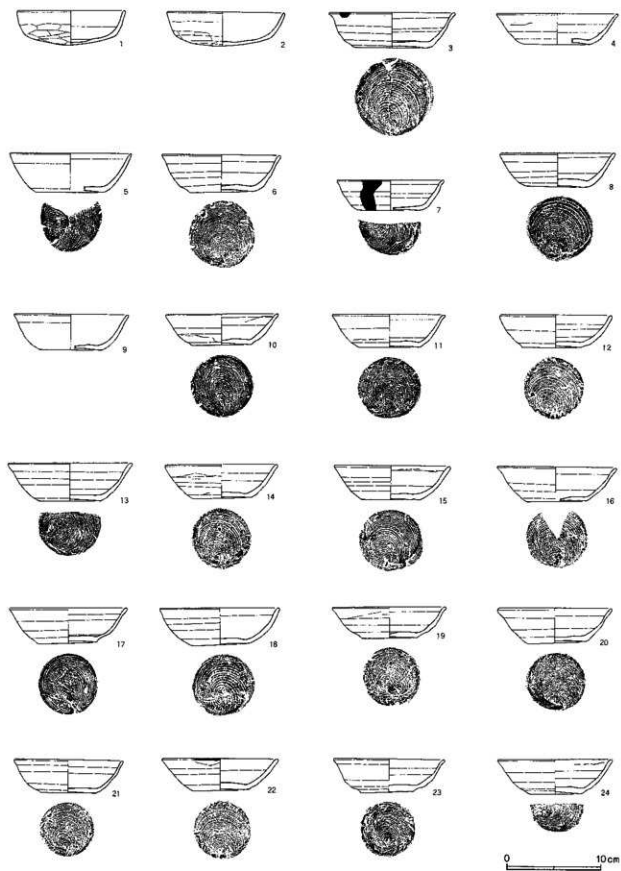
番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
12	6.0	2.3	4	29.08
13	5.8	2.7	3	38.04

第183図 第46号住居跡

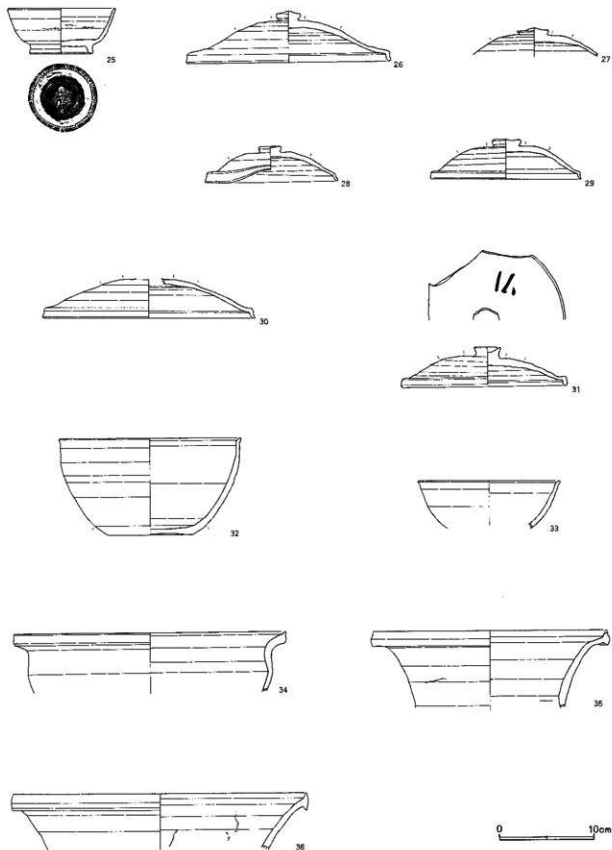


- 1 須恵器土
- 2 灰褐色土 胎土・褐色粘土を石
- 3 褐色土
- 4 褐色胎土
- 5 須恵器土 胎土黄褐色を石
- 6 褐色土 胎土黄 硬さ不明
- 7 褐色土 灰黄褐色胎土粘土を石 硬さ不明
- 8 褐色土 硬さ多く穴
- 9 褐色土 灰黄褐色胎土多量粘土を石
- 10 灰黄褐色土 胎土多量粘土
- 11 褐色土 灰黄褐色胎土多量粘土 硬さ不明

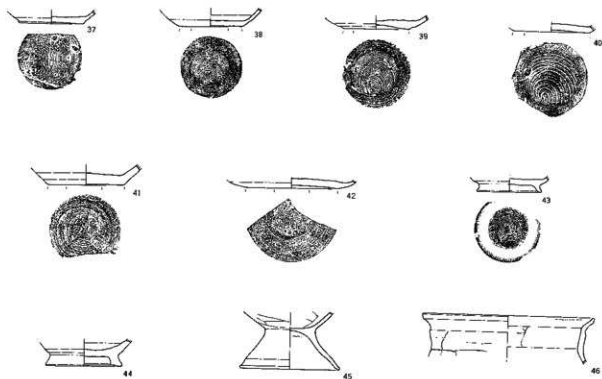
第184図 第46号住居跡出土遺物(1)



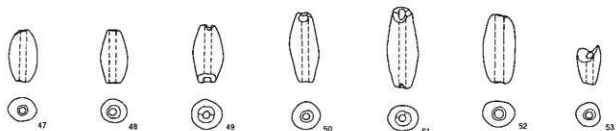
第185図 第46号住居跡出土遺物(2)



第186図 第46号住居跡出土遺物(3)



0 10cm



0 10cm

第46号住居跡出土遺物観察表(第184~186図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎I.	焼成	色調	残存部	出土位置・その他
1	土師器 坏	(11.6)	3.7	(9.4)	BJRS	II	鈍い橙	50	口縁部横ナア 体部外面荒削り
2	坏	12.6	3.6	10.2	JS	II	鈍い橙	75	カマド 底部荒削り
3	須恵器 坏	(13.5)	3.8	7.6	ARS	II	灰	95	カマド RC体部下端に一部糸切り及ぶ ロクロ痕顯著 口縁の一部に油煙付着 灯明皿
4	坏	(13.0)	3.3	(7.0)	AS	I	灰	25	RC 底部周縁に隆起こし灰 火葬灰あり
5	坏	(13.0)	4.1	(7.3)	ABKRS	II	鈍い黄橙	45	RC
6	坏	12.6	4.0	7.0	ABS	I	灰黄	70	RC 底部周縁に隆起こし灰
7	坏	(11.4)	3.1	(6.8)	ABS	I	灰	40	RC 体部内外面・底部内外面一部に油煙付着 灯明皿
8	坏	12.3	3.6	6.5	ABRS	I	灰	70	RC
9	坏	(12.2)	3.8	(6.6)	ABS	I	灰	20	RC
10	坏	12.0	3.3	6.5	ABRS	I	灰	100	RC 底部周縁に隆起こし灰 挽き上げ灰あり
11	坏	12.1	3.5	6.5	ABRS	I	灰	85	RC
12	坏	12.0	3.5	6.3	ABRS	I	灰	95	RC 底部周縁に隆起こし灰 歪みあり
13	坏	(13.2)	4.0	6.6	ARS	I	灰	45	RC

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
14	坏	12.0	3.5	6.2	AS	II	鈍い橙	100	RC 挽き上げ痕
15	坏	12.4	3.6	6.3	ABRS	II	鈍い橙	75	RC 体部外面記号「十」 口縁内面に挽き上げ痕
16	坏	12.7	3.7	6.3	ABRS	II	灰黄褐	55	RC 底部中央部器蓋跡
17	坏	12.6	3.8	6.3	AS	I	灰	70	RC 底部外面記号「\」/」
18	坏	12.8	3.9	6.4	ABRS	I	灰	70	RC
19	坏	12.1	3.3	5.9	ARS	I	灰褐	75	RC 挽き上げ痕
20	坏	(12.2)	3.7	6.1	ABRS	I	灰	40	RC 底部外面記号「Y」
21	坏	11.6	3.5	5.7	ABRS	I	灰	70	RC
22	坏	12.4	3.5	6.0	ABRS	I	灰	70	RC 口唇部内外面一部に油煙付着
23	坏	11.8	3.5	5.5	ABRS	I	灰	75	RC
24	坏	(12.2)	3.6	(5.6)	ABS	I	灰白	45	RC 口縁部内面に挽き上げ痕
25	高台付坏	(11.4)	4.8	6.7	ABRS	I	灰	70	回転糸切り後周辺施削り
26	蓋	(21.6)	5.4		ABRS	I	灰	40	天井部右回転施削り 径径2.6cm
27	蓋				ABS	I	灰	40	天井部右回転施削り 径径3.2cm
28	蓋	14.0	3.8		ABRS	I	灰	80	天井部右回転施削り 径径2.3cm 器形至み大
29	蓋	(16.1)	4.2		ABS	I	灰	70	天井部右回転施削り 径径3.1cm
30	蓋	(22.6)			ABS	I	灰	25	天井部右回転施削り
31	蓋	17.4	4.2		ABRS	I	灰白	55	天井部右回転施削り 径径2.8cm 器蓋(外面)
32	椀	(19.4)	10.2	(9.0)	ABCRS	I	灰	25	RA 口唇内面に面をもつ 体部下端に施削り及ぶ
33	椀	(15.2)			ABRS	I	灰白	40	
34	鉢	(29.0)			ABRS	I	黄灰	10	
35	甕	(25.0)			BHS	I	褐灰	10	
36	甕	(31.2)			BRS	I	暗灰	10	
37	須恵器坏			6.9	ABS	II	灰黄	80	RC 底部外面記号「Y」粘上層付着
38	坏			6.6	ABS	I	灰	100	RBb
39	坏			7.0	ABRS	I	灰黄	100	RBb
40	椀			8.1	AB	I	灰白	90	RBb 内面平滑
41	椀			(8.2)	ABS	II	灰	55	RC 底部外面記号「メ」
42	椀			(9.8)	ABRS	I	灰	40	RBb
43	高台付坏			6.9	ABS	I	灰	80	回転糸切り後周辺施削り
44	瓶			8.1	-	I	黄灰	85	口クロ痕顯著
45	土師器 台付甕			(10.6)	EPS	II	鈍い橙	60	胴下部一方向施削り 脚台部内外面横ナデ
46	甕	(18.4)			BCE	II	鈍い橙	15	胴部・方向施削り

第46号住居跡出土土器計測表(第186図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
47	4.1	2.3	6~7	16.5
48	4.2	2.1	5~6	14.46
49	4.6	2.4	6~7	23.41
50	5.5	2.3	6~7	24.52

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
51	6.5	2.5	6	30.18
52	5.4	2.6	7~8	27.56
53	(3.1)	1.9	5~6	(8.56)

(2)掘立柱建物跡

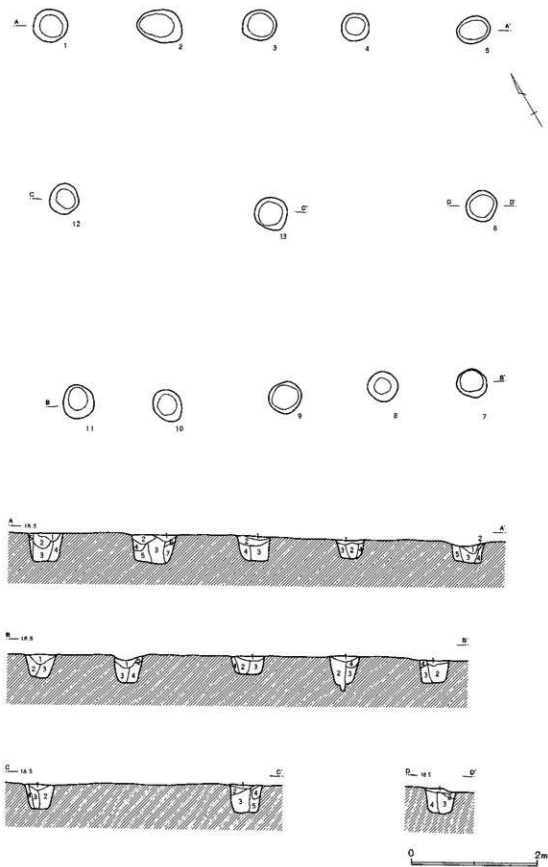
第1号掘立柱建物跡(第187図)

CE・CF-7・8グリッドに位置する。第307・308・309号土坑及び第1号竪穴遺構と重複する。主軸方位はN-58°-Wを指す。規模は4×2間で、桁行7.25m、梁行6.4mを測る。各柱穴は主に円形を呈し、柱穴2は楕円形を呈する。径45~50cm、深さ30~47cmを測る。柱間距離は最長で3.2m、最短で1.5mを測る。

出土遺物(第188図)

柱穴覆土内より、須恵器坏と土鉢が出土した。土鉢の2は柱穴2より、3は柱穴4の覆土から出土した。2の土鉢は端面がへう整形されている。

第187图 第1号掘立柱建物跡



ピット1

- 1 灰黄褐色土 焼土・炭化物多く、灰色粘土を含む
- 2 黒褐色土 焼土・炭化物多く含む
- 3 黒褐色土 焼土・炭化物下層、黄色粘土を含む
- 4 黒褐色土 焼土多く、炭化物層を含む
- 5 黒色土 炭化物層下を含む

ピット2

- 1 褐色土 焼土多く、炭化物層を含む
- 2 黒褐色土 焼土・炭化物層を含む
- 3 黒褐色土 焼土・黄色粘土を含む
- 4 黒褐色土 焼土多く含む
- 5 黒褐色土 炭化物層下を含む
- 6 黒褐色土 炭化物層下を含む
- 7 黒褐色土 焼土・炭化物層を含む

ピット3

- 1 灰黄褐色土 焼土・黄色粘土を含む
- 2 黒褐色土 焼土・炭化物・黄色粘土を含む
- 3 黒褐色土 焼土・炭化物・黄色粘土を含む
- 4 黒褐色土 焼土・炭化物層・黄色粘土を含む

ピット4

- 1 灰黄褐色土 焼土層を含む
- 2 黒褐色土 焼土を含む
- 3 黒褐色土 炭化物層・黄色粘土を含む
- 4 黒褐色土 炭化物層を含む

ピット5

- 1 灰黄褐色土 焼土多く、黄色粘土層を含む
- 2 黒褐色土 焼土を含む
- 3 黒褐色土 焼土・炭化物・黄色粘土を含む
- 4 黒褐色土 焼土・炭化物層を含む
- 5 黒褐色土 炭化物層下を含む

ピット6

- 1 黒褐色土 焼土・黄色粘土層を含む
- 2 黒褐色土 炭化物層を含む
- 3 黒褐色土 焼土・黄色粘土層を含む
- 4 黒褐色土 炭化物層を含む

ピット7

- 1 黒褐色土 焼土・炭化物を含む
- 2 黒褐色土 焼土・炭化物層・炭化物層を含む
- 3 黒褐色土 焼土・炭化物層を含む
- 4 黒褐色土 炭化物・黄色粘土層を含む

ピット8

- 1 灰黄褐色土 焼土・炭化物層を含む
- 2 黒褐色土 炭化物層・焼土・黄色粘土を含む
- 3 黒褐色土 炭化物層を含む
- 4 黒褐色土 焼土層を含む

ピット9

- 1 褐色土 焼土・炭化物層粘土を含む
- 2 黒褐色土 焼土多く、灰色粘土を含む
- 3 黒褐色土 焼土・炭化物層を含む
- 4 黒褐色土 炭化物層を含む

ピット10

- 1 黒褐色土 焼土・炭化物・黄色粘土を含む
- 2 黒褐色土 炭化物層を含む
- 3 黒褐色土 焼土・炭化物層・灰色粘土を含む
- 4 黒褐色土 焼土層を含む

ピット11

- 1 褐色土 焼土多く、炭化物層を含む
- 2 黒褐色土 焼土多く、灰色粘土を含む
- 3 黒褐色土 炭化物層を含む

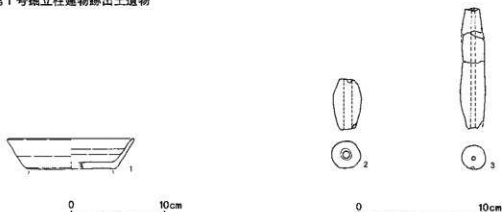
ピット12

- 1 黒褐色土 炭化物層・焼土・黄色粘土を含む
- 2 黒褐色土 焼土・炭化物層・黄色粘土を含む
- 3 黒褐色土 焼土層・黄色粘土を含む
- 4 黒褐色土 焼土・炭化物層を含む

ピット13

- 1 褐色土 焼土多く、黄色粘土を含む
- 2 灰黄褐色土 焼土炭化物層・黄色粘土を含む
- 3 黒褐色土 焼土・炭化物層・黄色粘土を含む
- 4 褐色土 焼土層・炭化物層を含む
- 5 黒褐色土 焼土・炭化物層を含む

第188図 第1号掘立柱建物跡出土遺物



第1号掘立柱建物跡出土遺物観察表(第188図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存%	出土位置・その他
1	須恵器環	(13.6)	3.2	(9.0)	ABS	I	灰黄	15	柱穴9 LA底部中央一定方向の箇所

第1号掘立柱建物跡出土土錘計測表(第188図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
2	4.0	2.2	5.5-6	14.86

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
3	9.7	1.9	2.5-3	22.9

第2号掘立柱建物跡(第189図)

CD-7、CE-7・8グリッドに位置する。第51号溝と重複する。主軸方位はN-26°Eを指す。規模は2×2間で、桁行5.65m、梁行4.5mを測る。各柱穴は円形を呈し、直径30~40cm、深さ25~40cmを測る。柱間距離は最長で2.75m、最短で2.0mを測る。



ピット 1

- 1 黒褐色土 焼土多量、黄色粘土若干含む
- 2 黒色土 焼土層かに含む
- 3 黒褐色土 焼土層下、炭化物残存若干含む
- 4 黒褐色土 焼土層か、炭化物多く含む
- 5 黒褐色土 炭化物残存若干含む

ピット 2

- 1 黒褐色土 焼土層か、黄色粘土若干多く含む
- 2 黒褐色土 焼土層下を含む
- 3 黒褐色土 焼土層下、炭化物若干含む
- 4 黒褐色土 焼土層か、炭化物多く含む
- 5 黒褐色土 黄色粘土若干含む

ピット 3

- 1 黒褐色土 焼土、炭化物、黄色粘土多く含む
- 2 黒褐色土 焼土層下を含む
- 3 黒褐色土 焼土、炭化物層か、黄色粘土ブロック若干含む
- 4 黒褐色土 炭化物残存若干含む

ピット 4

- 1 黒褐色土 焼土、黄色粘土ブロック多く含む
- 2 黒褐色土 焼土若干含む
- 3 黒色土 焼土、炭化物層かに含む

ピット 5

- 1 黒褐色土 黄色粘土ブロック含む
- 2 黒褐色土 焼土若干、黄色粘土多く含む
- 3 黒褐色土 焼土若干、黄色粘土若干層かに含む

ピット 6

- 1 濃い黄褐色 粘土質
- 2 明褐色土 焼土ブロック 炭化物若干含む
- 3 黒褐色土 焼土、炭化物層か、黄色粘土ブロック含む
- 4 黒褐色土 炭化物残存下含む



ピット 7

- 1 黒褐色土 焼土多量、黄色粘土若干含む
- 2 黒褐色土 焼土多量、黄色粘土層かに含む
- 3 黒褐色土 焼土多量、黄色粘土層かに含む
- 4 黒褐色土 焼土、炭化物層かに含む

ピット 8

- 1 黒褐色土 焼土多量、黄色粘土若干含む
- 2 黒褐色土 焼土多く含む
- 3 黒褐色土 黄色粘土ブロック含む
- 4 黒色土 焼土層中に含む
- 5 黒褐色土 焼土、炭化物層かに含む

(3) 土坑

第1号土坑(第190図)

AP-27グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.67m、短軸0.50m、深さ13cmを測る。主軸方位はN-28°-Wを指す。

第2号土坑(第190図)

AP-27グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.64m、短径0.58m、深さ23cmを測る。主軸方位はN-8°-Wを指す。

覆土中より須恵器破片が出土した。

第3号土坑(第190図)

AP-27グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.75m、短径0.63m、深さ24cmを測る。主軸方位はN-74°-Wを指す。

覆土中より須恵器破片が出土した。

第4号土坑(第190図)

AP-28グリッドに位置する。第5号土坑を切っている。平面形は隅丸長方形を呈するものと推定され、規模は長軸0.92m以上、短軸0.76m、深さ17cmを測る。主軸方位はN-10°-Eを指す。

覆土中より須恵器破片が出土した。

第5号土坑(第190図)

AP・AQ-28グリッドに位置する。第4号溝を切っている。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.90m、短軸2.65m、深さ50cmを測る。主軸方位はN-39°-Wを指す。

出土遺物(第194図)

須恵器、土師器、瓦の破片の他に、礫が出土した。

第6号土坑

AQ-28グリッドに位置する。第4号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.11m、短軸0.90m、深さ17cmを測る。主軸方位はN-26°-Wを指す。

第7号土坑

AQ-28グリッドに位置する。第4号溝と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.72m、短径0.63m、

深さ28cmを測る。主軸方位はN-24°-Wを指す。

第8号土坑(第190図)

AR-27グリッドに位置する。第7号溝と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.68m、短径0.62m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-17°-Eを指す。

第9号土坑(第190図)

AR-28グリッドに位置する。第4・9号溝と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径2.00m、短径1.83m、深さ24cmを測る。主軸方位はN-16°-Wを指す。

第10号土坑(第190図)

AR-26グリッドに位置する。平面形は長方形を呈し、規模は長軸1.90m、短軸0.56m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-80°-Eを指す。

第11号土坑(第190図)

AS-26グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.84m、短軸0.65m、深さ13cmを測る。主軸方位はN-76°-Wを指す。

第12号土坑(第190図)

AS-26グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.73m、短径0.70m、深さ50cmを測る。主軸方位はN-74°-Wを指す。

第13号土坑(第190図)

AT-25グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.85m、短径0.75m、深さ21cmを測る。主軸方位はN-36°-Wを指す。

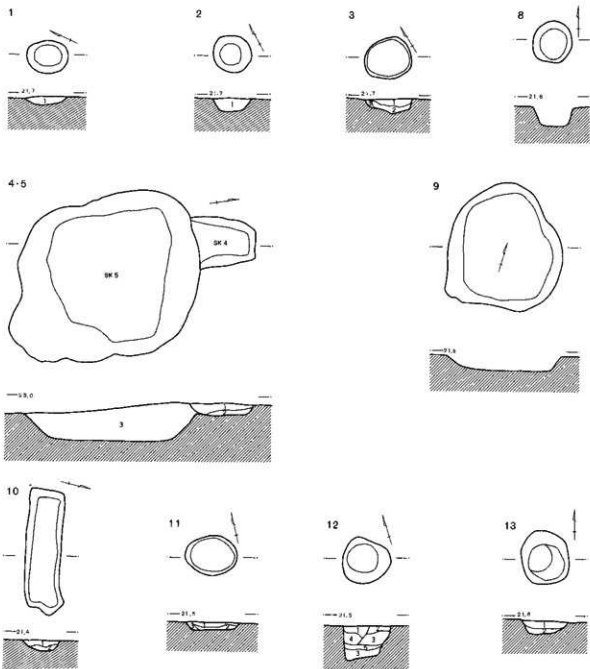
第14号土坑(第191図)

AT-26グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.01m、短径0.94m、深さ47cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

第15号土坑

AT-26グリッドに位置する。第15号溝と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.83m以上、短径0.80m以上、深さ19cmを測る。主軸方位はN-76°-Wを指す。

第190图 A区土坑(1)



SK 1
1 灰褐色土 黄褐色土渣

SK 2
1 褐色土 棕色土渣子渣状 碎末多微

SK 3
1 黑色土 棕色土渣子渣状 碎末多微
2 灰褐色土
3 黄褐色土 黏土质

SK 4-5
1 灰褐色土 黄褐色土渣子渣状
2 灰褐色土
3 灰褐色土 黏土质

SK 10
1 灰褐色土 0-1mm 砂子渣状
2 黄褐色土

SK 11
1 黑色土 棕色土渣状 碎末多微
2 黑色土
3 黄褐色土 黏土质

SK 12
1 灰褐色土
2 灰褐色土 碎末多微
3 黑色土 黏土质
4 黄褐色土 黏土质
5 黄褐色土 (0-1mm 黏土)

SK 13
1 黑色土 黄褐色土渣子渣状
2 黄褐色土

第16号土坑(第191図)

AW-26グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.78m、短径0.74m、深さ33cmを測る。主軸方位はN-47°-Wを指す。

第17号土坑(第191図)

AW-26グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.44m、短軸0.89m、深さ7cmを測る。主軸方位はN-83°-Wを指す。

第18号土坑(第191図)

AW-26グリッドに位置する。第19号溝と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸0.93m、短軸0.74m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-20°-Eを指す。

第19号土坑

AW-26グリッドに位置する。第18・20号溝と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.85m、短軸0.55m以上、深さ4cmを測る。主軸方位はN-69°-Eを指す。

第20号土坑

AW-26グリッドに位置する。第19号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.80m、短径0.72m、深さ5cmを測る。主軸方位はN-24°-Wを指す。

第21号土坑(第191図)

AW-26グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長径2.38m、短径1.30m、深さ53cmを測る。主軸方位はN-46°-Eを指す。

第22号土坑(第191図)

AW-26グリッドに位置する。第18号溝と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.90m、短軸1.38m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-28°-Wを指す。

第23号土坑(第191図)

AW-24グリッドに位置する。第1号住居跡と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸2.26m、短軸1.10m、深さ33cmを測る。主軸方位はN-4°-Eを指す。

第24号土坑(第191図)

AW-24グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸3.14m、短軸1.56m、深さ28cmを測る。主軸方位はN-79°-Eを指す。

第25号土坑

AW-23グリッドに位置する。南端は調査区外になる。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸2.22m以上、短軸1.05m、深さ59cmを測る。主軸方位はN-27°-Eを指す。

第26号土坑(第192図)

AX-23・24グリッドに位置する。第19・20号溝と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸4.30m、短軸1.35m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-62°-Wを指す。

第27号土坑

AX-24グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸2.05m、短軸0.64m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-81°-Wを指す。

第28号土坑(第192図)

AX・AY-23・24グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.65m、短軸1.09m、深さ25cmを測る。主軸方位はN-85°-Wを指す。

第29号土坑(第192図)

AX-23グリッドに位置する。西側は調査区外である。平面形は隅丸方形と推定され、規模は長軸1.00m以上、短軸1.25m、深さ11cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

第30号土坑

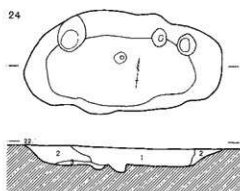
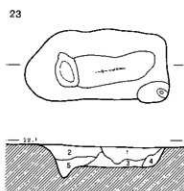
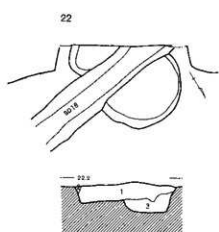
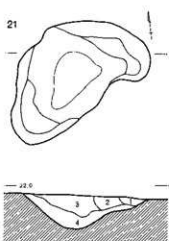
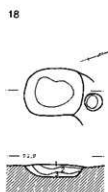
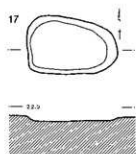
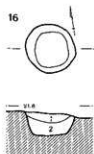
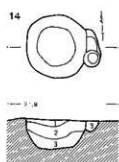
AX・AY-23グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.25m、短軸0.80m、深さ11cmを測る。主軸方位はN-11°-Eを指す。

第31号土坑(第192図)

AX-23グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.00m、短径0.88m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-8°-Wを指す。

遺物は須恵器破片、土師質土器の坏の破片などが出土した。

第191図 A区土坑(2)



SK 14

- 1 灰色土 黄褐色土層下層に 締まり強い
- 2 黄褐色土 灰褐色土層下層に 締まり強い
- 3 黄褐色土

SK 16

- 1 灰色土 黄褐色土層下層に 締まり強い
- 2 灰色土 砂質

SK 18

- 1 灰褐色土
- 2 灰褐色土 ローム状下層に 締まり強い
- 3 黄褐色土 ロームブロック状に 締まり強い

SK 21

- 1 黄褐色土 ローム状下層に 締まり強い
- 2 黄褐色土 ローム状下層に 締まり強い
- 3 黄褐色土 中層に 締まり強い
- 4 黄褐色土 ローム状に 締まり強い

SK 22

- 1 黄褐色土 ローム状下層に 締まり強い
- 2 黄褐色土 灰褐色土・ローム状に 締まり強い
- 3 黄褐色土 ロームブロック状に 締まり強い

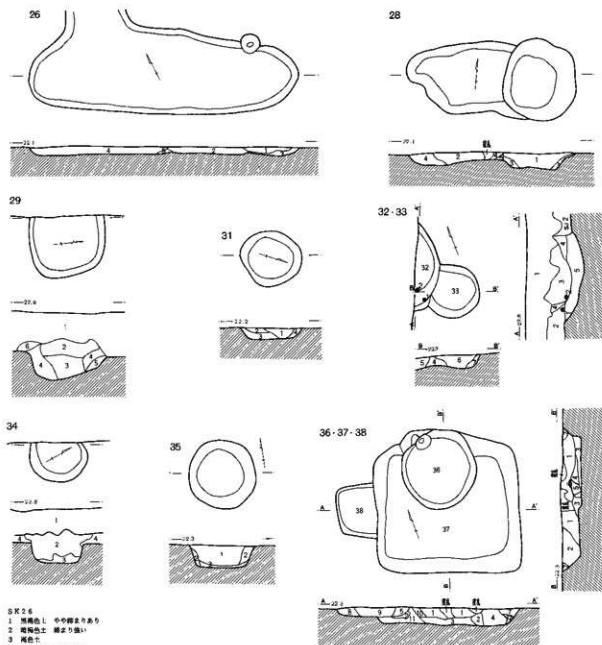
SK 23

- 1 黄褐色土 締まり強い
- 2 黄褐色土
- 3 黄褐色土 灰褐色土層に 締まり強い
- 4 黄褐色土 灰褐色土層に 締まり強い
- 5 黄褐色土

SK 24

- 1 黄褐色土 締まり強い
- 2 黄褐色土 灰褐色土層に 締まり強い
- 3 黄褐色土 灰褐色土層に 締まり強い

第192図 A区土坑(3)



- SK 26
- 1 黒褐色土 中々餅まりあり
 - 2 黒褐色土 餅まり強い
 - 3 黒色土
 - 4 灰褐色土 中々餅まり
 - 5 暗赤褐色土

- SK 28
- 1 灰褐色土 餅まり強い
 - 2 灰褐色土 灰褐色土粒了質下流む 中々餅まりあり
 - 3 灰褐色土 灰褐色土多く含む 餅まり強い
 - 4 暗褐色土
 - 5 暗褐色土 餅まりなし
 - 6 灰褐色土

- SK 29
- 1 暗赤褐色土 (表上)
 - 2 灰褐色土
 - 3 灰褐色土 餅く餅まり強い
 - 4 暗褐色土
 - 5 黒色土 中々餅まり強い
 - 6 黒褐色土

- SK 31
- 1 暗赤褐色土 餅まり強い
 - 2 灰褐色土 灰褐色土粒了質む
 - 3 暗赤褐色土 灰褐色土粒了質若干含む 餅まり強い
 - 4 黒色土 餅まりなし

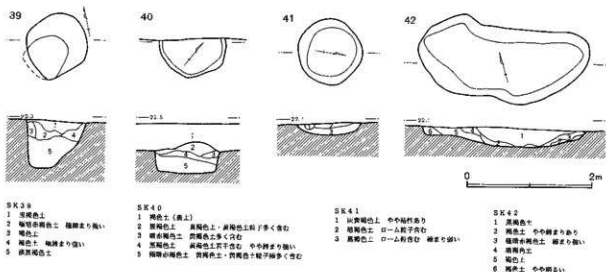
- SK 32・33
- 1 暗褐色土 (表上)
 - 2 暗褐色土 餅まり強い
 - 3 暗褐色土 炭化材・褐色土多く含む
 - 4 灰褐色土
 - 5 暗赤褐色土 餅まり強い
 - 6 黒褐色土 灰褐色土粒了質含む 餅まり中々強い
 - 7 暗褐色土 餅褐色土多量 褐色土粒了質含む

- SK 34
- 1 暗褐色土 (表上)
 - 2 灰褐色土 暗褐色土粒了質下流む
 - 3 灰褐色土 灰褐色土粒了質中々含む 餅まり強い
 - 4 暗赤褐色土

- SK 35
- 1 灰褐色土 灰褐色土粒了質、円ブツク形含む含む 中々餅まりあり
 - 2 灰褐色土 灰褐色土粒了質下流む 餅まりなし
 - 3 暗褐色土 餅まり強い

- SK 36・37・38
- 1 暗赤褐色土 灰褐色土粒了質含む
 - 2 灰褐色土 餅まり強い
 - 3 灰褐色土 灰褐色土粒了質若干含む
 - 4 暗赤褐色土 餅まり強い
 - 5 暗赤褐色土 中々餅まりあり
 - 6 灰褐色土
 - 7 暗褐色土
 - 8 暗褐色土 中々餅まりあり
 - 9 暗赤褐色土
 - 10 暗赤褐色土 餅まりなし
 - 11 灰褐色土 褐色土粒了質含む
 - 12 暗褐色土 灰褐色土低分土

第193図 A区土坑(4)



SK 33

- 1 灰褐色土
- 2 暗褐色腐土 線跡あり強い
- 3 褐色土
- 4 褐色土 線跡より強い
- 5 赤褐色腐土

SK 40

- 1 褐色土 (黄上)
- 2 黄褐色土 黄褐色土より多く含む
- 3 暗赤褐色土 黄褐色土多く含む
- 4 赤褐色土 黄褐色土より含む 中々跡より強い
- 5 暗褐色腐土 黄褐色土・黄褐色土・暗赤褐色土より多く含む

SK 41

- 1 灰黄褐色土 やや粘りあり
- 2 暗褐色土 ローム状土含む
- 3 黄褐色土 ローム状腐土 線跡あり強い

SK 42

- 1 黄褐色土
- 2 褐色土 中々跡よりあり
- 3 暗褐色腐土 線跡あり強い
- 4 黄褐色土
- 5 褐色土
- 6 褐色土 やや粘り強い

第32号土坑(第192図)

AX-22グリッドに位置する。第2号住居跡及び第33号土坑と重複する。西側は調査区外にあり、平面形は楕円形を呈するものと推定される。規模は長軸0.57m以上、短軸0.53m以上、深さ30cmを測る。主軸方位はN-14°-Wを指す。

出土遺物(第194図)

須恵器椀、土師器甕が出土した。

第33号土坑(第192図)

AX-22グリッドに位置する。第32号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.83m、短径0.73m以上、深さ20cmを測る。主軸方位はN-57°-Wを指す。

第34号土坑(第192図)

AX-22グリッドに位置する。西側は調査区外で、平面形は円形を呈すると推定される。規模は長径0.92m、短径0.62m以上、深さ30cmを測る。主軸方位はN-16°-Eを指す。

第35号土坑(第192図)

AX-22グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.13m、短径1.06m、深さ35cmを測る。主軸方位はN-3°-Wを指す。

第36号土坑(第192図)

AZ-22グリッドに位置する。第37号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.27m、短径1.18m、深さ28cmを測る。主軸方位はN-25°-Eを指す。

覆土中より、底部回転糸切りの須恵器環底部・甕の破片が出土した。

第37号土坑(第192図)

AZ-22グリッドに位置する。第36・38号土坑と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸2.27m、短軸2.26m、深さ27cmを測る。主軸方位はN-20°-Eを指す。

第38号土坑(第192図)

AZ-22グリッドに位置する。第37号土坑を切っている。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.15m、短軸0.83m、深さ13cmを測る。主軸方位はN-71°-Wを指す。

覆土中より底部回転糸切り後未調整の須恵器環底部片が出土した。

第39号土坑(第193図)

AZ-22グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.00m、短径0.94m、深さ70cmを測る。主

軸方位はN-50°-Eを指す。

遺物は須恵器残片、土師質土器の坏破片などが出土した。

第40号土坑(第193図)

AZ-24グリッドに位置する。補北西側は調査区外で、平面形は円形を呈すると推定される。規模は長径1.05m、短径0.59m以上、深さ34cmを測る。

覆土中より須恵器残片、土師質土器の坏破片などが出土した。

第41号土坑(第193図)

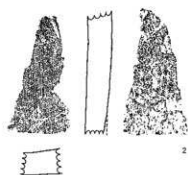
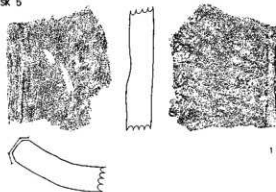
AZ-24グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.00m、短径0.98m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-30°-Eを指す。

第42号土坑(第193図)

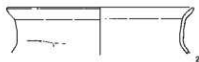
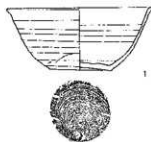
BA-24グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈する。規模は長軸2.68m、短軸1.10m、深さ32cmを測る。主軸方位はN-69°-Wを指す。

第194図 A区土坑出土遺物

SK 5



SK 32



0 10cm

第5号土坑出土瓦観察表(第194図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	横骨幅	特徴	叩き	特徴					
1	27×32	3.3	布目痕	格子叩き	格子叩き後横方向ナデ	ヘラ整形 両面取り	2.7	BS	II	橙
2	22×25	2.4	布目痕	格子叩き	格子叩き後横方向ナデ		2.5	RS	II	浅黄橙

第32号土坑出土遺物観察表(第194図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	その他
1	須恵器碗	15.5	6.1	6.6	ABS	I	灰白	85	RC 底部外周隆起こし痕 他處記号数カ所
2	土師器甕	(20.0)			BES	III	橙	15	胴部一方向彫削り

第43号土坑(第195図)

BB-22グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈する。規模は長軸1.48m、短軸0.60m、深さ6cmを測る。主軸方位はN-3°-Eを指す。

第44号土坑(第195図)

BC-22グリッドに位置する。平面形は不整形を呈する。規模は長軸2.76m、短軸1.16m、深さ60cmを測る。主軸方位はN-16°-Eを指す。

第45号土坑(第195図)

BC-22グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径0.75m、短径0.58m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-26°-Eを指す。

第46号土坑(第195図)

BC-20・21グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸1.78m、短軸1.32m、深さ87cmを測る。主軸方位はN-69°-Wを指す。

出土遺物(第201図)

かわらけが覆土上層より出土した。

第47号土坑(第195図)

BC-21グリッドに位置する。平面形は不整形楕円形を呈する。規模は長軸1.48m、短軸1.08m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

覆土中より中近世土器片、土師器片が出土した。

第48号土坑(第195図)

BD-20グリッドに位置する。平面形は長方形を呈する。規模は長軸1.46m、短軸0.94m、深さ28cmを測る。主軸方位はN-23°-Eを指す。

第49号土坑(第195図)

BD-20グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈する。規模は長軸2.18m、短軸0.85m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-78°-Wを指す。坑底にピットを3基検出した。

覆土中より、中近世土器片、土師器片が出土した。

第50号土坑(第195図)

BD-21グリッドに位置する。平面形は円形を呈する。規模は長径0.95m、短径0.94m、深さ15cmを測る。北端にピット1基を検出した。主軸方位はN-8°-

Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第51号土坑(第196図)

BD-22グリッドに位置する。第53号土坑及び第27号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.13m、短軸1.05m、深さ24cmを測る。主軸方位はN-66°-Wを指す。

第52号土坑(第196図)

BD-22グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.37m、短軸0.90m、深さ4cmを測る。主軸方位はN-38°-Wを指す。

第53号土坑(第196図)

BD-22グリッドに位置する。第51号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.40m以上、短軸0.68m、深さ4cmを測る。主軸方位はN-21°-Eを指す。

第54号土坑(第196図)

BC・BD-22グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸3.85m、短軸0.84m、深さ10cmを測る。北端寄りにピット1基を検出した。主軸方位はN-16°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第55号土坑(第196図)

BD-22グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.13m、短軸1.82m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-67°-Eを指す。

第56号土坑(第196図)

BD-23グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.96m、短径0.91m、深さ13cmを測る。主軸方位はN-63°-Wを指す。

第57号土坑(第196図)

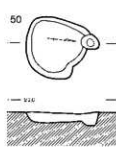
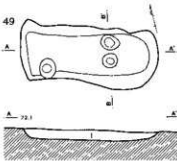
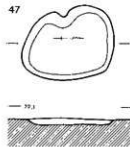
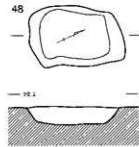
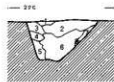
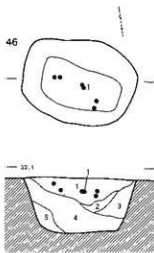
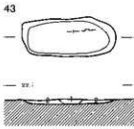
BE-22グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.55m、短軸1.40m、深さ28cmを測る。主軸方位はN-13°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第58号土坑(第196図)

BE-22グリッドに位置する。第59号土坑と重複す

第195図 B区土坑(1)



0 2m

SK 43

- 1 黄褐色土 ローム粒子層中に含む 跡あまりあり
- 2 黄褐色土 小礫少量含む 跡あまりあり

SK 44

- 1 黄褐色土 小礫含む
- 2 黄褐色土 黄色土粒の含む
- 3 黄褐色土 ローム粒子含む
- 4 黄褐色土 ローム少し含む
- 5 黄褐色土 ローム多く含む
- 6 黄褐色土 黄色土粒子多く含む
- 7 黄褐色土 黄色土ブロック含む
- 8 黄褐色土 ロームブロック含む

SK 45

- 1 黄褐色土 壁中にローム粒子含む
- 2 黄褐色土 ロームブロック状の含む

SK 46

- 1 黄褐色土 黄褐色土粒多量、褐色土粒のカーボン粒の混下含む 中々跡あまりあり
- 2 黄褐色土 黄褐色土多量含む 中々跡あまりあり
- 3 黄褐色土 黄褐色土多量 中々跡あまりあり
- 4 黄褐色土 黄褐色土多量 中々跡あまりあり
- 5 黄褐色土 黄褐色土粒の、黄褐色土多く含む

SK 47

黄褐色土 炭化物、ローム粒子層の含む 跡あまりや中々あり

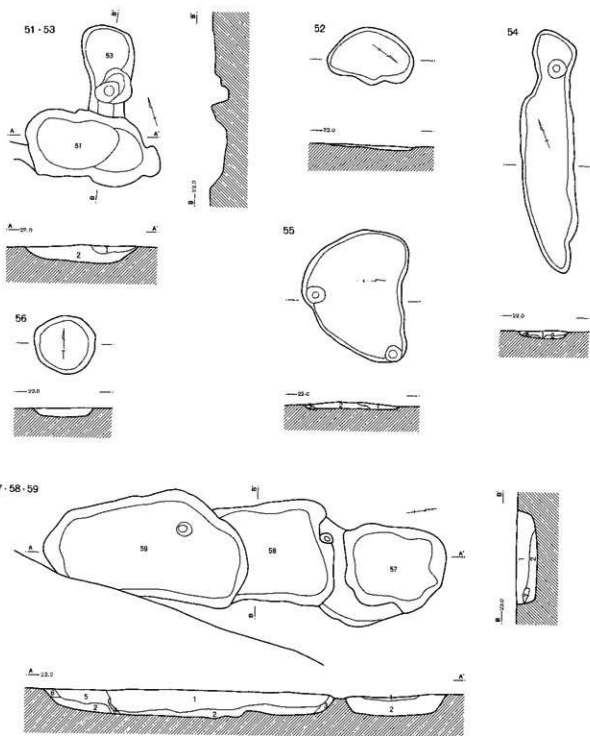
SK 48

黄褐色土 ロームブロック、粒子多く、黄色土粒少量に含む 中々跡あまりあり

SK 49・SK 50

黄褐色土 ローム粒の混下、炭化粒粒子多く含む

第196図 B区土坑(2)



SK 51

- 1 黒褐色土 ローム粒子多く、小礫混在
- 2 黒褐色土 ローム粒子多し含む

SK 52

- 1 黒褐色土 ローム粒子、ブロック多く含む

SK 54

- 1 黒褐色土 ローム質、砂粒を含む
- 2 褐色土

SK 55

- 1 黒褐色土 ロームブロック多し含む
- 2 黒褐色土 ローム質を含む
- 3 褐色土

SK 56

- 1 黒褐色土 ローム粒子多く含む 中々礫混在

SK 57・58・59

- 1 黒褐色土 褐色土粒子混在 礫入り多い
- 2 黒褐色土 中々礫入りあり
- 3 褐色土 礫入り多い
- 4 褐色土
- 5 砂岩層上
- 6 褐色土
- 7 黒褐色土 褐色土多く含む

る。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.57m、短軸1.40m以上、深さ33cmを測る。主軸方位はN-6°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第59号土坑(第196図)

BE-22グリッドに位置する。第58号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸3.31m、短軸1.60m、深さ41cmを測る。主軸方位はN-14°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第60号土坑(第197図)

BD・BE-20グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.57m、短軸1.09m、深さ4cmを測る。主軸方位はN-12°-Eを指す。

第61号土坑(第197図)

BE-20グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.90m、短径0.80m、深さ6cmを測る。主軸方位はN-64°-Wを指す。

第62号土坑(第197図)

BE-20グリッドに位置する。平面形は方形を呈し、規模は0.95m×0.95m、深さ25cmを測る。主軸方位はN-13°-Eを指す。

第63号土坑(第197図)

BE-20グリッドに位置する。西側は調査区外である。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.31m以上、短軸1.10m、深さ22cmを測る。主軸方位はN-79°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第64号土坑(第197図)

BE-20グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.10m、短径0.99m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第65号土坑(第197図)

BE-20グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.10m、短軸0.63m、深さ32cmを測る。主軸方位はN-23°-Eを指す。

覆土中より、中世の土器片が出土した。

第66号土坑

BE-20グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸0.90m、短軸0.84m、深さ40cmを測る。主軸方位はN-11°-Eを指す。

第67号土坑(第197図)

BE-21グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.20m、短軸0.75m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-68°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第68号土坑

BE-20グリッドに位置する。第4号井戸跡と重複し、切っている。平面形は円形を呈し、規模は長径1.91m、短径1.28m、深さ29cmを測る。主軸方位はN-19°-Eを指す。

第69号土坑(第197図)

BE・BF-20グリッドに位置する。東端でピットと重複し、切っている。平面形は円形を呈し、規模は長径0.80m、短径0.72m、深さ35cmを測る。主軸方位はN-60°-Eを指す。

覆土中より、土器片が出土した。

第70号土坑(第197図)

BE・BF-20グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.95m、短径1.69m、深さ54cmを測る。主軸方位はN-15°-Wを指す。

出土遺物(第201図)

かわらけが出土した。その他は底部破片で回転糸切り未調整のものが主体である。

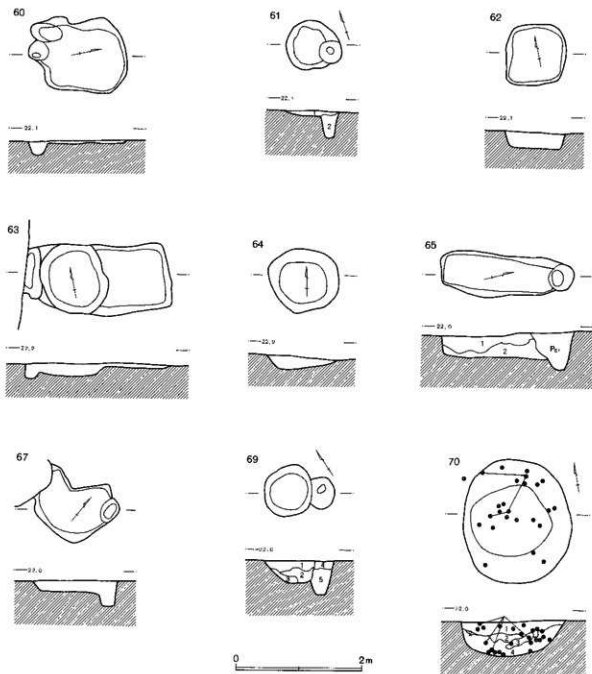
第71号土坑

BF-19グリッドに位置する。第72号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸4.37m、短軸0.89m、深さ13cmを測る。主軸方位はN-11°-Eを指す。

第72号土坑

BF-19グリッドに位置する。第71・73号土坑と重複する。平面形は長方形を呈し、規模は長軸3.24m、短軸0.70m以上、深さ13cmを測る。主軸方位はN-12°

第197図 B区土坑(3)



SK60
黄褐色土 炭化物・粘土・ロームブロック多く含む

SK61
1 黄褐色土 ローム粒子多く、小礫含む
2 黄褐色土 ローム粒子むく含む

SK62
黄褐色土 ローム粒子・ブロック多く含む

SK63
黄褐色土 ロームブロック多量含む

SK64
黄褐色土 ローム粒子、炭化物質/炭質含む

SK65
1 黄褐色土 黄褐色土・ロームブロック含む 練まりなし
2 褐色土 ロームブロック含む 練まりあり

SK67 黄褐色土

SK69

- 1 暗褐色土 ローム粒子・砂粒を含む 練まり強い
- 2 褐色土 ローム粒子多く含む 練まり強い
- 3 黄褐色土 ローム粒子少し含む 練まり強い
- 4 暗褐色土 練土・炭化物粒子・ローム含む 練まり強い
- 5 暗褐色土 ローム含む 練まり強い

SK70

- 1 黄褐色土 ローム粒子・小礫含む 練り練りあり
- 2 黄褐色土 ローム粒子・ブロック、炭化物含む 全半練りあり
- 3 黄褐色土ロームブロック
- 4 黄褐色土 砂礫多量を含む

-Eを指す。

第73号土坑

BE-19グリッドに位置する。第72号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.23m、短径1.01m、深さ5cmを測る。主軸方位はN-70°-Eを指す。

第74号土坑

BE-19グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.99m、短径0.88m、深さ34cmを測る。主軸方位はN-9°-Eを指す。

第75号土坑(第198図)

BF-20グリッドに位置する。第76・77号土坑と重複する。平面形は隅丸方形になるものと推定される。規模は長軸0.80m以上、短軸0.54m以上、深さ8cmを測る。主軸方位はN-72°-Wを指す。

第76号土坑(第198図)

BF-20グリッドに位置する。第75・77号土坑と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.27m、短軸1.23m以上、深さ18cmを測る。主軸方位はN-27°-Eを指す。

第77号土坑(第198図)

BF-20グリッドに位置する。第75・76・78号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.62m、短軸0.85m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-53°-Wを指す。

第78号土坑(第198図)

BF-20グリッドに位置する。第77号土坑及び第5号井戸跡と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.57m、短軸0.95m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-77°-Wを指す。

第79号土坑(第198図)

BF-20・21グリッドに位置する。第5号井戸跡と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸3.97m、短軸1.07m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-74°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第80号土坑(第198図)

BF-20・21グリッドに位置する。第81号土坑及び第5号井戸跡と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸3.62m、短軸0.82m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-73°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第81号土坑(第198図)

BF-20・21グリッドに位置する。第80・82・83号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.04m、短径0.88m、深さ10cmを測る。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第82号土坑(第198図)

BF-20・21グリッドに位置する。第81号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸2.40m、短軸1.26m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-82°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第83号土坑(第198図)

BF-21グリッドに位置する。第81・82・84号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸0.92m以上、短軸0.86m、深さ5cmを測る。主軸方位はN-75°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第84号土坑(第198図)

BF-21グリッドに位置する。第83号土坑と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.06m、短軸0.71m、深さ5cmを測る。主軸方位はN-19°-Eを指す。

第85号土坑(第199図)

BF-20・21グリッドに位置する。第86・87号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.20m、短軸0.89m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-17°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第86号土坑(第199図)

BF-20・21グリッドに位置する。第85・87号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸

1.68m、短軸0.88m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-75°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第87号土坑(第199回)

BF-20グリッドに位置する。第85・86号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.60m、短軸1.11m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-61°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第88号土坑(第199回)

BF-21グリッドに位置する。第89号土坑と重複し、切られている。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.33m、短軸1.18m、深さ65cmを測る。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第89号土坑(第199回)

BF-21グリッドに位置する。第88・90号土坑と重複し、第88号土坑を切っている。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.07m、短軸0.50m、深さ50cmを測る。主軸方位はN-18°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第90号土坑(第199回)

BF-21グリッドに位置する。第89号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.64m、短軸0.87m、深さ7cmを測る。主軸方位はN-12°-Eを指す。

第91号土坑(第199回)

BF-21・22グリッドに位置する。第92・93号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.56m、短径1.33m、深さ24cmを測る。主軸方位はN-10°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第92号土坑(第199回)

BF-22グリッドに位置する。第91・93号土坑と重複する。平面形は不明で、規模は長軸0.93m以上、短軸0.78m以上、深さ13cmを測る。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第93号土坑

BF-21・22グリッドに位置する。第91・92号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈するものと推定される。規模は長軸1.97m以上、短軸0.50m以上、深さ20cmを測る。主軸方位はN-18°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第94号土坑(第200回)

BF-21グリッドに位置する。第95号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸2.00m、短軸0.96m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-22°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第95号土坑(第200回)

BF-21グリッドに位置する。第94号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.48m、短軸0.87m、深さ8cmを測る。主軸方位はN-22°-Eを指す。

第96号土坑(第200回)

BF・BG-21グリッドに位置する。平面形は長方形を呈し、規模は長軸1.00m、短軸0.69m、深さ31cmを測る。主軸方位はN-27°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第97号土坑(第200回)

BG-20グリッドに位置する。第98号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.65m、短軸0.88m、深さ11cmを測る。主軸方位はN-10°-Eを指す。

覆土中より、土師器片が出土した。

第98号土坑(第200回)

BG-20・21グリッドに位置する。第97号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.11m、短軸0.57m、深さ11cmを測る。主軸方位はN-81°-Wを指す。

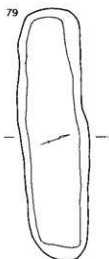
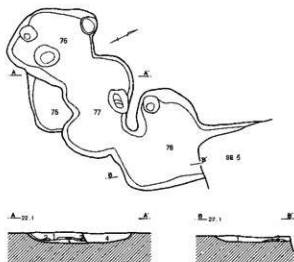
覆土中より、土師器片が出土した。

第99号土坑(第200回)

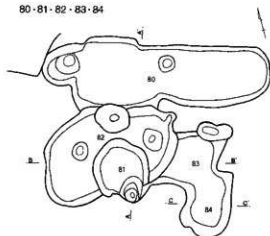
BG-20・21グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.26m、短軸0.98m、深さ56cmを

第198図 B区土坑(4)

75・76・77・78



80・81・82・83・84



0 2m

SK76・77

- 1 黒褐色土 ローム粒子・ロームブロック含む 締まりあり
- 2 黒褐色土 締まり強い
- 3 暗褐色土 ロームブロック多く含む 中や締まりあり
- 4 黒褐色土 ローム粒子多く含む 中や締まりあり

SK78

- 1 黒褐色土 ローム粒子・小礫石を含む 中や締まりあり
- 2 黒褐色土

SK79

- 1 黒褐色土 ローム粒子・以化物粒子・砂粒子を含む 締まりあり
- 2 黒褐色土 ローム多く含む 締まりあり

SK80・81・82・83

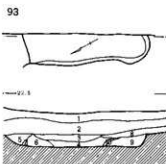
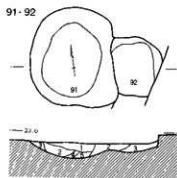
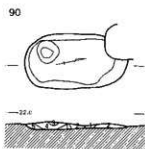
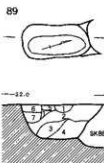
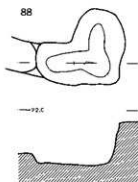
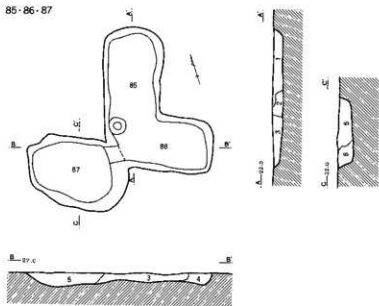
- 1 黒褐色土 ローム粒子・炭化粒状子・砂粒を含む 締まりあり
- 2 褐色土 ローム・黒褐色土を含む
- 3 黒褐色土 ローム粒子多く含む 中や締まりあり
- 4 黒褐色土 締まり強い 締まり強い
- 5 黒褐色土 ローム・黒褐色土を含む
- 6 黒褐色土 締まり強い

SK84

- 1 黒褐色土 ロームブロック多量を含む

第199河 B区土坑(5)

85-86-87



- SK 93
- 1 黒褐色土 腐葉まじり強い
 - 2 黒褐色土 白色灰子・棕色灰子多く含む 腐葉まじり強い
 - 3 黒褐色土 腐葉まじり強い
 - 4 黒褐色土
 - 5 黒褐色土 黄褐色土灰子混多量含む
 - 6 黒褐色土 黄褐色土多く含む
 - 7 黒褐色土 黄褐色土層多く含む
 - 8 黒褐色土 黄褐色土灰子混多量含む 腐葉まじり強い
 - 9 黒褐色土 黄褐色土層(砂)含む 砂混
 - 10 黒褐色土 黄褐色土層多く含む

- SK 95・96・97
- 1 黒褐色土 ローム灰子・ブロッコ灰下含む 腐葉まじり強い
 - 2 黒褐色土 ロームブロッコ多く含む 腐葉まじり強い
 - 3 黒褐色土 ローム灰下・砂灰子下含む 腐葉まじり強い
 - 4 黒褐色土 ローム灰子多く、地上灰子混多量含む 腐葉まじり強い
 - 5 黒褐色土 ローム灰子・黄褐色灰子含む 腐葉まじり強い
 - 6 黒褐色土 ローム灰子含む 腐葉まじり強い

- SK 90
- 1 腐葉赤褐色土
 - 2 暗褐色土 褐色土多く含む
 - 3 黒褐色土 褐色土下含む 腐葉まじり強い
 - 4 暗赤褐色土
 - 5 黒褐色土

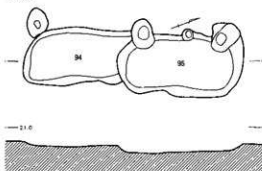
- SK 89
- 1 暗褐色土 褐色土灰子混多く含む
 - 2 黒褐色土 褐色土灰子・赤・白・黒・灰子混多量含む
 - 3 暗褐色土 小礫混多量含む 腐葉
 - 4 暗褐色土 腐葉まじり多量あり
 - 5 暗褐色土
 - 6 暗褐色土
 - 7 褐色土 暗褐色土層多く含む

- SK 91・92
- 1 暗褐色土 腐葉まじり強い
 - 2 暗褐色土 黄褐色土、炭化物灰子含む
 - 3 黒褐色土 黄褐色土灰子混多量含む
 - 4 暗褐色土 腐葉まじり強い
 - 5 暗褐色土

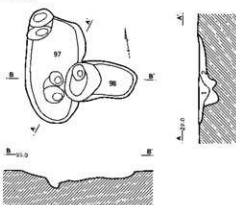


第200図 B区土坑(6)

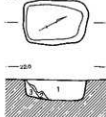
94-95



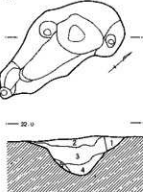
97-98



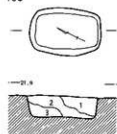
96



99



100



101



103



SK 96

- 1 黄褐色土
- 2 褐色土
- 3 灰褐色土

SK 97・98

- 1 黄褐色土 ロームブロック多く含む やや練りあり
- 2 灰褐色土 ローム粒子・赤色土粒子多く含む

SK 99

- 1 黄褐色土 ロームブロック・小練り含む
- 2 黄褐色土 ローム粒子含む 練りあり
- 3 黄褐色土 ローム少し含む
- 4 黄褐色土
- 5 黄褐色土 ロームブロック若干含む

SK 100

- 1 黄褐色土 ロームブロック含む
- 2 黄褐色土 ローム含む 練りありなし
- 3 黄褐色土

SK 101

- 1 黄褐色土 ローム粒子押かに含む
- 2 黄褐色土 小ロームブロック含む
- 3 黄褐色土

SK 103

- 1 黄褐色土 白色砂子・ローム粒子多く含む
- 2 黄褐色土 灰色砂子・ローム・炭化物粒子も多く含む 練り強い
- 3 黄褐色土 黄褐色土含む
- 4 黄褐色土 ロームブロック含む 練り強い
- 5 黄褐色土 黄褐色土含む
- 6 黄褐色土 ロームブロック・炭化物含む 練り強い
- 7 黄褐色土 ローム含む
- 8 黄褐色土 ロームブロック含む 中々練り
- 9 黄褐色土 ロームブロック含む やや練り強い
- 10 黄褐色土 ロームブロック含む

0 2m

測る。主軸方位はN-6°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第100号土坑(第200図)

BG-20グリッドに位置する。平面形は長方形を呈し、規模は長軸1.10m、短軸0.75m、深さ33cmを測る。主軸方位はN-26°-Wを指す。

出土遺物(第201図)

覆土より、占銭の小破片が出土した。「□□元寶」で時計回りの文字配列である。銭径2.55cm、方形孔7mm、厚さ2.8mmを測る。

第101号土坑(第200図)

BG-20・21グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.95m、短軸0.82m、深さ14

cmを測る。主軸方位はN-79°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第102号土坑

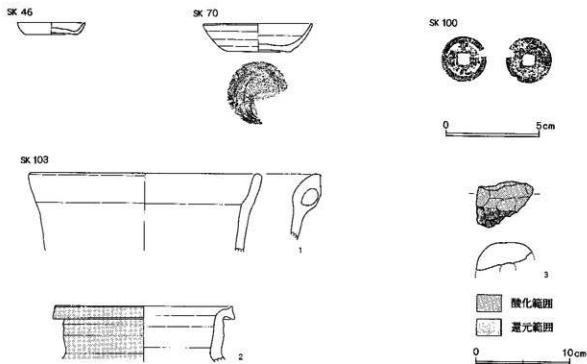
BH-20グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.11m、短軸0.43m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-85°-Wを指す。

第103号土坑(第200・201図)

BH-18グリッドに位置する。第30・32号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸3.58m、短軸2.10m、深さ70cmを測る。主軸方位はN-89°-Eを指す。

覆土上層より、中世の内耳鍋・甕・羽口が出土した。

第201図 B区土坑出土遺物(1)



土坑出土遺物観察表(第201図)

番号	器種	口径	器高	底径	粘土	焼成	色調	残存率	出土位置・その他
SK46	かわらけ	(7.2)	1.3	(5.6)	JS	II	橙	20	口唇部油埴付着 底部調整不明瞭
SK70	かわらけ	11.7	3.1	6.7	S	I	橙	70	RC系切り2回 ロクロ痕顯著 底部内面へく痕 口縁部油埴付着
1	内耳鍋	(24.8)			S	II	黒褐色	10	SK103 覆土上層 外面煤付着
2	甕	(19.0)			S	I	オリーブ灰	15	SK103 覆土上層 外面に釉

第104号土坑(第202図)

BH-19グリッドに位置する。第32号溝と重複し、切られている。平面形は円形を呈し、規模は長径0.87m、短径0.80m、深さ82cmを測る。主軸方位はN-20°-Eを指す。

第105号土坑(第202図)

BH・BI-20グリッドに位置する。第35号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.11m、短軸0.99m、深さ85cmを測る。主軸方位はN-10°-Eを指す。

第106号土坑(第202図)

BI-20グリッドに位置する。第36号溝と重複し、切られている。平面形は円形を呈し、規模は長径1.26m、短径1.22m、深さ28cmを測る。主軸方位はN-89°-Wを指す。

第107号土坑(第202図)

BI-18グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.41m、短軸1.08m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-13°-Eを指す。

第108号土坑(第202図)

BI-18グリッドに位置する。第109号土坑と重複し、切られている。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.96m、短軸0.89m以上、深さ25cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

第109号土坑(第202図)

BI-18グリッドに位置する。第108号土坑と重複し、切っている。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.53m、短軸0.70m、深さ34cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

第110号土坑(第202図)

BI-18グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.50m、短軸1.58m、深さ7cmを測る。主軸方位はN-86°-Wを指す。

第111号土坑(第203図)

BI-18グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈し、規模は長径1.44m、短径1.12m、深さ13cmを測る。主軸方位はN-24°-Eを指す。

第112号土坑(第203図)

BI-18グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.15m、短径1.03m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-17°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第113号土坑(第203図)

BI-18グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.42m、短軸1.06m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-15°-Eを指す。

第114号土坑(第203図)

BI-18グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.06m、短径0.94m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-74°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第115号土坑(第203図)

BI-19、BJ-18・19グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.86m、短軸0.95m、深さ20cmを測る。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第116号土坑(第203図)

BI-19グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.30m、短軸0.97m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-84°-Wを指す。

第117号土坑(第203図)

BJ-19グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.95m、短径0.78m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-5°-Wを指す。

第118号土坑

BJ-19グリッドに位置する。東半は調査区外で平面形は不明である。規模は1.13m以上×0.43m以上、深さ10cmを測る。

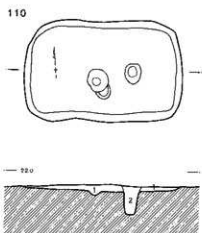
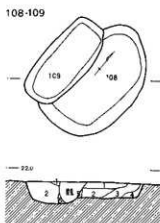
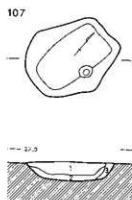
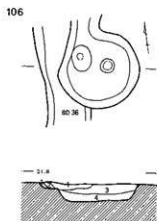
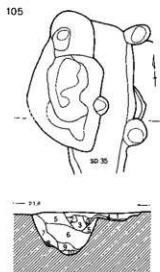
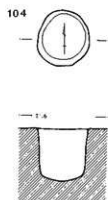
第119号土坑(第203図)

BJ-18・19グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.41m、短軸1.46m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-10°-Eを指す。

第120号土坑(第203図)

BJ-18グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形

第202図 B区土坑(7)



SK104
赤褐色土 炭化物・ローム粒子若干含む 跡残りあり

SK105
1 赤褐色土 ローム粒子若干含む
2 褐色土 ローム粒子多量含む
3 赤褐色土 黒色土粒子若干含む 中々跡残りあり
4 赤褐色土
5 赤褐色土
6 褐色土
7 赤褐色土
8 褐色土
9 褐色土
10 暗赤褐色土

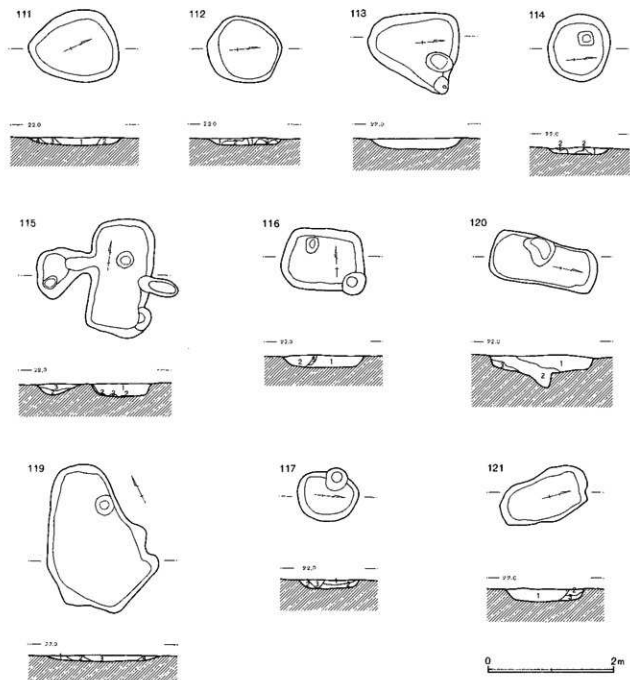
SK106
1 暗赤褐色土 跡残りやや強い
2 黒褐色土
3 暗赤褐色土 跡残りやや強い
4 暗赤褐色土 赤褐色土若干含む

SK107
1 赤褐色土
2 暗赤褐色土
3 褐色土

SK108・109
1 赤褐色土 跡残りなし
2 赤褐色土
3 赤褐色土
4 赤褐色土 赤褐色土含む 中々跡残りあり
5 褐色土

SK110
1 赤褐色土 ローム粒子・ロームブロック含む 跡残り強い
2 赤褐色土 ロームブロック含む

第203号 8区土坑(8)



SK 111

- 1 暗褐色土
- 2 黄褐色土
- 3 暗赤褐色土
- 4 黄褐色土

SK 112

- 1 黄褐色土
- 2 褐色土

SK 113

黄褐色土 ローム粒子・塊かにロームブロック状の 跡まり多い

SK 114

- 1 黄褐色土
- 2 褐色土

SK 115

- 1 黄褐色土
- 2 褐色土
- 3 黄褐色土

SK 116

- 1 黄褐色土 黄褐色土若干含む
- 2 黄褐色土 黄褐色土含む
- 3 暗褐色土 黄褐色土多量含む

SK 117

- 1 黄褐色土
- 2 黄褐色土 黄褐色土多量含む
- 3 黄褐色土

SK 119

- 1 黄褐色土 中々跡まりあり
- 2 暗褐色土 黄褐色土若干含む
- 3 黄褐色土
- 4 黄褐色土

SK 120

- 1 黄褐色土 ローム粒子含む
- 2 黄褐色土 ローム少し含む
- 3 暗褐色土 ロームブロック含む

SK 121

- 1 暗褐色土 黄褐色土若干含む 中々跡まりあり
- 2 暗褐色土 跡まりなし
- 3 黄褐色土 黄褐色土多量含む

を呈し、規模は長軸1.70m、短軸0.71m、深さ23cmを測る。主軸方位はN-2°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第121号土坑(第203図)

BJ-18グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.43m、短軸0.73m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-9°-Wを指す。

第122号土坑(第204図)

BJ-17グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸2.16m、短軸1.00m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-6°-Wを指す。

第123号土坑(第204図)

BJ・BK-18グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.53m、短軸0.65m、深さ24cmを測る。主軸方位はN-3°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第124号土坑(第204図)

BK-18グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.22m、短軸0.87m、深さ5cmを測る。主軸方位はN-39°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第125号土坑(第204図)

BK-18グリッドに位置する。平面形は長方形を呈し、規模は長軸1.76m、短軸0.66m、深さ27cmを測る。覆土中より、中世土器片が出土した。

第126号土坑(第204図)

BK-18グリッドに位置する。第38号溝と重複し、切っている。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.80m、短軸0.72m、深さ23cmを測る。主軸方位はN-4°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第127号土坑(第204図)

BK-18グリッドに位置する。第128号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.95m以上、短径1.30m、深さ32cmを測る。主軸方位はN-10°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第128号土坑(第204図)

BK・BL-18グリッドに位置する。第127・129・130・135・136・138号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.25m、短軸1.20m以上、深さ42cmを測る。主軸方位はN-85°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第129号土坑(第204図)

BK-17グリッドに位置する。第128・130号土坑と重複し、第130号土坑に切られる。平面形は隅丸長方形を呈するものと推定され、規模は長軸1.10m以上、短軸0.43m以上、深さ8cmを測る。主軸方位はN-72°-Eを指す。

第130号土坑(第204図)

BK-18グリッドに位置する。第128・129・131号土坑と重複し、第129・131号土坑を切る。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.77m、短軸0.88m、深さ80cmを測る。主軸方位はN-72°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第131号土坑(第204図)

BK・BL-18グリッドに位置する。第130号土坑と重複し、切られる。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.20m、短軸0.84m、深さ35cmを測る。主軸方位はN-85°-Eを指す。

第132号土坑

BL-18グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、深さ13cmを測る。

第133号土坑(第205図)

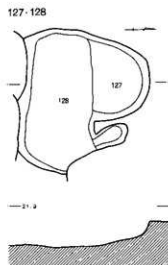
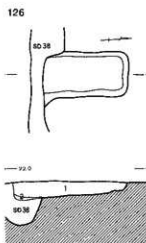
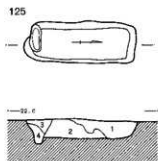
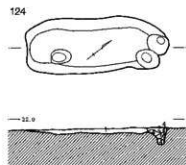
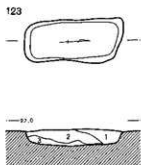
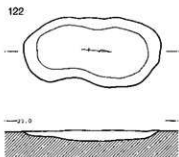
BL-18グリッドに位置する。第134・136・150・151号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸3.56m、短軸1.55m以上、深さ16cmを測る。主軸方位はN-30°-Eを指す。

第134号土坑(第205図)

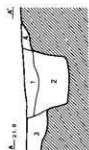
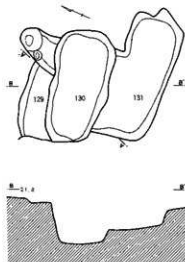
BL-18グリッドに位置する。第133・150・151号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.40m、短軸1.10m、深さ40cmを測る。主軸方位はN-85°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第204図 B区土坑(9)



129-130-131



SK122

黒褐色土 ロームブロック含む 締まりなし

SK123

1 黒褐色土 ローム粒子含む 締まりなし

2 黒褐色土 ローム粒子・炭化物・赤色土粒子若干含む

3 黒褐色土 ローム多く含む

SK124

1 黒褐色土 ロームブロック含む

2 黒褐色土 赤色土粒子少量含む

3 黒褐色土 ローム多く含む

4 黒褐色土 ローム粒子・黒褐色土含む

SK125

1 黒褐色土 ローム粒子・炭化物粒子若干含む 中々締まる

2 黒褐色土 ローム粒子・ロームブロック多く含む 締まり強い

3 黒褐色土 ローム粒子層厚かに含む 締まり強い

4 褐色土 ロームブロック含む 中々締まる

SK126

1 黒褐色土 ローム粒子を含む 中々締まり強い

2 黒褐色土

SK129・130・131

1 褐色土 黒褐色土含む

2 黒褐色土

3 黒褐色土 褐色土・赤褐色土含む 締まり強い

0 2m

第135号土坑(第205図)

BL-18グリッドに位置する。第128・136・137・138号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.70m以上、短軸1.35m以上、深さ30cmを測る。主軸方位はN-84°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第136号土坑(第205図)

BL-18グリッドに位置する。第128・133・135・137・150号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.70m、短軸1.40m、深さ36cmを測る。主軸方位はN-84°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第137号土坑(第205図)

BL-18グリッドに位置する。第135・136・150号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸0.94m以上、短軸0.38m以上、深さ19cmを測る。主軸方位はN-84°-Wを指す。

第138号土坑

BK・BL-18グリッドに位置する。第128・135・140・141・142号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、深さ18cmを測る。

第139号土坑(第205図)

BK・BL-18グリッドに位置する。第140・141・143号土坑及び第6号井戸跡と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.09m、短軸1.00m以上、深さ55cmを測る。主軸方位はN-5°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第140号土坑(第205図)

BL-18グリッドに位置する。第139・144・145・146・148号土坑と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.10m以上、短軸0.98m、深さ21cmを測る。主軸方位はN-8°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第141号土坑(第205図)

BK・BL-18グリッドに位置する。第138・139号土坑と重複する。平面形は隅丸方形を呈するものと推定される。規模は長軸1.82m、短軸0.43m以上、深さ

23cmを測る。主軸方位はN-6°-Eを指す。

第142号土坑

BL-18グリッドに位置する。第138号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.70m、短軸0.45m、深さ34cmを測る。主軸方位はN-18°-Eを指す。

第143号土坑(第205図)

BK・BL-17・18グリッドに位置する。第139号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈するものと推定される。規模は長軸0.94m以上、短軸0.92m、深さ13cmを測る。主軸方位はN-79°-Wを指す。

第144号土坑(第205図)

BL-17・18グリッドに位置する。第140・145・146号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.30m、短軸0.86m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-85°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第145号土坑(第205図)

BL-17・18グリッドに位置する。第140・141・146・180号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈すると推定される。規模は長軸2.50m、短軸1.07m以上、深さ30cmを測る。主軸方位はN-80°-Wを指す。

第146号土坑(第207図)

BL-18グリッドに位置する。第140・144・145号土坑と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.06m、短軸0.88m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-8°-Wを指す。

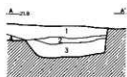
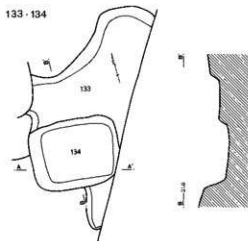
第147号土坑

BL-18グリッドに位置する。第153号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.75m以上、短軸0.52m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-37°-Wを指す。

第148号土坑(第206図)

BL-18グリッドに位置する。第140・145・149号土坑と重複し、第140号土坑を切っている。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.94m以上、短軸0.70m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-85°-Wを指す。

第205図 B区土坑00

139・141・143

BK134

- 1 褐色土 白色粘土混じり 跡残り不明
- 2 褐色土
- 3 褐色粘土
- 4 褐色土 跡残りあり

135・136

140・144・145・146

0 2m

BK136

- 1 褐色粘土
- 2 褐色粘土 褐色土・磁器ノ片混

BK140・144

- 1 褐色粘土 褐色土・灰土混じり 中央跡残りあり
- 2 褐色粘土 褐色土・磁器ノ片混
- 3 褐色粘土 褐色土・磁器ノ片混
- 4 褐色粘土 褐色土・磁器ノ片混 跡残りあり

— 221 —

第149号土坑(第206区)

BL-18グリッドに位置する。第148号土坑と重複し、切っている。平面形は円形を呈し、規模は長径0.69m、短径0.65m、深さ21cmを測る。主軸方位はN-74°-Wを指す。

第150号土坑(第206区)

BL-18グリッドに位置する。第134・136・137・151・153号土坑と重複する。平面形は不明で、深さ25cmを測る。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第151号土坑(第206区)

BL-18グリッドに位置する。第134・150・153号土坑と重複する。平面形は不整形で、深さ32cmを測る。

第152号土坑

BL-18グリッドに位置する。第151号土坑と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.10m以上、短軸0.70m、深さ23cmを測る。主軸方位はN-1°-Wを指す。

出土遺物(第209区)

覆土より、古銭と中世土器片が出土した。古銭は磨減が激しく文字は読みとれないが、銭径2.5cm、方形孔9mm、厚さ2.1mmを測る。

第153号土坑(第206区)

BL-18グリッドに位置する。第147・150・154号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.53m、短軸1.14m、深さ31cmを測る。主軸方位はN-88°-Wを指す。

覆土より、中世土器片が出土した。

第154号土坑(第206区)

BL-18グリッドに位置する。第153・156・156号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸0.92m、短軸0.77m以上、深さ27cmを測る。主軸方位はN-6°-Wを指す。

覆土より、中世土器片が出土した。

第155号土坑(第206区)

BL-18グリッドに位置する。第154・156・159号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈すると推定さ

れる。規模は長軸1.22m以上、短径0.92m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-70°-Eを指す。

第156号土坑(第206区)

BL-18グリッドに位置する。第154・156・157号土坑及び第7号井戸跡と重複し第157号土坑を切っている。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.48m、短軸1.07m、深さ70cmを測る。主軸方位はN-76°-Eを指す。

覆土中より、須恵器片、土師器片、中世土器片が出土した。

第157号土坑(第206区)

BL-18グリッドに位置する。第156・158・159号土坑及び第7号井戸跡と重複し、第158号土坑を切っている。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.53m以上、短軸1.64m、深さ56cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

出土遺物(第219区)

覆土中より、かわらけ、古銭の他に、須恵器片、土師器片、中世土器片が出土した。古銭は文字は読みとれないが、銭径2.45cm、方形孔7.2mm、厚さ2.8mmを測る。

第158号土坑(第206区)

BL-18グリッドに位置する。第157・160号土坑と重複し、第157号土坑に切られる。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.25m、短軸0.41m以上、深さ40cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

覆土中より、須恵器片、土師器片の他、中世土器片が出土した。

第159号土坑(第206区)

BL-18グリッドに位置する。第155・157号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、深さ26cmを測る。

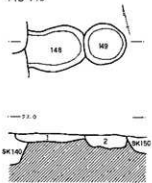
覆土中より、中世土器片が出土した。

第160号土坑

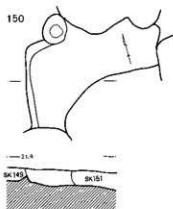
BL-18グリッドに位置する。第158・162号土坑と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.03m、短軸0.43m以上、深さ21cmを測る。主軸方位はN-76°-Eを指す。

第206図 B区土坑①

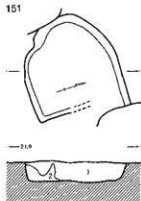
148・149



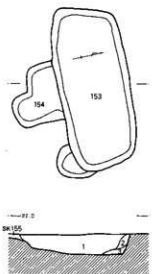
150



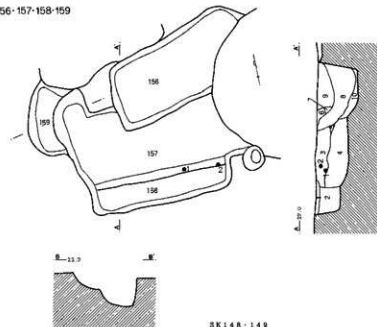
151



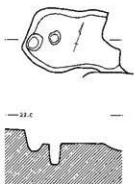
153・154



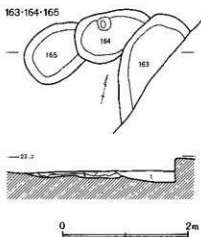
156・157・158・159



155



163・164・165



SK148・149

- 1 黄褐色土・褐色土粒子多
- 2 黄褐色土・褐色土粒子・褐色土多<穴>

SK150

褐色土・褐色土粒子・褐色土多<穴>

SK151

- 1 黄褐色土・褐色土粒子多 雜草多
- 2 黄褐色土・褐色土・褐色土多

SK153・154

- 1 黄褐色土・褐色土多<穴>
- 2 黄褐色土
- 3 褐色土

SK156・157・158・159

- 1 黄褐色土
- 2 黄褐色土・褐色土多 雜草
- 3 黄褐色土・褐色土多<穴>
- 4 黄褐色土
- 5 褐色土
- 6 黄褐色土
- 7 褐色土
- 8 黄褐色土・褐色土多<穴> 雜草
- 9 黄褐色土・褐色土多<穴> 今今雜草多
- 10 黄褐色土・黄褐色土多 雜草多

SK163・164・165

- 1 黄褐色土 ローム多
- 2 黄褐色土 ローム多<穴>
- 3 黄褐色土

第161号土坑

BL-18グリッドに位置する。第162号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.52m、短軸1.14m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-87°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第162号土坑

BL・BM-18グリッドに位置する。第160・162号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.46m、深さ13cmを測る。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第163号土坑(第206図)

BM-18グリッドに位置する。第164号土坑と重複し、切っている。平面形は楕円形を呈するものと推定され、規模は長軸1.84m以上、短軸0.66m以上、深さ17cmを測る。主軸方位はN-8°-Wを指す。

第164号土坑(第206図)

BM-18グリッドに位置する。第163・165号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.07m以上、短軸0.74m、深さ8cmを測る。主軸方位はN-63°-Eを指す。

第165号土坑(第206図)

BM-17・18グリッドに位置する。第164号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.91m以上、短軸0.82m、深さ8cmを測る。主軸方位はN-42°-Eを指す。

第166号土坑

BM-17グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈するものと推定され、深さ19cmを測る。

第167号土坑(第207図)

BM-17グリッドに位置する。第169号土坑と重複し、切られている。平面形は円形を呈し、規模は長径0.92m以上、短径0.86m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-18°-Eを指す。

第168号土坑(第207図)

BM-17グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.30m、短軸0.91m、深さ20cmを測る。

主軸方位はN-84°-Eを指す。

第169号土坑(第207図)

BM-17グリッドに位置する。第167号土坑と重複し、切っている。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.38m、短軸1.07m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-61°-Eを指す。

第170号土坑(第207図)

BL・BM-17グリッドに位置する。第171号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.40m、短径1.26m、深さ40cmを測る。主軸方位はN-18°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第171号土坑(第207図)

BL・BM-17グリッドに位置する。第170号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.95m、短径0.55m以上、深さ21cmを測る。主軸方位はN-4°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第172号土坑(第207図)

BM-17・18グリッドに位置する。第173号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.10m、短軸0.63m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-86°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第173号土坑(第207・209図)

BL・BM-17・18グリッドに位置する。第172号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、深さ24cmを測る。覆土中より、須恵器環・甕の破片が出土した。

第174号土坑

BL-17・18グリッドに位置する。第175号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.47m、短軸1.23m以上、深さ8cmを測る。主軸方位はN-28°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第175号土坑(第207図)

BL-17グリッドに位置する。第174・176号土坑と重複し、第176号土坑に切られる。平面形は隅丸長方

形を呈し、規模は長軸3.15m、短軸0.77m以上、深さ28cmを測る。主軸方位はN-79°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第176号土坑(第207図)

BL-17グリッドに位置する。第175・177号土坑と重複し、両方とも切っている。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.91m、短軸0.98m、深さ34cmを測る。主軸方位はN-86°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第177号土坑(第207図)

BL-17グリッドに位置する。第176・178号土坑と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.16m、短軸0.95m、深さ45cmを測る。主軸方位はN-18°-Wを指す。

第178号土坑(第207図)

BL-17グリッドに位置する。第177・179号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.96m、短軸0.84m、深さ32cmを測る。主軸方位はN-3°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第179号土坑(第207図)

BL-17・18グリッドに位置する。第178号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸2.84m、短軸1.21m、深さ9cmを測る。主軸方位はN-15°-Eを指す。

第180号土坑(第207図)

BL-17グリッドに位置する。第145・181号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.00m、短軸0.94m、深さ8cmを測る。主軸方位はN-85°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第181号土坑(第207図)

BL-17グリッドに位置する。第180号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.01m、短軸0.63m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-7°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第182号土坑

BL-17グリッドに位置する。第183号土坑と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は東西1.47m、南北0.80m以上、深さ16cmを測る。

第183号土坑(第208図)

BL-17グリッドに位置する。第182・184号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.30m、短軸0.99m、深さ55cmを測る。主軸方位はN-81°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第184号土坑

BL-17グリッドに位置する。第183・185号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.30m以上、短軸1.00m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-3°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第185号土坑

BL-17グリッドに位置する。第184号土坑と重複する。平面形は長方形を呈し、規模は長軸1.53m、短軸0.97m以上、深さ8cmを測る。主軸方位はN-7°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第186号土坑(第208図)

BL-17グリッドに位置する。第187・189号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.12m、短軸1.12m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-6°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

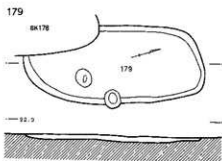
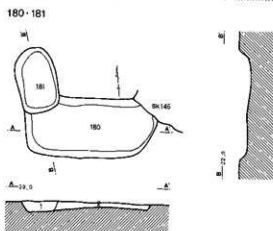
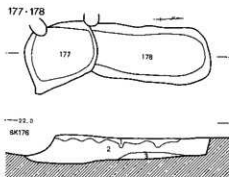
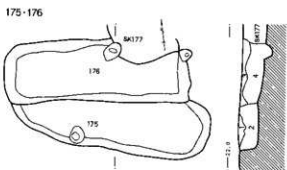
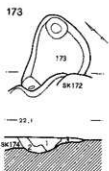
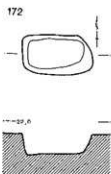
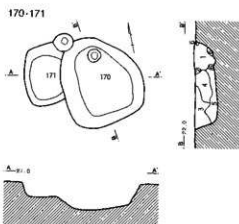
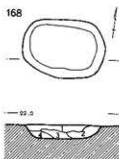
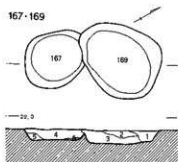
第187号土坑(第208図)

BL-17グリッドに位置する。第186号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.20m、短軸0.89m、深さ11cmを測る。主軸方位はN-1°-Eを指す。

第188号土坑(第208図)

BL-17グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.84m、短径0.74m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-61°-Eを指す。

第207図 B区土坑跡



0 2m

SK167・169

- 1 黄褐色土 コム粒子含む
- 2 黄褐色土 ロームブロックを含む 跡残りなし
- 3 褐色土 黄褐色土を含む
- 4 黄褐色土 ローム粒子多く含む 中や跡残りなし
- 5 黄褐色土 ロームブロック含む 跡残りなし

SK168

- 1 黄褐色土 中や跡残りあり
- 2 黄褐色土 ロームブロックを含む
- 3 黄褐色土 (ローム)
- 4 黄褐色土 赤色土粒子を含む 中や跡残りあり

SK170

- 1 黄褐色土 コムブロックを含む
- 2 褐色土 黄褐色土を含む
- 3 黄褐色土 ローム粒子を含む
- 4 黄褐色土 ローム粒子・ロームブロックを含む
- 5 黄褐色土 ロームブロック少しを含む
- 6 黄褐色土

SK173

- 1 黄褐色土 ロームブロックを含む
- 2 黄褐色土 コム粒子を含む
- 3 褐色土ブロック

SK175・176

- 1 黄褐色土 ローム粒子・ブロックを含む 跡残りなし
- 2 黄褐色土 跡残りあり
- 3 黄褐色土 コム粒子を含む
- 4 黄褐色土 ローム粒子・ロームブロックを含む

SK177・178

- 1 黄褐色土 コム粒子・ブロックを含む 跡残りなし
- 2 黄褐色土 ローム粒子・ブロックを含む
- 3 褐色土 灰層

SK179

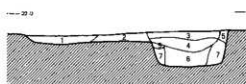
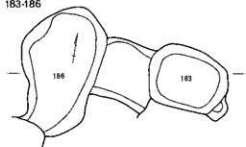
- 黄褐色土 ローム粒子・ブロックを含む 跡残りなし

SK180

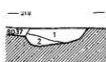
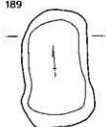
- 1 黄褐色土 赤褐色土・ローム粒子を含む 跡残りなし
- 2 黄褐色土 ローム粒子を含む 跡残りあり

第208図 B区土坑(3)

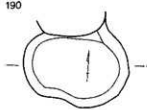
183-186



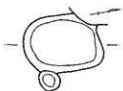
189



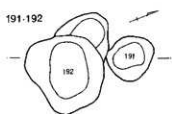
190



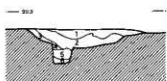
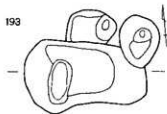
187



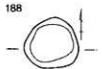
191-192



193



188



0 2m

SK186-183

- 1 褐色土 褐色土砂子含む 跡まり多い
- 2 褐色土 黒褐色土砂子若干含む
- 3 暗褐色土
- 4 黒褐色土 褐色土若干含む
- 5 褐色土 跡まり多い
- 6 暗褐色土 褐色土含む 瓦破
- 7 暗褐色土 瓦破

SK187 褐色土

SK188 暗褐色土

SK189

- 1 暗褐色土 褐色土砂子含む
- 2 褐色土 中々跡まり多い

SK190 暗褐色土 褐色土砂子含む

SK194-195

- 1 黒褐色土 ロームブロック若干含む 中々跡まりあり
- 2 黒褐色土 ロームブロック多く含む
- 3 黒褐色土 赤色土砂子多く含む 瓦下層まる
- 4 黒褐色土 ローム砂子・ブロック多く、炭化物砂子若干含む 跡まりあり
- 5 黒褐色土 ロームブロック若干含む 跡まりなし
- 6 黒褐色土 ローム多く含む
- 7 暗褐色土 中々跡まり多い 跡まり多い
- 8 褐色土 黒褐色土含む 跡まり多い
- 9 褐色土 ロームブロック多く含む 中々跡まりあり

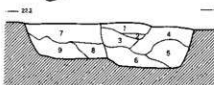
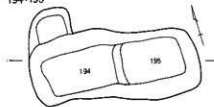
SK191-192

- 1 黒褐色土 炭化物砂子・ロームブロック含む
- 2 暗褐色土 粘質
- 3 黒褐色土 跡まり多い
- 4 暗褐色土 粘質
- 5 褐色土 黒褐色土含む 跡まり多い

SK193

- 1 黒褐色土 ローム砂子少し含む 中々跡まりあり
- 2 黒褐色土 ローム砂子・ブロック多く、炭化物砂子含む
- 3 暗褐色土 ローム砂子含む
- 4 褐色土 ローム砂子・ブロック多く含む 跡まりあり
- 5 暗褐色土 ローム少し含む 中々跡まりあり
- 6 褐色土 粘質

194-195



第189号土坑(第208図)

BL-17グリッドに位置する。第186・190号土坑及び第37号溝と重複し、第37号溝に切られる。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.86m、短軸1.02m、深さ25cmを測る。主軸方位はN-3°-Eを指す。

第190号土坑(第208図)

BL-17グリッドに位置する。第189号土坑及び第37号溝と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.69m、短軸1.06m以上、深さ17cmを測る。主軸方位はN-88°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第191号土坑(第208図)

BL-16グリッドに位置する。平面形は不整形形を呈し、規模は長径0.75m、短径0.65m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-20°-Wを指す。

第192号土坑(第208図)

BL-16グリッドに位置する。平面形は不整形形を呈し、規模は長軸1.67m、短軸1.27m、深さ40cmを測る。

主軸方位はN-53°-Wを指す。

第193号土坑(第208図)

BL-16グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.93m、短軸0.98m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-86°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第194号土坑(第208図)

BL-16グリッドに位置する。第195号土坑と重複し切られている。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.35m以上、短軸1.06m、深さ0.57cmを測る。主軸方位はN-80°-Wを指す。

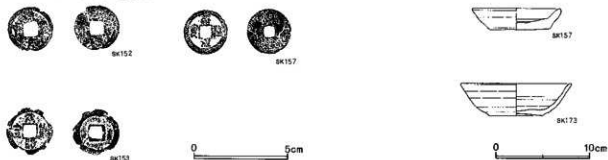
覆土中より、中世土器片が出土した。

第195号土坑(第208図)

BL-16グリッドに位置する。第194号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.35m、短軸1.10m、深さ67cmを測る。主軸方位はN-80°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第209図 B区土坑出土遺物(2)



土坑出土遺物観察表(第209図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
SK157	かわらけ	9.2	2.3	6.4	AJ	Ⅲ	鈍い緑	90	RC 内部底面クロロ炭
SK173	須恵器片	(11.8)	3.4	(5.8)	AS	I	灰	30	RC

第199号土坑

BX-9グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、西側は調査区域外である。規模は長軸1.65m以上、短軸0.93m、深さ35cmを測る。主軸方位はN-86°-Eを指す。

第200号土坑

BX-9グリッドに位置する。第201号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.35m、短軸0.75m以上、深さ36cmを測る。主軸方位はN-18°-Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第201号土坑

BX-9グリッドに位置する。第200・202号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.54m以上、短軸0.93m、深さ41cmを測る。主軸方位はN-80°-Eを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第202号土坑

BX-9グリッドに位置する。第201・203号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.54m、短軸1.01m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-11°-Wを指す。

第203号土坑

BX-9グリッドに位置する。第202号土坑と重複する。平面形は瓢箪形を呈し、規模は長軸1.85m、深さ9cmを測る。主軸方位はN-56°-Wを指す。

第204号土坑(第210図)

BY・BX-9グリッドに位置する。第205・206号土坑と重複し、第206号土坑に切られている。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.16m、短軸0.81m、深さ33cmを測る。主軸方位はN-86°-Eを指す。

覆土中より、須恵器片、土師器片が出土した。

第205号土坑

BY・BX-9グリッドに位置する。第204・206号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形になるものと推定される。規模は長軸1.98m、短軸0.83m、深さ17cmを測る。主軸方位はN-9°-Wを指す。

覆土中より、須恵器片が出土した。

第206号土坑(第210図)

BY-9グリッドに位置する。第204・205・207号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.13m以上、深さ15cmを測る。主軸方位はN-51°-Eを指す。

遺物は弥生・古墳・平安時代の上器片の他、中世土器片も出土した。

第207号土坑(第210図)

BY-9グリッドに位置する。第206号土坑と重複する。平面形は不整形長方形を呈し、規模は長軸0.90m、短軸0.54m、深さ47cmを測る。主軸方位はN-22°-Wを指す。

第208号土坑(第210図)

BY-9グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈し、規模は長軸1.71m、短軸0.86m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-9°-Wを指す。

第209号土坑(第210図)

BY-9グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.95m、短径0.73m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-7°-Wを指す。

第210号土坑

BY-9グリッドに位置する。第211・212号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.27m以上、短軸1.16m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-69°-Eを指す。

遺物は土師器甕が出土している。

第212号土坑(第210図)

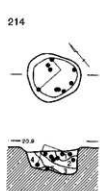
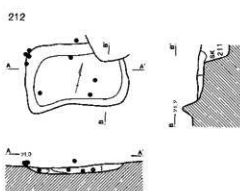
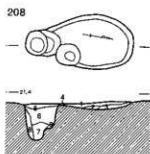
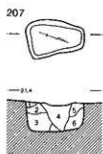
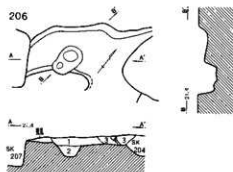
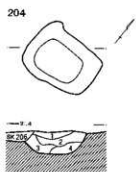
BY-9グリッドに位置する。第210・211号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.61m、短軸0.95m、深さ33cmを測る。主軸方位はN-74°-Eを指す。

覆土中より、土師器片が出土した。

第213号土坑(第210図)

BY-9グリッドに位置する。北東部は擾乱を受けているが、平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.66m、短軸0.73m、深さ33cmを測る。主軸方位はN

第210図 C区土坑(1)



SK204

- 1 暗赤褐色土
- 2 暗褐色土 締まり強い
- 3 暗赤褐色土 ロームブロック多く含む 締まり強い
- 4 暗赤褐色土 ロームブロック多く含む 締まり強い

SK206

- 1 暗褐色土 黄褐色土粒子多く含む
- 2 暗赤褐色土 ロームブロック、黄褐色土多く含む
- 3 暗褐色土 褐色土穴含む 締まりあり
- 4 暗褐色土

SK207

- 1 暗褐色土
- 2 暗褐色土 黄褐色土粒子含む やや締まりあり
- 3 暗褐色土 黄褐色土、白色砂粒を豊富含む 締まり強い
- 4 暗褐色土 黄褐色土多く含む
- 5 暗褐色土 黄褐色土多く含む
- 6 暗褐色土 締まり強い

SK208

- 1 黄褐色土 ローム粒子多く含む 締まり強い
- 2 黄褐色土 ローム粒子多く含む
- 3 暗褐色土 炭化物粒子多く含む
- 4 暗赤褐色土
- 5 暗褐色土 粘土粒子多く含む 締まり強い
- 6 黄褐色土 ローム・炭子粒子多く含む 締まり強い
- 7 黄褐色土
- 8 黄褐色土 やや締まり強い
- 9 暗褐色土 締まり強い

SK209

- 1 黄褐色土 ローム粒子多く含む 締まり強い
- 2 黄褐色土 ローム粒子多く含む 炭化物粒子多く含む
- 3 黄褐色土 ローム粒子・ブロック多く含む やや締まりあり

SK212

- 1 黄褐色土 粘土・黄色土、炭化物土を含む
- 2 黄褐色土 粘土・ロームブロック多く含む

SK213

- 1 黄褐色土 ロームブロック粒子・粒子多く含む 締まり強い
- 2 黄褐色土 ロームブロック多く含む

SK214

- 1 黄褐色土 締まり強い
- 2 黄褐色土 粘土ブロック・ローム粒子多く含む
- 3 黄褐色土 粘土を含む
- 4 暗褐色土 ローム粒子・ブロック多く含む 締まりあり
- 5 黄褐色土 ロームブロック多く含む

-2°-Wを指す。

出土遺物(第219図)

覆土中より、棒状鉄器の他に、土師器片が出土した。

第214号土坑(第210図)

BY-8・9グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.84m、短径0.75m、深さ41cmを測る。主軸方位はN-49°-Wを指す。

出土遺物(第219図)

中世土器の環が出土した。

第215号土坑

BY-8グリッドに位置する。西半は調査区外で平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.67m以上、短軸1.13m、深さ34cmを測る。主軸方位はN-76°-Eを指す。

出土遺物(第219図)

覆土中より古銭が出土した。「元口通寶」と時計回りの文字配列である。径2.55cm、方形孔8mm、厚さ2.5mmを測る

第216号土坑(第211図)

BY-8・9グリッドに位置する。第217号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.25m、短軸1.00m、深さ42cmを測る。主軸方位はN-19°-Wを指す。

第217号土坑(第211図)

BY-8・9グリッドに位置する。第216号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径2.05m、短径1.70m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-61°-Wを指す。

第218号土坑(第211図)

BY-9グリッドに位置する。第13号住居跡と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.75m、短軸0.95m、深さ43cmを測る。主軸方位はN-72°-Eを指す。

第219号土坑(第211図)

BY・BZ-8グリッドに位置する。第13号住居跡のカマドと重複し住居跡を切っている。平面形は長方形を呈し、規模は長軸3.07m、短軸0.84m、深さ57

cmを測る。主軸方位はN-9°-Wを指す。

出土遺物(第219図)

須恵器環、中世の甕底部の他に、土師器片などが出土した。

第220号土坑(第211図)

BY-8グリッドに位置する。第14号住居跡カマドと重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.59m以上、短軸1.33m、深さ41cmを測る。主軸方位はN-76°-Eを指す。

覆土中より、土師器片が出土した。

第221号土坑(第211図)

BZ-8グリッドに位置する。第222・223号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.57m、短軸0.65m、深さ42cmを測る。主軸方位はN-70°-Eを指す。

第222号土坑(第211図)

BZ-8・9グリッドに位置する。第221・223号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸2.00m以上、短軸0.92m、深さ11cmを測る。主軸方位はN-87°-Eを指す。

覆土中より、土師器片が出土した。

第223号土坑(第211図)

BZ-8・9グリッドに位置する。第221・222・224号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.94m、短径0.86m、深さ22cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

覆土中より、須恵器環・蓋片、土師器片が出土した。

第224号土坑(第211図)

BZ-8グリッドに位置する。第223号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.86m以上、短軸0.61m、深さ25cmを測る。主軸方位はN-2°-Eを指す。

覆土中より、須恵器片、土師器片が出土した。

第225号土坑

BZ-9グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸0.80m、短径0.66m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-0°-Eを指す。

第226号土坑

BZ-9グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.26m、短軸0.74m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-20°-Wを指す。

覆土中より、須恵器片、土師器片が出土した。

第227号土坑

CA-9・10グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.90m、短軸1.00m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-83°-Eを指す。

覆土中より、須恵器環片が出土した。

第229号土坑(第211図)

CB-8グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.03m、短軸0.70m、深さ6cmを測る。主軸方位はN-13°-Wを指す。

覆土中より、底部周辺回転斡削りの須恵器環底部片、土師器片が出土した。

第230号土坑(第211図)

CA-8グリッドに位置する。第16号住居跡及び第44号溝と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.96m、短径0.78m、深さ88cmを測る。主軸方位はN-15°-Wを指す。

覆土中より、底部周辺回転斡削りの須恵器環底部片、土師器片が出土した。

第231号土坑(第212図)

CA-7・8グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.42m、短軸0.47m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-8°-Eを指す。

覆土中より、須恵器片、土師器片の他、中世土器片が出土した。

第233号土坑(第212図)

CB-9グリッドに位置する。第2号竪穴状構構と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.95m以上、短軸1.10m、深さ19cmを測る。主軸方位はN-4°-Wを指す。

覆土中より、須恵器環片、土師器片、中世土器片が出土した。

第234号土坑(第212図)

CB-9グリッドに位置する。第235号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.98m、短軸0.95m、深さ13cmを測る。主軸方位はN-80°-Wを指す。

覆土中より、須恵器片、土師器片が出土した。

第236号土坑(第212図)

CC-9グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.11m、短径0.95m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-23°-Wを指す。

第237号土坑(第212図)

CB・CC-8グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長径1.30m、短径0.81m、深さ43cmを測る。主軸方位はN-52°-Wを指す。

出土遺物(第219図)

須恵器環、土師器環、土鏝の他に、須恵器蓋片が出土した。土鏝は長さ4.6cm、最大径2.5cm、孔径5~5.5mm、重さ24.42gである。

第238号土坑(第212図)

CC-8グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.22m、短径0.90m、深さ57cmを測る。主軸方位はN-45°-Eを指す。

出土遺物(第220図1~3)

覆土中より、須恵器環・高台付杯・蓋、土師器片が出土した。

第239号土坑(第117図)

CC-8グリッドに位置する。第240号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.86m、短径1.80m以上、深さ27cmを測る。主軸方位はN-42°-Eを指す。

出土遺物(第220図4)

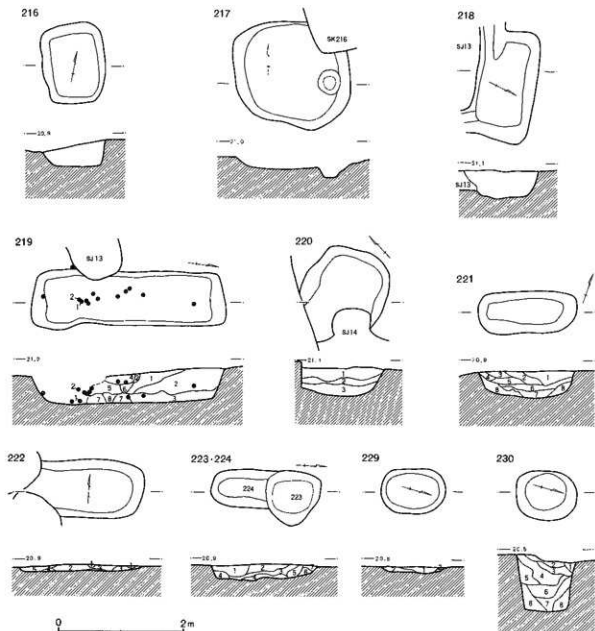
覆土中より、底部周辺回転斡削りの須恵器環の他に、柄片、土師器片が出土した。

第241号土坑(第212図)

CC-8グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.82m、短径0.74m、深さ19cmを測る。主軸方位はN-36°-Eを指す。

覆土中より、土師器片が出土した。

第211図 C区土坑(2)



SK 216 黄褐色土 ロームブロック多き含む 跡まり強い

SK 218 黄褐色土 黄褐色土層多き含む

SK 219

- 1 埴土上 黄褐色土含む 跡まり強い
- 2 埴土上 白色埴土層多き含む 跡まり強い
- 3 黄褐色土 埴土上 跡まり強い
- 4 黄褐色土 黄褐色土層多き含む
- 5 黄褐色土上 埴土・黄褐色土層多き含む
- 6 黄褐色土 埴土・黄褐色土層多き含む
- 7 黄褐色土 埴土層多き含む 跡まり強い
- 8 黄褐色土 埴土・黄褐色土層多き含む 跡まり強い

SK 220

- 1 黄褐色土 黄褐色土層多き含む 跡まり強い
- 2 黄褐色土 黄褐色土層多き含む 跡まり強い
- 3 黄褐色土 黄褐色土層多き含む 跡まり強い

SK 221

- 1 黄褐色土 ローム層多き含む 跡まり強い
- 2 黄褐色土 ローム層多き含む 埴土・黄褐色土層多き含む
- 3 埴土黄褐色土 ローム層多き含む 黄褐色土層多き含む
- 4 黄褐色土 ローム層多き含む
- 5 黄褐色土 ローム層多き含む
- 6 黄褐色土 ローム層多き含む
- 7 黄褐色土 ローム層多き含む 跡まり強い
- 8 黄褐色土 ローム層多き含む

SK 222

- 1 黄褐色土 ローム層多き含む
- 2 黄褐色土 埴土・黄褐色土層多き含む
- 3 黄褐色土 ローム層多き含む
- 4 黄褐色土 ローム層多き含む

SK 223・224

- 1 黄褐色土 ローム層多き含む
- 2 黄褐色土 ローム層多き含む
- 3 埴土黄褐色土 ローム層多き含む 埴土層多き含む
- 4 黄褐色土 ローム層多き含む
- 5 黄褐色土 埴土層多き含む
- 6 黄褐色土 埴土層多き含む
- 7 黄褐色土 ローム層多き含む

SK 229

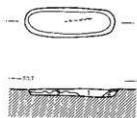
- 1 黄褐色土 埴土層多き含む
- 2 黄褐色土 埴土・黄褐色土層多き含む

SK 230

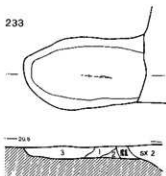
- 1 黄褐色土 ローム層多き含む
- 2 黄褐色土 埴土層多き含む
- 3 黄褐色土 ローム層多き含む
- 4 黄褐色土 ローム層多き含む 埴土・黄褐色土層多き含む
- 5 黄褐色土 ローム層多き含む 埴土層多き含む
- 6 黄褐色土 埴土層多き含む
- 7 黄褐色土 ローム層多き含む
- 8 黄褐色土 ローム層多き含む

第212図 C区土坑(3)

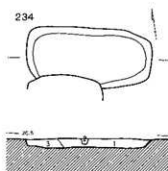
231



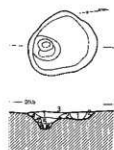
233



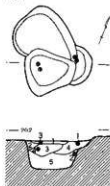
234



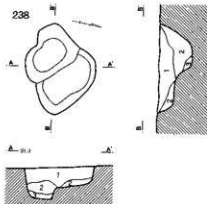
236



237



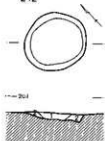
238



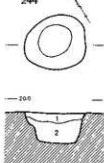
241



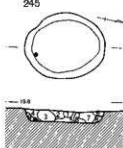
242



244



245



0 2m

SK 231

- 1 褐色土 ロームブロックを含む 締まりなし
- 2 暗褐色土 炭化物多量を含む
- 3 褐色土 ローム粒子多く、炭化物が含む

SK 233

- 1 褐色土 白色炭粒子多量を含む 締まり強い
- 2 暗褐色土 締まり強い
- 3 褐色土 炭褐色土粒子多く含む 締まり強い

SK 234

- 1 暗褐色土 炭褐色土ブロック状、炭化材料多量を含む 締まり強い
- 2 暗褐色土 炭褐色土ブロック、炭化材料多量を含む 締まり強い
- 3 褐色土 白色炭粒子多く含む 締まり強い

SK 236

- 1 褐色土
- 2 暗褐色土 炭褐色土粒子多量を含む
- 3 暗褐色土 締まりや強い
- 4 褐色土
- 5 暗褐色土
- 6 暗褐色土 炭褐色土粒子多量を含む
- 7 暗褐色土
- 8 褐色土 締まりあり

SK 237

- 1 褐色土 塊多量を含む
- 2 暗褐色土 ローム粒子多量を含む
- 3 暗褐色土 炭化物多量を含む
- 4 暗褐色土 炭化物・炭土粒子多く含む
- 5 暗褐色土 炭化物多量、ローム粒子多く含む

SK 238

- 1 褐色土 小塊を含む 締まり強い
- 2 暗褐色土
- 3 褐色土 腐敗

SK 244

- 1 褐色土 褐色土・白色炭粒子多量を含む
- 2 褐色土

SK 241

- 1 暗褐色土 褐色土粒子を含む
- 2 褐色土 褐色土粒子を含む

SK 242

- 1 暗褐色土
- 2 褐色土

SK 245

- 1 暗褐色土 ローム粒子・塊上粒子多量を含む
- 2 褐色土 塊土・炭化物多量を含む 締まり強い
- 3 褐色土 塊土層を含む 締まり強い
- 4 暗褐色土 ローム粒子多量を含む 塊土層を含む
- 5 褐色土 塊土多量を含む 締まり強い
- 6 暗褐色土 塊土多量を含む 締まり強い
- 7 褐色土 ローム粒子多量を含む 塊土・土層片を含む 締まり強い
- 8 暗褐色土 ローム粒子多量を含む
- 9 暗褐色土 ローム粒子・塊土層を含む

第242号土坑(第212図)

CC-8グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.96m、短径0.90m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-44°-Wを指す。

第243号土坑

CC-8グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.10m、短軸0.73m、深さ49cmを測る。主軸方位はN-67°-Wを指す。

第244号土坑(第212図)

CC-8グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.98m、短径0.85m、深さ49cmを測る。主軸方位はN-57°-Wを指す。

出土遺物(第220図5~7)

須恵器環・蓋、土錘の他に、土師器破片が出土した。

5の土錘は、現存長6.8cm、最大径2.2cm、孔径6mm、重さ28.95gを測る。

第245号土坑(第212図)

CB・CC-7グリッドに位置する。第30号住居跡と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.27m、短径1.03m、深さ21cmを測る。主軸方位はN-12°-Wを指す。

覆土中より、土師器破片が出土した。

第246号土坑(第213図)

CB-7グリッドに位置する。平面形は隅丸方形で規模は長軸0.92m、短軸0.76m、深さ21cmを測る。主軸方位はN-16°-Wを指す。

覆土中より、土師器破片が出土した。

第247号土坑

CB-7グリッドに位置する。第31・32・33号住居跡と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.06m以上、短軸0.65m以上、深さ12cmを測る。主軸方位はN-2°-Eを指す。

第250号土坑(第213図)

CC-7グリッドに位置する。第251号土坑と重複する。平面形は長方形を呈し、規模は長軸1.2m以上、短軸0.98m、深さ22cmを測る。主軸方位はN-50°-Eを指す。

第251号土坑(第213図)

CC-7グリッドに位置する。第250・252号土坑と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.15m、短径1.00m、深さ41cmを測る。主軸方位はN-84°-Eを指す。

覆土中より、土師器破片が出土した。

第252号土坑(第213図)

CC-7グリッドに位置する。第36号住居跡及び第251号土坑と重複する。平面形は不整形円形を呈し、規模は長径1.19m、短径1.05m、深さ62cmを測る。主軸方位はN-74°-Wを指す。

出土遺物(第220図8)

暗文土器の土師器環の他に、須恵器環・蓋・甕、土師器甕などの破片が出土した。

第253号土坑(第213図)

CC-7グリッドに位置する。第36・37号住居跡及び第46号溝と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.53m、短軸1.22m、深さ52cmを測る。主軸方位はN-39°-Eを指す。

覆土中より、土師器環・甕・台付甕片が出土した。

第254号土坑(第213図)

CC-7グリッドに位置する。第46号溝と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.07m、短径0.97m、深さ55cmを測る。主軸方位はN-67°-Wを指す。

覆土中より、須恵器環・碗・蓋・甕片が出土した。

第255号土坑(第213図)

CC-6・7グリッドに位置する。第34・35号住居跡と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長径1.45m、短径0.98m、深さ57cmを測る。主軸方位はN-77°-Eを指す。

第256号土坑(第213図)

CC-6グリッドに位置する。第35号住居跡と重複する。平面形は不整形円形を呈し、規模は長軸1.16m、短軸0.76m、深さ40cmを測る。主軸方位はN-17°-Eを指す。

覆土中より、須恵器高台付環・蓋、土師器甕、瓦の破片が出土した。

第257号土坑(第213図)

CC-6グリッドに位置する。第35・38号住居跡と重複する。平面形は不整楕円形を呈し、規模は長軸1.15m、短軸0.60m、深さ55cmを測る。主軸方位はN-86°-Eを指す。

出土遺物(第220図10・11)

須恵器環、土師器甕の他に須恵器蓋片が出土した。

第258号土坑

CC-6グリッドに位置する。第38号住居跡と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.18m以上、短軸0.50m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-53°-Wを指す。

覆土中より、須恵器蓋・甕、土師器の破片が出土した。

第259号土坑(第213図)

CC-6グリッドに位置する。第48号溝と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.13m、短軸0.90m、深さ49cmを測る。主軸方位はN-16°-Eを指す。

覆土中より、須恵器環、土師器破片が出土した。

第260号土坑

CC-7グリッドに位置する。第39号住居跡及び第262号土坑と重複する。平面形は不整楕円形を呈し、規模は長軸1.14m以上、短軸0.70m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-50°-Wを指す。

覆土中より、須恵器蓋・甕、土師器破片が出土した。

第261号土坑(第213図)

CC-7グリッドに位置する。第39号住居跡と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.84m、短径0.69m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-71°-Wを指す。

覆土中より、須恵器環・蓋、土師器破片が出土した。

第262号土坑(第214図・第220図12)

CC-7グリッドに位置する。第39号住居跡及び第260号上好壺と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.56m、短径1.40m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-39°-Wを指す。

覆土中より土師器甕が出土した。

第263号土坑(第214図)

CC-7グリッドに位置する。第39号住居跡及び第48号溝と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.22m、短軸0.84m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-54°-Wを指す。

覆土中より、須恵器環・蓋・甕、土師器甕の破片が出土した。

第264号土坑(第214図)

CC-7グリッドに位置する。第37号住居跡と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.34m、短軸0.84m、深さ26cmを測る。主軸方位はN-52°-Eを指す。

覆土中より、須恵器環・蓋・甕、土師器甕の破片が出土した。

第265号土坑(第214図)

CC-7グリッドに位置する。第37号住居跡と重複する。平面形は不整楕円形を呈し、規模は長軸1.20m、短軸0.70m、深さ32cmを測る。主軸方位はN-15°-Wを指す。

出土遺物(第220図13・14)

須恵器環の他、蓋・甕の破片が出土した。

第267号土坑(第214図)

CC-7グリッドに位置する。第266・268号土坑及び第48号溝と重複する。平面形は長方形を呈し、規模は長軸1.07m、短軸0.80m、深さ26cmを測る。主軸方位はN-27°-Eを指す。

覆土中より、須恵器環・蓋、土師器環・甕の破片が出土した。

第268号土坑(第214図)

CC-7グリッドに位置する。第267号土坑及び第48号溝と重複する。平面形は長方形を呈し、規模は長軸0.96m、短軸0.64m、深さ36cmを測る。主軸方位はN-23°-Eを指す。

覆土中より、須恵器環・蓋の破片が出土した。

第269号土坑(第214図)

CC-7グリッドに位置する。第49号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.36m、短軸0.88

m、深さ26cmを測る。主軸方位はN-23°-Eを指す。

第270号土坑(第214図)

CC-6グリッドに位置する。第49号溝と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.39m、短径0.94m、深さ47cmを測る。主軸方位はN-49°-Wを指す。

出土遺物(第222図17・18)

須恵器環と弥生土器の甕の底部片が出土した。

第271号土坑(第214図)

CC-6・7、CD-6グリッドに位置する。第272号土坑及び第49号溝と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.82m、短径0.81m、深さ22cmを測る。主軸方位はN-27°-Eを指す。

覆土中より、須恵器環・蓋・甕の破片が出土した。

第272号土坑

CC・CD-6・7グリッドに位置する。第271号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸0.72m、短軸0.65m以上、深さ20cmを測る。主軸方位はN-58°-Wを指す。

第273号土坑(第214図)

CD-7グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、東側に浅い土坑がある。規模は長径1.00m、短径0.83m、深さ47cmを測る。主軸方位はN-85°-Wを指す。

出土遺物(第220図19)

須恵器環の他に、高台付環・鉢・蓋、土師器の破片が出土した。

第274号土坑(第215図)

CC-7グリッドに位置する。第48号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.20m、短軸1.03m、深さ40cmを測る。主軸方位はN-49°-Wを指す。

第275号土坑

CC-7グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.80m、短径0.71m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-71°-Eを指す。

第276号土坑(第215図)

CC-7グリッドに位置する。第48号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.15m、短軸0.93m、深さ33cmを測る。主軸方位はN-21°-Eを指す。

第277号土坑(第215図)

CC-8グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長径1.16m、短径1.04m、深さ46cmを測る。主軸方位はN-62°-Wを指す。

第278号土坑(第215図)

CC・CD-8グリッドに位置する。北端でピットと重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.42m、短軸1.00m、深さ56cmを測る。主軸方位はN-3°-Wを指す。

出土遺物(第220図20)

瓦片と土師器片が出土した。

第279号土坑(第215図)

CC・CD-8グリッドに位置する。第29号住居跡と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.13m、短軸0.70m、深さ27cmを測る。主軸方位はN-27°-Eを指す。

覆土中より、土師器片が出土した。

第280号土坑(第215図)

CC-8グリッドに位置する。第29号住居跡と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸0.96m、短軸0.88m、深さ15cmを測る。主軸方位はN-26°-Eを指す。

第281号土坑(第215図)

CD-9グリッドに位置する。第27号住居跡と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.73m以上、短軸0.63m以上、深さ14cmを測る。主軸方位はN-49°-Wを指す。

第282号土坑

CC・CD-8グリッドに位置する。南半は第48号溝と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は東西2.85m、南北1.20m以上、深さ27cmを測る。

第283号土坑

CD-8グリッドに位置する。第284・285号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸4.40m、短軸1.18m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-65°-Wを指す。

第284号土坑

CD-8グリッドに位置する。第283・285・286号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.80m以上、短軸0.90m、深さ10cmを測る。主軸方位はN-63°-Wを指す。

第285号土坑

CD-8グリッドに位置する。第49号溝及び第283・284号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.35m以上、短軸0.40m以上、深さ10cmを測る。主軸方位はN-60°-Wを指す。

第286号土坑

CD-8グリッドに位置する。第284号土坑と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.40m、短軸0.93m、深さ28cmを測る。主軸方位はN-67°-Wを指す。

第287号土坑(第215図)

CD-8グリッドに位置する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸1.29m、短軸1.03m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-62°-Wを指す。

覆土中より、須恵器環・碗の破片が出土した。

第288号土坑(第215図)

CD-8グリッドに位置する。第49号溝と重複する。平面形は隅丸方形を呈し、規模は長軸0.90m、短軸0.76m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-37°-Eを指す。

第289号土坑(第216図)

CD-7グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.15m、短軸0.98m、深さ25cmを測る。主軸方位はN-15°-Eを指す。

第290号土坑

CD-7グリッドに位置する。第54号溝と重複する。平面形は不整形楕円形を呈し、規模は長軸1.56m、短軸0.78m、深さ33cmを測る。主軸方位はN-72°-Wを指す。

第291号土坑(第216図)

CD-7グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.96m、短径0.84m、深さ35cmを測る。主

軸方位はN-77°-Wを指す。

第292号土坑(第216図)

CD-7グリッドに位置する。第50号溝と重複する。平面形は不明で、規模は長軸0.60m以上、短軸0.57m、深さ21cmを測る。主軸方位はN-11°-Eを指す。

出土遺物(第221図16・17)

土鎌の他に、底部全面回転篋削りの須恵器環の底部片が出土した。

第293号土坑(第216図)

CD-6グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.90m、短軸0.54m、深さ23cmを測る。主軸方位はN-79°-Wを指す。

覆土中より、須恵器環、土師器甕破片が出土した。

第294号土坑(第216図)

CD-6グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.92m、短径0.88m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-47°-Wを指す。

第295号土坑(第216図)

CD-6グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.03m、短軸0.58m、深さ65cmを測る。主軸方位はN-12°-Eを指す。

覆土中より、須恵器環・蓋、土師器甕の破片が出土した。

第296号土坑(第216図)

CD-7グリッドに位置する。第52号溝と重複し、切られている。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.79m以上、短軸0.64m、深さ29cmを測る。主軸方位はN-11°-Eを指す。

覆土中より、須恵器環・蓋の破片が出土した。

第297号土坑(第216図)

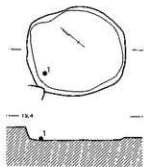
CD-6・7グリッドに位置する。第52号溝と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.09m以上、短軸0.65m、深さ24cmを測る。主軸方位はN-19°-Eを指す。

出土遺物(第221図1)

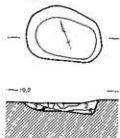
暗文土器の上師器環の他に、須恵器環、土師器甕の破片が出土した。

第214図 C区土坑(5)

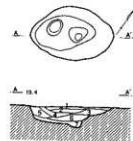
262



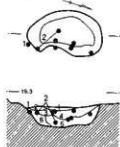
263



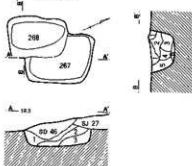
264



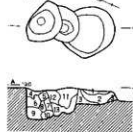
265



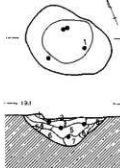
267・268



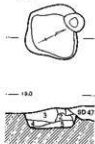
269



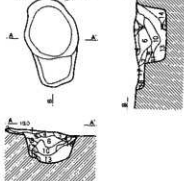
270



271



273



SK 2 6 3

- 1 凝褐色土 ローム粒子が多く、焼土層中に含む
- 2 凝褐色土 焼土多く、ローム粒子、炭化植物中に含む
- 3 凝褐色土 ローム粒子、焼土粒子層中に含む
- 4 凝褐色土 焼土、炭化物中に含む
- 5 凝褐色土 ローム粒子、焼土多く含む

SK 2 6 4

- 1 凝褐色土 焼土層下部
- 2 凝褐色土 焼土層下部
- 3 凝褐色土 焼土、炭化物を含む
- 4 凝褐色土 焼土、炭化物を含む
- 5 凝褐色土 焼土、炭化物を含む
- 6 凝褐色土 炭化物を含む
- 7 凝褐色土 炭化物層下部、焼土あり

SK 2 6 5

- 1 凝褐色土 炭化物、ローム粒子を含む
- 2 凝褐色土 炭化物を含む
- 3 凝褐色土 ローム粒子多く、炭化物、焼土を含む
- 4 凝褐色土 炭化物多く、焼土層下部
- 5 凝褐色土 焼土、炭化物層中に含む、粘質
- 6 凝褐色土 炭化物層下部、粘質

SK 2 6 7

- 1 凝褐色土 焼土層下部を含む
- 2 凝褐色土 焼土層下部を含む、ロームブロックを含む
- 3 凝褐色土

SK 2 6 8

- 1 凝褐色土 焼土粒子、炭化物層中に含む
- 2 凝褐色土 ロームブロック、焼土粒子多く含む
- 3 凝褐色土 ロームブロック多く、焼土層中に含む
- 4 凝褐色土 焼土、炭化物層中に含む
- 5 凝褐色土 ロームブロック、焼土、炭化物層中に含む
- 6 凝褐色土 焼土層中に含む

SK 2 6 9

- 1 凝褐色土 炭化物層下部、ローム粒子層中に含む
- 2 凝褐色土 焼土、炭化物、ローム粒子層中に含む
- 3 凝褐色土 炭化物層下部、ローム粒子層中に含む
- 4 凝褐色土 焼土層下部、ローム粒子層中に含む
- 5 凝褐色土 ローム粒子、ロームブロックを含む
- 6 凝褐色土 ロームブロック多く含む
- 7 凝褐色土 焼土層下部、ローム粒子層中に含む
- 8 凝褐色土 炭化物層下部、ローム粒子層中に含む
- 9 凝褐色土 ローム粒子層中に含む
- 10 凝褐色土 炭化物層下部、凝褐色土層中に含む
- 11 凝褐色土 焼土層下部、ローム粒子層中に含む
- 12 凝褐色土 焼土層下部、炭化物層下部、ローム粒子層中に含む
- 13 凝褐色土 焼土、炭化物層下部、ローム粒子層中に含む

SK 2 7 0

- 1 凝褐色土 ローム粒子層中に含む
- 2 凝褐色土 焼土層下部
- 3 凝褐色土 ローム粒子層中に含む
- 4 凝褐色土 ローム粒子、炭化物層下部を含む
- 5 凝褐色土 ローム粒子、炭化物層下部を含む
- 6 凝褐色土 ローム粒子層下部を含む
- 7 凝褐色土 ローム粒子層下部を含む
- 8 凝褐色土 炭化物層下部



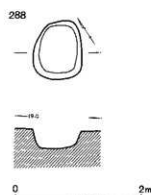
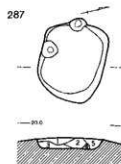
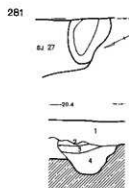
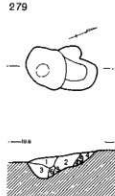
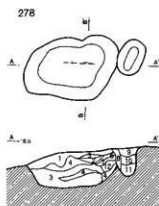
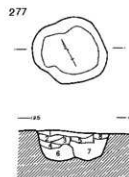
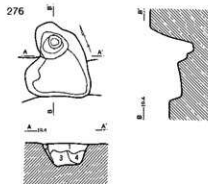
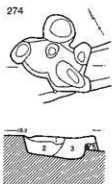
SK 2 7 1

- 1 凝褐色土 ローム粒子層中に含む
- 2 凝褐色土 ローム粒子、焼土、炭化物層中に含む
- 3 凝褐色土 焼土層下部、ローム粒子層中に含む
- 4 凝褐色土 ローム粒子層中に含む
- 5 凝褐色土 ローム粒子層中に含む
- 6 凝褐色土 ローム粒子層中に含む

SK 2 7 3

- 1 凝褐色土 ローム粒子、焼土層下部
- 2 凝褐色土 焼土層下部
- 3 凝褐色土 焼土層下部
- 4 凝褐色土 ローム粒子層中に含む、焼土、炭化物層中に含む
- 5 凝褐色土 焼土、炭化物層中に含む、焼土層あり
- 6 凝褐色土 ローム粒子、焼土、炭化物層中に含む
- 7 凝褐色土 ローム粒子、炭化物層中に含む
- 8 凝褐色土 ローム粒子層中に含む
- 9 凝褐色土 ロームブロック、焼土層下部
- 10 凝褐色土 ローム粒子層中に含む、炭化物層下部
- 11 凝褐色土 ローム粒子層中に含む
- 12 凝褐色土 ローム粒子層中に含む、焼土、炭化物層下部を含む
- 13 凝褐色土 ロームブロック、焼土、炭化物層下部を含む
- 14 凝褐色土 ローム粒子層中に含む、炭化物層下部を含む
- 15 凝褐色土 炭化物層下部を含む、焼土層あり
- 16 凝褐色土 炭化物層下部、焼土層あり
- 17 凝褐色土 炭化物層下部、焼土層あり
- 18 凝褐色土 炭化物層下部、焼土層あり
- 19 凝褐色土 炭化物層下部、焼土層あり

第215図 C区土坑(6)



- SK 274
- 1 暗褐色土 褐色土粒子・赤褐色土屑を含む 締まり強い
 - 2 黄褐色土 黄褐色土・黄褐色土粒子多く含む 締まり強い
 - 3 暗赤褐色土 黄褐色土粒子多く含む
 - 4 暗褐色土
 - 5 褐色土 黄褐色土多く、赤褐色土粒子散在含む

- SK 276
- 1 暗褐色土 黄褐色土屑が多く含む 締まり強い
 - 2 暗褐色土
 - 3 暗褐色土 黄褐色土粒子・黄褐色土屑を、締まりややあり
 - 4 暗褐色土 黄褐色土粒子を含む 締まり強い

- SK 277
- 1 暗赤褐色土 黄土粒子含む
 - 2 暗赤褐色土
 - 3 褐色土
 - 4 暗赤褐色土
 - 5 暗赤褐色土 褐色土多く含む
 - 6 黄褐色土
 - 7 暗赤褐色土 褐色土多く含む
 - 8 暗赤褐色土・ロームブロック混合土

- SK 278
- 1 暗褐色土 黄土多く含む 締まり強い
 - 2 黄褐色土 砂質 締まり弱い
 - 3 暗褐色土 締まり強い
 - 4 暗褐色土 締まり強い
 - 5 暗褐色土
 - 6 暗褐色土 黄土多く含む
 - 7 暗褐色土
 - 8 暗褐色土
 - 9 暗褐色土 黄褐色土・黄土粒子を含む
 - 10 暗褐色土 黄褐色土多く含む
 - 11 褐色土
 - 12 暗褐色土・黄褐色土混合土

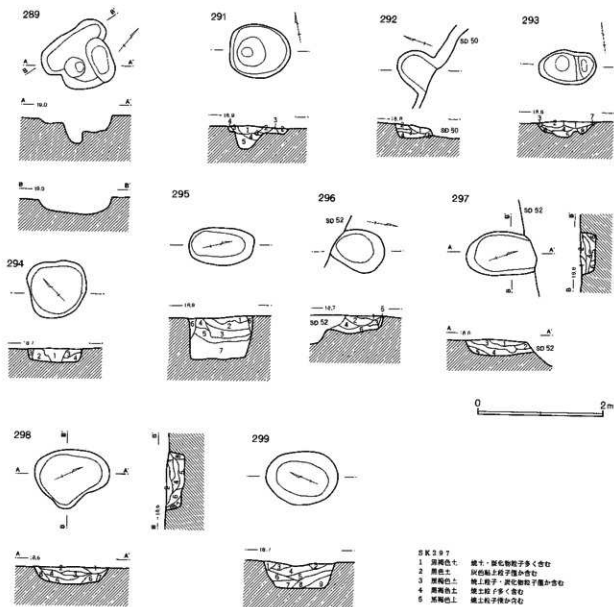
- SK 279
- 1 暗褐色土 黄褐色土粒子を含む やや締まりあり
 - 2 黄褐色土 黄褐色土粒子・褐色土粒子散在含む
 - 3 黄褐色土 黄褐色土含む
 - 4 暗褐色土 締まり強い
 - 5 黄褐色土
 - 6 黄褐色土

- SK 280
- 1 褐色土 白色砂粒子多く含む 締まり強い
 - 2 褐色土 中々締まりあり
 - 3 黄褐色土

- SK 281
- 1 暗褐色土
 - 2 黄褐色土 赤褐色土粒子を含む
 - 3 暗褐色土
 - 4 黄褐色土 黄褐色土粒子多く含む 砂質土

- SK 287
- 1 暗褐色土
 - 2 褐色土
 - 3 褐色土 黄褐色土粒子を含む 締まり強い
 - 4 黄褐色土 締まり強い
 - 5 褐色土 締まりなし

第216図 C区土坑(7)



- SK 291
- 1 黒褐色土 炭化物多量を含む
 - 2 黒褐色土 ローム粒子多量を含む
 - 3 黒褐色土 ローム粒子多量を含む
 - 4 黒褐色土 炭化物多量を含む
 - 5 黒褐色土 ローム粒子・炭化物多量を含む
 - 6 黒褐色土 ローム粒子多量を含む

- SK 292
- 1 黒褐色土 粘土・炭化物多量を含む 網入りなし
 - 2 黒褐色土 網入りあり
 - 3 黒褐色土 ローム粒子・粘土を含む 網入りあり
 - 4 黒褐色土 ロームブロック多量を含む
 - 5 黒褐色土

- SK 293
- 1 黒褐色土 ローム粒子多量、炭化物多量を含む
 - 2 黒褐色土 ローム粒子多量を含む
 - 3 黒褐色土 黒褐色土粒子を含む 粘状あり
 - 4 黒褐色土 ローム粒子多量、炭化物多量を含む
 - 5 黒褐色土 ロームブロック多量を含む
 - 6 黒褐色土 ローム粒子多量、炭化物多量を含む
 - 7 黒褐色土 ローム粒子多量を含む 中粒粘状あり
 - 8 黒褐色土 ローム粒子多量を含む

- SK 294
- 1 黒褐色土 粘土粒子・炭化物土ブロックを含む
 - 2 黒褐色土 ローム粒子多量を含む
 - 3 黒褐色土 炭化物多量を含む
 - 4 黒褐色土 粘土粒子多量を含む

- SK 295
- 1 黒褐色土 粘土・炭化物多量を含む
 - 2 黒褐色土 粘土・炭化物多量を含む
 - 3 黒褐色土 粘土・炭化物多量を含む
 - 4 黒褐色土 炭化物多量を含む
 - 5 黒褐色土 炭化物多量を含む
 - 6 黒褐色土 粘土・炭化物多量を含む
 - 7 黒褐色土 粘土を含む

- SK 296
- 1 黒褐色土 粘土多量を含む
 - 2 黒褐色土 粘土・炭化物多量を含む
 - 3 黒褐色土 粘土粒子多量を含む
 - 4 黒褐色土 粘土・炭化物多量を含む
 - 5 黒褐色土 ローム粒子多量を含む
 - 6 黒褐色土 粘土粒子多量を含む

- SK 297
- 1 黒褐色土 粘土・炭化物多量を含む
 - 2 黒褐色土 炭化物多量を含む
 - 3 黒褐色土 粘土粒子・炭化物多量を含む
 - 4 黒褐色土 粘土粒子多量を含む
 - 5 黒褐色土 粘土粒子多量を含む
 - 6 黒褐色土 粘土粒子多量を含む

- SK 298
- 1 黒褐色土 粘土粒子多量、炭化物多量を含む
 - 2 黒褐色土 粘土粒子・炭化物多量を含む
 - 3 黒褐色土 粘土・炭化物多量、炭化物多量を含む
 - 4 黒褐色土 粘土・炭化物多量を含む
 - 5 黒褐色土 炭化物多量を含む
 - 6 黒褐色土 炭化物多量を含む
 - 7 黒褐色土 粘土粒子多量を含む
 - 8 黒褐色土 粘土・炭化物多量を含む
 - 9 黒褐色土 粘土粒子・炭化物多量、炭化物多量を含む

- SK 299
- 1 黒褐色土 粘土多量、炭化物多量を含む 中粒粘状あり
 - 2 黒褐色土 粘土多量、炭化物多量を含む
 - 3 黒褐色土 粘土・炭化物多量を含む
 - 4 黒褐色土 粘土・炭化物多量を含む
 - 5 黒褐色土 粘土多量、炭化物多量を含む
 - 6 黒褐色土 粘土多量、炭化物多量を含む
 - 7 黒褐色土 粘土多量、炭化物多量を含む
 - 8 黒褐色土 粘土多量、炭化物多量を含む
 - 9 黒褐色土 粘土多量、炭化物多量を含む

第298号土坑(第216図)

CD・CE-7グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈し、規模は長軸1.19m、短軸0.93m、深さ28cmを測る。主軸方位はN-25°-Eを指す。

覆土中より、須恵器環・蓋の破片が出土した。

第299号土坑(第216図)

CD・CE-6グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.16m、短軸0.84m、深さ42cmを測る。主軸方位はN-25°-Wを指す。

覆土中より、須恵器環・蓋、土師器破片が出土した。

第300号土坑(第217図)

CD-6グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.42m、短軸0.65m、深さ25cmを測る。主軸方位はN-74°-Eを指す。

覆土中より、須恵器環の破片が出土した。

第301号土坑(第217図)

CE-6グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.02m、短軸0.66m、深さ33cmを測る。主軸方位はN-26°-Wを指す。

覆土中より、須恵器環・蓋、土師器環の破片が出土した。

第302号土坑(第217図)

CE-6グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.95m、短軸0.64m、深さ41cmを測る。主軸方位はN-24°-Wを指す。

出土遺物(第221図2)

須恵器碗の底部が出土した。

第303号土坑(第217図)

CE-6グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.28m、短軸0.89m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-17°-Wを指す。

出土遺物(第221図3~5・18)

須恵器環・蓋、土師の他に、土師器破片が出土した。

第304号土坑(第217図)

CE-6グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.19m、短軸0.69m、深さ27cmを測る。主軸方位はN-52°-Wを指す。

覆土中より、須恵器環・蓋の破片が出土した。

第305号土坑(第217図)

CE-7グリッドに位置する。第55号溝と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.63m、短径0.56m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-70°-Eを指す。

覆土中より、須恵器片、土師器片が出土した。

第306号土坑(第217図)

CE-7グリッドに位置する。第55号溝と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.20m、短軸0.68m、深さ26cmを測る。主軸方位はN-50°-Eを指す。

覆土中より、須恵器環・蓋、土師器環の破片が出土した。

第307号土坑(第217図)

CF-7・8グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.33m、短軸0.57m、深さ22cmを測る。主軸方位はN-65°-Eを指す。

第308号土坑(第217図)

CF-7グリッドに位置する。第309号土坑及び第5号竪穴状遺構と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.83m以上、短軸0.65m、深さ13cmを測る。主軸方位はN-68°-Eを指す。

第309号土坑(第217図)

CF-7グリッドに位置する。第308号土坑及び第5号竪穴状遺構と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.77m、短軸0.43m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-43°-Wを指す。

覆土中より、須恵器環、土師器の破片が出土した。

第311号土坑

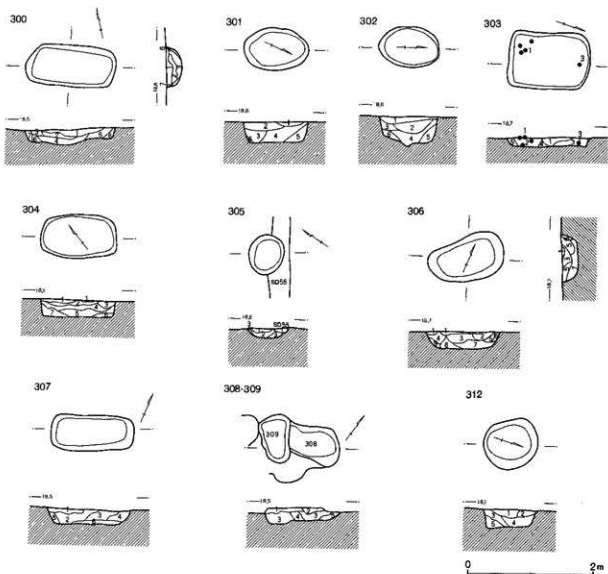
CF-7グリッドに位置する。第5号竪穴状遺構と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.73m、短軸0.59m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-67°-Wを指す。

覆土中より、須恵器蓋片が出土した。

第312号土坑(第217図)

CG・CH-6グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.87m、短径0.77m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-24°-Wを指す。

第217図 C区土坑(8)



SX300

- 1 黒褐色土 粘土・灰色粘土含む
- 2 黒褐色土 焼土が多く含む
- 3 黒褐色土 焼土粒子・炭化動物骨を含む
- 4 黒褐色土 焼土粒子が少含む
- 5 黒褐色土 炭化動物骨を含む
- 6 黒褐色土 灰色粘土が多く含む
- 7 黒褐色土 粘土・灰色粘土が多く含む

SX301

- 1 黒褐色土 焼土多く含む
- 2 黒褐色土 焼土・炭化物多く含む
- 3 黒褐色土 焼土多く含む
- 4 黒褐色土 焼土層が少含む
- 5 黒褐色土
- 6 黒褐色土 炭化動物骨を含む

SX302

- 1 黒褐色土 粘土粒子多く、灰色粘土ブロックを含む
- 2 黒褐色土 粘土・炭化物が少含む
- 3 黒褐色土 焼土粒子が多く含む
- 4 黒褐色土 焼土粒子が少、黄褐色土も多く含む
- 5 黒褐色土 炭化動物骨を含む
- 6 黒褐色土 炭化動物骨が少含む

SX303

- 1 黒褐色土 焼土粒子が多く含む 跡まろしい
- 2 黒褐色土 褐色土・黄褐色土が若干含む 跡まろしい
- 3 黒褐色土 褐色土・炭化物が多く含む
- 4 黒褐色土
- 5 黒褐色土
- 6 黒褐色土

SX304

- 1 黒褐色土 粘土粒子が多く含む
- 2 黒褐色土 粘土粒子・炭化物が少含む
- 3 黒褐色土 粘土粒子・炭化物が多く、灰色粘土を含む
- 4 黒褐色土 粘土粒子が多く、炭化動物骨を含む
- 5 黒褐色土 炭化動物骨が少含む
- 6 黒褐色土 炭化動物骨が少含む
- 7 黒褐色土 焼土粒子が多く含む

SX305

- 1 黒褐色土 焼土若干含む 跡まろしい
- 2 黒褐色土 焼土多く、褐色土がブロック状を含む
- 3 黒褐色土 炭化動物骨を含む

SX306

- 1 黒褐色土 灰色粘土粒子が少含む
- 2 灰褐色土 褐色土を含む 粘土質
- 3 黒褐色土 粘土・炭化物粒子が多く含む
- 4 黒褐色土 焼土粒子が少、褐色土粘土粒子が少含む
- 5 黒褐色土 褐色土粘土粒子が少、焼土層が少含む
- 6 黒褐色土 褐色土粘土粒子が少含む
- 7 黒褐色土 粘土・炭化物が少含む
- 8 黒褐色土 褐色土粘土粒子が少含む
- 9 黒褐色土 ローム層土・焼土粒子が少含む

SX307

- 1 黒褐色土 粘土・炭化物が少含む
- 2 黒褐色土 焼土多く含む 跡まろしい
- 3 黒褐色土 焼土層が少含む
- 4 黒褐色土 焼土層が少含む
- 5 黒褐色土 焼土・炭化物が多く含む
- 6 黒褐色土 砂質土

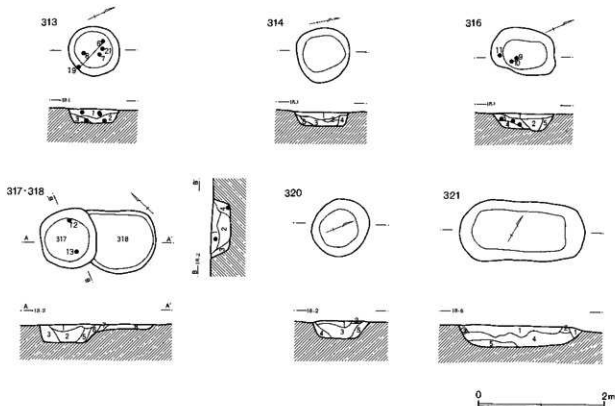
SX308-309

- 1 黒褐色土 褐色土粒子・炭化物が少含む、黒褐色土粘土粒子が少含む 跡まろしい
- 2 黒褐色土 褐色土粒子が少含む
- 3 黒褐色土 褐色土粘土粒子多く、灰色土若干含む 粘土質 跡まろしい
- 4 黒褐色土 粘土質
- 5 黒褐色土 褐色土が多く含む

SX312

- 1 黒褐色土 跡まろしい
- 2 黒褐色土 焼土・炭化物を含む
- 3 黒褐色土 跡まろしい
- 4 黒褐色土
- 5 黒褐色土 粘土質

第218号 C区土坑(9)



SK 313

- 1 黒褐色土 焼土粒多・炭化物粒多を含む 餅まりあり
- 2 黒褐色土
- 3 黒褐色土

SK 314

- 1 黒褐色土 焼土粒多・炭化物粒多を含む
- 2 黒褐色土 焼土層かに含む
- 3 黒褐色土 焼土粒多・炭化物粒多を含む
- 4 黒褐色土 焼土粒多を含む
- 5 黒褐色土 炭化物粒多を含む

SK 316

- 1 黒褐色土 焼土・炭化物粒多を含む
- 2 黒褐色土 炭化物多・焼土層かに含む
- 3 黒褐色土 焼土・炭化物粒多を含む
- 4 黒褐色土 焼土多・炭化物層かに含む
- 5 黒褐色土 炭化物粒多を含む

SK 317・318

- 1 黒褐色土 焼土・炭化物粒多を含む
- 2 黒褐色土 焼土多・炭化物粒多を含む
- 3 黒褐色土 焼土層中を含む
- 4 黒褐色土 焼土・炭化物粒多を含む
- 5 黒褐色土 焼土・炭化物多を含む
- 6 黒褐色土 焼土・炭化物多を含む
- 7 黒褐色土 炭化物層かに含む 中砂粒あり
- 8 黒褐色土 焼土層中を含む 中砂粒あり

SK 320

- 1 黒褐色土 焼土粒多・炭化物層かに含む
- 2 黒褐色土 焼土層かに含む
- 3 黒褐色土 炭化物粒多
- 4 黒褐色土 焼土多・炭化物多を含む
- 5 黒褐色土 炭化物粒多を含む 粘りあり

SK 321

- 1 黒褐色土 ローム粒多・焼土・炭化物多を含む
- 2 黒褐色土 ローム粒多層かに含む
- 3 褐色土 コームブロック・黒褐色土層かに混入
- 4 黒褐色土 ローム粒多・ロームブロック多・炭化物粒多を含む
- 5 黒褐色土 ローム粒多・焼土・炭化物多を含む

覆土中より、須恵器杯・蓋・高台付杯の破片が出土した。

第313号土坑(第218号)

CG・CH-6グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.80m、短径0.77m、深さ22cmを測る。主軸方位はN-24°-Eを指す。

出土遺物(第221図6~8・19~21)

須恵器椀・高台付椀・蓋、土錘の他に、須恵器杯の破片が出土した。

第314号土坑(第218号)

CH-7グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.88m、短径0.86m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-57°-Wを指す。

出土遺物(第221図22・23)

土錘の他に、須恵器杯片、土師器片の他、弥生土器片が出土した。

第316号土坑(第218号)

CH-6・7グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.02m、短軸0.74m、深さ24cmを

測る。主軸方位はN-30°-Eを指す。

出土遺物(第221図9~11)

須恵器環・蓋が出土した。

第317号土坑(第218図)

CH-6グリッドに位置する。第318号土坑と重複し、切っている。平面形は円形を呈し、規模は長径0.98m、短径0.88m、深さ30cmを測る。主軸方位はN-76°-Eを指す。

出土遺物(第221図12~15・24・25)

須恵器環・高台付環、土鏝の他に、須恵器蓋の破片が出土した。

第318号土坑(第218図)

CH-6・7グリッドに位置する。第317号土坑と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.99m、短軸0.96m以上、深さ8cmを測る。主軸方位はN-44°-Wを指す。

覆土中より、須恵器蓋破片が出土した。

第319号土坑

CH-7グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.91m、短径0.75m、深さ8cmを測る。主軸方位はN-76°-Eを指す。

覆土中より、須恵器環の破片が出土した。

第320号土坑(第218図)

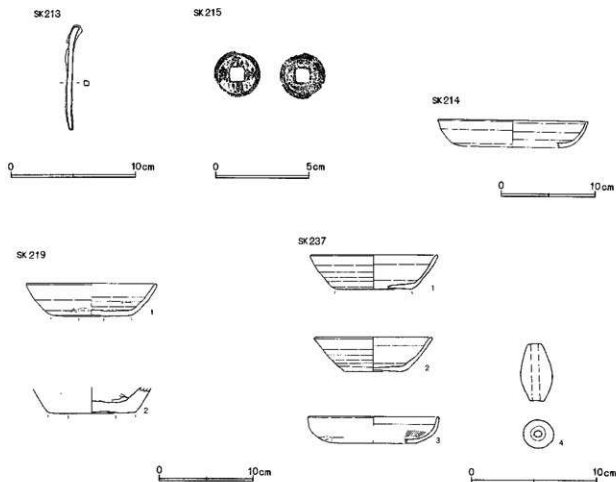
CH-6グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径0.95m、短径0.84m、深さ28cmを測る。主軸方位はN-25°-Eを指す。

覆土中より、須恵器環・蓋・高台付環の破片が出土した。

第321号土坑(第218図)

CI-5・6グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.00m、短軸0.98m、深さ33cmを測る。主軸方位はN-60°-Eを指す。

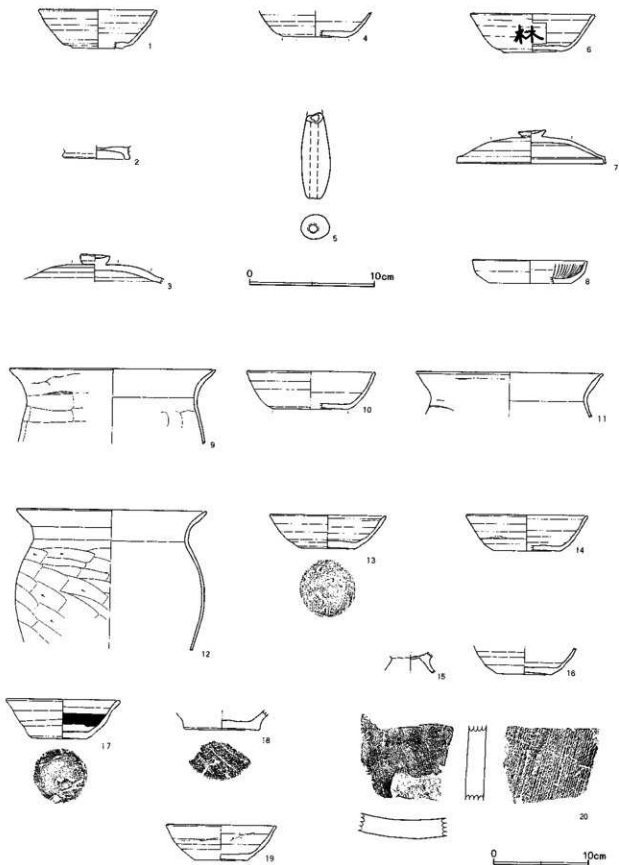
第219図 C区土坑出土遺物(1)



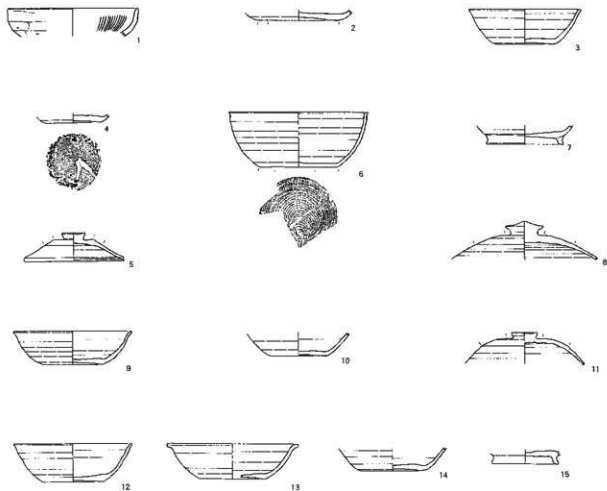
土坑出土遺物観察表(第219図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存%	出土位置・その他
5	須恵器環	(16.0)			S	II	灰黄	15	SK214 体部ロクロ痕顕著
6	環	(14.0)	3.5	(8.4)	ABS	I	灰	30	SK219 RBa 火押痕あり
7	裏			(9.2)	AS	I	鈍い青	25	SK219 底部外周部止範削り 中央に具ナゲ
8	須恵器環	(13.6)	3.6	(8.0)	ABS	I	灰白	30	SK237 RA
9	環	12.6	3.6	6.3	ABCRS	I	灰	100	SK237 RC 糸引き抜き痕体部に及ぶ
10	土師器環	(14.0)			BES	III	橙	10	SK237 内面放射状堆文

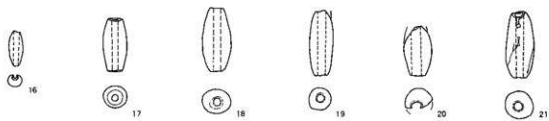
第220图 C区土坑出土文物(2)



第221圖 C区土坑出土遺物(3)



0 10cm



0 10cm

土坑出土遺物観察表(第220図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存%	出土位置・その他
1	須恵器環	(12.6)	4.1	(5.4)	AS	II	鈍い褐	30	SK238 RC
2	高台付環			7.2	ABS	I	褐灰	50	SK238 RC 高台貼付
3	蓋				ABRS	I	灰	30	SK238 天井部右回転蓋削り 径径3.2cm
4	須恵器環			(7.0)	ABS	I	灰	25	SK239 RBb
6	環	13.3	4.1	6.3	ABS	II	灰黄	100	SK244 RC 体部外面蓋書「林」
7	蓋	(16.0)	3.5		AS	I	灰白	60	SK244 天井部右回転蓋削り(銀蓋部まで) 径径2.9cm
8	土師器環	(12.3)	2.4	(8.6)	BES	II	橙	10	SK252 内面放射状暗文
9	土師器甕	(22.0)			BEKS	II	明赤褐	10	SK245 体部外面横方向蓋削り 内面摺ナデ
10	須恵器環	(13.8)	4.0	(8.0)	S	I	灰	15	SK257 RA
11	土師器甕	(20.0)			BEJS	II	鈍い橙	10	SK257 体部外面横方向蓋削り
12	土師器甕	(20.2)			BITIS	II	橙	40	SK262 体部外面横方向蓋削り
13	須恵器環	(12.4)	3.5	6.1	AS	I	灰白	70	SK265 RC
14	環	(13.0)	3.8	(7.0)	ABS	I	灰白	30	SK265 RC
15	環			5.8	ABS	I	鈍い褐	35	SK266 RC
16	土師器 高台付甕				EJS	II	橙	100	SK266 胴部←方向の蓋削り
17	須恵器環	12.2	4.2	5.7	ABCRS	III	灰黄	60	SK270 RC 体部内面中央付近油漬付香
18	甕			8.0	BRS	I	橙	底部のみ	SK270 底部木葉痕
19	須恵器環	(11.8)	3.7	5.6	ABS	I	灰	45	SK273 I.C 糸引き抜き痕あり

第287号土坑出土瓦観察表(第220図)

番号	凹面		凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調	
	在日本数	模件収縮	明き	特徴						
20			ヘラナデ	細かい縄印き 1.1cm/5本			1.9	RS	I	黄灰

土坑出土遺物観察表(第221図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存%	出土位置・その他
1	土師器環	(14.0)			BJS	II	橙	10	SK297 内面放射状暗文
2	須恵器輪			8.5	ABS	I	灰白	55	SK302 RBb
3	須恵器環	(12.0)	3.7	6.3	ARS	I	灰黄	60	SK303 RC
4	環			5.8	ABRS	I	灰	100	SK303 RC 篋記号「ハ」
5	蓋	(10.7)	3.0		ABS	I	灰	35	SK303 天井部「車」なまのクロコナデ 胴部右回転蓋削り
6	須恵器輪	(14.8)	5.8	(8.4)	ABRS	I	灰	30	SK313 RBb 篋記号「一」 器形やや歪みあり
7	高台付輪			8.2	AS	I	灰	50	SK313 回転糸切り後右回転蓋削り 高台貼付
8	蓋				ACS	I	灰	30	SK313 天井部右回転蓋削り 径径4.0cm
9	須恵器環	(12.6)	3.5	6.5	ABS	I	灰	50	SK316 RC
10	環			6.0	ABRS	I	灰	80	SK316 RC
11	蓋				ABRS	I	灰	30	SK316 天井部右回転蓋削り 径径2.8cm
12	須恵器環	(12.6)	4.0	6.6	ARS	II	灰白	40	SK317 RC
13	環	(14.0)	3.7	(7.2)	ABS	I	灰	25	SK317 RC
14	環			6.4	ABRS	II	灰	60	SK317 RC 糸引き抜き痕あり
15	高台付環			7.1	ABRS	I	灰	100	SK317 RC 高台貼付

土坑出土土鐘計測表(第221図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)	番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
16	2.7	1.1	3.5	1.88	21	5.2	2.2	6	21.53
17	4.2	1.9	4.5-5	14.32	22	3.9	1	4-4.5	2.96
18	5.1	2.3	5.5-6	20.58	23	4.8	0.9	3-4	3.12
19	5.1	1.8	5.5-6	14.83	24	(2.9)	0.9	3-3.5	(2.38)
20	(3.9)	2.2	5	(10.96)	25	4.3	1.6	6	10.6

(4) 井戸跡

第1号井戸跡(第222図)

AS・AT-25グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.92m、短径1.75mを測る。断面形はロート状である。主軸方位はN-33°Wを指す。

第2号井戸跡(第222図)

AW・AX-23グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長径3.04m、短径2.71mを測る。断面形はロート状である。主軸方位はN-27°Wを指す。

出土遺物(第225図)

覆土中より、須恵器環と土鍬が出土した。2の土鍬は、長さ3.2cm、最大径0.9cm、孔径2.5mm、重さ1.73g。

第3号井戸跡(第222図)

BA-24グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.92m、短軸1.40mを測る。断面形はロート状である。主軸方位はN-19°Eを指す。

第4号井戸跡(第223図)

BE-20グリッドに位置する。第68号土坑に西辺を切られる。平面形は隅丸方形を呈し、規模は東西2.17m、南北1.86mを測る。断面形は筒状である。主軸方位はN-75°Wを指す。

出土遺物(第225図)

覆土上層に集中するが、大小2種類のかかわりが出土した。

第5号井戸跡(第222・225図)

BF-20グリッドに位置する。第78・79・80号土坑と重複する。平面形は長方形を呈し、規模は長軸2.33m、短径1.43mを測る。断面形はロート状である。主軸方位はN-80°Wを指す。

覆土中より、刀子と中世土器片が出土した。

第6号井戸跡(第223図)

BK・BL-18グリッドに位置する。第139・141号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.14m、短径1.33mを測る。断面形はロート状で、深さは1.2m以上を測る。主軸方位はN-25°Wを指す。

覆土中より、中世土器片が出土した。

第7号井戸跡(第223図)

BL-18グリッドに位置する。東側は調査区域外にかけ、西側では第156・157号土坑と重複している。平面形は円形を呈するものと思われ、規模は長径2.30m、短径1.62m以上を測る。断面形はロート状である。主軸方位はN-63°Wを指す。

出土遺物(第225図)

覆土上層から、かわらけが大小2種類、饗の他に、須恵器破片、土師器破片が出土した。

第8号井戸跡(第224図)

BX-11グリッドに位置する。第39・40号溝と重複する。平面形は円形を呈し、規模は長径1.05m、短径0.96mを測る。断面形は筒状である。主軸方位はN-19°Wを指す。

第9号井戸跡(第224図)

CA-8グリッドに位置する。第16・18号住居跡を切っている。平面形は円形を呈し、規模は長径1.87m、短径1.66mを測る。断面形はロート状である。主軸方位はN-20°Eを指す。

出土遺物(第225図)

覆土中より、須恵器環・椀、土師器台付甕が出土した。

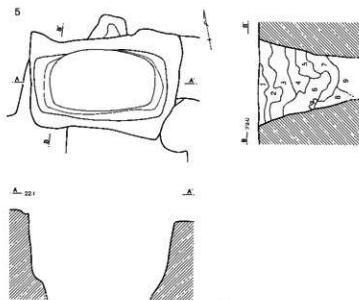
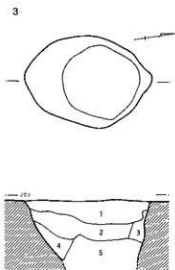
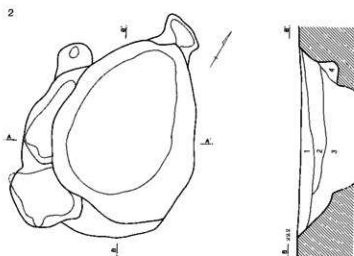
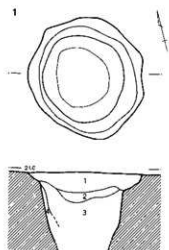
第10号井戸跡(第224図)

CD-6グリッドに位置する。第50号溝と重複し、切っている。平面形は円形を呈し、規模は長径1.27m、短径1.26mを測る。断面形はロート状である。主軸方位はN-23°Eを指す。

出土遺物(第225図)

覆土中より、饗の他に、須恵器環・蓋、土師器饗の破片が出土した。

第222図 井戸跡(1)



第21

- 1 原色土 ロームブロック多く含む
- 2 黄褐色土 ローム粒子・褐色土含む
- 3 黄褐色土 褐色土含む
- 4 原色土 ローム粒子含む

第22

- 1 黄褐色土 褐色土粒子・黄褐色土粒子多く含む 締まり強い
- 2 暗赤褐色土 褐色土粒子・黄褐色土粒子多く含む 締まり強い
- 3 黄褐色土 褐色土粒子・黄褐色土粒子多く含む 締まり強い
- 4 黄褐色土 褐色土粒子多く含む
- 5 暗赤褐色土 黄褐色土粒子多く含む

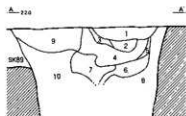
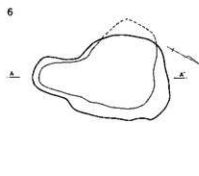
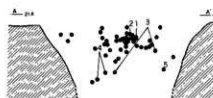
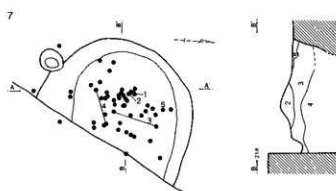
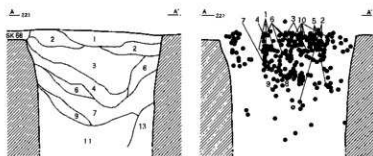
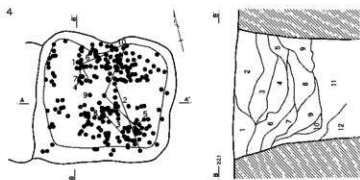
第23

- 1 黄褐色土 ローム粒子多く含む 中締まり
- 2 黄褐色土 ロームブロック多く含む 中締まり
- 3 黄褐色土 ローム粒子多く含む
- 4 黄褐色土 締まり強い
- 5 黄褐色土 ローム粒子下含む 黄粒

第25

- 1 黄褐色土 ローム粒子・砂粒子、炭化植物下含む 中締まりあり
- 2 黄褐色土 ロームブロック・小礫多く含む 中締まりあり
- 3 黄褐色土 ロームブロック・炭化植物粒子多く、小礫含む 中締まりあり
- 4 黄褐色土 ロームブロック多量、炭化植物、小礫含む 締まりなし
- 5 黄褐色土 ロームブロック少量、締まり強い
- 6 黄褐色土 ローム粒子、炭化植物粒子若干、小礫少し含む 中締まり強い
- 7 褐色土 ロームブロック・小礫多く含む 中締まり強い
- 8 黄褐色土 ローム粒子・砂礫少し含む 中締まり強い
- 9 褐色土

第223図 井戸跡(2)



N E 4

- 1 黒褐色土 ローム粒子・炭化物粒子・腐食む 腐りあり
- 2 黒褐色土
- 3 黒褐色土 ローム粒子・炭化物粒子・小腐食む やや腐りあり
- 4 黒褐色土 小腐食し含む 腐り弱い
- 5 黒褐色土 小穴・腐食平含む
- 6 黒褐色土 ローム粒子・小腐・腐食む やや腐りあり
- 7 黒褐色土 ローム・腐食む やや腐りあり
- 8 黒褐色土 腐食む
- 9 黒褐色土 ローム粒子多く含む 腐り弱い
- 10 黒褐色土 ロームブロック含む 腐りあり
- 11 黒色土 ローム少し含む 腐り弱い
- 12 黒色土 ローム少し含む 腐り弱い
- 13 黒色土 ローム多く含む やや腐りあり

S E 6

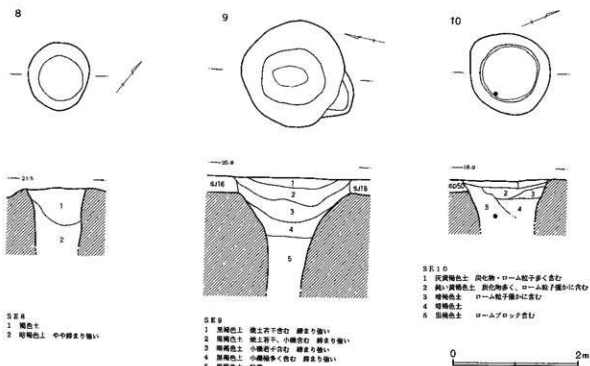
- 1 暗黄褐色土
- 2 黄褐色土 砂礫多く含む 腐りあり
- 3 砂礫色土 砂礫多量含む 腐りあり
- 4 暗褐色土
- 5 褐色土
- 6 黒褐色土 腐食色層を含む
- 7 暗褐色土 腐食色層を含む
- 8 褐色土
- 9 暗褐色土 褐色土粒子・炭化物粒子を含む 腐りあり
- 10 暗褐色土 褐色土層を含む 腐りあり

S E 7

- 1 暗褐色土 小腐食む
- 2 黒褐色土 腐土多量含む
- 3 黒褐色土 粘土・炭化物等に含む
- 4 黒色土 炭化物多量、ローム粒子含む
- 5 暗褐色土 粘土・ローム粒子含む
- 6 黒褐色土 ローム粒子多く含む

0 2m

第224図 井戸跡(3)



第2号井戸跡出土遺物観察表(第225図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	その他
1	須臾器環	(12.0)	3.9	(7.2)	S	I	灰	30	RC

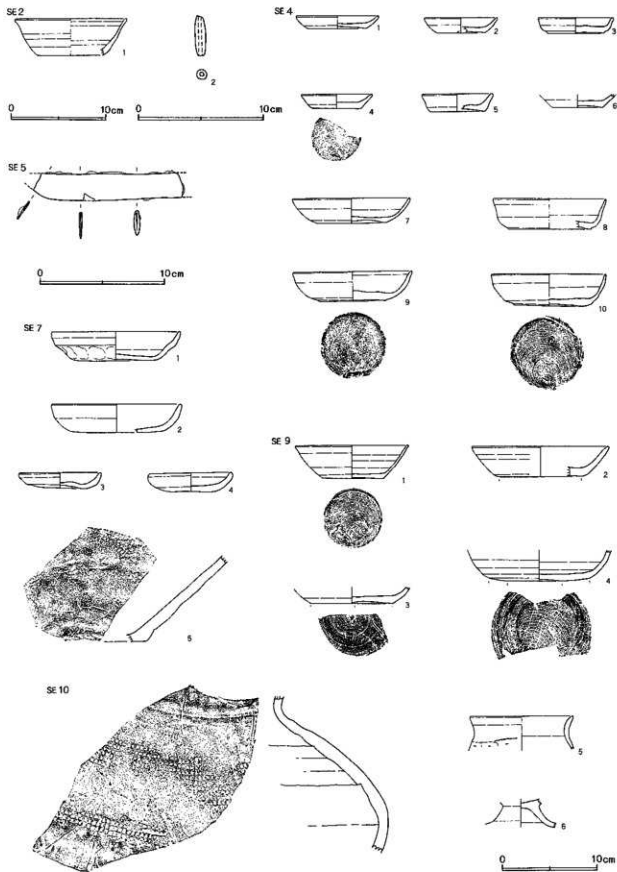
第4号井戸跡出土遺物観察表(第225図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	その他
1	かわらけ	(8.8)	1.3	6.2	BS	II	鈍い橙	40	RC 底部内面工具ナゲ底
2	かわらけ	(7.8)	1.6	(5.0)	BS	I	橙	45	RC ロクロ水挽き痕顯著 底部内面工具ナゲ底
3	かわらけ	(8.0)	1.6	(6.0)	BS	III	浅黄橙	60	右回転糸切り後一方向底ナゲ
4	かわらけ	7.6	1.5	5.2	BS	I	橙	55	LC ロクロ水挽き痕顯著 底部内面ナゲ底
5	かわらけ	7.6	1.9	5.8	AS	II	橙	50	回転糸切り
6	かわらけ			5.3	BS	I	鈍い黄橙	40	LC 底部内面工具ナゲ底
7	かわらけ	(12.6)	2.6	(7.2)	BS	II	浅黄橙	60	RC ロクロ水挽き痕顯著 底部内面指ナゲ
8	かわらけ	(12.0)	3.2	(8.8)	B	II	橙	25	底部調整不明瞭
9	かわらけ	(12.6)	3.1	7.0	AS	II	橙	60	RC 底部糸切り後一方向底ナゲ
10	かわらけ	12.3	3.5	7.5	BS	II	鈍い橙	85	RC ロクロ水挽き痕顯著 底部内面外周工具ナゲ底

第7号井戸跡出土遺物観察表(第225図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	その他
1	かわらけ	(13.8)	3.0	(8.0)	BS	II	橙	40	底部外面一方向指ナゲ 底部外面指頸整形
2	かわらけ	(14.0)	3.0	(10.0)	AJ	III	鈍い橙	10	整形不明
3	かわらけ	8.8	1.7	4.8	ABS	I	橙	80	底部外面指ナゲ 内面のみクロ痕顯著
4	かわらけ	8.7	2.0		S	III	橙	80	
5	甕				BRS	I	灰白	破片	底部外面格子叩き

第225図 井戸跡出土遺物



第9号井戸跡出土遺物観察表(第225図)

番号	器種	口径	器高	底径	粘土	焼成	色調	残存率	その他
1	須恵器環	12.1	3.5	6.4	ABS	I	鈍い黄緑	80	RC
2	環	(14.6)	3.3	8.2	AB	I	黄灰	15	LA 体部下端箇所整
3	環			(8.6)	AS	I	灰白	40	LBa 中央部削り残し
4	筒			10.6	ABS	I	灰白	45	RbB 焼記号「H」
5	土師器 台付甕	(11.0)			CEJS	II	鈍い赤褐	10	
6	台付甕				BCEPJ	II	鈍い粉	85	外面煤付着

第10号井戸跡出土遺物観察表(第225図)

番号	器種	口径	器高	底径	粘土	焼成	色調	残存率	その他
	甕				HS	I	灰白	破片	肩部外面格子叩き後換方面ナデ消し 内面横ナデ 頸部・胴部下半鈍い赤褐色を呈する。

4 その他の遺構と遺物

(1) 溝

第1号溝(第226・227図)

AP・AQ-26グリッドに位置する。溝北端は調査区域外に延び、また南端は確認できなかった。第2号溝とはほぼ平行に延びている。確認できた長さは約11m、幅約1.2~2.0m、深さ約36cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第2号溝(第226・227図)

AP・AQ-26グリッドに位置する。溝北端は調査区域外に延び、また南端は確認できなかった。第1号溝とはほぼ平行に延びている。確認できた長さは約11m、幅約0.5~1.2m、深さ約22cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第3号溝(第226・227図)

AQ-27グリッドに位置する。溝南端は第5号溝と重複する。確認できた長さは約7m、幅約0.5~0.9m、深さ約10cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第4号溝(第226・227図)

AQ・AR-28グリッドに位置する。溝北端は第4・5号土坑に切れ、第6・7・9号土坑及び第5・6・7・8・10号溝と重複している。確認できた長さは約19m、幅約0.4~2.4m、深さ約22cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第5号溝(第226・227図)

AQ-27・28、AR-27グリッドに位置する。第3・4号溝と重複する。確認できた長さは約7.5m、幅約

0.5m、深さ約14cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第6号溝(第226・227図)

AQ-27、AR-27・28グリッドに位置する。溝東端で第4号溝と重複する。確認できた長さは約8m、幅約0.7m、深さ約14cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第7号溝(第226・227図)

AR-27・28グリッドに位置する。第4・10号溝及び第8号土坑と重複する。確認できた長さは約9.5m、幅約0.8m、深さ約10cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第8号溝(第226・227図)

AR-26・27・28、AS-26グリッドに位置する。第4・7・10号溝と重複する。確認できた長さは約22m、幅約1.3~1.8m、深さ約40cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

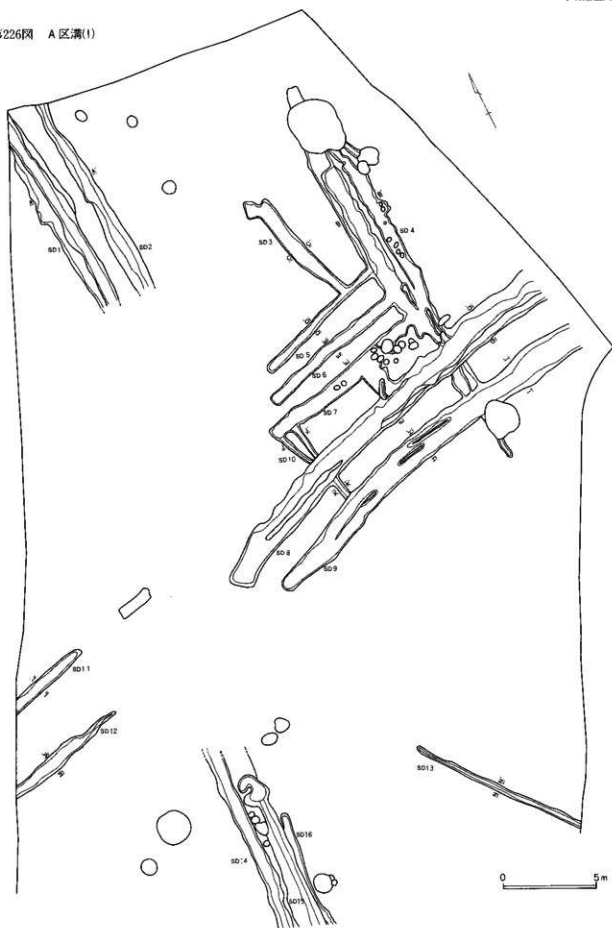
第9号溝(第226・227図)

AR-27・28、AS-26・27グリッドに位置する。第4・10号溝及び第9号土坑と重複する。確認できた長さは約20.5m、幅約1.3~1.8m、深さ約26cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

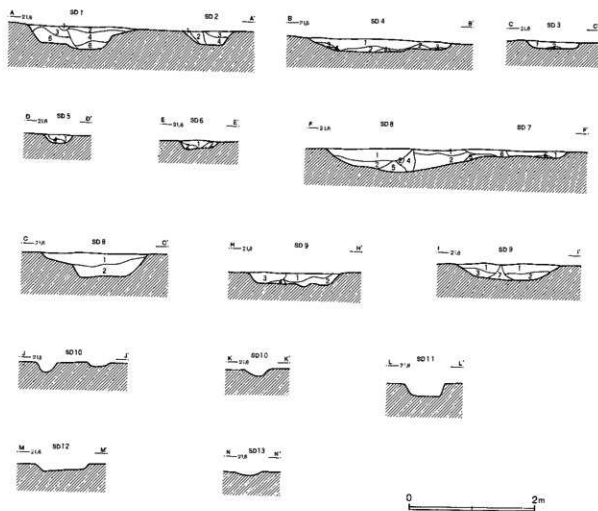
第10号溝(第226・227図)

AR-27グリッドに位置する。第7・8・9号溝と重複する。確認できた長さは約4.5m、幅約0.4m、深さ約12cmを測る。断面形は皿状を呈する。

第226网 A区溝(1)



第227図 A区溝(2)



- SD 1 (A-A')
- 1 灰褐色土 粘土質
 - 2 灰褐色土 粘まり強い
 - 3 褐色土 粘まりあり
 - 4 黒褐色土 褐色土状む やや粘まりあり
 - 5 黒褐色土 粘まりあり
 - 6 黒褐色土
- SD 2 (A-A')
- 1 黒褐色土 ロームブロック状む
 - 2 黒褐色土 褐色土・褐色土状む やや粘り
 - 3 黒褐色土 褐色土多く含む
 - 4 黒褐色土 褐色土・粘り少含む

- SD 4
- 1 黒褐色土 灰褐色土粘土多含む 粘まり強い
 - 2 黒褐色土 灰褐色土 褐色土状む 粘まり強い
 - 3 褐色土 褐色土・灰褐色土多含む 粘まり強い
 - 4 褐色土 粘り質
- SD 3
- 1 黒褐色土 灰褐色土粘土多含む 粘まり強い
 - 2 褐色土 粘り質

- SD 5-9
- 1 褐色土 褐色土粘土多含む 粘まり強い
 - 2 黒褐色土 褐色土・灰褐色土多含む 粘り強い
 - 3 黒褐色土 粘まり強い
 - 4 黒褐色土 粘り質
 - 5 褐色土 粘り質
 - 6 褐色土 粘り質
 - 7 褐色土 粘り質

第11号溝(第226・227図)

AR・AS-25グリッドに位置する。溝西端は調査区域外にあり、第12号溝とはほぼ平行に伸びている。確認できた長さは約4.5m、幅約0.6m、深さ約24cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第12号溝(第226・227図)

AS-25グリッドに位置する。溝西端は調査区域外にあり、第12号溝とはほぼ平行に伸びている。確認できた長さは約7m、幅約0.3~0.9m、深さ約12cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第13号溝(第226・227図)

AT-27グリッドに位置する。溝東南端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約9.5m、幅約0.4m、深さ約8cmを測る。断面形は皿状を呈する。

第14号溝(第228～230図)

AS・AT-26、AU・AU-25・26、AW・AX・AY・AZ・BA・BB-25グリッドに位置する。溝北端は確認できず、南端は調査区域外に延びている。溝の北側では第15・16号溝と平行しており、第17号溝を切っている。溝の南側では第15・21・22号溝と平行して延びている。確認できた長さは約83m、幅約0.9m、深さ約28～65cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第15号溝(第228～230図)

AS・AT・AU-26、AU・AW-25・26、AX・AY・AZ・BA・BB-25グリッドに位置する。溝北端は確認できず、南端は調査区域外に延びている。溝の北側では第14・16号溝と平行し、AW-25グリッドで二股に分かれ、東端は調査区域外に延びている。溝の南側では第14・21・22号溝と平行して延びている。確認できた長さは約81m、幅約1.5m、深さ約35～60cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第16号溝(第228・229図)

AT・AU・AU-26・AW-25・26グリッドに位置する。第14・15号溝と平行し、溝南端は確認できなかった。確認できた長さは約31m、幅約0.5m、深さ約14cmを測る。断面形は皿状を呈する。

第17号溝(第228・229図)

AU-24～26グリッドに位置する。溝西端は調査区域外に延び、東端は第14号溝に切られている。確認できた長さは約17.5m、幅約0.8m、深さ約28cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第18号溝(第228・229図)

AW-26グリッドに位置する。溝東端は調査区域外に延び、西端は第22号七坑を切って調査区域外に延びている。確認できた長さは約4m、幅約0.6m、深さ約40cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第18号溝(第228・229図)

AU-24、AW-23～25、AX-23グリッドに位置する。溝南端は第20号溝及び第26号土坑と重複する。緩やかな弧状に延びており、東端は確認できなかった。確認できた長さは約16m幅は約0.6～0.8m、深さ約30cmを測る。断面形は皿状を呈する。

第20号溝(第228・229図)

AW・AX-23グリッドに位置する。溝北端は調査区域外に延び、南端は第19号溝及び第26号土坑と重複している。確認できた長さは約12m、幅約0.8～1.0m、深さ約15cmを測る。断面形は皿状を呈する。

第21号溝(第230図)

AY・AZ・BA-25、BB-24・25グリッドに位置する。第14・15・22号溝と平行し、溝両端は調査区域外に延び、第14号溝に切られている。確認できた長さは約27m、幅約0.8m、深さ約36cmを測る。

第22号溝(第230図)

AY・AZ・BA-25グリッドに位置する。第14・15・21号溝と平行する。確認できた長さは約18m、幅約0.4～0.8m、深さ約12cmを測る。

第23号溝(第230図)

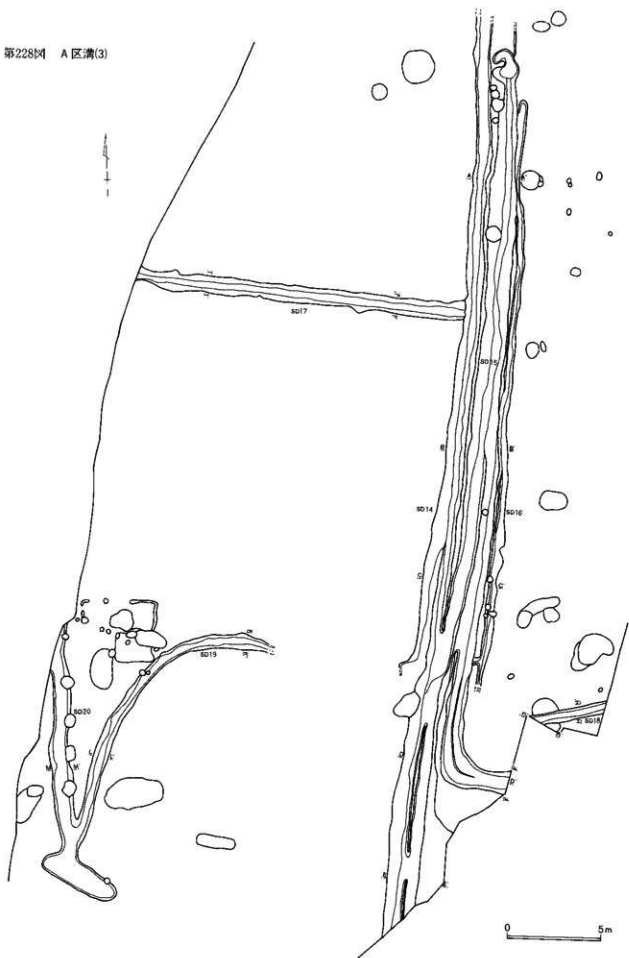
AZ・BA-21グリッドに位置する。溝両端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約4m、幅約0.9m、深さ約50cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第24号溝(第231・232図)

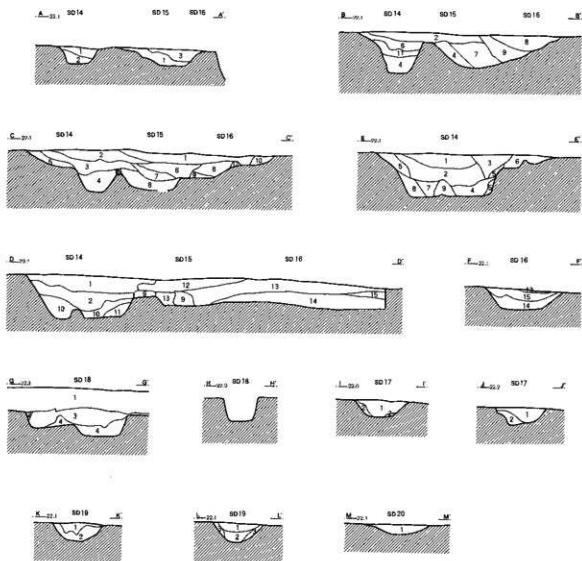
BB-20・21、BC-20～23グリッドに位置する。第25号溝と平行し、東端付近ではこれと重複している。また、第26・27号溝とそれぞれ直交する。溝両端は調査区域外へ延びている。確認できた長さは約31m、幅約2.0～2.4m、深さ約40cmを測る。

第25号溝(第231・232図)

BC-20～23グリッドに位置する。第24号溝と平行し、東端付近ではこれと重複している。また、第26・27号溝とそれぞれ直交する。溝南端は調査区域外へ延びている。確認できた長さは約31.5m、幅約1.1～2.4m、深さ約30cmを測る。断面形は逆台形を呈する。



第229図 A区溝(4)



0 2m

SD 14~16 (A-A')

- 1 赤色土 黄褐色土粒子砂子含む 締まり強い
- 2 黄褐色土 黄褐色土粒子多く含む 締まり強い
- 3 黄褐色土

SD 14~16 (B-B'・C-C')

- 1 黄褐色土 黄褐色土粒子含む
- 2 黄褐色土 黄褐色土粒子・ローム粒子層状含む
- 3 黄褐色土 黄褐色土粒子多く含む 中締まり強い
- 4 黄褐色土 黄褐色土粒子多く含む 砂質
- 5 黄褐色土 黄褐色土粒子多く含む
- 6 黄褐色土
- 7 黄褐色土
- 8 黄褐色土
- 9 黄褐色土
- 10 黄褐色土 黄褐色土粒子多く含む
- 11 黄褐色土 黄褐色土・黄褐色土粒子含む
- 12 ローム・粘土層状含む

SD 14~16 (D-D'・E-E'・F-F')

- 1 黄褐色土
- 2 黄褐色土 黄褐色土粒子多く含む 締まり強い
- 3 黄褐色土 締まりなし
- 4 黄褐色土 締まり強い
- 5 黄褐色土 黄褐色土粒子多く含む
- 6 黄褐色土 黄褐色土粒子多く含む
- 7 黄褐色土 黄褐色土粒子砂子含む 締まり強い
- 8 黄褐色土 黄褐色土粒子砂子含む 締まり強い
- 9 黄褐色土 粘粒 締まりあり
- 10 黄褐色土 黄褐色土粒子多く含む 締まり強い
- 11 黄褐色土 黄褐色土粒子多く含む
- 12 黄褐色土 黄褐色土粒子層状含む 締まり強い
- 13 黄褐色土 黄褐色土粒子層状含む 砂質
- 14 黄褐色土 粘土質
- 15 黄褐色土 粘土

SD 16

- 1 赤褐色土 粘土
- 2 黄褐色土 赤褐色土含む
- 3 黄褐色土 ローム粒子含む 中締まり
- 4 黄褐色土 ロームブロック多く含む 中締まり 締まりあり

SD 17 (I-I')

- 1 黄褐色土 ロームに褐色土片層状入 粘質
- 2 黄褐色土

SD 17 (J-J')

- 1 黄褐色土 中締まりあり 粘質
- 2 黄褐色土 ローム粒子・ブロック含む 締まりあり

SD 19 (K-K')

- 1 黄褐色土 ロームブロック含む
- 2 黄褐色土 ロームブロック含む 黄褐色土塊状含む

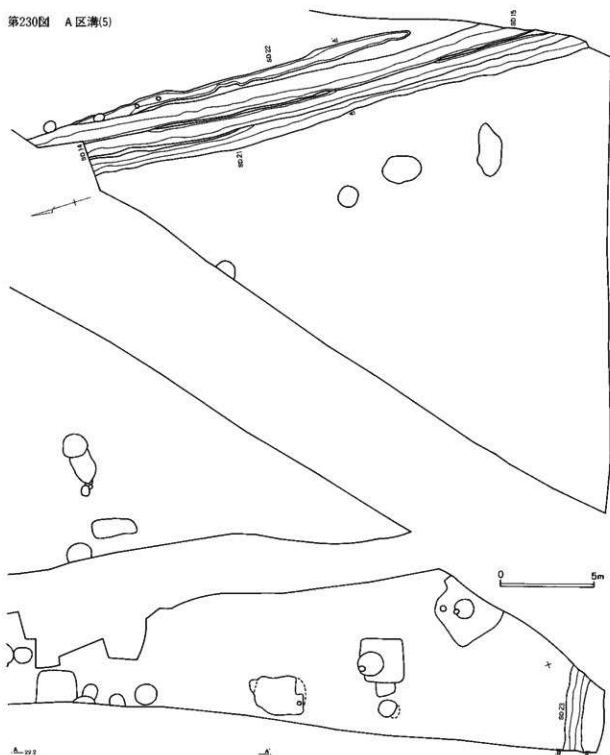
SD 19 (L-L')

- 1 黄褐色土 締まり強い
- 2 黄褐色土 粘質
- 3 黄褐色土

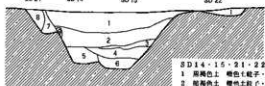
SD 20

- 1 黄褐色土 締まり強い

第230回 A区溝(5)



A-022 8021 8014 8015 8022 A'

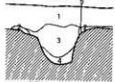


SD 14・15・21・22

- 1 灰褐色土 褐色土粒子・カーボン粒子多量含む 締まり強い
- 2 灰褐色土 褐色土粒子・カーボン粒子多量含む 締まり強い
- 3 暗褐色土 灰褐色土層多量含む
- 4 暗褐色土 灰褐色土・褐色土・灰褐色土粒子多量含む
- 5 暗褐色土 灰褐色土多量含む 灰褐色
- 6 暗褐色土 砂質
- 7 灰褐色土 褐色土粒子・暗褐色土多量含む
- 8 灰褐色土 締まり強い
- 9 褐色土

0 2m

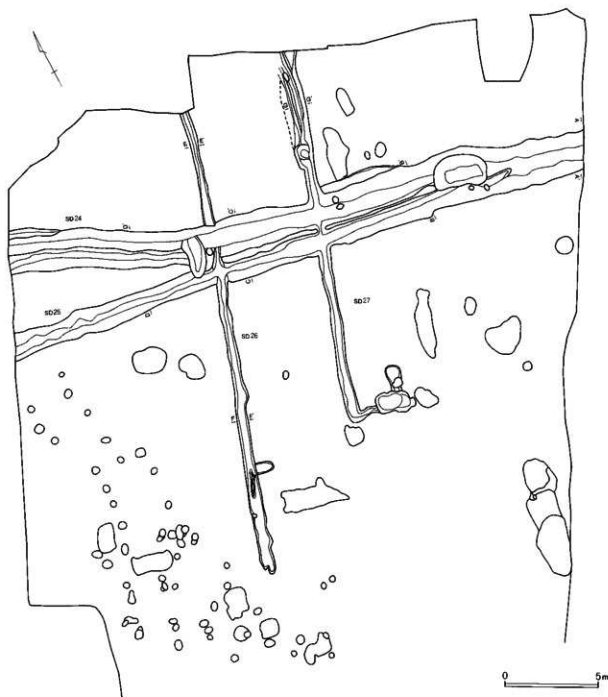
B-023 8023 B'



SD 23

- 1 暗褐色土 灰褐色土粒子多量含む 灰褐色
- 2 暗褐色土 灰褐色土粒子多量含む 灰褐色
- 3 暗褐色土 灰褐色土粒子多量含む 灰褐色 中々締まり強い
- 4 暗褐色土 灰褐色土多量含む 灰褐色
- 5 暗褐色土 灰褐色土・褐色土多量含む

第231図 B区溝(1)



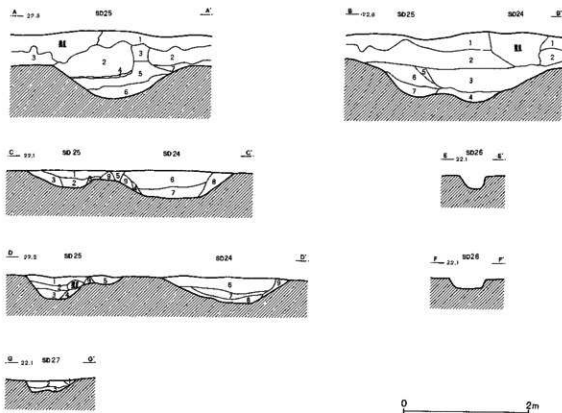
第26号溝(第231・232図)

BB・BC・BD-21グリッドに位置する。溝北端は調査区域外へ延び、BC-21グリッドで第24・25号溝と重複する。第27号溝と平行している。確認できた長さは約25m、幅約0.6m、深さ約20cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第27号溝(第231・232図)

BB-21、BC・BD-20・21グリッドに位置する。溝北端は調査区域外へ延び、BC-22グリッドで第24・25号溝と重複し、第26号溝と平行している。南端は東側へほぼ直角に屈曲し、第51号上坑に切られている。確認できた長さは約20m、幅約0.5m、深さ約16cmを

第232図 B区溝(2)



SD 25 (A-A')

- 1 礫層上
- 2 黒褐色土 小砂利・ローム粒子・粘土多く含む 跡まりあり
- 3 黒褐色土 小砂利・炭化腐植質含む 跡まりあり
- 4 灰褐色土
- 5 黒褐色土 小砂利・炭化腐植質・ローム粒子含む 中々跡まりあり
- 6 黒褐色土 ローム粒子含む 中々跡まりあり
- 7 明褐色土 跡まりなし

SD 24・25 (B-B')

- 1 礫層上
- 2 暗褐色土 黒褐色土粒子・褐色土粒子・赤-ピンク色粒子多く含む 白色粒子状下含む 跡まり強い
- 3 暗褐色土 黒褐色土粒子・褐色土粒子多く含む
- 4 黒褐色土 褐色土多く含む 跡まり中々強い
- 5 暗褐色土 褐色土多く含む 跡まり中々強い
- 6 黒褐色土 黒褐色土粒子多く含む 縦紋
- 7 暗褐色土 黒褐色土粒子多く含む 縦紋

SD 24・25 (C-C')

- 1 暗褐色土
- 2 暗褐色土 黒褐色土粒子状下含む
- 3 暗褐色土 黒褐色土多く含む
- 4 暗褐色土 黒褐色土多く含む
- 5 暗褐色土 中々縦紋
- 6 黒褐色土
- 7 暗褐色土
- 8 暗褐色土 黒褐色土粒子多く含む 縦紋
- 9 暗褐色土

SD 24・25 (D-D')

- 1 黒褐色土 暗褐色土粒子状下含む
- 2 暗褐色土 黒褐色土粒子状下含む 跡まり中々強い
- 3 黒褐色土 黒褐色土粒子・粘土多く含む 縦紋 跡まり中々強い
- 4 暗褐色土
- 5 暗褐色土
- 6 暗褐色土 跡まり強い
- 7 暗褐色土 跡まり強い
- 8 暗褐色土 褐色土・黒褐色土含む 跡まり強い
- 9 暗褐色土 黒褐色土粒子多く含む

SD 27 (G-G')

- 1 暗褐色土 ローム粒子状下含む 跡まりなし
- 2 暗褐色土 小砂利層中に含む
- 3 黒褐色土 ロームブロック多く含む

測る。断面形は逆台形を呈する。

第28号溝(第233・234図)

BG・BH-19~21グリッドに位置する。溝両端は調査区域外へ延びている。確認できた長さは約15m、幅約1.7~2.4m、深さ約0.4~0.5cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

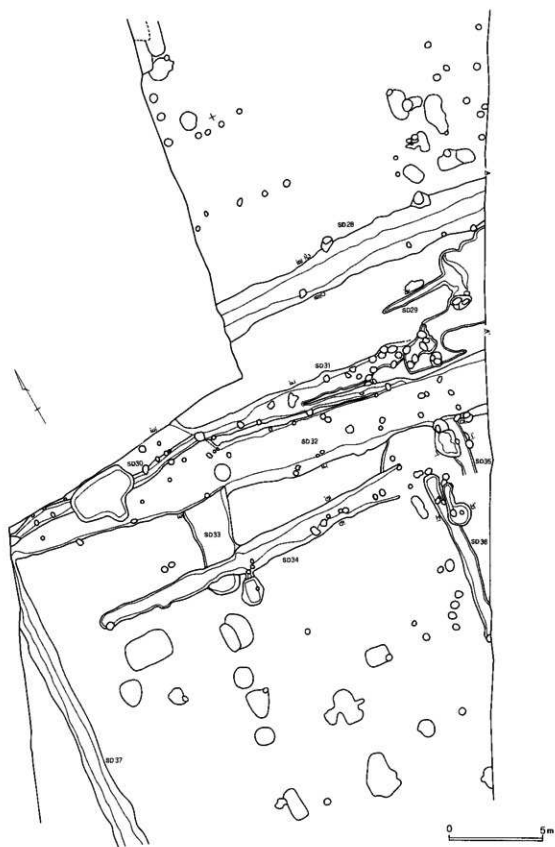
出土遺物(第235図)

板碑が、溝北壁より伏せた状態で出土した。上部は欠損しているが、基部までの遺存全長72cm、幅26.5~

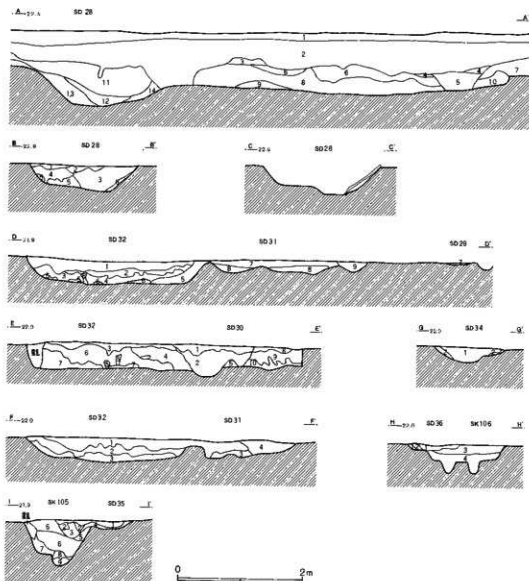
27.0cm、厚さ3.0cm、基部は長さ22cm、幅17cmを測る。

主尊種子はキリク(阿弥陀)で、独尊形式で、月輪と蓮座を持つ。銘文は中央に「應永二年(「乙」,「亥」)十月日」、右側の二行と左側の二行に分かれて、光明真言が記され、右側の二行の梵字の下に「法因禪門」、左側の二行の梵字の下に「逆修敬白」と刻まれている。枠線が施され、割付線が残る。

應永二年は、1395年にあたる。



第234図 B区溝(4)



SD 28 (A-A')

- 1 砂土
- 2 黄土
- 3 褐色土 砂利・砂粒子多く含む 跡まり強い
- 4 黒褐色土
- 5 黒褐色土 ローム粒子・炭化植物干腐付 跡まり強い
- 6 褐色土 ローム粒子多量・小砂利・赤色干腐付付 跡まりあり
- 7 黒褐色土 ローム粒子多量含む 跡まり強い
- 8 褐色土 ローム粒子多量含む 跡まり強い
- 9 褐色土 ローム粒子多量・白色粒干腐付 跡まりあり
- 10 黒褐色土
- 11 黒褐色土 跡まり強い
- 12 黒褐色土 跡まり強い
- 13 黒褐色土 跡まり強い
- 14 褐色土 ローム・砂利を含む 跡まり強い

SD 28 (B-B')

- 1 黒褐色土 小砂・炭化植物干腐付 中々跡まりあり
- 2 黒褐色土 小砂少量含む 中々跡まりあり
- 3 黒褐色土 赤多量含む 跡まりなし
- 4 黒褐色土 炭化植物干腐付干腐付 中々跡まりあり
- 5 褐色土 白色粒干腐付含む 跡まり強い
- 6 黒褐色土 跡まりなし

SD 29 - 31 - 32 (D-D')

- 1 黒褐色土
- 2 黒褐色土 炭二層多く含む
- 3 黒褐色土
- 4 黒褐色土 中々跡まりあり
- 5 褐色土 黒褐色土多量含む
- 6 黒褐色土 褐色土多量含む
- 7 褐色土 褐色土上層干腐付付 跡まり強い
- 8 褐色土 褐色土多量含む
- 9 褐色土 褐色土多量含む
- 10 褐色土 炭化付

SD 30 - 32 (E-E')

- 1 黒褐色土 ローム粒子・白色粒多量含む 跡まりあり
- 2 黒褐色土 小砂多量含む 中々跡まり強い
- 3 黒褐色土 小砂粒干腐付
- 4 黒褐色土 炭化付・ローム粒子多量含む 跡まり強い
- 5 黒褐色土 炭化付・ローム粒子多量含む 跡まり強い
- 6 黒褐色土 炭化付・ローム粒子多量含む 跡まり強い
- 7 黒褐色土 コーム粒子多量含む 跡まりあり
- 8 黒褐色土 ローム粒子多量含む 中々跡まりあり
- 9 褐色土 ローム粒子多量含む 炭化付 中々跡まりあり
- 10 褐色土 炭化付

SD 31 - 32 (F-F')

- 1 黒褐色土 ロームブロック・炭褐色土ブロック含む
- 2 黒褐色土 ロームブロック多量含む
- 3 黒褐色土 赤色炭化付を含む 中々跡まりあり
- 4 黒褐色土 ローム粒子・炭化植物干腐付

SD 34 (G-G')

- 1 褐色土 ローム粒子・炭化植物干腐付
- 2 褐色土

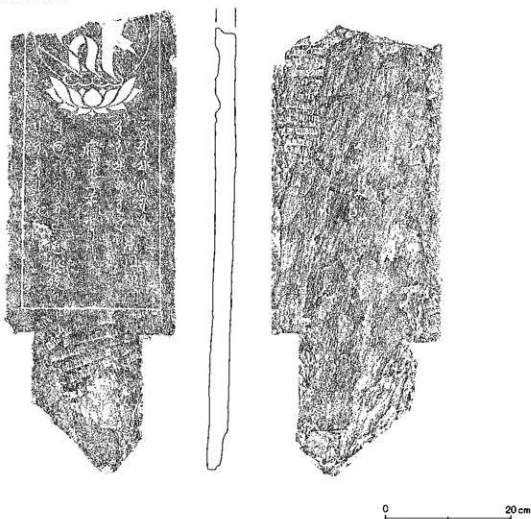
SD 34 - SK 106 (H-H')

- 1 黒褐色土 跡まり中々強い
- 2 黒褐色土
- 3 褐色土 跡まり中々強い
- 4 黒褐色土 黒褐色土多量含む

SD 35 - SK 105 (I-I')

- 1 黒褐色土 ローム粒子多量含む
- 2 褐色土 ローム粒子少量含む
- 3 黒褐色土 褐色土粒子多量含む 中々跡まりあり
- 4 黒褐色土
- 5 褐色土
- 6 褐色土
- 7 褐色土
- 8 褐色土
- 9 黒褐色土

第235図 第28号溝出土板碑



第29号溝(第233・234図)

BH-20グリッドに位置する。溝東端は攪乱されているが、調査区域外へ延びているものと思われる。確認できた長さは約3.8m、幅約0.3m、深さ約4cmを測る。断面形は皿状を呈する。

第30号溝(第233・234図)

BH-17~20グリッドに位置する。第31・32号溝及び第103号土坑と重複する。溝西端は調査区域外へ延びている。確認できた長さは約11m、幅約0.5m、深さ約50cmを測る。

第31号溝(第233・234図)

BH-19・20グリッドに位置する。第30・32号溝及び第103号土坑と重複する。溝西端は調査区域外へ延びている。東端は攪乱されているが、調査区域外へ延

びているものと思われる。確認できた長さは約23m、幅約1.1m、深さ約20cmを測る。

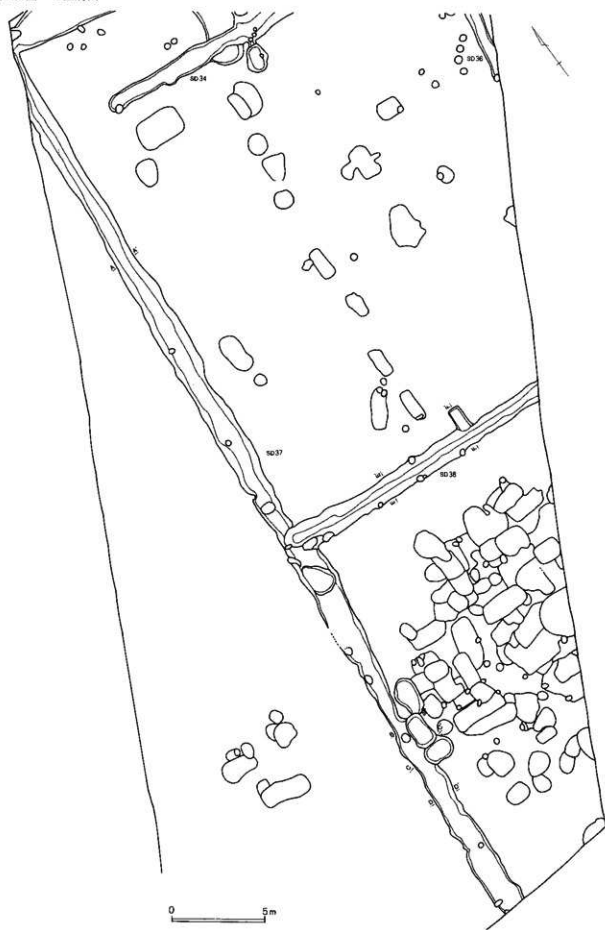
第32号溝(第233・234図)

BH-17~20、BI-20グリッドに位置する。第30・31・33・35号溝及び第103号土坑と重複する。溝両端は調査区域外へ延びている。確認できた長さは約27m、幅約3.0m、深さ約40cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

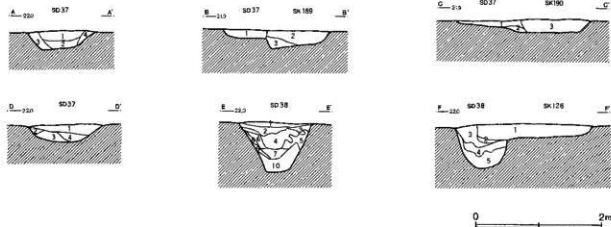
第33号溝(第233図)

BH・BI-18・19グリッドに位置する。溝北端を第32号溝に切られ、南端付近を第34号溝に切られている。確認できた長さは約5m、幅約2.4m、深さ約16cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第236图 B区溝(5)



第237図 B区溝(6)



SD37 (A-A')

- 1 黄褐色土 腐植
- 2 暗褐色土 腐まり強い
- 3 暗褐色土 褐色土粒子含む
- 4 暗褐色土 腐まりなし

SD37・SK189 (B-B')

- 1 褐色土 自然落下層含む 腐まり強い
- 2 暗褐色土 褐色土粒子含む
- 3 褐色土 中々腐まり強い

SD37・SK190 (C-C')

- 1 暗褐色土 自然落下層含む 腐まり強い
- 2 褐色土 自然落下層含む 腐まり強い
- 3 暗褐色土 褐色土粒子含む

SD37 (D-D')

- 1 暗褐色土 腐まり強い
- 2 褐色土
- 3 暗褐色土 自然落下層含む 腐まり強い
- 4 褐色土 自然落下層含む 腐まり強い

SD38 (E-E')

- 1 暗褐色土 ローム、炭化物粒子、赤色土粒子多く含む
- 2 暗褐色土 ローム含む
- 3 暗褐色土 ロームブロック、自然落下層粒子含む
- 4 暗褐色土 炭化物、ローム粒子含む 中々腐まり強い
- 5 褐色土 ローム多く含む 腐まり強い
- 6 暗褐色土 ローム粒子少ない
- 7 暗褐色土 ローム、炭化物、赤色土粒子多く含む 腐まり強い
- 8 暗褐色土
- 9 暗褐色土 ローム含む
- 10 褐色土 ロームブロック多く含む 腐まり強い

SD38・SK126 (F-F')

- 1 暗褐色土 ローム粒子含む 中々腐まり強い
- 2 暗褐色土
- 3 暗褐色土 ローム粒子少量含む 中々腐まり強い
- 4 暗褐色土 ローム粒子少量含む 中々腐まり強い
- 5 暗褐色土 ローム、暗褐色土含む 中々腐まり強い

第34号溝(第233・234図)

BH-18、BI-18・19グリッドに位置する。第33号溝と重複する。溝東端は確認できなかった。確認できた長さは約17.5m、幅約0.8~1.3m、深さ約24cmを測る。断面形は皿状を呈する。

第35号溝(第233・234図)

BH・BI-20グリッドに位置する。溝北端で第32号溝に切られ、また第105号土坑とも重複している。南端は確認できなかった。確認できた長さは約3m、幅約0.8m、深さ約10cmを測る。断面形は皿状を呈する。

第36号溝(第233・234図)

BI-19・20、BJ-19グリッドに位置する。溝南端は調査区域外に延びている。第106号土坑に切られている。確認できた長さは約8.5m、幅約0.8m、深さ約10cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第37号溝(第236・237図)

BH・BI・BJ・BK・BL・BM-17グリッドに位置する。溝北端は第32号溝と重複して調査区域外に延び、中央付近では第38号溝と直交する。第189・190号土坑とも重複し、溝南端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約52m、幅約0.6~1.4m、深さ約14~30cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

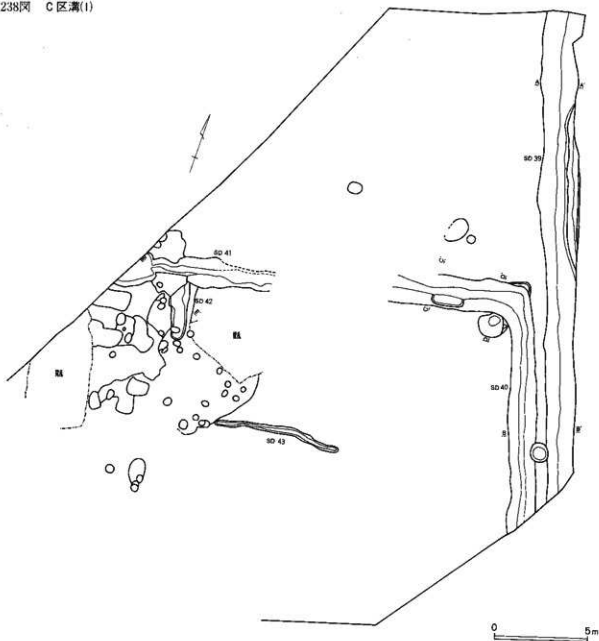
第38号溝(第236・237図)

BK-17-19グリッドに位置する。溝東端は調査区域外に延びており、西端では第37号溝と直交する。また、第126号土坑とも重複する。確認できた長さは約16m、幅約0.9~1.4m、深さ約80cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第39号溝(第238・239図)

BV・BW-11、BX-11・12グリッドに位置する。溝両端は調査区域外へ延びている。確認できた長さは

第238図 C区溝(1)



約25m、幅約2.3m、深さ約0.3～0.5cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第40号溝(第238・239図)

BW・BX-10・11、BY-11グリッドに位置する。清西端は攪乱を受けており確認できなかった。南北方向から西に屈曲している。南端は調査区域外へ伸びている。幅約1.2～1.8m、深さ約40～50cmを測る。断面形は菜餅状を呈する。

出土遺物(第242図)

覆上中より、器台と埴底部が出土した。

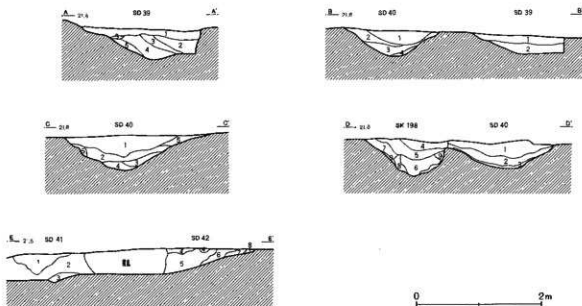
第41号溝(第238図)

BX-9・10グリッドに位置する。西端は調査区域外に延び、東端は確認できなかった。第42号溝と重複している。確認できた長さは約8m、幅約0.7～1.6m、深さ約45cmを測る。

出土遺物(第242図)

覆上中より、須恵器小型短頸壺、弥生時代の甌・甕が出土した。4・5は甕の口縁部で、口唇部内面に刻み目が施され、4は内面に横刷毛が認められた。

第239図 C区溝(2)



SD39 (A-A')

- 1 褐色土
- 2 褐色土 ロームブロック散在含む 締まり強い
- 3 黄褐色土
- 4 暗褐色土 黄褐色土粒子多量含む 締まり強い
- 5 褐色土 締まり強い

SD39 (B-B')

- 1 褐色土 細小礫粒子含む
- 2 褐色土 細小礫粒子・小礫若干含む 締まり強い

SD40 (C-C')

- 1 暗褐色土 黄褐色土・黄褐色土粒子多く含む
- 2 黄褐色土
- 3 暗褐色土 締まり強い
- 4 黄褐色土 灰褐色土若干含む やや締まり強い

SD40 (C-C')

- 1 暗褐色土 黄褐色土粒子・黄褐色土多く含む
- 2 黄褐色土 灰褐色土若干含む
- 3 暗褐色土 やや締まりあり
- 4 褐色土 粗粒 やや締まりあり
- 5 暗褐色土 黄褐色土若干含む 締まり強い

SD40・SK198 (D-D')

- 1 黄褐色土 炭化物混入、ロームブロック含む
- 2 黄褐色土 ローム塊が含む
- 3 黄褐色土 ロームブロック含む
- 4 黄褐色土 黄土粒子若干含む
- 5 黄褐色土 黄土粒子・ローム粒子やや多く、小礫含む 締まりあり
- 6 黄褐色土 ローム塊が、小礫多く含む やや締まりあり
- 7 黄褐色土 黄土粒・小礫若干含む 締まり強い
- 8 黄褐色土
- 9 黄褐色土 ローム粒子若干、小礫含む

SD41・42 (E-E')

- 1 黄褐色土 白色炭化物下・砂材、ローム粒子多く含む 締まりあり
- 2 褐色土 小礫若干、ローム粒子多く含む 締まりあり
- 3 黄褐色土 締まりあり
- 4 暗褐色土 小礫粒・白色炭化物若干含む 締まりあり
- 5 黄褐色土 白色炭化物粒子、ローム粒子若干含む 締まりあり
- 6 褐色土 ロームブロック多く含む 締まりあり
- 7 黄褐色土 ロームブロック多く含む
- 8 黄褐色土 ロームブロック多く含む 締まり強い

第42号溝(第238・239図)

BX-9グリッドに位置する。北端で第41号溝と重複している。確認できた長さは約3m、幅約1.0m、深さ約40cmを測る。

出土遺物(第242図)

竈の口縁部で、復元口径20.0cmを測る。折り返し口縁の一部に小突起が見られる。胎七には、白色針状物質が認められた。

第43号溝(第238図)

BX・BY-10グリッドに位置する。規模は約6.5m、幅約0.4m、深さ約10cmを測る。断面形は皿状を呈する。

第44号溝(第240・241図)

BZ・CA-7・8、CB-8-10グリッドに位置する。東西から北へ扇面し、溝北端は調査区域外へ延び

る。規模は長さ約33m、幅約0.6~1.1m、深さ約40cmを測り、断面形は葉研堀状を呈する。

第45号溝(第240図)

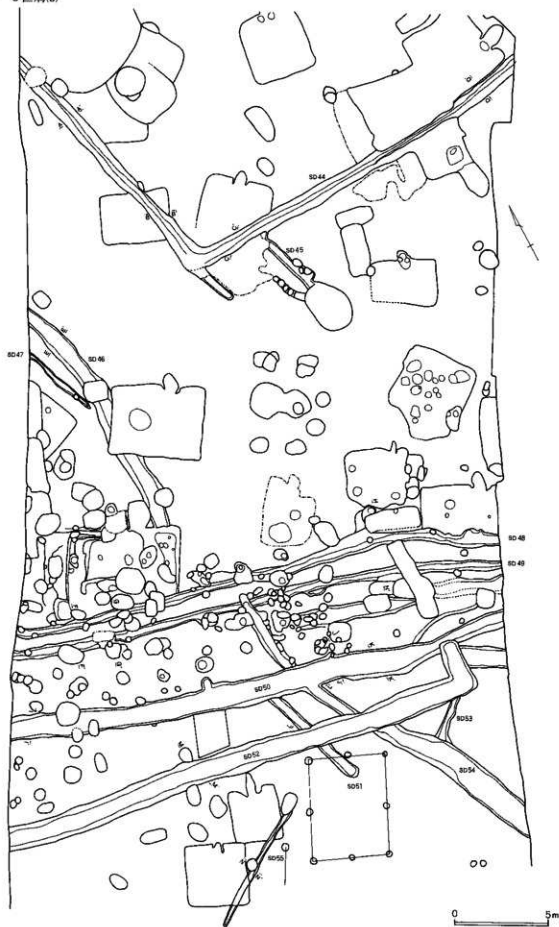
CB-8グリッドに位置する。第1号地台式溝と重複している。確認できた長さは約3m、幅約0.5m、深さ約16cmを測り、断面形は皿状を呈する。

第46号溝(第240・241図)

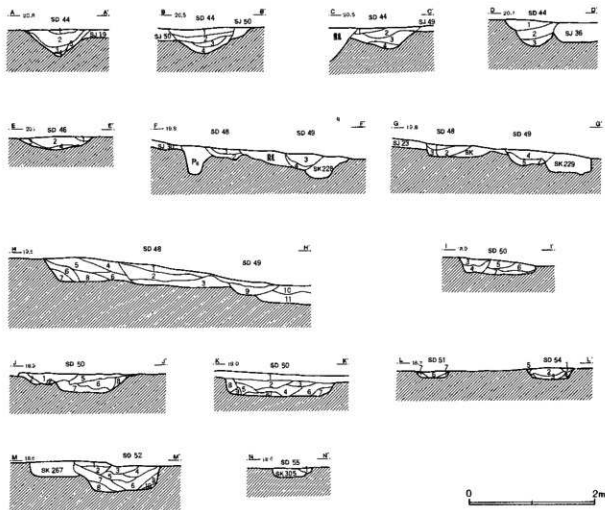
CB・CC-7グリッドに位置する。第30・40号住居跡及び第253・254号土坑と重複し、溝北端は調査区域外へ延びている。幅約1.1m、深さ約20cmを測る。断面形は皿状を呈する。

覆土中より、弥生時代の上器片、中世土器片が出土した。

第240图 C区溝(3)



第241図 C区溝(4)



SD 44 (A-A')

- 1 黒褐色土 ローム粒子多く、腐土・炭化物層が含む
- 2 黒褐色土 ローム粒子・腐土・炭化物層が含む
- 3 黒褐色土 ローム粒子含む
- 4 黒褐色土 腐土・炭化物層が含む
- 5 黒褐色土 ロームブロック、炭化物層を含む

SD 44 (B-B')

- 1 黒褐色土 ローム粒子・腐土粒子を含む
- 2 黒褐色土 ローム粒子・腐土・炭化物層が含む
- 3 褐色土 ローム粒子・ロームブロック多く、炭化物層を含む
- 4 暗褐色土 ロームブロックを含む

SD 44 (C-C')

- 1 黒褐色土 黒褐色土粒子を含む
- 2 黒褐色土 ロームブロック多く含む
- 3 黒褐色土 ローム粒子を含む
- 4 暗褐色土 ロームブロック・炭化物層を含む

SD 44 (D-D')

- 1 黒褐色土 小礫層を含む
- 2 暗赤褐色土 黒褐色土粒子・腐土粒子を含む
- 3 暗赤褐色土 黒褐色土を含む

SD 45 (E-E')

- 1 黒褐色土 ローム粒子多く含む 段首の覆瓦
- 2 黒褐色土 ローム粒子層が含む
- 3 黒褐色土 ローム粒子・腐土粒子を含む
- 4 褐色土 ローム粒子層が含む

SD 48・49 (F-F')

- 1 黒色土 腐土・ローム粒子層が含む
- 2 黒褐色土 腐土・ローム粒子多く含む
- 3 黒褐色土 腐土・炭化物層が含む
- 4 灰黄褐色土 ローム粒子・炭化物層が含む

SD 48・49 (G-G')

- 1 黒色土 腐土・ローム粒子層が含む
- 2 黒褐色土 腐土・ローム粒子多く含む
- 3 褐色土 腐土粒子多く含む
- 4 黒褐色土 腐土・炭化物・ローム粒子層が含む
- 5 灰黄褐色土 ローム粒子多い、炭化物層が含む
- 6 黄褐色土 ロームブロック・炭化物・黒褐色土粒子を含む

SD 48・49 (H-H')

- 1 黒褐色土 腐土・炭化物層が含む
- 2 黒褐色土 ローム粒子多く含む 炭化物層下含む
- 3 黒褐色土 ローム粒子多く含む 腐土・炭化物層を含む
- 4 暗褐色土 腐土を含む
- 5 褐色土 ローム粒子多く含む 炭化物層を含む
- 6 暗褐色土 ローム粒子層が含む 腐土・炭化物層を含む
- 7 褐色土 ローム粒子多く含む 腐土・炭化物層を含む
- 8 灰黄褐色土 腐土・炭化物層が含む
- 9 黄褐色土 ローム粒子・炭化物層が含む
- 10 暗褐色土 腐土層が含む
- 11 暗褐色土 腐土・炭化物層を含む

SD 50 (I-I'・J-J')

- 1 黒褐色土 腐土・炭化物層が含む
- 2 暗黄褐色土 腐土・炭化物層が含む
- 3 黒褐色土 腐土・炭化物層が含む
- 4 灰黄褐色土 腐土粒子多く含む 砂を含む
- 5 黒褐色土 腐土・炭化物層が含む
- 6 黒褐色土 腐土・炭化物層が含む
- 7 褐色土 腐土を含む
- 8 黒褐色土 腐土を含む

SD 50 (K-K')

- 1 灰黄褐色土 腐土 腐土粒子層が含む
- 2 灰黄褐色土 腐土粒子層を含む
- 3 暗褐色土 灰黄褐色土ブロック層を含む
- 4 暗褐色土 ローム粒子・ロームブロック層を含む
- 5 黒褐色土 ローム粒子・炭化物層を含む
- 6 黒褐色土 腐土・炭化物層を含む
- 7 暗褐色土 ローム粒子層が含む
- 8 褐色土 腐土・炭化物層を含む
- 9 暗褐色土 ロームブロック 粘質層
- 10 黄褐色土 炭化物層を含む 粘質層

SD 51・54 (L-L')

- 1 黒褐色土 ローム粒子・炭化物を含む
- 2 灰黄褐色土 炭化物層を含む
- 3 灰黄褐色土 炭化物層を含む 砂を含む
- 4 黄褐色土 腐土粒子層が含む
- 5 黒褐色土 ローム粒子層を含む
- 6 灰黄褐色土 炭化物層を含む
- 7 暗褐色土 腐土粒子層を含む

SD 55 (N-N')

- 1 灰黄褐色土 炭化物層が含む

第242圖 溝出土遺物

SD 40



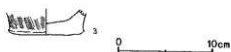
SD 42



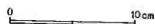
SD 41



SD 48



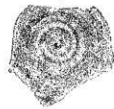
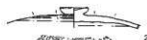
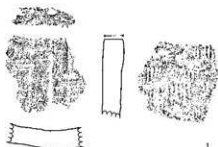
SD 49



SD 50



SD 52



第40号溝出土遺物観察表(第242図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	器右			9.2	AS	II	橙	90	円形透孔4カ所 外面縦方向磨き 内面刷毛目
2	甕			(7.0)	ABS	II	黄灰	10	外面横方向刷毛目 下端尾ナデ

第41号溝出土遺物観察表(第242図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	短頸壺	(5.0)			A	I		20	ロクロ整形
2	瓶			5.0	BS	II	橙	70	外面横ナデ 内面木口状工具ナデ
3	甕			(8.0)	ABS	II	橙	30	外面縦方向刷毛目
4	甕				AS	III	橙	破片	口縁部内面に横刷毛 内面に刻み目
5	甕				AS	III	橙	破片	口縁部破片 内面に刻み目

第42号溝出土遺物観察表(第242図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
	甕	(20.0)			AS	II	鈍い黄橙	10	口縁部破片 端部に突起あり

第49号溝出土遺物観察表(第242図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	高坏				AS	II	橙	80	脚部外面刷毛目
2	須恵器坏	(12.0)	3.1	6.5	AS	I	灰	100	RA
3	坏			(6.5)	K	III	浅黄橙	15	磨滅のため整形等不明瞭
4	灰釉陶器 高台付柄			8.0	-	I	灰白	15	高台部突起こし痕
5	須恵器甕				B	I	褐灰	破片	口縁部破片 外面に波状文

第50号溝出土遺物観察表(第242図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器蓋				AB	I	灰	45	天井部右回転磨削り 径2.6cm
2	蓋				AB	I	灰白	90	天井部右回転磨削り 径3.0cm 内面中央付近磨削記号「×」

第52号溝出土瓦観察表(第242図)

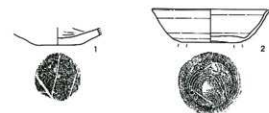
番号	凹面			凸面		端面的特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	横骨幅	特徴	叩き	特徴					
1	23×25	2.5	布目痕	平行叩き 2.2cm/5本	平行叩き 後横方向ナデ	へら整形	2.2	S	II	浅黄

第52号溝出土遺物観察表(第242図)

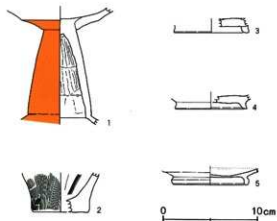
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
2	高坏				AS	II	橙	90	外面縦方向磨き 円形透孔4カ所

第243図 第53・54号溝出土遺物

SD 53



SD 54



第53号溝出土遺物観察表(第243図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	甕	(12.6)	3.5	4.8	S	II	橙	80	底部木炭痕
2	須恵器環			6.6	ABS	I	灰	60	RBb
3	環			(6.0)	AS	I	灰	50	RC 底部周縁逸脱こし痕
4	鉢			(7.0)	-	I	褐灰	20	RC

第54号溝出土遺物観察表(第243図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他	
1	高坏			(6.0)	EJS	II	鈍い橙	40	外面脚部・坏部下平赤彩	
2	甕				ABS	II	鈍い橙	45	外面縦方向刷毛目	
3	高台付環				(8.0)	ABS	I	灰	40	底部右回転蓋削り 高台貼付
4	高台付環				(7.6)	ABS	I	灰	40	底部回転系切後右回転蓋削り
5	灰釉陶器 高台付皿				7.4	BS	I	淡黄	50	内面上平釉

第47号溝(第240図)

CB-7グリッドに位置する。溝北端は調査区域外へ延びている。確認できた長さは約4m、幅約0.2~0.4m、深さ約5cmを測る。断面形は皿状を呈する。

第48号溝(第240・241図)

CC-6・7、CD-7-9グリッドに位置する。溝両端は調査区域外へ延びている。確認できた長さは約26m、幅約0.5~1.0m、深さ約20~40cmを測る。

出土遺物(第242図)

覆土中より、軒平瓦と須恵器片が出土した。瓦は唐草文瓦で、C字状の村葉花文から連続する渦巻き状の文様が連なり、各渦巻き文ごとに外区側で棘状の文様がつく。

第49号溝(第240・241図)

CC-6・7、CD-7-9グリッドに位置する。溝両端は調査区域外へ延びている。第54号溝と重複する。確認できた長さは約26.5m、幅約0.4~0.7m、深さ約25cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

出土遺物(第242図)

土師器高坏、須恵器環・甕、灰釉陶器の他に、中近世陶器、古墳時代の土師器片が出土した。

第50号溝(第240・241図)

CD-6~8グリッドに位置する。調査区を横断し、確認できた長さは約27m、幅約0.7~1.5m、深さ約24cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

出土遺物(第242図)

須恵器蓋が出土した。

第51号溝(第240・241図)

CD・CE-7グリッドに位置する。長さは約6m、幅約0.5m、深さ約10cmを測る。

覆土中より、須恵器片が出土した。

第52号溝(第240・241図)

CD-5~8、CE-7・8グリッドに位置する。長さは約29mで、東端の一部が屈曲している。幅約1.4m、深さ約40cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

出土遺物(第242図)

高坏、土師、奈良時代の瓦の他に、須恵器蓋片が出土した。土師は遺存長3.9cm、最大径1.8cm、孔径6mm、重量11.71gを計る。

第53号溝(第240図)

CE-8グリッドに位置する。長さは約2.5m、幅約0.4m、深さ約5cmを測る。

出土遺物(第243図)

甕底部の他に、須恵器環・鉢が出土した。

第54号溝(第240・241図)

CD-7、CE-7・8グリッドに位置する。長さは約20m、幅約0.7~1.5m、深さ約18cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

出土遺物(第243図)

高坏・甕底部、須恵器高台付環、灰釉陶器皿等が出土した。

上した。

第55号溝(第240・241図)

CE-5・7グリッドに位置する。長さは7m、幅約0.3m、深さ約10cmを測る。

第56・57号溝(第244図)

CF-5・6、CG-5～7グリッドに位置する。調査区で最も低く、東から入ってくる谷状の地形である。遺物包含層状の下面で溝として確認された遺構である。溝西端で重複し、東端は調査区域外へ延びている。第56号溝の確認できた長さは19.5m、幅約0.8～1.6m、深さ約10～15cmを測る。第57号溝の確認できた長さは約25m、幅約0.2～1.1m、深さ約5cmを測る。

出土遺物(第245～254図)

すべての遺物が谷状の地形に流入したもので、第56号溝に多いことから北側から谷に向かって下る緩斜面から流入したものであると考えられる。

須恵器環・高台付環・蓋・椀・長頸瓶・鉢・甕・甕底部、円面硯、瓦、土師器台付甕・甕、高環、土鏡、紡錘車等が多量に出土した。

第58号溝(第255図)

CI-5・6グリッドに位置する。規模は長さ5.3m、幅0.7～1.2m、深さ約18cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第59号溝(第255図)

CI-3・4グリッドに位置する。第1号方形周溝墓に隣接する。規模は長さ7m、幅0.9～1.6m、深さ約30cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第60号溝(第255図)

CI・CJ-4グリッドに位置する。南端は調査区域外へ延びている。確認できた長さは4.5m、幅1.7m、深さ約18cmを測る。

第61号溝(第255図)

CI・CJ-4グリッドに位置する。南端は攪乱を受けており、確認できなかった。確認できた長さは2.5m、幅0.6m、深さ約14cmを測る。断面形は皿状を呈する。

第62号溝(第255図)

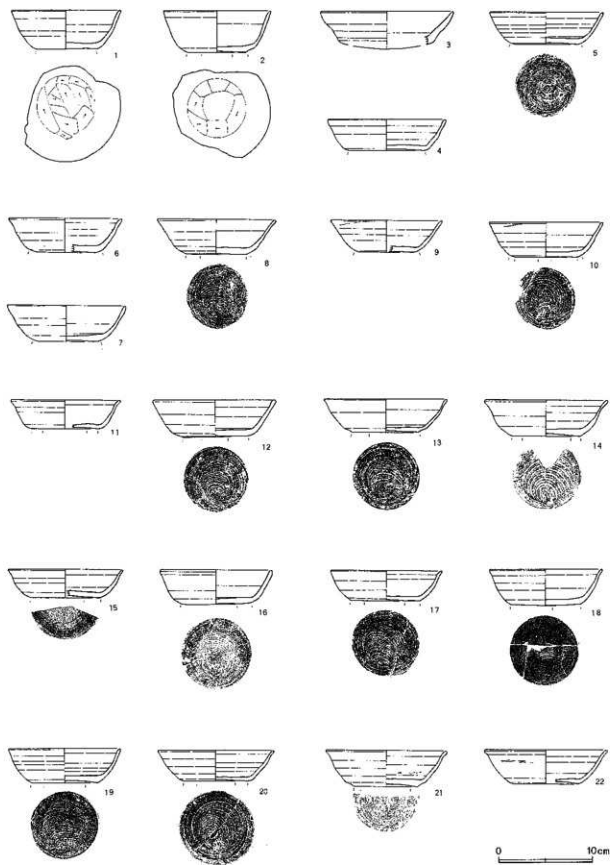
CJ・CK-6グリッドに位置する。南端は調査区域外へ延びている。第3号方形周溝墓に隣接する。確認できた長さは約1.5m、幅約1.5m、深さ約10cmを測る。断面形は皿状を呈する。

第63号溝(第255図)

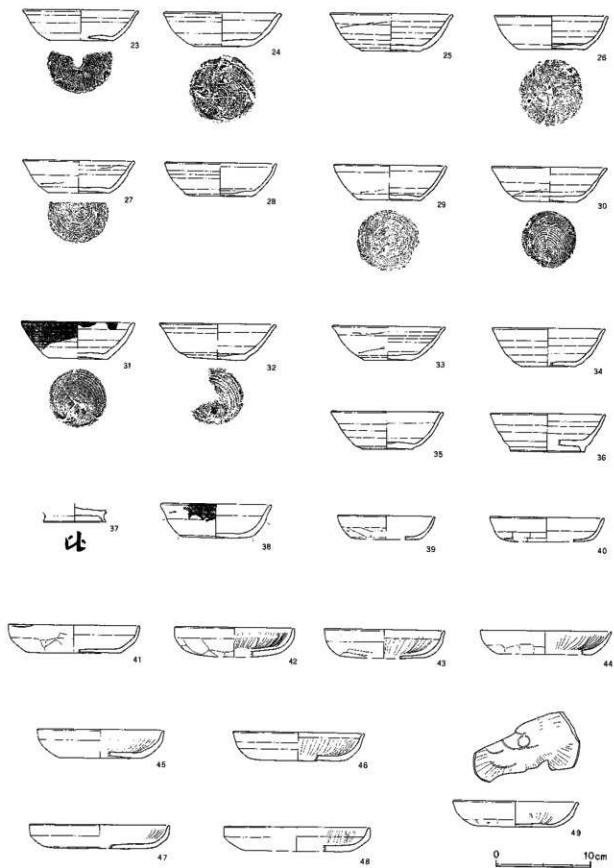
CJ・CK-7グリッドに位置する。南東端は調査区域外へ延びている。確認できた長さは4.5m、幅1.8～2.0m、深さ約25cmを測る。断面形は逆台形を呈する。



第245図 第56・57号溝出土遺物(1)



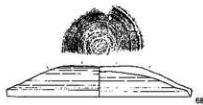
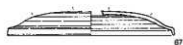
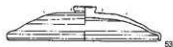
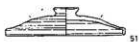
第246图 第56·57号溝出土遺物(2)



第247図 第56・57号溝出土遺物(3)

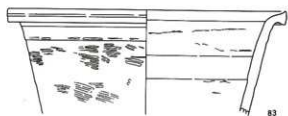
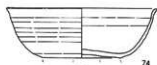


山

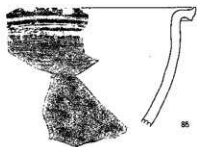


0 10cm

第248图 第56·57号溝出土遺物(4)



第249図 第56・57号溝出土遺物(5)



85



86



87



88



89



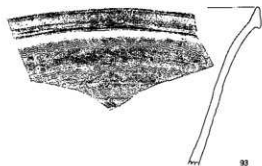
90



91



92



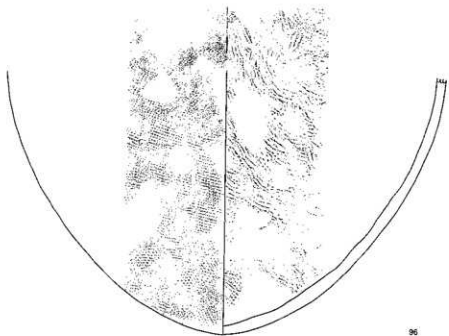
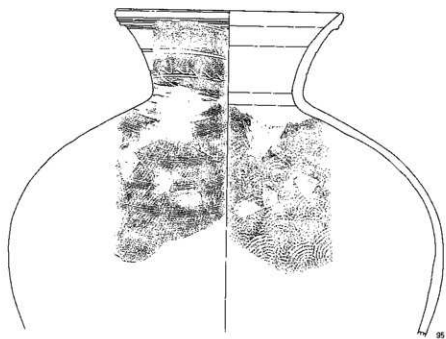
93



94

0 10cm

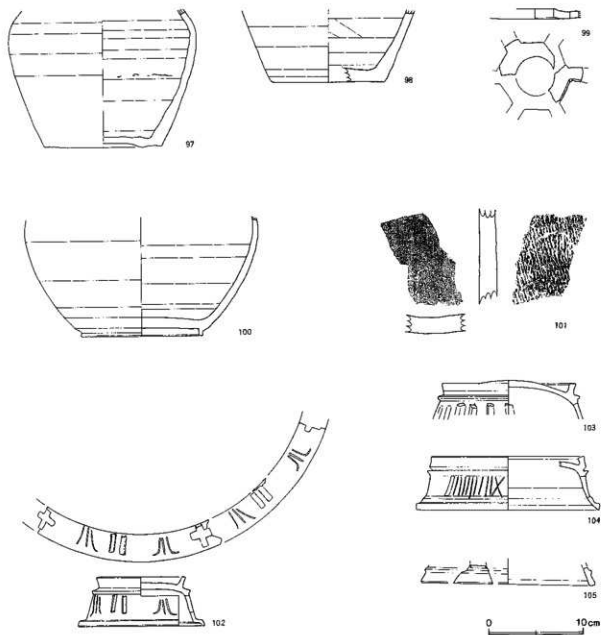
第250图 第56-57号溝出土遺物(6)



96

0 10cm

第251図 第56・57号溝出土遺物(7)



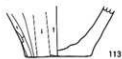
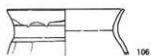
第56・57号溝出土遺物観察表(第245~252図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	その他
1	須恵器環	(11.8)	4.1	6.4	BS	II	橙	55	酸化焙焼成 底面全面手持ち鈍削り
2	環	(11.4)	4.4	7.2	BCEF	III	橙	45	酸化焙焼成 底面回転糸切り後周辺手持ち鈍削り
3	環	(14.2)		(10.2)	ABS	I	灰	20	RA
4	環	(12.6)	3.3	(8.0)	ABRS	II	灰白	40	RA
5	環	(12.1)	3.4	6.6	ABRS	I	灰	40	RA 体部下端回転鈍削り
6	環	(12.1)	3.6	(6.1)	ABS	I	灰	25	RA 体部下端回転鈍削り
7	環	(12.7)	3.7	6.5	ABS	I	灰白	55	RBb 体部下端一部鈍削り
8	環	(12.7)	3.8	6.0	ABS	I	灰	40	RA 体部下端回転鈍削り
9	環	(12.0)	3.4	(5.8)	ABS	I	灰	15	RA 体部下端回転鈍削り 外面火押痕明顯
10	環	(12.1)	3.7	6.5	ABS	I	灰白	65	RBa 体部下端鈍削り
11	環	(11.6)	3.0	(7.0)	FS	III	淡黄	50	RBb
12	環	13.2	3.4	7.0	ABS	I	灰	75	RBb

番号	器種	口径	器高	口径	胎上	焼成	色調	残存%	その他
13	環	(13.0)	3.5	7.1	ABRS	II	灰	35	RbB
14	環	(13.1)	3.8	7.2	ABCBS	I	灰	50	RbB
15	環	(12.2)	3.0	(7.4)	AB	I	灰	25	RbB
16	環	(12.0)	3.6	7.5	ABS	I	灰	40	LBb
17	環	11.9	3.2	7.3	AB	I	灰	90	RbB
18	環	(12.0)	3.7	7.4	ABRS	I	灰白	45	RBa 係かに丸底
19	環	(12.0)	3.6	7.0	ABS	I	灰白	50	RbB
20	環	(12.4)	3.2	6.8	ABS	II	鈍い赤褐	35	RbB
21	環	(13.0)	3.8	6.8	ABCBS	I	灰白	50	RbB
22	環	(13.2)	3.6	(7.0)	AB	I	灰	30	RC
23	環	(12.4)	3.2	(7.0)	ABCBS	I	灰白	45	RC 糸切り2回 籠起こし
24	環	12.6	3.6	6.5	ABRS	II	灰	85	RC 糸切り2回で一度はやりかけてやめる
25	環	13.1	4.0	6.4	ABCBS	I	灰白	70	RC 底部外面記号「\ 」
26	環	12.1	3.6	7.1	ABRS	I	灰	80	RC 底部一部に籠起こし痕
27	環	(12.0)	3.4	6.5	ABS	I	灰	45	RC
28	環	(12.0)	3.5	6.6	AB	II	灰	20	RC
29	環	(12.0)	3.7	6.7	AS	I	灰白	40	RC
30	環	12.3	3.7	6.0	AS	II	鈍い橙	100	RC
31	環	12.2	3.9	6.2	ABKS	II	鈍い褐	100	RC 体部外面・口縁部内面に油煙付着 灯明皿
32	環	12.4	3.8	6.2	ARS	I	灰白	55	RC
33	環	12.0	3.6	5.2	ABC	I	灰白	85	RC 口縁部内面一部に油煙付着
34	環	(12.0)	4.0	(5.8)	ACRS	II	淡黄	25	RC
35	環	12.0	4.0	5.3	ABS	I	灰白	75	RC 底部外面記号
36	高台付環	(12.2)	4.0	(8.0)	AB	I	灰	25	底部右回転箇所より後高台貼付
37	高台付環			6.7	ABCBS	I	灰	85	底部外面墨書「比」
38	土師器環	11.9	3.6	7.8	K	III	浅黄橙	95	底部外面位置方向手持ち箇所より 底部内面布板 口縁部外面油煙付着
39	環	(10.4)	2.5	(7.4)	BEJS	II	鈍い橙	10	体部下端箇所
40	環	(12.2)	2.6	(9.7)	BJ	II	鈍い橙	10	体部下半横方向箇所
41	環	(14.0)	2.9	(10.0)	BJS	II	橙	10	底部外面一方向の箇所
42	環	(12.8)	3.1		B	I	灰褐	10	内面放射状暗文
43	環	(12.8)	3.1		BKS	I	橙	10	内面放射状暗文
44	環	(14.0)	2.5	(9.8)	B	I	橙	10	内面放射状暗文
45	環	(13.6)	3.0	(8.8)	BCJS	I	鈍い橙	25	内面放射状暗文 底部一方向の箇所
46	環	(14.0)	3.0	9.8	BJ	I	鈍い橙	30	内面放射状暗文 底部一方向の箇所
47	環	(15.0)	2.5	(11.8)	BJS	II	橙	20	内面放射状暗文 底部箇所
48	環	(15.6)	2.6	(11.2)	BCJ	I	橙	10	内面放射状暗文 底部箇所
49	環	(13.4)	2.7	(8.6)	S	I	明赤褐	20	内面放射状暗文 内面底部へラ抜き痕
50	須恵器蓋	12.5	3.6		ARS	I	灰	80	天井部右回転箇所より 内面墨書
51	蓋	(12.6)	2.9		ABRS	I	灰	30	天井部右回転箇所より 径2.6cm
52	蓋	(15.6)	3.9		A	I	灰白	15	天井部左回転箇所より 径2.8cm
53	蓋	(16.2)	3.6		ABS	I	灰	40	天井部右回転箇所より
54	蓋	(16.6)	3.8		ABS	I	灰白	20	天井部右回転箇所より 径2.9cm
55	蓋	16.6	4.1		AB	I	鈍い褐	50	径2.7cm
56	蓋	(16.8)	3.5		ABS	I	灰	20	天井部右回転箇所より 径3.0cm
57	蓋	17.0	4.3		ABRS	II	鈍い赤褐	95	天井部右回転箇所より 径2.8cm
58	蓋	(17.0)	4.3		ABS	I	灰	20	天井部右回転箇所より
59	蓋	(18.2)	3.4		ABRS	I	黄灰	30	天井部右回転箇所より 径2.5cm
60	蓋	18.0	3.7		ABRS	I	灰白	70	天井部右回転箇所より 径2.5cm
61	蓋	18.0	4.2		ABS	II	灰白	75	天井部右回転箇所より後一部クロナダ 径2.7cm
62	蓋	(19.0)	4.4		AB	I	灰	30	天井部右回転箇所より 径2.8cm
63	蓋	(14.2)			AB	I	灰白	25	天井部右回転箇所より
64	蓋	(15.7)			ABRS	I	灰	95	天井部右回転箇所より
65	蓋	(16.4)			AB	I	灰	20	天井部右回転箇所より
66	蓋	(17.6)			ABRS	I	灰白	20	天井部右回転箇所より
67	蓋	(17.8)			AB	I	灰	30	天井部右回転箇所より
68	蓋	(19.6)			ABRS	I	灰	40	天井部右回転箇所より 内面焼成時降灰による荒れ
69	蓋				ABS	I	灰	90	天井部右回転箇所より 径2.6cm
70	蓋				BS	I	灰白	10	内面中央付近に押印 径3.4cm
71	椀	(15.0)	5.8	8.0	A	I	灰	40	RBa 体部下端右回転箇所
72	椀	(15.2)	5.7	(7.2)	BS	I	灰	40	RA 体部下端箇所より 外面上半自然釉
73	椀	(15.8)	6.0	8.3	ABCBS	I	褐灰	50	RBa 体部内面一部調整

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
74	碗	(16.0)	5.3	8.3	ABRS	I	灰	60	RBa
75	碗	(15.0)	6.0	7.4	ABRS	I	灰	40	RBb ロクロ痕顕著 体部下半部に指紋
76	碗	(15.0)	5.5	(7.6)	ABCS	I	灰黄	40	RBa 体部外面朱書「金」
77	碗			8.0	ABS	I	灰	80	RBb 底部外面墨書
78	碗			7.6	ABS	I	灰	40	RBb
79	長頸瓶	9.4			ABRS	I	青灰	95	内外面クロコ整形 頸部接合面窪ナデ
80	長頸瓶	(10.0)			AB	I	灰	20	外面自然釉 内面輪痕微明瞭
81	瓶				B	I	灰	40	胴部破片 外面自然釉 外面クロコ整形 内面指痕微
82	長頸瓶			(11.4)	ABS	I	灰	25	外面自然釉 底部左回転蹴削り後高台部ナデ 外面体部下端蹴削り
83	鉢	(29.6)			AB	I	灰	10	外面平行叩き後ナデ
84	鉢				BS	I	灰	破片	外面横方向平行叩き
85	鉢				ABS	I	灰	破片	外面横方向平行叩き
86	鉢				BS	I	灰	破片	外面横方向平行叩き
87	鉢			(18.0)	ARS	I	灰	20	外面平行叩き後ナデ 体部下端蹴削り
88	鉢	(15.8)			ABH	I	灰オリーブ	20	外面自然釉
89	壺	(14.0)			ABRS	I	灰	25	内外面クロコ整形
90	壺	(17.6)			ABS	I	黒	25	口縁部内面・肩部外面焼成時降灰 口縁部外面自然釉 内外面クロコ整形
91	甕	(23.6)			ABS	I	灰	10	内外面クロコ整形
92	甕	(25.0)			ABS	I	灰	10	内外面クロコ整形
93	甕				ABS	I	オリーブ黒	破片	外面波状文
94	甕				ABRS	I	灰	破片	外面波状文
95	甕	(24.0)			S	I	灰	30	頸部構編波状文2段、各段沈線区画 胴部外面格子叩き後ナデ及び構状工具による条線 胴部内面同心円当て具痕 底部外面一部酸化焙焼成
96	甕				BS	I	灰	60	胴部外面格子叩き後ナデ及び構状工具による条線 胴部内面同心円当て具痕 底部外面一部酸化焙焼成
97	甕			12.6	ABRS	I	灰	30	内外面クロコ整形
98	甕	(12.0)			AB	I	灰	15	底部蹴削り 胴部内外面クロコ横ナデ 内面一部指ナデ
99	瓶				AB	I	青灰	破片	底部蹴削り 方形孔蹴削り 円形孔側面ナデ
100	甕	(13.0)			ABRS	I	灰	35	内面降灰等付着物 外面一部自然釉

第252図 第56・57号溝出土遺物(8)



0 10cm

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	その他
102	内面観	9.4	5.2	(13.5)	ABH	I	灰	65	十字透かしと二本一対の長方形透かし、3本の沈線が対称位置にある 視面は使用痕がほとんど認められない
103	内面観	14.2			AB	I	灰	75	視面は使用痕がほとんど認められない
104	内面観	(16.2)	5.6	(19.6)	AB	I	灰	15	脚部に長方形透かしと縦・「×」沈線 脚部外面自然釉
105	内面観			(18.6)	AB	I	灰	破片	脚部外面に沈線
106	上脚部 台付裏	(12.5)			BEJS	II	橙	45	脚部外面横方向彫削り
107	裏	(20.5)			EJS	II	明黄褐	20	脚部彫削り
108	台付裏				BEJS	II	灰赤	60	脚部外面下から上へ彫削り 脚部内外面横ナデ
109	台付裏				BJS	II	鈍い橙	60	脚部彫削り、下端横ナデ 脚部内外面横ナデ
110	台付裏			(9.0)	EJ	II	明赤褐	40	脚部内面工具による調整 脚部内面横ナデ
111	高坏				BCS	II	灰白	60	円形透孔 外面彫磨き 内面指頭・握りさえ
112	高坏				RS	I	明赤褐	65	外面・坏部内面・脚部内面赤彩 脚部外面上平縦方向彫削り
113	裏			7.0	EFKS	II	浅黄橙	70	外面縦方向彫削り 底部一方向彫削り

第56・57号溝出土瓦観察表(第251図)

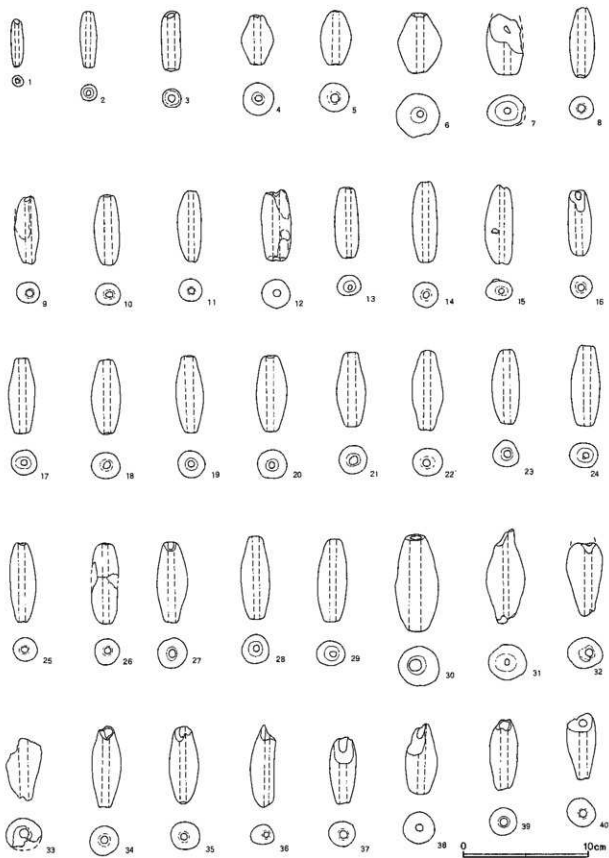
番号	外面		特徴	叩き	内面	特徴	端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	模骨痕幅									
101	26×21	2.8	布目痕	縄叩き		縦方向縄叩き		1.9	S	I	灰

第56・57号溝出土土鐘計測表(第253・254図)

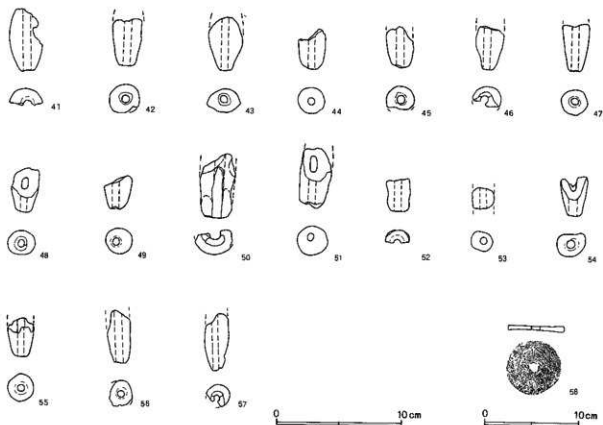
番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
1	3.8	0.9	2.5-3	3.03
2	4.4	1.3	3-3.5	7.89
3	4.8	1.5	6-6.5	10.42
4	3.9	2.55	4-5.5	19.75
5	4.3	2.4	6-7	21.77
6	4.8	3.5	5-7	44.57
7	(4.7)	2.8	4.5-5	(28.58)
8	5.5	1.9	4.5-5	18.58
9	5.3	1.9	5-5.5	14.69
10	5.5	2.0	4.5-5.5	19.20
11	5.6	1.9	4-4.5	19.19
12	5.6	2.3	5.5-6.5	30.30
13	5.6	1.9	4-4.5	19.43
14	6.3	2.0	4-4.5	27.82
15	6.3	2.1	3-3.5	21.17
16	5.1	1.8	4.5-5	16.42
17	5.9	2.1	4-4.5	24.15
18	5.9	2.3	4	24.97
19	6.0	2.2	4-4.5	24.44
20	5.9	2.4	5-5.5	31.62
21	5.9	2.3	5.5	26.83
22	6.3	2.4	5.5-6	29.74
23	5.9	2.2	4.5-5	26.23
24	6.3	2.25	4.5-5	28.70
25	6.3	2.05	3.5-4.5	24.74
26	6.3	(2.1)	3.5-4	(22.08)
27	6.3	2.4	4.5-5	33.37
28	6.5	2.2	4.5-5	35.39
29	6.5	2.3	3.5-4	33.03

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
30	7.7	3.4	8	68.89
31	7.4	3.0	3-4	46.50
32	(5.8)	2.8	6.5	(34.57)
33	(4.9)	2.7	7	(17.01)
34	6.3	2.3	5-5.5	28.88
35	(6.1)	2.3	4.5-5	(2.29)
36	6.4	1.9	3.5-4	19.10
37	(5.2)	2.1	6	(18.28)
38	5.6	2.5	5	27.95
39	5.6	2.2	7	23.63
40	(5.2)	2.2	5	(20.00)
41	(5.0)	2.6	5	(12.75)
42	(3.8)	2.4	5-5.5	(14.07)
43	(4.2)	2.6	5.5-6	(15.99)
44	(3.2)	2.2	5-5.5	(9.18)
45	(3.3)	2.1	6-6.5	(8.19)
46	(3.4)	2.1	6	(6.95)
47	(3.7)	2.1	5	(13.64)
48	(3.5)	2.2	4-4.5	(9.74)
49	(2.7)	2.2	5	(8.02)
50	(5.1)	(2.6)	7	(19.27)
51	(4.8)	2.5	5-5.5	(24.54)
52	(2.6)	1.9	4.5	(4.88)
53	(1.6)	1.8	5.5	(3.83)
54	(3.1)	2.3	5.5-6.5	(8.44)
55	(3.1)	2.1	4.5-5	(8.14)
56	(4.1)	1.8	5.5-6	(9.66)
57	(4.4)	1.9	4.5	(9.15)

第253図 第56・57号溝出土遺物(9)



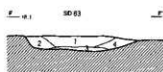
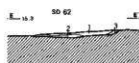
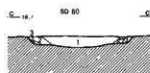
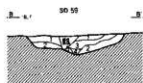
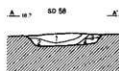
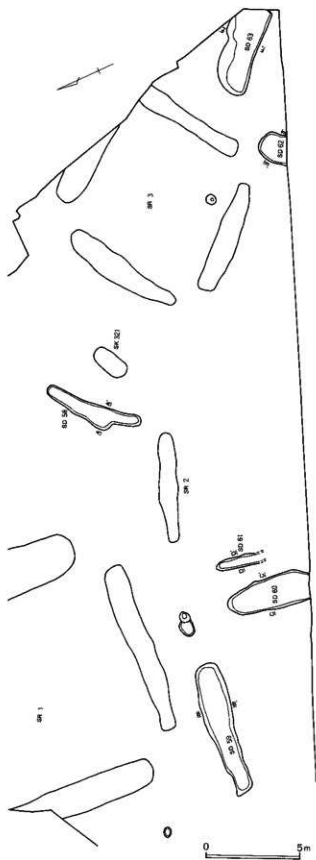
第254図 第56・57号溝出土遺物(0)



第56・57号溝出土遺物観察表 (第254図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	その他
58	紡錘車			6.0	ABS	I	黄灰褐	-	RC 坏底部の転用 外面斡整形

第255図 C区溝(5)



0 2m

SD 58 (A-A')

- 1 黄褐色土 炭化物層中に含む
- 2 暗褐色土 炭土層に含む 粘性強
- 3 黄褐色土 炭土層に含む 粘性土ブロック層に含む
- 4 黄褐色土 炭化物層に含む

SD 59 (B-B')

- 1 黄褐色土
- 2 暗褐色土 黄褐色土中に含む
- 3 暗褐色土 黄褐色土中に含む
- 4 暗褐色土 黄褐色土中に含む
- 5 黄褐色土ブロック

SD 60 (C-C')

- 1 暗褐色土
- 2 黄褐色土
- 3 黄褐色土

SD 62 (E-E')

- 1 暗褐色土
- 2 暗褐色土 黄褐色土中に含む 粘り強い
- 3 暗褐色土 粘り強い

SD 63 (F-F')

- 1 黄褐色土 粘性強
- 2 暗褐色土 黄褐色土中に含む
- 3 暗褐色土 黄褐色土中に含む
- 4 黄褐色土 黄褐色土中に含む 粘性強

(2) 竪穴状遺構

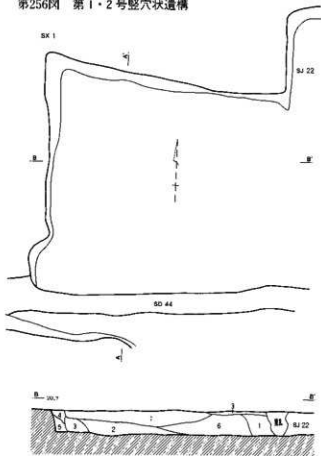
第1号竪穴状遺構(第256図)

CA・CB-9グリッドに位置する。第22号住居跡及び第232号土坑、第44号溝と重複する。平面形は方形を呈するものと推定され、規模は東西3.80m以上、南北3.78m以上、深さ36cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

出土遺物(第257図)

覆土中より、弥生土器片が出上した。1は折り返し口縁で刷毛目。2~4は刷毛目が施され、4はやや粗い。5は櫛歯文が施されている。6・7は縄文が施文されている。8は裏底部で外面が赤彩されている。

第256図 第1・2号竪穴状遺構



SX 1

- 1 埴輪色土 黄褐色土粒子多く含む
- 2 埴輪色土 黄褐色土プロット含む
- 3 埴輪色土
- 4 埴輪色土
- 5 埴輪色土
- 6 埴輪色土 黄褐色土粒子若干含む 罫まりなし
- 7 埴輪色土 中粒程度
- 8 埴輪色土 黄褐色土粒子若干含む

第2号竪穴状遺構(第256図)

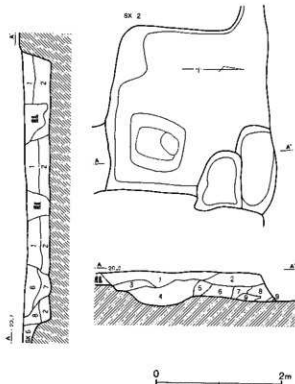
CB-9グリッドに位置する。第232・233号土坑及び第44号溝と重複する。平面形は方形を呈するものと推定され、規模は東西2.60m以上、南北2.56m以上、深さ52cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

出土遺物(第257図)

覆土中より、土師器環・甕と瓦が出土した。

第3号竪穴状遺構(第258・259図)

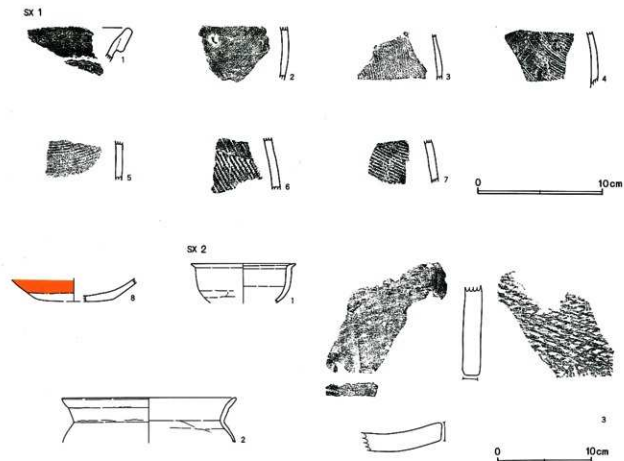
CF-7グリッドに位置する。第308・309・310号土坑及び第1号掘立柱建物跡、第4号竪穴状遺構と重複する。規模は東西約2.90m、南北約2.20m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-14°-Wを指す。



SX 2

- 1 埴輪色土 白色顔料粒子若干含む
- 2 埴輪色土 黄褐色土・黄土粒子若干含む 罫まり強い
- 3 埴輪色土 黄褐色土粒子若干含む 罫まり強い
- 4 埴輪色土 黄褐色土粒子若干含む 罫まり強い
- 5 埴輪色土 黄褐色土粒子若干含む 罫まり強い
- 6 埴輪色土 黄褐色土粒子若干含む 罫まり強い
- 7 埴輪色土 黄褐色土粒子若干含む 罫まり強い
- 8 埴輪色土 黄褐色土粒子若干含む 罫まり強い
- 9 埴輪色土 黄褐色土粒子若干含む 罫まり強い

第257図 第1・2号竪穴状遺構出土遺物



第2号竪穴状遺構出土遺物観察表(第257図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	土師器環	(11.1)			BS	III	橙	10	口縁端部外反 底部外面范削り
2	甕	(18.6)			BS	II	褐	15	体部内面工具横ナゲ

第2号竪穴状遺構出土互観察表(第257図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	横骨底幅	特徴	叩き	特徴					
3			工具による縦方向ナゲ 一部横方向ナゲ	斜格子叩き		へら整形	1.9	ABS	I	灰

出土遺物は、須恵器環が出土した。

第4号竪穴状遺構(第258図)

CF-7グリッドに位置する。第310号土坑及び第3・5号竪穴状遺構と重複する。規模は東西1.70m以上、南北2.50m以上、深さ10cmを測る。

出土遺物(第259図)

高環脚部と土師器環・台付甕、須恵器環・蓋・碗・鉢の他に、土鍾が出土した。碗の底部に「厨」と墨書されたものが1点出土した。

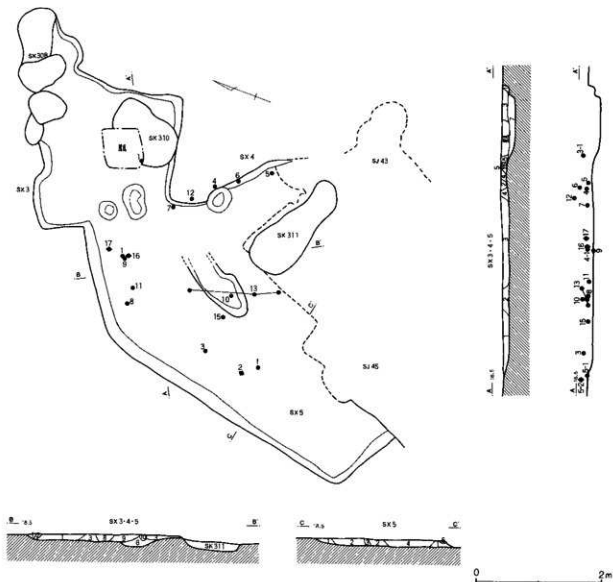
第5号竪穴状遺構(第258図)

CF-7グリッドに位置する。第43・45号住居跡及び第311号土坑、第4号竪穴状遺構と重複する。平面形は方形を呈するものと思われ、規模は東西2.20m以上、南北4.20m以上、深さ12cmを測る。主軸方位はN-13°-Eを指す。

出土遺物(第259図)

覆土中より、須恵器環、土鍾が出土した。

第258図 第3・4・5号竪穴状遺構



[A-A'・B-B']

- 1 黒褐色土 締まり強い
- 2 黒褐色土 黄褐色土層を含む 締まり強い
- 3 黒褐色土 黄褐色土層が多く含む 締まり強い
- 4 黒色土 褐色土層を含む
- 5 黒褐色土

- 6 黒色土
- 7 黒色土 褐色土層を含む 締まり強い
- 8 黒褐色土 褐色土層が多く含む 緑化赤色土を含む
- 9 黒褐色土 黄褐色土が多く含む
- 10 黒褐色土 黄褐色土が多く含む

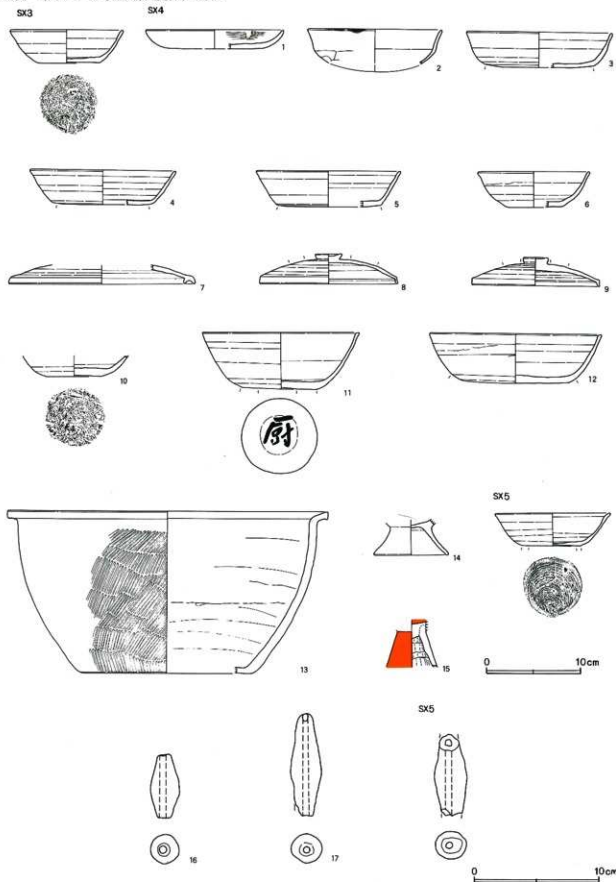
[C-C']

- 1 黄褐色土 褐色土層を含む 締まりあり
- 2 黒褐色土 褐色土層平ら含む
- 3 黒褐色土 締まり強い
- 4 黒褐色土 褐色土層を含む 締まり強い
- 5 黄褐色土 褐色土層を含む

第3号竪穴状遺構出土遺物観察表(第259図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須臾器杯	12.1	3.5	6.5	ABRS	I	褐灰	80	RC

第259図 第3・4・5号竪穴状遺構出土遺物



第4号竪穴状遺構出土遺物観察表(第259図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	その他
1	土師器 環	(14.8)	2.0	(10.8)	BEJ	II	橙	15	内面横方向珣磨き 底部内面器面荒れる
2	環	(14.4)			BS	III	鈍い橙	20	口唇一部内外面に油煙
3	須恵器 環	(15.6)	3.7	(11.4)	ABRS	I	褐灰	40	RA
4	環	(15.6)	3.6	9.8	ABRS	I	灰	25	RA
5	環	(15.5)	3.8	(10.9)	ARS	I	灰白	20	LA 内面酸化焙焼成
6	環	(12.0)	3.7	(5.8)	AS	I	灰白	40	RC
7	蓋	(20.0)			ABRS	I	灰	15	かえりを有する
8	蓋	14.8	3.2		BS	I	灰	50	天井部右回転施削り 径径2.8cm
9	蓋	(13.6)	3.0		AS	I	灰	40	天井部右回転施削り 径径2.7cm
10	椀			6.0	AS	I	黄灰	80	RC 糸引き抜き痕あり 外周隆起こし痕
11	椀	16.8	6.0	8.1	ABRS	I	灰白	80	Rb 底部墨書「厨」
12	椀	18.4	5.2	11.7	ABS	I	灰	85	RA 体部下端に墨削り及ぶ
13	鉢	(34.2)	17.0	(18.6)	AS	II	橙	15	外面平行叩き後横ナゲ 内面横ナゲ
14	土師器 古付型			(8.0)	BES	II	灰褐	60	古部外面クロコナゲ
15	高環				S	II	赤	40	脚部外面・坪部内面赤彩

第5号竪穴状遺構出土遺物観察表(第259図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	その他
1	須恵器 環	12.4	3.5	6.3	AS	I	灰	60	Rb

第4号竪穴状遺構出土土錐計測表(第260図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
15	5.0	2.3	5.0	21.60
16	8.0	2.5	4.5-5	34.77

第5号竪穴状遺構出土土錐計測表(第261図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
17	(6.4)	2.5	5-5.5	(30.81)

(3) 地下式墳

第1号地下式墳(第260図)

CB・CC-8グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は上面長軸2.85m、短軸2.00m、墳底長軸3.37m、短軸2.35m、深さ1.4m測る。主軸方位はN-10°-Wを指す。

覆土上層には、焼土や炭化材を含んでいる。

出土遺物(第261図)

覆土上より、かわらけ・鉢の他に、瓦片が出土した。

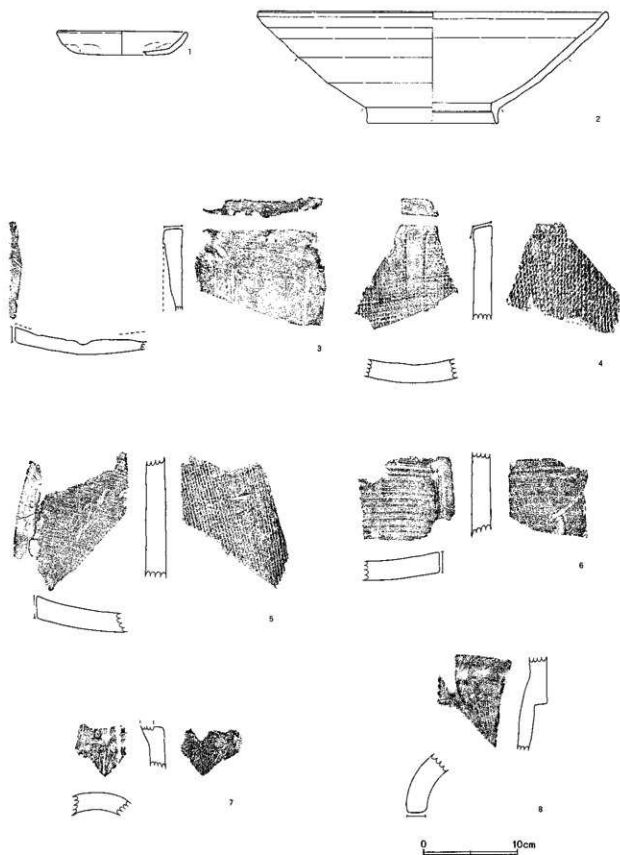
第1号地下式墳出土遺物観察表(第261図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	その他
1	環	(14.0)	2.5		S	III	浅黄橙	10	体部ロウ痕 底部内外面指押さえ
2	鉢	(37.4)	11.8	(14.0)	BS	I	灰	10	体部外面一方向へ削り 底部を欠き断面へ整形

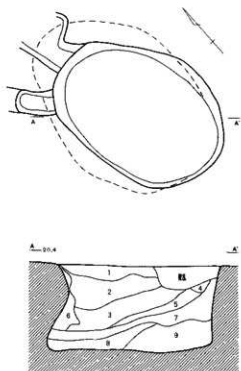
第1号地下式墳出土瓦観察表(第261図)

番号	凹面		凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調		
	布目本取	接ぎ痕経	特徴	叩き							
3	26×20		剝離	縄叩き	縄叩き後横ナゲ	へう整形	1.9	BEJ	III	灰白	
4			横方向布縷じ痕 一部糸切り痕 袂端縁へう整形	縄叩き	縄叩き後ナゲ	へう整形	1.9	JS	I	灰白	
5			布目痕 一部縦方向ナゲ	1.3cm/5本 縄叩き	縄叩き後ナゲ	へう整形	2.1	BS	I	灰	
6			糸切り痕	1.4cm/5本 縄叩き	縄叩き後ナゲ	へう整形	1.9	RS	I	灰白	
7			糸切り痕	縄叩き	縄叩き後ナゲ	へう整形	1.8	HJS	II	鈍い黄橙	
8			糸切り痕	縄叩き	縄叩き後横ナゲ	へう整形	2.3	S	I	灰白	
					1.1具による横ナゲ						

第260図 第1号地下式横出土遺物



第261図 第1号地下式墳



- 1 黒褐色土 焼土・炭化物層に含む 跡まり強い
- 2 赤褐色土 焼土・炭化物層に含む 跡まり強い
- 3 黒褐色土 焼土・炭化物・ヒーム粒子多く含む
- 4 暗褐色土 焼土風か、小礫含む
- 5 褐色土 小礫含む
- 6 黒い黄褐色土 褐色土・黒褐色土含む 跡まりなし
- 7 赤褐色土 ロームブロック、小礫含む
- 8 褐色土 褐色土・黒褐色土含む 跡まりなし
- 9 黒褐色土 小礫含む やや粘質

0 2m

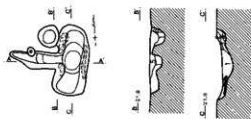
(4) 火葬墓

火葬墓(第262図)

BG-20グリッドに位置する。平面形は土壁から西に煙道状に溝が伸び、T字形を呈し、規模は南北1.12m、東西0.5m、深さ24cmを測る。

土壁内はよく焼けて赤変箇所あり、骨片も確認できた。

第262図 火葬墓



(5) ビット

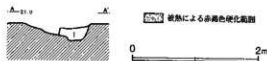
ビット(BY-9g)(第263図)

BY-9グリッドに位置する。第212号土坑と重複する。平面形はビットが重複した不整形を呈し、規模は長軸0.99m以上、短軸0.85m、深さ39cmを測る。

覆土には、焼土・炭化物が含まれていた。

ビット(CA-9g)(第263図)

CA-9グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.91m、短軸0.70m、最深部70cmを測る。主軸方位はN-14°-Eを指す。

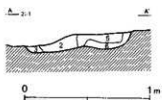
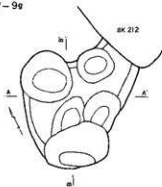


- 1 暗赤褐色土 焼土・炭土・炭化物多く含む
- 2 褐色土 ローム粒子・焼土・炭化物、小礫若干含む
- 3 暗褐色土 小礫多く含む
- 4 暗赤褐色土 焼土多く含む
- 5 暗褐色土 炭化物・焼土多く含む
- 6 褐色土

覆土中より、須恵器環底部が出土した。底部調整は、右回転周辺へ削りて、底部外面に「X」の記号がある。

第263区 ビット

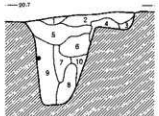
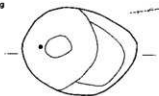
BY-9g



BY-9g, ビット

- 1 珉黄褐色土 焼土多く含む
- 2 珉黄褐色土 炭化物・焼土多く含む
- 3 珉黄褐色土
- 4 珉黄褐色土
- 5 珉黄褐色土 焼土粒子・ローム粒子多量を含む
- 6 珉黄褐色土 炭化物・灰色粘土を含む 跡ありあり
- 7 珉黄褐色土 跡ありあり

CA-9g



0 1m



0 10cm

CA-9g, ビット

- 1 珉黄褐色土 ローム粒子多く含む
- 2 珉黄褐色土 焼土・炭化物多量を含む
- 3 珉黄褐色土 炭化物多量を含む
- 4 珉黄褐色土 焼土多量を含む
- 5 珉黄褐色土 焼土多量・炭化物多量を含む
- 6 珉黄褐色土 炭化物多量・ローム粒子多量を含む
- 7 珉黄褐色土 炭化物多量を含む
- 8 珉黄褐色土 ローム粒子多量を含む
- 9 珉黄褐色土 炭化物多量・ローム粒子多量を含む
- 10 珉黄褐色土 ローム粒子多量を含む

(6)グリッド出土の遺物

グリッド出土の遺物は、弥生・古墳時代から奈良・平安時代にわたる時期の遺物が出土した。

CCグリッドから南に向かって傾斜し、第56・57号溝が位置するCG-6・7グリッドが最も低い。また、

溝に沿って周辺は黒色土に覆われ、CF-6・7グリッド、CG-6・7グリッドからは特に多くの遺物が出土した。

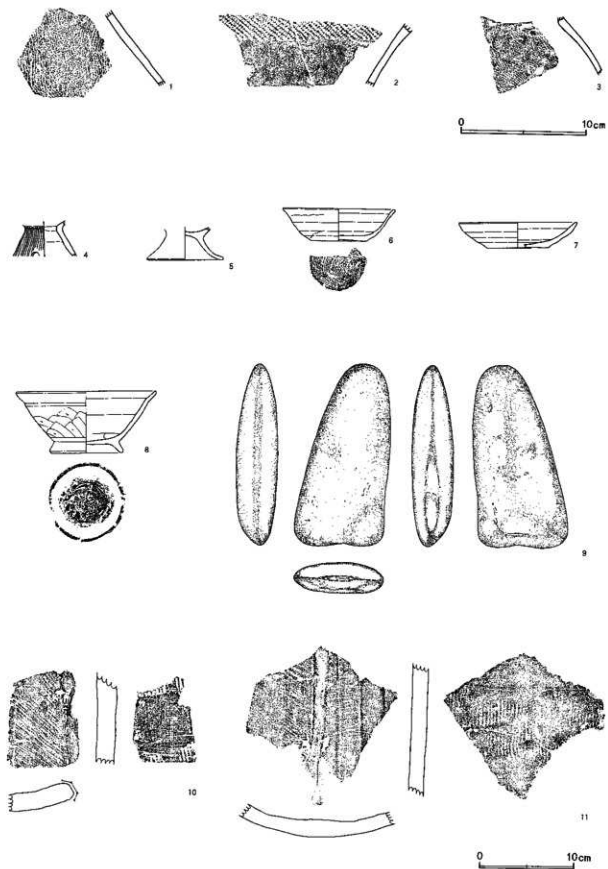
グリッド出土遺物観察表(第264区)

番号	器種	口径	器高	底径	粘土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
1	罌				BS	II	鈍い橙	破片	CA-10g, 外面刷毛目
2	弥生土器				CS	I	淡黄橙	破片	CC-7g, 内外面刷毛目 外面縄文施文
3	弥生土器				CKS	II	鈍い橙	破片	CC-7g, 外面刷毛目
4	器片				BJS	II	橙	15	CC-7g, 外面縦方向鹿野き 内面横方向荒ナゲ 脚部凹形孔
5	上座器 台付罌			8.2	BES	II	鈍い橙	75	CC-9g, 台座横ナゲ
6	須恵器 杯	(12.0)	3.4	5.8	ABS	I	灰白	35	CC-9g, RC
7	杯	(12.6)	2.7	(6.6)	CJS	II	鈍い黄橙	20	BY-9g, RC 在土土器 ロタロ痕跡著
8	高台付碗	(15.0)	6.5	7.8	CJS	II	鈍い黄橙	70	CA-9g, 口縁部内外面横ナゲ 体部外面彫削り

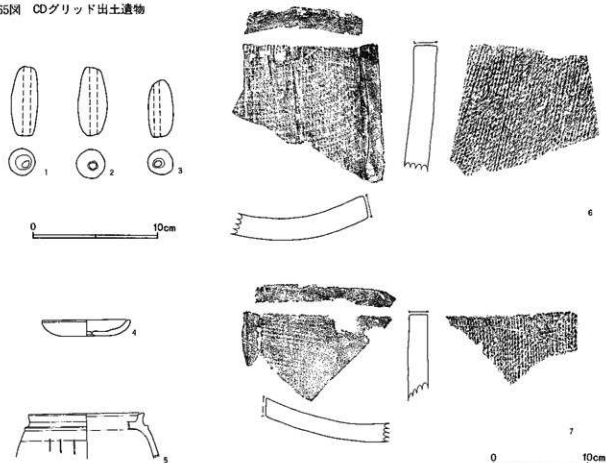
グリッド出土土質観察表(第264区)

番号	凹面		特徴	凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調	
	布日本数	横骨値幅		叩き	特徴						
10		2.8	糸切り痕 布目縦じ線	布目横	平行叩き	平行叩き後横方向ナゲ	ヘラ整形 両面凹取り	2.1	ABHS	II	鈍い黄橙
11	23×23	2.5	布目横 縦方向ナゲあり		平行叩き	平行叩き後横方向ナゲ		1.6	AS	II	鈍い黄橙

第264図 グリッド出土遺物



第265図 CDグリッド出土遺物



CDグリッド出土土錐計測表(第265図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
1	5.6	2.2	4-4.5	23.95
2	5.4	2.3	5-6	25.12

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
3	4.5	2.0	4-5	16.81

CDグリッド出土遺物観察表(第265図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
4	燭台	(11.4)	1.7			II	鈍い橙	30	CD-8g. 底部中央に円形孔 孔径1.0cm 粘土継ぎ上げ整形
5	円筒碗	(12.4)			AB	I	灰	10	CD-6-2g. 脚部外面沈線

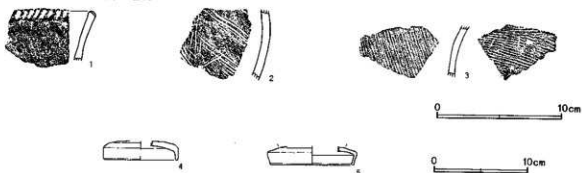
CE-8グリッド出土瓦観察表(第265図)

番号	凹面			凸面		端面的特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	模骨幅	特徴	叩き	特徴					
6			布目痕	縄叩き 1.7cm/3本	縦方向縄叩き	磨き	2.5	BS	I	灰
7			布目痕	縄叩き 1.5cm/5本	縦方向縄叩き	磨き	2.1	BS	I	灰

磨製石斧(第264図8)

BD-21グリッド出土で、長さ19.0cm、刃部幅9.6cm、厚さ4.6cmを測る。刃部に使用痕が認められる。

第266図 CE-5 グリッド出土遺物



CE-5 グリッド出土遺物観察表(第266図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存%	その他
4	須恵器蓋	(8.0)			ABH	I	灰白	10	天井部蓋ナデ
5	蓋	(9.0)			ABS	I	灰	10	天井部回転鏡削り

CE-6 グリッド出土遺物観察表(第267図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存%	その他
1	甕	(12.8)			KS	I	浅黄橙	20	外面縦方向・頸部内面横方向刷毛目
2	小壺蓋				RS	II	灰	10	頸部外面縦方向刷毛目
3	高塚				S	II	鈍い黄橙	脚部	外面縦方向刷毛目
4	甕			(8.0)	BRS	II	鈍い橙	45	外面蓋ナデ及び刷毛目 底部蓋ナデ
5	甕			(10.2)	BS	II	浅黄橙	10	外面赤彩・磨磨き 内面工具ナデ 底部工具ナデ 木葉痕一部残存
6	甕				S	II	褐	破片	外面刷毛目
7	甕				ABS	II	黒褐	破片	荒い刷毛目
8	須恵器環			7.0	ABRS	I	灰褐	70	RBb
9	環	(12.0)	3.6	6.0	ABS	I	灰	40	RBb 底部外面蓋記号「□」
10	環	(12.2)	3.6	6.0	ABS	I	灰	40	RC 火押痕あり
11	高台付杯			7.5	BS	II	灰白	50	回転糸切り後高台貼付ナデ
12	蓋	(12.8)	2.8		ABRS	I	灰	50	天井部右回転鏡削り つまみ径2.4cm
13	蓋				ABS	I	灰白	60	天井部右回転鏡削り つまみ径2.5cm
14	上脚器 台付甕			(10.0)	BS	II	鈍い赤褐	50	台部内外面横ナデ 頸部内面木口状工具ナデ
15	甕	18.0			BKS	II	鈍い赤褐	10	胴部外面←方向鏡削り
16	須恵器 円蓋甕	(14.9)			S	I	灰白	10	胴面部を除き全面自然釉・降灰付着 脚部方形造しと沈線

CE-6 グリッド出土土鍾計測表(第267図)

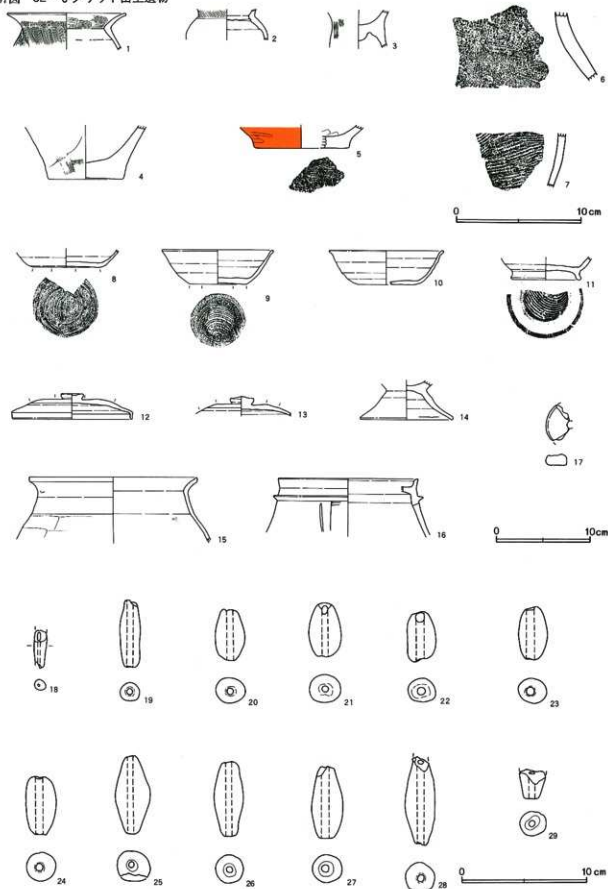
番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
18	(2.9)	0.9	2	(1.35)
19	5.2	1.6	5	12.63
20	4.0	2.4	5-5.5	17.95
21	4.3	2.6	6-6.5	23.03
22	3.9	2.2	6.5-7	15.4
23	4.2	2.3	6-6.5	16.14

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
24	4.0	2.4	6-6.5	22.90
25	6.2	2.7	4.5-5	26.81
26	5.8	2.3	5	26.79
27	5.6	2.5	5.5-6	27.72
28	(6.8)	2.4	5.5-6	(31.20)
29	(2.3)	(2.1)	4-5	(6.77)

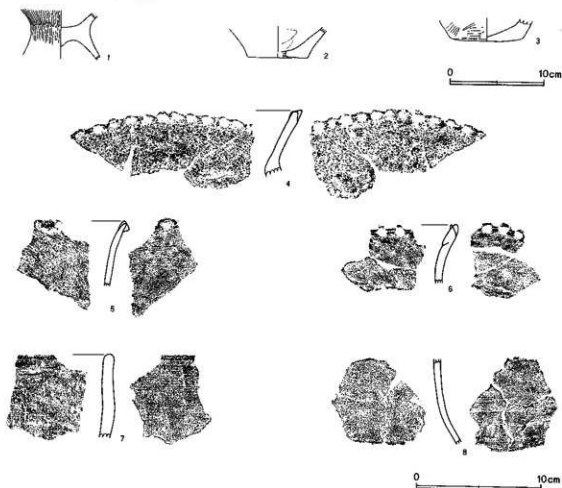
紡錘車(第267図17)

土製で、片面一部が球形している。面と外周は丁寧なヘラ整形が施されている。

第267図 CE-6 グリッド出土遺物



第268図 CE-7グリッド出土遺物



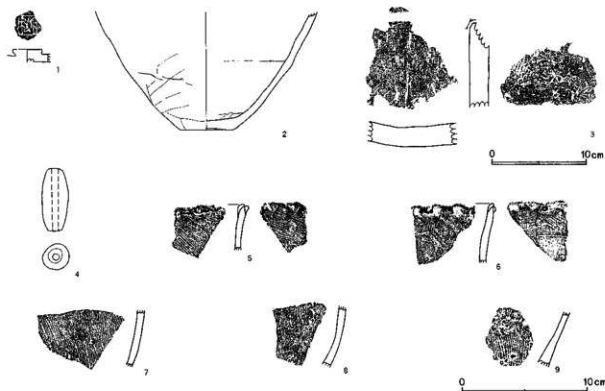
CE-7グリッド出土遺物観察表(第268図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	台付篋				AS	II	鈍い黄橙	90	外面縦方向磨き
2	甕			6.4	BS	II	鈍い橙	90	内面工具ナゲ
3	甕			7.8	BS	II	橙	80	外面横・斜方向磨き 底部磨き
4	甕				AS	II	鈍い赤褐	破片	口縁端部指頭押捺により波状 内外面横刷毛
5	甕				S	II	鈍い橙	破片	口縁端部指頭押捺により波状 内外面横刷毛
6	甕				AS	II	鈍い褐	破片	折り返し口縁 口縁端部指頭押捺により波状 口縁外面横刷毛、以下縦刷毛
7	甕				S	II	鈍い橙	破片	口縁部横ナゲ 外面縦方向磨削り 内面横方向刷毛目
8	甕				S	II	灰黄褐	破片	外面縦方向刷毛目 内面横方向刷毛目

CE-8グリッド出土遺物観察表(第269図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器蓋				AS	I	鈍い黄橙	30	縁部外面押印「匠」 口径(3.2)cm
2	甕			(5.6)	KS	II	橙	破片	外面斜方向磨削り 底部寄り横方向磨削り 内外面底部工具ナゲ
5	甕				AS	II	鈍い黄橙	破片	口縁端部指頭押捺により波状を呈す
6	甕				AS	II	鈍い黄褐	破片	口縁端部指頭押捺により波状を呈す
7	甕				S	II	黒褐	破片	外面斜方向刷毛目
8	甕				S	II	灰黄褐	破片	外面縦方向刷毛目
9	甕				S	II	鈍い黄橙	破片	外面縦方向刷毛目

第269図 CE-8グリッド出土遺物



CE-8グリッド出土瓦観察表(第269図)

番号	外面			内面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	横骨幅	特徴	叩き	特徴					
3	25×25	3.0	布目砥	平行叩き 1.7cm/5本	平行叩き後横方向の ナデ消し	ヘラ整形 凹面側面取り	2.0	ABS	I	灰

CE-8グリッド出土土鍾計測表(第269図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
4	4.9	2.1	4.5	20.19

CF-5グリッド出土遺物観察表(第270図)

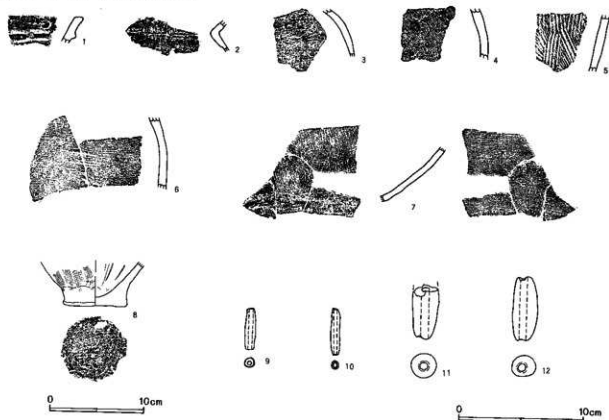
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	甕				S	II	赤	破片	口縁端部・内面赤彩
2	甕				BS	II	橙	破片	外面縦方向刷毛目
3	甕				BS	II	鈍い黄橙	破片	外面横方向刷毛目
4	甕				ABS	II	黒	破片	外面刷毛目
6	甕				ABS	II	鈍い黄橙	破片	外面横方向刷毛目
5	甕				ABS	II	鈍い橙	破片	外面縦方向刷毛目
7	甕				S	II	橙	破片	外面縦方向刷毛目 内面横方向刷毛目
8	甕			6.8	BS	II	鈍い黄橙	70	外面縦方向刷毛目 底部彫削り

CF-5グリッド出土土鍾計測表(第270図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
9	3.3	0.8	2-3	2.10
10	3.6	0.7	2.5-3	1.43

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
11	(4.3)	2.1	5.5-6	(15.21)
12	5.1	2.0	5-5.5	15.89

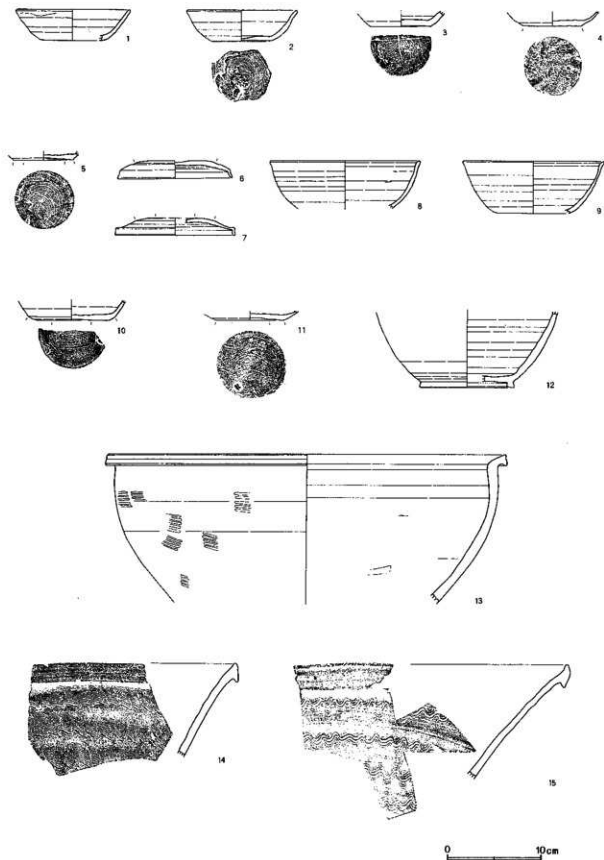
第270図 CF-5グリッド出土遺物(1)



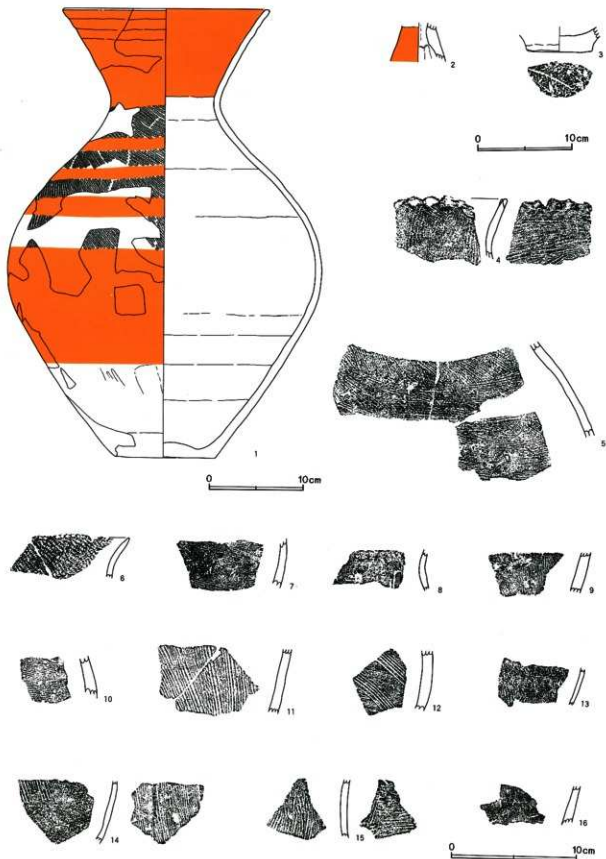
CF-5グリッド出土遺物観察表(2)(第271図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存%	その他
1	須恵器 坏	(12.2)	3.3	(7.0)	ARS	I	鈍い橙	20	RC
2	坏	(12.8)	2.5	(6.4)	ABRS	I	灰	30	RC 糸切りやり直しの痕跡
3	坏			6.4	AS	III	淡黄	60	RC 底部外面記号「×」
4	坏			6.2	ABRS	I	灰	100	底部全面手持ち鈍削り
5	坏			6.4	ABS	I	灰黄	100	RBb 底部外面記号「×」 内面油煙付着 灯明皿
6	甕	(12.3)			ABS	I	灰	10	天井部右回転削り 縦接合部露溝巻文
7	甕	(12.8)			AS	I	灰	40	天井部回転糸切り後右回転削り
8	碗	(16.0)			ABS	I	灰	15	底部整形不明
9	碗	(15.0)			ABS	I	灰	15	底部整形不明
10	碗			(7.6)	ABS	I	灰	45	停止糸切り後左回転削りが体部下端に及ぶ
11	鉢			7.2	ABRS	I	黄灰	100	RBb
12	鉢			(10.0)	ABRS	I	灰	20	内外面クロコナダ
13	鉢	(42.5)			ABS	I	灰	10	外面平行叩き後ナデ調整
14	甕				ABRS	I	暗灰		破片 外面波状文
15	甕				AS	I	灰		破片 外面波状文

第271図 CF-5 グリッド出土遺物(2)



第272図 CF-6 グリッド出土遺物(1)



CF-6グリッド出土遺物観察表(1)(第272図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存%	その他
1	壺				FS	I	鈍い橙	60	口縁部外面輪襷痕明瞭 肩部外面縄文4段 肩部外面無文部・胴部中央付近赤彩 外面胴部下半無彩 内面口縁-頸部赤彩
2	高坏				BS	II	赤	50	外面赤彩
3	甕			(7.0)	ABS	II	鈍い橙	35	底部外面木葉痕
4	甕				S	I	鈍い褐色		口縁端部指頭押捺により波状を呈す
5	甕				ABS	II	鈍い黄橙		外面斜・横方向刷毛目
6	甕				BS	I	浅黄橙		口縁部破片 外面縄文施文
7	甕				ABS	II	灰黄褐		破片 外面刷毛目
8	甕				ABS	II	鈍い黄橙		破片 外面縦方向刷毛目
9	甕				ABS	II	鈍い黄橙		破片 外面刷毛目
10	甕				BS	II	鈍い橙		破片 外面横方向刷毛目
11	甕				ABS	II	鈍い橙		破片 外面縦方向刷毛目
12	甕				BS	II	鈍い橙		破片 外面縦方向刷毛目後縁施文
13	甕				ABS	II	褐灰		破片 外面縦方向刷毛目
14	甕				BS	II	鈍い黄橙		破片 内外面刷毛目
15	甕				BS	II	浅黄橙		破片 外面縦方向刷毛目 内面横方向刷毛目
16	甕				ABS	II	鈍い橙		破片 外面刷毛目

CF-6グリッド出土遺物観察表(2)(第273図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存%	その他
1	土師器環	(13.4)			BHS	II	鈍い橙	10	底部外面磨削り
2	環	(14.4)	2.9	(10.8)	BJS	II	橙	10	内面放射状暗文
3	須恵器環	(14.0)	3.0	9.4	ABS	I	灰	10	RA 底部・体部内面油煙
4	環	(14.0)	3.2	(8.6)	AS	I	灰	10	RA
5	環	(11.6)	3.3	(6.2)	AB	I	黄灰	25	RBb 体部下端回転磨削り
6	環	(12.2)	3.4	6.1	AB	I	灰	50	RC
7	環	(11.9)	3.3	5.6	AB	I	灰黄	30	RC
8	環	(12.0)	3.6	5.7	AB	I	灰	30	RC
9	環			(6.2)	A	I	灰黄	40	RC
10	須恵器蓋	(16.0)	4.2		AB	I	灰	30	天井部右回転磨削り 径径2.7cm
11	瓶			7.9	ABS	I	灰	40	RA ロクロ痕顕著
12	甕				ABS	I	灰白	15	外面下半木口状工具による横方向ナデ 内面指ナデ
13	鉢				ACS	I	灰	10	内外面ロクロナデ
14	土師器甕			(6.6)	B	II	黒褐	25	外面磨削り 内面木口状工具ナデ
16	内面碗	(13.4)			AB	I	灰	10	胴部十字遺かし(?)と弧状洗滌 塊貼り付け部外面に竹筭文状刺突
17	内面碗			(15.6)	AB	I	灰	10	胴部長方形遺かしと縦方向洗滌

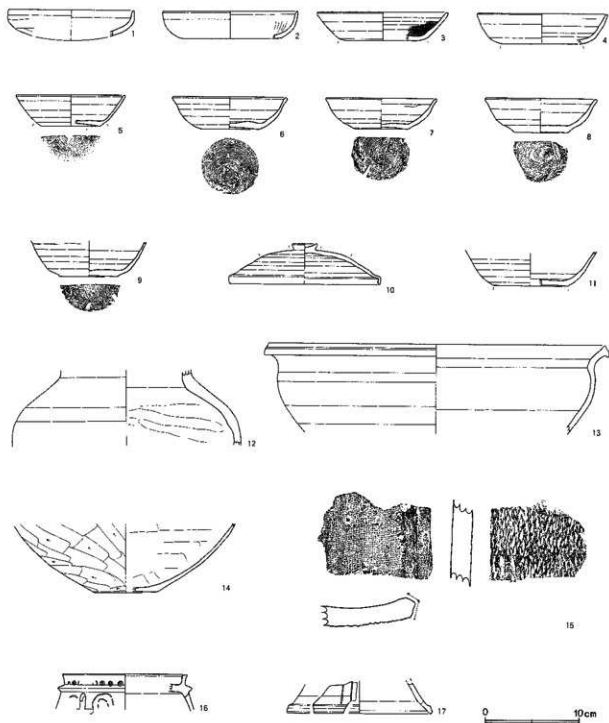
CF-6グリッド出土互観察表(第273図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	横骨痕幅	特徴	叩き	特徴					
15	24×21		布目痕	叩き 1.4cm/5本	縦方向叩き	ヘラ整形 凹面側面取り	1.6	BS	I	灰

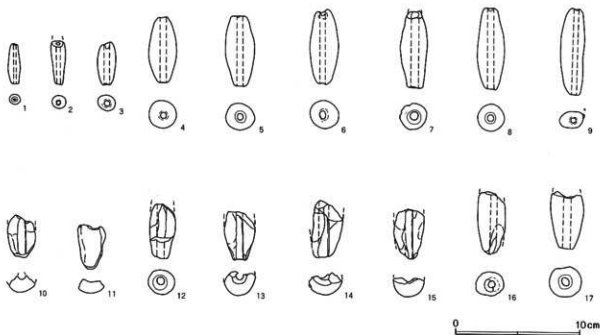
CF-6グリッド出土土鍾計測表(第274図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)	番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
1	3.2	0.9	1.5-2	1.98	10	(3.2)	(2.2)	5.5	(9.42)
2	(3.4)	1.1	2.5-3	(3.37)	11	(3.4)	(2.1)	10	(7.54)
3	3.4	1.4	4	5.14	12	(4.3)	2.0	5-5.5	(9.43)
4	5.2	2.2	4-4.5	23.38	13	(3.7)	2.5	5	(11.28)
5	5.5	2.3	5-5.5	25.22	14	(4.4)	(2.3)	8	(10.98)
6	6.0	2.3	4.5-5	26.34	15	(4.0)	(2.3)	5	(10.33)
7	(6.1)	2.2	6	(22.48)	16	(4.9)	2.2	5	(17.85)
8	6.5	2.1	4.5-5	25.99	17	(4.5)	2.6	5.5-6	(24.15)
9	6.9	1.9	3-3.5	19.80					

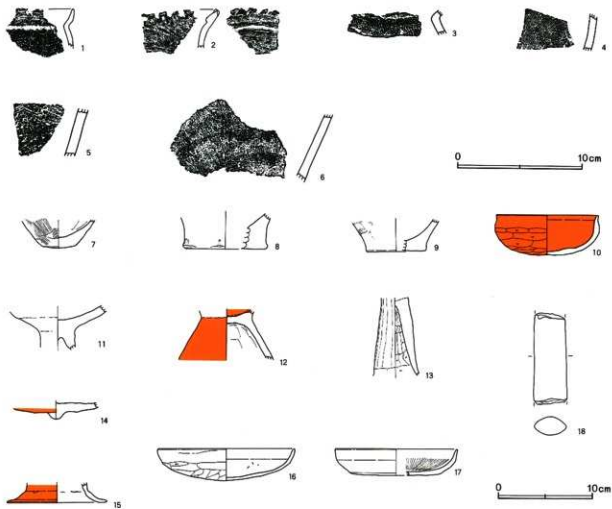
第273図 CF-6 グリッド出土遺物(2)



第274図 CF-6グリッド出土遺物(3)



第275図 CF-7グリッド出土遺物(1)



CF-7グリッド出土遺物観察表(1)(第275図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	その他
1	氷生壺				BS	Ⅱ		破片	口縁部破片 外面刷毛目
2	壺				BS	Ⅱ	鈍い橙	破片	口縁部指環押捺により波状を呈す 外面斜方向刷毛目
3	壺				BS	Ⅱ	橙	破片	外面刷毛目
4	壺				ABS	Ⅱ	鈍い橙	破片	外面斜方向刷毛目
5	壺				BS	Ⅱ	鈍い褐	破片	外面斜方向指環描文か 調整やや不明瞭
6	壺				ABS	Ⅱ	鈍い黄橙	破片	外面縦方向刷毛目
7	壺			(3.4)	ARS	Ⅱ	灰黄	75	外面縦方向刷毛目
8	壺			(9.0)	BRS	Ⅱ	鈍い橙	15	外面刷毛目
9	壺			(6.4)	ABRS	Ⅱ	鈍い橙	20	外面刷毛目 底部外面丁寧な工具ナデ
10	土師器 杯	(10.8)	4.2		BS	I	赤	20	内外面赤彩
11	高杯				S	Ⅱ	橙	80	内面工具ナデ 外面粘土被合痕明瞭
12	六付壺				S	Ⅱ	灰白	90	古部外面・豊部内面赤彩
13	高杯				CJS	Ⅱ	橙	95	脚柱部外面縦方向工具ナデ 脚端部横方向工具ナデ
14	高杯				JS	Ⅱ	赤橙	60	外面赤彩 内面刺線痕
15	高杯			(10.6)	BS	Ⅱ	赤	15	外面赤彩
16	土師器 杯	(14.6)	3.4		JS	Ⅱ	橙	60	底部外面磨削り 底部内面ナデ
17	杯	(13.0)	2.8	(9.8)	JS	Ⅱ	橙	25	内面放射状略文

CF-7グリッド出土遺物観察表(2)(第276図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	その他
1	杯	(12.8)	3.4	7.2	ABCBS	I	灰白	45	底部全面手持ち差削り
2	杯			(6.8)	ABS	I	灰白	15	底部全面手持ち差削り
3	須恵器 杯	(16.2)	4.1	(9.8)	ABS	Ⅱ	灰白	20	RA
4	杯	(16.0)	3.9	9.2	ABS	I	褐灰	60	RBa
5	杯	(15.6)		(10.0)	ABRS	I	灰	20	RA
6	杯	(16.0)	3.1	(11.4)	ABRS	I	灰	20	RA 体部外面陰押印「内」 押印部の内外面押さえ痕
7	杯	12.3	4.0	5.6	ABS	I	灰	60	RA
8	杯			7.6	ABS	I	灰	90	RBb 火押痕あり
9	杯	(12.8)	3.4	(6.6)	ABS	I	灰白	30	RC 火押痕あり
10	杯	(12.0)	3.7	(6.6)	ARS	I	灰	35	RC
11	杯	12.7	4.0	5.7	ABS	I	灰	60	RC やや赤みあり
12	高台付杯			(7.6)	ABHS	I	灰	40	底部右回転差削り 後高台貼付ナデ
13	須恵器 壺	(16.6)	4.1		ABCBS	I	灰	25	天井部右回転差削り 直径2.9cm
14	壺				ABRS	I	灰	25	天井部右回転差削り 直径3.8cm
15	鉢	(28.0)	13.4	(14.4)	ABRS	I	灰	40	体部外面縦方向平行叩き後横方向差ナデ消し 体部下端・底部・方向差削り
16	灰釉陶器 瓶				H	I	オリーブ灰	10	瓶頸部破片 外面緑色釉
17	壺				BHS	I	暗灰	破片	頸部刷毛状工具で横方向にナデ 体部一方向差削り 外面不明 内面差削りナデ
18	円面碗			(16.7)	AB	I	灰	破片	内外面自然釉 脚部縦方向沈線

CF-7グリッド出土土錐計測表(第276図)

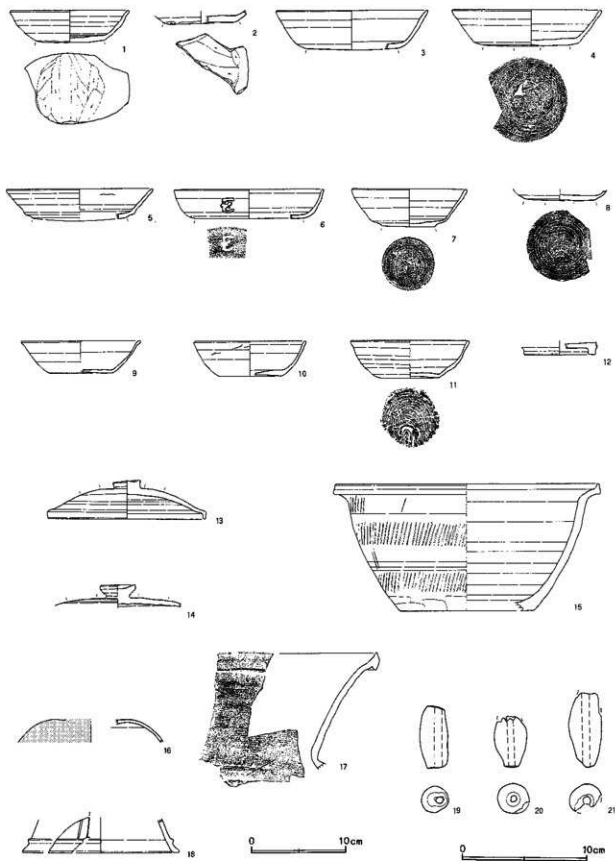
番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
19	4.9	2.2	4.5~5.5	21.69
20	(4.1)	2.5	4.5~5	(19.47)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
21	(5.9)	2.5	5	(22.45)

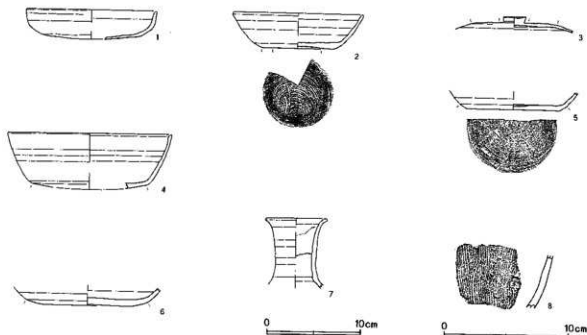
石剣(第275図18)

両端は欠損し、幅3.5cm、厚さ2.2cmを測る。被熱し
橙色に変色している。

第276図 CF-7グリッド出土遺物(2)



第277図 CF-8グリッド出土遺物



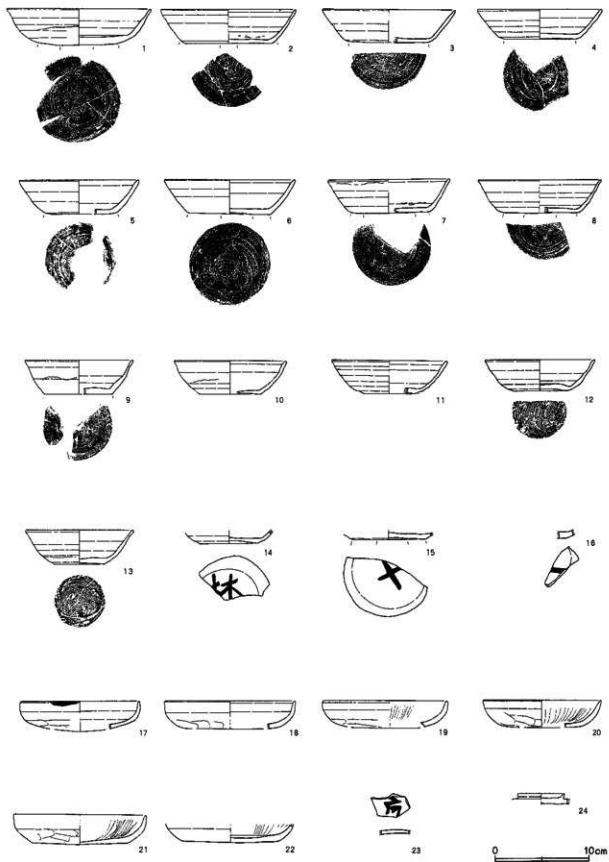
CF-8グリッド出土遺物観察表(第277図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存%	その他
1	土師器環	(14.0)	3.1	(10.6)	BS	II	橙	15	底部外面露削り 口縁部内外面ロクロナデ
2	須恵器環	(14.0)	3.7	7.6	ABS	I	褐灰	40	REb 底部外面露削り「 」
3	蓋				ABRS	I	灰	15	天井部右回転露削り つまみ径2.5cm
4	椀	(17.6)	5.7	(12.2)	ABRS	I	灰褐	25	RA 底部僅かに丸味を帯びる
5	椀			9.8	ABRS	I	灰白	50	RA 体部下端に露削り及ぶ
6	椀			(9.2)	ABCS	I	灰	40	RA 体部下端に露削り及ぶ
7	長頸瓶	(6.6)			BHS	II	灰白	45	ロクロ製形
8	甕				S	II	褐	破片	外面破方向斜毛目

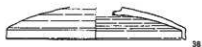
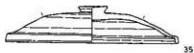
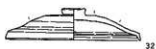
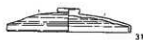
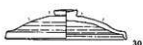
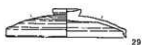
CG-6グリッド出土遺物観察表(第278図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存%	その他
1	須恵器環	(15.5)	3.9	8.5	ABS	I	灰	50	REb 丸底
2	環	(14.4)	3.6	(9.2)	ABRS	I	灰	25	REa 体部下端回転露削り 体部外面自然釉
3	環	(14.2)	3.5	(8.4)	ABS	III	鈍い黄橙	40	RA
4	環	(13.2)	3.1	(7.6)	ABCRS	II	灰白	40	RA
5	環	(12.8)	3.6	6.1	ABS	II	鈍い褐	40	RA 体部下端に回転露削り及ぶ
6	環	(14.1)	3.6	8.7	ABRS	I	灰	70	LEa
7	環	13.1	3.5	8.4	ABRS	I	灰	70	REb
8	環	(13.2)	3.5	(7.8)	ABS	I	灰	30	REb 露削りあり「×」
9	環	(11.6)	3.6	7.3	AB	I	灰	60	RA 底部露削り 西の段差内側に糸切り痕
10	環	(12.0)	3.5	(6.4)	A	I	黄灰	25	RC
11	環	(12.4)	3.5	(5.4)	ABS	I	灰	35	RC ロクロ製顯著
12	環	(11.8)	3.3	(5.8)	ABCRS	I	灰	40	RC
13	環	(11.6)	3.6	5.5	ABRS	I	灰白	50	LC 底部に糸引き抜き痕
14	環			(6.2)	ABCS	III	灰白	25	RC 底部外面露削り「林」
15	環			(7.8)	ABS	I	灰	50	REb 底部外面露削り「×」(ターム状に濃い)
16	環				AS	I	灰白	破片	RC 底部外面露削り
17	土師器環	(12.8)		(11.8)	BS	II	鈍い橙	10	口縁部内外面一部に油漣 灯明皿
18	環	(14.0)	2.9	(9.9)	BEJ	I	灰褐	15	底部外面一方向露削り
19	環	(13.4)			BS	I	橙	15	内面放射状暗文 器型覚れる
20	環	(13.6)	2.9	(8.6)	JS	I	鈍い橙	30	内面放射状暗文 底部一方向の露削り 口縁部内外面一部に覆付着
21	環	(14.2)	3.2	(10.2)	JS	I	橙	20	内面放射状暗文 底部一方向の露削り

第278図 CG-6 グリッド出土物(1)

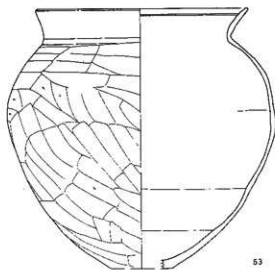
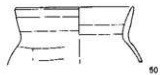
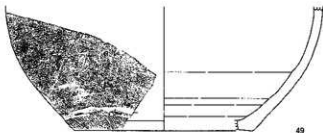
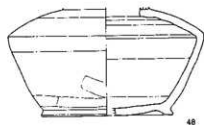
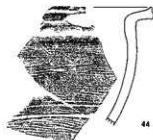
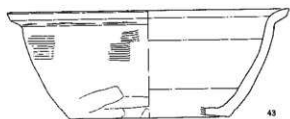


第279図 CG-6 グリッド出土遺物(2)

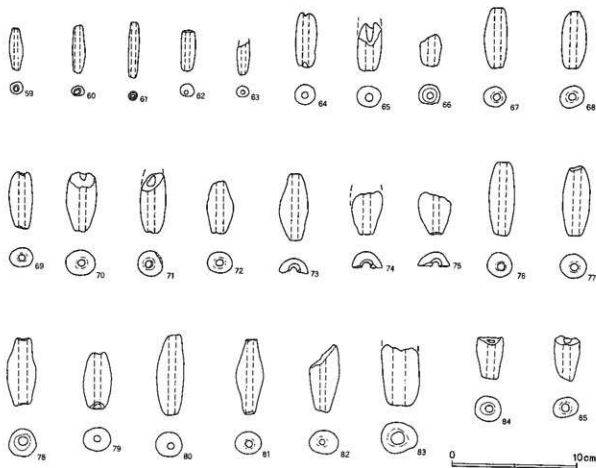
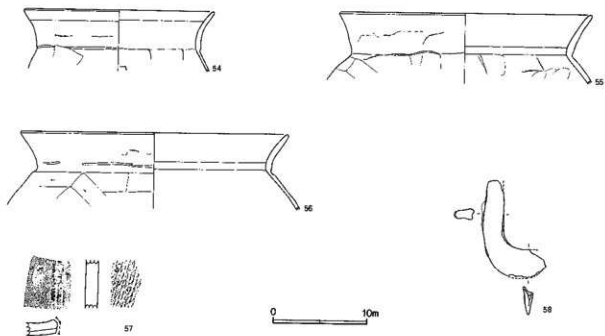


0 10cm

第280図 CG-6 グリッド出土遺物(3)



第281図 CG-6 グリッド出土遺物(4)



CG-6 グリッド出土遺物観察表(第278~281図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
22	坏			(10.4)	BS	I	鈍い橙	90	内面放射状埃文 底部一方向・内側外方向の彫割り
23	須恵器蓋				AB	I	黄灰	破片	大井部外面に墨書
24	蓋				ABS	I	灰	100	環状窪 径5.0cm
25	蓋 (22.8)	4.5			ABS	I	灰	20	大井部右回転彫割り 環状窪 径4.9cm
26	蓋 (8.3)	2.2			AB	I	灰白	30	大井部及び肩部右回転彫割り 径2.2cm
27	蓋 (13.0)	2.1			AB	I	灰	10	大井部右回転彫割り 擬宝珠径1.9cm
28	蓋 12.7	3.0			AB	I	灰白	50	大井部右回転彫割り 径2.8cm
29	蓋 (12.8)	3.0			ABS	I	灰白	30	大井部右回転彫割り 径2.3cm
30	蓋 (13.0)	3.1			AB	I	灰白	15	大井部右回転彫割り 径2.5cm
31	蓋 13.2	2.5			ABS	I	灰	90	大井部右回転彫割り 径2.4cm 口縁部の一部に自然釉
32	蓋 (14.2)	3.3			ABS	I	灰	65	大井部右回転彫割り 径2.7cm 口縁部一部に自然釉
33	蓋 (16.8)	4.1			AB	I	灰	40	大井部右回転彫割り 内面ロクロ痕顯著 擬宝珠径2.6cm
34	蓋 (17.4)	3.4			AB	I	灰	25	大井部右回転彫割り 縁周辺糸切り痕 径3.3cm
35	蓋 (18.2)	3.9			ABRS	I	灰白	60	大井部右回転彫割り 径3.2cm
36	蓋				ABS	II	灰	80	大井部左回転彫割り 径3.0cm
37	蓋 (19.4)	4.0			AB	I	灰	30	大井部右回転彫割り 径2.4cm
38	蓋 (19.0)				ABRS	I	暗灰	15	大井部外面彫割り
39	蓋 (21.0)				AB	I	暗灰	40	内外面自然釉
40	高台付甕				ABCRS	III	灰白	15	体部外面下端彫割り 外面黒色処理
41	高台付甕			(9.4)	ABRS	I	灰	10	
42	高台付甕			(8.6)	ABRS	III	灰白	15	
43	鉢 (30.0)	11.4	(17.0)		ABRS	I	灰	25	底釜・体部下方彫割り 外面上半横方向平行叩き後ナデ消し 下半一方向彫割り 内面口縁部・底部横ナデ 内面中央部縦方向ナデ 底部外面鏡調整
44	鉢				ABS	I	灰白	破片	外面平行叩き後ナデ
45	甕 (21.6)				AB	I	暗青灰	20	ロクロ整形
46	甕		10.2		AB	I	灰	40	体部下端一方向彫割り 底部外面周縁左回転彫割り
47	コップ形 (8.3)	(8.2)	6.5		AB	I	灰	30	RA 体部下端彫割り 外面自然釉
48	瓶 (14.0)				BS	I	灰	40	肩部外面自然釉 胴部鏡状工具横ナデ
49	甕 (19.0)				AS	I	灰	15	外面佛状工具によるナデ 底部へラ整形
50	上脚部 台付甕 (13.8)				BS	II	明赤褐	30	口縁部内面工具ナデ 外面指ナデ 胴部一方向彫割り
51	台付甕 (13.0)				BJ	II	明赤褐	35	口縁部内外面工具ナデ
52	台付甕			(10.0)	BES	II	鈍い橙	45	
53	甕 20.6	27.6	(6.5)		BEJKS	II	鈍い橙	90	外面上半横方向・下半斜方向彫割り 口縁部内面沈線造る 内面工具による横ナデ
54	甕 (20.4)				BCEJS	II	鈍い橙	20	口縁部内外面工具横ナデ 外面一方向彫割り
55	甕 (26.8)				BJS	II	鈍い橙	30	外面一方向彫割り 内面鏡ナデ・指ナデ
56	甕 (28.6)				AKS	II	鈍い橙	35	外面一方向彫割り 一部斜方向彫割り

CG-6 グリッド出土瓦観察表(第281図)

番号	凹面		凸面		端部の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調	
	布目状 横付枚幅	特徴	叩き	特徴						
57	24×21	布目状 へらナデ		鏡甲き 1.7cm/5本	斜方向鏡甲き	へら整形 凹面側面取	1.4	ABS	I	灰

鏡先(第281図58)

一部欠損しているが、鍛造品で内縁には装着できる
ように「く」の字状の挟りが作り出されている。

CG-6グリッド出土土錐計測表(第281図)

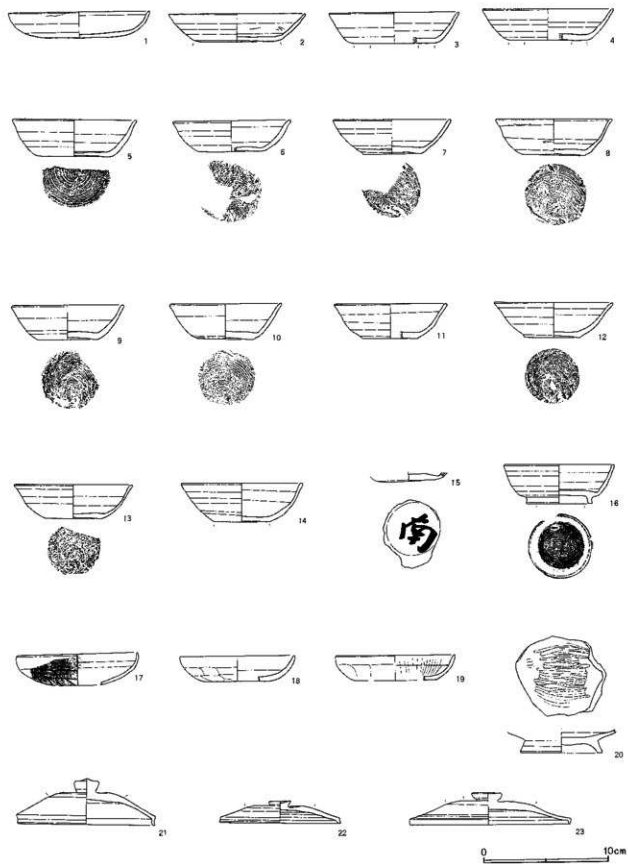
番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
59	3.4	1.1	2~3	2.58
60	3.8	1.0	3~4	3.05
61	4.5	0.8	2~3	2.31
62	(3.3)	1.1	3~3.5	(4.22)
63	(2.5)	1.0	2~2.5	(2.05)
64	4.4	1.7	4.5~5.5	11.69
65	(3.8)	1.9	6	(10.82)
66	(2.5)	1.7	5~5.5	(4.97)
67	4.8	1.8	4.5~5	13.46
68	4.5	1.9	5~5.5	13.31
69	4.6	1.8	4~4.5	11.95
70	(4.7)	2.4	6	(21.17)
71	(4.8)	2.0	5~5.5	(16.73)
72	4.2	2.1	5.5~6	11.71

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
73	5.2	2.3	4.5	12.88
74	(3.4)	2.4	6	(8.19)
75	(3.3)	2.5	4.5	(9.97)
76	5.8	2.0	5.5~6	22.02
77	5.6	2.1	5~5.5	21.39
78	5.4	2.3	6.5~7	24.03
79	4.6	2.2	4~4.5	19.73
80	6.3	2.1	4~5	28.34
81	6.0	2.1	4.5~5	18.00
82	(5.3)	2.3	4~4.5	(18.53)
83	(4.8)	3.0	10~10.5	(32.63)
84	(3.3)	2.1	6~7	(11.64)
85	(3.6)	1.9	5.5~6	(9.53)

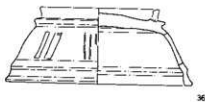
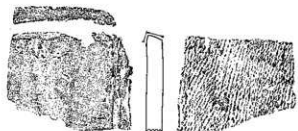
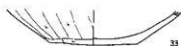
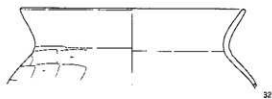
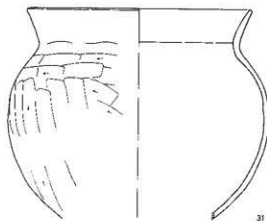
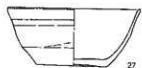
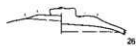
CG-7グリッド出土遺物観察表(第282・283図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器	(15.0)	2.8		ABRS	I	灰	30	RA 丸底
2	環	(14.6)	3.0	(7.8)	ABS	II	灰白	20	RA 体部下端回転彫り
3	環	(13.8)	3.3	(8.4)	AB	I	灰白	10	Rbb
4	環	(14.0)	3.3	(8.2)	ABRS	I	灰	35	Rbb
5	環	(13.2)	3.9	(7.1)	ABS	II	鈍い橙	25	RC
6	環	(12.6)	3.3	7.0	AB	II	灰	25	RC
7	環	(12.6)	3.7	6.1	AB	I	灰	30	RC
8	環	12.4	3.9	6.5	AS	I	オリーブ灰	70	RC 火障痕あり
9	環	(12.0)	3.6	6.5	ABRS	I	灰	60	RC
10	環	(12.0)	3.7	6.1	AB	I	灰	70	RC 口縁部外面自然輪
11	環	12.1	3.7	(5.9)	ABS	I	灰	40	RC
12	環	(12.7)	3.7	5.8	ABS	I	灰	30	RC
13	環	(12.7)	3.6	5.2	AS	I	灰白	30	RC
14	環	13.0	4.1	5.7	ACS	III	鈍い黄橙	60	LA 磨耗のため不鮮明
15	環			5.6	ABRS	I	灰白	70	RC 底部外面磨き「南」
16	高台付環	(11.8)	4.1	7.0	A	I	灰	40	回転未切り後右回転彫り 高台貼付
17	土師器環	(13.0)			BJ	I	鈍い橙	30	積裏 内外面嵌付着
18	環	(12.3)	2.7	(7.3)	BCJ	I	鈍い橙	15	底部一方向彫り
19	環	(12.8)	2.7	(9.1)	BJ	I	橙	15	内面放射状略文
20	高台付椀	(14.6)			KS	II	鈍い橙	80	内黒土器 内面施磨き
21	須恵器蓋	(14.6)	4.9		AB	I	灰	20	天井部右回転彫り 径径2.6cm
22	蓋	(12.8)	2.3		ABS	I	灰白	30	天井部右回転彫り 径径2.3cm
23	蓋	17.0	3.4		AB	I	明青灰	80	天井部右回転彫り 径径3.2cm 内面焼成時付着物あり
24	蓋	(19.0)			AB	I	灰	20	天井部右回転彫り
25	蓋				ABRS	I	灰	80	天井部右回転彫り 径径2.8cm
26	蓋	(16.8)			ABRS	III	淡黄橙	20	天井部右回転彫り
27	椀	14.3	6.1	7.6	ABS	I	黄灰	70	RC
28	器			(19.0)	AS	I	灰	15	底部へう整形 体部外面櫛状工具によるナデ
29	土師器 小付蓋				BEJ	I	鈍い橙	80	内黒土器(脚付内面) 外面縦方向彫り
30	小型瓿	13.0	19.0	(6.0)	BEK	II	橙	40	器壁やや磨減
31	瓿	(24.0)			BKS	II	橙	30	外面彫り 内面不明瞭
32	瓿	(24.0)			BKS	III	橙	15	外面縦方向彫り
33	瓿			9.2	BKS	III	明黄橙	70	外面縦方向彫り 下輪縦方向彫り
34	瓿			(7.2)	BS	III	橙	40	底部木葉痕
36	円筒碗	(12.4)	(8.5)	(19.9)	ABRS	I	灰白	10	脚部のみ残存 外縁欠損 使用痕著 脚部沈蝕・方形透し

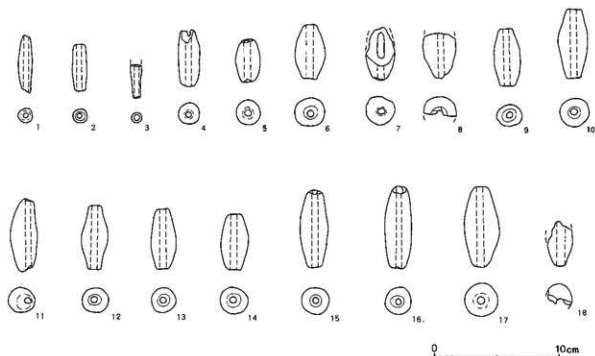
第282図 CG-7グリッド出土遺物(1)



第283図 CG-7 グリッド出土遺物(2)



第284図 CG-7グリッド出土遺物(3)



CG-7グリッド出土互観察表(第283図)

番号	凹面			凸面		端面の特徴	厚さ	胎土	焼成	色調
	布目本数	換骨痕跡	特徴	印き	特徴					
35	22×19		布目痕 一部ナデ	異印き 1.7cm/5本	斜方向異印き	ヘラ整形 凹面側面取り	1.8	ABS	I	黄灰

CG-7グリッド出土土鏢計測表(第284図)

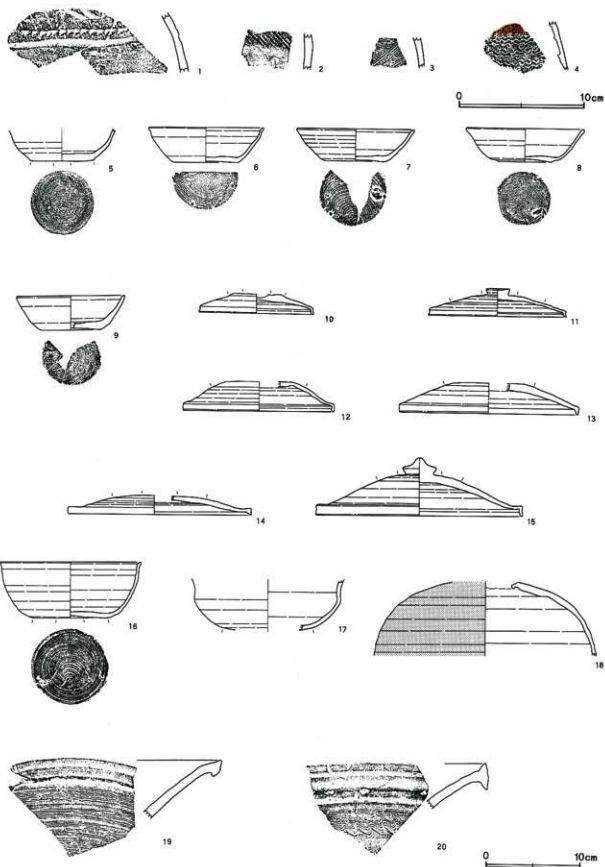
番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
1	4.6	1.1	3~3.5	3.96
2	3.7	1.1	3	4.69
3	(2.6)	0.9	3~4	(1.38)
4	(4.5)	1.7	4.5~5	(10.63)
5	3.4	1.9	4~6	11.35
6	4.4	2.5	5.5	20.98
7	(4.1)	2.3	5~5.5	(13.44)
8	3.6	2.6	4	(12.28)
9	4.6	2.1	4~4.5	17.31

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
10	5.5	2.4	5.5	24.49
11	5.7	2.2	4.5~5	20.38
12	5.0	2.1	5~5.5	17.74
13	4.8	2.0	5~5.5	16.02
14	4.4	2.1	5	20.06
15	6.1	2.2	4	26.91
16	6.5	2.1	4~5	31.10
17	6.3	2.8	5~5.5	37.00
18	(3.55)	2.0	5	(6.43)

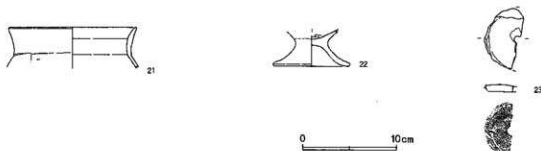
CH-5・6グリッド出土遺物観察表(第285図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率	出土位置・その他
1	甕				RS	II	鈍い黄橙	破片	CH-5g 横方向に半円形刺突文が通り、直下に平行沈線
2	甕				BS	II	灰黄褐	破片	CH-6g 外面縄文・ナデ 内面ナデ
3	甕				ABS	II	橙	破片	CII-6g 外面斜・横方向刷毛目 内面ナデ
4	甕				ABS	II	鈍い橙	破片	CH-6g 外面S字結節文 無文部赤彩 内面刺線
5	須恵器環			6.7	ABS	I	灰白	100	CH-6g RBa 火障痕あり
6	杯	(12.2)	3.7	(7.0)	ABRS	I	灰	30	CH-6g RC
7	杯	(12.6)	3.4	(6.6)	ABS	I	褐灰	40	CH-6g RC
8	杯	(12.6)	3.5	5.8	ARS	I	灰	60	CH-6g RC
9	杯	(11.6)	3.6	(6.4)	ABRS	I	灰	40	CH-6g RC
10	蓋	(12.2)			ARS	I	灰	65	CH-6g 天井部凸回転負削り 鈕部刺線

第285図 CH-5・6グリッド出土遺物(I)



第286図 CH-6グリッド出土遺物(2)



CH-5・6グリッド出土遺物観察表(第285・286図)

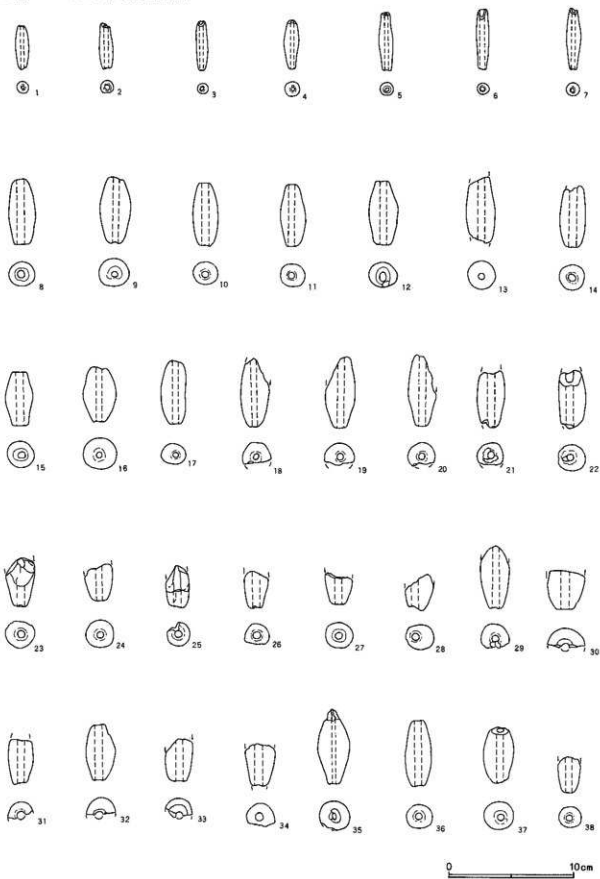
番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存%	出土位置・その他
11	蓋	(14.6)	2.9		AS	I	灰白	60	CH-6g 天井部右回転蓋削り 紐径2.5cm
12	蓋	(16.0)			ABRS	I	灰	40	CH-6g 天井部右回転蓋削り 釜みあり
13	蓋	(19.0)			ABRS	I	灰	15	CH-6g 天井部右回転蓋削り 内面焼成時降灰・砂付着
14	蓋	(19.5)			ABS	I	灰	10	CH-6g 天井部右回転蓋削り
15	蓋	(22.0)	6.1		ABRS	I	灰	40	CH-6g 天井部右回転蓋削り 擬宝珠紐径3.6cm
16	椀	(15.0)	5.9	8.0	ABRS	I	灰	40	CH-6g RBa 底部疵あり
17	碗				ABRS	I	褐灰	15	CH-6g 外波埋機
18	瓶				-	I	灰オリーブ	60	CH-6g 外面灰オリーブ色施釉
19	甕				BS	I	灰白	破片	CH-6g 外面櫛指波状文
20	甕				ABS	I	灰	破片	CH-6g 外面櫛指波状文
21	土師器蓋	(13.6)			BS	III	橙	10	CH-6g 口縁部横ナデ 胴部上半横方向削り
22	台付甕			(8.2)	ABS	II	鈍い橙	45	CH-6g 台部内外面横ナデ
23	紡錘車				ABS	I	灰	50	CH-6g 須恵器坯底部転用 RC

CH-6グリッド出土土鏝計測表(第287図)

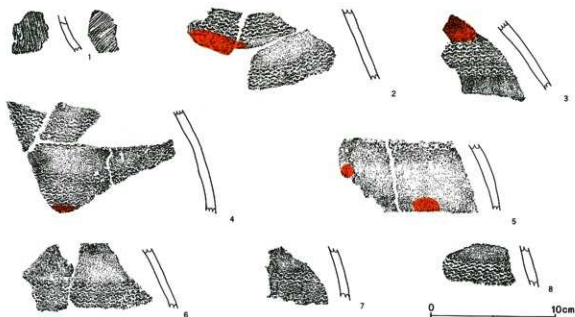
番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
1	3.5	1.0	2-3	3.00
2	3.6	1.1	3.5-4	2.85
3	3.9	0.9	2-3	2.51
4	4.0	1.2	2-2.5	4.39
5	4.7	1.1	2-3	4.33
6	4.8	0.95	3-4	3.40
7	4.9	1.1	2.5-3.5	4.37
8	5.1	2.1	5.5	19.80
9	5.2	2.4	4.5-5	25.60
10	4.9	2.0	5.5	17.52
11	4.9	2.0	5-6	16.39
12	5.0	2.2	6-7	20.41
13	(5.2)	2.3	6-7	(24.62)
14	4.9	2.0	7-8	17.88
15	4.2	2.2	5-6	17.62
16	4.3	2.6	5-6	24.45
17	5.1	1.9	5.5-6	15.65
18	(5.5)	2.2	4-5	(17.15)
19	5.6	2.3	5-6.5	15.77

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
20	5.6	2.2	5.5-6	14.86
21	(4.3)	2.1	5.5-6	(15.82)
22	(4.5)	2.1	6-6.5	(17.14)
23	(3.9)	2.2	5.5	(13.89)
24	(2.9)	2.2	4.5-5	(10.17)
25	(3.3)	1.8	6	(6.70)
26	(2.9)	1.9	6	(6.54)
27	(2.4)	2.1	4.5-5.5	(8.48)
28	(2.9)	2.2	6-7	(8.02)
29	(5.0)	2.3	4.5-5.5	(14.10)
30	(3.0)	2.9	7	(10.92)
31	(3.3)	1.9	6	(6.98)
32	4.4	2.2	5	10.95
33	(3.3)	2.1	5	(8.76)
34	3.3	2.3	6-6.5	11.54
35	5.8	2.5	4-5	26.56
36	5.1	2.1	5-6	18.04
37	4.4	2.4	5-6	19.90
38	(2.9)	1.8	6-6.5	(6.27)

第287図 CH-6グリッド出土遺物(3)



第288図 CH-7グリッド出土遺物(1)



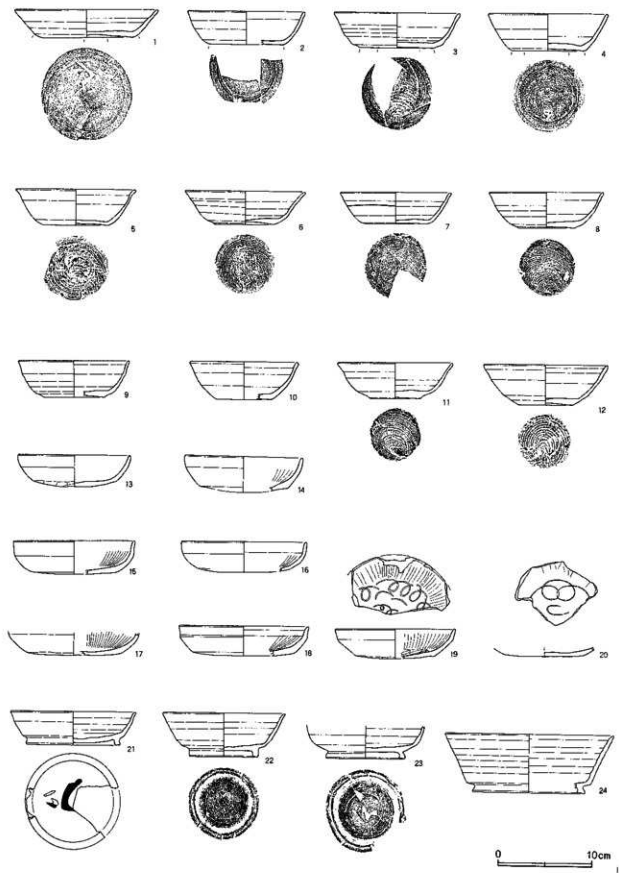
CH-7グリッド出土遺物観察表(第288図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	高坏				S	II	橙	破片	脚部破片 円形透孔 外面縦方向刷毛目 内面横方向刷毛目
2	甕				ABS	II	鈍い橙	破片	外面S字結節文 無文部の一部が赤彩 内面ナデ
3	甕				ABS	II	鈍い橙	破片	外面S字結節文 無文部赤彩 内面ナデ
4	甕				ABS	II	鈍い橙	破片	外面S字結節文 無文部の一部が赤彩 内面ナデ
5	甕				ABS	II	鈍い橙	破片	外面S字結節文 無文部の一部が赤彩 内面ナデ
6	甕				ABS	II	褐灰	破片	外面S字結節文 内面ナデ
7	甕				ABS	II	鈍い橙	破片	外面S字結節文 内面工具ナデ
8	甕				ABS	II	鈍い橙	破片	外面S字結節文 内面ナデ

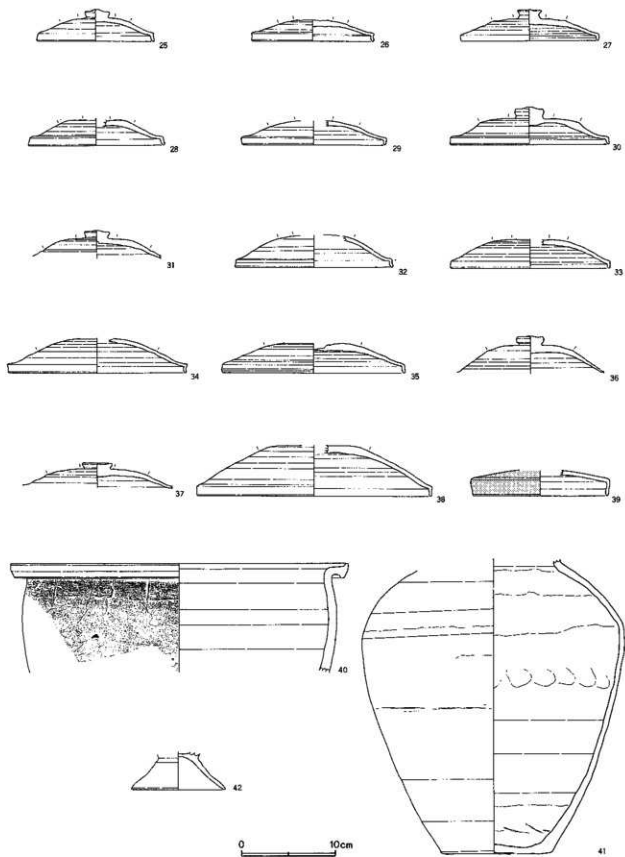
CH-7グリッド出土遺物観察表(3)(第289図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
1	須恵器 坏	15.3	3.0	9.6	ABRS	I	灰	90	RBa 体部下端に回転彫り及ぶ 大樽痕あり
2	坏	(12.3)	3.5	7.9	ABS	I	灰	30	RA
3	坏	(13.4)	3.7	7.9	ABS	I	灰褐	60	RBb
4	坏	(12.8)	3.9	7.7	ABS	I	灰白	40	RBb
5	坏	(12.8)	3.8	7.0	AS	I	灰白	35	RC 底部外面記号 大樽痕あり
6	坏	12.9	3.5	6.4	ABS	I	灰白	80	RC 底部外面記号
7	坏	(11.8)	3.3	6.6	ABS	I	灰	60	RC 体部外面細洗線あり
8	坏	(12.2)	3.8	6.0	ABRS	I	灰	60	RC
9	坏	(11.8)	3.9	(6.4)	ABCS	I	灰	15	RC 歪みあり
10	坏	(11.6)	4.0	(5.9)	ABS	I	灰	25	RC 大樽痕あり
11	坏	(12.3)	3.8	5.4	ABS	I	鈍い橙	40	RC 底部周縁突起し痕あり
12	坏	(13.2)	4.2	5.8	ABRS	I	灰	50	RC 底部外面記号
13	土師器 坏	(12.0)	3.3	(8.8)	CES	II	鈍い橙	20	底部外面彫り
14	坏	(12.6)		(9.4)	EJS	II	橙	10	内面放射状暗文
15	坏	(13.0)	3.5	(9.0)	JS	II	橙	15	内面放射状暗文 底部内面螺旋状暗文
16	坏	(13.4)		(10.0)	BJS	I	橙	10	内面放射状暗文
17	坏			(10.0)	S	II	鈍い橙	30	内面放射状暗文
18	坏	(13.8)	3.1	(11.0)	BS	I	鈍い橙	10	内面放射状暗文・弧状暗文

第289図 CH-7グリッド出土遺物(2)



第290図 CH-7グリッド出土遺物(3)



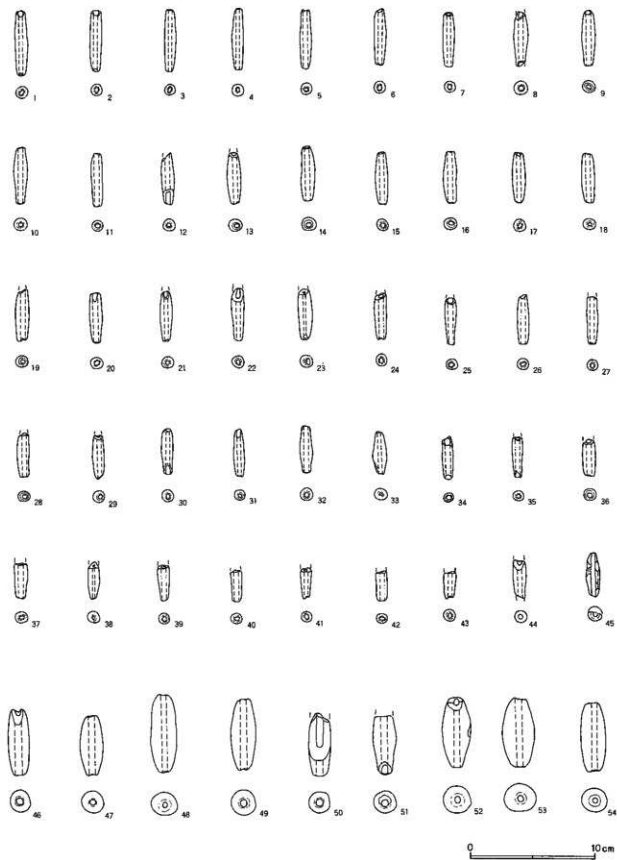
CH-7グリッド出土遺物観察表(第289・290図)

番号	器種	口径	器高	底径	粘土	焼成	色調	残存率	その他
19	坏	(12.8)	3.1	(8.4)	BS	II	鈍い橙	30	内面放射状暗文 底部内面螺旋状暗文
20	坏			(8.4)	S	II	鈍い橙	15	内面放射状暗文 底部内面螺旋状暗文
21	須恵器 高台付坏	(15.4)	3.5	10.0	BKS	II	灰白	70	底部外面考書
22	高台付坏	(15.0)	4.6	7.3	ACS	I	灰	60	底部右回転施削り 後高台貼付
23	高台付坏			8.4	ABS	II	灰褐色	80	底部回転糸切り後右回転施削り 高台貼付
24	高台付坏	(18.0)	6.2	(12.0)	-	I	灰	20	口クロ概爾著
25	蓋	12.5	3.4		AGS	I	灰褐色	70	天井部右回転施削り 縦宝珠紐径2.6cm
26	蓋	(13.0)			ABS	I	灰	20	天井部右回転施削り 紐部刺離
27	蓋	(14.4)	3.3		ABS	I	灰	30	天井部右回転施削り 紐径2.5cm
28	蓋	(14.6)			ABS	I	灰	25	天井部右回転施削り
29	蓋	(15.4)			ABS	I	灰	15	天井部右回転施削り
30	蓋	(17.0)	4.0		ABS	I	灰	40	天井部回転糸切り後右回転施削り 紐基部施ナデ 縦宝珠紐径3.0cm
31	蓋				AS	I	灰白	30	天井部右回転施削り 紐径2.7cm
32	蓋	(16.8)			AS	I	灰	40	天井部右回転施削り 垂みあり
33	蓋	(17.0)			ABS	I	灰	25	天井部右回転施削り
34	蓋	(19.0)			ARS	I	灰白	60	天井部右回転施削り 紐基部刺離痕
35	蓋	(19.6)			ABS	I	灰白	60	天井部右回転施削り 紐基部刺離痕
36	蓋				ABHS	I	灰白	40	天井部右回転施削り 紐径2.8cm
37	蓋				AS	I	灰	70	天井部右回転施削り 紐径3.2cm
38	蓋	(25.0)			AS	I	灰	15	天井部右回転施削り
39	灰種陶器蓋	(14.4)			S	I	灰オリーブ	45	外面灰オリーブ色施釉
40	須恵器鉢	(36.0)			ABS	I	灰	20	外面指状工具による横ナデ 内面口クロ横ナデ
41	鉢			11.8	AS	I	灰	80	外面工具による横ナデ 底部降灰 内面胴部中央付近指痕 胴部最大径27.9cm
42	七脚器 台付製			(10.0)	BJS	II	鈍い橙	60	台部内面 1具横ナデ

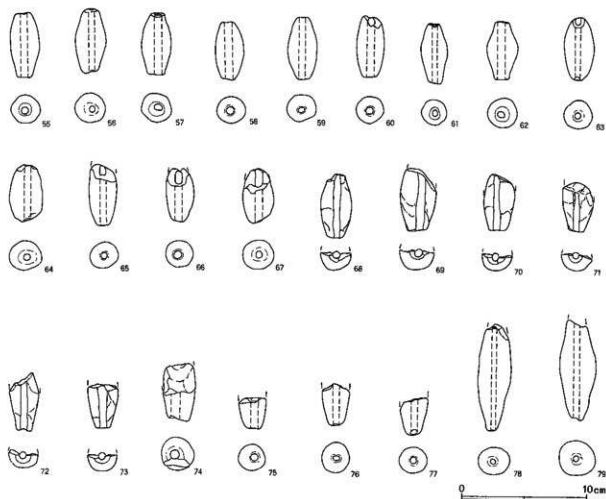
CH-7グリッド出土土錘計測表(第291図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)	番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
1	5.2	0.95	3.5-4.5	4.23	27	(3.8)	0.9	3-4	(2.59)
2	4.8	0.9	3-4.5	3.42	28	(3.5)	1.0	3-4	(2.51)
3	4.9	0.9	3-4	3.00	29	(3.4)	0.95	3-3.5	(2.30)
4	4.9	0.9	3-4	3.11	30	3.7	0.9	3-4	2.40
5	4.7	0.9	3-4	2.92	31	3.7	0.85	2.5-3	2.03
6	4.5	0.95	3-4	3.43	32	3.8	1.05	3-3.5	3.24
7	4.3	0.9	3-4	2.78	33	3.3	1.1	2-3	2.74
8	(4.4)	1.15	3-4	(3.51)	34	3.4	0.8	3-3.5	1.53
9	4.3	1.05	3-4	3.98	35	(3.2)	0.85	3.5-4	(1.49)
10	4.5	1.05	3-4	3.24	36	(2.9)	1.0	3.5-4	(2.65)
11	4.2	0.85	3-4	2.56	37	(2.8)	1.0	3-4	(2.39)
12	4.2	1.0	3-4	2.74	38	(2.9)	0.9	2-3	(2.17)
13	(4.1)	1.05	2.5-3	(3.70)	39	(2.9)	0.9	3.5-4	(1.73)
14	4.4	1.1	3-3.5	4.03	40	(2.5)	0.85	3-3.5	(1.46)
15	4.1	1.0	3.5-4	3.35	41	(2.4)	0.85	3.5-4	(1.29)
16	4.1	1.0	3-3.5	3.19	42	(2.4)	0.85	3.5-4	(1.40)
17	4.0	1.0	3-3.5	3.37	43	(2.0)	0.9	3.5-4	(1.46)
18	3.9	1.05	3-3.5	3.47	44	(3.0)	1.05	3.5-4	(2.45)
19	(4.0)	1.0	3-3.5	(3.36)	45	3.5	1.1	3	2.08
20	4.0	1.0	3.5-4	2.96	46	5.3	1.6	4.5-5	14.16
21	(3.9)	0.95	3-3.5	(2.64)	47	4.7	1.8	5-5.5	13.05
22	(4.1)	1.1	3-4	(2.65)	48	6.1	2.0	3	21.43
23	(4.1)	1.1	2	(4.14)	49	5.7	2.0	5.5	19.86
24	(3.7)	0.9	3.5-4	(2.86)	50	(5.0)	1.7	5.5	(10.69)
25	(3.7)	0.9	3-3.5	(2.03)	51	(4.6)	1.8	5-5.5	(13.29)
26	4.0	0.9	3-3.5	2.63	52	5.6	2.2	4-5	22.39

第291図 CH-7グリッド出土遺物(4)



第292図 CH-7グリッド出土遺物(5)

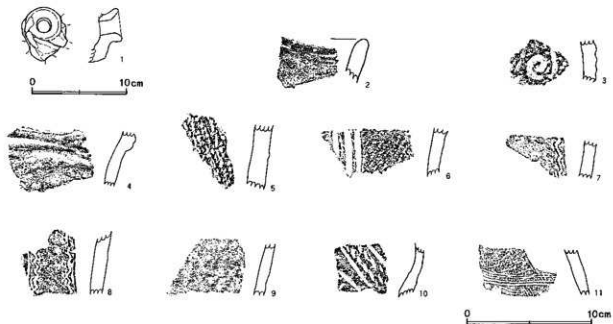


CH-7グリッド出土土器計測表(第291・292図)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
53	5.5	2.55	5-6	28.29
54	5.4	1.9	4-4.5	21.15
55	5.1	2.3	5-6	22.02
56	5.2	2.45	4	24.94
57	4.9	2.3	4	24.46
58	4.6	2.2	5-5.5	19.79
59	4.9	2.3	4-4.5	20.19
60	5.0	2.2	6	19.80
61	4.7	2.1	4-4.5	16.35
62	4.6	2.4	5.5-6	21.00
63	5.0	2.3	4.5-5	21.74
64	4.4	2.6	5.5-6	23.06
65	(4.9)	2.1	5.5-6	(18.68)
66	(4.2)	2.2	7	(15.79)

番号	長さ(cm)	最大径(cm)	孔径(mm)	重さ(g)
67	4.2	2.5	6-6.5	19.89
68	5.0	2.4	4.5	16.18
69	(4.8)	2.8	7	(19.14)
70	(4.5)	2.4	5	(11.70)
71	(3.9)	2.3	5	(9.26)
72	(4.6)	2.3	4	(10.55)
73	(3.5)	2.3	5	(9.74)
74	(4.6)	2.5	7.5-8	(20.20)
75	(2.5)	2.2	6-6.5	(9.64)
76	(3.3)	2.2	5-5.5	(13.28)
77	(2.9)	2.1	4.5-5	(9.44)
78	(8.4)	2.6	4.5-5	(41.78)
79	(7.9)	2.8	5.5	(50.61)

第293図 C-Ⅲ区出土遺物



C-Ⅲ区出土遺物(第293図)

- 1は口縁部の突起である。2は波状で無文の口縁部。
 3は地文が縄文で渦巻きの沈線文が施されている。
 4は口縁部下端から胴部の土器。6は地文に縄文が施され、3本の沈線が垂下する。
 7・8は波状と直線の沈線が垂下する。
 9は無文で、外面に粘土巻き上げ痕が見られる。
 10は沈線文の間に刺突文が施される。
 11は櫛描文と撚り糸の押圧が施されている。

VI 野本氏館跡の調査

1 遺跡の概要

野本氏館跡は、都幾川に面する低台地上に位置し、南北約300m、東西約200mの範囲で南東隅には野本将軍塚古墳が占地している。

『新編武蔵野風土記稿』の野本村無量寿寺の条には「寺領の外境内一万四千坪、境の廻り四方に堤を築き堀の跡残り」とあるが、現況では無量寿寺の本堂西側の一部に土塁が認められるが、それより南側は墓地となっており、痕跡も認められない。

今回の調査では、野本氏館跡の北東隅の一部の調査

であったが、堀跡1条、土坑40基、溝22条が検出された。調査区北端に溝6条と堀跡が並行して検出され、いずれも東西方向に延びている。主に中世の遺物の他に近世及び弥生時代の土器も検出した。

弥生土器は第18号溝の一部に集中して検出したもので、櫛歯文系土器を主体としている。

堀跡・溝から出土の遺物は中世のもので、石臼、竈片・かわらけ、板碑片が出土した。

2 検出された遺構と遺物

(1) 土坑

第1号土坑(第295図)

BP・BQ-14グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.75m、短軸1.44m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-55°-Wを指す。覆土中より、縄文土器片が出土した。

第2号土坑(第295図)

BQ-14グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.04m、短軸0.74m、深さ45cmを測る。主軸方位はN-78°-Wを指す。

第3号土坑(第295図)

BP・BQ-13・14グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.29m、短軸0.72m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-46°-Eを指す。

第4号土坑

BQ-13・14グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.82m、短軸0.98m、深さ58cmを測る。主軸方位はN-20°-Eを指す。

第5号土坑(第295図)

BQ-13グリッドに位置する。第9号土坑及び第17

号溝と重複している。平面形は長方形を呈し、規模は長軸2.38m、短軸1.16m以上、深さ25cmを測る。主軸方位はN-0°-Wを指す。

第6号土坑

BQ-13グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.24m、短軸0.68m、深さ12cmを測る。主軸方位はN-2°-Wを指す。

第7号土坑

BQ-13グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.14m、短軸1.42m、深さ34cmを測る。主軸方位はN-38°-Wを指す。

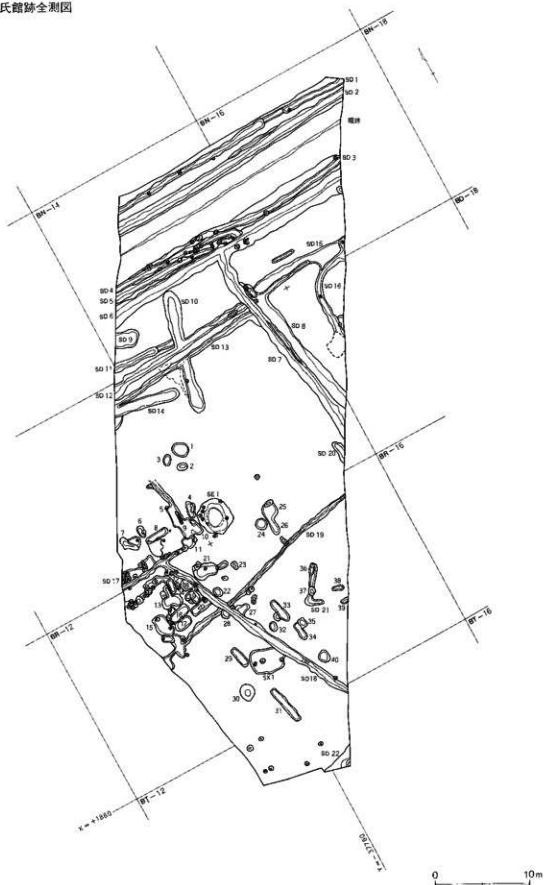
第8号土坑(第295図)

BQ-13グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.46m、短軸0.71m、深さ17cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。覆土中より、中世土器片が出土した。

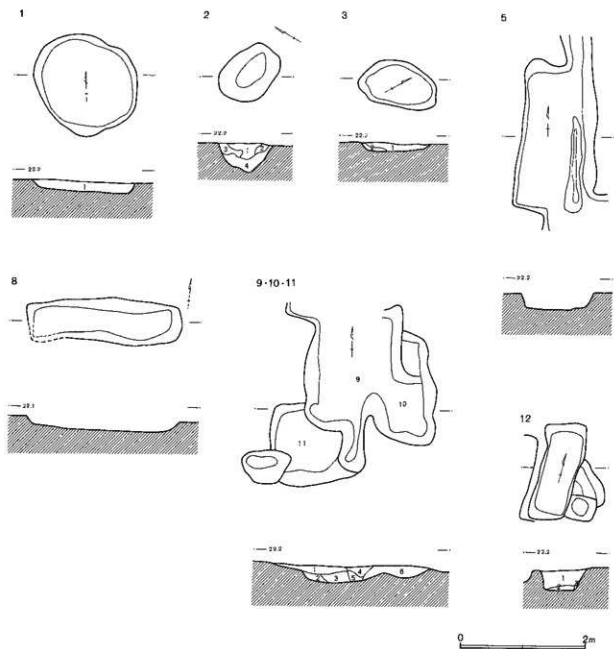
第9号土坑(第295図)

BQ-13グリッドに位置し、第5・10・11号土坑及び第17号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模

第294図 野本氏館跡全測図



第295図 土坑(i)



SK 1
1 埴輪色土 締まりあり

SK 2
1 埴輪色土 締まりあり
2 埴輪色土 ローム粒子含む
3 埴輪色土 黒色土・ローム粒子含む
4 褐色土 ロームブロック多く含む

SK 3
1 埴輪色土 締まりあり
2 褐色土 ロームブロック多く含む

SK 9-10-11
1 黒褐色土 ローム粒子・黒色土粒子少量含む
2 褐色土 ローム粒子・黒色土粒子含む 締まりなし
3 褐色土 ローム粒子含む
4 黒褐色土 ロームブロック含む
5 黒褐色土 中々締まりあり
6 黒褐色土 ローム粒子含む 中々締まりあり

SK 12
1 褐色土
2 埴輪色土 締まりあり
3 褐色土

は長軸2.0m以上、短軸1.53m以上、深さ25cmを測る。

第10号土坑(第295図)

BQ-13グリッドに位置し、第9号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.74m以上、短軸1.05m以上、深さ19cmを測る。

第11号土坑(第295図)

BQ-13グリッドに位置し、第9号土坑及び第17号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.33m以上、深さ6cmを測る。

第12号土坑(第295図)

BR-13グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.56m、短軸0.56m以上、深さ32cmを測る。主軸方位はN-0°-Wを指す。

第13号土坑(第296図)

BR-13グリッドに位置し、第14号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.24m、短軸0.96m以上、深さ34cmを測る。主軸方位はN-28°-Eを指す。覆土中より、弥生土器片が出土した。

第14号土坑

BR-13グリッドに位置し、第13号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.34m、短軸0.95m以上、深さ9cmを測る。主軸方位はN-25°-Eを指す。

第15号土坑(第296図)

BR-13グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈し、規模は長軸2.6m、短軸1.57m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-15°-Wを指す。

第16号土坑(第296図)

BR-13グリッドに位置し、第17号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.6m、短軸1.1m、深さ47cmを測る。主軸方位はN-78°-Eを指す。

第17号土坑(第296図)

BR-13グリッドに位置し、第16号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.89m、短軸1.07m以上、深さ35cmを測る。主軸方位はN-87°-Eを指す。覆土中より、弥生土器片が出土した。

第18号土坑(第296図)

BR-13グリッドに位置し、第18号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.36m以上、短軸1.08m以上、深さ18cmを測る。覆土中より、中世土器片が出土した。

第19号土坑(第296図)

BR-13グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.52m以上、短軸1.19m以上、深さ22cmを測る。主軸方位はN-5°-Wを指す。

第20号土坑(第296図)

BR-13グリッドに位置し、第18号溝と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.17m以上、短軸1.0m、深さ11cmを測る。主軸方位はN-78°-Eを指す。覆土中より、緑泥片岩片が出土した。

第21号土坑(第297図)

BR-13グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸2.7m以上、短軸1.98m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-87°-Wを指す。覆土中より、弥生土器片が出土した。

第22号土坑(第297図)

BR-13グリッドに位置し、第18号溝と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.04m、短軸0.81m、深さ16cmを測る。主軸方位はN-0°-Wを指す。

第23号土坑(第297図)

BR-14グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸0.88m、短軸0.64m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-3°-Eを指す。覆土中より、縄文土器片が出土した。

第24号土坑(第297図)

BR-14グリッドに位置する。平面形は円形を呈し、規模は直径1.25m、深さ42cmを測る。覆土中より、弥生土器片、土師器片が出土した。

第25号土坑(第297図)

BQ・BR-14グリッドに位置し、第26号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.56m以

上、短軸1.56m、深さ20cmを測る。

第26号土坑(第297図)

BR-14グリッドに位置し、第25号土坑と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.75m以上、短軸0.8m、深さ20cmを測る。主軸方位はN-0°-Wを指す。

第27号土坑(第297図)

BR-13・14グリッドに位置し、第18号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.21m以上、短軸1.0m、深さ13cmを測る。主軸方位はN-74°-Eを指す。覆土中より、弥生土器片、中世土器片が出土した。

第28号土坑

BR-13グリッドに位置し、第18号溝と重複する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.81m、短軸0.75m以上、深さ10cmを測る。主軸方位はN-37°-Eを指す。

第29号土坑

BS-13グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.36m、短軸0.9m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-14°-Wを指す。

第30号土坑(第297図)

BS-13グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長径1.69m、短径1.41m、深さ58cmを測る。主軸方位はN-7°-Eを指す。

第31号土坑(第298図)

BS・BT-13グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸4.38m、短軸0.76m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-16°-Wを指す。覆土中より、中世土器片が出土した。

第32号土坑(第298図)

BS-14グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.95m、短軸0.74m、深さ26cmを測る。主軸方位はN-30°-Eを指す。

第33号土坑(第298図)

BR・BS-14グリッドに位置する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.68m、短軸1.41m、深さ21cmを測る。主軸方位はN-14°-Wを指す。覆土中

より、中世土器片が出土した。

第34号土坑(第298図)

BS-14グリッドに位置し、第35号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸2.0m、短軸0.71m、深さ14cmを測る。主軸方位はN-0°-Wを指す。

第35号土坑(第298図)

BS-14グリッドに位置し、第34号土坑と重複する。平面形は隅丸長方形を呈し、規模は長軸1.07m、短軸0.82m以上、深さ24cmを測る。主軸方位はN-0°-Wを指す。

第36号土坑(第298図)

BR-14グリッドに位置し、第21号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸1.24m以上、短軸0.8m、深さ40cmを測る。主軸方位はN-35°-Eを指す。覆土中より、弥生土器片が出土した。

第37号土坑(第298図)

BR-14グリッドに位置し、第21号溝と重複する。平面形は不整形を呈し、規模は長軸0.88m以上、短軸0.66m、深さ25cmを測る。主軸方位はN-24°-Eを指す。

第38号土坑

BS-14・15グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸1.27m、短軸0.51m、深さ18cmを測る。主軸方位はN-75°-Wを指す。

第39号土坑

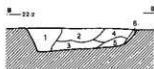
BS-14・15グリッドに位置する。平面形は楕円形を呈し、規模は長軸0.8m、短軸0.43m、深さ22cmを測る。主軸方位はN-90°-Eを指す。

第40号土坑(第298図)

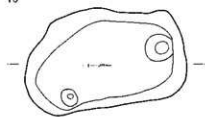
BS-14グリッドに位置する。平面形は不整形を呈し、規模は長径1.3m、短径1.16m、深さ22cmを測る。

第296図 土坑(2)

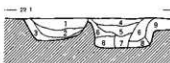
13



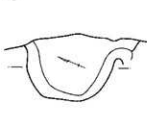
15



16-17



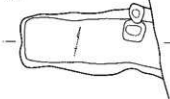
18



19



20



SK 1 8

- 1 埴輪色土 褐色土粒子多量含む 締まりなし
- 2 埴輪色土
- 3 鈍い黄褐色土 やや締まりあり
- 4 埴輪色土 西北斜部平列石
- 5 埴輪色土 西北斜部多く含む
- 6 埴輪色土
- 7 埴輪色土
- 8 埴輪色土

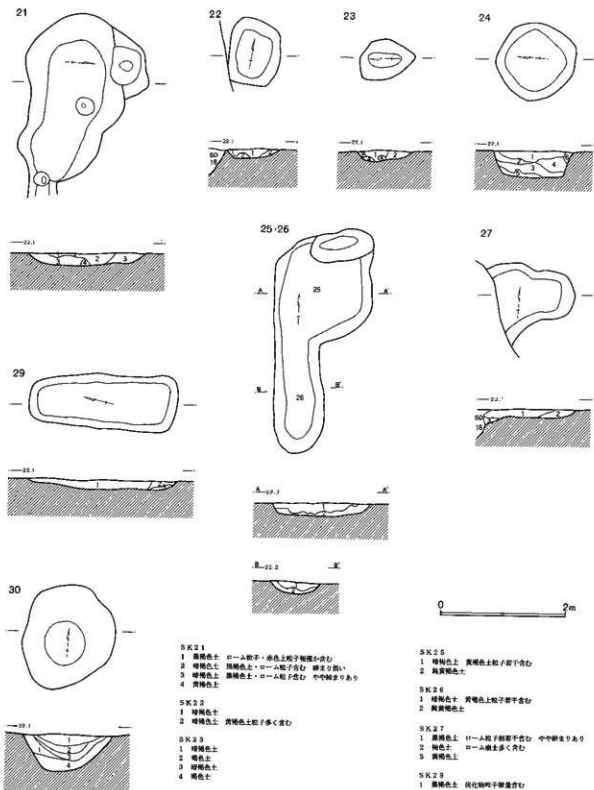
SK 2 0

- 1 埴輪色土 黄褐色土粒子含む
- 2 埴輪色土
- 3 埴輪色土

SK 1 8 - 1 7

- 1 埴輪色土 締まりなし
- 2 埴輪色土 埴輪土粒少量含む
- 3 埴輪色土
- 4 埴輪色土 締まり強い
- 5 埴輪色土 締まり強い
- 6 埴輪色土 褐色土粒子多く含む 締まりなし
- 7 埴輪色土 締まり強い
- 8 埴輪色土 やや締まりあり
- 9 埴輪色土 締まりなし

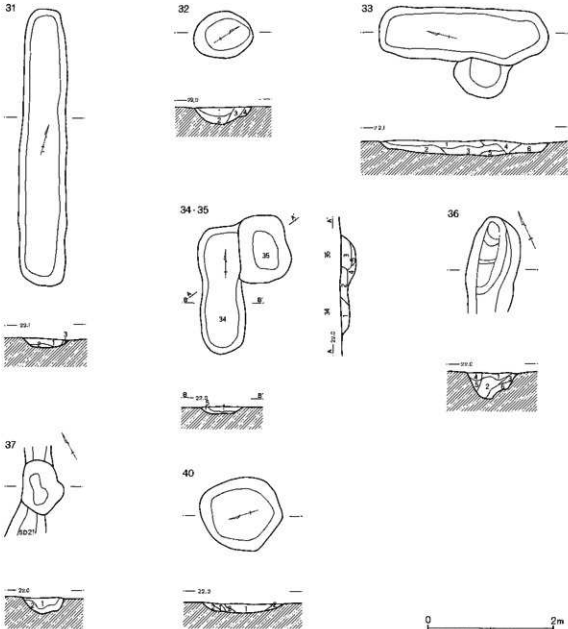
第297図 土坑(3)



- SK 2 1
 1 黄褐色土 ローム散子・赤色土散子稀薄小穴む
 2 暗褐色土 暗褐色土・ローム散子穴む 跡まり散い
 3 暗褐色土 暗褐色土・ローム散子穴む やや跡まりあり
 4 黄褐色土
- SK 2 2
 1 暗褐色土
 2 暗褐色土 黄褐色土散子多く含む
- SK 2 3
 1 暗褐色土
 2 暗褐色土
 3 暗褐色土
 4 褐色土
- SK 2 4
 1 暗褐色土
 2 暗褐色土 黄褐色土屑下穴む
 3 暗褐色土
 4 黄褐色土 黄褐色土層多く含む
 5 赤褐色土 黄褐色土屑下穴む
 6 暗褐色土

- SK 2 5
 1 黄褐色土 黄褐色土散子細平穴む
 2 黄褐色土
- SK 2 6
 1 暗褐色土 黄褐色土散子細平穴む
 2 黄褐色土
- SK 2 7
 1 黄褐色土 (ローム散子細平穴む やや跡まりあり
 2 褐色土 ローム散子多く含む
 3 黄褐色土
- SK 2 8
 1 黄褐色土 灰化物残片層を含む
 2 暗褐色土
 3 褐色土
- SK 3 0
 1 暗褐色土
 2 暗褐色土 褐色土層多く含む
 3 黄褐色土
 4 黄褐色土 褐色土層多く含む

第298図 土坑(4)



SK 31

- 1 黒褐色土
- 2 暗褐色土 粘まり強い
- 3 黄褐色土 褐色土を含む

SK 32

- 1 黒褐色土 粘まりなし
- 2 暗褐色土
- 3 黒褐色土
- 4 褐色土

SK 33

- 1 暗褐色土 中粘まりあり
- 2 黄褐色土
- 3 暗褐色土
- 4 暗褐色土 炭化材を含む
- 5 黒い・黄褐色土 粘まり強い
- 6 黄褐色土 暗褐色土を含む

SK 34・35

- 1 暗褐色土 石—ム粘土層を含む
- 2 黒褐色土 石—ム粘土少量を含む 中粘まりあり
- 3 黒褐色土 石—ム粘土少量を含む 粘まり強い
- 4 黄褐色土 石—ム粘土多量を含む
- 5 黄褐色土 石—ム粘土多量を含む

SK 36

- 1 黒褐色土
- 2 暗褐色土
- 3 暗褐色土 黒褐色土を含む
- 4 黒褐色土
- 5 褐色土
- 6 褐色土

SK 37

- 1 暗褐色土
- 2 褐色土

SK 40

- 1 黒褐色土
- 2 褐色土

(2) 井戸跡

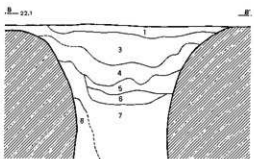
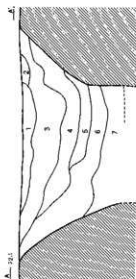
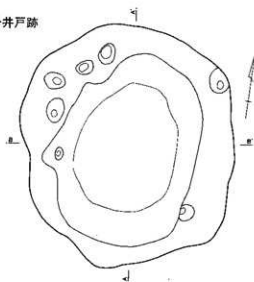
第1号井戸跡(第299図)

BQ-14グリッドに位置する。平面形は不整形円形を呈し、規模は長径3.85m、短径3.48m、深き2.0m以上を測る。断面形はロート状を呈する。主軸方位はN

-0°-Eを指す。

覆土中より、甕底部、磁石2点が出土した。

第299図 第1号井戸跡



- 1 黒褐色土 砂利多量 雑草あり
- 2 黒褐色土 砂利多量 雑草あり
- 3 黒褐色土 砂利少量含む 雑草あり
- 4 黒褐色土 砂利やや多量含む 雑草あり
- 5 黒褐色土 砂利多量含む 雑草あり
- 6 黒褐色土 砂利多量含む 雑草あり
- 7 黒褐色土 砂利多量含む 雑草あり
- 8 黒褐色土 砂利多量含む 雑草あり

0 2m



0 10cm

(3) 堀跡・溝

堀跡(第300・301図)

BN・BO-14-17グリッドに位置し、第1～6号溝とはほぼ平行に延びている。また堀の両端は調査区域外に及び、第3・4号溝と重複する。確認できた長さは約27m、幅約4.0m、深さ140～220cmを測る。断面形は莖研堀を呈する。

出土遺物(第303図1～7)

覆土中より、土鍋・甕、石臼、銭、緑泥片岩片を出土した。

1は土鍋で、復元口径29.0cm、口縁外面から内面はロクロナデで、外面は煤の付着により整形は不明。2は甕底部で復元底径11.0cm、外面は粘土接合痕が顕著で、木口状工具によるナデ、胎土に小礫を含む。3・4は石臼の破片。5は甕の破片で幾何学的な文様の叩きか施されている。

古銭は2点とも「寛永通寶」で、6はBN-14グリッドからの出土で径2.35cm、方形孔7.5mm、厚さ2.5mmを測る。7は径2.55cm、方形孔7.5mm、厚さ3.0mmを測る。

第1号溝(第300・301図)

BN-14-17グリッドに位置し、第2～6号溝及び堀跡とはほぼ平行に延びている。また両端は調査区域外に及び、確認できた長さは約27.8m、幅約0.7m、深さ20～100cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

出土遺物(第303図8・9)

大型と小型のかわらけが出土した。

第2号溝(第300・301図)

BN-14-17グリッドに位置し、両端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約27.7m、幅1.2～1.7m、深さ約110cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

出土遺物(第303図10・11)

覆土中より、甕の破片、かわらけを出土した。

第3号溝(第300・301図)

BO-14-17グリッドに位置する。第4号溝及び堀跡と重複し、東端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約23m、幅約0.7m、深さ140cmを測る。

第4号溝(第300・301図)

BO-14・15グリッドに位置する。第3・5・6号溝及び堀跡と重複し、西端は調査区域外に延びている。また東端は南へ鈍角に屈曲している。確認できた長さは約14.5m、幅約0.6m、深さ約50cmを測る。

出土遺物(第303図12)

覆土中より、甕底部の他に、かわらけ片を出土した。

第5号溝(第300・301図)

BO-14・15グリッドに位置する。第6号溝と重複する。西端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約11.5m、幅0.6～1.0m、深さ約60cmを測る。覆土中より、かわらけ片を出土した。

第6号溝(第300・301図)

BO-14-17グリッドに位置する。第4・5・7号溝と重複し、両端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約27.7m、幅1.2～2.0m、深さ90cmを測る。断面形は逆台形を呈する。覆土中より、中世甕片を出土した。

第7号溝(第300・302図)

BO・BP・BQ-15グリッドに位置し、南端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約24m、幅0.9～1.5m、深さ約65cmを測る。断面形は箱葉研堀を呈する。

出土遺物(第303図13)

覆土中より、かわらけが出土した。

第8号溝(第300・302図)

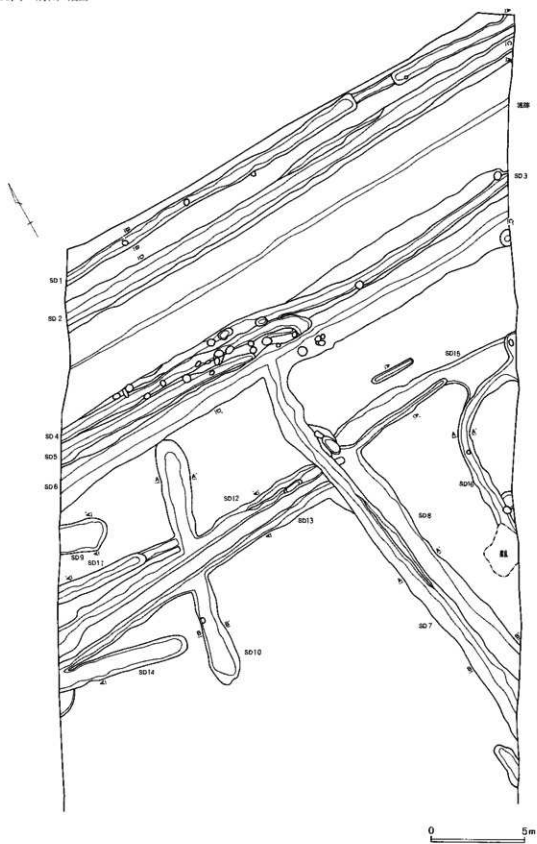
BO・BP-15、BQ-15・16グリッドに位置する。南端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約15.5m、幅約1.5m、深さ約20cmを測る。

第9号溝(第300・302図)

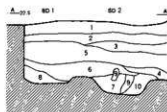
BO-14グリッドに位置する。西端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約2.5m、幅1.5～1.7m、深さ20cmを測る。断面形は皿状を呈する。

第10号溝(第300・302図)

BO・BP-14グリッドに位置する。規模は長さ約13.5m、幅1.1～1.5m、深さ約60cmを測る。断面形は逆台形を呈する。



第301図 溝(2)・堤跡



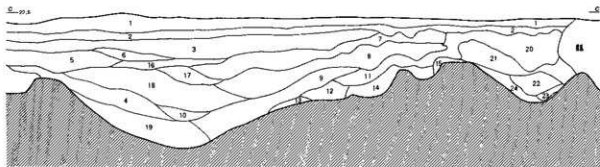
SD1-2 (A-A')

- 1 礫層土 小礫多量を含む
- 2 礫層土 小礫・礫多量、腐化物質を含む 締まり強い
- 3 礫層土 小礫・礫多量、腐化物質を含む 締まり強い
- 4 礫層土 ローム層状に、礫層を含む 締まりあり
- 5 礫層土 礫層を含む 締まりあり
- 6 礫層土 ローム層状に含む
- 7 礫層土 ローム層状に含む 中々締まり強い
- 8 礫層土 ローム層状に含む 中々締まり強い
- 9 礫層土 ローム・黄色粘土層状に含む
- 10 礫層土 ローム層土



SD1 (B-B')

- 1 礫層土 ローム粘土・ロームブロック多量を含む
- 2 礫層土 ローム層土

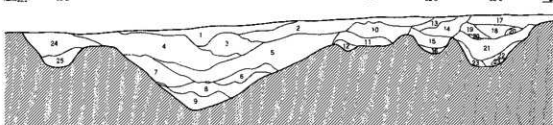


横断・SD3

- 1 礫層土 小礫多量を含む
- 2 礫層土 小礫・礫多量、腐化物質を含む 締まり強い
- 3 礫層土 小礫・礫多量、腐化物質を含む 締まり強い
- 4 礫層土 ローム層状に、礫層を含む 締まりあり
- 5 礫層土 礫層を含む 締まりあり
- 6 礫層土 礫層を含む 中々締まり強い
- 7 礫層土 小礫・礫多量を含む 締まり強い
- 8 礫層土 小礫・礫多量を含む 締まり強い
- 9 礫層土 礫・礫を含む 中々締まりあり
- 10 礫層土 礫・礫を含む 中々締まり強い
- 11 礫層土 礫・礫を含む 中々締まりあり
- 12 礫層土 白色泥状粘土多量を含む 締まり強い

- 13 礫層土 ローム層土・粘土あり
- 14 礫層土 13層より中々強い 締まりあり
- 15 礫層土 ローム層土
- 16 礫層土 礫層を含む
- 17 礫層土 礫層を含む
- 18 礫層土 ローム層状に、礫層を含む 締まりあり
- 19 礫層土 礫多量を含む 締まりあり
- 20 礫層土 ローム粘土・小礫状、腐化物質層状を含む 中々締まりあり
- 21 礫層土 ローム粘土・小礫状を含む
- 22 礫層土 小礫・礫を含む 中々締まり強い
- 23 礫層土 ローム粘土・礫層土層状を含む 締まり強い
- 24 礫層土 ローム粘土・礫・小礫状を含む

SD2



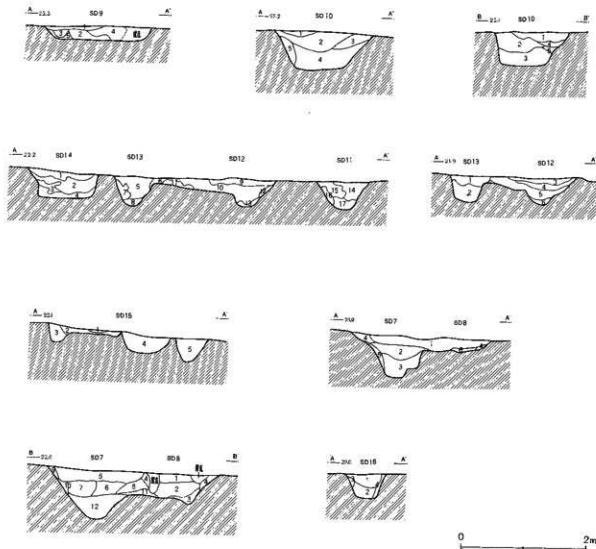
SD3・4・5・6・横断

- 1 礫層土 小礫・礫多量を含む 締まり強い
- 2 礫層土 小礫・礫少量を含む 締まり強い
- 3 礫層土 礫層を含む 締まり強い
- 4 礫層土 ローム層状に、礫層を含む 締まりあり
- 5 礫層土 小礫・礫少量を含む 締まり強い
- 6 礫層土 礫・礫を含む 中々締まりあり
- 7 礫層土 ローム層状に、礫層を含む 締まりあり
- 8 礫層土 中々締まり強い
- 9 礫層土 礫多量を含む 締まりあり
- 10 礫層土 ローム粘土層状を含む 中々締まり強い
- 11 礫層土 礫層土層状に含む
- 12 礫層土 ローム層土

- 13 礫層土 礫層粘土を含む
- 14 礫層土 ローム層状に含む
- 15 礫層土 礫層粘土層状を含む
- 16 礫層土 ロームブロック多量を含む
- 17 礫層土 ローム粘土・ロームブロック、白色泥状粘土を含む
- 18 礫層土 ローム粘土・腐化物質・小礫を含む
- 19 礫層土 ローム・腐化物質多量を含む
- 20 礫層土 ローム多量、腐化物質を含む
- 21 礫層土 小礫・礫少量を含む 中々締まり強い
- 22 礫層土 ローム粘土・礫層土粘土を含む 締まり強い
- 23 礫層土 ローム・礫層土を含む
- 24 礫層土 ローム層状に含む 中々締まり強い
- 25 礫層土 ローム粘土多量、ローム層土、礫層土を含む



第302図 溝(3)



SD9

- 1 埴埴色土
- 2 埴色土
- 3 埴埴色土
- 4 埴色土
- 5 埴色土

SD10 (A-A')

- 1 黒埴色土
- 2 黒埴色土 褐色土層状に若干含む 埴まりあり
- 3 黒埴色土
- 4 埴少埴色土 褐色土層状に若干含む 埴まり強い
- 5 黒埴色土 褐色土層多含む

SD10 (B-B')

- 1 黒埴色土
- 2 黒埴色土 褐色土層状に若干含む 埴まりあり
- 3 埴少埴色土 褐色土層状に若干含む 埴まり強い
- 4 黒埴色土
- 5 埴少埴色土 埴まり強い

SD11~14

- 1 黒埴色土 ローム粒子・黒色土粒を含む
- 2 埴色土 ローム層状に多含む
- 3 黒埴色土 ローム粒子若干含む 中埴あり
- 4 黒埴色土 ローム粒子・褐色土層に若干含む 中埴あり

SD10

- 5 埴埴色土 ローム粒子・黒小埴色土
- 6 埴埴色土 ローム粒子多、黒小埴色土
- 7 埴埴色土 ローム粒子・黒小埴色土 埴まり強い
- 8 埴埴色土 ロームブロック若干含む
- 9 埴埴色土 褐色土・小埴粒多含む
- 10 埴埴色土 ローム粒子・小埴粒多含む
- 11 埴色土 ローム・埴埴色土含む
- 12 埴色土 ローム少量、埴埴色土含む
- 13 埴埴色土 ローム粒子・小埴粒多含む 中埴あり
- 14 埴埴色土 ローム多含む
- 15 埴色土 ローム若干多含む 中埴あり
- 16 埴埴色土 ローム少量含む
- 17 黒埴色土 埴まり強い

SD12・13

- 1 黒埴色土 褐色土層状に多含む
- 2 黒埴色土 褐色土層状に若干含む 中埴あり
- 3 埴埴色土 褐色土層状に若干含む 中埴あり
- 4 埴埴色土 褐色多含む
- 5 埴埴色土 ローム粒子多含む
- 6 黒埴色土 ローム粒子少量含む 中埴あり

SD15

- 1 埴色土 ローム層に 埴まりなし
- 2 黒埴色土 ローム粒子・小埴粒多含む
- 3 埴埴色土 褐色土層状に若干含む
- 4 埴埴色土 ロームブロック若干、ローム粒子多含む 中埴あり
- 5 埴埴色土 ロームブロック多含む 中埴あり

SD7・8 (A-A')

- 1 埴色土 埴まりなし
- 2 埴埴色土 中埴ありあり
- 3 埴埴色土 埴まり強い 黒埴
- 4 埴色土 埴まりなし
- 5 埴埴色土 埴まり強い
- 6 埴埴色土 埴まり強い

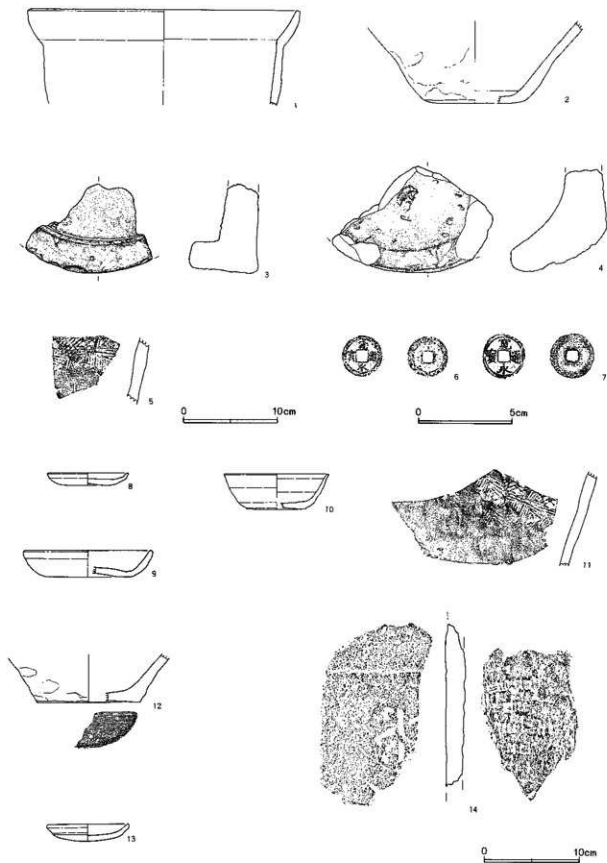
SD7・8 (B-B')

- 1 埴埴色土 埴まり強い
- 2 黒埴色土 埴まり強い
- 3 黒埴色土 埴まりなし
- 4 埴埴色土 埴まりなし
- 5 埴色土 埴まりなし
- 6 埴埴色土 中埴ありあり
- 7 黒埴色土 中埴ありあり
- 8 埴色土 埴まりなし
- 9 埴埴色土 埴まり強い
- 10 埴色土 埴まり強い
- 11 埴埴色土 埴まり強い

SD16

- 1 黒埴色土 中埴ありあり
- 2 埴埴色土 褐色土層に若干含む
- 3 黒埴色土 埴まりなし
- 4 黒埴色土

第303図 堀跡・溝出土遺物



堀跡・溝出土遺物観察表(第303図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	出土位置・その他
8	かわらけ	(8.6)	1.3	(6.2)	AK	II	橙	70	SD1 口縁部内外面ロクロナデ その他ナデ
9	かわらけ	(13.8)	2.8	(9.6)	K	III	橙	25	SD1 体部外面ロクロノ具ナデ 底部ノ具ナデ
10	かわらけ	(11.2)	3.7	(6.4)	BSR	II	橙	40	SD2 RC 内外面ロクロ痕顯著 体部外面に指頭痕
11	甕				BS	I	破片		SD2 幾何学的様の文様の叩きか施されている
12	甕			(11.0)	B	III		15	SD4 外面指頭圧痕
13	かわらけ	(8.8)	1.8	(7.4)		III	にぶい橙	60	SD7 底部外面ナデ

出土遺物(第303図14)

板碑と甕の破片を出土した。板碑は破片で、土尊種子はキリーク(阿弥陀)で独尊形式で、棒線が見られる。厚さは1.0cmを測る。

第11号溝(第300・302図)

BO-13・14グリッドに位置する。溝東端は第10号溝と重複し、西端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約7.0m、幅0.6~0.8m、深さ約45cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第12号溝(第300・302図)

BO-14・15、BP-13~15グリッドに位置する。第7・10号溝と重複し、西端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約17.0m、幅約0.7m、深さ約45cmを測る。覆土中より、甕の破片と緑泥片岩片を出土した。

第13号溝(第300・302図)

BO-14・15、BP-13~15グリッドに位置する。第7・10・14号溝と重複し、西端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約17.5m、幅約0.6m、深さ約40cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第14号溝(第300・302図)

BP-13・14グリッドに位置する。第13号溝と重複し、西端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約7.0m、幅約1.1m、深さ約45cmを測る。

出土遺物(第304図)

覆土中より、弥生土器片を出土した。へら描き沈線文系の土器で、平行2条線の上はへら描き沈線文、下は地文縄文と波状の撚り糸文で、横方向にナデ消されている。

第15号溝(第300・302・304図)

BO-15・16グリッドに位置する。西端では第8号溝と重複し、東端は第16号溝と重複し、さらに調査区域外に延びている。確認できた長さは約11.0m、幅1.0~1.6m、深さ約30cmを測る。覆土中より、縄文土器片、須恵器甕片、古銭を出土した。

出土遺物(第304図)

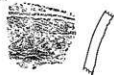
古銭は「天□元寶」で、径2.6cm、方形孔8.3mm、厚さ3.2mmを測る。中国銭と考えられる。

第16号溝(第300・302図)

BO・BP-16グリッドに位置する。北端で第15号

第304図 溝出土遺物

SD14



0 10cm

SD16



0 10cm

SD15



SD17

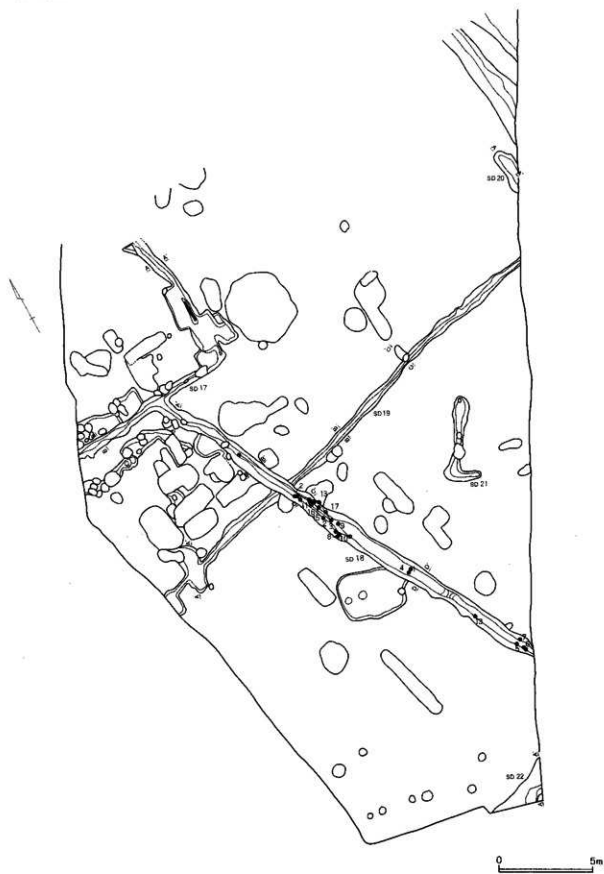


0 5cm

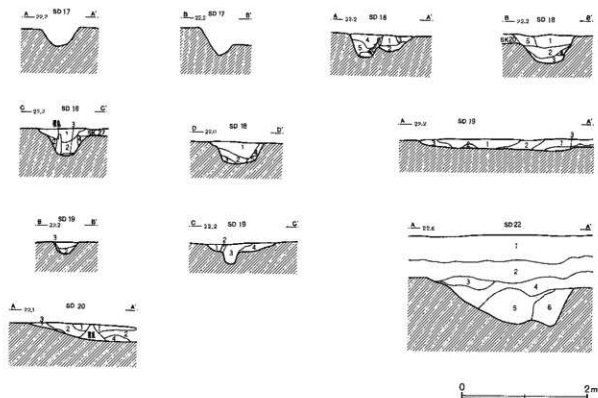
溝出土遺物観察表(第304図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存(%)	その他
SD16	かわらけ	(8.0)	2.1	(6.8)	J	II	にぶい橙	20	内面・体部外面ロクロナデ

第305図 溝(4)



第306図 溝(5)



SD 17 (A-A')

- 1 黒褐色土
- 2 黄褐色土
- 3 暗褐色土 褐色土層下を含む やや締まりあり
- 4 暗褐色土
- 5 暗褐色土 褐色土層下を含む
- 6 暗褐色土 褐色土層下を含む
- 7 暗褐色土 褐色土層下を含む
- 8 暗褐色土 締まりなし

SD 18 (B-B')

- 1 黒褐色土 やや締まりあり
- 2 暗褐色土 やや締まりあり
- 3 褐色土 やや締まりあり
- 4 暗褐色土 黄褐色土層下を含む
- 5 黒褐色土 締まりなし

SD 18 (C-C')

- 1 黒褐色土
- 2 黄褐色土 ローム粒子多く含む
- 3 暗褐色土 ローム層下多く含む やや締まりあり
- 4 暗褐色土 ローム粒子層下に含む 締まり強い

SD 18 (D-D')

- 1 暗褐色土 褐色土層下を含む 締まり強い
- 2 暗褐色土 やや締まりあり
- 3 褐色土 締まり強い
- 4 黒褐色土 褐色土層下を含む 締まり強い
- 5 暗褐色土 褐色土層下を含む 締まり強い

SD 19 (A-A')

- 1 暗褐色土 ローム粒子・褐色土層下を含む 締まり強い
- 2 暗褐色土 ローム粒子少量、褐色土層下を含む 締まり強い
- 3 褐色土 ローム層下

SD 19 (B-B')

- 1 暗褐色土
- 2 暗褐色土
- 3 黄褐色土
- 4 暗褐色土

SD 19 (C-C')

- 1 暗褐色土
- 2 暗褐色土
- 3 黄褐色土
- 4 暗褐色土

SD 20

- 1 黄褐色土 やや締まりあり
- 2 暗褐色土 締まりなし
- 3 褐色土
- 4 暗褐色土

SD 22

- 1 黄褐色土
- 2 暗褐色土
- 3 暗褐色土 ローム層下・褐色土層下を含む
- 4 黄褐色土 暗褐色土、ローム層下を含む
- 5 黄褐色土 ローム層下を含む 締まりあり
- 6 黄褐色土 ローム層下

溝と重複しながら東方向へ湾曲し、調査区域外に延びている。南端は擾乱を受けている。確認できた長さは約10m、幅約0.6m、深さ約40cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

出土遺物(第304図)

かわらけの他に甕の破片を出土した。

第17号溝(第305・306図)

BQ-12・13グリッドに位置する。BQ-13グリッド付近ではほぼ直角に屈曲している。西端は調査区域外に延び、北端は擾乱を受けている。確認できた長さは

約17m、幅約0.6m、深さ30cmを測る。

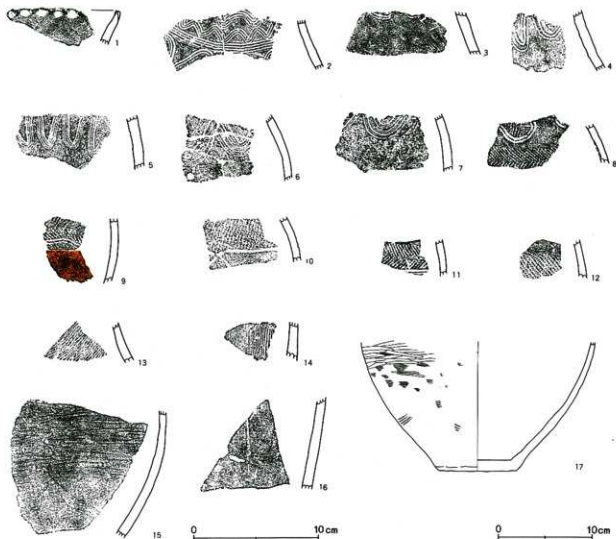
出土遺物(第304図)

覆土上より、昭和18年製の十銭硬貨が出土し、径2.38cm、厚さ3.0mmを測る。

第18号溝(第305・306図)

BQ-13、BR・BS-13・14、BT-14グリッドに位置する。また南端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約24.0m、幅約1.0m、深さ約45cmを測る。断面形は逆台形を呈する。

第307図 第18号溝出土遺物



出土遺物(第307図)

弥生土器が出土し、BR-13グリッド南東隅に集中していた。

1は口縁部で指頭押捺による波状口縁。

2は頸部で、櫛描波状文と平行沈線文、更にその下に大きめの波状文が施されている。

3～7は2の横線文下の大きめの波状文であるが、6では波状文の両端が交叉している。

8は籠描沈線文の区画による「ハ」の字状文を施文、その下に縄文帯施文。

9～11は地文縄文に籠描沈線文による区画。9は無文帯に赤彩が施されている。

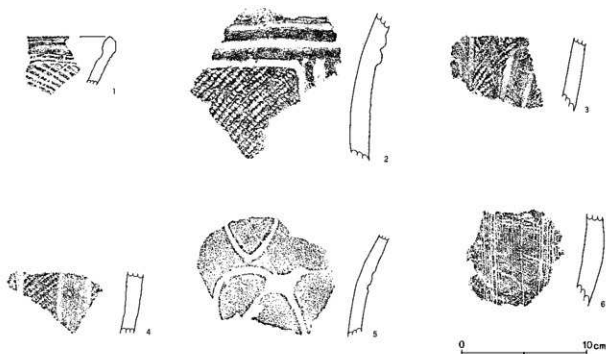
12は地文は縄文で無文帯をもつ。13は地文縄文。

14は縦方向の刷毛目が施されている。

第18号溝(第305・306図)

BR-13～15グリッドに位置する。第18号溝及び第28号土坑と重複し、両端は調査区域外に延びている。確認できた長さは約25.5m、幅約0.4m、深さ約20cmを測る

第309図 グリッド出土遺物(1)



グリッド出土遺物観察表(第310図)

番号	器種	口径	器高	底径	胎土	焼成	色調	残存率 ¹⁾	出土位置・その他
2	かわらけ	7.9	1.4~1.8	5.5	BR	I	橙	95	BP-13g LC 口唇部に油漉付着

(5) グリッド出土の遺物

縄文土器(第309図)

- 1は口縁部で、横方向の沈線文と格子目文が施される。
- 2は、口縁部は無文で隆帯により区画され、胴部では地文に縄文が施文され、2本の隆帯による懸垂文。
- 3・4は沈線による懸垂文で、磨り消し部をもつ。
- 5は沈線文のみで、U字状の沈線文が上下から向き合うように施されている。
- 6は帯状条線文が施されている。

丸瓦(第310図1)

BD-15グリッド出土。凸面は、側縁部は側縁に沿ったナデ、その他は横ナデされている。凹面は粗い布目痕と横ナデ、2条の凹線がある。釘穴2箇所。

全長25.1cm、体長23.4cm、幅13.7cm、高さ6.3cm、玉縁長外面側1.8cm、同内面側2.0cm、玉縁高さ4.2cm、玉縁基部接合部高さ4.7cm、玉縁幅10.7cmを測る。

古銭(第310図3)

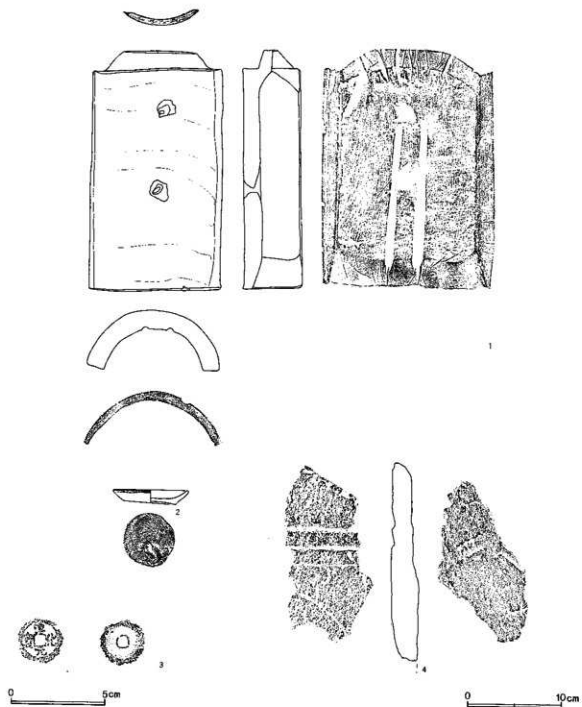
BR-12グリッド出土。宋銭の「淳化元寶」で時計廻りに文字が配列されている。外周は風化しており径2.6cm以上、方形孔7.4mm、厚さ3.3mmを測る。

「淳化」は中国の年号で、西暦990~994年にあたる。

板碑(第307図5)

BQ-15グリッド出土。月輪の一部、片葉研形りの2条線と粹線が施されている。厚さは1.9~2.8cmを測る。

第310図 グリッド出土遺物(2)



第1表 山王裏遺跡遺構番号新旧対照表

遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号
第1号土坑	SK 1	第32号土坑	SK36	第1号溝	SD16
第2号土坑	SK 2	第33号土坑	SK37	第2号溝	SD17
第3号土坑	H・I-45g.内	第34号土坑	SK31	第3号溝	SD 6 西側
第4号土坑	SK46	第35号土坑	SK32	第4号溝	SD 6 東側
第5号土坑	J-43g.内	第36号土坑	SK33	第5号溝	SD 7
第6号土坑	SK47	第37号土坑	SK34	第6号溝	SD 8
第7号土坑	K-43g.内	第38号土坑	SK43	第7号溝	SD 2
第8号土坑	K-43g.内	第39号土坑	SK27	第8号溝	SD 3
第9号土坑	SK48	第40号土坑	SK28	第9号溝	SD 4
第10号土坑	SK49	第41号土坑	SK29	第10号溝	SD 5
第11号土坑	L-47g.内	第42号土坑	SK30	第11号溝	SD 6
第12号土坑	SK45	第43号土坑	SK42	第12号溝	SD10
第13号土坑	SK15	第44号土坑	SK41	第13号溝	SD12
第14号土坑	SK 4	第45号土坑	SK39	第14号溝	SD13
第15号土坑	SK 5	第46号土坑	SK38	第15号溝	J-42・43g.内 SD
第16号土坑	SK 7	第47号土坑	SK40	第16号溝	K-42・43g.内 SD
第17号土坑	SK44	第48号土坑	SK53	第17号溝	K-42・43g.内 SD
第18号土坑	SK 8	第49号土坑	SK52	第18号溝	SD14
第19号土坑	SK 9	第50号土坑	SK51	第19号溝	K-43・L-44g.内 SD
第20号土坑	SK10	第51号土坑	SK55	第20号溝	SD11
第21号土坑	SK11	第52号土坑	SK56	第21号溝	SD15
第22号土坑	SK13	第53号土坑	SK57	第22号溝	SD18
第23号土坑	SK14	第54号土坑	SK58	第23号溝	SD19
第24号土坑	SK26	第55号土坑	SK59	第24号溝	SD20
第25号土坑	SK25	第56号土坑	SK60	第25号溝	SD21
第26号土坑	SK24	第57号土坑	SK61	第26号溝	SD22
第27号土坑	SK22	第58号土坑	SK62	第27号溝	SD23
第28号土坑	SK23	第59号土坑	SK64	第28号溝	SD24
第29号土坑	SK19	第60号土坑	SK65	第29号溝	SD25
第30号土坑	SK20	第61号土坑	SK66	第30号溝	SD26
第31号土坑	SK35			第1号竪穴状遺構	SX 3

第2表 上川入遺跡遺構番号新旧対照表

遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号
第1号土坑	SK33	第16号土坑	SK21	第31号土坑	AI-32g.内 SK
第2号土坑	SK 1	第17号土坑	SK17	第32号土坑	AI-32g.内 SK
第3号土坑	SK 2	第18号土坑	SK24	第33号土坑	SK88
第4号土坑	SK16	第19号土坑	SK25	第34号土坑	SD19
第5号土坑	SK20	第20号土坑	SK28	第35号土坑	SK49
第6号土坑	SK 5	第21号土坑	SK26	第36号土坑	AJ-33・34g.内 SK56
第7号土坑	SK 3	第22号土坑	SK29	第37号土坑	SK50
第8号土坑	SK 4	第23号土坑	SK30	第38号土坑	SK43
第9号土坑	SK 6	第24号土坑	SK31	第39号土坑	SK51
第10号土坑	SK13	第25号土坑	SK31	第40号土坑	SK42
第11号土坑	SK 7	第26号土坑	SK32	第41号土坑	SK63
第12号土坑	SK 9	第27号土坑	SK35	第42号土坑	SK65
第13号土坑	SK23	第28号土坑	SK36	第43号土坑	SK39
第14号土坑	SK10	第29号土坑	SK44	第44号土坑	SK60
第15号土坑	SK12	第30号土坑	SK38	第45号土坑	SK61

遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号
第46号土坑	SK73	第72号土坑	SK78	第6号溝	AH-33・38g.内SD
第47号土坑	SK53	第73号土坑	SK77	第7号溝	SD 4
第48号土坑	SK52	第74号土坑	AN-28g.内	第8号溝	SD 5
第49号土坑	SK54	第75号土坑	SK89	第9号溝	SD 6
第50号土坑	SK60	第76号土坑	SK85	第10号溝	SD10
第51号土坑	SK55	第77号土坑	SK84	第11号溝	SD11
第52号土坑	SK75	第78号土坑	SK86	第12号溝	SD12
第53号土坑	SK75	第79号土坑	SK92	第13号溝	SD 9
第54号土坑	SK74	第80号土坑	SK90	第14号溝	AI・AJ-33g.内SD
第55号土坑	SK76	第81号土坑	SK91	第15号溝	SD13
第56号土坑	SK46	第82号土坑	SK93	第16号溝	SD15
第57号土坑	SK47	第1号井戸跡	SE 1	第17号溝	SD16
第58号土坑	AK-33g.内SK56	第2号井戸跡	SE 4	第18号溝	SD17
第59号土坑	SK57	第3号井戸跡	SE 3	第19号溝	SD18
第60号土坑	SK67	第4号井戸跡	SE 2	第20号溝	SD20
第61号土坑	SK68	第5号井戸跡	SE 5	第21号溝	SD21
第62号土坑	SK82	第6号井戸跡	SK58	第22号溝	AL-31g.内SD22
第63号土坑	SK82	第7号井戸跡	SK62	第23号溝	SD23
第64号土坑	SK83	第8号井戸跡	SK64	第24号溝	SD24
第65号土坑	SK70	第9号井戸跡	SE 7	第25号溝	SD25
第66号土坑	SK63	第10号井戸跡	SE 6	第26号溝	SD26
第67号土坑	SK72	第1号溝	SD 1	第27号溝	SD27
第68号土坑	SK71	第2号溝	SD 2	第28号溝	AP-30g.内SD
第69号土坑	SK81	第3号溝	SD 3	第29号溝	AM・AN-31g.内SD22
第70号土坑	SK80	第4号溝	SD 7		
第71号土坑	SK79	第5号溝	SD 8		

第3表 西浦遺跡遺構番号新旧対照表

遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号
第1号住居跡	SJ 1	第22号住居跡	SJ36	第43号住居跡	SJ40
第2号住居跡	SJ14	第23号住居跡	SJ49	第44号住居跡	SJ32
第3号住居跡	SJ15	第24号住居跡	SJ50	第45号住居跡	SJ33
第4号住居跡	SJ16	第25号住居跡	SJ35	第46号住居跡	SJ34
第5号住居跡	SJ 2	第26号住居跡	SJ21	第1号土坑	AP-27g.内SK 7
第6号住居跡	SJ 3	第27号住居跡	SJ20	第2号土坑	SK 8
第7号住居跡	SJ12	第28号住居跡	SJ18	第3号土坑	SK 9
第8号住居跡	SJ13	第29号住居跡	SJ19	第4号土坑	SK10
第9号住居跡	SJ 9	第30号住居跡	SJ22	第5号土坑	SK11
第10号住居跡	SJ 7	第31号住居跡	SJ38	第6号土坑	AQ-28g.内SK
第11号住居跡	SJ11	第32号住居跡	SJ39	第7号土坑	AQ-28g.内SK
第12号住居跡	SJ52	第33号住居跡	SJ37	第8号土坑	SK12
第13号住居跡	SJ10	第34号住居跡	SJ29	第9号土坑	SK13
第14号住居跡	SJ 5	第35号住居跡	SJ25	第10号土坑	SK18
第15号住居跡	SJ 6	第36号住居跡	SJ28	第11号土坑	SK15
第16号住居跡	SJ 4・SJ46	第37号住居跡	SJ30	第12号土坑	SK14
第17号住居跡	SJ45	第38号住居跡	SJ31	第13号土坑	SK16
第18号住居跡	SJ44	第39号住居跡	SJ23	第14号土坑	SK17
第19号住居跡	SJ43	第40号住居跡	SJ27	第15号土坑	AT-26g.内SK
第20号住居跡	SJ48	第41号住居跡	SJ26	第16号土坑	AU-26g.内SK 7
第21号住居跡	SJ51	第42号住居跡	SJ42	第17号土坑	SK 1

遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号
第18号上坑	SK 2	第71号上坑	SK39	第124号上坑	SK76
第19号上坑	SK 3	第72号上坑	SK40	第125号上坑	SK77
第20号上坑	SK 4	第73号上坑	SK41	第126号上坑	SK78
第21号上坑	SK 5	第74号上坑	BF-19g.内 SK	第127号上坑	SK87
第22号上坑	SK 6	第75号上坑	SK49	第128号上坑	SK86
第23号上坑	SK191	第76号上坑	SK48	第129号上坑	SK134
第24号上坑	SK192	第77号上坑	SK47	第130号上坑	SK80
第25号上坑	SK195	第78号上坑	SK46	第131号上坑	SK81
第26号上坑	SK194	第79号上坑	SK43	第132号上坑	SK82
第27号上坑	SK193	第80号上坑	SK44	第133号上坑	SK83
第28号上坑	SK198	第81号上坑	SK50	第134号上坑	SK84
第29号上坑	SK196	第82号上坑	SK51	第135号上坑	SK85西側
第30号上坑	SK197	第83号上坑	SK52	第136号上坑	SK85東側
第31号上坑	SK206A	第84号上坑	SK53	第137号上坑	BL-18g.内 SK
第32号上坑	SJ17	第85号上坑	SK54	第138号上坑	BK・BL-18g.内 SK
第33号上坑	SK199	第86号上坑	SK55	第139号上坑	SK89
第34号上坑	SK200	第87号上坑	SK56	第140号上坑	SK90
第35号上坑	SK201	第88号上坑	SK161	第141号上坑	SK137
第36号上坑	SK203	第89号上坑	SK148	第142号上坑	BL-18g.内 SK
第37号上坑	SK204	第90号上坑	SK149	第143号上坑	SK136
第38号上坑	SK202	第91号上坑	SK146	第144号上坑	SK91
第39号上坑	SK205	第92号上坑	SK160	第145号上坑	SK135
第40号上坑	SK206B	第93号上坑	SK147	第146号上坑	SK129
第41号上坑	SK207	第94号上坑	SK150	第147号上坑	SK119
第42号上坑	SK208	第95号上坑	SK162	第148号上坑	SK92
第43号上坑	SK140	第96号上坑	SK151	第149号上坑	SK93
第44号上坑	SK141	第97号上坑	SK153A	第150号上坑	SK94
第45号上坑	SK142	第98号上坑	SK153B	第151号上坑	SK96
第46号上坑	SK19	第99号上坑	SK152	第152号上坑	SK97
第47号上坑	SK20	第100号上坑	SK155	第153号上坑	SK95A
第48号上坑	SK21	第101号上坑	SK156	第154号上坑	SK95B
第49号上坑	SK22	第102号上坑	SK157	第155号上坑	SK100
第50号上坑	SK23	第103号上坑	SK58	第156号上坑	SK99A
第51号上坑	SK24	第104号上坑	SK59	第157号上坑	SK99B
第52号上坑	SK26	第105号上坑	SK163	第158号上坑	SK99C
第53号上坑	SK25	第106号上坑	BI-20g.内 SK	第159号上坑	SK101
第54号上坑	SK143	第107号上坑	SK60	第160号上坑	SK130
第55号上坑	SK144	第108号上坑	SK64	第161号上坑	SK102
第56号上坑	SK35	第109号上坑	SK139	第162号上坑	SK131
第57号上坑	SK158	第110号上坑	SK61	第163号上坑	SK106
第58号上坑	SK159	第111号上坑	SK62	第164号上坑	SK107B
第59号上坑	SK145	第112号上坑	SK65	第165号上坑	SK107A
第60号上坑	SK27	第113号上坑	SK66	第166号上坑	SK113
第61号上坑	SK28	第114号上坑	SK67	第167号上坑	SK111
第62号上坑	SK29	第115号上坑	SK68	第168号上坑	SK112
第63号上坑	SK32	第116号上坑	SK69	第169号上坑	SK110
第64号上坑	SK33	第117号上坑	SK70	第170号上坑	SK109
第65号上坑	SK34	第118号上坑	SK79	第171号上坑	SK108
第66号上坑	BE-20g.内 SK	第119号上坑	SK71	第172号上坑	SK132
第67号上坑	SK30	第120号上坑	SK72	第173号上坑	SK103
第68号上坑	SK38西側	第121号上坑	SK73	第174号上坑	SK104
第69号上坑	SK37	第122号上坑	SK74	第175号上坑	SK105
第70号上坑	SK36	第123号上坑	SK75	第176号上坑	SK114

遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号
第177号土坑	BL-17g.内SK	第230号土坑	SK295	第283号土坑	SK274A
第178号土坑	SK115	第231号土坑	SK278	第284号土坑	SK274B
第179号土坑	SK118	第232号土坑	SK292	第285号土坑	SK274C
第180号土坑	SK128	第233号土坑	SK293	第286号土坑	SK302
第181号土坑	SK134A	第234号土坑	SK235	第287号土坑	SK276
第182号土坑	BL-17g.内SK	第235号土坑	SK234	第288号土坑	SK304
第183号土坑	SK117	第236号土坑	SK233	第289号土坑	SK217
第184号土坑	SK116	第237号土坑	SK299	第290号土坑	SK216
第185号土坑	SK133	第238号土坑	SK287	第291号土坑	SK258
第186号土坑	SK120	第239号土坑	SK286	第292号土坑	SK250
第187号土坑	SK121	第240号土坑	SK285	第293号土坑	SK262
第188号土坑	SK122	第241号土坑	SK284	第294号土坑	SK214
第189号土坑	SK138	第242号土坑	SK283	第295号土坑	SK213
第190号土坑	SK123	第243号土坑	SK282	第296号土坑	SK267
第191号土坑	SK127	第244号土坑	SK281	第297号土坑	SK269
第192号土坑	SK126	第245号土坑	SK236	第298号土坑	SK268
第193号土坑	SK125	第246号土坑	SK248	第299号土坑	SK265
第194号土坑	SK124西側	第247号土坑	SK253	第300号土坑	SK270
第195号土坑	SK124東側	第248号土坑	SK222	第301号土坑	SK272
第196号土坑	SK185	第249号土坑	SK223	第302号土坑	SK273
第197号土坑	SK187	第250号土坑	SK246	第303号土坑	SK255
第198号土坑	SK184	第251号土坑	SK247	第304号土坑	SK275
第199号土坑	SK176	第252号土坑	SK231	第305号土坑	SK264
第200号土坑	SK174	第253号土坑	SK224	第306号土坑	SK266
第201号土坑	SK175	第254号土坑	SK225	第307号土坑	SK277
第202号土坑	SK188内側	第255号土坑	SK219	第308号土坑	SK259
第203号土坑	SK188東側	第256号土坑	SK245	第309号土坑	SK263
第204号土坑	SK173	第257号土坑	SK227	第310号土坑	SK260
第205号土坑	SK172	第258号土坑	SK254	第311号土坑	SK261
第206号土坑	SK167	第259号土坑	SK244	第312号土坑	SK315
第207号土坑	SK190	第260号土坑	SK239	第313号土坑	SK314
第208号土坑	SK177	第261号土坑	SK237	第314号土坑	SK312
第209号土坑	SK189	第262号土坑	SK240	第315号土坑	SK313
第210号土坑	SK180	第263号土坑	SK238	第316号土坑	SK311
第211号土坑	SK171	第264号土坑	SK243	第317号土坑	SK308
第212号土坑	SK170	第265号土坑	SK242	第318号土坑	SK309
第213号土坑	SK179	第266号土坑	SK241	第319号土坑	SK310
第214号土坑	SK178	第267号土坑	SK226	第320号土坑	SK307
第215号土坑	SK181	第268号土坑	SK230	第321号土坑	SK306
第216号土坑	SK169	第269号土坑	SK249	第1号井戸跡	SE 1
第217号土坑	BY-8・9g.内SK	第270号土坑	SK228	第2号井戸跡	SE 4
第218号土坑	SK168	第271号土坑	SK229	第3号井戸跡	SE 3
第219号土坑	SK186	第272号土坑	SK251	第4号井戸跡	SK38東側
第220号土坑	SK166	第273号土坑	SK257	第5号井戸跡	SK45
第221号土坑	SK291	第274号土坑	SK218	第6号井戸跡	SK88
第222号土坑	SK290	第275号土坑	SK221	第7号井戸跡	SK98
第223号土坑	SK289	第276号土坑	SK220	第8号井戸跡	SE 2
第224号土坑	SK288	第277号土坑	SK280	第9号井戸跡	SE 6
第225号土坑	SK300	第278号土坑	SK279	第10号井戸跡	SK212
第226号土坑	SK301	第279号土坑	SK209	第1号溝	SE 7
第227号土坑	SK294	第280号土坑	SK210	第2号溝	SE 8
第228号土坑	SK296	第281号土坑	SK232	第3号溝	SE 9
第229号土坑	SK297	第282号土坑	SK303	第4号溝	SE10

遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号
第5号溝	SD11	第27号溝	SD23	第49号溝	SD47
第6号溝	SD12	第28号溝	SD24	第50号溝	SD45
第7号溝	SD13	第29号溝	BH-20g.内SD35	第51号溝	SD52
第8号溝	SD14	第30号溝	SD27	第52号溝	SD53
第9号溝	SD15	第31号溝	SD26	第53号溝	SD50
第10号溝	SD16	第32号溝	SD25	第54号溝	SD48
第11号溝	SD17	第33号溝	SD28	第55号溝	SD54
第12号溝	SD18	第34号溝	SD29	第56号溝	SX4北側
第13号溝	SD19	第35号溝	RI 20g.内SD34	第57号溝	SX4南側
第14号溝	SD2	第36号溝	SD30	第58号溝	SK305
第15号溝	SD5・SD43	第37号溝	SD31	第59号溝	SD57
第16号溝	SD 6	第38号溝	SD32	第60号溝	SD58
第17号溝	SD 1	第39号溝	BW・BX-11g. SD34	第61号溝	SD59
第18号溝	SD 4	第40号溝	BW・BX-11g.内SD35	第62号溝	SD60
第19号溝	SD 3	第41号溝	SD36	第63号溝	SD61
第20号溝	SD39	第42号溝	SD37	第1号竪穴状遺構	SX 5
第21号溝	SD42	第43号溝	SD38	第2号竪穴状遺構	SK 6
第22号溝	SD44	第44号溝	CB-8・9g.内SD50	第3号竪穴状遺構	SX 1
第23号溝	SD40	第45号溝	SD56	第4号竪穴状遺構	SX 2
第24号溝	SD20	第46号溝	SD49	第5号竪穴状遺構	SX 3
第25号溝	SD21	第47号溝	SD61		
第26号溝	SD22	第48号溝	SD46	火葬墓	SK154

第4表 野本氏館跡遺構番号新旧対照表

遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号	遺構名称	旧番号
第1号土坑	SK44	第24号土坑	SK21	第1号溝	SD20
第2号土坑	SK36	第25号土坑	SK20	第2号溝	SD19
第3号土坑	SK37	第26号土坑	SK19	第3号溝	SD21
第4号土坑	SK42	第27号土坑	SK17	第4号溝	SD17
第5号土坑	SK43	第28号土坑	SK18	第5号溝	SD16
第6号土坑	BQ-13g.内SK	第29号土坑	SK 3	第6号溝	SD15
第7号土坑	BQ-13g.内SK	第30号土坑	SK 4	第7号溝	SD 6 西側
第8号土坑	SK40	第31号土坑	SK 1	第8号溝	SD 6 東側
第9号土坑	SK41西側	第32号土坑	SK 8	第9号溝	SD11
第10号土坑	SK41東側	第33号土坑	SK 9	第10号溝	SD12
第11号土坑	SK41南側	第34号土坑	SK 7	第11号溝	SD10
第12号土坑	SK32	第35号土坑	SK 6	第12号溝	SD 9
第13号土坑	SK31	第36号土坑	SK11	第13号溝	SD 8
第14号土坑	SK30	第37号土坑	SK10	第14号溝	SD 7
第15号土坑	SK28	第38号土坑	SK12	第15号溝	SD14
第16号土坑	SK27	第39号土坑	SK13	第16号溝	SD13
第17号土坑	SK26	第40号土坑	SK 5	第17号溝	SD 5
第18号土坑	SK33			第18号溝	SD 2
第19号土坑	SK24	第1号竪穴状遺構	SJ 1	第19号溝	SD 3
第20号土坑	SK22			第20号溝	SK35
第21号土坑	SK29			第21号溝	BR・BS-14g.内SD
第22号土坑	SK23			第22号溝	SD 1
第23号土坑	SK25			堀跡	SD18

Ⅶ 結 語

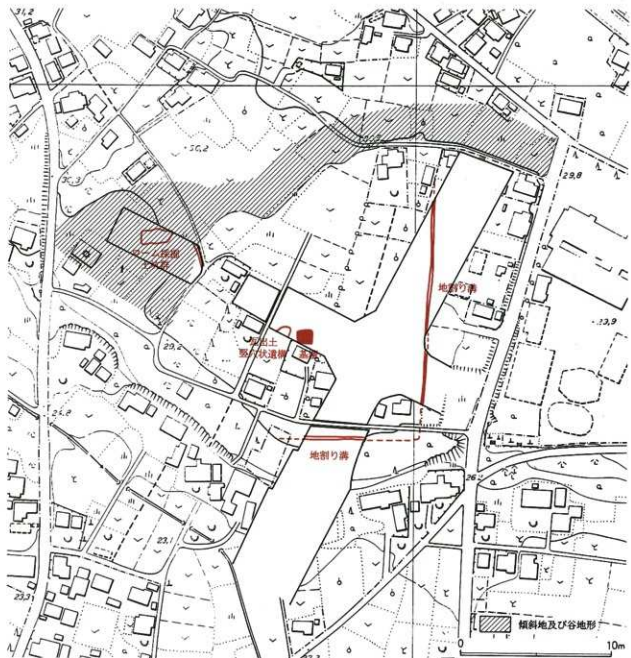
1. 寺院跡関連遺構

山王裏遺跡は、一般国道254号線と一般国道407号線建設により、十字形にトレンチを入られたような状況で発掘調査が行われ、少なからずある程度の遺跡の内容が明らかになつた。

国道254号線は遺跡を東西に貫き、その調査では古

墳時代の2基の円墳跡、奈良・平安時代の集落が検出された。そのほか、掘り込み地業の基壇、基壇の西に隣接して瓦が投棄された竪穴状遺構、東方には南北方向に延びる薬研堀の溝、基壇の西方にはローム探掘坑群が検出された。

第311図 寺院跡関連遺構分布図



国道407号線は遺跡を南北に貫き、調査で国道254号線の調査で検出された基壇の東方にある南北方向の溝がさらに北に延びることが確認された。

さらに、南に隣接する上川入遺跡では、東西方向の溝が検出され、断面形は葉研堀で山王裏遺跡の南北方向の溝につながるものとして捉えることができる。

また、山王裏遺跡の基壇周辺及び竪穴状遺構から出土したものと同種の奈良時代の瓦は、上川入遺跡でも破片が出土しており、山王裏遺跡出土のものと合わせれば相当数にのぼるが、ほとんど平瓦で丸瓦は僅かに1点だけでもあり、基壇上の建物の屋根全体に瓦を葺く程の数ではない。

基壇・竪穴状遺構と溝との関連は、基壇周囲にはガラス質微粒子を含んだ堅く締まった黒色土があり、基壇はこの黒色土を掘り込んで構築されている。この黒色土は隣接する竪穴状遺構の覆土の上層にもあり、この土層より瓦が出土していた。また、東方の溝の覆土及び上川入遺跡の東西方向の溝にもこの黒色土が確認された。

以上のことから、同時期に廃絶されたものと考えら

2. 円面硯について

西浦遺跡では円面硯が出土し図示した10点のほかにも小破片を含むと22点を数える。

硯面部が確認できるものは6点で、いずれも内境を持たず、海と陸の区分はなく陸から緩やかに下降して海になる形態のものである。また、陸中央が縁より高く盛り上がるものもある。

脚台部は透しを有するものが主体で、透しの形は長方形が主体で十字形もある。透しとともにへら描き沈線が施され、主体は縦位の直線を用いるが、ほかに八の字状の中央に縦位直線文、または円弧文を描いたものがある。小破片ではあるが、透しがなくへら描き沈線のみのものである。さらに、脚台部と硯面部の境に円形刻突文が施されたものもある。

県内で円面硯の出土例は、20遺跡81点で、出土点数が多いものは消費遺跡である若菜台遺跡17例、生産遺

跡、検出された溝は基壇を取り囲む地割りの溝と考えられる。

しかし、確認された溝は東辺と南辺の一部であり、西辺の溝は東辺と同様に南北に延びるものは確認できなかった。また、東辺の溝がどこまで北に延びるのか、また、北辺についても不明である。

北辺の溝については、本報告で山王裏遺跡のB区として調査した地区は、南に隣接する地割りの溝が確認できた地区とは異なり、水に浸かっていたような特異なローム面をしており、谷状の地形をしていたと考えられる。付近の人によると、以前は東西方向に水が流れていたという。現地形からも、30mの等高線を見ると南東から入ってくる谷状の地形となっている。

また、西辺の溝については、国道254号線関係で調査されたC区は平坦部がなく西に向かって傾斜しており、ローム採掘土坑群は、南から入る谷地形の最も低いところにある。

つまり、北辺・西辺ともに、地形により区画されるため、溝による区画は必要がなかったと考えられる。

跡である窯跡では鳩山窯跡群で23例があげられる。

これらの分類を行う上で様々な分類法が提示されているので、その分類法を見ておきたい。

陶硯の分類は内藤政恒氏によって(1)円面硯、(2)風字硯、(3)特殊硯、(4)転用硯の4分類(1944)がなされている。

今里幾次氏の分類(1950)では、円面硯を三形式に分け、第一形式を透脚式とし、A類は脚台が外反し端部で膨張するもの、B類は脚台が直上のむしろ内反気味のものとし、第二形式は無脚式・短脚式、第三形式は有脚式に分類している。しかし、資料の増加に伴って分類が変化してきている。

梶崎彰一氏は、円面硯、風字硯、宝珠硯、変形硯に分け(1960)、円面硯を台をつけたもの(第1類)と多数の足をつけたもの(第2類)の二種に、第1類をAの直径に比して台の低いものと、Bの直径に比して台の高

第5表 円面硯出土遺跡一覧

番号	遺跡名	遺構名	遺跡の種類	分類	備考	所在地
1	西浦	第56号溝	集落	ⅢCアイ-2 b		東松山市
2		CG-7-2グリッド		ⅢCア-2 b		
3		第57号溝		ⅢCア-2 b	沈線(・×)	
4		第56・57号溝		ⅢA-2 b		
5		CE-6-2グリッド		ⅢCア-2 b		
6		CF-6-1グリッド		ⅢCイ-2 b	沈線(円盤2重)	
7		CD-6-2グリッド		ⅢD-2 b		
8		CF-6-2グリッド		ⅢCア		
9		CF-7-3グリッド		ⅢCア		
10		第56・57号溝		Ⅲ?ア		
11		CH-6-2グリッド		ⅢCイ		
12		CH-7-1グリッド		Ⅲ		
13	沼下	4号住居跡	集落	ⅢCア-2 b		寄居町
14	北坂	5号住居跡	集落	ⅢD-2 b		岡部町
15	鍋野		集落	Ⅲ-2	12点出土	〃
16	栗谷瀬	4号住居跡	集落	Ⅲ		菅野町
17	小池3次	包舎屋	集落	ⅢBア-2 a		〃
18	築道下	AKR第21号溝		ⅢD-1 a		行田市
19	岩比田	第19号住居跡		ⅢD-1 a		江南町
20	立野	3号住居跡		ⅢBア-1 b		東松山市
21		グリッド		ⅢBア-1 b		
22	香葉台	B-6号住居跡	郡内?	ⅢCアイ-2 b		鶴ヶ島市
23				ⅢCイ-2 b		
24				Ⅲ?-1 a		
25				ⅢCア-?		
26				ⅢD-?		
27		B-7号住居跡		Ⅲ?-1 a		
28				ⅢD-?		
29		B-8号住居跡		ⅢD-?		
30				ⅢD-?		
31				ⅢCア-?		
32		C-複合住居跡		Ⅲ		
33				ⅢD-1 b		
34				ⅢD-2		
35		D-表土層		ⅢBア-?	透し丸味帯びる	
36				1 a		
37	茗葉台	1号住居跡	集落	ⅢBア-2 b		坂戸市
38	稲荷前A区	第1号住居跡	集落	ⅢD-1 a	沈線(・×)	〃
39	八幡前・若宮遺跡	粘土煉瓦片				川越市
40	今宿	第6号住居跡	集落	ⅢCイ-2 b		秩山市
41	高岡寺院跡	第3建物遺構	寺院跡	ⅢA-1 b		日高市
42	木野遺跡	灰原	竈跡	I		寄居町
43	虫草山竈跡	粘土甕め	竈跡	ⅢA-?		鳩山町
44	鳩山竈跡群	小谷B 8号室 小谷B14号室	竈跡	ⅢCア-? ⅢCア-1 b ⅢCア-1 b	沈線(×+ 4)	〃
45				ⅢBア-1 a		
46		広町B第6 B号室		ⅢCア-1 a	沈線(斜格子)	
47				ⅢCイ-1 a		
48				ⅢCア-1 a		
49				ⅢCイ-1 a		
50		広町B第11号竈		ⅢCア-1 a	沈線(2米×2)	
51		広町B第6号竈状		ⅢBイ-?	水鳥織割	
52		広町B灰原		ⅢA-1 b		
53				ⅢA-1 b		
54				ⅢCア-1 a		
55				ⅢCア-1 a		
56				ⅢCイ-1 a		
57				ⅢA-1 b		
58				ⅢA-1 a		
59				ⅢD-1 a		
60	赤沼第14支群	第1号竈跡	竈跡	ⅢBア-1 b		
61	将軍沢第1支群	A-2号室	竈跡	ⅢCア-?	沈線(格子目)	嵐山町
62	新久竈跡	D地点第1号跡	竈跡	ⅢCア-?	沈線(格子目)	人間市

い多数の透しを有するものに分類した。

石井則孝氏は、円面硯・風字硯・形象硯・その他に大別した(1973)。円面硯を第一類の蹄脚硯、第二類の透脚硯とし二類に大きく分け、第一類のAが獣足に似たもの、Bは器形が大型で脚が三角錐状になり蹄の部分が丸味をもつものに、第二類はAが器高が低く陸が海より高いもの、Bが短冊形の透しを有するもの、Cがいろいろの形に透しが変化したものやへら描きの施されたものに分類した。

新たに橋崎氏は大きく水平硯と傾斜硯、転用硯に分類し(1979)、水平硯の一形態として円面硯を分類し、さらに有透脚・多足・特殊に細分し、多足に蹄脚と獣足を、特殊に低脚を含めた。

山中敏史氏は平面形態の差異によって円面硯・円形硯・楕円硯・風字硯・形象硯・方形硯・その他・転用硯の8群に大別した(1983)。さらに円面硯を8類に細別し、一類の圈足硯は輪状の台脚を有するもので、台脚が高く、透かしをもつものともたないものがある。さらに、陸の周縁に幅の狭い堤を設けて陸と海を区画する有堤式と無堤式に分け、無堤式は溝状の海を有するものと陸から緩やかに下降して海になるものがあるとしている。

横田賢次郎氏は、円面硯、風字硯、方形硯、特殊円形硯、象面硯、転用硯の6類に大きく分類し(1983)、円面硯ではA類が獣脚硯、B類が蹄脚硯、C類が圈足硯の3類に細分し、C類を硯面部の内堤の有無によって分け、さらに圈台の成形手法の差異によって4種に細分した。

竹花宏之氏は、一地域の検討と断って該当する形態だけを提示し、平面形を基準として円面硯・風字硯・楕円形硯の三形態に分類した(1984)。円面硯は4類に分け、Aは台脚部に透し窓を施し、その間隔が均等あるいは狭いもの、Bは台脚部の透しが少なく、その間隔が広いもの、Cは台脚部の裝飾が沈線によって施されたもの、Dは台脚部の裝飾が沈線と透しの組み合わせでなされているものに分類した。

以上の各分類から、円面硯についての分類基準とし

て、脚台部に関しては大別すれば獣脚硯・蹄脚硯・圈足硯に分類することができる。獣脚と蹄脚は明らかに異なり大別した方が明解であろう。圈足硯の中ではさらに細分が必要で、脚台部の裝飾によって分類できる。まず、短冊形の透しを有し間隔が均等あるいは狭いもの、透しが少なく間隔が広いもの、沈線と透しがあるもの、沈線のみものに細分できる。

硯面部に関しては、陸の周縁に幅の狭い堤を設けて陸と海を区画する有堤式と無堤式に別れる。有堤式は堤が明確なものと僅かな突起のものがある。無堤式は溝状の海を有するものと陸から緩やかに下降して海になるものがある。

以上のことをまとめると、円面硯は

脚台部

I類 獣脚硯

II類 蹄脚硯

III類 圈足硯

A類 短冊形の透しを有し間隔が均等あるいは狭いもの

B類 透しが少なく間隔が広いもの

透しの形 ア、長方形 イ、十字形

C類 沈線と透しがあるもの

透しの形 ア、長方形 イ、十字形

D類 沈線のみもの

硯面部

1類 有堤式 a、堤が明確なもの

b、微隆起状のもの

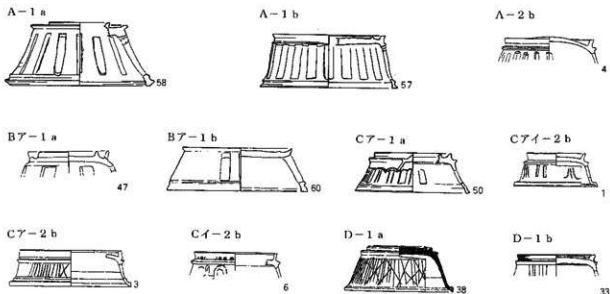
2類 無堤式 a、溝状の海を有するもの

b、陸から緩やかに下降して海になるもの

以上の分類が考えられる。

県内出土の円面硯は、獣脚硯が末野遺跡の灰原より出土した1点だけで、蹄脚硯は出土しておらず、圈足硯の出土が一時的である。出土遺跡は集落跡・窯跡・寺院跡であり、集落跡出土例が最も多く、窯跡出土例の2倍弱を占める。寺院跡は、高岡寺院跡1例のみである。

第312図 円面硯分類図



木野遺跡の獣脚硯は多脚のもので、7世紀末にあたる灰原からの出土である。8世紀にはいと、圓足硯へと変遷し、8世紀代に主流となってくる。

圓足硯ⅢA-1類（8世紀初頭から中葉）は大型で、硯面においては内堤をもつもので、広町B灰原出土例のほかには高岡寺院跡・虫草山窯跡がある。西浦遺跡出土例にもA-2 b類があり小型で無堤のものである。供伴遺物を限定できないが8世紀後半でも第3四半期の後半以降のものと考えられる。

ⅢBア-1、2類（8世紀前半中頃から8世紀中葉）は、赤沼第14支群第1号窯出土のものが大型のほかは小型化する傾向にある。

ⅢC-1 a類（8世紀前半の後期から8世紀中葉前後）は鳩山窯跡出土例に限られている。ⅢC-1 b類（8世紀末後半から9世紀初頭）は小谷B第14号窯跡出土例がある。ⅢC-2 b類の硯面径12cm程度の小型品は南比企窯跡群内の將軍沢第1支群A-2号窯（8世紀後半の後期から9世紀初頭）と東金子窯跡群の新久窯跡D地点第1号窯跡（9世紀後半）と窯跡群によって異なる。

窯跡以外では、ⅢC-2 b類は硯面径15cm程度の中型とそれ以下の小型の2種に分けられ、中型（8世紀中葉前後）ものは若葉台遺跡と今宿遺跡第6号住居跡か

らの出土例がある。径15cm以下のもの（9世紀後半）は沼下遺跡第4号住居跡と北坂遺跡第5号住居跡の例がある。

ⅢD類を出土する若葉台遺跡では一遺跡という関係から8世紀中葉前後に限られており、ほかの遺跡は8世紀後半の後期から9世紀前半にかけての稲荷前A区第1号住居跡・岩比田遺跡第19号住居跡の出土例が見られる。

西浦遺跡出土の円面硯は、確認できるものではすべて硯面部に内堤を持たない無堤式（2 b類）であるが、鳩山窯跡群の円面硯は確認できるものではすべて有堤式（1 a・1 b類）である。西浦遺跡出土の円面硯の胎土には南比企窯跡群産の特徴である白色針状物質が含まれていることから、南比企窯跡群内産ではあるが鳩山窯跡群以外の窯跡群のものとも捉えることができる。

※ 県内円面硯出土遺跡には、他に川越市龍光新田遺跡があり、溝からの出土であるが詳細は不明である。

※ 行田市築道下遺跡については、本年度刊行の吉田稔『築道下遺跡』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第189集を参照されたい。

※ 紙面の都合で、引用・参考文献は省略させていただいた。

付編

上川入遺跡および西浦遺跡出土須恵器の蛍光X線分析

奈良教育大学

三 辻 利 一

1) はじめに

須恵器の窯跡は全国各地に残されている。これらの窯跡から出土した大量の須恵器を分析した結果、K、Ca、Rb、Srの4因子が有効に地域差を示すことが判明した。すなわち、これらの4因子は1基の窯跡から出土する須恵器片についてのみならず、その周辺の多数の窯跡から出土した須恵器片についても高い集中度を示し、まとめて分布することが判明した。そして、異なる地域の窯跡から出土した須恵器片とは明らかに地域差を示した。他の因子はこれら4因子ほど有効に地域差を示さなかったため、筆者はこれら4因子を主体として、遺跡出土須恵器の産地推定を行うこととしている。

本報告では、東松山市の上川入遺跡、および、西浦遺跡から出土須恵器のうち、考古学的にみて、近隣の産地である鳩山窯群の製品とは言えないものを選択して、胎土分析によって、果して外部地域からの搬入品といえるかどうかを検討した結果について報告する。

2) 分析結果

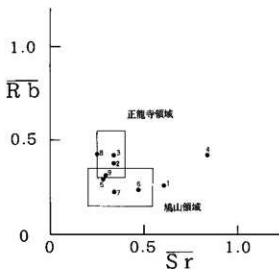
第1表には分析データがまとめられている。全分析値は岩石標準試料JG-1の各元素の蛍光X線強度を使って標準化した値で表示された。

はじめに、上川入遺跡出土須恵器について述べる。第1図にはRb-Sr分布図を示す。この分布図には、鳩山窯群の多数の試料を包含するようにして鳩山領域を描いてある。埼玉県内にはいくつかの窯群があり、化学特性は少しずつ異なる。その中の一つ、正龍寺窯の領域も同様にして描いてある。これらの領域は95%以上の試料を包含するようにして手書きで描いたものであり、したがって、定性的にしか境界を示さないが、他の窯群の領域と比較する上には十分役に立つ。本来、

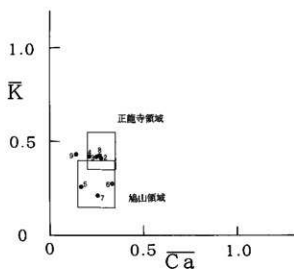
Rb-Sr分布図やK-Ca分布図のもつ意味はそのようなものである。これらの分布図である程度の目安をつけておいて、考古学的な年代観から同時期の窯群同志の相互識別を行う上に、統計学の2群間判別分析法が適用される訳である。Rb-Sr分布図はいくつもの窯(群)について、分布の比較をすることができる。ただし、Rb、Srの2因子しか使えないし、相互識別も定性的にしかできない。いくつもの因子を同時に使用し、定量的に相互識別を行うとすれば、2群に限定しなればならなくなる。産地候補地が2つ以上ある場合には、組み合わせを変えて何回も2群間判別分析をくり返さなければならない。面倒ではあるが、仕方がない。今回の場合、産地候補地をしばっている段階なので、分布図上での定性的な対応に止めた。

第1図にはRb-Sr分布図、第2図にはK-Ca分布図を示してある。両図で鳩山領域に分布するのはNa5、6、7の3点のみであり、他の試料は鳩山領域には対応しない。したがって、No1、2、3、4、8、9の6点の試料は肉眼観察からの予想通り、鳩山窯群産である可能性はないとみてよい。Na5、6、7の3点は全因子で類似しており、同一産地の製品とみられる。第1図、第2図をみる限り、鳩山窯群産の可能性が高いとみられるが、Fe量がやや多い点が気になる。鳩山窯群の製品の中にも、Feの分析値がJG-1による標準化値にして3程度のものはない訳ではないがごく少数である。Na5、6、7の試料には3~3.5程度のFeが含まれており、この点が少し気にかかる訳である。ただし、第1図、第2図ではこれら3点は鳩山領域によく対応しているので、鳩山窯群産と推定しておく。一方、No2、3、8の3点は全因子で類似しており、同一産地の製品とみられる。第1図、第2図では

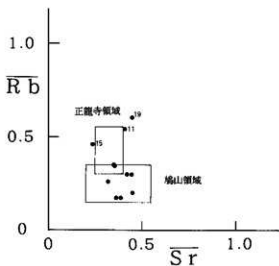
第1図 Rb-Sr分布図



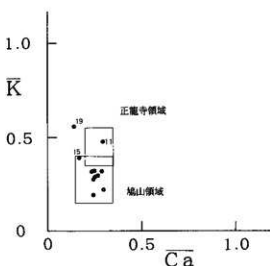
第2図 K-Ca分布図



第3図 Rb-Sr分布図



第4図 K-Ca分布図



正龍寺領域に対応しており、Fe因子でも正龍寺領域に対応するところから、正龍寺窯産の須恵器である可能性をもつ。Na1、4、9はどこの窯に対応するか、目下のところ不明であるが、鳩山窯群の製品ではないことは確かである。

次に、西浦遺跡出土須恵器について述べる。第3図にRb-Sr分布図を、第4図にK-Ca分布図を示す。大部分のものが鳩山領域によく対応するので、鳩山窯群産の可能性は高い。しかも、Fe因子、Na因子でもよく対応している。型式上はとも角、胎土からみる限り、鳩山窯群産である。しかし、Na11、15、19の3点は鳩

山窯群産ではあり得ない。したがって、西浦遺跡に与っては外部からの搬入品である。問題は埼玉県内の別の箇所からの搬入品か、埼玉県外からの搬入品かという点である。今回は埼玉県内の全窯群との対応はできなかったが、Na19の長頸瓶は県外からの搬入品である可能性が高い。K、Rb量が高いからである。もしかしたら、湖西地域からの搬入品かもしれない。Na11、15については埼玉県内の別の地域からの搬入品の可能性もあり、県外からの搬入品である可能性ももつて、ここでは不明としておいた。推定結果は第1表に示してある。

第1表 分析データ

道 路 名	番号	器 種	K	Ca	Fe	Rb	Sr	Na	推定産地	出土遺構	図版番号
上川入遺跡	1	環	0.352	1.18	3.26	0.262	0.607	0.352		SJ 1	第37図 4
	2	環	0.406	0.267	3.51	0.382	0.339	0.268	正龍寺窯	SJ 1	第37図 6
	3	環	0.416	0.250	3.64	0.416	0.336	0.265	正龍寺窯	SJ 1	第37図 7
	4	環	0.424	0.214	1.73	0.416	0.839	0.152		SJ 1	第37図 8
	5	環	0.260	0.172	3.02	0.289	0.277	0.170	鳩山窯群	SJ 2	第42図 1
	6	環	0.275	0.344	3.22	0.226	0.466	0.215	鳩山窯群	SJ 4	第45図 1
	7	環	0.217	0.255	3.44	0.219	0.339	0.212	鳩山窯群	SJ 4	第45図 6
	8	高台付環	0.428	0.259	2.62	0.431	0.248	0.313	正龍寺窯	SJ 4	第45図 8
	9	環	0.432	0.136	2.85	0.319	0.301	0.185		SJ 7	第48図 1
西浦遺跡	10	長頸瓶	0.188	0.248	1.99	0.169	0.364	0.202	鳩山窯群	SD56	第248図81
	11	環	0.483	0.292	2.32	0.543	0.412	0.284	不明	SD56	第245図 4
	12	甕	0.319	0.226	2.57	0.337	0.349	0.255	鳩山窯群	SD56・57	第248図72
	13	鉢	0.301	0.274	1.92	0.168	0.385	0.115	鳩山窯群	SD56	第249図86
	14	カメ	0.220	0.302	2.51	0.202	0.454	0.246	鳩山窯群	SD56	第249図92
	15	カメ	0.394	0.167	2.48	0.458	0.235	0.311	不明	SD56	第250図95
	16	甕	0.293	0.249	2.12	0.302	0.446	0.277	鳩山窯群	CE-67917F	第267図16
	17	環	0.274	0.245	2.30	0.262	0.321	0.239	鳩山窯群	SD56	第246図32
	18	環	0.319	0.251	2.50	0.346	0.344	0.191	鳩山窯群	CG-79177F	第282図13
	19	長頸瓶	0.562	0.139	1.69	0.602	0.448	0.434	畿人品	SJ45	第182図 7
	20	カメ	0.318	0.292	2.46	0.297	0.422	0.279	鳩山窯群	SJ46	なし